

## 目 次

凡例 .....	831
10-1 ウエペケレ「オタサムン カムイ ヘカッタラ」 .....	835
10-2 日付紹介 ウエペケレ「オタサムン カムイ ヘカッタラ」解説 .....	876
10-3 ウエペケレ「ウラユシウンクル」（最後テープ切れで本編中断） .....	881
11-1 ウエペケレ「ウラユシウンクル」続き .....	942
11-2 ウエペケレ「シリマオッテ」 .....	955
11-3 ウエペケレ「ウラユシウンクル」、ウエペケレ「シリマオッテ」まとめて解説 .....	979
11-4 ウエペケレ「ユペッホントムンクル」 .....	982
11-5 ウエペケレ「ユペッホントムンクル」解説 .....	1005
11-6 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」 .....	1009
11-7 12号テープへ続くこと説明 .....	1024
12-1 ユカラ11号から続いていること説明、題名紹介 .....	1025
12-2 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」続き .....	1026
12-3 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」ポイヤウンペ イソイタク .....	1072
12-4 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」途中切れ .....	1143
13-1 ユカラ11号、12号と続いていること説明 .....	1153
13-2 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」 .....	1154
13-3 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」 .....	1196
13-5 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」謡い途中でテープ切れ終了 .....	1259
14-2 カムイユカラ「オキクルミ ヘペレ（ノオ）」 .....	1273
14-3 カムイユカラ「オキクルミ ヘペレ（ノオ）」解説 .....	1288
14-4 カムイユカラ「アイヌモシリ チクニレ カムイ モシリ チクニレ（エーイノオー）」 .....	1290
14-5 カムイユカラ「アイヌモシリ チクニレ カムイ モシリ チクニレ（エーイノオー）」解説 .....	1311
14-6 カムイユカラ「オキクルミ シリカブ（トゥスナバヌ）」 .....	1312
14-7 ウエペケレ「オタサムンクル」 .....	1325
14-8 ウエペケレ「トノト カムイ イコシネウェ／トウキ オルン オクイマ メノコ」 .....	1345
14-9 ウエペケレ「トノト カムイ イコシネウェ／トウキ オルン オクイマ メノコ」解説 .....	1361
14-10 テープ内容再紹介 .....	1364
15-1 テープ内容紹介 .....	1365
15-2 カムイユカラ「シペチャリ ミントウチ（ヘムノエ）」 .....	1366
15-3 カムイユカラ「シペチャリ ミントウチ（ヘムノエ）」解説 .....	1384
15-4 カムイユカラ「ピリピリノイエクル ピリピリノイエマツ（パウチョーチョパフムフムフム）	

チロンヌヌ アイヌ コチャランケ」	1385
15-5 カムイユカラ「ピリピリノイエクル ピリピリノイエマッ（ハウチョーチョパフムフムフム） チロンヌヌ アイヌ コチャランケ」解説	1390
15-6 カムイユカラ「アワキナベンザイ（アエパウ）」	1391
15-7 カムイユカラ「アワキナベンザイ（アエパウ）」解説	1405
15-8 カムイユカラ「サロルン ニッネヌ（サンタイキヤンキリヤン）」	1407
15-9 カムイユカラ「サロルン ニッネヌ（サンタイキヤンキリヤン）」解説	1414
15-10 カムイユカラ「フリ ニッネヌ チャクチャクカムイ（フムフムトリヤテ）」	1415
15-11 カムイユカラ「フリ ニッネヌ チャクチャクカムイ（フムフムトリヤテ）」解説	1423
15-12 カムイユカラ「ハンチキキ」	1425
15-13 カムイユカラ「イウオロ コロ カムイ（ペットゥ一ペットゥ）」	1433
15-14 カムイユカラ「イウオロ コロ カムイ（ペットゥ一ペットゥ）」解説	1448
15-15 ウエペケレ「ポン ウエン シサム ウエペケレ」	1449
15-16 ウエペケレ「ポン ウエン シサム ウエペケレ」解説	1474
16-1 テープ内容紹介	1476
16-2 カムイユカラ「ニンニンケッポ ホクフ ヌムケ（トウカナカナー）」	1477
16-3 カムイユカラ「ニンニンケッポ ホクフ ヌムケ（トウカナカナー）」解説	1482
16-4 カムイユカラ「カンナカムイ カッコクカムイ（ノウワオオオ）」	1485
16-5 カムイユカラ「カンナカムイ カッコクカムイ（ノウワオオオ）」解説	1497
16-6 ルパイエユカラ「アトウイソカタ クッタラ モシリ」	1499
16-7 ルパイエユカラについて解説	1520
16-8 ルパイエユカラ「ウェンクル フチ イレス」	1522
16-9 ルパイエユカラ「ウェンクル フチ イレス」 物語中登場人物の解説	1541
16-10 ウエペケレ「アアチャハ イレス」	1543
16-11 ウエペケレ「アアチャハ イレス」解説	1572

## 凡 例

- ・各話のタイトルは、原資料（オープンリール）の箱に萱野茂氏が記したものそのまま使用した。ただし、和訳は各担当者による。  
また、原資料にタイトルがない話については、担当者が適宜つけた。
  
- ・アイヌ語カナ表記は話者の発音をそのまま記したが、ローマ字表記においては単語の切れ目などがわかるように分析した表記をとっている。そのため、両者の間にずれが生じる場合もある。  
例) sekor 「～と」 の e が弱化している場合は、「シコロ／sekor」とそれぞれ表記。
  
- ・アイヌ語ローマ字表記は、中川裕、1995『アイヌ語千歳方言辞典』（草風館）の表記方法に準拠した。
  
- ・アイヌ語カナ表記は、インターネット上のアイヌ語変換プログラム（「アイヌ語ローマ字カナ変換 HTML Application」<http://www.geocities.jp/aynuitak/WEBhenkan/chiyu.htm>）を使用したため、上記のプログラムによる表記に従っている。詳細は「事業の概要」23-24 ページ参照。
  
- ・アイヌ語のなかに日本語が混じる場合、ローマ字表記ではローマ字の大文字、カナ表記ではひらがなで記した。
  
- ・言いさし（言いかけ）は、… もしくは …… で示した。
- ・音が変化する部分は、変化する部分の直後にアンダーバーで表した。  
(例：オッタ→or\_ta / アンマ→an w\_a)
  
- ・聞き起こし・解釈に疑問が残る部分は、直後に(?) を付した。
  
- ・不明点は、XXX であらわした。
  
- ・何らかの理由で、単語の一部のみが発音されている場合などは（ ）でその内容を補った。  
例) ソンだけしか聞こえないが、ソンコ sonko 「伝言」の意味だと考えられる場合  
ソン (コ) son(ko)

- ・英雄叙事詩において、韻律の都合による挿入音が聞こえる場合、カナ表記ではそれも反映している。ローマ字表記においては〔〕で記した。これは文法上・解釈上は意味のない音である。
- ・和語解説中においてアイヌ語が混じる場合、ローマ字で表記し、意味は、読んだときにわかる程度におぎなった。その場合は、直後に亀甲カッコ〔〕の中に意味を入れている。
- ・語釈などについては各担当者の判断にゆだね、全体として統一はしていない。同じ語であっても、語の区切り・和訳などに違いがあるのはそのためである。
- ・なお、テキストのうち、1-1、7-1、13-3、14-1、18-1、20-1、22-5、23-2、23-7については、個人情報を含む内容のため、非公開とした。

## 参考文献略称

- 『アイヌの叙事詩』：鍋沢元蔵（筆録）、門別町郷土史研究会（編）、1969『アイヌの叙事詩』門別町郷土史研究会
- 『音声資料』：田村すず子（編著）、1984～1999『アイヌ語音声資料』早稲田大学語学教育研究所
- 『萱野辞典』：萱野茂、2002（1996）『萱野茂のアイヌ語辞典〔増補版〕』三省堂
- 『クトゥネシリカ』：鍋沢元蔵（筆録）、門別町郷土史研究会（編）、1965『アイヌ叙事詩 クト・ネシリカ』門別町郷土史研究会
- 『久保寺辞典稿』：久保寺逸彦（編）、1992『アイヌ語・日本語辞典稿』北海道教育委員会
- 『沙流方言辞典』：田村すず子、1996『アイヌ語沙流方言辞典』草風館
- 『静内語彙集』：奥田統己（編）、1999『アイヌ語静内方言文脈つき語彙集』札幌学院大学
- 『神謡・聖伝の研究』：久保寺逸彦、1977『アイヌ叙事詩 神謡・聖伝の研究』岩波書店
- 『神話集成』：萱野茂、1998『萱野茂のアイヌ神話集成』（全10巻）ビクターエンタインメント
- 『千歳方言辞典』：中川裕、1995『アイヌ語千歳方言辞典』草風館
- 『知里動物篇』：知里真志保、1976『知里真志保著作集別巻I 分類アイヌ語辞典 動物篇・植物篇』平凡社
- 『知里人間篇』：知里真志保、1975『知里真志保著作集別巻II 分類アイヌ語辞典 人間篇』平凡社
- 『バチェラー辞典』：ジョン・バチェラー、1995（1939）『アイヌ・英・和辞典』岩波書店
- 『ユーカラ集』：金成まつ（筆録）、金田一京助（訳注）、1959-75『アイヌ叙事詩ユーカラ集』（全9巻）三省堂



## 10-1 ウエペケレ

「オタサムン カムイ ヘカッタラ」

オタサムのカムイの子ども達

語り：平賀さだも

オタサムン ヘカッタラ セコロ アイイエ コロ オカアン。

Otasam un hekattar sekor a=i=ye kor oka=an.

オタサムの子ども達と私達は呼ばれていた。

アユピヒ トウラノ キ プ ネ ヒケ ウサム……

a=yupihi turano ki p ne hike usam...

兄と共にそう呼ばれており、

ウッシウ カ オカ カシパ カ ソモ キ ノ オカアン。

ussiw ka oka kaspa ka somo ki no oka=an.

使用人も大勢いるわけでもなく暮らしていた。

アコタヌ カ ウタリ モヨ プ アネ クス

a=kotanu ka utari moyo p a=ne kusu

村人も少ないので

ヘル アコッ チャシ パテク コラチ ネ ワ オカアン ペ ネ ア プ

heru a=kor\_casi patek koraci ne wa oka=an pe ne a p

ただ私達の館だけがあるという状況で暮らしていたのだが、

シネアンタ アユピヒ エネ ハウェ アニ。

sineanta a=yupihi ene hawe an h\_i.

ある日、兄がこのように言った。

「ヘタ アアキ タネ エニタン パクノ エアン、

“heta a=aki tane e=nitan pakno e=an,

「さあ、弟よ。お前は足も速く、

エアプカシ エアシカイ パクノ エアン クス  
 e=apkas easkay pakno e=an kusu  
 歩くことができるようになったので

エテケ アニ ワ イシカッ トウラシ シネウパアン クス ネ。  
 e=teke a=ani wa Iskar\_ turasi sinewpa=an kusu ne.  
 お前の手をひいて、石狩川を上って遊びに行くよ。

イシカラ ホントモ コン ニシパ アコシネウパ クス パイエアン クス ネ ナ。」  
 Iskar hontomo kor\_ nispa a=kosinewpa kusu paye=an kusu ne na.”  
 石狩の中流のニシパを尋ねて行くよ」

セコロ カネ ハウェアン コロ  
 sekor kane hawean kor  
 と言うと、

オラノ イシビネレ イサム ワ キ ヒネ オラ アテケ アニ カネ ヒネ  
 orano i=sipinere i=sam wa ki hine ora a=teke ani kane hine  
 それから私の身支度を側でさせ、私の手を引き、

オラノ トイコホケレアン パ ヒネ  
 orano toykohokere=an pa hine  
 私は足をばたばたさせながらも、

イシカッ トウラシ パイエアン ルウェ ネ アイネ  
 Iskar\_ turasi paye=an ruwe ne ayne  
 石狩川沿いに上流に向かっていったのだが

イネアプクスン アユヒニタヌマ フマサ カ アエラムシカリ  
 ineapkusun a=yupihit nitan w\_a humas y\_a ka a=eramusikari  
 なんとまあ、兄の足の速いことか、私が見たこともないくらいだった。

イルウェニンパ。  
 i=ruweninpa.  
 私も道を引きずられていった。

マカン ネ コロ シンキアン カシパ コロ イカイ  
 makan ne kor sinki=an kaspa kor i=kay  
 あるときは疲れ果てた私を負ぶい、

マカン ネ コロ イアプカシテ ワ  
 makan ne kor i=apkaste wa  
 またあるときは私を歩かせて

オラノ イトゥラ ワ パイエアン ヒネ イシカラ ホントモ タ パイエアン。  
 orano i=tura wa paye=an hine Iskar hontomo ta paye=an.  
 私を連れ、石狩の中流までやって来た。

インネ コタン アン  
 inne kotan an  
 にぎやかな村があり、

イネアプクス コタン ピリカ ワ シラナ カ アエラミシカリ。  
 ineapkusu kotan pirka wa siran y\_a ka a=eramisikari.  
 その村の素晴らしい様子は私が見たことがないほどだった。

インネ コタン アニネ  
 inne kotan an h\_ine  
 人の多い村があり、

コタン ソイ アクシネ パイエアン。  
 kotan soy a=kus h\_ine paye=an.  
 その村の外を通って行った。

コタン…… コタン ケシ ワノ コタン ソイ アクシネ  
 kotan... kotan kes wano kotan soy a=kus h\_ine  
 村の端から外を通って

パイエアン クニ ネ シラン ペ ネ クス  
 paye=an kuni ne siran pe ne kusu  
 行くように

コタン ケシ ワノ コタン ソイ アクシ ヒネ パイエアン ヒネ  
 kotan kes wano kotan soy a=kus hine paye=an hine  
 村の下端から外を通って行ったところ

コタン ノシキ タ モシリ パク チセ アン。  
 kotan noski ta mosir pak cise an.  
 村の真中に島のような大きな家があった。

チセ ソイ タ パイエアン ルウェ エネ アニ。  
 cise soy ta paye=an ruwe ene an h\_i.  
 家の外に行った時の様子は次のように、

エアシリ カ イソンクル オカ ウシ ネ ノイネ  
 easir ka isonkur oka usi ne noyne  
 非常に狩の上手い人が住んでいる場所であるようだ。

チセ ソイ ワノ ニシパ ロク ル アエラムオカイ ペ ネ クス  
 cise soy wano nispa rok ru a=eramuokay pe ne kusu  
 家の外からでもニシパがいるとわかるように、

チセ ソイ ワノ イランマカカ シラン。  
 cise soy wano irammakaka siran.  
 家の外からしてきちんとした様子だった。

チエプ クマ タイ カム クマ タイ オラシナチッケ カネ シラン ルウェ ネ。  
 cep kuma tay kam kuma tay orasnacitke kane siran ruwe ne.  
 魚の干し竿の列、肉の干し竿の列いっぱいに魚や肉がぶら下がっていた。

ソイ タ アユヒヒ アテケ アニ カネ ヒネ シリキッキク ルウェ ネ アクス  
 soy ta a=yupih a=teke ani kane hine sirkikkik ruwe ne akusu  
 外で兄が私の手を引きながら、あたりを叩くと

ピリカ ワ オケレ ポン メノコ アパ タララ ヒネ  
 pirka wa okere pon menoko apa tarara hine  
 非常にきれいな女の子が戸を持ち上げ、

インカッ テク ヒネ オラウン  
 inkar\_ tek hine oraun  
 ちらっと見て、

ヘトポ ホシビ イネ ハカクノ ネ コロカ イタク ハウェ エネ アニ。  
 hetopo hosipi h\_ine hakakno ne korka itak hawe ene an h\_i.  
 それから引き返し、小声だったが、このように話していた。

「カムイ ヘ オカ アイヌ ヘ オカ トウ ヘカッタラ  
 “kamuy he oka aynu he oka tu hekattar  
 「カムイだか人間だかの二人の子どもが

ウテカンパ カネ ヒネ ソイ タ オカ。」  
 utekanpa kane hine soy ta oka.”  
 互いに手をとって外にいます」

セコロ カネ ハウェアン ハウェ アサクシ  
 sekor kane hawean hawe as akus  
 と話す声がすると、

ポロクル イタク ハウェ エネ ハウェアシ。  
 porokur itak hawe ene haweas.  
 大人の話す声がこのようにした。

「ソモネイペカ オタサムン カムイ ヘカッタラ イコシネウパ ハウェ ネ ャ。  
 “somoneypeka Otasam un kamuy hekattar i=kosinewpa hawe ne ya.  
 「もしかしてオタサムの子どもたちが私を訪ねてきたということだろうか。

オリパクノ ホクレ ピリカノ ソカラ ワ アフプテ オリパクノ アフプテ。」  
 oripakno hokure pirkano sokar wa ahupte oripakno ahupte.”  
 きちんと、さあ、ちゃんと席を作つて、中に入れなさい。丁重に迎え入れなさい。」

セコロ カネ アイエ ハウェ アサクス  
 sekor kane a=ye hawe as akusu  
 と言う声がすると、

オラノ ムンヌウェ ソカラ フミ アシ アイネ  
 orano munnuwe sokar humi as ayne  
 それから、掃除をし、席を用意している感じがして、

オラウン オリパクノ ソイネ ヒネ  
 oraun oripakno soyne hine  
 それから女の子は戻まりながら外に出てきて

「アフプ ワ シニ ャン。」  
 “ahup wa sini yan.”  
 「入って休んでください」

セコロ カネ ハウェアン。  
 sekor kane hawean.  
 と言った。

アクス オラ アユピヒ アテケ アニ カネ ヒネ アフパン。  
 akusu ora a=yupihi a=teke ani kane hine ahup=an.  
 すると兄は私の手をひき、中に入った。

オハラキソ ペカ アクシネ アフパン。  
 oharkiso peka a=kus h\_ine ahup=an.  
 左座を通って中に入った。

アユピ アペエトク タ ア イケ キリサマ タ アアン ルウェ ネ アン アクシ  
 a=yupi apeetok ta a h\_ike kirksama ta a=an ruwe ne an akus  
 兄は横座に座ったので、私もその脇に座ると

チセ コン ニシパ イエランカラブ パ。  
 cise kor\_nispa i=erankarap pa.  
 家の主は私達に挨拶をした。

「フナク ワ アラキ ヘカッタラ  
 “hunak wa arki hekattar  
 「どこからか来た子どもたち、

カムイ ヘ ネ ヤ アイヌ ネ ルウェ ヘ ネ ヤ  
 kamuy he ne ya aynu ne ruwe he ne ya  
 カムイであるのか人間であるのか

アエランペウテク ャッカ ウエペケンヌアン ハウェ ネ ナ。  
 a=erampewtek yakka uepekennu=an hawe ne na.  
 わからないけれども、お尋ねしますよ。

オリパカン コロカ ウウェペケンヌアン ハウェ ネ ナ。」  
 oripak=an korka uwepekennu=an hawe ne na."  
 私は畏れ多いけれどもお聞きします」

セコロ カネ ハウェアナクス アユピヒ  
 sekor kane hawean akusu a=yupihi  
 と話すと、兄は

「オタサム マ アラキアン。」  
 “Otasam w\_a arki=an.”  
 「オタサムから私たちは来ました」

セコロ カネ ハウェアナクス オラノ エアシリ カ オンカミ ア オンカミ ア。  
 sekor kane hawean akusu orano easir ka onkami a onkami a.  
 と話し、それから、その男性は拝礼を続けた。

「アスル アヌ プ  
 “asuru a=nu p  
 「噂に聞くもの、

オタサムン カムイ ヘカッタラ エチネ ハウェ ネ。  
 Otasam un kamuy hekattar eci=ne hawe ne.  
 オタサムのカムイの子どもたちがあなた達ということなのですね。

アポウタリ エキムネ パ ルウェ ネ。  
 a=poutari ekimne pa ruwe ne.  
 私の息子たちは山に行ってます。

アポホ トウプ アン ペ ネ。アマッネポ シネプ ネ ワ ト アン ルウェ ネ。  
 a=poho tup an pe ne. a=matnepo sinep ne wa to an ruwe ne.  
 息子は二人います。娘は一人で、あそこにいるのです。

ネ アポウタリ ケシト エキムネ パ。  
 ne a=poutari kesto ekimne pa.  
 その息子たちは毎日山に行ってます。

タント カ スイ イット エキムネ パ ルウェ ネ アクシ  
 tanto ka suy itto ekimne pa ruwe ne akus  
 今日もまた日帰りで行っているので

オヌマン アン ヤクン イワクパ ナンコロ ルウェ ネ ナ。  
 onuman an yakun iwakpa nankor ruwe ne na.  
 夕方になつたら帰つてくるでしょう。

アブンノ イコシニ ワ イコロパレ ャン。」  
 apunno i=kosini wa i=korpore yan."  
 ゆっくり私のところで休んでください」

セコロ カネ ハウェアン コロ オラノ スンケ アシペ ソネ アシペ イエ ワ  
 sekor kane hawean kor orano sunke aspe sone aspe ye wa  
 と言い、それからあることないこといい、

イヌレ パ コロ オカアン。  
 i=nure pa kor oka=an.  
 私達に聞かせながらいた。

ネア ポン メノコ イランマカカ ピリカ スケ キ ワ  
 nea pon menoko irammakaka pirka suke ki wa  
 その女の子はきちんと上手に料理をし、

カム ピリカ ヒ チエプ ピリカ ヒ ウオロトウイパ オラノ スウェ。  
 kam pirka hi cep pirka hi uorotuypa orano suwe.  
 肉のよいもの、魚の良いものをまとめて切つて煮た。

ポロ ス アニ スパ ワ イタ チキシマ イサム カネ ノ イコイプンバ。

poro su ani supa wa ita ci=kisma isam kane no i=koypunpa.

大きな鍋で煮て、掘む場所がないほどお盆にのせ、私達に差し出した。

イネアプクスン ケラアン マ フマサ カ エラミシカリ。

ineapkusun keraan w\_a humas y\_a ka eramiskari.

なんとまあ、おいしいことか、

アエ カ エラミシカリ。

a=e ka eramiskari.

私が食べたことがないほどだった。

タン テ パクノ キ、エネ オカ アエプ アエ カ エラミシカリ プ ネ ワ

tan te pakno ki, ene oka aep a=e ka eramiskari p ne wa

今まで、このような食べ物は食べたこともないので、

タネボアエ プ ワ ポ ヘネ ケラアン

tanepo a=e p wa po hene keraan

初めて食べたのでいっそうおいしい

フミ ネ クニ アラム コロ アエ ルウェ ネ アイネ

humi ne kuni a=ramu kor a=e ruwe ne ayne

と思いながら食べていく、

オラン シロヌマン ルウェ ネ アクス タネ シロヌマン コロ

oran sironuman ruwe ne akusu tane sironuman kor

それから夕方になると、

アイヌ サプ ウム アシ ヒネ ウコカマフプテ。

aynu sap h\_um as hine ukokamahupte.

人が下りてくる音がし、肉を家の中に入れた。

プヤラ カリ ネア ポン メノコ イコカマフプテ コロ

puyar kari nea pon menoko ikokamahupte kor

窓からその女の子が肉を家の中に入れながら

アロロキシネ オカアニ イエ コトム アン。

arorkisne oka=an h\_i ye kotom an.

こっそりと私達がいることを伝えているようだった。

アクス ネロク…… ネ オッカイポ<sup>9</sup> ウタラ ネ コトム アン

akusu nerok... ne okkaypo utar ne kotom an

そして、それは例の若者たちであるようで、

ソヨシピタッパ ヒネ

soyosipitatpa hine

外で身支度を解いて

オリパクノ アフプ パルウェ ネ アクス オリパクノ アフプ ヒネ

oripakno ahup pa ruwe ne akusu oripakno ahup hine

畏まりながら入ってくると、

オハラキソ ウン ウキリサメロク。

oharkiso un ukirsamerok.

左座に並んだ。

キヤンネ ヒケ オロンネ ア。

kiyanne hike oronne a.

年長の方が横座から座った。

ポニウネ ヒケ オウトウンネ ア カネ オハラキソ ウン

poniwne hike outunne a kane oharkiso un

若い方が木尻座から座り、左座に

ウ…… サ…… ウキリサメロク ルウェ ネ アクス

u... sa... ukirsamerok ruwe ne akusu

並んで座ると、

チセ コン ニシパ エネ ハウェアニ。

cise kor\_nispa ene hawean h\_i.

家のニシパはこのように言った。

「エアシリ アスル アヌ アスル タクプ カ アヌ コロ オカアン ペ タシ  
 “easir asuru a=nu asur takup ka a=nu kor oka=an pe tasi  
 「私達が尊にばかり聞いていたもの、

オタサム ウン カムイ ヘカッタラ セコロ ハワシ ヒ  
 Otasam un kamuy hekattar sekor hawas hi  
 オタサムのカムイの子どもたちの話を

アヌ コロ オカアン ペ ネ アクス  
 a=nu kor oka=an pe ne akusu  
 私たちは聞いていたけれど

カムイ ヘカッタラ イコシネウパ ルウェ ネ ナ。  
 kamuy hekattar i=kosinewpa ruwe ne na.  
 その子どもたちが私のところに訪ねてきてくれたのだよ。

アポウタリ オリパクノ オンカミ ャン。」  
 a=poutari oripakno onkami yan.”  
 息子たちよ、きちんと拝礼しなさい」

セコロ カネ ハウェアナクス  
 sekor kane hawean akusu  
 と話すと、

エアラキンネ ウサム タ ウサム タ イエオリパク パ ヒネ  
 earkinne usam ta usam ta i=eoripak pa hine  
 息子たちはそばで畏まり

イネアプクスン イエオリパク パ ワ シリ キ ャ カ アエラミシカリノ  
 ineapkusun i=eoripak pa wa siri ki ya ka a=eramiskarino  
 なんとまあそんなに畏まっている様子を見たことがないほど

イエオリパク パ ワ  
 i=eoripak pa wa  
 私達に畏まっている様子で

イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク ルウェ ネ ヒネ オラウン  
 i=koonkami rok i=koonkami rok ruwe ne hine oraun  
 拝礼をし、それから

イペ オカ アン コロ ネア オンネ クル エネ ハウェアニ。  
 ipe oka an kor nea onne kur ene hawean h\_i.  
 食事の後になると、老人はこのように言った。

「カムイ へカッタラ イコシネウパ ルウェ ネ コロ  
 “kamuy hekattar i=kosinewpa ruwe ne kor  
 「カムイの子どもたちが訪ねてきてくれたら、

マカナク シノ アポウタリ サンニヨ ルウェ アン?  
 makanak sino a=poutari sanniyo ruwe an?  
 どのようにしようと私の息子たちは考えていたのだい?

マクネ コロ カムイ へカッタラ エキロロアン クニ ラム ヤ?  
 makne kor kamuy hekattar ekiroroan kuni ramu ya?  
 どうやって子どもたちを楽しませようと思っていたのだい?

ラム パ アポウタリ キ ヤ?」  
 ramu pa a=poutari ki ya?"  
 息子たちは考えていたのだい?」

セコロ ハウェアン アクス  
 sekor hawean akusu  
 と言うと、

「マク シノ イラマンテ モシマ ネウン イキアン パ ワ エラマス パ ヤ  
 “mak sino iramante mosma neun iki=an pa wa eramasu pa ya  
 「本当の狩りの代わりにしたら、喜ぶのか

ネウン ネ ヤ アエラムシカリ ヤッカ  
 neun ne ya a=eramusikari yakka  
 どうだかわからないけれども

キキタネクス ウコユコケウェ ヘネ アン マ アヌカレ パ ヘネ キ チキ  
 kikitanekus uko yukokewe hene an w\_a a=nukare pa hene ki ciki  
 どうせなら、みんなで鹿追いでもして見せたら

ソモ エラマシパ ハウエ ネ。」  
 somo eramaspa hawe ne.”  
 喜ぶのではないでしようか」

セコロ カネ キヤンネ ノ…… キヤンネ イポ ネ イケ ハウエアン クス  
 sekor kane kiyanne no... kiyanne ipo ne h\_ike hawean kusu  
 と年長である様子の息子の方が話すと

「ハウエネ チキ フンタ アマッネボ  
 “hawene ciki hnta a=matnepo  
 「そういう話なら、さあ、娘よ、

アラパ ワ コタン エピッタ オッカイポ ウタン ニスク。  
 arpa wa kotan epitta okkaypo utar\_nisuk.  
 行って、村じゅうの若者に頼みなさい。

ニサッタ ネ アナクネ オタサムン カムイ ヘカッタラ アラキ ワ オカ ワ  
 nisatta ne anakne Otasam un kamuy hekattar arki wa oka wa  
 明日はオタサムのカムイの子どもたちが来ていて

アヌカレ クス  
 a=nukare kusu  
 見せるので

ウコユコケウェアン クス ネ ナ。  
 ukoyukokewe=an kusu ne na.  
 皆で鹿追をするつもりだよ。

コタン エピッタ オッカイポ ウタラ ウニスク ワ  
 kotan epitta okkaypo utar unisuk wa  
 村じゅうの若者たち、互いに声を掛け合って

ニサッタ ネ アポ ウタリ トゥラノ カムイ ヘカッタツ トゥラ ワ  
 nisatta ne a=po utari turano kamuy hekattar\_tura wa  
 明日は息子とカムイの子どもたちと共に一緒に

エキムネ ヤク ピリカ ナ。」  
 ekimne yak pirka na.”  
 山に行ってくれ」

セコロ ネア チセ コロ クル ユタラ アクシ  
 sekor nea cise kor kur yutar akus  
 と、その家の主は伝言をすると、

ネア メノコ ソイネ ヒネ  
 nea menoko soyne hine  
 その女の子は外に出て、

オラノ コタン エピッタ アプカシ コトム アナクス  
 orano kotan epitta apkas kotom an akusu  
 それから村じゅうを歩き回っているようだったが、

「『ピリカ ハウェ ネ ネ。』セコロ コタン エピッタ ハワシ ルウェ ネ」  
 “pirka hawe ne ne.’ sekor kotan epitta hawas ruwe ne”  
 「『いいですよ』と村じゅうで言ってくれました」

セコロ ハウェアン コロ エク ヒネ レウシオカアン。  
 sekor hawean kor ek hine rewsioka=an.  
 と言いながらやって来て私達は一晩泊まった。

アユヒ トゥラ ウトウマムアン マ  
 a=yupihi tura utumam=an w\_a  
 兄と共に抱き合って寝て

ネイ タ オカ イ ヤッカ ウトウマムアン マ パテク ホッケアン ペ ネ クス  
 ney ta oka h\_i yakka utumam=an w\_a patek hotke=an pe ne kusu  
 どこにいても抱き合って横になっているので、

ウトウマム ワ アン マ ホッケアン ルウェ ネ アクス  
 utumam wa an w\_a hotke=an ruwe ne akusu  
 抱き合って横になっていると

イシムネイケ ノクンネイワ ネア メノコポ ホプニ ワ  
 isimneyke nokunneywa nea menokopo hopuni wa  
 翌日暗いうちから女の子は起きて、

オラノ スケコアリキキ アイネ スイ  
 orano sukekoarikiki ayne suy  
 料理を頑張って、

ウサ ケラアン ペ アイコプンパ ルプネ ソナビ アイコプンパ オラノ  
 usa keraan pe a=i=kopunpa rupne sonapi a=i=kopunpa orano  
 いろいろな美味しいものを私達に差し出し、山盛りのご飯を差出し、それから

アエ ロク アエ ロク アイネ オラウン  
 a=e rok a=e rok ayne oraun  
 食べに食べた。そうして

オラノ コタン オルン オッカイポ ウタラ ウニスク パ ワ アフパフフ カネ  
 orano kotan or un okkaypo utar unisuk pa wa ahupahup kane  
 それから村の若者たちが誘い合ってどんどん入ってきて

オラノ チセコロ クル  
 orano cisekor kur  
 それから家の主が

「カムイ ヘカッタラ シネウパ ワ オカ ワ アクス ハウェアナン ヒ ネ ナ。  
 "kamuy hekattar sinewpa wa oka wa akusu hawean=an hi ne na.  
 「カムイの子どもたちが訪ねてきてくれたので、こうやってお願ひしたということなのだよ。

ピリカノ アコタヌ ウン ウタラ オリパクノ イキ ワ イコレ ャン。」  
 pirkano a=kotanu un utar oripakno iki wa i=kore yan."  
 村人たちよ、丁重にしてくださいね」

セコロ カネ ハウェアン ペ ネ クス  
 sekor kane hawean pe ne kusu  
 と話したので

アフプ ワ オカイ ペ イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク コロ  
 ahup wa okay pe i=koonkami rok i=koonkami rok kor  
 入ってきた者たちは私達に拝礼した。

インネ ウタラ ウエカラパ ルウェ ネ ヒネ コロ オラ  
 inne utar uekarpa ruwe ne hine kor ora  
 たくさんの人気が集まってきて

「ヘタク エキムネアン ロ。」  
 “hetak ekimne=an ro.”  
 「さあ、山に行きましょう」

セコロ ネ コロ オラノ スイ アユビヒ アテケ ウク テク ヒネ  
 sekor ne kor orano suy a=yupihi a=teke uk tek hine  
 となると、兄は私の手をさっと取り

オラノ インネ ウタツ トウラノ エキムネアン パ コロ  
 orano inne utar\_turano ekimne=an pa kor  
 たくさんの人たちと山に行ったのだが、

アオカ ホシキノ パイエアン。  
 aoka hoskino paye=an.  
 私たちは先頭を行った。

オラノ アユビヒ アテケ エシカリ ワ ホユプ プ ネ クス  
 orano a=yupihi a=teke esikari wa hoyupu p ne kusu  
 兄が私の手を掴んで走るので

ニタナン パ プ ネ クス  
 nitan=an pa p ne kusu  
 私達が足早なので、

オッカイポ ウタラ カ イオカネイオカネ パ コロ パイエ アイネ  
 okkaypo utar ka iokaneiokane pa kor paye ayne  
 若者たちはどんどん引き離されていき、

フナク タ パイエアナクス  
 hunak ta paye=an akusu  
 どこかに行き着くと

ネア チセ コロ オッカイポ キヤンネ ヒケ エネ ハウェアニ。  
 nea cise kor okkaypo kiyanne hike ene hawean h\_i.  
 その家の若者の年長の方はこのように言った。

「アコロ カムイ ヘカッタラ ウコユコケウェ セコロ アイエ プ アナクネ  
 “a=kor kamuy hekattar ukoyukokewe sekor a=ye p anakne  
 「カムイの子どもたちよ、鹿追いというものは

ニ……ニ トウイポク ワ オカアン コロ アシトマ プ ネ。  
 ni... ni tuyopok wa oka=an kor a=sitoma p ne.  
 木の陰にいると危ないのです。

ニ トウイカ ワ アシコパシテ ワ オカアン コロ<sup>[1]</sup>……  
 ni tuyka wa a=sikopaste wa oka=an kor...  
 木の上にもたれないと

エアシリ ユク ユクトパ サン コロ  
 easir yuk yuktopa san kor  
 シカの群れが下りてくると

ニ トウイポク ワ オカアン コロ アイヌ ヌカラ ソモ キ プ ネ クス  
 ni tuyopok wa oka=an kor aynu nukar somo ki p ne kusu  
 木の陰にいると（シカから）人間は見えないので、

ニ トウイポク タ ユク ウトモシマ コロ イヤイキpte プ ネ ナ。  
 ni tuyopok ta yuk utomosma kor iyaykipte p ne na.  
 木の陰でシカにぶつかって危ないのです。

ニ トウイカ トイシペシテ (?) ワ ロシキ ワ イコレ ャン。  
 ni tuyka toysipeste(?) wa rosiki wa i=kore yan.  
 木の上側にしつかりへばりついて(?)立っていてください。

アウタリ オピッタ チキモクタ(?) ワ タネ ユク トパ サン ナンコロ ナ。」  
 a=utari opitta cikimokuta(?) wa tane yuk topa san nankor na.”  
 仲間がみんな追いこんで(?)、今シカの群れが下りてくるでしょう」

セコロ カネ ハウェアン ヒネ ペ ネ クス  
 sekor kane hawean hine pe ne kusu  
 と話すので

アユピヒ チクニ イコテ ノ ニ トウイカ ワ フルコトッ タ  
 a=yupihi cikuni i=kote no ni tuyka wa hurkotor\_ta  
 兄は木に私を結び付け、木の上から斜面に(?)

ニ トウイカ ワ アユピヒ イコトウッカ ワ  
 ni tuyka wa a=yupihi i=kotukka wa  
 木の上に兄は私をくっつけて

イコッチャケ タ アシ ワ アン ルウェ ネ アクス  
 i=kotcake ta as wa an ruwe ne akusu  
 私の前に立っていたのだが

ソノノ ポカ イルカ ネ テク コロ  
 sonno poka iruka ne tek kor  
 本当に、しばらくすると、

オロワノ エアシリ カ シンリムナタラ アイネ  
 orowano easir ka sinrimnatara ayne  
 あたりがドンドンと鳴り響いて

インネ ユク トパ チサナサンケ。  
 inne yuk topa cisanasanke.  
 たくさんシカの群れが下りてきた。

エアシリ カ インネ セコロ アイエ プ アナクネ インネ ユク トパ  
 easir ka inne sekor a=ye p anakne inne yuk topa  
 本当にたくさんと言われるだけのシカの群れが

チサナサンケ シリ エネ アニ。  
 cisanasanke siri ene an h\_i.  
 下りてくる様子は次のようだった。

イヌカラ パ プ ネ クス イトゥカリケ ワノ ユク シウサライエ ワ  
 i=nukar pa p ne kusu i=tukarike wano yuk siusaraye wa  
 私を見たために、私の手前でシカは別れて

オラ シウサライエ ヤク アラム  
 ora siusaraye yak a=ramu  
 行ったのだと私は思った(?)。

ニ アコトウク ワ オカアン チクニ アシ チクニ トウイポク ウン  
 ni a=kotuk wa oka=an cikuni as cikuni tuyopok un  
 私がくつついでいる木の下で

ウトモシマ ウミ シンリムナタラ コロ  
 utomosma h\_umi sinrimnatara kor  
 互いにぶつかり合う音が響きながら、

ウトモシマ フミ アシ パ コロ オロワノ  
 utomosma humi as pa kor orowano  
 響きあう音を立てながら

ラプ ロク ラプ ロク コロ  
 rap rok rap rok kor  
 どんどん下りてきて、

オロワノ オッカイポ ウタラ ニマラ ヨコ ワ オカイ ペ ネ クス  
 orowano okkaypo utar nimar yoko wa okay pe ne kusu  
 若者の半分はそれを狙っていたので

チョッチャ ロク チョッチャ ロク チョッチャ ロク  
 cotca rok cotca rok cotca rok  
 どんどん射った。

エアシリ カ シレピッタ  
 easir ka sir epitta  
 本当にあたり中に

ユク ライチエピ チエシ…… アピラサ アペコロ アン ルウェ ネ。  
 yuk raycepi ciesi... a=pirasa apekor an ruwe ne.  
 シカの死骸を広げたようになっていた。

コロ オラノ ネロク タネ ユク トパ オカ アン コロ  
 kor orano nerok tane yuk topa oka an kor  
 それから、そのシカの群れの後で

オラノ イリ クス  
 orano iri kusu  
 皮をはぐため、

コタン コロ オッカイポ ウタラ イリ コロ オカ ロク アイネ  
 kotan kor okkaypo utar iri kor oka rok ayne  
 村の若者たちが解体をし

マカナン ユク リ パ アクス オラノ ウコエマカラシキ ペコロ イキ パ。  
 makanan yuk ri pa akusu orano ukoemakaroski pekor iki pa.  
 あるシカの解体をしていると、ひょっと立ちあがって棒立ちになった。

ネプ カ エウコイタク ペコロ イキ パ コロ  
 nep ka eukoitak pekor iki pa kor  
 何か話し合うかのようにしていると

ヘタク カ……  
 hetak ka...

ヘタク カ モイモイパ カ モイモイパ ヘネ キ カ ソモ キ パ ノ  
 hetak ka moymoypa ka moymoypa hene ki ka somo ki pa no  
 動くこともなく

エマカラシキ ペコロ イキ パ ロク アイネ  
 emakaroski pekor iki pa rok ayne  
 棒立ちになって立っているとそのうちに

ネア コタン コン ニシパ キヤンネ ポホ エク ヒネ  
 nea kotan kor\_nispa kiyanne poho ek hine  
 その村長の年長の息子が来て

イトウカリ タ テク……アシ。オンカミ ア オンカミ ア コロ エネ イタキ。  
 i=tukari ta tek...as. onkami a onkami a kor ene itak h\_i.  
 私達の前に来て拝礼しながらこのように言った。

「エネ アラム ヒ カ イサム シラン アヌカラ ワクス  
 “ene a=ramu hi ka isam siran a=nukar wakusu  
 「このようなことがあるとは全く思っていなかった光景を私は見たので

カムイ エカッタラ アコウェペケンヌ クス エカン シリ ネ カトウ  
 kamuy h\_ekattar a=kowepenkennu kusu ek=an siri ne katu  
 カムイの子どもたちに尋ねにきました。

ピンネラウ ネ カネ アン ヨク トウイエ アヤサクシ  
 pinneraw ne kane an yuk tuye a=yasa akus  
 オスジカの胃袋を切り裂いたところ

オッシケヘ タ ポン ルプネ アイヌ テケウコパシテ ヒネ ア ワ アン。  
 ossikehe ta pon rupne aynu tekeukopaste hine a wa an.  
 腹の中に小男が手を合わせて座っていました。

ルウェ ネ ワ エネ アラム ヒ カ イサム。  
 ruwe ne wa ene a=ramu hi ka isam.  
 そんなことがあるとは思ってもいませんでした。

エネ アイエ ヒ カ イサム ルウェ ネ ワ エネ ネ クニ  
 ene a=ye hi ka isam ruwe ne wa ene ne kuni  
 どうしたらよいのかわからず、どうしたらよいのか

カムイ ヘケッタラ アコウエベンヌ クス エカン。」  
 kamuy hekettar a=kowepennu kusu ek=an.”  
 カムイの子どもたちに尋ねにきたのです」

セコロ カネ ハウェアン オリパカ オリパカ コロ エク ヒネ キ アクス  
 sekor kane hawean oripak a oripak a kor ek hine ki akusu  
 と言った。慎みながら来て、そのように言うので、

アユピ エネ ハウェアニ。  
 a=yupi ene hawean h\_i.  
 兄はこのように言った。

「ハウェ ネ チキ ホクレ ホクレ。  
 “hawe ne ciki hokure hokure.  
 「そういう話であるのなら、急いでください。

ホクレ ウサ ウエン ヌサ エウ…… エチエウトムタテレケ (?) ワ  
 hokure usa wen nusa ew... eci=eutomtaterke(?) wa  
 急いで粗末な祭壇を、あちこちに行って(?)

ケネ ネ ャ アユシニ ネ ャ ウサ オカ  
 kene ne ya ayusni ne ya usa oka  
 ハンノキやタラノキだので

ウエン ヌサ イワン ヌサ エチカラ ワ  
 wen nusa iwan nusa eci=kar wa  
 粗末な祭壇、六つの祭壇を造って

エチアヌ。ホクレ トゥナシノ キ ャン、 キ ャン。」  
 eci=anu. hokure tunasno ki yan, ki yan.”  
 置いてください。さあ、急いでください」

セコロ カネ ハウェアン。

sekor kane hawean.

と話した。

オラノ オッカイポ<sup>9</sup> ウタラ インネ プ ネ コロ ウトムタテレケ (?) ヒネ

orano okkaypo utar inne p ne kor utomtaterke(?) hine

それから若者たちは大勢なのであちこち飛び回って(?)

ナニ ネ ヌサ イワン ヌサ アカッ テクシリ イキ ア クス

nani ne nusa iwan nusa a=kar\_ tek siri iki a kusu

すぐに、その祭壇、六つの祭壇が作られたようで

スイ ネア オッカイポ<sup>9</sup> エキネ

suy nea okkaypo ek h\_ine

また、その若者がやってきて

「アカラ オケレ。」

“a=kar okere.”

「作り終わりました」

セコロ ハウェアナクス

sekor hawean akusu

と言うと

「ハウエ ネ チキ ホマカノ ホマカノ オカ ャン。ヌイナク ワ オカ ャン。」

“hawe ne ciki homakano homakano oka yan. nuynak wa oka yan.”

「そういうことなら、後ろにいて下さい。隠れていてください」

セコロ カネ アユピヒ ハウェアン。

sekor kane a=yupihi hawean.

と兄が話した。

「エアニ アナクネ テ タ アン マ イテキ イカラシケ エク ノ テ タ アン。」

“eani anakne te ta an w\_a iteki i=karanke ek no te ta an.”

「お前はここにいて、決して私の近くに来ることなく、ここにいなさい」

セコロ カネ ハウェアン コロ イホッパ テク ヒネ アラパ ヒネ オラノ  
 sekor kane hawean kor i=hoppa tek hine arpa hine orano  
 と話すと、私を残し行ってしまって

ネア ウエン ヌサ、ヌサ ウコウトゥル クシ ハウェ エネ アニ。  
 nea wen nusa, nusa ukoutur kus hawe ene an h\_i.  
 その粗末な祭壇、祭壇のあいだを通りながらこう言った。

イノンノイタク ハウェ  
 inonnoytak hawe  
 兄が祈る声は

カッコク ハウ ネ オウセ トゥルセ ハウェ エネ アニ。  
 kakkok haw ne ouse turse hawe ene an h\_i.  
 カッコウの声に様にまっすぐ飛んで行った。

「エアシリ カ タン ポン ルプネ アイヌ エネ ワ  
 “easir ka tan pon rupne aynu e=ne wa  
 「あなたはこの小男で、

コタン ウコパ モシリ ウコパ エキ シンネ カトウ アナクネ  
 kotan ukopa mosir ukopa e=ki sinne katu anakne  
 村を間違え、国を間違え、

オロ ウン エアラパ クニ エラム ウシケ  
 oro un e=arpa kuni e=ramu uske  
 そこへあなたが行こうと思った場所に、

エエハイタ ワ エエク ルウェ ネ コロ  
 e=ehayta wa e=ek ruwe ne kor  
 あなたは行きついでいない様子なので

タパン ヌサ アナク オピッタ ウタン ネ アエコレ。  
 tapan nusa anak opitta utar\_ne a=e=kore.  
 この祭壇は全部仲間としてあなたにあげます。

オロ タ エセントネ ワ エトゥラ ワ エアラパ カトウ  
 oro ta e=sentone wa e=tura wa e=arpa katu  
 あなたが船頭となって連れて行く場所は

ニソシッチウ イマカケ タ カムイ メノコ エアニ ネ ヤク エアシリ  
 nisositciw imakake ta kamuy menoko eani ne yak easir  
 雲の彼方の女神が、お前でこそはじめて

エアシリ アヤイコトムカ セコロ ヤイス コロ エテレ ワ アン ルウェ ネ。  
 easir a=yaykotomka sekor yaynu kor e=tere wa an ruwe ne.  
 自分に相応しいと思ってお前を待っているのです。

テエタ ワノ エテレ ワ アン ペ  
 teeta wano e=tere wa an pe  
 昔から待っているので

エアニ ネ ヤッカ カムイ エネ クシ  
 eani ne yakka kamuy e=ne kus  
 あなたもカムイなので、見て、

エヌカラ ワ エウン エアラパ クナク エラム ア プ、  
 e=nukar wa eun e=arpa kunak e=ramu a p,  
 そちらへいこうと思っていたのだったが、

ナ オッカイポ エネ クス エコワイル ヒネ  
 na okkaypo e=ne kusu e=kowayru hine  
 まだ、若者なのでうっかりして

コタン ウコパ モシリ ウコパ エキ ヒネ  
 kotan ukopa mosir ukopa e=ki hine  
 村を間違え、国を間違えて

エネ テ タ エヨロツ ワ エエク シリ アニ アエエヤムカラ カ キ。  
 ene te ta e=yorot wa e=ek siri an h\_i a=e=eyamkar ka ki.  
 ここにまざって来たのを私は心配していました。

アイヌ アナクネ シケトコ タクネ クス ウサトイネノ コカトウン カ キ ワ  
 aynu anakne sikutoko takne kusu usatoyneno kokatun ka ki wa  
 人間は見通しがきかないものなので、それぞれの風習があり(?)、

カムイ ネ ャッカ コオリパク カ エアイカプ ペ ネ クス  
 kamuy ne yakka kooripak ka eaykap pe ne kusu  
 カムイであってもきちんと敬うことができないので

キキタネクス タパン ヌサ タブ オカイ ペ タオカ カムイ オピッタ  
 kikitanekusu tapan nusa tap okay pe taoka kamuy opitta  
 どうせなら、この祭壇やこういったもの、このカムイみんな

ウタン ネ エコロ ワ タン テ ワノ エキ ホプニ。  
 utar\_ne e=kor wa tan te wano e=ki hopuni.  
 同族として持って、今から飛び立っていきなさい。

エアラパ カトウ ニソシッチウ エオアラパ ワ  
 e=arpa katu nisositciw e=oarpa wa  
 あなたが雲の彼方に行って、

カムイ メノコ トウラノ エチウ ャク  
 kamuy menoko turano eciw yak  
 カムイの女性と結婚したら

ヤイマクナホラリレ ワ エチエヤイカムイネレ。  
 yaymaknahorarire wa eci=eyaykamuyner.  
 夫婦になってあなた達はそれで神格を高められます。

エアラパ ヤクン カムイ メノコ エアシリ カ エヤイコプンテク。  
 e=arpa yakun kamuy menoko easir ka eyaykopuntek.  
 あなたが行ったらカムイの女性は本当に喜びます。

エテレ ワ アン ペ ネ クシ キ オアシ ルウェ ネ ナ。」  
 e=tere wa an pe ne kus ki oasi ruwe ne na."  
 あなたを待っているので、喜びますよ。」

セコロ カネ ハウェアン テク ヒネ  
 sekor kane hawean tek hine  
 と話して、

オラウン ナニ パシ カネ ヒネ エク ヒネ イサム タ エク  
 oraun nani pas kane hine ek hine i=sam ta ek  
 すぐ走って私の側に来て

イトイコキシマ ヒネ オカアナクス  
 i=toykokisma hine oka=an akusu  
 私をしつかり掴んでいたところ、

イルカネ テク コン ネア ユク ピシカニケ  
 irukane tek kor\_ nea yuk piskanike  
 しばらくすると、例のシカのまわりに

ウェン トイラ ウェン ムニラ ウエホプニ ウエシカリ キ ヒネ  
 wen toyra wen munira uehopuni uesikari ki hine  
 ひどい土埃、ごみ屑が巻き上がり、ぐるぐると

ネロク ヌサ ウエホプンパ ネア ユク ネノ アン マ マウコホプニ  
 nerok nusa uehopunpa nea yuk neno an w\_a mawkohopuni  
 例の祭壇とともに巻き上がり、そのシカごと風とともに飛びあがった。

ウエシカンナッキ オロ タ キ フミ オロネアンペ トウリミムセ アイネ  
 uesikannatki oro ta ki humi oroneanpe turimimse ayne  
 そこでぐるぐる回りながら、音が響きわたらせて、そのうちに

ニ タイ エンカ エホプニ オロワノ アラパ フム コ トウリミムセ  
 ni tay enka ehopuni orowano arpa hum ko turimimse  
 林の上を飛んでいく音が響いた。

ケウロトッケ ニ タイ カイパ コロ アラパ フミ  
 kewrototke ni tay kaypa kor arpa humi  
 バリバリと木を折りながら行く音が

ネ ワ アン ペ アナク オロネアンペ トウリミムセ。

ne wa an pe anak oroneanpe turimimse.

それらがひとつになって鳴り響いた。

ケウロトッケ コロ トオプ エチュッポクン アオシリムケレ コロ オラウン  
kewrototke kor tooop ecuppokun a=osirmukere kor oraun  
バリバリと音を立てながら、ずっと西の方へ行き見えなくなると

「タ…… タネ ピリカ ナ。コタヌトウム……

“ta... tane pirkna. kotanutum...

「もう大丈夫だ。

コタヌ ウン ウタラ アラキ ワ エチコロ ユク ウタラ リ ャン。」

kotanu un utar arki wa eci=kor yuk utar ri yan.”

村の人も来てシカを解体してください」

セコロ カネ アユピヒ ハウェアン アクス

sekoro kane a=yupihi hawean akusu

と兄が言うと、

オロワノ ヌイナク ワ オカ ロク ウタラ アルシプシパレ ヒネ

orowano nuynak wa oka rok utar arusipuspare hine

それから隠れていた人たちもぞろぞろと出てきて

オラノ アラキ オラノ アユピ コオンカミ ロク コオンカミ ロク

orano arki orano a=yupi koonkami rok koonkami rok

やってきて、兄に拝礼し、

イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク。

i=koonkami rok i=koonkami rok.

私に拝礼した。

ウオカラパ ウオカラパ

uokarpa uokarpa

かわるがわる

オピッタ アラキ ワ イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク。

opitta arki wa i=koonkami rok i=koonkami rok.

私達に拝礼した。

「フナクタエパッカ カムイ ヘカッタラ アトウラ ワ エキムネアン パ アワ

“hunaktaepakka kamuy hekattar a=tura wa ekimne=an pa awa

「ちょうどいいあんばいにカムイの子どもたちを連れて山に来ていたので、

エネシリキヒアン。ソモアンヤクンアコタヌフ

ene siriki hi an. somo an yakun a=kotanuhu

こういう結果になったが、そうでなければ私の村には

ネプピリカビアエカラカラクニプソモネアアンシリエネアニアン。」

nep pirkapi a=ekarkar kuni p somo ne aan siri ene an h\_i an.”

何かとんでもないことが起こるという事だったわけだ」

セコロハウエオカコロ

sekor haweoka kor

と話すと、

エアシリカイコヤイライケイイエロクイイエロクコロ

easirka i=koyairayke i=ye rok i=ye rok kor

私達に感謝を言い続けて

オラノウサウサユクシケキヒネ

orano usa usa yuk sike ki hine

それから、シカを背負って

スイアユピヒアテケアニカネヒネオラノサパンルウェネヒネ

suy a=yupihi a=teke ani kane hine orano sap=an ruwe ne hine

また、兄は私の手を引き、下りて

オラノサパンルウェネ。

orano sap=an ruwe ne.

行ったのだった。

ネ コタン オッ タ サパン ヒ ワ モイレ  
 ne kotan or\_ta sap=an hi wa moyre  
 その村に下りたのは遅くなった。

ネ ロク オッカイポ ウタラ オナハ エコイソイタク ヤイフムセウシパ コロ  
 ne rok okkaypo utar onaha ekoisoytak yayhumseuspa kor  
 その若者たちは父親に事情を話して聞かせ、魔払いの声を上げると

「タプネ カネ ネ ワ エアシリカ カムイ ヘカッタラ  
 “tapne kane ne wa easirka kamuy hekattar  
 「このようにカムイの子どもたちが

フナクタエパク イコシネウパ クシケライポ  
 hunaktaepak i=kosinewpa kuskeraypo  
 ちょうど私のところに訪ねてきたおかげで

アエコタヌフモイレ アアン ペ エネ アラウェンカムイ  
 a=ekotanuhumoyre aan pe ene arwenkamuy  
 それで村が静かだったということだ。そんな魔物が

エネ ユク トパ オロ オマ ワ サン マ  
 ene yuk topa oro oma wa san w\_a  
 このようにシカの群れの中に入っていて出てきて

カムイ ヘカッタラ オカ クシケライポ  
 kamuy hekattar oka kuskeraypo  
 カムイの子どもたちがいたおかげで、

エアラ…… ア…… ニソシッチウ イマカケ ウン アシレパカシヌ ワ  
 ear... a... nisositciw imakake un a=sirepakasnu wa  
 雲の彼方への道を教えられて

パイエ ワ イサム ルウェ ネ。」  
 paye wa isam ruwe ne.”  
 行き、いなくなったのだ」

セコロ ハウェアナクス

sekor hawean akusu

と言うと、

オラノ ネア チセコン ニシパ ヌペ トウラ オンカミ ア オンカミ ア

orano nea cisekor\_nispa nupe tura onkami a onkami a

その家の主は涙を流しながら拝礼した。

「ソネ…… エネ アン ペ アイクシ ネ ヤッカ

“sone... ene an pe a=i=kus ne yakka

「そのようなことがあっても、

カムイ ヘカッタラ シネウパ タクプ

kamuy hekattar sinewpa takup

カムイの子どもたちが訪ねてきてくれたことで

アプンノ キ ヒ イコロパレ

apunno ki hi i=korpore

無事だったのだ。

イコシニ タクプ キ ヤッカ アエヤライケ プ……

i=kosini takup ki yakka a=eyayrayke p...

私のところに来てくれただけでも感謝しているのに

ペ ネ アクス エネ ハワシ ヒ アン」

pe ne akusu ene hawas hi an”

こんな話になるとは。」

セコロ ハウェアン コロ

sekor hawean kor

と言いながら、

エアシリ カ ヌペ トウラ イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク。

easir ka nupe tura i=koonkami rok i=koonkami rok.

涙を流しながら私たちに拝礼した。

コタン ウ…… コタン ウン ウタラ カ オピッタ ウエカラパ ワ  
 kotan u... kotan un utar ka opitta uekarpa wa  
 村人全員が集まり、

イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク  
 i=koonkami rok i=koonkami rok  
 私達に挙げた。

オラノ ケシト ケシト オロ タ ケシト  
 orano kesto kesto oro ta kesto  
 それから、日々、そこで、毎日のように

「ナ ヘカッタラ カムイ ヘカッタラ カムイ イコシニ ワ  
 “na hekattar kamuy hekattar kamuy i=kosini wa  
 「まだ、子どもたちよ、私のところで休んで

イコロパレ ャン。シネ ト トウ ト ポカ イコシニ ワ イコロパレ ャン。」  
 i=korpare yan. sine to tu to poka i=kosini wa i=korpare yan.”  
 ください。一日、二日でも休んでください」

セコロ カネ ネア オンネクル ハウェアン ペ ネ クス  
 sekor kane nea onnekur hawean pe ne kusu  
 と、その年寄りが言うもので、

オロ タ ネ ヨク ネ チキ カムイ ネ チキ エアウナルラ パ ワ  
 oro ta ne yuk ne ciki kamuy ne ciki eawnarura pa wa  
 そこに若者がシカでもクマでも獲ってきて

ア…… ア…… アエラマス コロ  
 a... a... a=eramasu kor  
 それを楽しみにしながら、

オロ タ シノタン コロ オカアン アイネ オラウン  
 oro ta sinot=an kor oka=an ayne oraun  
 そこで遊んでいたのだが、

「タネ アコッ チャシ オルン ホシッパアン クス ネ。」  
 “tane a=kor\_ casi or un hosippa=an kusu ne.”  
 「もう、家に帰るつもりです」

セコロ アユピヒ ハウェアナクス  
 sekor a=yupihi hawean akusu  
 と兄がいでの

エネ ネア チセ コロ コタン コン ニシパ ハウェアニ。  
 ene nea cise kor kotan kor\_ nispa hawean h\_i.  
 このように家の主、村長のニシパは言った。

「ヘタク ヘタク アウタリヒ  
 “hetak hetak a=utarihi  
 「さあ、村人たちよ。

エアシリ カムイ ヘカッタラ アン クシケライポ  
 easir kamuy hekattar an kuskeraypo  
 カムイの子どもたちのおかげで

アエウタリモ アエウタリモ プ ネ ハウェ ネ ナ。  
 a=eutarimo a=eutarimo p ne hawe ne na.  
 私達は平穏にいるのですよ。

コヤイカッピリカレ ワ  
 koyaykatpirkare wa  
 身ぎれいにして、

ウェン クン ネノ ニシパ ネノ ヤイカッピラ…… カレ  
 wen kur\_ neno nispa neno yaykatpira... kare  
 貧乏人なりに、ニシパなりに、身ぎれいに

コアシカイ パクノ キ ワ イコレ ャン。」  
 koaskay pakno ki wa i=kore yan.”  
 できるだけしなさい」

セコロ カネ ハウェアナクス ネア アユピヒ エネ ハウェアニ。  
 sekor kane hawean akusu nea a=yupihi ene hawean h\_i.  
 というと、兄はこのように言った。

「アウニ タ カ  
 “a=uni ta ka  
 「私の家にも

ポロンノ アン ペ イコン ネ イコロ アナクネ イヨイペ アナクネ  
 poronno an pe ikor\_ne ikor anakne iyoype anakne  
 宝物でも食器でもたくさんあり、

イカシマ パクノ ポロノ アコロ ペ ネ ルウェ ネ。  
 ikasma pakno porono a=kor pe ne ruwe ne.  
 あまるほど持っています。

イコロ アナク イヨイペ アナク アコン ルスイ カ ソモ キ コロカ  
 ikor anak iyoype anak a=kor\_rusuy ka somo ki korka  
 宝物も食器もほしいと思わないけれども、

アイヌ アコン ルスイ ルウェ ネ ナ。  
 aynu a=kor\_rusuy ruwe ne na.  
 人がほしいのです。

ハウェ ネ チキ イコロ アッカリ ネプ アッカリ  
 hawe ne ciki ikorakkari nepakkari  
 そういうことなら、宝物より何より

アイヌ ポンノ アイコロパレ コロ ウェン ペ ヘ アン?」  
 aynu ponno a=i=korpore kor wen pe he an?"  
 人を少しでも連れて行ってはダメでしょうか?」

セコロ カネ チセ コン ニシパ エウン ハウェアナクス  
 sekor kane cise kor\_nispa eun hawean akusu  
 と家の主のニシパに向かって話すと

「ピリカ ハウエ ネ ネ。ピリカ ハウエ ネ。」

“pirka hawe ne ne. pirka hawe ne.”

「いいでしょう。いいでしょう」

「オラウン トオ チセ コロ イマッネポネ アオカ トウン アネ プ ネ クス

“oraun too cise kor imatnepone aoka tun a=ne p ne kusu

「それからあの娘さんは、私たちは二人なので、

ヘカチ パテク アネ クス スケ カ アエウコヤイランペウテク

hekaci patek a=ne kusu suke ka a=eukoyayranpewtek

男の子ばかりなので、料理の仕方も分からなかった。

マカナン コロ キ コロ オカイ ペ アネ アクス

makan an kor ki kor okay pe a=ne akusu

どうにかしていたのだったけれど

スケ ワ イイペレ クス ソモ アイトゥラレ ルスイ ルウェ ヘ アン?」

suke wa i=ipere kusu somo a=i=turare rusuy ruwe he an?”

料理をして食べさせてもらうために連れて行きたいけれど、どうでしょうか」

セコロ カネ ハウエアン。アユピヒ キ アクス

sekor kane hawean. a=yupihi ki akusu

と兄がそう言うと

「ピリカ ハウエ ネ。ピリカ ハウエ ネ。」

“pirka hawe ne. pirka hawe ne.”

「いいでしょう。いいでしょう。」

セコロ カネ ハウエアン コロ

sekor kane hawean kor

と話すと、

オラノ ネア ウタラ ポイセレ アイコロパレ ルウェ ネ ヤカイエ。

orano nea utar poyer a=i=korpore ruwe ne yak a=ye.

人々の何人かを連れて行ってもいいといった。

エヤイコプンテク パ コロ コロ ワ オカイ ペ ウサ ウサ セ カネ オカ ワ  
 eyaykopuntek pa kor kor wa okay pe usa usa se kane oka wa  
 彼らは喜びながら、持つて行くものを背負いながら

イトウラ パ ネア ポン メノコ カ アイトウラレ ヒネ イトウラ ワ サン。  
 i=tura pa nea pon menoko ka a=i=turare hine i=tura wa san.  
 ついてきた。その女の子も連れられて一緒に下りた。

ネア オッカイポ ポニウネ ヒケカ アイトウラレ。  
 nea okkaypo poniwne hikeka a=i=turare.  
 その若者の年少の方も連れられて來た。

ポロ ヒケヘ オンネ ウタラ エブンキネ クス  
 poro hikehe onne utar epunkine kusu  
 大きい方は年寄を守るために

アアヌ ヤク チセ コロ クル イエ プ ネ クス  
 a=anu yak cise kor kur ye p ne kusu  
 残すと家の主が言うので

ポニウネ クル イトウラ  
 poniwne kur i=tura  
 年少の人を連れて行った。

マタパ トウラノ イトウラ パ ヒネ モヨ ノ ウタン ネ コロカ  
 matapa turano i=tura pa hine moyo no utar\_ne korka  
 妹も連れて行き、少ない人数ではあったが

アイトウラレ ヒネ サパン ルウェ ネ。  
 a=i=turare hine sap=an ruwe ne.  
 私達と一緒に行つたのだった。

アコロ オタサム タ サパン ルウェ ネ  
 a=kor Otasam ta sap=an ruwe ne  
 私達のオタサムまで下り、

オラノ イトゥラ ウタラ コタン カラ ウカスイ

orano i=tura utar kotan kar ukasuy

それから一緒に行った人々で村づくりを助け合い、

ウタシパ ア ウタシパ ア アエウカスイ ワ チセカラパ

utaspa a utaspa a a=eukasuy wa cisekarpa

代わる代わる助け合って、家を作った。

エウモンポクトウシマク パ。

eumonpoktusmak pa.

忙しく働いた。

コタン ノシキ タ アウニヒ アン クニ ネ イピシカニケ タ

kotan noski ta a=unihi an kuni ne i=piskanike ta

村の中心に私の家があり、その周りが

イランマカカ シラン ペ ネ クス

irammakaka siran pe ne kusu

きれいに開けた場所なので

チセカラ パ エウモンカタウヌレプ アイネ ピリカ モヨノ コタン ネ コロカ

cisekar pa eumonkataunurep ayne pirka moyono kotan ne korka

家を作った。頑張って、きちんとした、小さな村ではあるが

ピリカ コタン ネ アン ルウェ ネ ヒネ

pirka kotan ne an ruwe ne hine

いい村となり、

オラ ネア ポニウネ オッカイポ アナクネ イソイケヘ タ ウニ アカラ ワ

ora nea poniwne okkaypo anakne i=soykehe ta uni a=kar wa

それから年少の若者は、私の家の近くに家を作り

エアシリ イリワク アユピヒ トゥラノ イリワク コラチ

easir irwak a=yupihi turano irwak koraci

本当に兄も含めて兄弟のように

アオカ トウラノ イリワク コラチ ウラムアン ウタシパ キ コロ  
 aoka turano irwak koraci uramu=an utaspa ki kor  
 私達は兄弟のように互いを思っていたのだが、

オロワノ ネシリ エネ アニ。

orowano ne siri ene an h\_i.

それからは次のような様子だった。

オロヤチキ アユピヒ ウエインカラクン ネ アアン マ  
 oroyaciki a=yupihi ueinkarkur\_ ne aan w\_a  
 気が付いてみると、兄は千里眼を使う人であり、

ネイ タ カ ネプ カ アエキマテク ペ ヘネ オカ クシ ネ コロ  
 ney ta ka nep ka a=ekimatek pe hene oka kus ne kor  
 いつも何か私達を脅かすようなことがあれば

ルウェトク オロケ シックシパレ プ ネ プ ネ クス  
 ruwetok orke sikkuspare p ne p ne kusu  
 先々まで見通すので

エウン イカ オパシ ワ イカ オピウキ ワ ネ ャ  
 eun ika opas wa ika opiwki wa ne ya  
 どこに人を助けに行き、救いに行くか、

エネ ネ ワ ピリカ クニ エイパカシヌ ネ ャ キ プ ネ クス  
 ene ne wa pirka kuni eypakasnu ne ya ki p ne kusu  
 どうしたらよいかを教えてやるので、

エアシリ カ イコロ ピリカ ヒ イヨイペ ピリカ ヒ  
 easir ka ikor pirka hi iyoyope pirka hi  
 宝物のいいものも、食器のいいものも

ネイ タ ネ ャッカ イカ ウン アオクシパレ  
 ney ta ne yakka i=ka un a=okuspare  
 いつも私のところに集まって、

ウサ オカイ ペ ピリカ ヒケ パテク  
 usa okay pe pirka hike patek  
 いろいろといいものばかりを

アイコヌムケ ワ アイコロパレ プ ネ クス  
 a=i=konumke wa a=i=korpare p ne kusu  
 私に選んでくれたので

アコロ ポロ チャシ キリテク カネ アカラ  
 a=kor poro casi kirtek kane a=kar  
 私の大きな館は一杯になって、

ネア イトウラ オッカイボ<sup>°</sup> カ ピリカ メノコ アエエトウンカ  
 nea i=tura okkaypo ka pirka menoko a=eetunka  
 私と一緒に来た若者もきれいな女性を嫁にした。

タネ アナクネ アコロ ユピ カ シオッカヨ ネ プ ネ クス  
 tane anakne a=kor yupi ka siokkayo ne p ne kusu  
 もう兄も一人前の男になったので、

ピリカ メノコ ヤイエトウンカラ ヒネ トウラノ オカアン  
 pirka menoko yayetunkar hine turano oka=an  
 きれいな女性を嫁にし、一緒に暮らしていた。

ピリカ メノコ ヤイエトウンカラ でない ネア イトウラ ポン メノコ アナク  
 pirka menoko yayetunkar DENAI nea i=tura pon menoko anak  
 きれいな女性を嫁にしたんじゃなかった。一緒に来た女の子は

アコロ ユピ コロ ヒネ オラノ トウラノ オカアン。  
 a=kor yupi kor hine orano turano oka=an.  
 兄と結婚し一緒に暮らしていた。

アシヌマ カ タネ アナクネ シオッカヨ アネ クス  
 asinuma ka tane anakne siokkayo a=ne kusu  
 私ももう、一人前の男になったので、

ピリカ メノコ アユピヒ イエエトウンカラ ヒネ  
 pirka menoko a=yupihi i=eetunkar hine  
 きれいな女性と、兄が結婚させ

オラノ ウソイタ ウソイタ ルプネ チセ アカラ ワ オロ タ オカアン マ  
 orano usoita usoita rupne cise a=kar wa oro ta oka=an w\_a  
 それから、隣り合って大きな家を作つて、そこで暮らしていた。

アアスルフ オタサムン ウタラ セコロ ハワシ コロ アアスル アシ  
 a=asuru hu Otasam un utar sekor hawas kor a=asuru as  
 私達の尊はオタサムの人の話として尊になった。

カムイ カムイ サシニ ウタラ セコロ カネ ハワシ コロ アアスル アシ ワ  
 kamuy kamuy sasini utar sekor kane hawas kor a=asuru as wa  
 カムイの子孫である者たちという話として尊になり、

ハンケ トウイマ アエラナク ペ  
 hanke tuyma a=eranak pe  
 近くの心配事も遠くの心配事も、

トウ モト オロケ アコロ ユビ° ピタ プ ネ クス  
 tu moto orke a=kor yupi pita p ne kusu  
 兄は原因を解き明かすので、

ヌカラ ペ ネ クス エネ ネ ワ ピリカ クニ エイパカシヌ  
 nukar pe ne kusu ene ne wa pirka kuni eypakasnu  
 兄には原因はが見えるので、どうしたらよくなるかを教えて

モシッ トウイカ タ アスル アシ コロ オカアン ペ  
 mosir\_tuyka ta asuru as kor oka=an pe  
 国に尊が立っていたのだが、

オタサムン ヘカッタラ アネ アクス アイエ ナ。  
 Otasam un hekattar a=ne akusu a=ye na.  
 オタサムの子どもたちが私で、話すのですよ。

セコロ オタサムン カムイ ヘカッタラ イソイタク。

sekor Otasam un kamuy hekattar isoytak.

とオタサムのカムイの子どもたちが話した。

(萱野：あー、それはどうもありがとうございます)

### 【注】

[1] この行は、言いさしと考えた。これ以降の鹿追い見学の注意事項、鹿追いの描写に関しては、解釈上の疑問点が多く残っている。

## 10-2 日付紹介 ウエペケレ「オタサムン カムイ ヘカッタラ」

### 解説

語り手：平賀さだも  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えー、昭和44年2月、今日は17日です。平賀さだもさんに uepeker [散文説話] をやってもらいました。今の uepeker はこれ、えー、題は Otasam un kamuy hekattar [オタサムの神様の子どもたち] と、いわゆる、オタサムというのは今風に言えばあの、小樽だと聞きますが

平賀：小樽

フチ：小樽だべね。

萱野：その、小樽にいわゆる神童といいましょうか、神様の子どもと俗に言われながら、わたくしたち2人、兄弟で生活をしておりました。今語っておるのは2人兄弟の弟のほうが、そのいろいろな生活のことを話をしてくれるわけです。

えっと、わたくしたち兄弟、何不自由なくということは無いわけですね、今のは、父もいなければ母もおらずに2人だけが生活をしておった。

ある日のこと兄は「石狩のほうへ遊びに行きたいから行きましょうよ。」というわけでその、わたくしを誘ったので2人で石狩のほうへ遊びに来た。そしてまあ、何十戸かの部落へ来て、そこの酋長の家へ2人で行つたと、そのあたりはまあ他の uepeker [散文説話] に、どれにも出てくるわけですが、非常にそのへんの描写は細かく出て、まあ2人の少年が尋ねて来て、その家へ来る。そして、外で立って戸口をこう叩く、いわゆる、いざないを問うわけですが、そういう場合でも非常にその細かく描写してあります。

そうすると家の中から女の人がそっとその簾を斜めに開けて、それをその「誰それさんらしき人が来ていますよ。」と家の中へ言うと「それは多分その、小樽の有名な、kamuy hekaci [神様の子ども] ではないだろうか、神様の子どもではないだろうか、すぐに招き、まあ招じ入れ

たらいいでしょう。」と、いうようなことを中で声があった。

すると中では、どの uepeker〔散文説話〕にもやはり出るんですけれども、籌を使った音、それからこう新しい敷物 toma〔ござ〕といいますがその、ござを敷いておる音、そうしたことなんかがあって「さあさあ」と言われて中へ入る。そしてあの aynu〔アイヌ〕ふうに言うといわゆる横座のほうへ兄が座り、その横へわたくしも座ったというふうに始まるわけです。

そしてそこのお爺さんに「どちらからですか?」「小樽から来た」「ああそうでしたか、有名なあの、kamuy hekaci 神の子どもでしたか。」と言われながら話をして、まあ夕方になるとそこの2人の息子が肉なんかを背負って山から帰って来る。

そうすると、またその人たちも入って来て、まあ型のように挨拶をして、いろいろな話から夜になって、「せっかく遊びに来てくれたのに、何をして皆さん、まあ来たその、kamuy hekaci と言われるその子どもたちに見せたらいいの?」と、まあ相談が始まる。それならその、鹿を

平賀：ukoyukokewe〔一緒に協力して鹿を追い出す〕と言う。

萱野：うん、ukoyuk'okewe と言ってその鹿を、ぼい〔追い〕下ろしてそれをまあ叩いて獲ったり撃って獲ったりというようなそういう、まあ1つの行事みたいな遊びがあるからそれをやろうではないかということに、そこのお爺さんと息子たちが相談して決まったと。

そしてそれからまあ、夜が明けてその山へ行く、そうするとその辺りなんかまあ、昔のその鹿の多いさまが非常によくでておるんですけども、まあ、2隊になって、いわゆる勢子がこう右から左からと、追ってくると、一か所へ鹿がもう、わんさと集まって、それを撃ったり叩いたりしてまあ、獲ったと。そして皮剥ぎが始まつたら、1頭の

(電話のベル)

萱野：ん、ん、ん…… どっこいしょ、どこまで言ったんだったけなーと、

平賀：ん…… ねえ、

萱野：あー、山行って鹿をあれして、えーと、

平賀：まずその腹切ってみたとこ

萱野：うん、腹切ったとこだな。

平賀：腹切るところだ。

萱野：うんそう。えー *iri* [皮剥ぎ] が始まって、*iri* と言うのは皮剥ぎが始まつて、皮を剥いでいる1つの組の中で何かその皮剥ぎをしている腹を裂いている時に棒た……棒立ちになって、若い人たちがもう、何ちゅうかな身じろぎもしないというようなことでいるのを……いる1組があつたと。

そしたらそこ、そのうちの若い人がまあ来て私の兄にいうのには、何かその、鹿の腹を裂くと、雄鹿なのにその鹿の腹の中では、子どもだな？ うんと、

平賀：子ども *an pe* [である者] (?) パッ……河童。

萱野：ん？

平賀：河童のこと *pon* [小さい]

萱野：あ一なる（ほど。）

平賀：*pon rupne aynu* [小さい大人の男] って言うの。

萱野：あ一*pon rupne aynu* ほ一

平賀：小人の恐ろしい河童のこと

萱野：あ一なるほど、河童のこと

平賀：うん。*pon rupne aynu* って言えば河童のこと。

萱野：あ一なるほどね。その河童が入っていたと。してそれ「どうしたらしいんだろうか？」と言ってきた。それを聞いたらその兄は非常にその顔色を変えて驚いてそれで大急ぎでその、*wen nusa* [悪い祭壇] と言って *aynu*

はこのいろんな祭壇作る場合でも材料によって、いい神様にあげる祭壇と悪い神様にあげる祭壇があるんだが、その悪い神様にあげるところの材料使って nusa を作れと、祭壇を作れと。それもまあ、6つの種類を作るんだと。それをまあ、大急ぎで作るつたらまあ若い人沢山おるので、大急ぎでそれを作った。

そしたら兄だけが行って、まあその、魔物である河童に言うのには、「お前はここへ迷って来たんだと。お前のお嫁になるのは、ずっとずっとあの、 nisositciw imakaketa [雲を突き抜けたその向こう] と言ったかな? いや、どこちゅったっけ?

平賀：うん、 そう nisositciw imakakete と言うから、お日様の入る下っちゅうんだね。

萱野：あーなるほどね。その

平賀：地球の下っちゅうことかな？

萱野：その、いわゆる西の国にずっともう普通では人間も住めないような国へ行くと、行けと。そこではお前を待っている何々の悪い神様……、じやなくて、まあその河童に言えばお前の連れ合いなる者も待っているから」と、うまく言い含めてさっと身をかわすと、その兄がそこを離れて……離れると同時に今その腹を裂いた鹿とか、それからその wen inaw [悪いイナウ] という悪いイナウと共にその、風を巻いて

平賀：竜巻だ。

萱野：竜巻が起こるようにしてその飛んでいったと。それを見てまあ、村の人たちもほっと胸をなでおろして、まあ家へ帰った。そしたら兄たちはさっそく爺さんに報告をして、「今日はこうこうでした」と。したら、「いや、それはおかげさんで、この村に何か災いが起こるはずが、 kamuy hekaci であるあんたたちが来てくれたおかげで、何でもない。本当に有難うございました。」と言ってたくさんのお礼の品物と、それから何人の人を分けてもらって私たちは Otasam の私たちの村へ帰って何不自由なく生活をしておりました。

そして、私の兄は ueinkar [千里眼で見通す] と言ってその全てのこととをこう見通す力があった人なので、近隣近在の心配事は全部

平賀：千里眼だな。

萱野：うん、全部それを行って治してやったり、どう処置するかということをしてやるので、だんだんだんだん名聲も高まり、何不自由なく私たちは生活をしておりましたと、Otasam の kamuy hekaci が言いました。

平賀：hekaci が語ったと。はい（笑）

萱野：えー、というわけでしたね。

平賀：そうよ。

萱野：この uepeker [散文説話] の場合なんかこれまあ私が喋るといずれの場合もそう丁寧に行かないんですけども、実際はその歩く仕草、矢を撃つ仕草も 1 つ 1 つ実際にその丁寧に、aynu 風に言うと。矢を撃つ構えから、あるいはあのよその家へ訪ねて行った、あるいは onkami [男性の挨拶] をする挨拶をする仕草ですね。

そうしたことなどが実に細かにその、出ておるまあ、ものなのです。まあこうしたのはいずれ、もうあの一項目ごとに、一項目というか、一言一言区切って、えーまあ活字にする時代があれば、これ非常に嬉しいわけですね。

## 10-3 ウエペケレ

「ウラユシウンクル」

ウラユシの人

(最後テープ切れで本編中断)

語り：平賀さだも

イシカラ ホントモ コロ ニシパ セコロ アイエ コロ アン ペ アネ ヒケ  
 Iskar hontomo kor nispa sekor a=ye kor an pe a=ne hike  
 石狩の中流のニシパと私は言われているものであり、

エアシリ カ プリピリカアン。イソナン。  
 easir ka puripirka=an. ison=an.  
 本当に行いも良く、狩もうまい。

ネプ ネ ヤッカ アエアイカビ イサム。  
 nep ne yakka a=eaykap h\_i isam.  
 何にしても私が下手であることはない。

かやの さん コラチ ネプ ネ ヤッカ アエアイカビ イサム。  
 KAYANO SAN koraci nep ne yakka a=eaykap h\_i isam.  
 萱野さんのように何に關してもできないということはない。

パルンクル アネ、シサム イタク カ アエアシカイ。  
 parunkur a=ne, sisam itak ka a=easkay.  
 雄弁で日本語も良くでき、

アイヌ イタク カ アエアシカイ。  
 aynu itak ka a=easkay.  
 アイヌ語も良くできる。

イソナン ペ ネ クス ふふふ  
 ison=an pe ne kusu HUHUHU  
 狩も上手なので

エアラキンネ ふふ クカラク<sup>[1]</sup>、 かやの クカラク ネノ カネ  
 earkinne HUHU ku=karku, KAYANO ku=karku neno kane  
 山に行くと、フフフ、私の甥、萱野さんのように

アサパ カ ピリカ プ ネ クス  
 a=sapa ka pirkka p ne kusu  
 私は頭も良いので

アコタヌ ウン ウタラ オピッタ イエオリパク パ。  
 a=kotanu un utar opitta i=eoripak pa.  
 私の村の人たちはみんな私を敬っている。

イネアプ クスン アイエオリパク ワ シリ キ ャ カ アエラミシカリ。  
 inep kusun a=i=eoripak wa siri ki ya ka a=eramiskari.  
 こんなにも敬われているのは他に私が見たこともないほどだった。

オラ ネプ イエトク タ アヌ ペコロ チカシヌカラアン ペ ネ クス  
 ora nep i=etok ta a=anu pekor cikasnukar=an pe ne kusu  
 それから、私の前に(獲物が)置いてあるかのように、恵まれていたので

ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ペ ネ コロカ  
 nep a=kor\_rusuy ka somo ki pe ne korka  
 何を欲しいとも思わずいたのだが、

トノコウイマムアン、シネパ アラスイ ネ ランケ キ コロ  
 tonokouymam=an, sinepa arsuy ne ranke ki kor  
 和人のところへ交易に一年に一度ずつ行くといった感じで、

ポ ヘネ エアシリ トノ コタン タ アラパアン マ  
 po hene easir tono kotan ta arpa=an w\_a  
 何度も和人の村へ行っていて、

ランマ オロ タ アラパアン ランケ。

ramma oro ta arpa=an ranke.

いつもそこに行くのが習慣になっていた。

トノ オッ タ アラパアン コロ アナクネ

tono or\_ta arpa=an kor anakne

和人のところへ行くと

ヤイカタ アポホ ヘネ アラム シンネ ノ カネ

yaykata a=poho hene a=ramu sinne no kane

自分の子どもを思うかのように

アコッ トノ イエオリパク ワ エアシリ カ イエオリパク。

a=kor\_ tono i=eoripak wa easir ka i=eoripak.

私のお得意様の和人は私を敬い、本当に大事にしてくれた。

ピリカ イコロ キ。イエヤム ノ イレウシレ。

pirka i=kor ki. i=eyam no i=rewsire.

私を大切にし、気遣い泊らせた。

あしがる ウタラ カ ポロンノ オカイ ペ ネ クス アイエブンキネ。

ASIGARU utar ka poronno okay pe ne kusu a=i=epunkine.

足軽たちもたくさんいるので、私は守られていた。

アラパアン コロ ナニ イサム マ アケマ カ アフライエ。

arpa=an kor nani i=sam w\_a a=kema ka a=huraye.

行くとすぐに私の側から私は足を洗われ、

アテケ カ アフライエ。

a=teke ka a=huraye.

手も洗われた。

イランマカカ キ ワ トノ コロ ざしき オロ アイオマレ。

irammakaka ki wa tono kor ZASIKI or a=i=omare.

きれいにして和人の座敷に私を入れた。

アシケヘ オラノ アピタッパ ワ  
 a=sikehe orano a=pitatpa wa  
 それから荷物を私は解き、

マカン アコッ トノ ラム イケ ヤイカタ ウニ タ アリ。  
 makan a=kor\_ tono ramu h\_ike yaykata uni ta ari.  
 ある時は、殿様が気に入った方を自分の家に置き

マカン ラム ヒケ フンタ コッパ ワ ソ…… アソイエンパレ。  
 makan ramu hike hunta kotpa wa so... a=soyenpare.  
 ある時は、気に入った人が札を付けて、外に出した。

ナ エケシンネ アソイエンパレ プ ネシリキ  
 na ekesinne a=soyenpare p ne siriki  
 あちこち外に出した。

コロ オラノ アナクネ ウサ イミ キンカイ ネ チキ  
 kor orano anakne usa imi kinkay ne ciki  
 すると、それからは着物の荷やら、

ウサ アマム キンカイ ネ チキ サケ オンタロ ネ チキ  
 usa amam kinkay ne ciki sake ontaro ne ciki  
 穀物の荷やら、酒樽やら

ウサ アコン ルスイ ペ、ウサ チョイペプ オツ タ イコロ オツ タ  
 usa a=kor\_ rusuy pe, usa coypep or\_ ta ikor or\_ ta  
 欲しいものを、食器でも宝物でも

アエヤ…… アエヤイチプシケカヌカラ カネ ワ リヤナン (?) ランケ。  
 aeya... a=eyaycipsikekanukar kane wa riyana(?) ranke.  
 積んだ舟の積み荷を見ながら戻ってきた(?)。

シネパ アラスイ ネ ランケ アラパアン マ キ コロ アン ペ アネ イケ  
 sinepa arsuy ne ranke arpa=an w\_a ki kor an pe a=ne h\_ike  
 一年に一度そうやって行っていたのだが、

イヌアナウェ エネ アニ。

inu=an h\_awe ene an h\_i.

このような話を聞いた。

「ウラユシ ウン クル パクノ ウエン ケウトゥム コロ べ

“Urayusi un kur pakno wen kewtum kor pe

「ウラユシウンクルほど悪い心を持った者は

イサム ペ ネ ヒネ

isam pe ne hine

おらず、

エアシリ カ キムケ クシ べ コマウタサ ピシケ クシ べ コマウタサ

easir ka kimke kus pe komawtasa piske kus pe komawtasa

山を通るもののかいを嗅ぎ、浜を通るもののかいを嗅ぎ

ユク ロンヌ べ コウイナ カムイ ロンヌ べ コウイナ

yuk ronnu pe kouyna kamuy ronnu pe kouyna

シカを獲ったものから奪い、クマを獲ったものから奪っている。

パク ウエイサンペコロ べ ネ。」

pak weysampekor pe ne.”

これほどまでに精神の悪い者なのだ」

セコロ カネ ハワシ アヌ コロ アナン べ ネ。

sekor kane hawas a=nu kor an=an pe ne.

という話を私は聞いていたのだった。

「マカナク キ プ エネ フナク エク べ エネ ハウェアン コロ

“makanak ki p ene hunak ek pe ene hawean kor

「いったいどんなものがどこから来て、そんな話になって(?)

ウラユシ タ アン ハウエ アニ アン？」

Urayusi ta an hawe an h\_i an?”

ウラユシにいるという話なのだ？」

セコロ ヤイヌアン コロ アナン ペ ネ。

sekor yaynu=an kor an=an pe ne.

と思いながらいた。

アオヤモクテ ハワシ ネ コロ アナン ペ ネ ア プ、

a=oyamokte hawas ne kor an=an pe ne a p,

疑問に思う噂であったのだが、

シネアンタ スイ ヤイエトコイキアン アイネ

sineanta suy yayetokoyki=an ayne

ある日、また準備をして

スイ ウイマムアン クニ アラム クス ヤイエトコイキアン。

suy uymam=an kuni a=ramu kusu yayetokoyki=an.

交易に行こうと思い、準備をした。

ウサ チホキ アカラ ア アカラ ア

usa cihoki a=kar a a=kar a

毛皮をたくさん作って

イランマカカ アトムテ ノ アカラ ペ ネ クス

irammakaka a=tomte no a=kar pe ne kusu

丁寧にきれいに作ったので

エアシリ カ トノ ウタラ カ エウコヤイコプテク ノ

easir ka tono utar ka eukoyaykoputek no

本当に殿様達も喜んで

ア…… ウホブンパレ ノ

a... uhopunpare no

いっせいに立ち上がって

アウコエトウシマク チホキ パテク アカラ ペ ネ クス

a=ukoetusmak cihoki patek a=kar pe ne kusu

先を争うような毛皮ばかり作ったので、

スイ ピリカ チホキ アカラ アカラ アカラ アカラ アワ  
 suy pirkka cihoki a=kar a a=kar a a=kar a wa  
 いい毛皮を作つて作つて作つて

アクサ エアシカイ パクノ アカラ ヒネ アエヤイエトコイキ。  
 a=kusa easkay pakno a=kar hine a=eyayetokoyki.  
 舟で運べるだけ運べるほど作つて用意した。

「ナ ヘンパク ト カ アナン コロ オラウン レプナン ナンコロ。」  
 “na henpak to ka an=an kor oraun repun=an nankor.”  
 「あと何日かしたら出よう」

セコロ ヤイヌアン コロ アナン ア プ、  
 sekor yaynu=an kor an=an a p,  
 と思っていたのだが、

シネアンタ エソイネ フマシフマシ、ハワシハワシ ヒネ  
 sineanta esoyne humashumas, hawashawas hine  
 ある日、外から音がし、声がして、

アマチヒ ソイネ アクス アブンノ アブン ハウェ エネ アニ。  
 a=macihi soyne akusu apunno ahun hawe ene an h\_i.  
 妻が外に出たところ、静かに入ってこのように言った。

「エアシリ カ ソイ タ  
 “easir ka soy ta  
 「外に、

オッカイポ カ ウタラパケ エアシリ ヤヤン アイヌ オアラ ソモ ネ ノ  
 okkaypo ka utarpake easir yayan aynu oar somo ne no  
 若者でも立派な人、普通の人間ではないように

アヌカラ フミ アン ペ ソイ タ エク ワ アン。」  
 a=nukar humi an pe soy ta ek wa an.”  
 見える人が来ています」

セコロ ハウェアン マ アヌ ヒケ  
 sekor hawean w\_a a=nu hike  
 と言うのを私は聞いて

「ソモネイペカ ウラユシ ウン クル セコロ アイエ プ、  
 “somoneypeka Urayusi un kur sekor a=ye p,  
 「あろうことかウラユシウンクルというもの、

アスラシ ペ エ ネ アワ イコサン ハウェ ソモ ヘ アン？」  
 asuras pe h\_e ne awa i=kosan hawe somo he an?”  
 噂のものが私のところへやって来たという話ではないのか」

セコロ ヤイヌアン。  
 sekor yaynu=an.  
 と思った。

ヤイヌアン コロカ  
 yaynu=an korka  
 思ったのだが、

「ウナフンケ。  
 “unahunke.  
 「中に入れなさい。

ホクレ オロ…… オリパク ピリカノ オリパクノ ウナフンケ。」  
 hokure or... oripak pirkano oripakno unahunke.”  
 ちゃんと丁重に招待しなさい」

セコロ アマチヒ アイエ ルウェ ネ アクス  
 sekor a=macih i a=ye ruwe ne akusu  
 と妻に言うと

ソイネ ヒネ ウナフンケ ルウェ ネ ワ  
 soyne hine unahunke ruwe ne wa  
 外に出て招待して、

アイヌ アフン マ エカリ アヌカラ ヒケ  
 aynu ahun w\_a ekari a=nukar hike  
 人が入ってくるのを見たのだが

エアシリ カ オッカイポ カ ウタラパケ ソモ アナク アイヌ サニ ネ シリキ  
 easir ka okkaypo ka utarpake somo anak aynu sani ne siriki  
 本当に若者でも立派で人間の子孫でもないようだった。

カムイ シリ ネ アン クル ネ ヒネ  
 kamuy siri ne an kur ne hine  
 カムイのような人で

アフン トイ トゥカリ エアパマカ ヒネ アフン ヒネ  
 ahun toy tukari eapamaka hine ahun hine  
 入口の手前で戸をあけて入ってきて

アペ エトク タ ア クニ アカラ ワ アン ペ ネ クス  
 ape etok ta a kuni a=kar wa an pe ne kusu  
 横座に若者が座るように私がしておいたところ、

アペ エトク タ ア ヒネ  
 ape etok ta a hine  
 若者は横座に座り、

アエランカラプ ウエランカプアン ルウェ ネ コロ オラウン  
 a=erankarap uerankap=an ruwe ne kor oraun  
 私たちは挨拶して、それから

「オッカイポ ニシパ、フナク ワ アプカシ クン ネ ルウェ アン？」  
 “okkaypo nispa, hunak wa apkas kur\_ne ruwe an?”  
 「若いニシパ、どこから来た方なのですか」

セコロ ウエペケンヌアナクス  
 sekor uepekennu=an akusu  
 と尋ねたところ、

「ウラユシ ウン クル アネ ルウェ ネ。

“Urayusi un kur a=ne ruwe ne.

「私はウラユシウンクルです。

ウラユシ ワ…… ウラユシ ウン ウェンクル アネ ルウェ ネ。」

Urayusi wa... Urayusi un wenkur a=ne ruwe ne.”

ウラユシの貧乏人です」

セコロ カネ ハウェアン。

sekor kane hawean.

と言った。

イ オラウン…… オラノ アマチヒ スケ ピリカ スケ キ ワ コイプニ。

h\_i oraun... orano a=macihi suke pirkka suke ki wa koypuni.

それから妻がきちんと料理をして差し出した。

エアラキンネ オリパク エアシカイ ノ カッコロ シリ アン。

earkinne oripak easkay no katkor siri an.

大変に行儀のよい様子だった。

ネ アスルアシ クン ネ カトゥ カ アエランペウテク。

ne asuruas kur\_ ne katu ka a=erampewtek.

あの噂の人物の様子であるとは思えなかった。

ネブ イイエ ヤッカ

nep i=ye yakka

何を話すにも、

ラムアン イタク オリパク イタク エイワンケ ハウェ アオクヌレ カ キ。

ramuan itak oripak itak eywanke hawe a=okunure ka ki.

賢い言葉、丁重な言葉を使って話すのにも驚いた。

オッカイポ ピリカ ルウェ カ イヨクヌレアン。

okkaypo pirka ruwe ka iokunure=an.

若者の美しさにもびっくりした。

ソモ アナク アイヌ サニ ネ ノイネ アヌクラ…… アヌカラ フミ アン コロ  
 somo anak aynu sani ne noyne anukura... a=nukar humi an kor  
 人間の子ではないかのような感じでありながら

オラノ ス…… スンケ アシ ペ ソネ アシ ペ アイエ コロ  
 orano su... sunke as pe sone as pe a=ye kor  
 それから、ウソだか本当のことだかを私は言いながら

アエウエネウサラ コロ オカアン アイネ  
 a=eueneusar kor oka=an ayne  
 語り合っていたところ、

アイタク トゥル テレテレ ヒネ エネ イタキ。  
 a=itakuturu teretere hine ene itak h\_i.  
 若者は私の言葉が途切れるのを待ってこのように話した。

「ウェン カス イコイトウパ プ アネ ワクス  
 “wen kasu ikoytupa p a=ne wakusu  
 「あまりにも暮らしに難儀しているものなので

ワクス ウラユシ タ イコヤ…… イココタンネ プ アネ コロカ  
 wakusu Urayusi ta ikoya... ikokotanne p a=ne korka  
 ウラユシにある村に住んで居るものなのですが

イコイトウパ プ アネ ワクス  
 ikoytupa p a=ne wakusu  
 暮らしに事欠いていて

ニシパ カムイ ウェン カス ウイマム コロ  
 nispa kamuy wen kasu uymam kor  
 ニシパはずいぶん交易をして

エピリカ アスル アシ ワ アエイコイトウパ ワクス  
 epirka asuru as wa a=eykoytupa wakusu  
 それで豊かな暮らしをしているという噂で羨ましいので

『ソモ イトゥラアン チキ ウェン ペ アン?』  
 ‘somo itura=an ciki wen pe an?’  
 『私を連れて行ってはくれないか』

セコロ ヤイヌアン クス ウエペケンヌアン クス サナン。」  
 sekor yaynu=an kusu uepekennu=an kusu san=an.”  
 と思ったので、お伺いしに来たのです」

セコロ カネ ハウェアン。  
 sekor kane hawean.  
 と話した。

アヌカラ ヒケ オアラ ネプ カ ウェン プリ アコラ…… タライエカ  
 a=nukar hike oar nep ka wen puri a=kora... taraye ka  
 見たところ、何も悪いところが

ソモ キ ノ アン クン ネ。  
 somo ki no an kur\_ne.  
 ない人だ。

アレウシレ ワ アヌカラ ヒケ  
 a=rewsire wa a=nukar hike  
 泊めてみて、

エアシリ オリパク エアシカイ シリ アン ワ アヌカラ ワクス  
 easir oripak easkay siri an wa a=nukar wakusu  
 本当に礼儀正しい様子も見たので

「ヤクン イトゥラ ャッカ ピリカ」  
 “yakun i=tura yakka pirka”  
 「それなら、私と一緒に行ってもいいですよ」

セコロ ハウェアナナクス チホキ アナク ポロンノ アカラ ワ  
 sekor hawean=an akusu cihoki anak poronno a=kar wa  
 と話すと、毛皮もたくさん獲り、

アサッサッケ ワ ア…… アクサ ワ サナン パクノ アカラ ワ アン。  
 a=satsatke wa a... a=kusa wa san=an pakno a=kar wa an.  
 干して、舟で運んで行くのにちょうどいいほど作っておいてあった。

ヒネ オラ ハウェアナニ ネ クス  
 hine ora hawean=an h\_i ne kusu  
 そうして、私が言ったことだったので

「ナニ ニサッタ ネ アン ヤクン  
 “nani nisatta ne an yakun  
 「すぐ明日にでも

チプ オロ アオ ワ アコロ ワ サナン クス ネ ナ。」  
 cip or a=o wa a=kor wa san=an kusu ne na.”  
 舟に積んで、持っていこう」

セコロ ハウェアナン コロ アエウコオンカミ。  
 sekor hawean=an kor a=eukoonkami.  
 と言って、互いに礼拝した。

ハウエ ネ ヤクン ウトウラアン クニ アエウコオンカミ ヒネ  
 hawe ne yakun utura=an kuni a=eukoonkami hine  
 そういう話で一緒に行くべく、互いに礼拝し、

オラ アラパ ルウェ ネ ア プ、  
 ora arpa ruwe ne a p,  
 彼は帰って行ったのだが、

ソンノ カ イシムネ ヒケ  
 sonno ka isimne hike  
 翌日、

エアシリ イシカラ ウン チプ アナク ルプネ プ ネ クス  
 easir Iskar un cip anak rupne p ne kusu  
 石狩の舟は大きいので

ポロ チプ シクノ カネ

poro cip sikno kane

大きい舟いっぱいに、

チホキ カ アナクネ シアリキキ プ カッ チホキ ネ プ ネ クス

cihoki ka anakne siarikiki p kar\_cihoki ne p ne kusu

毛皮もがんばって作った毛皮なので

エアシリ ピリカ チホキ アコッ チホキ カ ピリカ クニ アラム ア コロカ

easir pirka cihoki a=kor\_cihoki ka pirka kuni a=ramu a korka

(彼のは) 本当にいい毛皮、私の毛皮もいいものだと思っていたが、

ネプ ネ アン ワ シラナ カ アエラミシカリ ノ ピリカ チホキ

nep ne an wa siran y\_a ka a=eramiskari no pirka cihoki

(彼のは) 何と言ってよいかわからないほど、いい毛皮、

アトムテ チホキ

a=tomte cihoki

きれいな毛皮を

ライ トシカ チペクサ ヒネ サン。

ray toska cipekusa hine san.

山ほど舟に乗せて來た。

ヒネ オラノ イタカン ハウェ エネ アニ。

hine orano itak=an hawe ene an h\_i.

そこで私はこのように言った。

「テワノ サパン カトウ イシカラ プトウ タ サパン コロ

“tewano sap=an katu Iskar putu ta sap=an kor

「今から石狩の下流に行くと、

イシカラ プトウ コン ニシバ°

Iskar putu kor\_nispa

石狩の河口のニシバは

アトウイ オロ ウン チプ コロ ペ ネ ワ アコチペトウン マ  
 atuy or un cip kor pe ne wa a=kocipetun w\_a  
 海用の舟を持っているので、私はそこで舟を借りて

オロワノ アトウイ オルン チプ アニ パイエアン ランケ プ ネ  
 orowano atuy or un cip ani paye=an ranke p ne  
 それから海へその舟でいつも行っているのだよ。

アラパアン ランケ アシヌマ アナク キ プ ネ クス  
 arpa=an ranke asinuma anak ki p ne kusu  
 そうやっていつも私は行っているので

ネノ イキアン エアシリキ プ ネ ナ。」  
 neno iki=an easirki p ne na.”  
 そのようにするよ】

セコロ カネ ハウェアナナクス  
 sekor kane hawean=an akusu  
 と私が話すと、

「ピリカ。ピリカ。アコン ニシパ エネ イキ ヒ ネノ  
 “pirka. pirka. a=kor\_ nispa ene iki hi neno  
 「はい。わかりました。ニシパのしているように、

イエランポキウェン マ イトゥラ ワ イコレ。」  
 i=erampokiwen w\_a i=tura wa i=kore.”  
 私を哀れに思って連れて行ってください】

セコロ カネ ハウェアン ペ ネ クス  
 sekor kane hawean pe ne kusu  
 と話すので、

オラ ネノ ウサムチポッテアニネ  
 ora neno usamcipotte=an h\_ine  
 それから、そのように舟に乗って

チホキクサアニネ サパニネ イシカラ プトウ タ サパン。  
 cihokikusa=an h\_ine sap=an h\_ine Iskar putu ta sap=an.  
 毛皮を運んで下りて行き、石狩の河口まで下りた。

ヒネ チプ アヤプテ ヒネ オラウン  
 hine cip a=yapte hine oraun  
 そうして、舟を上げ、それから

イシカラ プトウ コン ニシパ オロ タ ヤパン ヒネ  
 Iskar putu kor\_ nispa oro ta yap=an hine  
 石狩の河口のニシパのところへ上がり

アイアフプテ イネ アフパン ルウェ ネ。  
 a=i=ahupte h\_ine ahup=an ruwe ne.  
 通されて入ったのだった。

オラノ イシカラ プトウ コン ニシパ イエヤイレンカ。  
 orano Iskar putu kor\_ nispa i=eyayrenka.  
 それから石狩の河口のニシパは私との再会を喜んだ。

ケシパ アン コロ エネ オロ タ サナン マ  
 kespa an kor ene oro ta san=an w\_a  
 毎年、このようにここに下りて、

レウシアン マ オラ アコチペトウン マ  
 reWSI=an w\_a ora a=kocipetun w\_a  
 泊まって、舟を借り

コッ チプ アニ ウイマムアン コロ  
 kor\_ cip ani uymam=an kor  
 ニシパの舟で交易に行くと

オロ タ スイ サケ ネ チキ ウサ オカイ ペ アヤオクタ ワ アコロパレ。  
 oro ta suy sake ne ciki usa okay pe a=yaokuta wa a=korpore.  
 そこでまた酒でもいろいろ陸に上げて、ニシパに渡していた。

アコホッパ ランケ。

a=kohoppa ranke.

いつも置いてきていた。

ケシパ キ コロ アン ペ アネ クス

kespa ki kor an pe a=ne kusu

毎年そうしていたので、

エアシリ イノ(?) トクイエコロ ワ アン ペ ネ クス イエヤイコプンテク

easir ino(?) tokuye kor wa an pe ne kusu i=eyaykopuntek

本当に親友なので、すごく喜んで

「スイ ニシパ ウイマム オアシ シンネ ナ。

“suy nispa uymam oasi sinne na.

「またニシパが交易に行くのだな。

ホクレ アマチヒ オリパクノ ピリカノ スケ ワ イペヤラ。

hokure a=macihi oripakno pirkano suke wa ipeyar.

早く、うちの奥さん、丁寧にきちんと料理して食べさせなさい。

オッカイポ アエラミシカリ

okkaypo a=eramiskari

若者、見たことのない、

ネ オッカイポ ニシパ ネ ャッカ ホクレ ピリカノ スケ ワ イペヤラ。

ne okkaypo nispa ne yakka hokure pirkano suke wa ipeyar.

その若者のニシパにも早くきちんと料理して食べさせなさい。

オリパクノ イキ」

oripakno iki”

丁重にそうしなさい。」

セコロ カネ マチヒ イエ コロ イエ プ ネ クス

sekor kane macihi ye kor ye p ne kusu

と奥さんに言ったので

エアシリ イエオリパク パ コロ ピリカレウシアン。  
 easir i=eoripak pa kor pirkarewsi=an.  
 本当に私達は大切にされながら、快適に泊った。

オロワ オロ タ スイ アトウイ オルン チプ トウプ アエトウン ヒネ  
 orowa oro ta suy atuy or un cip tup a=etun hine  
 それからそこでまた海用の舟を二隻借り、

オロ ウン アシケヘ アルラ ヒネ オラノ スイ ウサウンチポッテアン ヒネ  
 oro un a=sikehe a=rura hine orano suy usauncipotte=an hine  
 そこへ荷物を運んで、それからまたお互に舟に乗って、

オラノ パイエアン ルウェ ネ アイネ  
 orano paye=an ruwe ne ayne  
 航海を続け、

レウシアン ランケ コロ パイエアン ルウェ ネ アイネ  
 rewsi=an ranke kor paye=an ruwe ne ayne  
 泊りながら行ったところ

トノ コタン タ パイエアン ルウェ ネ ヒネ  
 tono kotan ta paye=an ruwe ne hine  
 和人の村に着いて

エアラキンネ アコッ トノ コン マチャ オッ タ ヤパン ワ  
 earkinne a=kor\_ tono kor\_ maciya or\_ ta yap=an wa  
 殿の治める街へ上がり

アシケヘ アセ パ カネ ワ ヤパン。  
 a=sikehe a=se pa kane wa yap=an.  
 荷物を背負って上がった。

アセ パ パクノ アセ  
 a=se pa pakno a=se  
 背負えるだけのものを背負い

アセ ニウケシ ヒケ チプ オッ タ アホッパ パ ヒネ  
 a=se niwkes hike cip or\_ta a=hoppa pa hine  
 背負って行けないものは舟に残し

ウトゥラアン マ パイエアン ルウェ ネ アクス  
 utura=an w\_a paye=an ruwe ne akusu  
 連れ立っていくと

スイ アコッ トノ リクン プヤラ カリ  
 suy a=kor\_ tono rikun puyar kari  
 また殿が高窓から、

タネ アラパアン クニ ラム プ ネ クス  
 tane arpa=an kuni ramu p ne kusu  
 もう私がやってくるだろうと思っているので

インカラ ワ アン。アナアニネ オラノ  
 inkar wa an. an aan h\_ine orano  
 見ていたのだったが、そこで

リクン プヤラ カリ ライホトイバ。  
 rikun puyar kari rayhotuypa.  
 高窓から大声で呼んだ。

「ホクレ アシンカル ウタラ アコロ オッテナ エク ナ。  
 "hokure asinkaru utar a=kor ottena ek na.  
 「さあ、足軽達、私のオッテナが来たよ。

ホクレ シケヘ ヤプテ ャン。ヤプテ ャン。」  
 hokure sikehe yapte yan.yapte yan."  
 早く荷物を上げなさい。上げなさい」

セコロ カネ ハウェアン。  
 sekor kane hawean.  
 と言った。

あしがる ウタラ カ エアラキンネ イエヤイコプンテク パ。  
 ASIGARU utar ka earkinne i=eyaykopuntek pa.  
 足軽達も本当に私達が来たことを喜んだ。

ケシパ アラパアン マイアムキリ パ プ ネ クス  
 kespa arpa=an w\_a i=amkir pa p ne kusu  
 每年、私は行って見知っているので、

イエヤイコプンテク パ コロ  
 i=eyaykopuntek pa kor  
 私達が来たことを喜びながら

オラ ネ チプ オッタ アホッパ アシケウタリ カ  
 ora ne cip or\_ta a=hoppa a=sikeutari ka  
 それから、その舟に残した荷物についても

あしがる ウタラ アコオロスッケ パ プ ネ クス  
 ASIGARU utar a=koorsutke pa p ne kusu  
 足軽達は頑張るよう言われて

タク ワ ルラ ロク ルラ ロク ルウェ ネ。  
 tak wa rura rok rura rok ruwe ne.  
 どんどん持って来て運んだ。

エアラキンネ アコッ トノ エヤイコプンテク コロ チホキ カ  
 earkinne a=kor\_tono eyaykopuntek kor cihoki ka.  
 本当に殿は喜び、毛皮も素晴らしい

ピリカ ア ヒ オッカシタ ピリカ チホキ パテク ネ ヒネ オラウン  
 pirka a hi okkasita pirka cihoki patek ne hine oraun  
 今まで以上に良い毛皮ばかりで、それから

「フナク ワ エク オッカイポ エトゥラ ルウェ アン？」  
 “hunak wa ek okkayopo e=tura ruwe an?”  
 「どこからきた若者をあなたは連れて来たんだい？」

セコロ カネ イコウェペケンヌ ワクス  
 sekor kane i=kowepenkennu wakusu  
 と私に尋ねるので

モシマ クル アトウラ セコロ ハウェアナン カ エヤイラムカラ ペ  
 mosma kur a=tura sekor hawean=an ka eyayramkar pe  
 よそ者をつれてきたと言うわけにもいかないので

「アアキヒ アトウラ ルウェ ネ。」  
 “a=akihi a=tura ruwe ne.”  
 「弟を連れてきたのです」

セコロ ハウェアナン アクス イヨクヌレ ア イヨクヌレ ア。  
 sekor hawean=an akusu iokunure a iokunure a.  
 と話すと、とてもびっくりしていた。

「ヘマンタ アイヌ サニ オアラ ソモ ネシリ イキ  
 “hemanta aynu sani oar somo ne siri iki  
 「まるで人間の子ではないようだ。

かみさま の こ ネシリ イキ  
 KAMISAMA NO KO ne sir iki  
 神様の子のようだ。

カムイ サシニ ネシリ イキ ワ アヌカラ。  
 kamuy sasini ne siri iki wa a=nukar.  
 カムイの子孫であるかのような様子に見える。

シクトゥム ネ ヤッカ アヌカラ ヒケ  
 siktumu ne yakka a=nukar hike  
 目つきを見ても

オアラ ヤヤン アイヌ ソモ ネ ワ アヌカラ ルウェ ネ。  
 oar yayán aynu somo ne wa a=nukar ruwe ne.  
 普通の人間ではないように見える。

ピリカ アク エコン ルウェ エネ アニ アン。」

pirka ak e=kor\_ ruwe ene an h\_i an.”

素晴らしい弟をあなたは持っていたのですね」

セコロ ハウェアン コロ ポ ヘネ エアラキンネ イエオリパク。

sekor hawean kor po hene earkinne i=eoripak.

と話すと、より一層私を敬った。

タンペ タプ アナク ネノ オッカイポ カ エオリパク

tanpe tap anak neno okkaypo ka eoripak

そうして若者も敬って、

アコッ トノ キ ノ ピリカノ ハウェアン コロ オラノ

a=kor\_ tono ki no pirkano hawean kor orano

殿様と丁寧に話して、それから

アコッ チホキ ウタラ マカン ラム イケ フンタ コッパ ワ アソヨクタ。

a=kor\_ cihoki utar makan ramu h\_ike huntta kotpa wa a=soyokuta.

私の毛皮をあるものには札を付けて、外に出した。

マカン ラム イケ ヤイカタ ウニ タ アリ ルウェ ネ コロ

makan ramu h\_ike yaykata uni ta ari ruwe ne kor

あるものには自分で家に置くと

オラノ アコトリトリ ヘンパク ヘンパク ト キ コロ

orano a=kotoritori hempak hempak to ki kor

それから私はそこに逗留して、

オホシノ オカアン アイネ

ohonno oka=an ayne

長いこといて、

オラノ アコッ チホキ アタイエ アルラ ロク アルラ ロク シリ エネ アニ。

orano a=kor\_ cihoki ataye a=rura rok a=rura rok siri ene an h\_i.

それから私の毛皮の対価をどんどん運んだ様子は次のようにだった。

エアシリ ウサ アミプ ネ チキ タラ ネ チキ サケ ネ チキ  
 easir usa amip ne ciki tara ne ciki sake ne ciki  
 本当に着物も俵も酒も

ウサ オカイペ イコン ネ イコロ オッ タ イヨイペ オッ タ  
 usa okaype ikor\_ ne ikor or\_ ta iyotype or\_ ta  
 なんでも宝物にしろ食器にしろ

アコン ルスイ ペ  
 a=kor\_ rusuy pe  
 私の欲しいもの、

ピリカ ヒケ アイコヌムケカラ ワ アルラ。  
 pirka hike a=ikonumkekar wa a=rura.  
 いいものを選んで運んだ。

エアシリ カ アコッ チプ オルン  
 easir ka a=kor\_ cip or un  
 私の舟へ

あしがる ウタン ルラ ロク ルラ ロク ペ ネ クス  
 ASIGARU utar\_ rura rok rura rok pe ne kusu  
 足軽達はどんどん運んでいたので

エアシリ アコッ チプ…… チプ クルカシ エプネ カネ ポロノ アイオ ヒネ  
 easir a=kor\_ cip... cip kurkasi epune kane porono a=io hine  
 私の舟の上に山のようにたくさん積んで、

オラウン ネア トノ カ ピリカノ ハウェアン。  
 oraun nea tono ka pirkano hawean.  
 それから、その殿様も丁重に話した。

「ホクレ スイ ケシパ アン コロ  
 "hokure suy kespa an kor  
 「さあ、毎年、

アコロ オッテナ エネ ワ エエク クニプ パテク アエタノシンタロ ヘ タブ  
 a=kor ottena e=ne wa e=ek kunip patek a=etanosintaro he tap  
 私のオッテナが来ることばかりを楽しみにしています。

アエヤイコプンテク コロ アエカンナラ コロ アナン ペ ネ ナ。  
 a=eyaykopuntek kor a=ekannara kor an=an pe ne na.  
 喜んで待ち焦がれているのですよ。

ケシパ アン コロ アラキ ランケ ャン。  
 kespa an kor arki ranke yan.  
 每年来てくださいね。

エアキヒ トウラ ワ アラキ ランケ ャン。」  
 e=akihi tura wa arki ranke yan.”  
 弟さんも連れてきてくださいね」

セコロ ハウェアン コロ オラウン ヤパン。  
 sekor hawean kor oraun yap=an.  
 と殿様が言いながら、私たちは陸に向かった。

オラノ ネア オッカイポ エヤイコプンテク。  
 orano nea okkaypo eyaykopuntek.  
 すると、その若者は喜んだ。

イネアプクスン エヤイコプンテク。  
 ineapkusun eyaykopuntek.  
 それはもう喜んだ。

ヌペ トウラ エヤイコプンテク コロ ヤパン ヒネ  
 nupe tura eyaykopuntek kor yap=an hine  
 涙ながらに喜びながら上陸し、

イット アプカシ ネ アクシ カ エアイカプ ウシケ ネ プ ネ クス  
 itto apkas ne a=kus ka eaykap uske ne p ne kusu  
 (石狩河口の長者のところまでは) 歩いて一日では行けない場所なので、

オロワ スイ ピリカ ポン ナイ アニケ オロ タ チプ アヤpte ヒネ  
 orowa suy pirkka pon nay an h\_ike oro ta cip a=yapte hine  
 小さな沢があるのだが、そこに舟を上げ、

オロ タ レウシエトコイキアン シリ エネ アニ。  
 oro ta rewsietokoyki=an siri ene an h\_i.  
 そこに泊まる準備をする様子は次のように

ネプ アテケ ケレ シリ カ イサムノ  
 nep a=teke kere siri ka isamno  
 何も私の手に触れさせることもなく

スケ エトコイキ ネ チキ アペ エトコイキ ネ チキ  
 suke etokoyki ne ciki ape etokoyki ne ciki  
 料理の準備も火の支度も

アカスイ クシ ネ コロ  
 a=kasuy kus ne kor  
 私が手伝おうとすると

「アシヌマ シネン ネ アキ ヒケ アエアイカペ エキ プ ネ ワ  
 “asinuma sinen ne a=ki hike a=eaykap h\_i e=ki p ne wa  
 「私一人ではすることができないことをあなたはしたので

アコン ニシパ ヤイシニレ ワ アン マ イコレ イコレ。  
 a=kor\_nispa yaysinire wa an w\_a i=kore i=kore.  
 ニシパはどうか休んでいてください。

アシヌマ ネプキ アナ…… ネプキ アナク アコアリキキ プ ネ ナ。」  
 asinuma nepki ana... nepki anak a=koarikiki p ne na.”  
 私が仕事を頑張ります」

セコロ ハウェアン コロ  
 sekor hawean kor  
 と話すと、

オラノ チョポンナアッテ ワ スケ ヤ ワッカタ ネ ャ ネンネン イキ ワ  
 orano coponnaatte wa suke ya wakkata ne ya nennen iki wa  
 それから忙しく立ち振る舞い、料理も水汲みもいろいろして

エネ ネ ワ イペアン クニ ネ イキ ヒネ  
 ene ne wa ipe=an kuni ne iki hine  
 そうして食事の支度をして、

イペアン パ コロ ピリカノ イエオリパク コロ  
 ipe=an pa kor pirkano i=eoripak kor  
 私たちは食事をしながら、彼はよく私を敬いながら

パイエアン。レウシアン パ アイネ  
 paye=an.rewsu=an pa ayne  
 行った。泊まって

オラ スイ イシムネ ヒケ パイエアン ヒネ  
 ora suy isimne hike paye=an hine  
 それからまた翌日出発し

イシカラ プトウ タ イシカラ プトウ コン ニシパ オロ タ パイエアン ヒネ  
 Iskar putu ta Iskar putu kor\_nispa oro ta paye=an hine  
 石狩の河口、石狩の河口のニシパのところへ行って

スイ イシカラ プトウ コン ニシパ オロ タ アコロパレ クニ プ  
 suy Iskar putu kor\_nispa oro ta a=korpore kuni p  
 また、石狩の河口のニシパのとこにあげるべきもの

ウサ サケ ウサ タラ ウサ イミ ウサ イヨイペ ネ チキ アヤpte。  
 usa sake usa tara usa imi usa iyoyape ne ciki a=yapte.  
 酒でも俵でも着物でも食器でも陸に上げた。

ネア オッカイポ カ エネ イキ アニ ネ クシネ ノ  
 nea okkaypo ka ene iki an h\_i ne kus ne no  
 その若者もそのようにするつもりで

コロ ワ オカイペ オロワ ヤプテ ワ  
 kor wa okaype orowa yapte wa  
 持っていたものを陸に上げて

ネア イシカラ プトゥ コン ニシパ アエコヤヤッタサ。  
 nea Iskar putu kor\_nispa a=ekoyayattasa.  
 その石狩の河口のニシパにお札に渡した。

エアシリ カ エヤイコプンテク。  
 easir ka eyaykopuntek.  
 本当に喜んだ。

オンカミ ア オンカミ ア コロ イエヤイコプンテク パ コロ オラ スイ  
 onkami a onkami a kor i=eyaykopuntek pa kor ora suy  
 礼拝して礼拝して、喜んで、それからまた

アコロ イシカラ ウン チプ、ルプネ チプ ネ プ ネ クス  
 a=kor Iskar un cip, rupne cip ne p ne kusu  
 石狩の舟は大きい舟なので

オロ ウン アルラ ロク アルラ ロク ヒネ  
 oro un a=rura rok a=rura rok hine

エアシリ カ アヤイチプシケカヌカラ カネ ヒネ  
 easir ka a=yaycipsikekanukar kane hine  
 そこへ運んで運んで、本当に舟の荷物を見ながら

アエラリウ ワ オロワノ  
 a=erariw wa orowano  
 潟いで、それから

イシカツ トウラシ パイエアン アイネ アコタヌ タ パイエアン ルウェ ネ。  
 Iskar\_turasi paye=an ayne a=kotanu ta paye=an ruwe ne.  
 石狩川に沿って上流に行き、私の村に行ったのだった。

アクス オロワノ ネノ アン マ ウラユシ ウン コッ チプ コロ ワ アラパ  
 akusu orowano neno an w\_a Urayusi un kor\_cip kor wa arpa  
 すると、それからそのままウラユシの舟を持って行って

チプ オロ オ プ コロ ワ アラパ ヒ ネ クナク アラム ア プ、  
 cip oro o p kor wa arpa hi ne kunak a=ramu a p,  
 舟に乗せたものを持って行くものだと思っていたのに、

オラノ アコロ ペタル オッ タ コッ チプ オロ ワ  
 orano a=kor petaru or\_ta kor\_cip or wa  
 私の舟着き場で、自分の舟から

コロ ウサ オカイペ ヤプテ ア ヤプテ ア ヤプテ ア。  
 kor usa okaype yapte a yapte a yapte a.  
 持って来たものをどんどん陸に上げた。

オピッタ ヤプテ ヒネ  
 opitta yapte hine  
 みんな陸に上げて

オロワノ アウニ ウン ルラ ア ルラ ア ヤイカタ ルラ ア ルラ ア ヒネ  
 orowano a=uni un rura a rura a yaykata rura a rura a hine  
 それから私の家へどんどん運んだ。自分で運んで運んで

アコロ オマイソ シクノ カネ  
 a=kor omayso sikno kane  
 私の座敷いっぱいに

ネア オッカイポ コロ ワ オカイペ イキリカラカラ  
 nea okkaypo kor wa okaype ikirikarkar  
 若者の持って来たものが列をなして

ヒネ オラウン スイ アコロ ワ オカイ ペ カ アルラ プ ネ クス  
 hine oraun suy a=kor wa okay pe ka a=rura p ne kusu  
 それから、また私の持ってきたものも運んだので

ボ アナクネ アウニヒ カ ポロ。ニシパ アネ クス チセ カ ポロノ アカラ。  
 po anakne a=unihi ka poro. nispa a=ne kusu cise ka porono a=kar.  
 私の家は大きく、私はニシパなので家も大きく作った。

ネプ ネ ヤッカ ポロノ アカラ ワ オカイ ペ ネ クス  
 nep ne yakka porono a=kar wa okay pe ne kusu  
 何でも大きく作ってあるので

エウン ウサ イヨイペ ウサ タラ イキリ  
 eun usa iyoyope usa tara ikiri  
 そこへ食器でも俵の山

イミ キンカイ イキリ アルラ ロク アイネ  
 imi kinkay ikiri a=rura rok ayne  
 着物の荷の山を運んで

ポロンノ アアフプテ。  
 poronno a=ahupte.  
 たくさん入れた。

アアフプテ ルウェ ネ アクス  
 a=ahupte ruwe ne akusu  
 入れると

オラスイ オロ タ イコレウシ。  
 orasuy oro ta i=korewsi.  
 また、若者は私の家に泊まった。

シネアンチカラ キ ヒネ イタカン ウトゥル テレテレ。  
 sineancikar ki hine itak=an uturu teretere.  
 一晩そうして、私の言葉が途切れるのを待っていた。

ウエネウサラン アイネ イタカン ウトゥル テレテレ ハウェ エネ アニ。  
 uenewsar=an ayne itak=an uturu teretere hawe ene an h\_i.  
 語り合った挙句、私の言葉が途切れるのを待って話したのは次のようなことだった。

「アシヌマ アナクネ マカン クス  
 "asinuma anakne makan kusu  
 「私はどうして

アウヌフ トゥラ エネ イキ ワ オカイ ペ アネ イ カ アエランペウテク ノ  
 a=unu hu tura ene iki wa okay pe a=ne h\_i ka a=erampewtek no  
 母親と一緒に暮らしていたのかわからないけれども

アウヌフ トゥラノ オカアン ペ ネ ヒケ  
 a=unu hu turano oka=an pe ne hike  
 母親と一緒に暮らしていたのでしたが、

アコタヌ ウン ウタラ エアシリ カ イコレウェンパ コロ オカ ロク アイネ  
 a=kotanu un utar easir ka i=korewenpa kor oka rok ayne  
 村の人は私達に本当につらくあたっていた挙句、

アウヌフ ヘム タスマ ヘム シイエイエ キ ヒネ イサム ルウェ ネ。  
 a=unu hu hem tasum hem siyeye ki hine isam ruwe ne.  
 私は母親は何の病気だか病だかにかかり、亡くなってしまったのです。

オカケ タ ナ ポナン ワ イホッパ ワ アウヌボ キ プ ネ クス  
 okake ta na pon=an wa i=hoppa wa a=uhunupo ki p ne kusu  
 その後、まだ私は幼くして亡き母に残されたので

オカケ タ チサン コロ  
 okake ta cis=an kor  
 その後、私は泣きながら

コタン ケスン マ コタン パウン マ アプカシアプカシアン ワ  
 kotan kes un w\_a kotan pa un w\_a apkasapkas=an wa  
 村の下手へ、村の上手へ歩きまわって

ニナアン ペコロ ニシケアン ペコロ イキアン コロ アプカサン マ  
 nina=an pekor nisike=an pekor iki=an kor apkas=an w\_a  
 薪採りのようなこと、薪木背負いのようなことをしながら歩いて

クシケライ イエランポキウェン パ プ シネアンチカラ イレウシレ。  
 kuskeray i=erampokiwen pa p sineancikar i=rewsire.  
 おかげで私を気の毒に思った人が、一晩私を泊め

トウ アンチカリ イレウシレ パ コロ オカ ロク アイネ  
 tu ancikari i=rewsire pa kor oka rok ayne  
 二晩泊めといった具合にしてくれていたのですが

ポロアニ ワノ コタヌ ウン オッカイポ ウタラ アトウラ ワ  
 poro=an h\_i wano kotanu un okkaypo utar a=tura wa  
 私が大きくなってからは村の若者と一緒に

エキムネアン コロ  
 ekimne=an kor  
 山に行ってする

イラマンテ エネ アニ。  
 iramante ene an h\_i.  
 狩りは次のようにでした。

イエプカシヌ パ プ ネ クス イラマンテ カ アエアシカイ。  
 i=epkasnu pa p ne kusu iramante ka a=easkay.  
 教わったので私は狩りもできるようになった。

タネ アコポロ ヒ ワノ アナクネ ネロク コタヌ ウン ウタラ  
 tane a=koporo hi wano anakne nerok kotanu un utar  
 もう私が大きくなってからは、その村人たち

トヤッカリ カ ネプ ネ ャッカ アエアシカイ。  
 toyakkari ka nep ne yakka a=easkay.  
 誰よりも私は上手になっていた。

ネプ イエトク タ アヌ ペコロ イキアン。  
 nep i=etok ta a=anu pekor iki=an.  
 何だか私の行く先々に獲物が置いてあるかのようだった。

アル オカケ アロ…… アル エトコ チョイランケ コラチ  
 a=ru okake aro... a=ru etoko coyranke koraci  
 私の行く道の後、道の前には獲物が下されているかのように、

イソナン シリ アン ペ ネ ヒネ  
 ison=an siri an pe ne hine  
 狩が上手で

ペ ネ ヒネ ペ ネ プ ネ クス ネワアンペ  
 pe ne hine pe ne p ne kusu newaanpe  
 あったので、それを

イエラマス クス コタン コロ クル マッネポホ  
 i=eramasu kusu kotan kor kur matnepoho  
 私は気に入られて、村長がその娘

シネ マッネポ コロ ペ イコレ クナク イエ コロ  
 sine matnepo kor pe i=kore kunak ye kor  
 一人娘をくれるということで

イコレ ヒネ アコロ ワ オカアン ペ ネ コロカ  
 i=kore hine a=kor wa oka=an pe ne korka  
 嫁にして、結婚して暮らしていたのですが、

イピリカラム パ プ ネ カトウ カ アエランペウテク コロ アナン。  
 i=pirkaramu pa p ne katu ka a=erampewtek kor an=an.  
 私をこんなにも大事にしてくれるのかというほどの様子で暮らしていました。

オロワ ウン ネプ ポカ イキアナイネ ネプ ポカ アウオマレ ワ アコロ  
 orowa un nep poka iki=an ayne nep poka a=uomare wa a=kor  
 それからいくらかでもそうして、いくらかでも集めて、ものを持っていました。

アホク カ キ ワ アコロ コロ  
 a=hok ka ki wa a=kor kor  
 買いもし、持っていると、

「タアンペ エポン タ エペレパ クス アタイエ アエコウク ナ。  
 “taanpe e=pon h\_i ta e=perpa kusu ataye a=e=kouk na.  
 「これはお前が小さいときに壊したので、代償としてもっていくよ。

タアンペ エウェンテ アクス アタイエ アエコウク ナ。」  
 taanpe e=wente akusu ataye a=e=kouk na.”  
 これはお前がだめにしたから代償にもらうよ」

セコロ カネ コタン オルン ウタラ ハウェオカ コロ  
 sekor kane kotan or un utar haweoka kor  
 と村人は話すと、

アコロ ワ オカイ ペ ピリカ ヒケ イコヌムケ パ ワ  
 a=kor wa okay pe pirkka hike i=konumke pa wa  
 私の持物のいいものを選んで

イコウイナ コロ オカアン ルウェ ネ ヒケ エネ ハワシ。  
 i=kouyna kor oka=an ruwe ne hike ene hawas h\_i.  
 私から奪って行ったということなのです。

アシヌマ アプリウエン  
 asinuma a=puriwen  
 私は、行いが悪いものだ

セコロ アン ペ イエ パ プ ネ ヤク アイエ ヒ アナク  
 sekor an pe ye pa p ne yak a=ye hi anak  
 と言われているということは

アヌ コロ アナン ルウェ ネ ア プ、  
 a=nu kor an=an ruwe ne a p,  
 聞いてはいたのですが、

エネ ニシパ カムイ ウイマム コロ エタカスレ チカシヌカラ ワ  
 ene nispa kamuy uymam kor etakasure cikasnukar wa  
 このようにニシバが交易に行って特別に恵まれて

トノコチカシヌカリ アヌ コロ アナン ヒケ  
 tonokocikasnukar h\_i a=nu kor an=an hike  
 殿にも恵まれてることを聞いていたので

『ネウン ポカ イキアン チキ ソモ イエランポキウェン マ イトゥラ  
 'neun poka iki=an ciki somo i=erampokiwen w\_a i=tura  
 『何とかして私を憐れんでもして連れて行って

アトゥラ エアシカイ ペ アン。』  
 a=tura easkay pe an.'  
 もらえないだろうか』

セコロ ヤイヌアン クス アコヤイコラムコロ ハウエ ネ アクス  
 sekor yaynu=an kusu a=koyaykoramkor hawe ne akusu  
 と思って相談したところ、

イコラムサウヌ ワ エネ イトゥラ ワ タパン ペ ネノ エアシリ  
 i=koramusawnu wa ene i=tura wa tapan pe neno easir  
 私の願いを聞いてくれ、このように私を連れて行ってくれたおかげで

シノ ニシパ ネ イカラ オアシ ルウェ エネ アニ。  
 sino nispa ne i=kar oasi ruwe ene an h\_i.  
 本当のニシパに私はなれるようになったのです。

エアシリ カ カシカムイナワノ<sup>[2]</sup> アエコヤイライケ。  
 easir ka kasikamuynawano a=e=koyayrayke.  
 本当に守護神まであなたにそのことを感謝しています。

ニシパ カムイ アコヤイライケ ルウェ ネ コロカ  
 nispa kamuy a=koyayrayke ruwe ne korka  
 ニシパに感謝してしるのだけれども

ネノ イピリカラム パ カトウ カ アエランペウテク ペ オラウン  
 neno i=pirkaramu pa katu ka a=erampewtek pe oraun  
 このように私を大事にしてくれるなんて今までなかったので

ネイ パク アエコタンネ パ カ エトランネ クス  
 ney pak a=ekotanne pa ka etoranne kusu  
 いつまでもあの村の一員でいるのも嫌なので

アウニヒ シンナ アカン ルウェ ネ。  
 a=unihi sinna a=kar\_ruwe ne.  
 私の家は別に作ります。

チプ オヤプシ…… チポヤプシ ペタル エンカ タ チセ アカラ ヒネ オロ タ  
 cip oyap us... cipoyapusi petaru enka ta cise a=kar hine oro ta  
 船着場、水汲み場をあがったところに家を造り、そこに

ネ アマチヒ トウラノ アナン マ オロワ アナン マ イラマンテアン コロ  
 ne a=macihi turano an=an w\_a orowa an=an w\_a iramante=an kor  
 例の私の妻と一緒に狩りをしながら

アナン ペ ネ コロカ ネノ アナン カ エトランネ クス  
 an=an pe ne korka neno an=an ka etoranne kusu  
 いたのだけれども、このようにいるのも嫌なので

アコン ニシパ コタヌ ウン  
 a=kor\_nispa kotanu un  
 ニシパの村へ、

アコン ニシパ サマ ウン トウパン チキ ウエンペ ヘ アン?」  
 a=kor\_nispa sama un tup=an ciki wenpe he an?"  
 ニシパの側に引っ越ししてきたらまずいでしょうか」

セコロ カネ ハウェアン。エアラキンネ アエサンペアウオマ。  
 sekor kane hawean. earkinne a=esampeawoma.  
 と話した。本当に私はかわいそうに思った。

イネアプクスン アケムヌ ワ ハワサ カ アエラミシカリ。  
 ineapkusun a=kemnu wa hawas y\_a ka a=eramiskari.  
 なんと気の毒な話だかこれまで私が聞いたことがないほどだった。

ウェンイヨクヌレアン  
wen'iyokunure=an  
ひどく驚いた。

イネクス エアシリ オリパケアシカイ  
inekusu easir oripakeaskay  
なるほどそれで、本当に行儀正しく、

ウタラパ カトウン エアシカイ シリ アン ペ オッカイポ<sup>♪</sup> ニシパ ネ ア プ、  
utarpa katun easkay siri an pe okkaypo nispa ne a p,  
立派な人物である様子の若いニシパだったのだが、

エネ ハウェ アニ。  
ene hawe an h\_i.  
このようなことだった。

アココパン カ エアイカブ。  
a=kokopan ka eaykap.  
私は断ることもできなかった。

「アシヌマ カ タネ ポヤイコチパチパ カ ソモ アキ。  
“asinuma ka tane moyakocipacipa ka somo a=ki.  
「私ももう自分の子どもを望んではいなかった。

ウポコサカン ペ ネ クス キ ワ ポエイコイトウパアン ペ ネ クス  
upokosak=an pe ne kusu ki wa poeykoytupa=an pe ne kusu  
私達には子どもがいないので、子どもをほしいと思っていたので

ネ ノイネ ネ ヤクン イリワク コラチ ポ シリ ネ。  
ne noyne ne yakun irwak koraci po siri ne.  
そういうことなら、全くきょうだいのようだ。

アエニシテ カ キ。  
a=e=niste ka ki.  
私はあなたを頼りにする。

ウエニシテアン クニ ピリカ ハウェ ネ セコロ ヤイヌアン クス  
 ueniste=an kuni pirka hawe ne sekor yaynu=an kusu  
 互いを頼りにするのがいいと思うので

ピリカ ハウェ ネ 」  
 pirka hawe ne ”  
 いいですよ」

セコロ ハウェアナン クス  
 sekor hawean=an kusu  
 と言うと、

「ハウェ ネ ヤクン トウツコ レレコ ネ ヤクン アマチヒ アトウラ  
 “hawe ne yakun tutko rerkon ne yakun a=macihi a=tura  
 「そういうことなら二三日で妻を連れて来ます。

アコロ ワ オカイ へ  
 a=kor wa okay pe  
 持物も

チプ オロ アオ ワ サナン クス ネ ナ。」  
 cip or a=o wa san=an kusu ne na.”  
 舟に乗せてきます」

セコロ カネ ハウェアン コロ シネ ポン タラ シネ ポイ サケ パテク  
 sekor kane hawean kor sine pon tara sine pon\_ sake patek  
 と話しながら一つの小さい俵、一つの小さい酒だけを

チポロ コッ チポロ オマレ テク ヒケ  
 cip or kor\_cip or omare tek hike  
 自分の舟に積んで

エラリウ ヒネ アラパ ペ ネ ア プ、  
 erariw hine arpa pe ne a p,  
 漕いでいったのだったが、

オロワノ シラン ヒケ カ サン ルウェ カ イサム アイネ  
 orowano siran hike ka san ruwe ka isam ayne  
 それからしばらくしても、やってくる様子もなく

イヌアナクス ネア オッカイポ<sup>9</sup> ヘム タスム ヘム シイエイエ キ ヒネ  
 inu=an akusu nea okkaypo hem tasum hem siyeye ki hine  
 聞いたところによると、その若者は何か病気になり

イサム セコロ ハワシ。  
 isam sekor hawas.  
 亡くなったという話だった。

エアラキンネ イヌ ネ ワ アキ プ ネ コロカ  
 earkinne inu ne wa a=ki p ne korka  
 そう聞いていたのだが、

アライケ ハウェ ネ クニ アラム。  
 a=rayke hawe ne kuni a=ramu.  
 殺されたのではないかと私は思った。

エアシリ カ ウェンイルシカアン コロ  
 easir ka wen'iruska=an kor  
 本当に腹が立って

セッパ シネプ カロプ オロ アオマレテク ヒネ  
 seppa sinep karop or a=omaretek hine  
 刀のつばを小物入れに入れて

オラノ ラリウユッパアニネ アラパアン アイネ  
 orano rariwyuppa=an h\_ine arpa=an ayne  
 舟を漕いで行ったところ

ウラユシ タ アラパアン ルウェ ネ アクス ネア アコロ オッカイポ<sup>9</sup>  
 Urayusi ta arpa=an ruwe ne akusu nea a=kor okkaypo  
 ウラユシに着くと、その若者の

コッ チプ アナク アシリコテ ヒネ アン ヒネ オラウン  
 kor\_cip anak a=sirkote hine an hine oraun  
 舟はつながれていて、それから

ネ エネ ハウェアニ ネ アクス  
 ne ene hawean h\_i ne akusu  
 そのように言っていたので、

ペタル カリ ヘメスアナクス  
 petaru kari hemesu=an akusu  
 舟着き場を通って登っていくと

フッタプカ タ ポロ チセ  
 huttapka ta poro cise  
 崖の上に大きな家、

イランマカカ アリキキ プ カラ ペ アリキキ プ アヌシ ネ クス  
 irammakaka arikiki p kar pe arikiki p an usi ne kusu  
 きちんとした、働き者が作った、働き者の住むところなので

チセ ソイ エネ ユプナタラ。  
 cise soy h\_ene yupnatara.  
 家の外もしっかりしている。

チセ ヘネ ユプナタラ。ピリカ チセ ポロ チセ アン。  
 cise hene yupnatara. pirka cise poro cise an.  
 家もしっかりしている。素晴らしい家、大きな家があった。

ネ…… オロ ウン アブンノ ネパウ カ ネプム カ イサム。  
 ne... oro un apunno nep h\_aw ka nep h\_um ka isam.  
 静かで、なんの声も音もしない。

シノ イオヤモクテアン ハワシ ネ プ ネ クス  
 sino ioyamokte=an hawas ne p ne kusu  
 本当に不審に思う話だったので

アプンノ オロ タ イプヤロポソレアン ヒネ インカラナクス  
 apunno oro ta ipuyaroposore=an hine inkar=an akusu  
 静かに、窓越しに見ると

ソンノ ポカ ネア オッカイポ ライチェビヒ ネ ヒネ  
 sonno poka nea okkaypo raycepihi ne hine  
 思った通り、あの若者の遺体が

ソ オッ タ アオスラ テク ヒネ  
 so or\_ ta a=osura tek hine  
 床に捨てられていて

エアシリ カ インカン ネ ワ アキ プ ネ コロカ  
 easir ka inkar\_ ne wa a=ki p ne korka  
 私はそれを見ただけであるけれども

イルシカ ケウトゥム アヤイコレ。  
 iruska kewtum a=yaykore.  
 怒りが沸いてきた。

「マクネ ワ エネ シリ アニ アン？」  
 “makne wa ene siri an h\_i an?”  
 「どうしてこんなことに？」

セコロ ヤイヌアン コロ エアシリ カ ウェンイルシカアン コロ  
 sekor yaynu=an kor easir ka wen’iruska=an kor  
 と思いながら、非常に腹立たしく思いながら

ナニ アラパアニネ コタン オロ アオシマ。  
 nani arpa=an h\_ine kotan or a=osma.  
 すぐに行き、村に入った。

ネ コタン コロ クル ウニ ソイケ タ アラパアン。  
 ne kotan kor kur uni soyke ta arpa=an.  
 その村長の家の前に行った。

シリキッキアナクス

sirkikkik=an akusu

辺りを叩くと、

ネア ネ コタン コロ クル マッネポ ネ ワ アコロ ペ ネ

nea ne kotan kor kur matnepo ne wa a=kor pe ne

その村長の娘で、結婚していたものである

セコロ ハウェアン ヤク…… イキア メノコ ネ ノイネ アラム プ

sekor hawean yak... ikia menoko ne noyne a=ramu p

という、例の女性らしいと思われるものが

ミナ カネ ヒネ ソイネ イエカリ インカリネ オラウン シエタイエ。

mina kane hine soyne i=ekari inkar h\_ine oraun sietaye.

笑いながら外に出て私の方に視線を向けて、引っ込んだ。

アナニ イエ ハウェ アシ アクス

an=an h\_i ye hawe as akusu

私がいることを話す声が聞こえると

「ウナアフンケ。」

“unahunke.”

「家に入れなさい」

セコロ カネ ネ コタン コロ クル

sekor kane ne kotan kor kur

とその村長は、

ハウエ エネ ハウエアシ ペ、ハウエアン クス

hawe ene haweads pe, hawean kusu

娘が話したので、そう言うと

ソイネ イネ イアフンケ クス イイエ。

soyne h\_ine i=ahunke kusu i=ye.

外に出て私を入れるため声をかけた。

オリパカン ノ アプンノ アフナン ヒネ アナン。  
 oripak=an no apunno ahun=an hine an=an.  
 かしこまって静かに入っていた。

「フナク ワ エク ニシパ ネ シリ アン？」  
 “hunak wa ek nispa ne siri an?”  
 「どこから来たニシパですか？」

セコロ ハウェアン コロ ウエランカラプアン。  
 sekor hawean kor uerankarap=an.  
 と話しながら、私たちはあいさつをした。

「ウン…… イシカラ ホントモ コロ ウェンクル アネ。  
 “un... Iskar hontomo kor wenkur a=ne.  
 「私は石狩中流の貧乏人です。

ウェンクル アネ クス イココタンコロアン (?) マ アナン ペ アネ コロカ  
 wenkur a=ne kusu ikokotankor=an(?) w\_a an=an pe a=ne korka  
 貧乏人だけれど

シネウェアン ルスイ クス エカン シリ ネ。」  
 sinewe=an rusuy kusu ek=an siri ne.”  
 遊びに来たいと思ってきたのです」

セコロ ハウェアナン コロ アナン ルウェ ネ。  
 sekor hawean=an kor an=an ruwe ne.  
 と話したのだった。

タネ シロヌマン プイネ ラリウユッパアン マ アラパアン ヤッカ  
 tane sironuman puyne rariwyuppa=an w\_a arpa=an yakka  
 もう日が暮れ、一人で舟を漕いで行つても

シットウイマ ウカットウイマ アン ペ ネ クス  
 sittuyma ukattuyma an pe ne kusu  
 遠い。距離があるので

ペッ トウラシ ネ クス

pet turasi ne kusu

川をさかのぼるので

ネウン ラリウユッパアン ヤッカ アラパアン カトウ カ モイレ プ ネ クス

neun rariwyuppa=an yakka arpa=an katu ka moyre p ne kusu

どうにか舟を漕いで行くのにも遅いので

ネア メノコ スケ ヒネ イコイプンパ。

nea menoko suke hine i=koypunpa.

その女性は料理をし、私に差し出した。

イコイプニ ルウェ ネ ヒネ イペアン ルウェ ネ コロカ

i=koypuni ruwe ne hine ipe=an ruwe ne korka

差し出され、私は食事をしたのだが、

ネン カ ハウェアナン カ ソモ キ。

nen ka hawean=an ka somo ki.

誰にも私は話さなかった。

コパク アイエ カ ソモ キ ノ アナン ルウェ ネ ア プ、

kopak a=ye ka somo ki no an=an ruwe ne a p,

そちらに話しかけることもせずに、私はいたのだが、

タネ シ…… シシリクンネ カネ コロ オロワノ ネア オッカイポ<sup>9</sup> ウニ ワノ

tane si... sisirkunne kane kor orowano nea okkaypo uni wano

もう薄暗くなると、それからその若者の家から

セタ ミク アウ ウェンルイ エアシリ カ セタ ウタラ ウカタ テレケ。

seta mik h\_aw wenruy easir ka seta utar ukata terke.

犬の鳴く声が激しくした。本当に犬たちが互いに上に下に重なり

アラキ ハウェ ウェンルイ アイネ

arki hawe wenruy ayne

やってくる声が激しくして

ネア コタン コロ クル ウニ ソイケ パク アラキ コロ  
 nea kotan kor kur uni soyke pak arki kor  
 その村人の家の外までやってくると、

ハウエ チトウイテクテク ルウェ ネ ア プ、  
 hawe cituytektek ruwe ne a p,  
 声が急に途絶えたのだが、

ホントモ タ ミンタラ カ タ  
 hontomo ta mintar ka ta  
 その途中で土間の上に

アペ エトク タ アナン ペ ネ プ、  
 ape etok ta an=an pe ne p,  
 横座に私はいたのだが、

アアン マ アナン ペ ネ クス  
 a=an w\_a an=an pe ne kusu  
 座っていたので

インクサン ペ ネ クス インカラン ワ アナナクス  
 inkus=an pe ne kusu inkar=an wa an=an akusu  
 悪い予感がして見てみると

ミンタラ カ ウン ミンタラ カ タ アイヌ クルマム チシpusure。  
 mintar ka un mintar ka ta aynu kurmam cisipusure.  
 土間の上に人間の影が現れた。

ネア オッカイポ ネ ヒネ ミンタラ カ アシシリ エネ アニ。  
 nea okkaypo ne hine mintar ka as siri ene an h\_i.  
 それは例の若者で土間の上に立つ様子は次のように

エアシリ カ シク ネ コロ ペ ポン ノチウ ネ チェウサムクルヌ カネ  
 easir ka sik ne kor pe pon nociw ne cewsamkurunu kane  
 本当に目は星のようにぎらついて辺りを睨み付け

シリキ ヒ タ アロロキシネ オトウ パピロロ アコトウリ ハウェ エネ アニ。  
 siriki hi ta arorkisne otu papiror a=koturi hawe ene an h\_i.  
 そのようなときにはつそり私が言ったのは次のことだった。

「エアシリ アシヌマ カ エコッチャケ タ イルシカユプ アキ ヤクン  
 “easir asinuma ka e=kotcake ta iruskayupu a=ki yakun  
 「私もあなたの気持ちを代弁するように、ものすごく腹が立ったので

エルオカケ アイオマレ クシ ネ ナ。  
 e=ruokake a=iomare kus ne na.  
 あなたの思い残したことは私がするよ。

イエコシ ワ イコレ。」  
 i=ekosi wa i=kore.”  
 私に任せなさい」

セコロ ハウェアナン ラ…… アクシ ナニ クリ パン テク ヒネ イサム。  
 sekor hawean=an ra... akus nani kuri pan tek hine isam.  
 私が話すとすぐに影が消えてなくなった。

ルウェ ネ ヒネ オラウン  
 ruwe ne hine oraun  
 そうして

ホッケアン ヒケカ エアシリ モコロ カ アエトランネ。  
 hotke=an hikeka easir mokor ka a=etoranne.  
 横になるにしても本当に眠るのもいやだった。

エ…… エネ ウエン プリ コロ パ ハウェ オカイ べ  
 e... ene wen puri kor pa hawe okay pe  
 このように行いの悪いもの

セコロ ヤイヌアン ヒケ  
 sekor yaynu=an hike  
 と思って

イルシカ ケウトゥム アコロ コロカ  
 iruska kewtum a=kor korka  
 腹立たしく思っていたのだが、

ウェンタラブ ポカ ネン カ  
 wentarap poka nen ka  
 夢でも何か

イエピリマ ソモ キ コロ マク ネ セコロ ヤイヌアン クス  
 i=epirma somo ki kor mak ne sekor yaynu=an kusu  
 知らせてくれはしないだろうかと思ったので

オラノ ヤイウェンタラブコカヌアン コロ  
 orano yaywentarapkokanu=an kor  
 それから自分の夢に耳を傾けながら

ホッケアン ア プ、モコラン マ アナン ヒネ ウェンタラブアナクス  
 hotke=an a p, mokor=an w\_a an=an hine wentarap=an akusu  
 横になると、（いつのまにか）私は眠っていて、夢を見ると、

ネア オッカイポ ニシパ ネ イネ  
 nea okkaypo nispa ne h\_ine  
 その若者のニシパは

ソモ ヌペサク ルウェ ネ ノイネ アン。  
 somo nupesak ruwe ne noyne an。  
 涙なしにはいられない様子だった。

イオシノ アシワ アン アイネ イタカウェ エネ アニ。  
 i=osno as wa an ayne itak\_hawe ene an h\_i.  
 私の後ろに立っていてこのように言った。

「イタカン チキ アコン ニシパ エイヌ カトゥ エネ アニ。  
 “itak=an ciki a=kor\_nispa e=inu katu ene an h\_i.  
 「私が話すのでニシパよ聞いてください。

オヤチキ アシヌマ アナク  
oyaciki asinuma anak  
知らなかつたのですが、私は

ヤヤン アイヌ サニ カ ソモ アネ ルウェ ネ アアン  
yayan aynu sani ka somo a=ne ruwe ne aan  
普通の人間の子ではなかつたのです。

ラヤン…… アイライケ ワ ライアン。  
ray=an... a=i=rayke wa ray=an.  
殺されて死んだのです。

ヒ オラ エアシリ インカラン クス ア……  
hi ora easir inkar=an kusu a...  
こうなつて初めて見ると

アウヌフ パク ケウトゥム ピリカ メノコ イサム ペ ネ ヒネ  
a=unuuhu pak kewtum pirka menoko isam pe ne hine  
私の母はまたとない精神のいい女性で

オリパク カムイ アプカシ タ  
oripak kamuy apkas h\_i ta  
天然痘のカムイが歩き回っているときに

アウニヒ カシ オレ…… オレウシ ヒ タ シチョロポク ウン ヌカラ ヒケ  
a=unihi kasi ore... orewsi hi ta sicorpok un nukar hike  
私の家の上に泊つたときに下を見て

ケウトゥム ピリカ ルウェ シレトッコン ルウェ コホヨイセ。  
kewtum pirka ruwe siretokkor\_ruwe kohoyoyse.  
母の精神の良さ、美人さに、嫁にしたくなつた。

カムイ メノコ ネ ヤク タシ セコロ ヤイヌ ヒ ヤヤンカ……  
kamuy menoko ne yak tas sekor yaynu hi yayanka...  
カムイの女性だったらなあと思ったことが

シパセカムイ ヤイヌ ヒ トイカオシマ エアイカプ クス  
 sipasekamuy yaynu hi toykaosma eaykap kusu  
 偉いカムイの思いが地上に落ちることもできなかつたので

アン ペ アネ ルウェ ネ ヒネ  
 an pe a=ne ruwe ne hine  
 生まれたのが私であり、

オリパク カムイ ポホ アネ アアン ルウェ ネ ヒネ  
 oripak kamuy poho a=ne aan ruwe ne hine  
 私は偉いカムイの子どもであったということで、

タン アイライケ プ ネ クス  
 tan a=i=rayke p ne kusu  
 このように殺されたので

アライラマチ カムイ アオナ オロ タ アラパアン ルウェ ネ アクス  
 a=rayramaci kamuy a=ona oro ta arpa=an ruwe ne akusu  
 死んだ私の魂はカムイの父のところへ行つたところ

エイエ ア イタク アヌ プ ネ クス  
 e=ye a itak a=nu p ne kusu  
 あなたの言葉を私は聞いたので

アエコシ クナク アラム コロ アラパアン ルウェ ネ アクス  
 a=e=kosi kunak a=ramu kor arpa=an ruwe ne akusu  
 あなたに任せようと思い、私は行つたところ、

アヌ ワ オロ タ アラパアン ルウェ ネ アクス  
 a=nu wa oro ta arpa=an ruwe ne akusu  
 私はあなたの言葉を聞いてそこに私は行つたところ

アオナハ エネ ハウエアニ。  
 a=onaha ene hawean h\_i.  
 父はこのように話しました。

イテキ アイヌ ニシパ ヤイカタ ヤイクルカタ イテキ テケ アニ  
 iteki aynu nispa yaykata yaykurkata iteki teke ani  
 決して人間のニシパが一人で自らの手で

イパカシヌ ソモ キ ャッカ ピリカ。  
 ipakasnu somo ki yakka pirka.  
 罰しないほうがいい。

アシヌマ イパカン シリ イパカシヌアン シリ  
 asinuma ipak=an siri ipakasnu=an siri  
 私が罰して懲らしめる様子を

アヌカレ パ クシ ネ クシ キ ナ。  
 a=nukare pa kus ne kus ki na.  
 見せるつもりだよ。

アイヌ ニシパ エウン ネノ ハウェアン セコロ カネ  
 aynu nispa eun neno hawean sekor kane  
 人間のニシパにこのように言うようにと

カムイ アオナハ イイエ ワ アイヌレ ハウェ ネ ナ。」  
 kamuy a=onaha i=ye wa a=i=nure hawe ne na.”  
 カムイの私の父は、私に言って聞かせたという話なのです」

セコロ カネ ハウェアン。オラウン  
 sekor kane hawean. oraun  
 と言った。それから

「アウニヒ オ プ アナクネ エコロ ワ エサン  
 “a=unihi o p anakne e=kor wa e=san  
 「私の家にあるものはあなたが持つて行き、

オラ アウニヒ アナク エウフィカ ヤク ピリカ ナ。」  
 ora a=unihi anak e=uhuyka yak pirka na.”  
 それから私の家はあなたが燃やしてください」

セコロ カネ アン…… ハウェアン ヤク アタカラ。  
 sekor kane an... hawean yak a=takar.  
 という夢を見た。

オラノ ポ ヘネ イルシカアナ イルシカアナ コロカ  
 orano po hene iruska=an a iruska=an a korka  
 それからいっそう腹が立って腹が立って仕方なかったけれども

エネ ハウェオカ イ アヌ ルスイ クス  
 ene haweoka h\_i a=nu rusuy kusu  
 彼らがどのように言うか、私は聞きたかったので

イシムネ クンネイワ ホプニアン。  
 isimne kunneywa hopuni=an.  
 翌日の朝起きた。

ホプニアニネ オラノ  
 hopuni=an h\_ine orano  
 起きて、それから

「マク ネ ワ オッカイポ イサム ルウェ アニ アナ?」  
 "mak ne wa okkaypo isam ruwe an h\_i an y\_a?"  
 「どうして若者はいなくなったのだ？」

セコロ ハウェアナン ヒケカ  
 sekor hawean=an hikeka  
 と話すと、

チセ コン ニシパ カ ヘタブ カ ネブ カ イエ ソモ キ。  
 cise kor\_nispa ka hetap ka nep ka ye somo ki.  
 家のニシパは何も言わなかった。

マッコサンパアン。  
 matkosanpa=an.  
 私はさっと立ち上がった。

サケ スウェ ス アニ クス  
 sake suwe su an h\_i kusu  
 酒を煮る鍋があつたので

オロ ワッカ アエシクテ チヨロポッケ アニウシウシ。  
 oro wakka a=esikte corpokke a=niusiusi.  
 それに水をいっぱい入れ、下に薪をつづこんだ。

ノシケ タッタッヂェ ヒ クス オロ ウン  
 nosike tattatce hi kusu oro un  
 (鍋の) 真中がぐつぐつしたところへ

アコロ セッパ アオマレ テク ヒネ オラ  
 a=kor seppa a=omare tek hine ora  
 私の刀のつばをさっと入れて

ネア メノコ テケ アニンパ  
 nea menoko teke a=ninpa  
 その女の手を引っ張った。

「マクネ ヒネ  
 “makne hine  
 「どうして

オッカイポ ニシパ エネ ライチェビ アオスラ ワ アニアン?  
 okkaypo nispa ene raycepi a=osura wa an h\_i an?  
 若者のニシパはこのように遺体が捨てられているのだ?

マク ネ ルウェ アン? マク ネ ルウェ アン?」  
 mak ne ruwe an? mak ne ruwe an?"  
 どういうことだ? どういうことだ?」

セコロ ハウェアナン コロ アルエニンパ  
 sekor hawean=an kor a=ruweninpa  
 と話しながらひっぱった。

「エチイエ カ ヤッカ ソモ ヤッカ アエチウェンパカシヌ クス  
 “eci=ye ka yakka somo yakka a=eci=wenpakashnu kusu  
 「お前たちが言おうと言うまいと、お前たちを罰するために

エカン ルウェ ネ ワ  
 ek=an ruwe ne wa  
 私は来たのだ。

マク ネ ルウェ アニアン？」  
 mak ne ruwe an h\_i an?”  
 どういうことだったのだ？」

セコロ ハウェアナン アクス  
 sekor hawean=an akusu  
 と言うと

パラパラク コロ  
 paraparak kor  
 泣き叫びながら

「アオナハ エネ ハウェアニ。  
 “a=onaha ene hawean h\_i.  
 「私の父はこのように話したのです。

『ホクレ ホクレ イホシキ。』  
 ‘hokure hokure ihoski.’  
 「さあさあ、酔いなさい。」

ウイマム オロワ コロ ワ エク サケ  
 uymam orowa kor wa ek sake  
 交易から持つて來た酒を

コタン オロ ウン ウタラ タク ヒネ クレ パ。  
 kotan or un utar tak hine kure pa.  
 村の人を呼んで飲ませたのです。

ヤイカタ カ ク プ ネ クス

yaykata ka ku p ne kusu

父は自分も飲んだので

イホシキ アクス オラノ ホクレ イホシキ ヒ タ

ihoski akusu orano hokure ihoski hi ta

酔っぱらって、それから酔ったときに

ライケ ネプ…… ネウン カ カラ ワ スルククレ ワ ライケ ライケ

rayke nep... neun ka kar wa surukure wa rayke rayke

『殺せ。どうにかして(夫に)毒を飲ませて殺せ。殺せ』

セコロ カネ アウェノナハ ハウェアン マクス

sekor kane a=wenonaha hawean w\_akusu

と父は話して

スルク アクレ ワ タシ ネ ネク。」

surku a=kure wa tasi ne nek.”

毒を(夫に)私は飲ませたのです」

セコロ ハウェアン。オラ アトイコキッキク コロ オラノ

sekor hawean. ora a=toykokikkik kor orano

と女は話した。それから私は女をひどく叩き、

コタン オッ タ ピウキアン マ チセ ピシノ アフナン

kotan or\_ta piwki=an w\_a cise pisno ahun=an

村で攻撃しに、家ごとに入った。

「マク ネ ワ エネ コタン オロ ウイルプ エネ ヘタブ

“mak ne wa ene kotan or uyrup ene hetap

「どうしてか、この村のものはこのように

オロヤチキ

oroyaciki

知らなかったとはいっても、

カムイ サシニ ネ アン カムイ サシニ ネ アン オッカイポ ニシパ<sup>°</sup>  
 kamuy sasini ne an kamuy sasini ne an okkaypo nispa  
 カムイの子孫である若者のニシパを

エチロンヌ ルウェ アナクネ エチオカトウネ (?) クニ プ ソモ ネ ナ。  
 eci=ronnu ruwe anakne eci=okatune(?) kuni p somo ne na.  
 殺したということは、お前たちの今後はただではすまないぞ(?)。

ヘタク ヘタク パイエ ワ  
 hetak hetak paye wa  
 さあ、(若者の家に)行って

ピリカノ シンリトルン アラパ クニ イエ コロ  
 pirkano sinrit or un arpa kuni ye kor  
 きちんと先祖のところへいくのだと言いながら

ピリカノ イワクテ ャン。イワクテ ャン。」  
 pirkano iwakte yan.iwakte yan.”  
 ちゃんと若者を弔いなさい。弔いなさい」

セコロ ハウェアナン コロ チセ ピシノ ヘヨキサクノ アフナン マ  
 sekor hawean=an kor cise pisno heyokisakno ahun=an w\_a  
 と話しながら家ごとに、遠慮なしに入って

シラウェコイキアン ペ ネ クス  
 sirawekoyki=an pe ne kusu  
 大声でどなるので

コタノロ ウイルプ ウエカラパ ヒネ  
 kotan or uyrup uekarpa hine  
 村の人は集まり、

オラノ ネア オッカイポ ウニ タ マラット アン。  
 orano nea okkaypo uni ta maratto an.  
 それからその若者の家で送り儀礼が行われた。

オラノ パシロタアナ アナ。

orano pasrota=an a =an a.

それから私は叱りに叱った。

チサナ アナ ホッケアン コロ オラノ チサン コロ

cis=an a =an a hotke=an kor orano cis=an kor

泣いて泣いて横になりながらも泣きながら

アオシクル チサン コロ キ アイネ オラウン

a=oskur cis=an kor ki ayne oraun

若者がなくなったことを惜しんで泣いていたあげく、それから

ネア ヤイラムヌイナ イ アエラムシンネ コロ オラ

nea yayramunuyna h\_i a=eramsinne kor ora

その埋葬したことに安心して

ネア チセ オロ オ プ カ

nea cise or o p ka

その家にあるものも、

ホクレ カ ピリカ プ オカ カ ソモ キ ソンノ カ キ。

hokure ka pirka p oka ka somo ki sonno ka ki.

本当にいいものはなかった。

ピリカ プ オカ コロ アコウイナ ヤク イエ プ ネ クス ネノ

pirka p oka kor a=kouyna yak ye p ne kusu neno

いいものがあると奪われたと言っていたので、そのように

ピリカ カシパ プ オカ ルウェ カ イサム ペ ネ コロカ

pirka kaspa p oka ruwe ka isam pe ne korka

良いものがある様子はなかったけれども

オロワ ポンノ ポンノ ヘンパク ペ、エネ ハウェ アニ

orowa ponno ponno hempak pe, ene hawe an h\_i

そこから少しづついくつかを、そう言われていたので、

ソモ アコロ ワ サナン カ エヤイラムカラ クス  
 somo a=kor wa san=an ka eyayramkar kusu  
 私は持たずに行くのも気が引けるので

ポンノ ポンノ アウイナ ヒネ オラ アコロ ワ サナン。  
 ponno ponno a=uyna hine ora a=kor wa san=an.  
 少しづつ取って持って行った。

オラノ エアシリ カ アエヤイケウトゥムウェンテ。  
 orano easir ka a=eyaykewtumwente.  
 そうして、ただただ私は悲しんだ。

オラノ ソモ モシマ ヤイヌアン。  
 orano somo mosma yaynu=an.  
 他のことを考えたりもしなかった。

アヤイケウトゥムウェンテ コロ アナナクス  
 a=yaykewtumwente kor an=an akusu  
 私は悲しんでいると

スイ シネアンタ ウエンタラブアナクス  
 suy sineanta wentarap=an akusu  
 またある日夢を見て

スイ ネア オッカイポ ネ ヒネ イタク ハウ エネ アニ。  
 suy nea okkaypo ne hine itak haw ene an h\_i.  
 その若者が次のように話した。

「エアシリ イオシクル シリ アヌカラ コロ アナン。  
 “easir i=oskur siri a=nukar kor an=an.  
 「本当に私を惜しむ様子を私は見ました。

タネ アナク カムイ アネ。カムイ ネトパ アネ プ ネ クス  
 tane anak kamuy a=ne. kamuy netopa a=ne p ne kusu  
 今は私はカムイです。カムイの首領なので

アヌカラ コロ アナン。

a=nukar kor an=an.

見ていたのです。

オロワウン ポコン ルスイ ャッカ ポサク ラマツ コロ ウタラ アナクネ

orowaun pokor\_ rusuy yakka posak ramat kor utar anakne

子どもが欲しいけれど、子どもがいない魂を持つ人たちは

ネウン ポコン ルスイ ャッカ ポコロ エアイカプ ペ ネ ルウェ ネ ワ

neun pokor\_ rusuy yakka pokor eaykap pe ne ruwe ne wa

どんなに子どもが欲しくても子どもが持てないので、

エチポコロラマツ エチサク ワクス

eci=pokorramat eci=sak wakusu

子どもを持つ魂をあなたは持っていないので、

エチウポコサク ルウェ ネ アアン コロカ

eci=upokosak ruwe ne aan korka

子どもがいなかったのですが、

アシヌマ アレンカイネ アオナハ カムイ レンカイネ

asinuma a=renkayne a=onaha kamuy renkayne

私の意志で、私の父であるカムイの意志で

エチウポコン ナンコロ。

eci=upokor\_ nankor.

あなた達に子どもができるでしょう。

ホシキ エコロ ペ オッカヨ ポ ネ ヤクン

hoski e=kor pe okkayo po ne yakun

先にできるのが男の子なら

アシヌマ イネノ カネ アン ヘカチ エコン ナンコロ。

asinuma i=neno kane an hekaci e=kor\_ nankor.

私に似た男の子を持つことになるでしょう。

オロワ スイ マッカチ シネプ エチコン ナンコロ。  
 orowa suy matkaci sinep eci=kor\_ nankor.  
 それから女の子も一人できるでしょう。

ウネノ カネ オカ ピリカ ヘカッタラ エチコッ  
 uneno kane oka pirka hekattar eci=kor\_.  
 お互に似ているすばらしい子どもをあなた達が持つでしょう。

タパン ペ ポカ アエコヤヤッタサ。  
 tapan pe poka a=e=koyayattasa.  
 そればかりでも私はあなたへのお礼といたします。

オロワ ウン イエランポキウェン マ  
 orowa un i=erampokiwen w\_a  
 私を気の毒に思って

タン アコロ ワ オカ アチペクサ ア プ アナクネ  
 tan a=kor wa oka a=cipekusa a p anakne  
 この私の持っていた、舟で運んだものは

ネ アポホ…… イネノ カネ アン エポホ  
 ne a=poho... i=neno kane an e=poho  
 私にそっくりなあなたの子を

アコロ ペ エエレス ワ イコレ ヤク ピリカ。  
 a=kor pe e=eresu wa i=kore yak pirka.  
 育てるのに私のものを使ってください。

タパン ペ ポカ アヤイ…… ラムキシマ。  
 tapan pe poka a=yay... ramkisma.  
 これだけで我慢してください。

アシヌマ アナク キ オロワ ウン  
 asinuma anak ki orowa un  
 私もそうして

ネ アコタヌ ウン カメアシ ルプ…… ウタリ エウン アナク  
 ne a=kotanu un kameasi rup... utari eun anak  
 村の化け物の群れ、やつらのところには

アオナハ チヨラウキ ヤクン エネ ハワシ エヌ ナンコロ。  
 a=onaha corawki yakun ene hawas e=nu nankor.  
 父が襲ったら、このような話をあなたは聞くでしょう。

エアシリ アウェンパカシヌ パ  
 easir a=wenpakasnu pa  
 ひどく懲らしめられ、

セタ キキリ アルケシテ…… アエケシケカン ナンコロ クス  
 seta kikir arukeste... a=ekeskekakar\_ nankor kusu  
 犬につく虫にいたるまで絶やされるだろうから

エネ ハワシ エヌ。  
 ene hawas h\_i e=nu.  
 そのような話をあなたは聞くことになるのです。

エテケ アニ エイタサ ネノ エイキ ヤッカ ワカ  
 e=teke ani eytasa neno e=iki yakka waka  
 あなたの自身の手で懲らしめても、かえって

ウェンサンペコロ パ プ ネ クス アエエヤムカラ クス  
 wensampekor pa p ne kusu a=e=eyamkar kusu  
 悪い精神を持つものなので、あなたが心配なので

エアニ アナク モシマノ エアン ヤッカ ピリカ ルウェ ネ ナ。  
 eani anak mosmano e=an yakka pirka ruwe ne na.  
 あなたは黙っていればいいのですよ。

オロワウン ネノ ランマ イモシマ ソモ エヤイヌ コロ  
 orowaun neno ramma i=mosma somo e=yaynu kor  
 それからそのようにいつも私だけを思って

エチシ コロ パテク エアン

e=cis kor patek e=an

泣きながら暮らしていく

エエキムネ ャッカ チセ オッタ エアイ ャッカ

e=ekimne yakka cise or\_ta e=an\_yakka

あなたが山に行つても家にいても

キシリ アヌカラ コロ アナン。

ki siri a=nukar kor an=an.

そうしている（泣いている）様子を私は見ています。

エチシ コロ エチシ ヌペヘ アオイペピヒ オ ワイペ カ アエアイカプ。

e=cis kor e=cis nupehe a=oypepihi o wa ipe ka a=eaykap.

あなたが泣くなら、泣いた涙が私の食器に入つて食事をすることもできません。

カムイ アネ クス アエチャッケ ワイペ カ エアイカプ ナ。

kamuy a=ne kusu a=ecakke wa ipe ka eaykap na.

私はカムイなので汚がって食事もできないのですよ。

ヤイラムキシマ ワ ネノ タブ ハウエアニ アナン…… アン ワ エヌ ナ。

yayramukisma wa neno tap hawean h\_i an=an... an wa e=nu na.

我慢してこのような話をあなたは聞いてくださいよ。

オラノ エチポコロ チキ タンペ ポカ アシヌマ ネ セコロ

orano eci=pokor ciki tanpe poka asinuma ne sekor

それからあなた達に子どもができたら、それだけでも私だと

エチヤイヌ コロ エチエヤイラムキシマ ワ エチレス ヤクン

eci=yaynu kor eci=eyayramukisma wa eci=resu yakun

思つて我慢して育てたら

ナ ウシムネ ウシムネ ポロ ペコロ イキ ワ

na usimne usimne poro pekor iki wa

日一日と大きくなるようにして

ナ エチイイエ パ ヒネ エアシリ カ ウタラパ ネ ワ アナン ルウェ ネ。

na eci=i=ye pa hine easir ka utarpa ne wa an=an ruwe ne.

あなた達が私に言うことによって(?)立派な人に私はなっているのです。[4]

### 【注】

- [1] ku=「私」は物語の中の叙述者ではなく、話者自身を表している。萱野氏と平賀氏は親戚関係にあるわけではないが、そういう場合でも親しい相手には ku=karku 「私の甥」のように親族名称を使って表すのがふつう。
- [2] これと同じ表現は辞書等では確認できなかったが、『久保寺辞典稿』に「kironnawano 本心から、満身こめて、衷心より しみじみと」(P131)という語が掲載されており、これを参考に解釈した。
- [3] Disk11 トラック 1 に続く。

## 11-1 ウエペケレ

「ウラユシウンクル」 続き

ウラユシの人（続き） [1]

語り：平賀さだも

オラノ エキムネアン ヤッカ チセ オッタ アナン ヤッカ

orano ekimne=an yakka cise or\_ta an=an yakka

それから山に行っても家にいても

チシ トウラノ アプカサン エネ ヘタブ ネ

cis turano apkas=an ene hetap ne

泣きながら歩いていても

アエニシテ クニ カ ポ シリ ネ アラム クニ アエヤイコブンテク ペ

a=eniste kuni ka po siri ne a=ramu kuni a=eyaykopuntek pe

私が頼りにするべき子どものように思って喜んでいたのは

オッカイポ ニシパ ネ ア プ オラウン エネ ネ ヒ アン

okkaypo nispa ne a p oraun ene ne hi an

若者のニシパであったのに、そのようなこと

セコロ ヤイヌアン コロ アナクネ ネイ タ ヤイヌペサッカアン カ ソモ キ。

sekor yaynu=an kor anakne ney ta yaynipesakka=an ka somo ki.

を思っていると、いつも涙なしにいることもできなかった。

ネウン イテキ チシ ワ イコレ

neun iteki cis wa i=kore

どうにか決して泣かないでください

セコロ ハウェアン ヤッカ キ コロ アナン ルウェ ネ。

sekor hawean yakka ki kor an=an ruwe ne.

という話だったけれども、私はそのようにいた。

オロワノ アナクネ アコッ トノ エウン アラパアン カ ソモ キ。  
 orowano anakne a=kor\_ tono eun arpa=an ka somo ki.  
 それからは殿様のところにも行かずにいた。

「アアキヒ ネ。」  
 “a=akihi ne.”  
 「私の弟です」

セコロ カネ ハウェアナン コロ アトウラ ワ アラパアン マ エネ ヘタプ  
 sekor kane hawean=an kor a=tura wa arpa=an w\_a ene hetap  
 と言って連れていくって、あんなにも

アエラムシシリ アン アエオマルイエシリ アナ プ、オラウン  
 a=eramus siri an a=eomaruye siri an a p, oraun  
 私は足繁く通い、大切にしていたのに、

「アアキヒ ライ ルウェ ネ。」  
 “a=akihi ray ruwe ne.”  
 「弟は亡くなったのです」

セコロ カネ ハウェアナン チキ ソネ カ ウン  
 sekor kane hawean=an ciki sone ka un  
 と話すことは、本当に

アプンノ アイラム プ ヘ ネ ヤ ネウン ネ ヤ セコロ ヤイヌアン  
 apunno a=i=ramu p he ne ya neun ne ya sekor yaynu=an  
 平静に思われるか、どうであろうかと私は思い、

アコヤヤプテ イクス オラ アラパアン カ ソモ キ。  
 a=koyayapte h\_ikusu ora arpa=an ka somo ki.  
 自重して行かないでいた。

オラノ アナク キ コロ アナナイネ ソンノ カ イルカ オカアン コロ  
 orano anak ki kor an=an ayne sonno ka iruka oka=an kor  
 そうしていたのだったが、暫くそうして暮らしていたところ

アマチヒ ホンコロ。

a=macihi honkor.

私の妻は妊娠した。

パキペカ アナク ポ ヤイコチパチパ カ ソモ アン ノ

pakipeka anak po yaykocipacipa ka somo an no

これまで (?) 子どもを期待せずに

オカアン ペ ネ ア プ

oka=an pe ne a p

いたのだが、

ポコラン ソモ キ ャッカ

pokor=an somo ki yakka

私達に子どもがいなくても

アコタヌ ウン ウタラ カ イオマルイ パ プ ネ クス

a=kotanu un utar ka i=omaruypa p ne kusu

村人も私達を大事に思っているので

シルン イオクパレ パ カ アナク ソモ キ クニ アラム コロ

sirun i=okpare pa ka anak somo ki kuni a=ramu kor

ひどく冷遇したりはしないと思って

アナン ペ ネ クス

an=an pe ne kusu

暮らしていたので

ポ ヤイコチパチパ カ ソモ アン ノ アナン ア プ

po yaykocipacipa ka somo =an no an=an a p

子どもを期待してはいなかったのだが、

エネ アマチヒ ホンコロ

ene a=macihi honkor

このように妻が妊娠した。

カムイ イイエ イタク ソンノ ネシリ ネクニ アラム コロ  
 kamuy i=ye itak sonno ne siri ne kuni a=ramu kor  
 カムイが私に言った話が本当になったのだと私は思いながら

オラノ アエヤム ノ オカアン ルウェ ネ アイネ  
 orano a=eyam no oka=an ruwe ne ayne  
 それから妻を大事にしながらいたのだが

ポコロ アクス ピリカ エアシリ カ ソンノ カ ネ クス  
 pokor akusu pirka easir ka sonno ka ne kusu  
 妻が出産すると、美しく、本当に

ネア オッカイポ ヘプス カネ アン ポン オッカヨ コロ キ ヒネ  
 nea okkaypo hepusu kane an pon okkayo kor ki hine  
 あの若者が顔をだしたかのような小さな男の子で

オロワノ チシ トウラノ アエヤイコプンテク。  
 orowano cis turano a=eyaykopuntek.  
 私は泣きながら喜んだ。

エアシリ ヌペ トウラ アコオンカミ ア アコオンカミ ア。  
 easir nupe tura a=koonkami a a=koonkami a.  
 そして涙ながらに拝礼を続けた。

オンカミアナ アナ アエヤイコプンテク コロ アレス コロ アナン。  
 onkami=an a =an a a=eyaykopuntek kor a=resu kor an=an.  
 拝みに拝んで、喜びながら育てて暮らしていた。

オラノ アエヤム ペ ネ クス ホクレ カ エキムネ ヘネ アン カ ソモ キ ノ  
 orano a=eyam pe ne kusu hokure ka ekimne hene =an ka somo ki no  
 それから私は心配なので、すぐに山に行きもしないで暮らして

アナルウェ ネ アイネ スイ ナ オウシ テク スイ ホンコロ。  
 an=an ruwe ne ayne suy na ous tek suy honkor.  
 いたのだが、また、すぐ後に妻は妊娠した。

ウカウン ウカウン ホンコロ ヒネ スイ マッカチ コロ。  
 ukaun ukaun honkor hine suy matkaci kor.  
 重ねて妊娠して、また女の子を産んだ。

ソノノ カ ネア カムイ オッカイポ イイエ ア イタク ネ クス エネ シリキ  
 sonno ka nea kamuy okkaypo i=ye a itak ne kusu ene siriki  
 本当にあのカムイの若者が言った話通りに、このようになったのだ

セコロ ヤイスアン ポ ヘネ  
 sekor yaynu=an po hene  
 と私は思った。いっそう

アエコヤイライケ ネ ャ カムイコヤイライケアン コロ オラ  
 a=ekoyayrayke ne ya kamuykoyayrayke=an kor ora  
 私は感謝もし、カムイに感謝しながらいると、

イヌアン ハウェ エネ アニ。  
 inu=an hawe ene an h\_i.  
 聞こえてきた話はこのようだった。

「ネア コタン ネア ウラユシ カムイ オヤン ヒネ  
 “nea kotan nea Urayusi kamuy oyan hine  
 「あの村、あのウラユシにカムイが上陸し、

エアシリ カ アヤイウェンヌカレ パ ワ  
 easir ka a=yaywennukare pa wa  
 本当に苦しめられ、

テム ロク アイヌ オピッタ アアレムコ ワ イサム。」  
 tem rok aynu opitta aaremko wa isam.”  
 うめく人間全員が人生の半ばで死んだ」

セコロ ハワシ ヒ アヌ ヤクン  
 sekor hawas hi a=nu yakun  
 という話を私は聞いたので、それなら、

タネ アナクネ パセ カムイ コロ イルシカ ネ クス  
 tane anakne pase kamuy kor iruska ne kusu  
 もう、偉いカムイの怒りで

カムイ パカシヌ アン ハウェ ネ クニ アラム ペ ネ クス  
 kamuy pakasnu an hawe ne kuni a=ramu pe ne kusu  
 カムイの罰があったという話なのだと思ったので

オラノ アナク コパク ウン アラパアネネ ヤイヌアネネ キ カ ソモ キ。  
 orano anak kopak un arpa=an h\_ene yaynu=an h\_ene ki ka somo ki.  
 それからはそちらの方に行こうとも思いもせぬいた。

オラノ ネア アコロ テンネプ パテク  
 orano nea a=kor tennek patek  
 それから、その私の赤ちゃんばかりを

アエヌチシシケ フミ ネ ペコロ ヤイヌアン コロ  
 a=enucisiske humi ne pekor yaynu=an kor  
 私は見つめるように思いながら、

オラノ テクトゥムネ アコロ ワ  
 orano tektumne a=kor wa  
 力を出して、

スイ アコロ イラマンテ アコアリキキ コロ アナン コロ  
 suy a=kor iramante a=koarikiki kor an=an kor  
 また狩りに精を出しながら暮らしていると

ネロク ヘカッタラ ナ ウシムネ ウシムネ ルプネ ペコロ  
 nerok hekattar na usimne usimne rupne pekor  
 その子どもたちは毎日毎日大きくなり

アアトゥル…… ア…… アトゥ アトウリリ パ ペコロ ヘトウクパ シリ オカ  
 aaturu... a... atu a=turiri pa pekor hetukpa siri oka  
 紐が延ばされるかのように成長していた。

アエヤイコプンテク コロ オラノ アレシパ コロ オカアン アイネ  
 a=eyaykopuntek kor orano a=respa kor oka=an ayne  
 私は喜びながら育てていたところ

タネ アナクネ エアシリ イルカ トムタ  
 tane anakne easir iruka tomta  
 もはや、本当にわずかの間に

ルプネ ヘカッタン ネ ワ ネ シリ エネ アニ。  
 rupne hekattar\_ ne wa ne siri ene an h\_i.  
 子どもたちは大きくなり、こんなふうになった。

エアシリ カ ネア オッカイポ カトウン クニ ホロカ スイエ  
 easir ka nea okkaypo katun kuni horka suye  
 本当に例の若者の姿の生き写しかのように、

ネア オッカヨ ヘカチ キ シリ  
 nea okkayo hekaci ki siri  
 その男の子はなり、

ポ ヘネ アエヤイコプンテク コロ オラノ オカアン アイネ  
 po hene a=eyaykopuntek kor orano oka=an ayne  
 いっそう私は喜びながらいたのだが、

タネ シオッカヨ ネ ラポッケ タ アナクネ タネ ケマパセアン  
 tane siokkayo ne rapokke ta anakne tane kemapase=an  
 もう一人前の男になる間に私は年をとった。

タネ ポロ スクプアン マ アコロ ヘカッタン ネ クス  
 tane poro sukup=an w\_a a=kor hekattar\_ ne kusu  
 もう私は老人になり、私の子どもたちが

ルプネ パクノ アナク タネ ケマパセ カ アン ペ ネ クス  
 rupne pakno anak tane kemapase ka =an pe ne kusu  
 大きくなるほど、もう私も年をとったので

ネア アコロ…… アポホ エキムネ コロ  
 nea a=kor... a=poho ekimne kor  
 その息子は山に行くと

ネア オッカイポ エネ モイモイケ ヒ アアン ヒ コラチ キ プ ネ クス  
 nea okkaypo ene moymoyke hi aan hi koraci ki p ne kusu  
 例の若者が動いていたように、かつてそうであったようにするので

エアシリ カ アエピリカ。  
 easir ka a=epirka.  
 私達はそれで豊かになった。

アシヌマ アトウペレテ (?) チモイモイケレ アリキキ プ ネ クス  
 asinuma atuperete(?) cimoymoykere arikiki p ne kusu  
 私は (?) (子供たちが) 一生懸命働くので

ネプ エトコ タ アヌ カ ソモ キ ノ<sup>[2]</sup>  
 nep etoko ta a=anu ka somo ki no  
 何も先に置かなくても

ネプ エトコ タ アヌ ペコロ  
 nep etoko ta a=anu pekor  
 何か先に置いてあったかのように

ケシト アン コロ ユク ヘネ カムイ ヘネ エアウナルラ コロ オカアン  
 kesto an kor yuk hene kamuy hene eawnarura kor oka=an  
 毎日、シカでもクマでも獲ってきて私たちは暮らしていた。

アエウコアスルアシ  
 a=eukoasuruas  
 噴になっていた。

オロワノ ネア カムイ オッカイポ コロ  
 orowano nea kamuy okkaypo kor  
 それから例のカムイの若者が持っていた

チョイペプ ネ ヤ イコン ネ チキ ネプ ネ チキ  
 coypep ne ya ikor\_ne ciki nep ne ciki  
 食器や宝物などといったもので

ネア アポホ アエレス ワ コロ ペ ネ シンナ コロ ペ ネ  
 nea a=poho a=eresu wa kor pe ne sinna kor pe ne  
 この私の子どもを育てて、それぞれに持たせてやると

アイエ コロ アエパカシヌ コロ アレス ワ  
 a=ye kor a=epakasnu kor a=resu wa  
 私は言いながら、教えながら育て

エヤイコプンテク ワ ポ ヘネ テクトウムネ コロ ワ ネ コトム アン  
 eyaykopuntek wa po hene tektumne kor wa ne kotom an  
 子どもは喜んで、いつそうやる気ができるかのようだった。

アリキキ エアシリ カ アエピリカ  
 arikiki easir ka a=epirka  
 息子は頑張っていつそう私たちは豊かになった。

ネプ ア…… アテケ ケレ カ ソモ キ。  
 nep a... a=teke kere ka somo ki.  
 何も私の手を煩わせなかった。

ネア マッカチ カ ポロ ヒ ワノ ネプ アマチヒ テケ ケレ シリ カ イサムノ  
 nea matkaci ka poro hi wano nep a=macihi teke kere siri ka isamno  
 その女の子も大きくなってからは、私の妻の手を煩わせることなく

エアシリ カ アリキキ プ ネ クス エアシリ アエウコヤイブンテク コロ  
 easir ka arikiki p ne kusu easir a=eukoyaypuntek kor  
 よく働くので、私たちは互いに喜びながら

イピリカレシバ コロ オカアン  
 i=pirkarespa kor oka=an  
 大事にされながら暮らしていた。

オロワノ アナク アシヌマ アナク エキムネ カ ソモ アン。  
 orowano anak asinuma anak ekimne ka somo =an.  
 それからは私は山に行かなかった。

アポホ パテク エキムネ ヤッカ  
 a=poho patek ekimne yakka  
 息子だけが山に行っても

ヌウェコアン ペ カムイ ネ チキ ユク ネ チキ ネプ ネ クス  
 nuwekoan pe kamuy ne ciki yuk ne ciki nep ne kusu  
 獲物に恵まれるのでクマでもシカでもなんでも

アコタヌ ウン ウタラ カ マカン ネ コロ エイメッカラ。  
 a=kotanu un utar ka makan ne kor eymekkar.  
 村の人にしばしばおずそ分けしていた。

トウプ カ レプ カ スマウェ コロ コロ アコタヌ ウン ウタラ カ  
 tup ka rep ka sumawe kor kor a=kotanu un utar ka  
 二頭、三頭と獲物を獲ると、村の人々

コタン エピッタ エイメッカラ コロ  
 kotan epitta eymekkar kor  
 全員におすそ分けし

ボ ヘネ アイオマルイエ アエイオマルイパ ワ  
 po hene a=i=omaruye a=ehomaruypa wa  
 いっそう大切にし合い

エアシリ アコタヌ ウン ウタラ カ イエオリパク パ。  
 easir a=kotanu un utar ka i=eoripak pa.  
 村の人々は私を大事にした。

カムイ シリ ネ イエオリパク パ。  
 kamuy siri ne i=eoripak pa.  
 カムイのように私を大事にした。

アポホ エアシリ カトウフ ワノ  
a=poho easir katuhu wano  
息子は姿から

ニシパ イポロ コン ルウェ アン ペ ネ クス  
nispa ipor kor\_ruwe an pe ne kusu  
ニシパの顔つきをしているので

カムイ イポロ コン ルウェ アン ペ ネ クス アエオリパク  
kamuy ipor kor\_ruwe an pe ne kusu a=eoripak  
カムイの顔つきをしているので敬われた。

ポ アコタヌ ウン オッカイポ ウタラ ポ エオリパク パ ワ  
po a=kotanu un okkaypo utar po eoripak pa wa  
いっそう村の若者たちも敬って、

ピリカエオリパク パ ルウェ ネ アイネ  
pirkaeoripak pa ruwe ne ayne  
とても大事にしていて

オラノ ピリカ メノコ シノ ケウトゥム アレンカ ノイネ アン メノコ  
orano pirka menoko sino kewtum a=renka noyne an menoko  
それから、美しい女性、本当に心も美しい女性を

アエトウンカ ヒネ アコレ ワ  
a=etunka hine a=kore wa  
迎えさせて、結婚させて

オロワノ ポ ヘネ イピリカレスパ  
orowano po hene i=pirkarespa  
それからいっそう私は大事にされた。

ネア コシマッネ アコロ メノコ カ エアラキンネ ケウトゥム ピリカ  
nea kosmatne a=kor menoko ka earkinne kewtumu pirka  
その嫁も非常にやさしく、

シノ イヌヌケ イピリカレシパ ペ ネ クス  
 sino i=nunu ke i=pirkarespa pe ne kusu  
 私の面倒を良く見てくれた。私を大事にしてくれるので、

ネプ アエシリキラプ カ ネプ アコン ルスイ カ  
 nep a=esirkirap ka nep a=kor\_rusuy ka  
 私は困ることも、何を欲しいとも思わず、

イミ オッ タ イペ オッ タ チョイペプ ネ チキ ネプ ネ チキ  
 imi or\_ta ipe or\_ta coypep ne ciki nep ne ciki  
 着物でも食事でも食器でもなんでも

アコン ルスイ カ ソモ キ ノ  
 a=kor\_rusuy ka somo ki no  
 私はほしいと思わず、

タネ アナクネ オンネアン シリ ネ ナ。  
 tane anakne onne=an siri ne na.  
 今はもう年をとったのだ。

アポホ ヤヤン アイヌ サニ エネ ルウェ カ ソモ ネ。  
 a=poho yayan aynu sani e=ne ruwe ka somo ne.  
 息子よ、お前は普通の人間の子ではないのだ。

エアシリ オリパク カムイ カムイ ミッポホ エネ ルウェ ネ ワ  
 easir oripak kamuy kamuy mitpoho e=ne ruwe ne wa  
 天然痘のカムイの孫がお前なのだ。

アエエオリパク エアシリ キ プ ネ ルウェ ネ ナ。  
 a=e=eoripak easir ki p ne ruwe ne na.  
 お前は畏れ多く思われるものなのだよ。

アイエ ワ アエヌレ ハウェ ネ ナ。  
 a=ye wa a=e=nure hawe ne na.  
 私はそう言ってお前に聞かせるのだよ。

セコロ カネ シノ ニシパ ハウェアン セコロ  
sekor kane sino nispa hawean sekor  
と本当のニシパが話した。

【注】

- [1] Disk10 トラック 3 の続きにあたる。
- [2] この一行は言い誤り。次の一行で言い直している。

## 11-2 ウエペケレ

「シリマオッテ」

シリマオッテ

語り：平賀さだも

(萱野：何か……)

ウラユシウンクルって有名な人のおったとこだよ  
 Urayusiunkur って有名な人のおったとこだよ。  
 ウラユシの人って有名な人のいたところだよ。

昔からウラユシウンクルって言って、ものすごい、すごい者いたとこでな、  
 昔から Urayusiunkur って言って、ものすごい、すごい者いたとこでな、  
 昔からウラユシの人って言って、ものすごい、すごい人がいたところでな、

あのシリマオッテって言うウェン イレンカ コロ ペ いたんだ。それも、その  
 あの Sirmaotte って言う wen irenka kor pe いたんだ。それも、その  
 あのシリマオッテっていう、ひどい言いがかりをした者がいたんだ。

イシカラ エムコ タ イワン オッカイボ ウココタンコロ ワ  
 Iskar emko ta iwan okkaypo ukokotankor wa  
 石狩の中ほどに 6 人の若者が協力し合って治めているという

アスル アシ パ ワ クス エウイ スイ ネン カ ハウェアン ルスイ クス  
 asur as pa wa kusu eun\_suy nen ka hawean=an rusuy kusu  
 評判の村があるのでそこへまた何かと、なんくせをつけたくて

アラパアナク ウラユシ タ ヘノイエアン。  
 arpa=an y\_ak Urayusi ta henoye=an.  
 出かけたのだがウラユシにまず立ち寄ってみた。

ウラユシウンクル アスル アシ ハウェ アヌ プ ネ コロカ キ エキムネ ヒネ  
 Urayusiunkur asur as hawe a=nu p ne korka ki ekimne hine  
 ウラユシウンクルもたいした男で評判も聞いていたんだが行ってみると獵に出ていて

イサム オカケタ イマチ パテク アン。 ネン カ イコカトウン イ…… イネ  
 isam okaketa imaci patek an. nen ka i=kokatun i... ine  
 留守だった。あとにはその嫁だけが残っていてその女の俺に対する態度、ふるまいや様子などに

アン キ シリ ヘネ ネン カ コカトウン イ…… イオラムサッカ ノ  
 an ki siri hene nen ka kokatun i... i=oramsakka no  
 何か俺を侮蔑したようなところがあつた

イキ ヤクネ ネワアンペ アオイタッコテ ワ  
 iki yakne newaanpe a=oitakkote wa  
 ならばそれを理由にして、

アコチャランケ クニ アラム コロ アラパアン アクス  
 a=kocaranke kuni a=ramu kor arpa=an akusu  
 いちやもんをつけてやろうと思いつつ行ったのだが

ピリカ イエオリパク キ ワ イアフンケ クス イエ ヒネ  
 pirka i=eoripak ki wa i=ahunke kusu ye hine  
 その女は俺に対し丁寧にかしこまり俺に対し家の中へ入るようにと言うので

アフナン ヒネ シニアン マ アナナクス オロ タ ネ ウラユシウンクル  
 ahun=an hine sini=an w\_a an=an akusu oro ta ne Urayusiunkur  
 入って休んでいた。するとそこにそのウラユシウンクルが

アフン。エインカラ ペ ポン ノチウ ネ チウサムクル ウヌウヌ  
 ahun. einkar pe pon nociw ne ciwsamkur unuunu  
 入ってきた。その目は小さな星のようにギラギラ光りそこらじゅうを見わたしているようだ。

「タン シリマオッテ ウエンマオッテ フナクン スイ マカニレンカ  
 “tan Sirmaotte wenmaotte hunak un suy mak an irenka  
 「このシリマオッテの悪党野郎、またどこかで変ないいがかり

スンケ イレンカ イッカ イレンカ エエアプカシ クシ エイキ スイ  
sunke irenka ikka irenka e=eapkas kus e=iki suy

うそで恐喝まがいのいいがかりをつけようと思って歩き回っているのだな。また

アカラクタリ エウン エアラパ ルスイ クス エエク シッ タシ  
a=karkutari eun e=arpa rusuy kusu e=ek sir\_tas

ワシの甥っ子たちのところにでも行きたいと思って

ネ ナンコン ネク、エアラパ ワ ネン カ エハウエアン マ エサン  
ne nankor\_nek, e=arpa wa nen ka e=hawean w\_a e=san

来たんだろう。お前が何か甥っ子たちに言ってから下って来た

ヤカナク ネ アエシルンライケ クニ エシクヌ クニ  
yak anak ne a=e=sirunrayke kuni e=siknu kuni

時にはワシがお前をメッタメタに殺してやるからお前はせいぜい生きて帰れるもんだと

エヤイコスンケ コロ アラパ」

e=yaykosunke kor arpa”

自分を欺きつつ行くんだな。」

セコロ ハウエアン コロ イコパシロ(タ) オアラ アエオワイセ。

sekor hawean kor i=kopasro(ta) oar a=eowayse.

そう言いながら俺を叱りつけたので、すっかり俺は震え上がってしまった。

オロ タ レウシアン ヘネ キ イランモッカアン シコロ ヤイヌアン  
oro ta rewsia=an hene ki irammokka=an sekor yaynu=an

そこに泊まってその人たちをからかってやろうかぐらいに思って

ア コロカ、アシトマ クス オロ ワ キラアン ヒネ オラノ  
a korka, a=sitoma kusu oro wa kira=an hine orano

いたのだが、俺は怖くなり逃げ出してしまい

ペットゥラシアン マ コント ネ ペニ ワ アラパアン。イシカラ エムコ タ  
petturasin w\_a konte ne peni wa arpa=an. Iskar emko ta

それから川をさかのぼりさらに川上に行った。石狩の中ほどの

アラパアン イワン ウタラパ オカ ウシケ タ アラパアン ヒネ  
 arpa=an iwan utarpa oka uske ta arpa=an hine  
 6人の首領がいるところへ行き

インカラソルウェ インネ コタン アン。ソンノ カ コタン ノシキ タ  
 inkar=an ruwe inne kotan an. sonno ka kotan noski ta  
 見わたすとそれは大勢の人が住む村であった。村の真ん中には

ネプ ウエウシ オカ チセ ネ ルウェ カ イサム ノ ルプネ チセ タブ……  
 nep ueus oka cise ne ruwe ka isam no rupne cise tap...  
 まったく他には肩を並べる物がない大きな家

パテク イワン チセ ウサメロシキ ワ オカ ルウェ ネ ヒネ イヨッタ  
 patek iwan cise usameroski wa oka ruwe ne hine iyotta  
 ばかりが6棟も並び立っていてそのうち一番

コ…… ノシキケ タ アン チセ オッ タ シフムヌヤラアン ヒネ アフナン  
 ko... noskike ta an cise or\_ta sihumnuyar=an hine ahun=an  
 真ん中の家に俺は訪いの音を立てて入っていった。

アイヤンケ クス アイエ ヒネ アフナン アクス イネ パハ ヘネ  
 a=i=yanke kusu a=ye hine ahun=an akusu ine paha hene  
 俺を上げるように、という声がしたので入ってみると、そこには年を重ねて

ルプネ ワ アスル アシ ハウエ ネ クナク アラム ア プ、  
 rupne wa asur as hawe ne kunak a=ramu a p,  
 噂になっている人物なのだろうと思っていたのに、

オアラ オッカイポ ネ プ アイ カラ コロ アン ヒネ オラウン  
 oar okkaypo ne p ay kar kor an hine oraun  
 まったくの若者が矢を作りながらいた。そして

イヌカラ イエランカラブ アエランカラブ  
 i=nukar i=erankarap a=erankarap  
 そいつは俺を見て挨拶の言葉を言い、俺も挨拶の言葉を述べた。

「フナク ワ アプカシ ニシパ エネ ルウェ アン？」  
 “hunak wa apkas nispa e=ne ruwe an?”  
 「貴方はどちらから来られた方なのですか？」

シコロ イコウエペケンヌ ワクス  
 sekor i=kouepekennu wakusu  
 とたずねてくるので、

「トオプ イシカラ プトウ ワ エク ペ アネ」  
 “toop Iskar putu wa ek pe a=ne”  
 「遠く石狩川の河口から來たものです。」

シコロ ハウェアンアナクス ヘッチエ ヒネ オラウン イヤイサム ネ カ ヘ  
 sekor hawean=an akusu hetce hine oraun iyaysamne ka he  
 と言うと「ほう」と言い驚いた様子だったがその後は何という反応もなく

「エネ ニシパ カムイ アヌカラ カ エラミシカリ ニシパ ネ アワ  
 “ene nispa kamuy a=nukar ka eramiskari nispa ne awa  
 「このように神のような方、私が見たこともない立派な方が

エク シリ アニ アン」  
 ek siri an h\_i an”  
 来られたのですね。」

シコロ カネ ハウェアン ヒ クス  
 sekor kane hawean hi kusu  
 と言うので、

「テエタ カネ シンリツ オッタ アノルシペ クス エク ペ  
 “teeta kane sinrit or\_ta an oruspe kusu ek pe  
 昔の先祖から伝わる話があるため私は來たのです。

アネ ルウェ ネ。エカシ ケウィタク イワン ケウィタク スツ ケウィタク  
 a=ne ruwe ne. ekas kewitak iwan kewitak sut kewitak  
 祖父の言い伝え 6つの言い伝え、祖母の言い伝え

イワン ケウィタク アン ペ ネ ワクス  
 iwan kewitak an pe ne wakusu  
 6つの言い伝えがあるので

『イキア ソモ エイエ ノ エアニ カ エオンネ ナ。』  
 'ikia somo e=ye no eani ka e=onne na.'  
 『お前が言いださないでお前まで死ぬようなことがあってはならんぞ』

シコロ シンリッ チホッパ イタク アン ペ ネ アイ、アイエ  
 sekor sinrit cihoppa itak an pe ne a h\_i, a=ye  
 という先祖からの遺言があるので,私が言い

ソモ キ ノ オンネアン カ エヤイラムカラ ワクス アイエ クス エカン」  
 somo ki no onne=an ka eyayramkar wakusu a=ye kusu ek=an”  
 ださないで死んでしまうわけにもいかないのでそのことを言うために来たのです。」

シコロ カネ ハウェアン アクス ヘッヂェ ヒネ オラ  
 sekor kane hawean akusu hetce hine ora  
 と言うと「ほう」と驚いた様子であったが

「オアツ タプネ アシヌマ アヌ エラミシカリ オルシペ ネ ルウェ ネ  
 “oar\_ tapne asinuma a=nu eramiskari oruspe ne ruwe ne  
 「まったくこれは私が聞いたこともないお話ですが

アアクタリ オカ。ノカン ヤッカ ラムシカルン ペ アナク シンリッ  
 a=akutari oka. nokan yakka ramusikarun pe anak sinrit  
 私には弟たちがいます。若くても憶えている者は先祖の

イエ イタク ヌ ワ エラムシカルン カ キ プ ネ クス  
 ye itak nu wa eramusikarun ka ki p ne kusu  
 言った言葉を聞き憶えているかもしれない

アアクタリ アラパ ホトウイパカラ」  
 a=akutari arpa hotuypakar”  
 弟たちを行って呼んできなさい。」

シコロ マチヒ イエ ヒネ ネ イマッネ プ チソイエカッタ アクシ  
 sekor macihi ye hine ne imatne p cisoyekatta akus  
 とそいつは嫁に言いその嫁は家からとび出して行くと、

ネプ ウエホシ オカ ルウェ カ アイヌ カ アナク シ チオハイシトマ プ  
 nep uehosu oka ruwe ka aynu ka anak si ciohaysitoma p  
 何とも皆がけた違いの男たちでそれはそれは恐ろしくなってしまうような者

パテク ネ ヒネ ウオスオシ アフプ アルフックイカサンテ (?) コロ  
 patek ne hine uosuos ahup a=ruhukkuikasante(?) kor  
 ばかり次々と入ってきて (?)

アペ エトク タ シンノシキ タ アイアレ プ ネ ヒネ オラ キ ヒネ オラウン  
 ape etok ta sinnoski ta a=i=are p ne hine ora ki hine oraun  
 上座の真ん中に俺は座らされて、そしてそれから

「タプネ カネ アアクタリ ネ ワ タプネ ハウェアン ニシパ エク  
 “tapne kane a=akutari ne wa tapne hawean nispa ek  
 「弟たちよ、このような話をする方が来られたのだが

ルウェ ネ ワ エチオカ エチオ…… エヌ…… エチノカン ャッカ  
 ruwe ne wa ecioka ecio... e=nu... eci=nokan yakka  
 お前たちは若いとしても

ソモ エチヌ オルシペ ネ ルウェ ヘ アン？」  
 somo eci=nu oruspe ne ruwe he an?"  
 このような話を聞いたことがないか？」

シコロ カネ ハウェアナクス エアラキンネ エラムコエシカラパ  
 sekor kane hawean akusu earkinne eramukoesikarpa  
 そのように兄の若者が言うと弟たちはたいそう驚いて

「アユピ カ タプ エランペウテク ペ フナク ワ アオカ アナク  
 “a=yupi ka tap erampewtek pe hunak wa aoka anak  
 「兄さんもわからないものを我々の方が

ノカナニネ フナク ワ アエラマン オルシペ ネ ハウエ」  
 nokan=an h\_ine hunak wa a=eraman oruspe ne hawe”  
 若いというのにどこから我々が知っているという話がありましょうか。」

シコロ カネ ハウエオカ コロ アルキロッケ アクス ネア  
 sekor kane haweoka kor arukirotke akusu nea  
 と口々に言いお互いの足をつきあっている（？）。するとその

キヤンネ ヒケヘ エネ ハウエアニ。  
 kiyanne hikehe ene hawean h\_i.  
 兄がこのように言った。

「アラパ。コタンパ タ イワン アイヌ イキリ エポソ ルプネマツ  
 “arpa. kotanpa ta iwan aynu ikir eposo rupnemat  
 「村の上手に行って6世代を生きた老婆が

アコロ フチ アン ペ ネ アナ。タク ワ エク、ネ ヤク エアシリ  
 a=kor huci an pe ne an a. tak wa ek, ne yak easir  
 我らのばあさんがいるから呼んで来い、そうすれば、あらためて

アコピシ ヤクン イワン アイヌ イキリ カ エポソ プ ネ クス  
 a=kopisi yakun iwan aynu ikir ka eposo p ne kusu  
 ばあさんに尋ねてみるから6世代も貫いて生きているのだから

シンリツ オルシペ エラマン ナンコン ナ」  
 sinrit oruspe eraman nankor\_na”  
 先祖の話も知っているだろう。」

シコロ カネ ハウエアン アクシ ネア メノコ ホパッテクテク チソエカッタ  
 sekor kane hewe an akus nea menoko hopattektek cisoekatta  
 そう言われたのでその女（嫁）はさっと飛ぶように家をとび出して行った。

オアシアン（？）ホントム アン タ（？） ヘマンタ エク フムコンナ  
 oasian(?) hontomo an ta(?) hemanta ek humkonna  
 道の真ん中を何かがこちらへやって来るきぬ擦れの音が

セルッセルシ クマ セル フム カ  
serusserus kuma seru hum ka  
バタバタと響き杖を突く音も

リムヌリムヌ コロ チェアウォッケ  
rimnurimnu kor ceawotke  
ズシッ、ズシッと響いてきて家に飛びこんできた。

ソンノ カ シノ オンネ プ ネ コロカ ミムタラ カ タ アウォシマ  
sonno ka sino onne p ne korka mimtar ka ta awosma  
本当に年老いているようだが土間にとびこんで来た。

エインカラペ ポン ノチウ ネ チェウサムクル ウヌ  
einkarpe pon nociw ne cewsamkur unu  
その目はまるで小さな星がギラギラと光りそこらを見まわしているようである。

「トアン ヘマンタ シリマオッテ ネ ヤク アイエ ウェニレンカ コロ  
“toan hemanta Sirmaotte ne yak a=ye wen irenka kor  
「そこにいるとんでもないやつは、シリマオッテというひどいいがかり

スンケ イレンカ イッカ イレンカ コロ ペ イワン アイヌ イキリ  
sunke irenka ikka irenka kor pe iwan aynu ikir  
うそのいいがかり、盗人のいいがかりをつける者よ、ワシは人間6世代

エポソ ルプネ マッ アネ ヒネ アシヌマ カ アヌ エラミシカリ  
eposo rupne mat a=ne hine asinuma ka a=nu eramiskari  
貫いて生きてきたのであるからワシが聞いたことがない

オルシペ スンケ オルシペ ネ ナ」  
oruspe sunke oruspe ne na”  
話しというのはウソの話ということだ！」

シコロ カネ ハウェアン ハウェ アヌ テク オアラ アン ヤ……  
sekor kane hawean hawe a=nu tek oar an ya ...  
そのように言う声を聞くと俺はすぐに、

アン ワ アナン ア (クス) ピリカ チカラ アイエカラカラ クニ プ  
 an wa an=an a(kusu) pirka cikar a=i=ekarkar kuni p  
 このままいるといいようにされてしまう（？）と

ネ ハウエ ネ クナク アラム クス オロワ アキ ホピタ ネア ルプネマツ  
 ne hawe ne kunak a=ramu kusu orowa a=ki hopita nea rupnemat  
 思ったのでそれから俺は走り出してその老婆の

テンポキ アクシ テク ヒネ ア ソヨテレケアン エトウ カ タ  
 tempoki a=kus tek hine a soyoterke=an etu ka ta  
 腕の下をさっとくぐり抜け外へとび出した。エトウ（？）の上に掛けていた

アエシピンパ プ アウコシナ ワ アウク テク ヒネ ソヨテレケアン  
 a=esipinpa p a=ukosina wa a=uk tek hine soyoterke=an  
 着物をひとまとめにしてさっとつかんで外へとび出し

トイコホケレアン アコッ チプ トウシチ……  
 toykohokere=an a=kor\_cip tusci...  
 思い切り走って俺の舟の

トウシ アトイテクテクテ アッサユッパアニネ サナン  
 tusi a=tuytektekte assayuppa=an h\_ine san=an  
 もやいづなをバサッと切って一生懸命漕いで川を下る

イオカケ タ テシコサンパ  
 i=okane ta teskosanpa  
 後ろから声が響いた。

「オイヤ ニンクイヤロタ」  
 “oyya ninkuyyarota”  
 「なんとも憎い野郎だ」

シコロ ハウエオカ コロ  
 sekor haweoka kor  
 そう言いながら

「アエシクヌレ クシ カ ソモ ネ アクシ アエトイコライケ クニ  
 “a=e=siknure kus ka somo ne akus a=e=toykorayke kuni  
 「生かしちやおかねえメッタメタに殺ってやろうと

アラム アクス エネ エイキ ア プ クス ウラユシウンクル  
 a=ramu akusu ene e=iki a p kusu Urayusiunkur  
 思ったのに逃げやがって、ウラユシウンクルの

アコロ ユピ オロ タ エサン マ エシクヌ クニ ラム」  
 a=kor yupi oro ta e=san w\_a e=siknu kuni ramu”  
 兄のところまで下った時には命があるとは思うなよ。」

シコロ カネ ハウェオカ コロ ホシッパ ハウェ アヌ コロ サナン。  
 sekor kane haweoka kor hosippa hawe a=nu kor san=an.  
 そんなことを言いつつ奴らが戻って行く声を聞きながら下っていった。

ネンカネ ワ ウラユシウンクル イヌカラ クニ オトウライサンペ  
 nenkane wa Urayusiunkur i=nukar kuni oturaysanpe  
 ひょっとしてウラユシウンクルが俺が通過する時に見ていたら大変だと

アエコテ コロ サナン アイネ シエトクン インカラナクス  
 a=ekote kor san=an ayne sietok un inkar=an akusu  
 思いながら下って行ったのだが前方を見ると

ウライ キク コロ アンシリ イキ、エアラキンネ アエキマテク キ クス  
 uray kik kor an sir iki, earkinne a=ekimatek ki kusu  
 奴が築を叩きながらいるじゃないか。本当にびっくりしてしまい

レプケヘ ペカ チプ アクシテ クニ ネ サン(アン)。  
 repkehe peka cip a=kuste kuni ne san(=an).  
 なるたけ沖寄りに舟を通すようにして下っていった。

カイシコトウイエトウイエ マ ヒネ エキネ アコロ チプ エシカリ ヒネ  
 kaysikotuyetuye ma hine ek h\_ine a=kor cip esikari hine  
 奴は水を自分の方へグングンかく泳ぎでとうとうやって来て俺の舟を掴んで

ニンパ ワ イヤエカッタ チプ オロ ワ イヤエカッタ  
 ninpa wa i=yaekatta cip or wa i=yaekatta  
 引つ張っていき俺を陸に引きずり上げた、舟から引きずり上げ

イキル ランケ イトイコキッキク  
 i=kiru ranke i=toykokikkik  
 俺を転がしながらひどく殴りつけ

「タン シリマオッテ ウェンマオッテ エネ アン ウエン プリ パテク  
 “tan Sirmaotte wenmaotte ene an wen puri patek  
 「このシリマオッテ、悪党野郎め、悪いことばかり

エコロ ワ エアシリ カ エエアスル アシ ペ ネ アクス スイ エネ  
 e=kor wa easir ka e=easuru as pe ne akusu suy ene  
 やって、お前がいちやもんをつけているという噂があるもんだから、また

アカラクウタリ アアクタリ エコスンケ ワ エコイアシッテウク クス<sup>[1]</sup>  
 a=karkuutari a=akutari e=kosunke wa e=koiasideuk kusu  
 ワシの甥っ子たち、ワシの弟たちに嘘については

イアシンペウク クス エアラパ ヒネ アクス エサン シリ アン。  
 iasinpeuk kusu e=arpa hine akusu e=san siri an.  
 賠償を得るためにやって来てそして川を下ってきたのだな。

テ ワノ カ ネノ エイキ アスル アシ ペ ネ ヤカナクネ  
 te wano ka neno e=iki asuru as pe ne yak anakne  
 これからもそのようなことをお前が言っているという噂が聞こえて来ようものならば

アエシルンライケ クシ サナン クス ネ ナ」  
 a=e=sirunrayke kus san=an kusu ne na”  
 ワシがお前をメッタメタにして殺しに下がっていくからな！」

シコロ ハウェアン コロ イキカ イキカ イキカ イキカ アイネ  
 sekor hawean kor i=kik a i=kik a i=kik a i=kik a ayne  
 と言いながら俺を殴りに殴って殴りに殴り続けたあげく

チボ…… アエチボ プ オビッタ ヘヤシ オスルパ ヒネ  
 cipo... a=ecipo p opitta heyasi osurpa hine  
 舟道具は全て岸へ捨てられた。そして

イチプコエアチウ ヒネ  
 i=cipkoeaciw hine  
 俺はというと舟に投げ込まれたので

オロワノ ヌワパン コロ チプ オッ タ アナン ワ サナン アイネ  
 orowano nuwap=an kor cip or\_ta an=an wa san=an ayne  
 うめき声を上げながら舟で川を下っていってやつとのことで俺の舟着き場の

アコロ ペタル カランケ サナン コロ オラ アテケ アニ  
 a=kor petaru karanke san=an kor ora a=teke ani  
 近くに下ってきたのでそこからは手で

アッサアッサポアナイネ アコロ ペタル オルン チプ アエノイエ ヒネ  
 assaassapo=an ayne a=kor petaru or un cip a=enoye hine  
 一生懸命水をかき、やつとのことで舟着き場に舟を結わえて

アヤンケ オロワノ ホックアン カネ イキアナイネ アウニ タ エカン。  
 a=yanke orowano hotku=an kane iki=an ayne a=uni ta ek=an.  
 陸に上げた。そこからは、かがみこむようにしながらやつとのことで家にたどり着いた。

オロワノ ヌワパン コロ アマチ イカオイキ コロ オカアン  
 orowano nuwap=an kor a=maci i=kaoyki kor oka=an  
 それからは苦しみで唸りながらいた。嫁が俺を看病しながらいたんだが

ルウェ ネ アイネ イルシカアン コロ アナン アイネ  
 ruwe ne ayne iruska=an kor an=an ayne  
 そして腹の立つ思いで過ごした。そして

タネ イネ ヘンパク パ カ イカオイキ ペ ネ クス オホンノ ネノ アン  
 tane ine henpak pa ka i=kaoyki pe ne kusu ohonno neno an  
 もう何年も嫁に面倒をみてもらっていたもんだから長い間そんな

ウェン プリ カ アコロ カ ソモ キ ア コロカ ヤイヌアニケ  
 wen puri ka a=kor ka somo ki a korka yaynu=an h\_ike  
 悪いことはやってないので、一丁またやってやるかと思い立ち

アコタヌ エンコロケ タ インネ コタン アン オロ タ オッカイポ ウムレク  
 a=kotanu enkorke ta inne kotan an oro ta okkaypo umurek  
 俺の村の川上に沢山の人が住んでいる村があり、そこは若者の夫婦が

コタン コロ ワ コタンコロクル ネ ワ オカイ ペ ネ ヒケ エアシリ カ  
 kotan kor wa kotankorkur ne wa okay pe ne hike easir ka  
 村を取り仕切っていて村長をしているということで、

マチヒ コロ シレトク アスル アシ、ネ オッカイポ コロ シレトク  
 macihi kor saretok asuru as, ne okkaypo kor saretok  
 その嫁が美しいということも評判でその若者のカッコよさも

エアスルアシ アリキクパ ウムレク ウタラ キ ワ エアシリ  
 easuruas arikikpa umurek utar ki wa easir  
 噂に立っていた。一生懸命若者夫婦がやっていて

ネワアンペ エアスルアシ ニシパ ネ アスル アシ ペ ネ コロカ  
 newaanpe easuruas nispa ne asuru as pe ne korka  
 評判の立つたいそうな人物だという噂だが、

アコタヌ カランケ オカイ ペ ネ クル ン…… ヘンバラ ネ ャッカ  
 a=kotanu karanke okay pe ne kur n... hempara ne yakka  
 俺の村の近くにいる奴だし……いつだって

アコアラパ タシ キ ネク セコロ ヤイヌアン コロ アナン ペ ネ アヒ クス  
 a=koarpa tas ki nek sekor yaynu=an kor an=an pe ne a hi kusu  
 行ってやろうと思っていたんだが

ネ ヒ パクノ ネ ワ オンネアン カ ルシカ クス オロワノ コント  
 ne hi pakno ne wa onne=an ka ruska kusu orowano konto  
 そうしているうち に年取って死んでしまうのも腹がたつのでとうとう

アラパアン ネ コタン オルン アラパアン クス アラパアン アクシ  
 arpa=an ne kotan or un arpa=an kusu arpa=an akus  
 その村に行ってみた。その村に実際に行ってみると

イエカリ ピリカ メノコ フレ ニカパットウシ イカクシテ カネ アン ヒネ  
 i=ekari pirka menoko hure nikapattus ikakuste kane an hine  
 俺の方に向かってきれいな女が赤い厚司を着てそして

オラウン ムカラ エシタプカアニ カネ アン ヒネ サンタラ シトムシ カネ  
 oraun mukar esitapkaani kane an hine santar sitomusi kane  
 マサカリを肩に担いで、縄を腰に巻いて

ムカラ エシタプカアニ カネ ニナ クス オマナン ペ ネ ノイネ アン ヒネ  
 mukar esitapkaani kane nina kusu omanan pe ne noyne an hine  
 マサカリを肩にかついで薪集めをするために歩いている様子でそうして

イエカリ サン アイケ ピリカ イエオリパク キ ノ ルイマケネ(?) ヒネ オラ  
 i=ekari san ayke pirka i=eoripak ki no ruymakene(?) hine ora  
 俺の方に向かって下って来て俺に対し丁寧にかしこまって道をあけ

コロ ムカラ エシロッケ ヒネ カシ ノトマレ ヒネ オリパク  
 kor mukar esirotke hine kasi notomare hine oripak  
 担いでいたマサカリを地面に突き立てその上に顎をのせてかしこまる

キ ヒネ アン ヒ クス ネ コタンコロクル マチヒ ネ ルウェ ネ クニ  
 ki hine an hi kusu ne kotankorkur macihi ne ruwe ne kuni  
 様子なので村長の嫁なのだと

アラム クス ミピ アコイタサレ クナク アイエ。  
 a=ramu kusu mipi a=koitasare kunak a=ye.  
 思い着物を交換してくれと言った。

アミピ イカ ワ アミ アミピヒ アエオパンナアッテ カネ アミプ  
 a=mipi ika wa a=mi a=mipihi a=eopannaatte kane amip  
 俺が上に着ている着物、俺が羽織っている着物と

ネ メノコ エオパンナアッテ フレ アッ……ニカパットウシ アウタサレ クニ  
 ne menoko eopannaatte hure at... nikapattus a=utasare kuni  
 羽織っている赤い厚司と交換しようと

アイエ アクス オリパク ア オリパク ア コロ ウセ アヌ ヒネ イコレ  
 a=ye akusu oripak a oripak a kor use anu hine i=kore  
 言うと、ひどく恐縮した様子で着物を脱いで俺にさし出したので

アエヤイコプンテク  
 a=eyaykopuntek  
 よししめたぞと思い

「メノコ オロ ワイコイタサレ イオラムサッカ クシ キ ルウェ ネ」  
 “menoko oro wa i=koitasare i=oramsakka kus ki ruwe ne”  
 「の方から交換しろと言ってきたということは俺をばかにしているということだな。」

セコロ ハウェアナン コロ アラパエヤヨチャランケコテアン クニ  
 sekor hawean=an kor arpaeyayocarankekote=an kuni  
 そう言つていちやもんをつけに行ってやろう（？）と思うと

アエミナ ルスイ コロ ネワアンペ アミ ヒネ オラ ネア メノコ ネア アミブ  
 a=emina rusuy kor newaanpe a=mi hine ora nea menoko nea amip  
 笑いたい気持ちになりつつその女の着物を着、そしてその女は俺の着物を

ウク ヒネ オラウン アラパアン オロワノ アラパアン ア アン ア ャッカ  
 uk hine oraun arpa=an orowano arpa=an a =an a yakka  
 受け取りそこからまた進んで行きそうしてずっと歩いて行ったんだが

ネ コタン オッタ シレパアン カ ソモ キ。オロワノ クンネ ヘネ  
 ne kotan or\_ta sirepa=an ka somo ki. orowano kunne hene  
 その村には一向に到着しないじゃないか。それから夜も

トカプ ヘネ アプカサナ アナ アナ ャッカ シレパアン カ ソモ キ アイネ  
 tokap hene apkas=an a =an a =an a yakka sirepa=an ka somo ki ayne  
 昼も歩き続けたんだがまったくたどり着かないで

ヤイファイマンパアン アク  
yayhuymampa=an y\_ak  
自分自身をよく見てみると、

ウシ…… チロンヌプ アネ カネ ヒネ アナン  
us... cironnup a=ne kane hine an=an  
何とこの俺がまるでキツネのようになっているじゃないか。

ヒネ オロワノ アコタヌ ウン ホシピアン ルスイ ヤッカ  
hine orowano a=kotanu un hosipi=an rusuy yakka  
それから俺の村に帰りたいと思っても

ホシピアン カ エアイカブ。オラノ アプカサナ アナ クンネ ヘネ  
hosipi=an ka eaykap. orano apkas=an a =an a kunne hene  
帰ることもできやしない。そうして歩いて歩いて夜も

トカブ ヘネ キ イノンノイタカン クシ ネ コロ チロンヌプ パウセ  
tokap hene ki. inonnoytak=an kus ne kor cironnup pawse  
昼も歩き続けて、神頼みをしようとしてはキツネの鳴き声を

アキ コロ アプカサナ アナ アイネ (フ) ナクタ アラパアン アクシ  
a=ki kor apkas=an a =an a ayne (hu)nak ta arpa=an akus  
上げながら歩いて歩いてそうして、どこやらへ歩いて行くと

アシ ルウェ ピリカ ペロ ネ カネ アン チクニ アシ ルウェ ピリカ チクニ  
as ruwe pirka pero ne kane an cikuni as ruwe pirka cikuni  
太くて立派なナラのような木が立っていて、太くて立派な木

アン ヒ クス チヨロポッケ タ アラパアン ヒネ  
an hi kusu corpokke ta arpa=an hine  
なので根元に行って

シウコカラカリアン。ホッケアン コロ エネ ヤイヌアニ  
siukokarkari=an. hotke=an kor ene yaynu=an h\_i  
体を丸めて横になりながらこう考えた。

「セコロ アナン マ タンシリコロカムイ カムイカッケマツ エネ ワ  
 "sekor an=an w\_a tan sirkorkamuy kamuykatkemat e=ne wa  
 「俺がこんな状態になってしまったからには、あんたがこの立木の神、神なる淑女であって

セコロ アナン マ ラヤン マ トイコムニンアン ヤクン  
 sekor an=an w\_a ray=an w\_a toykomunin=an yakun  
 俺がこんな状態で死んでしまってひどい腐りようをしたら、

アフラハ アライフラハ アウェンフラハ エエウクシテ (?) ヤクン  
 a=huraha a=rayhuraha a=wenhuraha e=ewkuste(?) yakun  
 俺の腐臭、死臭、ひどい臭いがあんたにこびりつく (?)。そうなったら

カムイ オピッタ エエチャッケ ワ  
 kamuy opitta e=ecakke wa  
 神々全てがあんたをきたながり

エマウカシ オウカ…… オウキラレ (?) エマウ パオロカパ…… パラホキ<sup>[2]</sup>  
 e=mawkasi owka... owkirare(?) e=maw paorkapa... parpoki  
 あんたの風上に逃げ惑い、あんたの風下を

アウシトマレ キ クニ プ ネ ナ アイヌ カッ イコレ  
 a=usitomare ki kuni p ne na aynu kat i=kore  
 恐れ避けることになるだろうから、人間の姿に俺を戻して

ソモ キ ヤカナク ナカナク…… ヤカナクネ  
 somo ki yak anak nakanak... yak anakne  
 くれなければ、

ネノ アナン マ ライアン クシ ネ ナ」  
 neno an=an w\_a ray=an kus ne na"  
 俺はこのまま死んでしまうからな。」

シコロ ヤイヌアン コロ ホッケアン ルウェ ネ アクス  
 sekor yaynu=an kor hotke=an ruwe ne akusu  
 そんなことを考えながら横になっていると夢の中に

ウェンタラパン アクス エアシリ カムイ ネ クス アン メノコ アン ヒネ  
 wentarap=an akusu easir kamuy ne kusu an menoko an hine  
 神であるかのような女が現れて

オラウン イコパシロタ ア イコパシロタ  
 oraun i=kopasrota a i=kopasrota  
 俺を叱って叱って

「エコパサ (?) ウサイネ カ タプ ナ ネン ネン エイキ シリ カ タプ  
 “e=kopasa(?) usayne ka tap na nen nen e=iki siri ka tap  
 「XXXX、あれこれ何やかやとお前がやってきたことが

アオヤネネ ナ カムイ エエコイパク  
 a=oyanene na kamuy e=ekoypak  
 世間の笑いものになるぞ。神々がお前をとがめて、

カムイ オロ ワ アエコイパク ペ ネ クス  
 kamuy or wa a=e=koypak pe ne kusu  
 神々からとがめられたので

チロンヌプカムイ アニスク ヒネ アエコスンケ ワ  
 cironnupkamuy a=nisuk hine a=e=kosunke wa  
 キツネの神に頼み、私がお前をだまして

エネ アエカンルウェ アニネ ワ、テ ワノ アナクネ ネノ エアン マ  
 ene a=e=kar\_ruwe an h\_i ne wa, te wano anakne neno e=an w\_a  
 そのような姿に変えてやったのだが、これからお前がそんな状態のまま

エ ヤ…… ライ<sup>[3]</sup> ヤクン エライ ヤッカ ピリカ クニ カムイ オピッタ  
 e=ya... ray yakun e=ray yakka pirka kuni kamuy opitta  
 死んでしまったとしたら、死んでもいいという思いから神々全員が

エコイパク ワ カムイ サンニヨ ネ ワ エネ アエカラ ヒネ ア プ  
 e=koypak wa kamuy sanniyo ne wa ene a=e=kar hine a p  
 お前をとがめているので、神の考えで私がお前にそのようにしたのだが（?）

イクルケアシヌレ (?) イチョロポッケ タ ポカ アン ヘム (?)  
 i=kurkeasnure(?) i=corpokke ta poka an hem(?)  
 私の上に (?) 私の下に (?)

エエク ヒネ エネ ハウェアン コロ エアン。  
 e=ek hine ene hawean kor e=an.  
 お前がやって来てそういうことを言う。

インカラソノ エイエ プ ソンノ ネ クス  
 inkar=an hike sonno e=ye p sonno ne kusu  
 見てみると（考えてみると）お前の言うことは本当であるので、

エライ ヤクン エライフララ エムニンフラハ  
 e=ray yakun e=rayhurara e=muninhuraha  
 お前が死んだらお前の死臭、お前の腐臭が

アエヘクシテ パテク ソモ ネ エフラハ アピシカニケ エオカリ ヤクン  
 a=ehekuste patek somo ne e=huraha a=piskanike eokari yakun  
 私の顔をそむけさせるだけではなく、お前の臭いが私の周囲を回って漂つたならば

アマウカシケ アオウキラレ アマウパラポキ アウシトマレ  
 a=mawkasike a=owkirare a=mawparpoki a=usitomare  
 私の風上に神々が逃げ惑い、私の風下を恐れ避けるであろう。

カムイ オピッタ エフィネ パセ カムイ アネ ヤッカ  
 kamuy opitta ehuyne pase kamuy a=ne yakka  
 全ての神々に対したとえ私が位の高い神であったとしても

カムイ エウタンネ カ アエアイカヌ オアシ ルウェ アヌカラ  
 kamuy ewtanne ka a=eaykap oasi ruwe a=nukar  
 どの神にも仲間入りできなくなるという状況も見えるので、

エアラキンネ イルシカアン コロカ アイヌ ネ アエホシピレ クス ネ ナ。  
 earkinne iruska=an korka aynu ne a=e=hosipire kusu ne na.  
 まことに腹立たしいことだがお前を人間に戻してやろう。

テ ワノ ネノ アン イキ エイキ ヤカナクネ エアシリ カ アシリキンネ  
 te wano neno an iki e=iki yak anakne easir ka asirkinne  
 これより先お前がそのような悪い行いをするのであればあらためて新たに

アシヌマ アコイパク アナクネ アエシクヌレ ワ アエアヌ クニ プ  
 asinuma a=koypak anakne a=e=siknure wa a=e=anu kuni p  
 私から罰を下すので、その時は生きておれるとは思うなよ

ソモ ネ ナ。エラマン！」  
 somo ne na. eraman!”  
 覚えておけ！」

シコロ アイイエ アイコパシロタ アイコパシロタ ヤク  
 sekor a=i=ye a=i=kopasrota a=i=kopasrota yak  
 このように私に言い、叱りに叱りつける

アタカン ルウェ ネ アクス アイヌ ネ アナン ヒネ コロカ  
 a=takar\_ruwe ne akusu aynu ne an=an hine korka  
 夢をみて、そうして人間に戻ったのだが

イカ ワ アミ ア プ アナク オアリサム ヒネ アイヌ ネ アナン ヒネ オラ  
 ika wa a=mi a p anak oarisam hine aynu ne an=an hine ora  
 着ていたものはまったくなくなって、人間の姿となり、そうして

インカラニ アクス オヤチキ アコタヌ ピシカニケ ペカ アプカサナ  
 inkar=an akusu oyaciki a=kotanu piskanike peka apkas=an a  
 よく見まわしててみると、なんとまあ、俺は自分の村の周りを歩いて

アナ アナ アナ アナ アナ アナ  
 =an a =an a =an a =an a =an a =an a  
 歩いて歩いて歩いて、ずっと歩き続けて

クンネ ヘネ トカプ ヘネ キ プ ネ クス チロンヌプ ル パテク  
 kunne hene tokap hene ki p ne kusu cironnup ru patek  
 夜だろうが昼だろうが歩き続けていたのでキツネの足跡だけが

シッチテシテス コタン オカリ キ アプカサン オカケ キ ルウェ ネ アアン。  
 sitcitestesu kotan okari ki apkas=an okake ki ruwe ne aan.  
 ゴチャゴチャと村の周り、俺が歩いた後にのこっていた。

ヒネ オラ コタン カランケ アナ チクニ オロ タ エネ  
 hine ora kotan karanke an a cikuni oro ta ene  
 そして村の近くにある木のところに

ハウエアナン コロ ホッケアン ヒネ アン ルウェ アヌカラ ヒ オラ  
 hawean=an kor hotke=an hine an ruwe a=nukar hi ora  
 話しながら横になって休んだ跡があり、そこを見つけて

アナクネ アイエ…… ヤヤパプアン。  
 anakne a=ye... yayapapu=an.  
 俺は詫びを入れた。

「テ ワノ アナクネ エヤヤパプ エイエ コロ ハンケ オカ ウタラ  
 “te wano anakne e=yayapapu e=ye kor hanke oka utar  
 「これからはお前が謝罪の言葉を述べながら近くの人たちが

コロ ワ オカイ ペ エホシッパレ ソモ キ ヤカナクネ  
 kor wa okay pe e=hosippare somo ki yak anakne  
 持っていた物を返さなければ

アエウェンパカシヌ クス ネ ナ」  
 a=e=wenpakanusnu kusu ne na”  
 きつく懲らしめてやるからな。」

シコロ カネ アイコパシロタ アイコパシロタ プ ネ クス  
 sekor kane a=i=kopasrota a=i=kopasrota p ne kusu  
 そのように俺はひどく叱られたので

オラ ホシッパアン…… ホシビアン アクス  
 ora hosippa=an... hosipi=an akusu  
 それからやっと家に帰ることができた。すると

「エネ オホンノ エカニサム マ アオヤモクテ コロ アナナワ」  
 “ene ohonno ek=an isam w\_a a=oyamokte kor an=an awa”  
 「こんなに長く帰ってこなかったのでおかしいなと思ってたんだよ。」

シコロ カネ アマチヒ ハウェアン コロ アニネ オラ コロカ  
 sekor kane a=macihi hawean kor an h\_ine ora korka  
 と俺の嫁が言っていたんだが

アコタヌ ウン ウタラ カマカマ コロ ワ オカ ロク ペ アコロパレ オラ  
 a=kotanu un utar kamakama kor wa oka rok pe a=korpore ora  
 俺の村の奴たちには適当に持っていたものを返して

モシマ アナク ネン カ アホシッパレ カ ルシカ プ ネ クス オラノ  
 mosma anak nen ka a=hosippare ka ruska p ne kusu orano  
 それ以外は誰かに返すというのも腹立たしいので

テ ワノ カ ヘム ネノ イキ アン ヘ キ ワ シコロ ヤイヌアン クス  
 te wano ka hem neno iki an he ki wa sekor yaynu=an kusu  
 これからもこのままにしどうと思ったので

アホシッパレ カ ソモ キ ノ アナン アイネ タネ アコオンネ シリ  
 a=hosippare ka somo ki no an=an ayne tane a=koonne siri  
 返しもしないでいて、そうして今は年を取ってしまった

ネ クス アイエ。  
 ne kusu a=ye.  
 ので話したんだ。

シコロ シリマオッテ ハウェアン っていう、  
 sekor Sirmaotte hawean TTEIU,  
 とシリマオッテが語った

うんだから昔から Urayusi っていうとこえらい人のおったとこなんだ。  
 うんだから昔からウラユシっていうとこえらい人のおったとこなんだ。

(萱野：あー、なるほどね。)

ん……。

【注】

[1]iasitteuk kusu は iasinpeuk kusu の言い間違い。

[2]エマウ パオロカパ パラポキはエマウパラポキ e=mawparpoki の言い間違い。

[3]エヤライ は エライ e=ray の言い間違い。

### 11-3 ウエペケレ「ウラユシウンクル」、ウエペケレ「シリマ オッテ」まとめて解説

語り手：平賀サダモ  
聞き手・解説：萱野茂

平賀：そっちさ曲げるってや ponno ku=sini kusu XXX yan [少し私は休むから  
XXX してちょうだい]

萱野：今のこの uepeker [散文説話] の場合はこの生活どれでもそうなんですが  
けども、これ、1つ1つこう、1行1行区切っていくと非常に昔の生活  
が細かく出ているからね。

平賀：そうだね。

萱野：だからいいよね。

平賀：本当に。

萱野：だからこの最初の10号テープの uepeker [散文説話] が32分から続いたのが Urayusiunkur [ウラユシの人]。この Urayusiunkur というのは喋っている主人公は Iskar hontomo [石狩川中流] の人で、Urayusiunkur の動きをこう書いた、書いたというか、喋ったあれでしたね。

平賀：そう。仇を取る。

萱野：でこれも非常に筋書きが良くてその Iskar hontomo におったわたしのところへ隣村におったといわれる Urayusiunkur が訪ねてきてくれて、uyamam [交易] といいういわゆるその、シャモのところへ交易に行くその時、その交易に始終行っておるんで「一緒に付いて行ってくれ」と言われたんで一緒に付いていって、たくさんそのいろいろな物をもらってまあ、取り替えて持ってきた。そしてその Urayusiunkur という人が自分の村へ帰ったら、毒を飲まされて、その殺されたと。

そこへその Iskar hontomo の人が行って、その原因を訊いたらまあ、妻の方、妻が毒を盛ったんだと。そういうことなんか分かったので、まあ皆かたき討ちに殺そうかとしたんだけれども、夢枕に立ったその Urayusiunkur というこれ、ウラユシというところにいた人という意味です。uray [やな] us [～がある] un [～にいる] kur [人]。そこで住む人。

その Urayusiunkur が夢枕に立って「わたくしはその人間の子どもではなかったんだと。payokakamuy [流行病の神様] といって病気の神様が村の上を通った時に、わたくしの母のおる家の屋根の上に休んで下を見たら綺麗な女がおったので『こういう女、神であれば妻に娶ろうものを』というのを考えただけで、それでそのいわゆる懷妊したと。それによつて産まれたのわたくしであったので特別その器量もよくつて、どんなことでも上手であった」ということなんか夢枕でわかつたので、直接その自分では何もしなかつたけれども、かたき討ちというかその pakoyan [伝染病が上陸する] まあ病気が来てその村全滅したというのが uepeker [散文説話] の 32、10 号テープの 32、2 分から、11 号テープの 10 分までの筋書き。

えー、それから 10 分からこちらの方の Sirmaotte という、いわゆる昔、アイヌ語で言えば sikesarkur [乱暴者] だな？

平賀：sikesarkur これ……

萱野：sikesar、sunke caranke [嘘の抗議]

平賀：何ちゅうべ sisam itak [日本語] で sunke caranke

萱野：何というかその、

平賀：人をごまかして、物を奪い取る奴

萱野：そうそう、人をごまかすというその sunke caranke って嘘の言いがかりを付けて人から物を取る、のがまあ商売ではないんだろうけど、そんなようにしてた Sirmaotte というのがその神様から罰せられて、何ていうか、ある日のことまだ〔また〕隣村へ嘘の言いがかりを付けに行こうとして、え……通つて行つたら 1 人の綺麗な女が道路のへりにこう休んでおつた。

着ておる厚子が非常によく見えたので、わざとその、その村へ到着したらば、それを言いがかりにしようとして「あんたちょっといい着物だから私のこの上に着ている着物と取り替えてくれないか?」と、言うと、それが、うんその女がその着物を脱いでよこした。それを着て歩いていると、だんだんだんだんよく見るとそれが自分自身キツネになっていたと。

そしてキツネになっていたということはそのキツネから着物を借りたというような、これも童話というよりも昔の生活の中でこういうこともあったなんて非常におもしろいんだが、そんなようなこと、それから、そのキツネにはなったんだけれども精神だけは人間なので、ある大きなナラの木の側へ行って寝て「ナラの木の神様や、もしあんたが私を元に戻してくれなければ、ここでそのまま死んで腐って、その匂いがあんたの……、に巻きつくと、他の神様もあんたのところに来てくれないだろうし、どんな神様も近寄ってくれないぞ」とその脅かしたらその……、脅かしというか、まあそういうこと心の中で願いながらそのナラの木の側で寝たら夢枕にまだ〔また〕ナラの木の女神が出てきて、「この悪さをするアイヌめ!」というわけで、その叱られながらだけれども元の姿に戻ったというのがこの、10分から11号テープの10分から後ろのほうの Sirmaotte という uepeker [散文説話] の筋書きがありました。

平賀：へったくそでも、かまんして（我慢して）入れとくべし。

mak a=ye hawe [しょうがない] uepeker [散文説話] だよ。

萱野：はいよ。

## 11-4 ウエペケレ

「ユペッホントムンクル」

湧別の中流の人

語り：平賀さだも

ユペッ ホントモ ウン クル アネ イネ アナン イケ

Yupet hontomo un kur a=ne h\_ine an=an h\_ike

私は湧別中流の者であり、

エアラキンネ イソンクル アネ。

earkinne isonkur a=ne.

狩も上手いのだった。

アコロ…… アコタヌ ウン ウタラ アナク アコタヌ アナク

a=kor... a=kotanu un utar anak a=kotanu anak

私の村のものは、

ラッチ イレンカ アブン イレンカ パテク コロ クル アネ クス

ratci irenka apun irenka patek kor kur a=ne kusu

私は静かで穏やかな考えを持つものだったので

イエコカラ（？） ワ アコタヌ ウン ウタラ アナク

iekokar(?) wa a=kotanu un utar anak

村人は

ネプ カ ウエン プリ カ コロ パ カ ソモ キ。

nep ka wen puri ka kor pa ka somo ki.

誰も悪事を働いたりしなかった。

オロワウン アシヌマ ネ ャッカ

orowaun asinuma ne yakka

それから、私自身も

エアシリ エタカスレ カムイコマウコピリカアン ペ ネ クス  
 easir etakasure kamuykomawkopirk=an pe ne kusu  
 幸運にも、カムイの運にも恵まれていたので

カムイ ヘネ ユク ヘネ アエアウナルラ。  
 kamuy hene yuk hene a=eawnarura.  
 クマでもシカでもたくさん獲ってきた。

ウイマムアン コロ エタカスレ トノコマウコピリカアン マ  
 uymam=an kor etakasure tonokomawkopirk=an w\_a  
 交易に行くと、幸運にも、和人の殿様にも恵まれており、

ネプ ネ ャッカ アチペクサ。アヤナヤンケ。  
 nep ne yakka a=cipekusa. a=yanayanke.  
 何でも舟で運び、陸にあげた。

アレポルトゥ アヤナヤンケ セムコラチ ネ コロ アナン ペ アネ ルウェ ネ。  
 a=reporutu a=yanayanke semkoraci ne kor an=an pe a=ne ruwe ne.  
 沖に押しやり陸に上げるかのように（海を行き来） しながらいたのだった。

トウイマ クチャコッチセ カ アコロ。  
 tuyma kucakotcise ka a=kor.  
 遠くの狩小屋と

ハンケ クチャコッチセ カ アコロ ペ ネ イケ  
 hanke kucakotcise ka a=kor pe ne h\_ike  
 近くの狩小屋を持っていたのだが、

シネアンタ エキムネアン コロ アコロ クチャコッチセ  
 sineanta ekimne=an kor a=kor kucakotcise  
 ある日、山に行き、狩小屋、

アコッ トウイマ クチャコッチセ オルン アラパアン コロ  
 a=kor\_tuyma kucakotcise or un arpa=an kor  
 遠くの狩小屋へ行くと

オホンノ オロ タ…… オロ タ リヤ リ…… アナン ワ  
 ohonno oro ta... oro ta riya ri... an=an wa  
 長く、そこに一冬いて、

パイカラ エアシリ クチャサンケアン ランケ プ ネ…… ペ ネ イクス  
 paykar easir kucasanke=an ranke p ne... pe ne h\_ikusu  
 春になるとやっと、猟期を終えて村に帰るという習慣になっていたので

スイ シネアンタ トウイマ クチャコッチセ オルン アラパアン ルスイ クス  
 suy sineanta tuyma kucakotcise or un arpa=an rusuy kusu  
 またある日、遠くの狩小屋へ行きたくなつたので、

アラパアン ヒネ オラノ ヤイエトコイキアン アイネ  
 arpa=an hine orano yayetokoyki=an ayne  
 それから準備をして

アラパアン ヒネ トウイマ クチャチセ オッ タ シレパアニ  
 arpa=an hine tuyma kucacisee or\_ta sirepa=an h\_i  
 行って、遠くの狩小屋へ着き、

オラノ イナウロシキアン。  
 orano inawroski=an.  
 イナウを立てた。

ナシリペケレヒ ネ シレパアン ペ ネ クス イナウロシキアン。  
 na sirpeker hi ne sirepa=an pe ne kusu inawroski=an.  
 まだ明るいうちに着いたのでイナウを立てた。

ネン ネン イキアン アイネ アフナン ヒネ ランマ ネ ヤクン  
 nen nen iki=an ayne ahun=an hine ramma ne yakun  
 そうしていたあげく、中に入って、いつもなら

ケシパ アン コロ クチャコラン クシ エカン コロ  
 kespa an kor kucakor=an kus ek=an kor  
 毎年、狩小屋に泊りに来ると、

ス アタカ アオワッカク ナイ アトウラシ カ キ。

su a=tak w\_a a=owakkaku nay a=turasi ka ki.

鍋を抱えて、水を飲んだりする沢を上ったりもした。

クンネイワ カ エキムネアン ソンノ エキムネアン クシ ネ エトク タ カ

kunneywa ka ekimne=an sonno ekimne=an kus ne etok ta ka

朝から山に行ったり、本格的に山に行く前に

イルカ イルカ カ エキムネアン ペ ネ ア コロカ

iruka iruka ka ekimne=an pe ne a korka

ちょっとの間でも山に行っていたものだったが

マカナク ネ フミ ネ ヤ エキムネアン ラマン カ イオアラポソ。

makanak ne humi ne ya ekimne=an raman ka i=oarposo.

どうしたことか、山に行こうという考えは私の頭から抜け落ちていた。

イナウロシキアン ヒネ オラウン

inawroski=an hine oraun

イナウを立て、それから

アフナン ヒネ シオカ ウン ロルンブヤラ カリ インカラン アクス

ahun=an hine sioka un rorunpuyar kari inkar=an akusu

中に入り、自分の後ろの神窓から目をやると

イナウ アロシキ ア イナウ オピッタ チセ コパクン ホラキネ アン。

inaw a=roski a inaw opitta cise kopakun horak h\_ine an.

立てておいたイナウが全て小屋の方に向かって倒れていた。

エアラキンネ アオヤモクテ。

earkinne a=oyamokte.

私は非常に不審に思った。

ヒ クス スイ ソイネアニネ イナウロシキアン。

hi kusu suy soyne=an h\_ine inawroski=an.

そうなっていたので、また外に出てイナウを立てた。

アロシキ イノンノイタカナ アナ コロ  
 a=roski inonnoytak=an a =an a kor  
 立てて、祈りながら、

スイ アロシキ ヒネ オラ スイ アフナン。  
 suy a=roski hine ora suy ahun=an.  
 また、立てて中に入った。

ヒネ アナン アクス スイ チセ コパク ウン オピッタ ホクシ イネ アン  
 hine an=an akusu suy cise kopak un opitta hokus h\_ine an  
 そうしていると、また家の方にイナウは全部倒れて

シノ アオヤモクテ シリキ イネ  
 sino a=oyamokte sirki h\_ine  
 本当におかしなことで、

テ パクノ アナン コロカ エネ シリキ カ ソモ カ(?) エネ ネ シリ  
 te pakno an=an korka ene siriki ka somo ka(?) ene ne siri  
 今までこんなことはなかった様子に

シノ アヤイコウエペケレ コロ アナン。  
 sino a=yaykouepeker kor an=an.  
 私は心配に思いながらいた。

エキムネアン クナク アラム ア コロカ エキムネ カ アエトランネ。  
 ekimne=an kunak a=ramu a korka ekimne ka a=etoranne.  
 山に行こうと私は思うものの、なんだかそれも気が進まなかつた。

オラノ イカ トイクシ ペコロ ヤイヌアン。  
 orano i=ka toykus pekor yaynu=an.  
 それから、私は土に埋められているかのような気分だった。

ネウン ネ フミ ネ ヤ キ コロ アナナイネ タネ シロヌマン ヒケカ  
 neun ne humi ne ya ki kor an=an ayne tane sironuman hikeka  
 いったいどうしたことかそんな気分で過ごしていると、もう晩になつたのだが、

シロヌマン ヒケカ スケアン カ エトランネ。

sironuman hikeka suke=an ka etoranne.

晩になったのに料理をするのも気が進まなかつた。

オラノ イコトイ…… イカ トイクシ ペコロ ヤイヌアン。

orano ikotoy... i=ka toykus pekor yaynu=an.

それから、私は土に埋められているかのような気分だった。

シピネアン アナク キ ワ アナン コロカ

sipine=an anak ki wa an=an korka

身支度はしていたけれど

タシロ カ アシトムシ ネノ アナン コロカ

tasiro ka a=sitomusi neno an=an korka

山刀も身につけていたけれども、

オラウン モイモイケ カ アエトランネ。

oraun moymoyke ka a=etoranne.

動くのも億劫だった。

イカ トイクシ ペコロ ヤイヌアン。

i=ka toykus pekor yaynu=an.

土に埋められているかのような感じがしていた。

アペコオビ…… アペ テクサム ペカ ホクサン テク ヒ ネノ アナニネ

apekoopi... ape teksam peka hokus=an tek hi neno an=an h\_ine

火のそばにばったり倒れて、そのまでいて

ト エピッタ ネノ アナン アイネ

to epitta neno an=an ayne

一日中そのようにしているうちに

シロヌマン ヒケカ ホプニアン ラマン カ アサクノ

sironuman hikeka hopuni=an raman ka a=sakno

夕方になつても起きようという考えも浮かばず

ネノ アナン ルウェ ネ コロ

neno an=an ruwe ne kor

そうしていると、

オラウン イナウケアン。イナウロシキアン クス イナウケアン コロ

oraun inawke=an.inawroski=an kusu inawke=an kor

イナウを削った。イナウを立てるため、イナウを削ると

アコロ クチャチセ アパパケ タ

a=kor kucacisse apapake ta

狩小屋の入口に、

ピリカ ポンポン オタニコロ イランマカカ アン ウシケ アン ペ ネ ワ

pirka ponpon otanikor irammakaka an uske an pe ne wa

きれいな小さな砂原、きれいな場所があり、

イナウキケ ネ ャ ネプ ネ ャ エタラカ ムントウム ペカ カ アオスルパ カ

inawkike ne ya nep ne ya etarka muntum peka ka a=osurpa ka

イナウの削りかけや何かをやみくもに草原に投げるのも

ニシカ コロ

niska kor

もったいないと思いながら

ネ オタニコロ アン ウシケ ウン

ne otanikor an uske un

その砂原のあるところへ

アオスルパ ランケ アオスルパ ランケ コロ アン。

a=osurpa ranke a=osurpa ranke kor an.

すべていた。

アナン ペ ネ ワ スイ ネ エトホ カ イナウケアン ヒケ

an=an pe ne wa suy ne etoho ka inawke=an hike

そうしていて、またその日もイナウを削り、

イナウキケヘ ピリカ イナウキケ カ  
inawkikehe pirka inawkike ka  
イナウの削りかけ、きれいな削りかけも

アエマクパ イナウキケ カ アウコライパ ヘネ  
a=emakpa inawkike ka a=ukoraypa hene  
必要な削りかけもまとめて、

スイ ネア ポン オタニコロ ウン アオスルパ ヘム キ ヒネ  
suy nea pon otanikor un a=osurpa hem ki hine  
またその小さい砂原に投げて

オラ アナン ペ ナ ア プ エネ フマシ  
ora an=an pe na a p ene humas  
いたのだが、次のような感じだった。

エキムネ ラマン イオアラポソ  
ekimne raman i=oarposo  
山に行こうという考えも私の頭から抜けていた。

オラノ ネノ アナン。スケアン カ ゾモ キ ノ  
orano neno an=an. suke=an ka somo ki no  
それからこのようにいた。料理をすることもなく

ネノ アナン アイネ シロヌマン テク アクス  
neno an=an ayne sironuman tek akusu  
いて、夕方になり

タネ シリ…… シリクンネ カネ アクス  
tane sir... sirkunne kane akusu  
暗くなると

ヘマンタ フナク ワ オキムネ サヌム コンナ トソサッキ  
hemanta hunak wa okimne san h\_um konna tososatki  
何かがどこか山の方から下りてくる音がドサドサ

リミマッキ ウェン ニカイ フム シヨロッテ コロ キ アイネ  
 rimimatki wen nikay hum siyorotte kor ki ayne  
 ドンドンと木が折れる音を巻き上げながらやってきて

アコロ クチャチセ アットムサマ ヤイエウシ プ ネ フミ アシ ヒケカ  
 a=kor kucacise attomsama yayeus p ne humi as hikeka  
 私の狩小屋めがけてやってくる様子がしたのだが、

ヤイモイモイエ カ アヌクリ ワ アナン ネノ アナン ルウェ ネ アクス  
 yaymoymoye ka a=nukuri wa an=an neno an=an ruwe ne akusu  
 私は動くことも出来ずに、そのままいたところ

ヘマンタ エク ヒネ エアシリ カ  
 hemanta ek hine easir ka  
 何かがやってきて、本当に

アパ オッ タ ネプ アエカンパク ソモ キ ノ ヘマンタ エアウオシマ ルウェ  
 apa or\_ta nep a=ekampak somo ki no hemanta eawosma ruwe  
 戸口に思いもかけずに何かが頭を突っ込んだのだった。

エアシラナ ウエイ ヌク カトウ アコレ ヘマンタ シトウイカ ペカ  
 easirana wen\_yuk katu a=kore hemanta situya ka peka  
 なんと悪いクマの姿をした化け物を自分の上方に

インカラニ コロ アナン ペ ネ。  
 inkar=an kor an=an pe ne.  
 私は見ながらいたのだった。

シトウイカ ペカ インカラニ ル  
 situya ka peka inkar=an ru  
 自分の上の方に私が見た様子は

ウェイ ヌク カトウ アコレ  
 wen\_yuk katu a=kore  
 悪いクマである姿を与えられた

ヘマンタ チェアウォッケ チェヤサニニ（？） カネ  
 hemanta ceawotke ceyasanini(?) kane  
 化け物が頭を家の中に突っ込み（？）、

キ アプ ハウコメシコサンパ コッ チソイエカッタ ヒネ  
 ki a p hawkomeskosanpa kor\_cisoyekatta hine  
 すると、大声を上げて外に飛び出し、

スイ トオプ ホユプ フミ アシア プ  
 suy toop hoyupu humi as a p  
 遠くに走っていく音がしていたのだが

オロワノ スイ カンナ スイ アブンノ エク ヒネ  
 orowano suy kanna suy apunno ek hine  
 それから、また再び静かにやってきて

スイ プヤラ カリ へへウパ フミ ネ ノイネ フマサ プ、  
 suy puyar kari hehewpa humi ne noyne humas a p,  
 また窓からのぞくような感じがして、

スイ シキッテクテク ヒネ スイ キラ フミ アシ。  
 suy sikittektek hine suy kira humi as.  
 くるっと向きを変えて、また、逃げた様子だった。

オラ スイ エク ワ アブンノ フムネ アパ カリ エク ワ イホタヌカラ  
 ora suy ek wa apunno humne apa kari ek wa i=hotanukar  
 それから、また来て、今度は静かに戸口から入ってきて戸から私の様子をうかがっていた。

オラ スイ ハウコメシコサンパ コロ チマケカッタ スイ キラ フミ アシ。  
 ora suy hawkomeskosanpa kor cimakekatta suy kira humi as.  
 それから、また大声を出しながら、後ろに飛びのき、すぐに逃げて行ったようだった。

プヤラ カリ イネヘンパクスイ アパ カリ イネヘンパク スイ  
 puyar kari inehenpaksuy apa kari inehenpak suy  
 窓から、戸口から、何度も

イホタヌカラ ヒ (?) フミ ネ コロカ  
 i=hotanukar hi(?) humi ne korka  
 私の様子を見ているようだったが、

ヤイモイモイケ カ アエトランネ プ ネ コロ  
 yaymoymoyke ka a=etoranne p ne kor  
 私は動くのも気が進まずに

ネノ アナン ルウェ ネ アイネ タネ  
 neno an=an ruwe ne ayne tane  
 いたのだが、

オラノ アネピッタ ネノ ポンノ アラパ  
 orano anepitta neno ponno arpa  
 一晩中ちょっと来ては、

オラ スイ アブンノ イクイラ ワ エク コロ  
 ora suy apunno i=kuyra wa ek kor  
 こっそり私に近づいてくると

オラ スイ シキッテクテク ランケ コロ イネヘンパクスイ ヘネ イキ アイネ  
 ora suy sikittektek ranke kor inehenpaksuy hene iki ayne  
 身をひるがえすということを何度もしていたあげく、

タネ シットウムペケレ カネ  
 tane sittumupeker kane  
 もう夜が明けるぐらいに

パクノ シラン。ニサツマウ カリ パクノ ネ コロ  
 pakno siran. nisatmaw kari pakno ne kor  
 なった。夜が明けてくるころになるまで、そうして

オロワ イホタヌカラ ワ  
 orowa i=hotanukar wa  
 私の様子を伺い、

オロ ハウコメシコサンパ コロ シキッテクテク ヒ ワノ スイ  
 oro hawkomeskosanpa kor sikittektek hi wano suy  
 大声を出しながら身をひるがえしていた。そこから、また、

ウェン ニ カイ フム シヨロッテ ヒネ  
 wen ni kay hum siyorotte hine  
 激しく木が折れる音を立てながら、

トオプ エコイポクン マ アラパ フム コ トウリミムセ。  
 toop ekoypokun w\_a arpa hum ko turimimse.  
 ずっと西の方へ行く音が轟き

ケウロトッケ コロ アラパ フミ アシ コロ  
 kewrototke kor arpa humi as kor  
 韶き渡りながら行く様子がし、

オラ アカッカ コンナ チャクナタラ  
 ora a=katka konna caknatara  
 私は気分がよくなつた。

ヒネ ホプニアン コロカ オラウン  
 hine hopuni=an korka oraun  
 そうして私は起きたのだが、

ウクランネ カ スケアン マ イペアン カ ソモ キ プ ネ クス  
 ukuranne ka suke=an w\_a ipe=an ka somo ki p ne kusu  
 昨晩から料理も食事もせずにいたので

イペルスイ カ アン カ ソモ<sup>[1]</sup>…… イペルスイアン ヒ クス  
 iperusuy ka an ka somo... iperusuy=an hi kusu  
 食欲もなく……おなかがすいたので

クンネイワノ ホプニアン ヒネ ワッカタアン ヒネ オラ スケアン ヒネ  
 kunneywano hopuni=an hine wakkata=an hine ora suke=an hine  
 朝から起きて水を汲んで、それから料理をし、

ス アッテ ヒネ オラ ヤケ タ スイ ヤイホクシテアン テク  
 su a=atte hine ora yake ta tuy yayhokuste=an tek  
 鍋を掛け、炉端にひっくり返った。

ソモカ モコラン クナク アラム ア プ エアシリ カ  
 somoka mokor=an kunak a=ramu a p easir ka  
 まさか眠れないと思っていたのだが、

モコラナアンネ（？） ウエンタラパン フミ エネ アニ。  
 mokor=an a an(?) h\_ine wentarap=an humi ene an h\_i.  
 眠りにつき、夢に見たのはこのようなことだった。

カムイ ネ クス コラチ アン メノコ  
 kamuy ne kusu koraci an menoko  
 カムイのような女性で

カネ コソンテ トウムオウレブニ プ アン ヒネ  
 kane kosonte tum'ourepuni p an hine  
 金の小袖を重ね着したものが

イタク ハウェ エネ アニ。  
 itak hawe ene an h\_i.  
 このように話した。

「タン アイヌ ニシパ イタカン チキ エイヌ カトウ エネ アニ。  
 "tan aynu nispa itak=an ciki e=inu katu ene an h\_i.  
 「人間のニシパよ。私が話すから、聞くのです。

タアン エコロ クチャチセ ソイケ タ アン オタニコロ アウニヒ ネ ワ  
 taan e=kor kucacise soyke ta an otanikor a=unihi ne wa  
 このあなたの狩小屋の外の砂原は私のすみかで、

オロ タ アン ペ アネ ルウェ ネ。  
 oro ta an pe a=ne ruwe ne.  
 そこに私はいるのです。

キナスツトノ アネ ヒネ アナン ペ ネ ヒネ  
 kinasuttono a=ne hine an=an pe ne hine  
 私は蛇の大将で

アナン ヒケ エイナウケ コロ イナウ アエイコイトウパ ャッカ  
 an=an hike e=inawke kor inaw a=eykoytupa yakka  
 こうして暮らしていたのですが、あなたがイナウを削ると、イナウを欲しいと思っても

ウママ カムイ ウク エアシカイ ペ イナウ ソモ ネ クス  
 umama kamuy uk easkay pe inaw somo ne kusu  
 並みのカムイでは受け取れないのがイナウなので

ネウン カ イコレ カ ソモ キ プ ネ ヒケ カ  
 neun ka i=kore ka somo ki p ne hike ka  
 誰も私にくれないのだったが

エイナウケ コロ ピリカ イナウキケ カ  
 e=inawke kor pirka inawkike ka  
 あなたはイナウを削るときれいな削りかけも

アウニヒ オルン エオスルパ コロ アエヤライケ  
 a=unihi or un e=osurpa kor a=eyayrayke  
 私の家へ投げてくれるでの感謝していました。

アエヤイコプンテク コロ アナン ランケ ア プ  
 a=eyaykopuntek kor an=an ranke a p  
 いつも喜んでいたのですが、

インカラナクス エエキムネ ヤカナクネ エアシラナ モシリパ ワノ  
 inkar=an akusu e=ekimne yakanakne easirana mosirpa wano  
 目をやると、あなたが山に狩りに来たら、なんとまあ、国の上端から

イペハット<sup>[2]</sup> アコキ ワ アラポクナシリ アコオケウェ ワ  
 ipehatto a=koki wa arpoknasir a=kookewe wa  
 禁じられたものを食べて、地下に追放され、

エク アラウェンカムイ エアン ルウェ ヌカラ ヒネ  
 ek arwenkamuy e=an ruwe nukar hine  
 やって来た魔物が、あなたがいるのを見て

エトムンノ エク ワ エエ ポカ キ ワ  
 e=tomunno ek wa e=e poka ki wa  
 あなたの方に来て、せめてあなたを食べてから、

オラウン アラウェンモシリ アコキル クニ キ ルスイ クス  
 oraun arwenmosir a=kokiru kuni ki rusuy kusu  
 それから魔物の世界に追放されたいものだと思ったので

エトムンノ サン コロ アン シリ アヌカラ。  
 e=tomunno san kor an siri a=nukar.  
 あなたのそばに魔物が下りてきている様子を見ていました。

パクノ シトマ パ プ イサム ペ アカトウフ ネ ワ クス  
 pakno sitoma pa p isam pe a=katuhu ne wa kusu  
 これほど恐ろしいものはないというのが私の姿なので

アコロ コゾンテ エカ アカムレ ヒネ アエアヌ。  
 a=kor kosonte e=ka a=kamure hine a=e=anu.  
 私の小袖をあなたの上にかぶせておいたのです。

エエキムネ ソモ キ クニ ネ キ ヒネ エアン クシケライボ<sup>ポ</sup>  
 e=ekimne somo ki kuni ne ki hine e=an kuskeraypo  
 あなたが山に行けないようにして、そうしていたおかげで

シトマ プ ネ クス エヌカラ コロ  
 sitoma p ne kusu e=nukar kor  
 魔物は怖がっているので、あなたを見ると、

『マク タプ タシ アイヌ ネ ワ アヌカラ ワ エカン ア プ  
 'mak tap tas aynu ne wa a=nukar wa ek=an a p  
 『どうして、人間を見て来たのだったのに、

エネ アン ヘマンタ カトウネコ アン ペ エネ アニ アン?』  
 ene an hemanta katuneko an pe ene an h\_i an?  
 このような化け物のひどい姿であるというのだ』

セコロ ラムアン コロ エサウォッ ランケ オラ スイ  
 sekor ramuan kor e=sawot ranke ora suy  
 と思いながら、あなたから何度も逃げ、それから

『ランマ ネノ アニ アン?』  
 'ramma neno an h\_i an?'  
 『いつもこんな姿なのか?』

セコロ ラムアン ワ ホシピ ワ エノンカラ ア プ  
 sekor ramuan wa hosipi wa e=nonkar a p  
 と思って戻って、あなたの様子を見に行くのだが、

ランマ ネノ エアン ペ ネ クス  
 ramma neno e=an pe ne kusu  
 例のようにあなたがいるので

アルキ クニ シトマ クス エネ キラ ランケ キラ ランケ アイネ  
 a=ruki kuni sitoma kusu ene kira ranke kira ranke ayne  
 飲み込むのも恐ろしい様子なので、あのように何度も逃げたりしていた結果

タネ アナク シリペケレ ペ ネ クス シリペケレ パクノ ネノ イキ ワ  
 tane anak sirpeker pe ne kusu sirpeker pakno neno iki wa  
 もう夜も明けたので、夜も明けるまでそうしていて

ラポッケ カムイ オピッタ コホサリ ヤクン スイ アウェンパカシヌ クニ  
 rapokke kamuy opitta kohosari yakun suy a=wenpakanasnu kuni  
 そのうちにカムイがみなそのように気が付いたら、またひどく懲らしめられるのが

シトマ クス タネポ エアシリ アッチュッポクナシリ アオアラパレ クニ  
 sitoma kusu tanepo easir atcuppoknasir a=oarpare kuni  
 恐ろしいので、ようやく、西の果ての地獄へ行くように

アオイタッコテ ワ エク ペ ネ クス  
 a=oytakkote wa ek pe ne kusu  
 言い渡されて来ていたものだから、

カムイ オロワノ アウェンパカシヌ クシ エク ペ ネ クス アラパ ワ イサム。  
 kamuy orowano a=wenpakasnu kus ek pe ne kusu arpa wa isam.  
 カムイからひどく罰せられたために来ていたものなので、行ってしまった。

アコロ コソンテ エミ クシケライボ<sup>9</sup>  
 a=kor kosonte e=mi kuskeraypo  
 私の小袖をあなたは着ていたおかげで、

ソモ アエコイキ ノ アラパ ルウェ ネ ナ。  
 somo a=e=koyki no arpa ruwe ne na.  
 あなたは殺されず、魔物は行ったということなのですよ。

ネプ ネ ャッカ トノ オカイ ペ ネ クス  
 nep ne yakka tono okay pe ne kusu  
 何にでも大将というものはいるもので、

キナスツ トノ アネ ワ アナン ヒケ  
 kinasut tono a=ne wa an=an hike  
 蛇の大将が私であり

タパン ウシケ アオリワク ウシケ ネ ア プ エネ イナウ イコレ ランケ  
 tapan uske a=oriwak uske ne a p ene inaw i=kore ranke  
 この場所が私が住む場所であったのですが、イナウを私に度々くれ、

アエヤライケ ワクス エカ オピウキ シン ネ。  
 a=eyayrayke wakusu e=ka opiwki sir\_ne.  
 感謝しているので、あなたを助けたのです。

パクノ シトマ パ ピ イサム ペ キナスツ ネ ワクス  
 pakno sitoma pa p isam pe kinasut ne wakusu  
 これほどまでも恐れられるのは蛇なので

エネ アコロ コソンテ アエミレ ワ アアヌ ワクス オラノ  
 ene a=kor kosonte a=e=mire wa a=anu wakusu orano  
 このように私の小袖をあなたに着せておいたので、それから

シトマ ワ エネ キラ ア キラ ア アイネ  
 sitoma wa ene kira a kira a ayne  
 魔物は恐がって、このように逃げて

タネ アナクネ エシトマ プ カ イサム シンネ。  
 tane anakne e=sitoma p ka isam sir\_ne.  
 今はもうあなたは恐れるものもないのです。

テワノ アナクネ テワノ イエランポキウェン マ イノミ ワ イコレ ヤカナク  
 tewano anakne tewano i=erampokiwen w\_a i=nomi wa i=kore yakanak  
 今からは私を憐れんで、私に祈ってでもくれば、

エアシリ エセレマカ アウシ ヤクン  
 easir e=sermaka a=us yakun  
 あなたを守護して

エフイネ アン ペ エク ヤッカ  
 ehuyne an pe ek yakka  
 たとえ、何か来ても、

エシトマ プ アナク シネプ カ イサム ルウェ ネ。  
 e=sitoma p anak sinep ka isam ruwe ne.  
 あなたは恐れるものは一つもないですよ。

ナ イコヤイライケ ヤクン イナウ シネプ ポカ イコアシ ワ イコレ。  
 na i=koyayrayke yakun inaw sinep poka i=koasi wa i=kore.  
 もっと私に感謝するなら、イナウ一本でも私に立てて下さい。」

セコロ カネ カネ コソンテ トゥモウレプニ カムイ メノコ アン ヒネ  
 sekor kane kane kosonte tumourepuni kamuy menoko an hine  
 と金の小袖を重ね着したカムイの女性がいて

ハウエアン ヤク アタカラ。

hawean yak a=takar.

そのように話した夢を見た。

オロワノ オンカミアナ

orowano onkami=an a

それから私は拝礼をした。

ナニ シチャッテクテカン

nani sicattektek=an

すぐにはぱっと目が覚めたた。

ナ アコロ ス ポプ コロ アン ヒネ エウン シチャッテクテカン

na a=kor su pop kor an hine eun sicattektek=an

まだ鍋が煮立っていて、そこではぱっと目が覚めた。

オンカミアナ アナ。

onkami=an a =an a.

ずっと拝礼した。

エアシリ カムイコヤイライケアニ アイエ ア アイエ ア コロ

easir kamuykoyayrayke=an h\_i a=ye a a=ye a kor

それからカムイへの感謝を述べると

イナウケアン ナニ イカカタ イナウケアン ヒネ

inawke=an nani ikakata inawke=an hine

イナウを削った。即座にイナウを削り、

ア…… アノミ ヤク アイエ コロ イナウロシキアン ルウェ ネ ヒネ

a... a=nomi yak a=ye kor inawroski=an ruwe ne hine

祈りを口にしながらイナウを立て

オロワノ エキムネアン シリ エネ アニ。

orowano ekimne=an siri ene an h\_i.

それから私が山に行った時の様子は次のようだった。

ケシト アン コロ トウプ スマウネ レプ スマウネ ペ ネ クス  
 kesto an kor tup sumawne rep sumawne pe ne kusu  
 毎日、獲物が二つも三つも獲れるので、

エアシリ カ ピリカ チホキ  
 easir ka pirka cihoki  
 いい毛皮を

アサッサッケ コロ リヤ アナン。  
 a=satsatke kor riya an=an.  
 どんどん干しながら冬を越した。

パイカラ パクノ キ プ ネ クス エアシリ カ ヌプリ クンネ  
 paykar pakno ki p ne kusu easir ka nupuri kunne  
 春になるまでそうしたので、山のよう

ピリカ チホキ パテク アウカオシマレ ワ  
 pirka cihoki patek a=ukaosmare wa  
 いい毛皮ばかりためて

オロワノ パイカラ アン コロ サナン クニ ネ  
 orowano paykar an kor san=an kuni ne  
 それから春になると、山を下りることを

スイ ネア キナスツ トノ アコヤイライケ アノミ シンネ ナ。  
 suy nea kinasut tono a=koyayrayke a=nomi sinne na.  
 また、その蛇の大将に感謝して祈っていた。

オラ サケコラン ヤクン  
 ora sakekor=an yakun  
 それから酒を手に入れると

「サケ ネ ャッカ チエノミカラ アエカラカラ クス ネ ナ。  
 “sake ne yakka cienomikar a=ekarkar kusu ne na.  
 「酒でも祈りをささげますよ。

チエプンキネ イエカラカラ ワ イコロパレ ャン」  
 cepunkine i=ekarkar wa i=korpore yan”  
 どうか守ってください」

セコロ イタカン コロ アコイナウロシキ。  
 sekor itak=an kor a=koinawroski.  
 と話しながら、イナウを立てた。

スイ アシリキンネ キ ヒネ オラノ クチャサンケアン オロワノ  
 suy asirkinne ki hine orano kucasanke=an orowano  
 また、新たにそうして、獵期を終えて村に帰り、それから、

イ…… オロワノ ネ ペコロ ポ ヘネ ウイマムアン ヤッカ  
 i... orowano ne pekor po hene uymam=an yakka  
 そのようにいっそう交易に行っても

ウサ オカイ ペ ネプ ネ ヤッカ ウサ アコン ルスイ ペ  
 usa okay pe nep ne yakka usa a=kor\_ rusuy pe  
 いろいろなもの、なんでもほしいものは

イコン ネ チキ イヨイペ ネ チキ  
 ikor\_ ne ciki iyotype ne ciki  
 宝物でも食器でも

ウサ オカイペ ヌウェ アコアン  
 usa okaype nuwe a=koan  
 いろいろ収穫があった。

エアシリ カ アエアスルアシ。ネ アノミ シリ ネプ カ  
 easir ka a=easuras. ne a=nomi siri nep ka  
 本当に有名になった。その祈る様子を何も

アウタリ アナク アエコタンネ ウタラ アナク エランペウテク ヤッカ  
 a=utari anak a=ekotanne utar anak erampewtek yakka  
 仲間は、村人は知らないことだが

サケコロアン コロ

sakekor=an kor

私は酒を手に入れると、

アロロキシネ イナウ ネ ヤッカ シラリ ネ ヤッカ シンナ アロシキ ワ  
arorkisne inaw ne yakka sirari ne yakka sinna a=roski wa  
こっそりイナウでも酒粕でも別に立てて

アコイタッカラ キナスツ トノ アノミ ヒ アイエ コロ アコイロシキ。  
a=koytakkar kinasut tono a=nomi hi a=ye kor a=koiroski.  
話した。蛇の大将に祈るということを言いながら立てた。

オロワノ ポ アナクネ エキムネアン ヤッカ  
orowano po anakne ekimne=an yakka  
それからいっそう山に行っても

エキムン イラマンテ エピスン イラマンテ ペトイラマンテ アン ヤッカ  
ekimun iramante episun iramante petoiramante an yakka  
山の狩でも浜の狩でも川の狩でも

ネプ アエアイカプ ペ イサム ペ ネ クス  
nep a=eaykap pe isam pe ne kusu  
何も苦手なものはないので

エアシリ カ アエアスルアシ コロ アナン ペ ネ クス  
easir ka a=easur'as kor an=an pe ne kusu  
本当に有名になっていたので

タブネ アン ペ アコペプカ プ ネ アクス アイエ セコロ。  
tapne an pe a=kopepka p ne akusu a=ye sekor.  
このように私の体験を伝え、話したのだと。

タクネ ウエペケン ネ  
takne uepeker\_ne  
短い昔話だった。

(萱野氏:いや、いいウエペケレだねー)

ふふふ  
HUHUHU  
ふふふ

【注】

[1] iperusuy ka an ka somo は言い間違い。次に言いなおしている。

[2] ipe 「食べる」 hatto 「禁止」。おそらく人間を食ったということ。

## 11-5 ウエペケレ「ユペッホントムンクル」解説

語り手：平賀さだも  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えーっとこれは uepeker [散文説話] ですね。Yupet hontomo un kur a=ne hine an=an pe ne ruwe ne [私は湧別川中流で暮らしている者です。] ちゅうとつから [というところから] 始まるわけだ。

平賀：そうだ、そうだ。

萱野：わたくしは湧別川の、川のちょうど中ごろに住んでおる1人の aynu [男] でございました。獵も非常に上手で、いつでも山へ行つては沢山の

平賀：Yupet hontomo ちゅったら今コタンちゅうとこだべと思うよ。コタンちゅうとこあんだ、湧別ダンチャン（？）の手前にある。

萱野：あ一なるほどね。今の、まあ鹿もたくさん獲れるし熊もたくさん獲れるし何不自由なく生活をしておった。

ある日のこと山へ熊狩りに行った。まあ kuca cise [狩り小屋] と言つて獵小屋があるのでその獵小屋へ行って、いつも山行つたらアイヌの風習として inaw [イナウ] を作つてそこで inaw roske [イナウを立てる] と言って、それぞれ山の神様に inaw をあげて「熊を獲りに来ました。どうぞ宜しく。」というそのお願いやら、あの inaw を作るわけなんだが、またいつもと同じように inaw を作つて外の祭壇へ立てて、そして家の中に入つて黙つてこう見ておると、その inaw がいつのまにかその家の方に向かつてバサッと倒れてる。

「どうしてだろうな？」と、「何かその悪いことのおきる前兆ではないだろうか？」と、そんなこと考えながらまだ（また）外へ出てそれをきちつと立て直して家の中へ入つて、ちょっとうっかりしてるとまだそれが倒れておる。

それとそのまあそういうこと（？ 録音不良）あつたんでなんかこううす気味悪いといふような気持ちもして、おる、おりながらまあ、その日は夜になってまあ次の朝、朝早く起きたんだけれども、いわゆるそ

いうマタギと言うかその狩人のそのクセとして、その人もそうなんだが、行って泊まる場所を決めて、ちょっとその辺というわけで弓矢を持って朝めし前でも山行って、すぐでも山へ行く。

その日に限って朝起きても全然、行く気もない。そんなことを、でもただその炉端にゴロンと寝たっきりでその日は一日を過ごしちまったと。まったくそのアイヌ語での表現 i=ka tuy... i=ka toy kus a kus a pekor yaynu=an [(私が) かったるい : i=ka toy kus pekor (私の上を土でおおわれたような)・萱野辞典 p 46 と同意か] というふうな表現していますが、それはその、寝ている上に土を被され、被せられたような気持になつてまったくそのまま金縛りまではいってないんだけれども、その動けないという状態なんです。

そんなことで夜になった。朝めしも食べたったのか食べなかつたのか分からぬぐらいにまあ夜になつて、それでも相変わらずその体が重くてまったく動けないという感じ。炉端にゴロンと寝たっきり、そして夜になつたらまあ、いいかげん真っ暗くなつてから山の方からものすごい風を巻き起こすように、何者かがすごい勢いで走つて來た。足音聞いたらそれは大きな熊であるらしい。

その熊が、まあまっ直線に走つて來て私の泊まつておる狩り小屋の入口へこう、ひよいと顔を出した途端に何を見たかその熊はもう、ものすごい声をだして「フン！」とか「ホッ！」とかというような恐ろしい声を出しながら、まあバックして走つてしまつた。それから暫くは音沙汰もない。

そしたらまだそれが、その熊今度はこっそり戻つて來て足音忍ばせて窓から覗いた。そしたら、さっき戸から覗いた時と同じように、まだ何を見て驚いたのか、ものすごいびっくりした声を出して戻つて行つちました。それがもう、そしたらまだ暫く音がない。それからまだ、何……暫くの間おいて戸の方からまだ、コソコソジワジワ來て覗いてはすごい驚きをして戻つてしまう。という繰り返しが夜いっぱい続いた。それでも、どういうふうなつたのかもわたくし自身は全然、動きがとれないと。

そんなようなことでああ夜が明けた。夜が明けて、まあ私はその、夜が明けたら急にその体が前と同じように、こうすっかり元の状態になつた。まあ夜いっぱい眠らなかつたせいもあるけれども、まあ朝起きたんだから今度はすっかり体が元のじょうだい……状態になつたので、それにまあ火を焚いて鍋を掛けて、まあ何を焚いたか鍋を掛けて、で、ゴロッとまあ炉端へ横になつたらそのまま、まあウトウトと眠りに入つたら

夢枕に綺麗な女の人が立って言うのには「実はわたくしは、あなたのこの kuca cise [狩り小屋] という狩り小屋のすぐ側でいる蛇だ」と。蛇の神様なんだと。しかもその kuca cise のすぐ側でちょっととしたアイヌ語でさつき uepeker [散文説話] で otanikor [砂原] と言ったがその、土の出ている綺麗な場所があつて、そこへまあアイヌであるわたくしがその inaw を作った時には必ずその inaw の作り屑とか inaw の残りなんかを何気なくそこへポンと置く癖というか、そんなゴミ投げとは違うけれども何となく綺麗なその砂原なのでそこへ置くようにして、いつもしておった、ものだったが、その夢枕に立った女の言うのには、

「わたくしはその小さな砂原に……、を住まいとしておる蛇だったと。それがあんたはいつも私に inaw をくれるので普通ではもらえないはずの inaw がそういうふうにもらえるので、いつも感謝しておったと。ところが今、獵に来るの黙って見ておったら、あんたがその、まあこの狩り小屋へ来るのを分かっておったその獰猛な熊が襲いかかって喰い殺してやると。それも神の国でも悪さをして神様全部が集まって罰して、そのアイヌの住んでおる村では住めなく、よその村へ追放される途中、その行きがかりに喰ってやるという考えてくる熊がおったので、それを助けてやらんきやならんと。

あんたを助けてやろうと思って、まあ昨日の朝からいろんなその inaw がひっくり返るのを何か、でこう悪いことがあるぞと知らせておったり、それから、夕べ、昨日の朝から全……ずっとその私の衣をあなたに貸したんだと。貸したというより寝ている上へこう着せておいたと。それはまあ、あんた自身は分からぬでしようけれども蛇の姿に変えておいたんだと。熊はそれを見て一番嫌うので、その窓は……戸から見て、それを見ても、のけ反るように驚いて逃げた。『確かに人間がいて喰いに来たのにそれがそんなんなってる。変だ』と思って、まだ窓から来てみる。やっぱり同じ。戸へ……戸からもう1度廻っても同じという繰り返しを朝までして、とうとうまあ、お前を食い殺すことも出来ないでまあ夜が明けて帰つちましたんだと。それでまあ、あなたを救ったのは実はわたくし蛇の女神であったと。けれどもいつも inaw をくれたので、それをまあ、せめてこういうことがお礼としてあんたを助けたのですからこのあとも inaw の余りでもいいからまあ inaw をください」と。

そういうふうに夢枕にその蛇の女神が人間の姿になって立ってくれた。それを聞いて、ぱっと目が覚めて、まだ掛けて眠ったところの鍋はまあ煮立つておるぐらいに短い時間ではあったけれども、そういう夢を見たのですぐに inaw を作って、あらためてその otanikor というまあ小さな

砂原ですね。まあこの uepeker [散文説話] を聞いた感じとしては、そうね、十坪かそこらぐらいの砂原という感じに聞こえますが、その砂原のところへ inaw を立てて「本当に有難う御座いました」とお礼をしました。

それからなおさら私は運がいいように沢山の熊が獲れ鹿が獲れ何不自由なくわたくしは生活をしておりました。こんなことでああ aynu になって一人前なってから恐ろしいてば恐ろしい、そういう経験を私は持つておる aynu でしたと、1人の aynu が言いました。

これは uepeker [散文説話] です。

## 11-6 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

イヨチ ウン マッ語るところからだよ  
Iyoci un mat

イヨチ ウン クル  
Iyoci un kur

エプ アコロ ユビ<sup>°</sup>  
ep a=kor yupi

イレシパ シリ  
i=respa siri

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

チアラレス  
ciararesu

チトムテレス  
citomteresu

イエイカラカラ ワ  
i=e[y]karkar wa

ウ ランマ カネ  
u ranma kane

オカヤニケ  
oka[y]=an h\_ike  
いたのですが

タネイ アナクネ  
tane[y] anakne  
今はもう

セモロ ポロ ノ  
semor poro no  
少し大きくなっています

ウ アハナン キ コロ  
u a[ha]n=an ki kor  
なったので

イレス ユビ<sup>°</sup>  
i=resu yupi  
育ての兄は

サランペ ウイペ  
saranpe uype  
絹の端切れを

ウ ケム トウラノ  
u kem turano  
針と共に

サプテ イコレ  
sapte i=kore  
出して私に与えました。

「コニンカラ クス  
“koninkar kusu  
『さて、

アコッ トウレシ  
a=kor\_ turesi  
我が妹よ

メノコ アナク  
menoko anak  
女とは

ケメイキ プ ネイ ナ  
kemeyki p ne[y] na  
裁縫をするものだから

エケメイキ キ ヤク  
e=kemeyki ki yak

ピリカ ナンコロ ナン」  
pirka nankor na[n]"

セコロ イタク コロ  
sekor itak kor

イコロパレ コロ  
i=korpare kor

アハンケヨンパン  
a=hankeyompa[n]

アトウイマヨンパン  
a=tuymayompa[n]

アコロパレ コロ  
a=korpare kor

イレス ユビ°  
i=resu yupi

シイエトウウイナン  
si[y]etuwyna[n]

エ シバルイナ  
e siparuyina

「アコツ トウレシ  
“a=kor\_turesi

ウ アシカイ カシパン」  
u askay kaspa[n]"

お前は裁縫をすると  
よいぞ (=裁縫しなさい)。」

そう言しながら

私にそれらを与えると

近くを縫い縮め

遠くを縫い縮め

(兄に縫ったものを) 渡すと

育ての兄は

(驚いて) 自分の鼻を押さえ

自分の口を押さえ

「我が妹は

非常に上手だな。」

セコロ イタク そう言うだろう  
sekor itak

アラム コロ オラン と私が思っていると  
a=ramu kor ora[n]

シセンピリ ウン アン コロ 後ろを向きながら  
sisenpiri un an kor

エピタッタラケン くすくす笑う  
epitattarke[n]

ウキコトムノ そうしているように  
u ki kotom no

アネサンニヨ そのように見受けられます。  
an=esanniyo

オカ オヤク タ 別の場所では  
oka oyak ta

アラム ロク ペ 私はそう（上手だと）思っていたのですが  
a=ramu rok pe

ウッシウ ウタラ 召使いの者たちも  
ussiw utar

オソッタンプ ネ (私が縫ったものを) お尻のつぎ當てに  
osottampu ne

カラ ワ オカ ワクス しているので  
kar wa oka wakusu

イルシカアン クス 私が怒って  
iruska=an kusu

エプ アコロ ユビ<sup>°</sup>  
ep a=kor yupi  
我が兄に

アエコイヨンヌッパン  
a=ekoyonnuppa[n]  
訴える

イシサウ コンナ  
isis h\_aw konna  
憤りの声が

ウ ヤクナタラ  
u yaknatara  
鳴り響きます。

アナク キ コロカ  
anak ki korka  
けれども

パシロタ カトウフ カ  
pasrota katuhu ka  
(兄が召使いを) 罵る様子も

アネイランペウテク  
an=e[i]rampewtek  
私にはわかりません。(見受けられません)

オトウ ケシトタン  
otu kes to ta[n]  
毎日

ウ アナン カトウ  
u an=an katu  
暮らしている様子を

アノモンモモ  
an=omommomo  
つぶさに述べたのです。

ウ キ ロク アイネ  
u ki rok ayne  
そうして

タネイ アナクネ  
tane[y] anakne  
今はもう

セモロ ポロ ノ semor poro no	少し大きく
ウ アナン キ コロ u an=an ki kor	なったのですが
ネシ ナ クス nesi na kusu	そうして
アエヤイ…… アエカン ロク ペ aeyay... a=ekar_ rok pe	私がそれで（針で）作ったもの
アカラ ワ アン ペ a=kar wa an pe	私が作ったものの
トウル ウトウル tu ru utur	ふたつの縫い跡の間を
トウ ペケッ チュプキ tu peker_ cupki	ふたつの明るい光が
チオウシパカラ ciouspakan	きらめく
ウ パクノ ネイ コロ u pakno ne[y] kor	そのようにまでなると
イレス ユビ <sup>°</sup> i=resu yupi	私の兄が
エネ イタキ ene itak h_i	こう言いました。
「アコッ トウレシ “a=kor_ turesi	「わが妹よ

イタカン チキ  
itak=an ciki 私が言うから

ウ ピ°リカ ヌ ャン  
u pirka nu yan よく聞きなさい。

シヌタプカ タ  
Sinutapka ta シヌタプカで

アペ サク スクプ  
ape sak sukup 火もなく育ち

ワッカ サク スクプ  
wakka sak sukup 水もなく育った

カムイ オロ ハオイペ  
kamuy or [h]a=oype 神に食べさせられる<sup>[1]</sup>

カムイ ネ アン クル  
kamy ne an kur 神のような人が

エコロ クニ ヒ  
e=kor kuni hi お前の夫となるということが

チホッパ イ イタク  
cihoppa [y] itak 言い残された言葉

ウ シンリツ イタク  
u sinrit itak 先祖の言葉

ウ ネ ワ シラン  
u ne wa siran ということで

ルウェ タプ…… オカアナ  
ruwe tap... oka=an a あるのだ。

ウ ニシパ プリ 立派な人の風習  
u nispa puri

ウ アイヌ プリ 人間の風習を  
u aynu puri

エコヤイケウトウム お前は自分の心に  
e=koyaykewtum

エシロマレ 刻みつけ  
e=siromare

キ クニ タプ タプ そのようにして  
ki kuni tap tap

オカアナ」 セコロ 暮らすのだ。」と  
oka=an a" sekor

オトウ ケシト タン 毎日毎日  
otu kesto ta[n]

イカシパオッテ 私に言いつける  
i=kaspaotte

オカアン カトウ その様子を  
oka=an katu

アノモンモモ 私は述べたのです。  
an=omommomo

ウ キ ロク アイネ そうして  
u ki rok ayne

タネイ アナクネ 今はもう  
tane[y] anakne

シノツ ヌマツボ  
sinot numatpo 遊び紐を

アエリキライエ  
a=erikiraye 結ぶようになる

パクノ アナン コロ  
pakno an=an kor くらいになり

シネ アン ト タ  
sine an to ta ある日

ネコン ネ フミ  
nekon ne humi どうしたこと

ウ ネ ナンコラ  
u ne nankor y\_a であろうか

イレス ユビ<sup>°</sup>  
i=resu yupi 我が兄は

ウッシウ ウタリ  
ussiw utari 召使いの者たち

オピッタ トゥラ  
opitta tura 皆と共に

エキムネ ワ イサム  
ekimne wa isam 山へ行ってしまい

シネンネ アナン  
sinenne an=an 私1人になりました。

ウ キ ロク アワ  
u ki rok awa そうして

ウ ニサプラムタン  
u nisapramta[n]

シヌタプカ タ  
Sinutapka ta

カムイ ネ アン クル  
kamy ne an kur

アエポタラ ワ  
a=epotara wa

ウ ウエン ルイ ウエン ルイ  
u wen ruy wen ruy

タパン ペ クス  
tapan pe kusu

カムイ コソンテ  
kamuy kosonte

アシリクルカサム  
a=sirkurkasam-

エオハ ア ア……[2]  
eoha a a...

エオピラサ  
eopirasa

トウス チパヌブ  
tusu cipanup

ヌブッ チパヌブ  
nupur\_cipanup

アエルリキクル 頭に高く  
a=erurikikur-

ウ プンパ カネ 卷いて  
u punpa kane

カネイ アワンキ 鉄の扇を  
kane[y] awanki

ウ プソロ オマレ 懐に入れ  
upsor omare

ウ ウプソロ ウン タム 懐刀は  
u upsor un tam

アクッポケチウ 帯に差して  
a=kutpokeciw

ウ ソイ ワ サン マ 外へ  
u soy wa san w\_a

ウ シキル 向かって  
u sikiru

ホプニ ネ イワン 立ち上がって  
hopuni ne [i]wa[n]

ウテレケ ネ イワン とび出し  
uterke ne [i]wa[n]

アキ プ ネ コロカ そのようにしたのですが  
a=ki p ne korka

コヨヤモクテ 何かおかしいと  
koyoyamokte

アキ プ ネ クス                    思ったので  
a=ki p ne kusu

ウ シヌタプカ ウン                    シヌタプカの  
u Sinutapka un

ウ タプ クルカシ                    上空に  
u tap kurkasi

コヤイトウナシカアン                    私は急いだのです。  
koyaytunaska=an

エプ アキ ヒネ                    そして  
ep a=ki hine

シレパアン ルウェ                    着いてみると  
sirepa=an ruwe

カムイ カッ チャシ                    神が造った城  
kamuy kar\_ casi

エアシラナ                            あらためて  
easirana

ウ チャシ カムイ                    城の神  
u casi kamuy

ウ ピリカ カトウ                    その美しい様子を  
u pirka katu

アノモンモモ                            詳しく述べましょう。  
an=omommomo

アナク キ コロカ                    しかし  
anak ki korka

ネン エエク ヘ ワン  
nen e=ek he wa[n]

エ エカヘ キ? [3]  
e=ek a he ki?

ヤイヌアン クス  
yaynu=an kusu

ヘヨキ サク ノ  
heyoki sak no

アフナン ハワン  
ahun=an [h]awa[n]

ソモ スイ クスン  
somo suy kusun

インカラニ クニ  
inkar=an kuni

アラム ロク ワン  
a=ramu rok wa[n]

カムイ ネ アン クル  
kamy ne an kur

チトウイエ アムセツ  
cituye amset

ウ アムセツ カ ワン  
u amset ka wa[n]

ホッケ コソンテ  
hotke kosonte

オスラ テク ヒネ osura tek hine	ぱっと脱ぎ捨て
イウ ヤイラム [i]u yayramu	油断
ウ サウレ カネ (?) u sawre kane(?)	していたところを (?)
チキマテッカ cikimatekka	(神のような人は) おどろか
アエカラカラ ヤクネ a=ekarkar yakne	された
コトム コロカイキ kotom korkayki	かのようですが
エアシラナ easirana	それこそ
チキマテッカ cikimatekka	(神なる人は) あわて
アエカラカラ コトム a=ekarkar kotom	させられたように
エアラカパラペン earkaparpe[n]	(神なる人は) ただ单衣だけ
ウ ヤイコノイパ u yaykonoypa	自分に巻き付けて
ウ ソイ ワ サン マン u soy wa san w_a[n]	外へ

ウ コヤイキラレ 出て行った  
u koyaykirare

ウ キ ア コトム ように  
u ki a kotom

アネサンニヨ 思われ  
an=esanniyo

ウル…… ウ クルカシ 上空に  
ur... u kurkasi

アネホプニ 私は飛び立ちました。  
an=ehopuni

### 【注】

- [1] 訳は「kamuy or ipe 神に食べさせられる」(『アイヌの叙事詩』 P462) とあるのを参考にした。
- [2] この行は言いさし。
- [3] 立派な館の前へ來ていささか臆したのだが、勇気をふりしぶるために、自分に向かつて言っている言葉。

## 11-7 12号テープへ続くこと説明

解説：萱野茂

萱野：えーとこの yukar [英雄叙事詩] は、11号テープのお終いの方へ入っていますが、12号テープへ移ります。yukar をやっておられるのは、平賀さだもさんです。訳を付けておるのはわたくし萱野茂です。

## 12-1 ユカラ11号から続いていること説明、題名紹介

解説：萱野茂

萱野：11号テープから続いておる yukar [英雄叙事詩] です。yukar の題名は、ape sak sukup wakka sak sukup [火なく育つ、水なく育つ] というふうな題になっております。これは火の……火も無く水も無く我育ったという意味です。平賀さだもさんの yukar が続いています。

## 12-2 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」 続き

火なしに育った、水なしに育った（続き）

語り：平賀さだも

ウ サウレ カネイ  
u sawre kane[y]

（神のような人は）油断していく

チキマテッカ  
cikimatekka

あわて

アエカラカラ ア ヤイ  
a=ekarkar a ya[y]

させられた

コトム コロカイキ  
kotom korkayki

かのようですが

エアシラナ  
easirana

それこそ

ウ ペッ トウラシ  
u pet turasi

川に沿って

イウ ヤイキラレ  
[y]u yaykirare

（何者かが）逃げていき

ウコイキ ル カン  
ukoyki ru kan

争いの跡も

コマクナタラ  
komaknatara

広々と見渡せます。

マカン カツコロ ペ 何やら  
makan katkor pe

オロ ワ ケセ アンパ そこから後を追って  
oro wa kese anpa

ホブニ ルウェ 飛び立った  
hopuni ruwe

ウ ネ ナンコラ らしく  
u ne nankor y\_a

ウルカラク……  
urukarku...

ウ ル クルカシ その道の上を  
u ru kurkasi

アネホブニ 私は飛んでいきました。  
an=ehopuni

イルシカ ルイ ペン 怒りの強い者、  
iruska ruy pe[n]

ウェン メノコ 悪い女というのが  
wen menoko

アネ コロカイキ 私ですが  
a=ne korkayki

インカラニ アワ 見わたすと  
inkar=an awa

ソモ スイ クス まさか  
somo suy kusu

インカラニ クニ 見るとは  
inkar=an kuni

アラム アワ 思わなかつたのに  
a=ramu awa

カムイ ネ アン クル 神のような人の  
kamuy ne an kur

ウトイ ポネヘ 燃えた骨  
uhuy ponehe

ポネ カン コトム 骨の様子も  
pone kan kotom

コマクナタラ よく見渡せ  
komaknatara

シレ…… レタラ カンクリ 白い姿が  
sire... retar kankuri

コマクナタラ よく見えます。  
komaknatara

エアシラナ あらためて  
easirana

イルシカ ケウトウム 怒りの心を  
iruska kewtum

ウ ヤイコロパレ 自分の中に持ち  
u yaykorpare

インカラニ ルウェ 見わたすと  
inkar=an ruwe

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

このようでした。

イマカケ タ  
imakake ta

ずっと向こうに

オマン サマムニ  
oman samamni

長々と伸びた倒木

サマムニ クルカ  
samamni kurka

倒木の上に

ネ コタン ウン ペ  
ne kotan un pe

どこの村のものか

ネ モシリ ウン ペ  
ne mosir un pe

どこの国のものか

ポン アイヌ ポン クル  
pon aynu pon kur

若い男 若い人が

ムニ…… サマムニ クルカ  
muni... samamni kurka

倒木の上に

オオソルシ  
oosorusi

腰をかけ

タパン シノッチャ  
tapan sinotca

このような謡を

エラウンクチ  
eraunkuci-

喉の奥で

カムイノイエ ハウェ  
kamuynoye hawe

神のように絞り出す声は

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

このようでした。

「ウ ヤイコタヌ  
“u yaykotanu

「自分の村を

エシナ アナク  
esina anak

隠すのも

アオヤネネ クシ  
a=oyanene kus

嫌なので

アコロ コタヌ  
a=kor kotanu

我が村の

ウ レコロ カトウ  
u rekor katu

名前は

レプイシリ ネイ ワ  
Repuysir ne[y] wa

レプンシリで

レプイシルンクル  
Repuysirunkur

レプンシルンクルには

トウ イリワク コロ ワ  
tu irwak kor wa

2人の兄弟がいて

イヨッタ ポン ペ  
iyotta pon pe

一番下が

アネイ ルウェ ネ  
a=ne[y] ruwe ne

私なのだ。

アナッキ コロカン  
anakki korka[n]

しかし

イレス ユビ<sup>°</sup>  
i=resu yupi

我が育ての兄は

エネ イタキ  
ene itak h\_i

こう言った

『テエタ ワノ  
'teeta wano

『昔から

ヤウンクル ニシパン  
yaunkur nispa[n]

本土のお方とは

エアシラナ  
easirana

本当に

シンリッウ ウタリ タン  
sinrit[u] utari ta[n]

先祖の代から

ウカオピウキ  
ukaopiwki

お互い助け合って

ウ ネイ ワ アン ペ<sup>°</sup>  
u ne[y] wa an pe

いたものだから

ウコヘボキ  
ukohepoki

お互いに礼を尽くして

ウ ネイ ワ クスン  
u ne[y] wa kusun

いたものだから

ヤウンクン ニシパン  
yaunkur\_nispa[n]

本土のお方

ウ ポイヤウンペ<sup>°</sup>  
u Poyyaunpe

ポイヤウンペの

ウ コッ トゥレシ  
u kor\_turesi

レブイシリ エオツ  
Repuysir eot

オロ ワ オカイ ペ  
oro wa okay pe

アネイ ルウェイ ネン  
a=ne[y] ruwe[y] ne[n]

オロワ ユイ スイ  
orowa [y]un\_ suy

レブイシルンクル  
Repuysirunkur

ウ コッ トゥレシ  
u kor\_turesi

シヌタプカ  
Sinutapka

エオツ タ コロカ  
eor\_ta korka

トゥミ オロ  
tumi oro

ア トゥミ ホントモ  
[a] tumi hontomo

チコホトウイパカラ  
cikohotuypakar[n]

妹が

レブンシリに嫁いで

そこから生まれた者が

私たちなのだ

そして

レブンシルンクルの

妹は

シヌタプカに

嫁いだのだが

戦で

戦の最中に

呼びつけ

アエカラカラ キ ワ  
a=ekarkar ki wa

アイヌ モシリ カ タ  
aynu mosir ka ta

ウ ポイヤウンペ  
u Poyyaunpe

シネンネ パテク  
sinenne patek

アホッパ コロカ  
a=hoppa korka

ウ コロ ラメイトク  
u kor rame[y]tok

ウ コロ シレイトク  
u kor sire[y]tok

カムイ アスン ネン  
kamuy asur\_ne[n]

チホブニレ  
cihopunire'

アイリワキヒ  
a=irwakihi

ウ ネ コロカイキ  
u ne korkayki

アエイカッチウ クスン  
a=eykatciw kusun

アラヤ…… チクワッカ ポ<sup>°</sup> 飲み水（冷水）を  
arya... cikuwakka po

ウ カムカ オシバ<sup>[1]</sup> 肌にあびせられ  
u kamka ospa

アネキサシケ ぞつとした  
an=ekisaske

アネトウルパックン（？） （ような）ほどだった  
an=eturpak\_ un(?)

ウ ネ パクノ タン これほどまでに  
u ne pakno ta[n]

ラメトッコロ ペン 勇気のあるものの  
rametokkor pe[n]

トウ アスル オロケ 2つの噂が  
tu asur orke

ホブニ ハウエン 立つ声が  
hopuni hawe[n]

オカ ナンコラ 上がるであろうか  
oka nankor\_ ya

ヤイヌアン クス そう思ったので  
yaynu=an kusu

タパン ハヨクペ この甲冑は  
tapan hayokpe

ウ カムイ ニシ カ ワン 神の空から  
u kamuy nis ka wa[n]

カムイ オロ ワノ  
kamuy or wano

レブイシリ コタン  
Repuysir kotan

コタン タプカシ  
kotan tapkasi

アオランケ クニ  
a=oranke kuni

カムイ ハヨクペ  
kamuy hayokpe

ウ ピンネ ヒケン  
u pinne hike[n]

ウ ネ ルウェ ネ  
u ne ruwe ne

ウ シヌタプカン  
u Sinutapka[n]

ウ マッネ カムイ  
u matne kamuy

アオランケ ルウェン  
a=oranke ruwe[n]

ウ ネ コロカイキ  
u ne korkayki

イレス ユビ<sup>°</sup>  
i=resu yupi

アエシナカラ ノ  
a=esinakar no  
(以下のことを) 秘密にして

タナン ト ヨッ タ  
tanan to [y]or\_ta  
今日この日に

ウ ヤナン キ ワ  
u yan=an ki wa  
上陸して

ウ ポイヤウンペ  
u Poyyaunpe  
ポイヤウンペを

アライケ ルウェ  
a=rayke ruwe  
殺したのだ。

ネ ヒ ネ コロカン  
ne hi ne korka[n]  
そうではあるが

ニタイ コッ トリ  
nitay kor\_tori  
林の鳥よ、

ニタイ コッ チカブ  
nitay kor\_cikap  
林を司る鳥よ、

エチヌ ルスイ ペ  
eci=nu rusuy pe  
あなたたちが聞きたいこと

ネ ワ ネ ヤクン  
ne wa ne yakun  
であるから

アチヌレ ハウエ<sup>[2]</sup>  
aci=nure hawe  
聞かせたこと

ネ ヒ タパン ナ」  
ne hi tapan na”  
なのですよ。」

セコロ オカイ ペン  
sekoro okay pen

そのようなことを

ウ タ イエ ヒケ  
u ta ye hike

言うので

イカッチウ ケウトウム  
ikatciw kewtum

怒りの心を

アヤイコロパレ  
a=yaykorpare

私は持ったのです。

ウ オラブンノ  
u orapunno

そっと静かに

ウ ポイヤウンペ  
u Poyyaunpe

ポイヤウンペ

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

神なる人の

ウフイ ポネイヘ  
uhuy pone[y]he

焼けた骨

ポネイ クルカシ  
pone[y] kurkasi

骨の上に

カネイ アワンキ  
kane[y] awanki

鉄の扇

ヌプル アワンキ  
nupur awanki

靈力の強い扇を

アイスイパ カネ  
a\_n=suypa kane

私は何度も扇ぎ

トウ ピヌ フッセ  
tu pinu husse 2つのかすかな息を

アネイシタイキ  
an=eisitayki 吹きかけました。

ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci すると

ウトイ ポネヘ  
uhuy ponehe 燃えた骨に

ミミ トウク カネ  
mimi tuk kane 肉が生えてきて

ウ キ ロク アイネン  
u ki rok ayne[n] そのうちに

タネイ ネ クス  
tane[y] ne kusu 今や

フシコ カトウフ  
husko katuhu もとの形を

アライコカラカラ  
a[ra]=ikokarkar とりもどしたのです。

アナッキ コロカン  
anakki korka[n] けれども

アアンパ カネ  
a=anpa kane 私が抱えているところを

ウェン アイヌ サニン  
wen aynu sani[n] 悪人の子孫が

イヌカラ クニ  
i=nukar kuni 私を見つけたら

オトウライサンペン  
oturaysampe[n] 大変だと

アニエコテ  
an=i=ekote 思って

タブ オロ ワノ  
tap oro wano それから

ウ ピヌ フッセ  
u pinu husse 小さな吐息を

アネイシタイキ  
an=eisitayki 投げかけました。

ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci すると

コサンペパケン  
kosanpepake[n] それで肝の先

コサンペケセ  
kosanpekese 肝の末が

コシトウリリ  
kosituriri 伸び伸びとした、

ウ キ コトム ノ  
u ki kotom no そのように

アネサンニヨ  
an=esanniyo 思われて

ウ テエタ カトウ  
u teeta katu もとの姿を

アコカラカラ ワ クシ  
a=kokarkar wa kus とりもどしたので

アロロキシネシノ  
arorkisne[s]no そおっと

キサラ プイ オロケン  
kisar puy orke[n] 耳の穴に

アパウイルケ  
a=pauyruke 口を寄せて

「ウ タプネ タプネ  
“u tapne tapne 「このように

レプイシリウンクル  
Repuysir'unkur レプイシルンクルの

ボニウネ ヒケン  
poniwne hike[n] 年下のほうの

ウ コロ ハヨクペン  
u kor hayokpe[n] 持っている甲冑で

アエエトウイパ シリ  
a=e=etuypa siri 貴方は切り裂かれた

ネ ヒ タパン ナン」  
ne hi tapan na[n]" のですよ。」

イタカン アワン  
itak=an awa[n] と私が言うと

ソモ スイ クスン  
somo suy kusun

ウシリキ クニ  
u sirk i kuni

アラム ロク ワン  
a=ramu rok wa[n]

アキシマ フミ  
a=kisma humi

ウ ヨプケ ペコロン  
u yupke pekor[n]

ヤイヌアン クニ プ  
yaynu=an kuni p

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

アテムニコロ オロ ワ  
a=temnikor or wa

ウ ピッポ トウルセン  
u pitpo turse[n]

エカンナユカラ  
ekannayukar

ウェン アイヌ サニ  
wen aynu sani

ウ クルカシケ  
u kurkasike

コヤイエアッチウ koyayeatciw	飛びかかっていきました。
アナッキ コロカン anakki korka[n]	けれども
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神のような人は
ハヨクペ サク ペ hayokpe sak pe	甲冑がない者
ウ ネ プ ネ クス u ne p ne kusu	なので
ウ カンナ ルイノ u kanna ruyno	また再び
レプイシルンクル Repuysirunkur	レプンシルンクルの
カネイ アワンキ kane[y] awanki	鉄の扇
アワンキ アラケ awanki arke	扇の片面の
テレケ イヌイ ノカン terke [i]nuy noka[n]	走る炎の模様
ホプニ ヌイ ノカ hopuni nuy noka	立ち上がる炎の模様が
チエヌイエカラ cienuyekar	刻まれたものを

エパル キ コロ	(レプイシルンクルが) 扇ぐと
eparu ki kor	
ウ ウエン ヌイ トゥミ	ひどい炎の戦で
u wen nuy tumi	
カムイ ネ アン クル	神のような人の
kamuy ne an kur	
トウマム シリカ タ	体の上が
tumam sirka ta	
ウトイ シリ コンナ	燃える様子が
uhuy sir konna	
ウトイ フム コンナン	燃えている音が
uhuy hum konna[n]	
コトウリミムセ	響き渡りました。
koturimimse	
ウ キ ロク アイネン	そして
u ki rok ayne[n]	
ウ カンナ ルイノ	再びまた
u kanna ruyno	
ソモ スイ クスン	まさか
somo suy kusun	
ウ シリキ クニ	そうなるとは
u sirk i kuni	
アラム ロク ワン	思っていなかつたのに
a=ramu rok wa[n]	

ウ カンナ ルイノ  
u kanna ruyno  
再び、

ウフイ ポネヘ  
uhuy ponehe  
燃えた骨が

チラナランケ  
ciranaranke  
落ちて行き

ウ パクノ ネ コロ  
u pakno ne kor  
すると

イルシカ ケウトウム  
iruska kewtum  
怒りの心が

アヤイコロパレ  
a=yaykorpare  
私に湧き上がった。

ウ パクノ ネ コロ  
u pakno ne kor  
そして

ウェン アイヌ サニ  
wen aynu sani  
悪人の子孫は

ヘトポ ホロカ  
hetopo horka  
引き返し

アトウイ トモトウイエ  
atuy tomotuye  
海を渡って

ホシピ ノイネ  
hosipi noyne  
帰るらしい

ウ シリキ ヒ タ  
u sirkhi hi ta  
そぶりをした時に

アオラウキ クニ  
a=orawki kuni 取り逃がしては

オトゥライサンペン  
oturaysampe[n] 大変だと

アニエコテ  
an=i=ekote 思って

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur 神のような人に

ウ ピリカ フッセ  
u pirka husse すばらしい吐息を

ウ アエシタイキ  
u a=esitayki 吹きかけたのです。

ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci すると

ウ フシコ カトウ  
u husko katu もとの姿が

ウ カンナ ルイノ  
u kanna ruyno いま一度

カネイ アワンキ  
kane[y] awanki 鉄の扇を

アラッチスイエ  
a=ratcisuye おだやかに扇ぎ

アモイレスイエン  
a=moyresuye[n] ゆっくり扇ぎ

ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci それとともに

カミ トウク ワ パイエ  
kami tuk wa paye 肉が生えて行きました。

ウ フシカ……  
u huska...

イルカ トムタ  
iruka tomta ちょっとの間に

ウ フシコ カトウ  
u husko katu 昔の様子を

アコフカラカラ コロ  
a=ko[hu]karkar kor 取戻すと

ヘトボ<sup>ポ</sup> スイ ホプニ ノイネ  
hetopo suy hopuni noyne もう一度起き上がるような

ウシリキヒタン  
u sirkhi hi ta[n] 様子を見せた時に

イタカン ハウエ  
itak=an hawe 私が言った言葉は

エネイ オカヒ  
ene[y] oka hi このようなものでした。

「カムイ ネ アン クル  
“kamuy ne an kur 「神であるような方よ

ポンノ イテレ ワン  
ponno i=tere wa[n] 少しの間待って

イコロパレ ヤン  
i=korpare yan

ハヨク サク クニ クル  
hayok sak kuni kur

ソモ タパン ナ  
somo tapan na

エコロ ハヨクヘン  
e=kor hayokpe[n]

アタク ワ エカン クス ネ ナ  
a=tak wa ek=an kusu ne na

イテレ ワ イコロパレ ヤン」  
i=tere wa i=korpare yan”

イタカン カネ  
itak=an kane

ウ シヌタプカン  
u Sinutapka[n]

コヤイトウナシカ  
koyaytunaska

エアシラナン  
easirana[n]

ウ ネプ ピトホ  
u nep pitoho

イトウレン クス  
i=turen kusu

下さい。

あなたは甲冑がないはずの者

ではないのです。

あなたの甲冑を

私が取って来ましょう。

私を待っていて下さい。」

そう言って

シヌタプカに

急ぎました。

本当に

どんな神が

私についているためか

キマテク カムイ 急いだ神の  
kimatek kamuy

カムイ マウエヘ  
kamuy mawehe

ウ マウ シリカシ 風の上に  
u maw sirkasi

アニエコシネ- 軽々と  
an=i=ekosne-

ウ プンパ カネ 持ち上げられて  
u punpa kane

シヌタプカ タ シヌタプカの  
Sinutapka ta

カムイ カッ チャシ 神が造った城 (に入って)  
kamuy kar\_casi

ウ ラッチタラ ゆっくりと  
u ratcitaru

ウ サン カシケ 棚の上の  
u san kasike

コアパマカン  
koapamaka[n]

エフ アキ アワ 私がそうすると  
ep a=ki awa

イヨイキリ カタ  
iyovkir ka ta

カムイ ハヨクペン  
kamuy hayokpe[n]

神なる甲冑

カネイ ハヨクペ  
kane[y] hayokpe

鉄の甲冑が

シクヌ ピト ネ  
siknu pito ne

生きている神となって

シクヌ カムイ ネ  
siknu kamuy ne

生きているカムイとなって

イヌカラ シリコ  
i=nukar sirko

私を見る様子は

コチャイナタラ  
kocaynatara

じろじろと

カムイ ランケ タム  
kamuy ranke tam

神が下したる刀を

ウ クッポケチウ  
u kutpokeciw

帯に差し

ウ シラン チキ  
u siran ciki

そうした様子なので

イタカン ハウエ  
itak=an hawe

私が言った言葉は

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

このようなものでした。

「コニンカラ クス  
“koninkar kusu

「さてさて

- ハヨクペ カムイ  
hayokpe kamuy 甲冑の神よ、
- チアヌンコパ  
cianunkopa 知らないふりを
- ソモ ネ ナンコロ  
somo ne nankor しないでください。
- カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur 神であるような人が
- ウ コロ ハヨクペン  
u kor hayokpe[n] 持つ甲冑を
- アタク クシ エカン  
a=tak kus ek=an 招きに来たのです。
- チアンヌコイキ  
ciannukoyki (神なる人が) ひどくいため
- アエカラカラ ワ クス  
a=ekarkar wa kusu つけられているので
- ウ コロ ハヨクペ  
u kor hayokpe 彼の甲冑を
- アタク クス エカン シリ  
a=tak kusu ek=an siri 招くために来た
- ネ ヒ タパン ナ」  
ne hi tapan na” のです。」
- イタカン アワ  
itak=an awa そう話すと

ウ シク カ コンナ  
u sik ka konna

目が

コライナタラ  
koraynatara

静かになりました。

ウ ヤイレンカネ  
u yayrenkane

(私は) 喜んで

カネイ ハヨクペ  
kane[y] hayokpe

鉄の甲冑と

カムイ ランケ タム  
kamuy ranke tam

神より下されし刀と

カネイ ポン カサ  
kane[y] pon kasa

鉄の小さな笠を

コアルウェウン  
koaruweun

ひと揃い

カネイ ポン クッパキ<sup>[3]</sup> (?)  
kane[y] pon kutpaki(?)

鉄の小さな帯 (?) も

コアルウェウン  
koaruweun

ひと揃い

カネイ アワンキ  
kane[y] awanki

鉄の扇も

コアルウェウン  
koaruweun

ひと揃い

ピリカ シケ ネ  
pirka sike ne

立派な荷物として

アヤイコカラカラ  
a=yaykokarkar

ヘトボ<sup>♂</sup> ホロカ  
hetopo horka

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

アホッパ ウシケ  
a=hoppa uske

コヤイトウナシカ  
koyaytunaska

イプ アキ アイネン  
ip a=ki ayne[n]

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

オマイ サマムニ  
oman\_ samamni

サマムニ クルカ  
samamni kurka

イルシカ ピト  
iruska pito

イルシカ リチ  
iruska rici

ウ ナン クルカ タ  
u nan kurka ta

まとめ

逆戻りして

神のような人を

残してきたところに

急ぎました。

そうして

神のような人が

横たわる倒木

倒木の上で

怒る人の

怒りの筋が

顔の上に

ウ ホプニ カネ  
u hopuni kane 浮かび上がり

エ ウエイホプニ  
e weyhopuni ひどく浮かび上がる

ウ シラン チキ  
u siran ciki 様子なので

カムイ ハヨクペ  
kamuy hayokpe 神なる甲冑を

アブニタラ  
a=punitara 私はささげ

アコトウリリ ロク ワン  
a=koturiri rok wa[n] さし伸べると

ウ ヤイレンカネ  
u yayrenkane (神のような人は) 喜んで

ハヨクペ ウプソロ  
hayokpe upsor 甲冑の懷に

アンノ ホシキル  
anno [h]osikiru 入り込む

ウ カムイ ランケ タム  
u kamuy ranke tam 神が下したる刀を

ウ コクッポケイチウ  
u kokutpoke[y]ciw 帯に差し

カネイ ポン カサン  
kane[y] pon kasa[n] 鉄の小さな笠の

ウ ランルン…… ウ ラントウペビ° 紐の緒を  
u ranrun... u rantupepi

ウ ヤイコユッパン きつく締めて  
u yaykoyuppa[n]

カネイ アワンキ 鉄の扇を  
kane[y] awanki

ウ プソロ エカッタ 懐につっこみ  
upsor ekatta

ウ パクノ ネ コロ それから  
u pakno ne kor

アトウイ トモトウイエ 海を渡り  
atuy tomotuye

ウ ヤイキラレ 逃げて行った  
u yaykirare

レプイシルンクル レプイシルンクルの  
Repuysirunkur

ポニウネ ヒケ 年下のほう  
poniwne hike

ウェン アイヌ サニ 悪人の子孫を  
wen aynu sani

ケセイ アンパ ワン 追いかけて  
kese[y] anpa wa[n]

アラバ° ロク アイネ 行ったあげく  
arpa rok ayne

オシコンパ キ コロ  
osikonpa ki kor

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

エネ イタキ  
ene itak h\_i

「オロヤチキ  
“oroyaciki

カムイ ネ アン……  
kamuy ne an...

ア レブイシルンクル  
a Repuysirunkur

ボニウネ ヒケ  
poniwne hike

タネボ ソンノ  
tanepo sonno

シノ ラメトク  
sino rametok

ソンノ ラメトク  
sonno rametok

ウ ラメトク  
u rametok

ウワンテ クニ プ  
uwante kuni p

追いつくと

神のような人は

このように言いました。

「なんともまあ

レブイシルンクルの

年下のほうよ、

今はじめて、本当に

真の勇者

本当の勇者（同士で）

度胸を

比べようとする者が

アネ タプ キ ナン  
a=ne tap ki na [n] 私たちであるのだ。

イテレ ワ イコレ」  
i=tere wa i=kore” ちょっと待て。」

セコロ オカイ  
sekor okay そのように

ウ イエ ロク アワン  
u ye rok awa[n] 言うと

エアシラナ  
easirana 本当に

ウ アラパ シリ コ  
u arpa sir ko (レプイシルンクルは) 進む様子が

コトゥナシ ロク ペ  
kotunas rok pe 素早かったのに

イララ イボロ  
irara ipor からかう気持ちが

ウ ヤイコロパレ  
u yaykorpare 顔に出て

シヨカ ウン マ  
siyoka un w\_a 後を

ホサラパ アワ  
hosarpa awa 振り返りると

ウ ウエン カスノ  
u wen kasuno あまりにも

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

神のような人が

ハヨクノ ルウエ  
hayokno ruwe

がっちりと鎧を着ているのを

シケシタイキ  
sikesitayki

にらみつけ

シケラナカル  
sikeranakur-

視線を

ウ アッテ カネ  
u atte kane

落としました。

ウシリキ アワ  
u sirkia awa

すると

カムイ ラメトク  
kamuy rametok

神なる勇者は

カムイ ランケ タム  
kamuy ranke tam

神が下した刀を

エアシラナ  
easirana

本当に

エテンポッコンナ  
etempokkonna-

脇の下で

シカイエ カネ  
sikaye kane

ふりまわし

コクシシノボ  
kokusisnopo

それと共に

レブイシルンクル  
Repuysirunkur

ウ タメタイエ  
u tametaye

オアンニウケセ  
oanniwkes[e]

トウ ル エトコ  
tu ru etoko

レ ル エトコ  
re ru etoko

ウ タム ララカレ  
u tam rarkare

ウ アイカプ サム マ  
u aykap sam w\_a

カネイ アワンキ  
kane[y] awanki

ピラサ ルウェ  
pirasa ruwe

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

ウ アラケヘ ワ  
u arkehe wa

シノイエ ヌイ ノカン  
sinoye nuy noka[n]

レブンシルンクルは

刀を抜くことも

まったく出来ず

(神なる人は) 2つの道の先

3つの道の先に

刀をあびせました。

左手で

(神なる人が) 鉄の扇を

広げた様子は

このようなものでした。

片面には

よじれた炎の模様

ホブニ ヌイ ノカ hopuni nuy noka	立ち上がる炎の模様が
チエヌイエカラ cienuyekar	描かれていて、
ウ アラケヘ ワ u arkehe wa	片面には
ウ ウエン メニシ ノカ u wen menis noka	悪い雲の模様
ルブシ ニシ ノカ rupus nis noka	凍った雲の模様が
チエヌイエカラ cienuyekar	描かれている。
ウ シラン チキ u siran ciki	そうしていると
シノイエ ヌイ ノカン sinoye nuy noka[n]	よじれた炎の模様
ホブニ ヌイ ノカ hopuni nuy noka	立ち上がる炎の模様（の面）で
エシリパル コロ esirparu kor	あおぐと
ネ ヒ コラチ ne hi koraci	それとともに
レブイシルンクル Repuysirunkur	レブイシルンクル

ネ ワ ネ ャッカ ne wa ne yakka	もまた
ウ コロ アワンキ u kor awanki	そのもつ扇
エシリパル コロ esirparu kor	であおぐと
ウ パク ラメトク <sup>[4]</sup> u pak rametok	またとなき勇者が
ウフイ ヌイ ノカン uhuy nuy noka[n]	燃え上がる炎の模様
ウ テレケ ヌイ ノカ u terke nuy noka	はぜる炎の模様
シノイエ ヌイ ノカン sinoye nuy noka[n]	よじれた炎の模様
ホブニ ヌイ ノカ hopuni nuy noka	立ち上がる炎の模様（の面）で
エシリパル コロ esirparu kor	あおいで
アトウイ ソ カタ atuy so ka ta	海面で
ウ ウエン ヌイ…… u wen nuy...	
ウ ウエン ヌイ トゥミ u wen nuy tumi	悪い炎の戦が

ウコホプニ 繰り広げられました。  
ukohopuni

エアシラナ 本当に  
easirana

ウ パク ラメトク またとなき勇者  
u pak rametok

ウ パク ラメトク またとなき勇者  
u pak rametok

ウ ネ プ ネ クス であるので  
u ne p ne kusu

カムイ ネ ヤッカ 神であっても  
kamuy ne yakka

アイヌ トゥレン ペ 人間を守る者  
aynu turen pe

イトゥレン カムイ 憲神が  
ituren kamuy

アイヌ トゥレン ペ 人間を守る者が  
aynu turen pe

アトウイ ソ クルカ 海面上空を  
atuy so kurka

コフメランケ 音を立てて下りて来ます。  
kohumeranke

エアシラナ それこそ  
easirana

ウ アイヌ トゥミ  
u aynu tumi

オアラ ソモ ネ  
oar somo ne

トゥムンチ カムイ  
tumunci kamuy

ウ コロ ロルンペ  
u kor rorunpe

アヌカラ ヤク  
a=nukar yak

アニコネンパ (?)  
an=ikonenpa(?)

ウ セムコラチ  
u semkoraci

エアシラナ  
easirana

ウ パク ラメトク  
u pak rametok

ウ ネイ コロカイキ  
u ne[y] korkayki

ネシナク クス<sup>[5]</sup>  
nesinak kusu

レプイシルンクル  
Repuysirunkur

人間の戦

では全くない

戦の神

その戦争

を見たら

(この戦いと) よく似た

ような

本当に

またとなき勇者

であっても

あんなにも

レプイシルンクルの

ボニウネ ヒケ  
poniwne hike

パケサラ ハウエ  
pakesara hawe

オカ ロク コロカ  
oka rok korka

ア パン ペ レ コロ (?)  
a pan pe re kor(?)

チホロカパシテ  
cihorkapaste

エカラカラ カネ  
ekarkar kane

ウ ペウレ フムセ  
u pewre humse

エヤヨフムセ  
eyayohumse-

ウ チウレ カネ  
u ciwre kane

ウ キ ラポキ  
u ki rapoki

イネフイ モシリ  
inehuy mosir

ウ ネイ ナンコラ  
u ne[y] nankor y\_a

年下のほうは

傲慢な口を

きいていたが

XXX (?)

反対に走り

出して

若者の気合いの声を

自分自身に上げ

鼓舞するように

している間に

どこの国土

であろうか

モシリ タプカシ 国土の上に  
mosir tapkasi

コプシコサンパ 轟音が響き  
kopuskosanpa

マカン カッコロ ペ いったい何が  
makan katkor pe

ウ エク フム コンナ やってくるのか  
u ek hum konna

エアシラナ 本当に  
easirana

エアロマンネ まっしぐらに (?)  
earomanne

トゥムンチ クルカ 戦場の上に  
tumunci kurka

コフンパシテレ (?) 音が響きます。  
kohumpastere(?)

ウ フム スイ トウム その音の中を  
u hum suy tumu

アウワンパレ コロ さぐってみると  
a=uwanpare kor

シノ ラメトク 真の勇者  
sino rametok

ソンノ ラメトク 誠の勇者  
sonno rametok

チエソネレ  
ciesenere

であるらしく

マカン カッコロ ペ  
makan katkor pe

何者かが

トウムンチ エンカ  
tumunci enka

戦の上空に

コヤイパシテレ  
koyaypastere

自身を走らせて

ウキロク アイネ  
u ki rok ayne

そして

マカン コッコロ<sup>[6]</sup> ペ  
makan kotkor pe

何者かが

イタク サンパロ  
itak sanparo

唇を

チエイサンケカラ  
cie[y]sankekara

突きだして

エネ イタキ  
ene itak h\_i

このように言いました。

「ウ ソンノ ヘタブ  
“u sonno hetap

「なんともまあ

アウェナキヒ  
a=wen akihi

我が悪しき弟よ、

ウ ネン タ ウサ  
u nen ta usa

いったい誰が

ウイリワキヒ 兄弟であり  
uirwakihi

カムイ アスン ネ 神なる評判  
kamuy asur\_ne

アスル アシ クル 評判の立つ人に  
asur as kur

ルシカ ヘマンタ 腹を立てる奴が  
ruska hemanta

オカイ ペ ネイ ワ あるのか、  
okay pe ne[y] wa

エネ ヘタブ ネ あれほどまでも  
ene hetap ne

チエパカシヌ お前に教えて  
ciepakasnu

アエエカラカラ ペ やったもの  
a=e=ekarkar pe

ウ ネ ワ ヘタブ なのに  
u ne wa hetap

エカッコロ シリ お前のすることといえば  
e=katkor siri

ウサイネカタブ なんともまあ  
usaynekatap

エコロ ウェン プリ お前の悪い行い  
e=kor wen puri

ウ クルカシケ その上で  
u kurkasike

アエオトウイエ ヤッカ お前が切られても  
a=e=otuye yakka

アエオライケ ヤッカン お前が殺されても  
a=e=orayke yakka[n]

エボソカネイ なるほどやはり  
eposokane[y]

カムイ ラメトク 神なる勇者  
kamuy rametok

エイリワキヒ お前の兄弟  
e=irwakihi

クコン ア…… ウ コン ラメトク の持つ勇気に  
ku=kor\_a... u kor\_rametok

エペットウラシ 並び立つことは  
epetturasi

エヤイニウケシテ お前には難しい  
eyayniwkest

エキ ナンコロ ナン だろう。  
e=ki nankor na[n]

アナッキ ヤッカ そうだとしても  
anakki yakka

アエカスイ クス 私はお前を手伝いに  
a=e=kasuy kusu

エカン シリ カ 来たのでは  
ek=an siri ka

ソモ タパン ナ ないのだ。  
somo tapan na

オロワ イウイ スイ そこで  
orowa [i]un\_ suy

カムイ ラメトク 神なる勇者  
kamuy rametok

ア ウル アア…… カムイ ラメトク 神なる勇者  
a uru aa... kamuy rametok

カムイ アイリワキ 神なるわが兄弟よ  
kamuy a=irwaki

アシヌマ タプ タブ 私はこのとおり  
asinuma tap tap

レブイシルンクル レブンシルンクルの  
Repuysirunkur

キヤンネ ヒケ 兄のほう  
kiyanne hike

アネ イ ワ アナン である  
a=ne [i] wa an=an

ヤウン モシリタ 本土で  
yaun mosir\_ta

エアニ パテク お前だけが  
eani patek

ウイリワク トノ  
uirwak tono

兄弟である者

エネ ワ シラン  
e=ne wa siran

なのだ

セコロ オカイ ペ  
sekor okay pe

ということを

アウェン アク…… アキ  
a=wен ak... aki

悪しき弟に

アエパカシヌ コロ  
a=epakasnu kor

私は教えて

オカアナ コロカ  
oka=an a korka

いたのであるが

ウ コロ ウエン ケウトウム  
u kor wen kewtum

その悪しき心

ウ クルカシケ  
u kurkasike

その上に

チオトウイエカラ  
ciotuyekar

(弟が) 切られ

アエカラカラ ヤッカ  
a=ekarkar yakka

ても

トウム アン ケウトウム  
tumu an kewtum

怒りの気持ちを

イココロ クニ プ  
i=kokor kuni p

私に対しては

ソモ タパン ナ」  
somo tapan na”

セコロ オカイ ペ  
sekor okay pe

ウ タ イエ カネ  
u ta ye kane

アナッキ コロカ  
anakki korka

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

ウ セムコッタンヌ  
u semkottannu

ウ ネイ タ パクノ  
u ney ta pakno

ウ ウエン ヌイトウミ  
u wen nuytumi

ウ ウエイ シカイエ  
u wen\_sikaye

ウ シリキ アイネ  
u sirkı ayne

イルカ トムタ  
iruka tomta

レプイシルンクル  
Repuysirunkur

持たないでくれ。」

そういうことを

言いながら

いたのですが

神のような人は

何も答えず

いつまでも

炎の戦いを

繰り広げています。

そうして

あつという間に

レプンシルンクルの

ボニウネ ヒケ 年下のほうは  
poniwne hike

アトウイ ソ カ タ 海上で  
atuy so ka ta

アトウイ…… アトウイ ソ カ タ 海上で  
atuy... atuy so ka ta

ウフイ パシパシ 燃えたもののかす（となって）  
uhuy paspasi

チラウォクタン バラバラと落ちました。  
cirawokuta[n]

ウ パクノ ネイ コロ そうしていると  
u pakno ne[y] kor

フウハア……  
huuhaa...

### 【注】

- [1] 発音は ospa に聞こえるが、ここは osma の意味か。
- [2] aci=は a=eci=と同義。「私がお前たちに」
- [3] このように聞こえるが不詳。装束の一部と考えられることから、kut 「帯」と言おうとしたものか。
- [4] upak rametok 「互いに（力が）匹敵する勇者」という解釈も可能か。以下、同様。
- [5] 『アイヌの叙事詩』に「nesinak kusun あんなにも」(P374) とあるのを参考にした。
- [6] 発音は kotkor に聞こえるが katkor の意味か。

## 12-3 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」 ポイヤウンペイソイタク

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

こんど ポイヤウンペ イソイタク 今度はポイヤウンペが語った  
KONDO Poyyaunpe isoytak

ウ パクノ ネ コロ それから  
u pakno ne kor

カムイ ネイ アン クル 神のような人は  
kamuy ne[y] an kur

エネ イタキ このように言った。  
ene itak h\_i

「アコッ トウレシ 「我が妹  
“a=kor\_ turesi

イヨチウンマツ イヨチ姫よ  
Iyociunmat

タパン ロルンペイ この戦  
tapan rorunpe[y]

タクピ ネ ワ だけでは  
takupi ne wa

エプ アコッ チャシ 私の城に  
ep a=kor\_ casi

アコヘトボ<sup>°</sup> カ  
a=kohetopo ka

エトランネ クシ  
etoranne kus

レプン…… レプンクル コタン  
repun... repunkur kotan

オアラ パナ ウン クル  
oar pana un kur

エアニ アナ  
ean h\_i an a

タパン テワノ  
tapan tewano

エヤム マ ネ ヤク  
eyam w\_a ne yak

シヌタプカ タ  
Sinutapka ta

ヤナン クニ パクノ  
yan=an kuni pakno

エブ アコッ チャシ  
ep a=kor\_ casi

エエブンキネ  
e=epunkine

キ クス ネイ ナ」  
ki kusu ne[y] na”

セコロ アイエ コロ  
sekor a=ye kor そう言いながら

イヨチ ウン マツ  
Iyoci un mat イヨチ姫を

タホシピレ ナン  
[t]a=hosipire na[n] 帰したのだ。

タブ オロワノ  
tap orowano 今後

イトウレン カムイ  
i=turen kamuy 私の憑神は

ウ ネプ ピトホ  
u nep pitoho 何の神が

イトウレン クスン  
i=turen kusun 憲いでいるために

イトウレン ンナア……  
ituren nnaa... 憲いでいるために

イトウレン カムイ  
i=turen kamuy 憲神が

イネフイ モシリ  
inehuy mosir どの国土

イネフイ コタン  
inehuy kotan どの村に

イオルラ クニ  
i=orura kuni 私を運ぶの

ウ ネ ナンコラ だろうか。  
u ne nankor y\_a

アエキサラストゥ 私の耳元で  
a=ekisarsutu-

コマウクルル ピューピュー鳴る  
komawkururu

アトウイ トモトウイエン 海を渡り  
atuy tomotuye[n]

アラパイアン フム コ 私が行く音が  
arpa=[y]an hum ko

コクルラッキ 聞こえる。  
kokururatki

ウ キ ロク アイネ そうしているうちに  
u ki rok ayne

イネイフナク タ どこかに  
ine[y]hunak ta

アラパ アイ…… アン アワン 行くと  
arpa ay... =an awa[n]

ウ ネプ ハウェヘ その声が  
u nep hawehe

アブイコトロ 私の耳の内に  
a=puykotor

チウニンパレ 聞こえてくる。  
ciwninpare

コヨヤモクテ 不思議に思った  
koyoyamokte

エプ アキ クス ので  
ep a=ki kusu

コパッケサマ その近くへ  
kopakkesama

アヤイトウイエレ 進んでいった。  
a=yaytuyere

ウ キ ロク アワ そうすると  
u ki rok awa

メノコ シノッチャキ ハウ 女が歌う声が  
menoko sinotcaki haw

ウ チシ トゥラノ 涙とともに  
u cis turano

シノッチャ トウイカ 歌の上に  
sinotca tuyka

イオテ レケレ かぶさってきたが  
i=oterkere

エネイ オカ ヒ このようなものだ。  
ene[y] oka hi

「アコロ コタヌ 「我が村の  
“a=kor kotanu

ウ レヘ コロ カトウ 名はというと  
u rehe kor katu

ランケペシ ネイ ワ ランケペシといい  
Rankepes ne[y] wa

エアシラナ それはもう  
easirana

ウ ラッチ イレンカン おだやかな撻を  
u ratci irenka[n]

エプ アコロ アイヌ 私の父  
ep a=kor aynu

ウタラ オロケヘ たちは  
utar orkehe

ウ コロ ア コロカ 持っていたのですが  
u kor a korka

リクンペスンクル リクンペスンクルの  
Rikunpesunkur

ウ コロ プリヒ やりかたとは  
u kor purihi

エネ オカ ヒ このようなものです。  
ene oka hi

タパン リクンペシ ここリクンペシに  
tapan Rikunpes

ウ アラパ アイネ 行ったならば  
u arpa ayne

ペラ ネ アラパ 川上に（？）行き  
pera ne arpa

ペラ エトコ 川の源（？）に  
pera etoko

カムイ ヌプリ 神の山が  
kamuy nupuri

チシレアヌ あるのです。  
cisireanu

ヌプリ カ タン 山の上には  
nupuri ka ta[n]

ウ フリ ニッネ ヒ 怪鳥  
u huri nitne hi

トウムンチ カムイ 戦の神が  
tumunci kamuy

オチセコロ ワ たくさんいる  
ocisekor wa

シラン ルウェ ネイ 様子です。  
siran ruwe ne[y]

ウ ネイ ロク アワン そして  
u ne[y] rok awa[n]

リ…… ランケペスンクル ランケペスンクルが  
ri... Rankepesunkur

シネ マッネボ 1人の娘を  
sine matnepo

ウ コロ カトウフ 持っているのが  
u kor katuhu

アシヌマ ネイ ワ  
asinuma ne[y] wa 私であって

オカアヤン アワ  
oka=a[ya]n awa そうしていたのですが、

リクンペスンクル  
Rikunpesunkur リクンペスンクルは

エネ イタキ  
ene itak h\_i このように言いました。

『ランケペスンクル  
'Rankepesunkur 『ランケペスンクルよ

エコロ マッネボ  
e=kor matnepo お前の娘を

トウムンチ カムイ  
tumunci kamuy 戦の神に

アコレ ヤク ピリカ』  
a=kore yak pirk'a' さし出せ。』

セコロ オカイ ペ  
sekor okay pe そう

ウ イエ ワ ネ コロ  
u ye wa ne kor 言いながら

エパコロ アイヌ  
ep a=kor aynu 私の父に

『エチコパン ヤクン  
'eci=kopan yakun 『お前たちが拒むならば

エチコン ランケペシ eci=kor_ Rankepes	お前たちのランケペシを
ウトイ ウェン カント u toy wen kanto	ひどい天へ
チコキルカラ cikokirukar	追放して
アエチエカラカラ クス a=eci=ekarkar kusu	やる
ネヒタパンナ』 ne hi tapan na'	つもりだぞ。』
セコロ イタク コロ sekor itak kor	そう言うと
エパコロ アイヌ ep a=kor aynu	私の父と
エパコツ トット ep a=kor_ totto	私の母は
エネ イタキ ene itak h_i	このように言いました。
『アオカ アナクネ 'aoka anakne	『我らは
アイロンヌ ャッカ a=i=ronnu yakka	殺されようが
ウピリカ コロカ u pirka korka	かまわなが

ヘル クワンノ ただただ  
heru kuwanno

シネ ペ ネ ワ たった一人の  
sine pe ne wa

アコロ マッネイボ 我が娘が  
a=kor matne[y]po

エネ ワ エアン コロ お前であり  
e=ne wa e=an kor

イルカ ポカ 少しの間でも  
iruka poka

ネン カ アラパ ワ どこかへ行って  
ne(u)n ka arpa wa

ウ ヤイキラレン 逃げなさい。  
u yaykirare[n]

ウ ヤイクンヌイナ』 身をかくしなさい。』  
u yaykunnuyna'

イイエ ワ クス そう言うので  
i=ye wa kusu

タパン ウシケ タ この場所に  
tapan uske ta

ア…… キラアン キ ワン 私は逃げてきて  
a... kira=an ki wa[n]

ウ アナン コロカ いたのだけれど  
u an=an korka

トゥムンチ カムイ 戰の神  
tumunci kamuy

ネ ワ オカイ ペ であるものが  
ne wa okay pe

ウ アナン カトウ 私がここにいるのを  
u an=an katu

オフヨロネ どうでしょうか  
ohuyorone

エランペウテク ペン 分からないものでも  
erampewtek pe[n]

ソモ ネ クニ ないと  
somo ne kuni

アラム パテク 私が思うだけでは  
a=ramu patek

ソモ タパン ナ ないでしょう。  
somo tapan na

イレシパ シリ 私を大事に  
i=respa siri

ウ ピリカ クニ 育ててくれた  
u pirka kuni

エパコロ アイヌ 我が父や  
ep a=kor aynu

アコッ トット ネ ワ 我が母が  
a=kor\_ totto ne wa

イオカケ タ 私の（逃げた）あとに  
i=okake ta

アロンヌ ヘ キ 殺されるのではと  
a=ronnu he ki

ヤイヌアン マ クス 思うので  
yaynu=an w\_a kusu

イ チシアン ハウェ ネ ナ 泣いているのです。  
i cis=an hawe ne na

ニタイ コッ チカブ 林を司る鳥よ  
nitay kor\_cikap

イヌ ワ イケムヌ ワン 聞いて気の毒に思って  
inu wa ikemnu wa[n]

イコロパレ ヤン」 ください。」  
i=korpare yan”

セコロ オカイ ペ そういうことが  
sekor okay pe

ウ チシ トウラノ 涙とともに  
u cis turano

シノツチャキ カン 歌として  
sinotcaki ka[n]

イオテレケレイ 聞こえてきた。  
i=oterkere[y]

ウ ハワシ タ そう聞こえた時  
u hawas h\_i ta

イヌ ネ ワ キ プ ネ コロカ inu ne wa ki p ne korka	耳にしただけであるが
トウルシ キンラ ネ turus kinra ne	狂おしい憤りが
アヤイコパシテ a=yaykopaste	私に走った。
ウサイネカタブ usaynekatap	何ということだろう
アイヌ ネ ワ オカイ ペ aynu ne wa okay pe	人間であるものを
トウムンチ カムイ tumunci kamuy	戦の神に
アコロパレ クニ a=korpare kuni	さし出すために
オトゥミ オシマ otumi osma	戦に突入して
オウェンペ オシマ owenpe osma	悪いことに突入する
キ ワ アシ ハウェヘ ki wa as hawehe	という話が
オカ ヤ セコロ oka ya sekor	あるだろうかと
ヤイヌアン ヒケ yaynu=an hike	思うと

トウルシ キンラ ネン  
turus kinra ne[n]

アヤイコカラカラ  
a=yaykokarkar

アロリカシ  
ar h\_orkasi

ウ ポン メノコ  
u pon menoko

アラウコタブ  
a=rawkotapu

アウイナ ヒネ  
a=uyna hine

アコロ ワ アラパヤン  
a=kor wa arpa=[y]an

イタカン ハウエ  
itak=an hawe

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

「イテルレン…… イトウレン カムイ 「我が憑神よ  
“i=teruren... i=turen kamuy

ネオロ コタヌ  
neor kotanu

ウ レコロ カトウ  
u rekor katu

ランケペシ ネイアン  
Rankepes ne h\_i an

ランケペシ コタン  
Rankepes kotan

チオルラカラ  
ciorurakar

イエカラカラ ヤン」  
i=ekarkar yan”

イタカン アワ  
itak=an awa

イネイフイ モシリ  
ine[y]huy mosir

イネイフイ コタン  
ine[y]huy kotan

コタン タプカシ  
kotan tapkasi

カムイ マウ パシテ  
kamuy maw paste

エプ アキ クス  
ep a=ki kusu

アラパイアン フム コ  
arpa=[y]an hum ko

コクルラッキ  
kokururatki

ランケペシである

ランケペシ村に

私を運んで

おくれ。」

そういうと

どこの国土

どこの村だか

その村に

神の風を走らせて、

私がそうしたので

行ってみるとその音が

断続的に聞こえてくる。

イルカ トム タ あつという間に  
iruka tom ta

アイエ ロク クニ そう呼ばれている  
a=ye rok kuni

ランケペシ コタン ランケペシ村  
Rankepes kotan

アアラコトムカ に違いない  
aarkotomka

ウ コタン エンカ 村の上空に  
u kotan enka

アオシンタオッテ シンタを掛けて  
a=osintaotte

ネ ヒ オロ タ そこで  
ne hi oro ta

ネア メノコ その女を  
nea menoko

コタン コン ニシパ 村長の  
kotan kor\_nispa

ウニ ソイケ ウン 家の外に  
uni soyke un

アランケ ヒネ 降ろして  
a=ranke hine

ウニ ソイケ タ 家の外に  
uni soyke ta

アランケ プ ネ クシ a=ranke p ne kus	降ろしたので
エヤイコプンテク eyaykopuntek	喜び
アフプ ワ アラ (?) ahup wa ar(?)	入って行った。 (?)
ウ キ ロク アワン u ki rok awa[n]	そうしたが
チセコロ カッケマツ cisekor katkemat	家の女主人は
ウ チシ トウラノ u cis turano	泣きながら
「ネプ エカラ クス “nep e=kar kusu	「何をしに
エエク シリ アン e=ek siri an	来たのですか。
シネンネ ポカ sinenne poka	1人だけでも
イルカ ポカ iruka poka	短い時間であっても
エシクヌ ヒ ポ e=siknu hi po	あなたが生きるように
アキ ルスイ クス a=ki rusuy kusu	したいので

アエキラレ アワ  
a=e=kirare awa あなたを逃がしたのです。

マク エイキ クス  
mak e=iki kusu どうして

エエク シリ アン」  
e=ek siri an” あなたは来たのですか。」

ウ ハワシ アワ  
u hawas awa そう言うと

ウ ポン メノコ  
u pon menoko 娘は

「ネウン ネ フミ  
“neun ne humi 「どういうこと

ウ ネ ナンコラ  
u ne nankor y\_a でしょうか。

ウ ネプ ピトホ  
u nep pitoho 何かの神様

ウ ネプ カムイエ  
u nep kamuye 何かのカムイが

イカオピウキ  
i=kaopiwki 私を助け

ウ キ ルスイ クス  
u ki rusuy kusu たかったのでは

ソモ ヘタパン  
somo hetap an ないでしょうか。

- アイラウコタブ 私は抱かれて  
a=i=rawkotapu
- アイルラ ワ エカン 運ばれてきたのです。  
a=i=rura wa ek=an
- アナッキ コロカ けれども  
anakki korka
- イキ ワイキ プ その (そうした) 人を  
iki wa iki p
- アヌカラ ポカ 私は見ることも  
a=nukar poka
- ソモ キ ルウェ なかつた  
somo ki ruwe
- ネ ヒ タパン ナ」 のです。」  
ne hi tapan na”
- セコロ ハウェアン コロ そう言いながら  
sekor hawean kor
- ウ シラン ヒケ いたところに  
u siran hike
- ウ ラッチタラ<sup>[1]</sup> ゆっくりと  
u ratcitara
- ウ アパオロッペ 入り口のござを  
u apaorotpe
- アモイレチャカ 私はゆっくりと開けて  
a=moyrecaka

アフナン ヒネ  
ahun=an hine  
入っていき

ヘヨキ サク ノ  
heyoki sak no  
挨拶もなしに

ヘカリ ソパン  
hekari sopa[n]  
上座に

アホラリ カネイ  
a=horari kane[y]  
鎮座するように

ウ アナン アワ  
u an=an awa  
私がいると

ランケペスンクル  
Rankepesunkur  
ランケペスンクルは

ウ テッカキボ  
u tekkakipo  
手を

ウ ヤユイルケ  
u yayuyruke  
かざして

イコヘヘウパン  
i=kohehewpa[n]  
私の方を覗いた。

アナッキ コロカ  
anakki korka  
けれども

イヌカラ クニ プ  
i=nukar kuni p  
私を見ることも

ソモ ネ コトム  
somo ne kotom  
できないようで

「ネウン ネ フミ “neun ne humi	『いかなる音か
ウ ニシパ カンマウ u nispa kanmaw	勇者の威風
ウタラパ カンマウ utarpa kanmaw	首領の威風が
イエリキクル i=erikikur-	私を上の方に
ウ…… ノ…… ウ ライパ コトム u... no...u raypa kotom	行かす (=たじろがせる) ように <sup>[2]</sup>
アエサンニヨ コロカ a=esanniyo korka	思ったが
カムイ アフン フミ kamuy ahun humi	神が入ってくる感じ
ネ ナンコロ コロカ ne nankor korka	であろうが
ウ タブネ タブネ u tapne tapne	このように
モトホ アン マ motoho an w_a	原因があるので
アコロ マッネボ a=kor matnepo	我が娘を
アキラレ カトウ a=kirare katu	逃がしたの

ウ ネイ ロク アワン  
u ne[y] rok awa[n]

マカン カッコロ ペ  
makan katkor pe

カムイ ヘタブ アン  
kamuy hetap an

アイヌ ヘタブ アン  
aynu hetap an

アヌカラ フミ カ  
a=nukar humi ka

オアラリサム  
oarar isam

オリパカン コロカ  
oripak=an korka

イタカン ハウエ  
itak=an hawe

ネ ヒ タパン ナ  
ne hi tapan na

リクンペスンクル  
Rikunpesunkur

ウ ノミ カムイ  
u nomi kamuy

フリ ニッネ ヒ  
huri nitne hi

であったが

どういったことか

神であるのか

人間であるのか

見ることも

まったく (でき) ない (人に)

畏れながらも

私は語るの

ですよ。

リクンペスンクルが

祈る神は

フリの悪神

トゥムンチ カムイ 戰の神  
tumunci kamuy

ウ ネイ ワ シラン です。  
u ne[y] wa siran

ウ キ ロク アワン そうして  
u ki rok awa[n]

アコロ マッネボ 我が娘  
a=kor matnepo

タクビ アコロ ペン 唯一の娘を  
takupi a=kor pe[n]

アコレ クナク アイエ さしだすようにと言われ、  
a=kore kunak a=ye

ソモ ネ ヤクン そうでなければ  
somo ne yakun

ソモ エセアン ヤクン 承知しなかったら  
somo ese=an yakun

アコロ コタヌ 我が村が  
a=kor kotanu

アロンヌ フミ 殺される(破壊される)と  
a=ronnu humi

アイエ プ ネ クス 言われたので  
a=ye p ne kusu

アオカ イ アナクネ 私たちは  
aoka [i] anakne

ウタツ トウラノ 村人と共に  
utar\_turano

ウ ライ クニヒ 死ぬのだろうと  
u ray kunihi

アラム カネ 思いながら、  
a=ramu kane

ラヤン クニヒ 死ぬのも  
ray=an kunihi

ウ ピリカ コロカ よいが  
u pirka korka

ヘルクワンノ ただただ  
herukuwanno

アコロ マッネボ 私の娘  
a=kor matnepo

シネンネ ボカ たった一人でも  
sinenne poka

シクヌ イ アキ ルスイ 生かしたい。  
siknu h\_i a=ki rusuy

ウ キ ワ クス なので  
u ki wa kusu

アキラレ アワ 私は逃がしたのだが  
a=kirare awa

カムイ ヘタブ アン 神であるのか  
kamuy hetap an

マカン カッコロ ペ  
makan katkor pe どういったものか

アコロ マッネボ  
a=kor matnepo 我が娘を

ルラ ワ イコレ」  
rura wa i=kore” 運んでくださった。」

セコロ オカイ ペ  
sekor okay pe そのように

ウ ラッチタラ  
u ratcitala ゆっくりと

ウ イエ コロカイキ  
u ye korkayki 言っていたのだが

アエミナ ルスイ  
a=emina rusuy それを笑いたいと

トウラ イッケウ  
tura ikkew 本心では思い

アシタシパレ ナ<sup>[3]</sup>  
a=sitaspare na 後に残したのだ。

リキイ スプヤ  
rikin\_ supuya 立ち昇る煙

アヤイトウラレ  
a=yayturare と共に私は

リクイスイ クルカ  
rikuysuy kurka 煙出し窓の上に

アネイコブニ 飛び出した。  
an=eikopuni

アイエ ロク クニ そう言うごとく  
a=ye rok kuni

モシリ トウラシ 国土に沿って  
mosir turasi

リクンペシモシリ リクンペシの  
Rikunpesmosir

モシリ トウラシ 国土に沿って  
mosir turasi

アラパイアン フム コ 進む響きが  
arpa=[y]an hum ko

コクルラッキ 断続的に聞こえる。  
kokururatki

ネ ヒ オロ タ そこで  
ne hi oro ta

イタカン ハウェイ 話す言葉とは  
itak=an hawe[y]

エネ オカ ヒ このようなものであった。  
ene oka hi

「ウ コニンカラ クス 「さてさて  
“u koninkar kusu

ウ ネプ ピトホ どんな神が  
u nep pitoho

イトウレン ャッカ i=turen yakka	私に憑いていても
ウ フリ トノ u huri tono	怪鳥の親玉
トウムンチ カムイ tumunci kamuy	戦の神が
エワク シロホ ewak siroho	住まう城へと
イオルラ ワ i=orura wa	我を運んで
イコロパレ ヤン」 i=korpare yan”	くれ。」
ウ フム サク ノ ポ u hum sak no po	音も無く
イタカン アワ itak=an awa	言うと
オフムサク レラ ohumsak rera	音もない風
オフムサク カムイ マウ ohumsak kamuy maw	音なき神の風
カムイ マウ カシ kamuy maw kasi	神の風の上を
アニエコシネ an=i=ekosne-	軽く

ウ パシテ カネ 走らせるように  
u paste kane

ウ プンパ カネ 持ち上げるようす  
u punpa kane

アラパイアン フム コ 私が行く音が  
arpa=[y]an hum ko

コクルラッキ 断続的に響く。  
kokururatki

インカラニ ルウェ 見わたすと  
inkar=an ruwe

ウ ソンノ ポカ たしかに  
u sonno poka

タン ポロ ヌプリ 大きな山が  
tan poro nupuri

チシレアヌ そこにあり  
cisireanu

ヌプリ カ タ 山の上には  
nupuri ka ta

タン ポロ チャシ 大きな  
tan poro casi

ウ トント チャシ 皮の城  
u tonto casi

ネ ヒ ヘ ネ ヤ であろうか  
ne hi he ne ya

シララ ウ チャシヒ 岩の城  
sirar u casihi

ウ ネ ヘ ネ ヤ であろうか  
u ne he ne ya

プタ ウン チャシ 蓋つきの城で  
puta un casi

アパ ウン クニ 戸の場所も  
apa un kuni

プヤラ ウン クニ 窓の場所も  
puyar un kuni

アネランペウテク 分からない。  
an=erampewtek

ウ シラン チキ だから  
u siran ciki

アロカムキンノ わざと  
arokamkinno

ウ チャシ ソイ タ 城の外に  
u casi soy ta

アラパ アイ…… アン ヒネ 行き  
arpa ay... =an hine

オフム ピ° サク ノ 音もなく  
ohum pi sak no

アラパ° アイ…… アン ヒネ 行き  
arpa ay... =an hine

タパイ シノッチャ  
tapan\_ sinotca

この歌を

アエラウンクチ  
a=eraunkuci-

我が喉の奥を

カムイノイエ ハウエ  
kamuynoye hawe

神のごとくふるわせた声は

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

このようであった。

「コニンカラ クス  
"koninkar kusu

「さてさて

ウ フリ ニッネ  
u huri nitne

怪鳥の悪神

シパセ カムイ  
sipase kamuy

真に位の高い神

トゥムンチ カムイ  
tumunci kamuy

戦の神よ、

カムイ ネ アキ プ  
kamuy ne a=ki p

私は神であるが (?)

アイヌ メノコ  
aynu menoko

人間の女

エコロ クス ネ メノコ  
e=kor kusu ne menoko

お前にさし出すはずの女は

エコレ トランネ クシ  
e=kore toranne kus

そうなるのが嫌で

ウ ヤイキラレ  
u yaykirare  
自らを逃がした。

ウ アン ウシケヘ  
u an uskehe  
そうしたところは

エエシクナク ワ ヘ  
e=esiknak wa he  
お前には見えないのか

エフナラ カ ソモ キ  
e=hunara ka somo ki  
お前は捜しもしないで

エヌ ネ ルウエ」  
enu ne ruwe”  
いるのか。」

イタカン カネ  
itak=an kane  
そう私は言いながら

シノッチャ トウイカ  
sinotca tuyka  
歌いながら

アイオテレケレ  
a=ioterkere  
浴びせる。(=聞かせる)

ウ キ ロク アワ  
u ki rok awa  
そうすると

マカン カッコロ ペ  
makan katkor pe  
どういうことか

チャシ オルン  
casi or un  
城より

オトウ シウェンパ  
otu siwenpa  
2つの罵詈雑言

オレ シウェンパ  
ore siwenpa 3つの罵詈雑言が

エシロタッパ  
esirotatpa 言い放たれたのだが

エネ オカ ヒ  
ene oka hi このようなものだった。

「ウサイネ カ タブ  
“usayne ka tap 「これはどういうことか

ウ ネブ ウエン カムイ  
u nep wen kamuy どんな悪い神が

ウ ネブ ピトホ  
u nep pitoho どんな人が

アコン ラメトク  
a=kor\_ rametok 私の勇気を

チコモイモイエ  
cikomoymoye 摺り動かす

イエカラカラ クシ  
i=ekarkar kus ために

コハウコロ ハウエ  
kohawkor hawe ものを言う声

ネ ヒ タブ オカ」  
ne hi tap oka” なのか。」

セコロ イタク コロ  
sekor itak kor そう言いながら

オトウ シウェンパ  
otu siwenpa 2つの罵詈雑言が

エシロタッパ  
esirotatpa 言い放たれた

ウ キ ロク アワ  
u ki rok awa そうして

イネフナク オロ  
inehunak oro どこなのか

ウ ネア チャシ  
u nea casi その城が

ポンノ シマカ  
ponno simaka 少し開かれて

インカラニ ルウェ  
inkar=an ruwe 私が見た様子は

アイエ ロク クニ  
a=ye rok kuni いわゆる

フリ ニッネ ヒ  
huri nitne hi 怪鳥の悪神

ウ コツ トウレシ  
u kor\_turesi の妹で

ウ ポン メノコ  
u pon menoko 若い娘に

アアラコトムカ プ  
aarkotomka p 違いないものが

ポンノ エトウキケ 少し顔を出したところ  
ponno etuk h\_ike

オクストウ アコトウク ヒネ シヨニ 私は彼女の首にくっついて引っ込んだ。  
oksutu a=kotuk hine siyoni

「ネプ カ イサム ナ」 「誰もいないぞ。」  
“nep ka isam na”

セコロ イタク コロ シヨニ ヒネ そういうながら中に引っ込んで  
sekor itak kor siyoni hine

チャシ オロ 城の中に  
casi or

オシキル ヒケ 身を翻すと  
osikiru hike

ウ アムソ クルカ 床の上に  
u amso kurka

ウ オラブンノ まったく静かに  
u orapunno

アコヤヨスラ 身を投げ出した。(=床に下りた)  
a=koyayosura

オフム ピ サク ノ 音も無しに  
ohum pi sak no

ウ キ ロク アワ そうすると  
u ki rok awa

フリ ニッネ ヒ 怪鳥の悪神が  
huri nitne hi

エアシラナ それこそ  
easirana

ハヨク シリ コンナ 甲冑を身につけるような  
hayok sir konna

コキクナタラ 音が鳴り響く。  
kokiknatara

ウ キ ロク アイネ そうして  
u ki rok ayne

ソイエンパ ノイネ 外へ出るような  
soyenpa noyne

イキ ヒラネ…… ハ…… 気配がして  
iki hirane... ha...

オロ トゥナシ ノ すばやく  
oro tunas no

アロリカシ 上から  
ar h\_orkasi

セトウン ノシキケ 背の真ん中に  
setur\_ noskike

アラムコパシテブ 宝の刀を  
a=ramkopastep

ウ ピリカ オプ ネ 立派な槍のように  
u pirka op ne

アヤイコカラカラ して  
a=yaykokarkar

アシリコオッケ  
a=sirkootke 私は強く突きかかり

ウキロクアワ  
u ki rok awa そうして

オロワ  
orowa それから

タブオロワノ  
tap orowano そして

モシリペシカネイ  
mosir pes kane[i] 大地に沿うように

イイエキラフムコ  
i=[i]ekira hum ko 逃げる音が

コトゥナシカネ  
kotunash kane 素早く

コトウリミムセ  
koturimimse 韶き渡る。

トゥムンチカムイ  
tumunci kamuy 戦の神

コツチャシオロワ  
kor\_casi oro wa の城より

ウソイネプネクシ  
u soyne p ne kus 外に出たものなので

カムイフミヒ  
kamuy humihi 神の音として

コトウリミムセ 韶き渡る。  
koturimimse

ケライ トゥムンチ ネ さすがは悪神  
keray tumunci ne

カムイ マウ パシテ 神風を走らせる  
kamuy maw paste

アナッキ コロカ けれど  
anakki korka

ウ ネイタ パクノ どこまでも  
u neyta pakno

セトウル カシケ 背中の上に  
seturu kasike

アオレウ カネ ワ 私が止まるように（しているので）  
a=orew kane wa

イエキラ ワ 私と一緒に逃げて  
i=ekira wa

ウ サン フム コンナ 下りる音が  
u san hum konna

コトウナシ アイネ いそぐうちに  
kotunas ayne

アイエ ロク クニ いわゆる  
a=ye rok kuni

リクンペシ コタン リクンペシの村  
Rikunpes kotan

アアラコトムカン  
aarkotomka[n]

ウ シラン ルウェ  
u siran ruwe

エネ オカ ヒ  
ene oka hi

リクンペスンクル  
Rikunpesunkur

イネ ロク ペ クシ  
ine rok pe kus

ウタリ インネ  
utari inne

コタヌ インネ  
kotanu inne

チエイソネレ  
cie[y]sonere

オトゥワイ ソシ ネ  
otuwan\_ sos ne

タパン ア…… コタン  
tapan a... kotan

ウソシカム ワ  
usoskamu wa

ウワン ワ……  
uwan wa...

ウ ピシカン…… ア…… ウピシ ワ コタン そろって村の  
u piskan... a... upis wa kotan

コタン ケセヘ 村の末端は  
kotan kesehe

チルルコサプテ 潮に差し出る（ほど海近くまで広がり）  
cirurkosapte

コタン パケヘ 村の上手は  
kotan pakehe

チニタイコクル 木立に  
cinitaykokur-

ポイパ カネ 交じる（ほど山近くまで広がっている。）  
poypa kane

ウソシカム モシリ 幾重にも重なった国土  
usoskamu mosir

シコパヤラ のようだ。  
sikopayar

タン インネ コタン このにぎわった村が  
tan inne kotan

チシレアヌ ある。  
cisireanu

ウ キ ロク アワ そうして  
u ki rok awa

トゥムンチ カムイ 戰の神が  
tumunci kamuy

ウ ルイ ホトウイエン 激しく叫ぶ  
u ruy hotuye[n]

ハウケイ ホトウイエ おだやかな叫びを  
hawke[y] hotuye

ウカクシパレ 何度も繰り返す  
ukakuspare

エネ イタキ その言葉とはこのようだ。  
ene itak h\_i

「コニンカラ クス 「さてさて  
“koninkar kusu

リクンペスンクル リクンペスンクルを  
Rikunpesunkur

コニンカラ クス 見てみると  
koninkar kusu

ウ ポイヤウンペ ポイヤウンペ  
u Poyyaunpe

ネ ワ ネ ノイネ であるようで  
ne wa ne noyne

チキマテッカ おどかされたのは  
cikimatekka

ウェン アイヌ サニ 悪い人間の子孫に  
wen aynu sani

イエカラカンナ である  
i=ekarkar\_na

カシ チトウナシカ 私を早く救い  
kasi citunaska

イエカラカラ ワ 出して  
i=ekarkar wa

イコロパレ ヤン」 おくれ。」  
i=korpare yan”

セコロ オカイ ペ そのようなことを  
sekor okay pe

ウ ハウケ ホトウイエ おだやかな叫び  
u hawke hotuye

ウ ルイ ホトウイエ 激しい叫びで  
u ruy hotuye

ウカクシパレ 何度も繰り返し  
ukakuspore

ウ キ プ ネ クス 言うので  
u ki p ne kusu

イセムラム セコロ いつものことだが  
isemram sekor

タン インネ コタン この大きな村に  
tan inne kotan

ハヨク キットウム 力 鎧のきしむ音が<sup>[4]</sup>  
hayok kit h\_um ka

コキッナタラ 鳴り響き  
kokitnatarra

コマイナタラ 韶く音が  
komaynatara

コリムナタラ 轟く  
korimnatara

タン インネ コタン この大きな村は  
tan inne kotan

タナンペ レコロ このために  
tananpe rekor

キキリ サイ パシテ 虫の群れを走らせる  
kikir say paste

エカンナユカラ かのようだ  
ekannayukar

ネ ヒ オロ タ そうして  
ne hi oro ta

ウ フリ ニッネ イ 怪鳥の悪神と  
u huri nitne h\_i

リクンペスンクル リクンペスンクルの  
Rikunpesunkur

トウレシ ウタリ 姉たち  
tures utari

トウ トウレシヌ ワ (リクンペスンクルは) 2人の妹があり  
tu turesnu wa

シネ ポ コロ ワ<sup>[5]</sup> 息子がひとりいて  
sine po kor wa

ウタラパ クン utarpa kur_	人びとの統領である。
ア ウタラ セレマク ネ a utar sermak ne	人びとの後ろ盾と
コヤイカラ カネ koyaykar kane	なって
エアシラナ easirana	本当に
タン インネ イ オッ タ tan inne h_i or_ta	人が多いところで
チパトウパトウ cipatupatu	大騒ぎになった。
ウ センラム セコロ u senram sekor	いつもながらに
ウ ネプ ピトホ u nep pitoho	何かの神が
イトウレン クス i=turen kusu	私に憑いているので
イトウレン カムイ i=turen kamuy	憑神が
タネイボ ソンノ tane[y]po sonno	今はじめて、本当に
トウムンチ クルカ tumunci kurka	戦の上に

コフメランケ 音を立てて下り  
kohumeranke

タパン カムイ マウ その神の風が  
tapan kamuy maw

ウ ヨプケ ヒケ 激しいので  
u yupke hike

ウ クイ…… シニシ カラペン 真の空の風が  
u kuy... sinis karpe[n]

コトウリミムセ 韶き渡る。  
koturimimse

ウ カントイ カラペ 地表にあたる風が  
u kantoy karpe

コフムマツキ 鳴り轟く。  
kohumumatki

ウ ニタイ カラペ 林にあたる風も  
u nitay karpe

コセペパツキ 共に鳴り響く。  
kosepepatki

ネ ヒ コラチ そのようで  
ne hi koraci

エアシラナ それこそ  
easirana

チ……シリコロ カムイ 大木の神は  
ci... sirkor kamuy

ケナシ カ ウシ ペ kenas ka us pe	木原に生えている者で
ウ カイ ニウケシ ペ u kay niwkes pe	折れがたき者 (=折れにくい木) は
ウ シンリツ カ タ u sinrit ka ta	根元から
ウ ヘピタッパ u hepatatpa	振り回され
ウ チャ エトコ u ca etoko	枝の先には
オトウ マウシロ otu mawsiro	2つの口笛が
チエコテカラ ciekotekar	つき (鳴り響き)
ウ カイ ルスイ ペ u kay rusuy pe	折れたい者 (=折れやすい木) は
ウ スプトモロケ u suptomorke	幹の真ん中より
チコウエケッケ ciko[u]ekekke	折れ碎ける。
ネ ヒ コラチ ne hi koraci	そのように
タパン カムイ マウ tapan kamuy maw	この神の風が

ウ ユプケ カシパ  
u yupke kaspa 強すぎる

ウ キ プ ネ クス  
u ki p ne kusu ので

ア ユプケ ルイエ ネ……  
a yupke ruye ne… 激しい (炎となって)

エアシラナ  
easirana 本当に

ウ ユプケ ヌイ ネ  
u yupke nuy ne はげしい炎となって

マカウナン キ コロ  
makanan ki kor 時として

カネイ アワンキ  
kane[y] awanki 鉄の扇を

ウ アイカプサム タ  
u aykapsam ta 左手で

アラッチスイエ  
a=ratcisuye おだやかに揺らし

アラルナスイエ  
a=ra[ru]nasuye 低く揺らし

ウ アシカイサム タ  
u askaysam ta 右手で

アラムコパシテブ  
a=ramkopastep 宝の刀を

ラヨチ クンネ 虹のように  
rayoci kunne

ウ テレケ フム ネ 跳ばす感じに  
u terke hum ne

アヤイカラ カネ しつつ  
a=yaykar kane

エアシラナ それこそ  
easirana

ウ ニカイ ルクム 木の碎片を  
u nikay rukum

カムイ マウ プンパ 神の風が巻き上げると  
kamuy maw punpa

チカブ サイ クンネ 鳥の群れのように  
cikap say kunne

ウ シニシコトロ 広い空へ  
u siniskotor

エウェイホンパ 激しく飛び立って  
eweyhopunpa

ヘトボ<sup>ホ</sup> ホロカ 逆戻りをして  
hetopo horka

ウ ヤプキン ニ ネ 投げ木のように  
u yapkir\_ni ne

モシリ ソ クルカ 大地の上に  
mosir so kurka

ロレンペ クルカ rorunpe kurka	戦の上に
オラフン コンナ orahun konna	完全に入って行くように
コシウシウパイエ kosiwsiwpaye	シューシュ一鳴りながら飛んでくる。
ウ ウエムコクス u [u]emkokusu	そのために
ウ ニ エコッ ペ u ni ekot pe	木にあたって死ぬもの
ウ タム エコッ ペ u tam ekot pe	刀で切られて死ぬものは
ウシンナ カネ usinna kane	それぞれに
ウヌイ エコッ ペ u nuy ekot pe	炎で死ぬものは
ウシンネ カネ usinne kane	それぞれに
エアシラナ easirana	本当に
アコン ロレンペ a=kor_ rorunpe	我が戦
アシヌマ タブ asinuma tap	私こそが

アコン ロルンペ  
a=kor\_ rorunpe おこなう戦

ソモ ネ ナンコロ  
somo ne nankor ではないだろう。

イトゥレン ピト  
i=turen pito 我に憑く人

カムイ パセ クル  
kamuy pase kur 神で位が高い人が

ウ コン ロルンペ  
u kor\_ rorunpe おこなう戦

ウ ネ プ ネ クス  
u ne p ne kusu であるので

アイヌ ロルンペ  
aynu rorunpe 人間の戦

オアラ ソモ ネ  
oar somo ne では全くない。

トゥムンチカムイ  
tumuncikamuy 戦の神

ウタラ オロケヘ  
utar orkehe たちが

ウ コン ロルンペ  
u kor\_ rorunpe おこなう戦を

アヌカラ ア ヤク  
a=nukar a yak 見たならば

アニコネンパ  
an=ikonempa それにたとえられる。

ウ ヤイクルカタ  
u yaykurkata 自身で

アコロ ロルンペ  
a=kor rorunpe 行う戦

ウ ネイ コロカイキ  
u ne[y] korkayki であるけれども

アエアヌラム  
a=eanuramu- 私の心は

ウ カリ カネ  
u kari kane くらくらして

エアシラナ  
easirana それこそ

アクシワ アニ  
a=kus wa an h\_i 私が通ったところは

チサマソネ  
cisamasone (倒れるものが) 野草を敷くごとく

チハンケトウリ  
cihanketuri 近く伸び

チトウイマトウリ  
cituyumaturi 遠く伸び

マカンネキコロ  
makan ne ki kor ある時には

ア…… アロカムキンノ わざと  
a... arokamkinno

アキ プ ネ クス 私がするので  
a=ki p ne kusu

ウタラ エンカシ 人びとの上で  
utar enkasi

ア レラマウ ネン 風のように  
a reramaw ne[n]

アマウノイエレ ひらりと（身を）翻すと  
a=mawnoyere

チャパ サク アイヌ 頭なき人が  
capa sak aynu

オロ チラビ° そこに倒れる。  
oro cirapi

マカン ネ キ コロ ある時には  
makan ne ki kor

ウタラ ウ クルポキ 人びとの下で  
utar [u] kurpoki

ウ アムケチャラセ<sup>[6]</sup> 胸で水を切って滑るようにすると  
u a=mukecarse

チキリイ サク アイヌ 脚なき人が  
cikir[i] sak aynu

オロ チラビ° そこに倒れる。（と）  
oro cirapi

イコオトウイマ  
i=kootuyma-

コシッケルル  
kosikkeruru

「ウサイネカタブ  
“usaynekatap

ウェン アイヌ サニ  
wen aynu sani

イロンヌ ヤクン  
i=ronnu yakun

オロ トウナシノ  
oro tunasno

イロンヌ キ コロ  
i=ronnu ki kor

ネウン ネ クス  
neun ne kusu

チキリイ サク アイヌ  
cikir[i] sak aynu

アネイ ワ ネ コロ  
a=ne[y] wa ne kor

ネウン イキ キ ワ  
neun iki ki wa

イペ ポカイキ  
ipe pokayki

私に対して遠くから

目を剥いて怒り

「これはどうしたことか

貧しい人間の子孫め。

私たちを殺すのなら

さっさと

私たちを殺せば（よいのに）

どういうわけで

脚なき人に

我々をしたのだ（そうしたら）

何とかして

食事だけでも

アエ エアシカイ クスン」 a=e easkay kusun”	食べられる（生き延びてしまう）ではないか」
セコロ オカイ ペン sekor okay pe[n]	そのようなことを
ウ タ イエ カネ u ta ye kane	言いながら
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には
コイ…… タン インネ コタン koy... tan inne kotan	この大きな村の
コタン エンカシ kotan enkasi	村の上で
コタン パ ウン マ kotan pa un w_a	村の上手へ
コタン ケシ ウン マ kotan kes un w_a	村の下手へ
アコロ アワンキ a=kor awanki	私の扇
ヌプル アワンキ nupur awanki	靈力の扇で
シカイエ ヌイ ノカ sikaye nuy noka	振り回す炎の形
ウ テレケ ヌイ ノカ u terke nuy noka	跳ねる炎の形

ホブニ ヌイ ノカ 飛び立つ炎の形を  
hopuni nuy noka

アエシリパル コロ 扇ぐと  
a=esirparu kor

タン インネ コタン この大きな村の  
tan inne kotan

コタン クルカシ 村の上に  
kotan kurkasi

ウヌイテレケレ 炎が跳ねまわり  
unuyterkere

ウェン ヌイ タプコプ 激しい炎の小山が  
wen nuy tapkop

エウェイシノイエ 巻き上がり  
ewe[y]sinoye

エアシラナン それこそ  
easirana[n]

ウ ヌイ エコッ ペ 炎で死んだ者が  
u nuy ekot pe

ウシンナトイネ 別々になつて  
usinnatoyne

エボソ クス まさに  
eposo kusu

トウラムコン ヌミ 脳病者の列は  
turamkor\_ numi

ウ マッ テク アンパ プ                      妻の手を引く者  
u mat tek anpa p

ウ ポ<sup>°</sup> テク アンパ プ                      子の手を引く者の  
u po tek anpa p

キラ ヌミキリ                              逃げる列が  
kira numikir

ウシンナ カネ                              別々に  
usinna kane

ラメトク ヌミ                              勇者の列は  
rametok numi

エアン ネ ヌム ネ                              ただひとつの列となって  
ear\_ ne num ne

イコウヤイサナ  
i=ko[w]yaysana-

私のほうへ前に

ウ サプテ カネ                              進み出ても  
u sapte kane

イイエコッ ポカ  
i=yekot poka

私を殺すことも

エウエニタラ                              できず  
ewenitara

ウ キンラ ヨブ  
u kinra yupu

狂気がきつく

ウ ウエンペ ヨブ  
u wenpe yupu

邪気がきつく

エコンラム コンナ  
ekonram konna

意識が

ウ カリ カネ  
u kari kane

くらくらして

リクンペスンクル  
Rikunpesunkur

リクンペスンクルに

エアシラナ  
easirana

それこそ

ア…… アタンピウキレ  
a... a=tampiwkire

私は刀で斬りかかる (が)

ウェン マ ネ キ コロ  
wen w\_a ne ki kor

悪くして

アタメオラウキ  
a=tameorawki

刀で取り逃がし

ウ フリ ニッネ イ  
u huri nitne h\_i

怪鳥の悪神に

アタンピウキレ  
a=tampiwkire

私は刀で斬りかかる。

ウ キ ロク アイネ  
u ki rok ayne

そうしてとうとう

コヤイシカルン  
koyaysikarun

正気に戻り

アキ ワ ネイ コロ  
a=ki wa ne[y] kor

そうするうちに

ウ フリ ニッネ  
u huri nitne 怪鳥の悪神

ウ ウエン レクチ  
u wen rekuci よくない喉を

アエタムカコンナ  
a=etamkakonna- 刀を

シカイエ カネ  
sikaye kane 振り回し暴れ

アエモンカコンナ  
a=emonkakonna- 手を

シカイエ カネ  
sikaye kane 振り回し暴れ

ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci それとともに

トウ ワン オプ サキリ  
tu wan op sakir 二十本の槍が

イコリコシマ  
i=korikosma 私に向かって高く上がる。

ネ ワ ネ キ コロ  
ne wa ne ki kor そうすると

オプ キ クン ペ ネイ (?)  
op ki kun pe ne[y] (?) 槍を持つ者を (?)

アシコッチャネレ ワ  
a=sikotcanere wa 自分の身代わりにして

アオッケ シリ  
a=otke siri

私が突く様子

アタウキ シリ  
a=tawki siri

私が切りつける様子が

ウ オウカウイル  
u oukauyru

合い重なり

エプ アコン トゥミ  
ep a=kor\_ tumi

我が戦

ア…… アコン ロルンペ  
a... a=kor\_ rorunpe

我が戦いが

ウ ユプケ カシパ  
u yupke kaspa

激しすぎて

ウ ネイ タ パクノ  
u ney ta pakno

どこまでも

エアシラナ  
easirana

それこそ

ウェン アイヌ サニ  
wen aynu sani

つまらない人間の子孫

ウタロロケヘ  
utarorkehe

たちは

エアシラナ  
easirana

それこそ

エネ イタキ  
ene itak h\_i

このように言った。

「リクンペスンクル  
“Rikunpesunkur

ポウタリ  
poutari

トウ ポ<sup>9</sup> コロ アアン  
tu po kor aan

トウ マッネボ<sup>9</sup> コロ ワ  
tu matnepo kor wa

ウ シ……  
u si...

ウ シラン アアン」  
u siran aan”

ポウタリヒ  
poutarihi

エネ イタキ  
ene itak h\_i

「カムイ ネ アン クル  
“kamuy ne an kur

アオカ アナクネ  
aoka anakne

アイオカムキリ ペ  
a=i=okamkir pe

ソモ タパン ナ  
somo tapan na

「リクンペスンクルの  
子どもたちは

2人いる

娘が2人いる

そのようである。」

子どもたちは

このように言った

「神のようなお方よ、

何も知りも[7]

我われは

しないのですよ。

アウェイ オナハハ  
a=wen\_ onaha[ha]

ウ ネイ ワノ スイ  
u ney wano suy

ウ ノミ クス  
u nomi kusu

オカ ロク クニ プ  
oka rok kuni p

トウムンチ カムイ  
tumunci kamuy

ウ ネイ ロク アワ  
u ne[y] rok awa

ウ エムコサマ  
u emkosama

ア ラル…… アウタロロケヘ  
a raru... a=utarorkehe

ア アンコチュブ  
a an=kocupu

エヌネ シリ  
enune siri

ネ ヒ ネ ャッカ  
ne hi ne yakka

オカヤナクネ  
oka=[y]an y\_akne

ウ タメタイエ 刀を抜くことも  
u tametaye

アエトランネ ナ 嫌なのです。  
a=etoranne na

カムイ ネ アン クル 神のような人よ、  
kamuy ne an kur

イシクヌレ キ ワ 我われを生かして  
i=siknure ki wa

イコロパレ ヤン」 ください。」  
i=korpare yan“

イタッカラ コロカ と言ったが  
itakkar korka

アヌ フミ ポカ 私には聞く様子さえも  
a=nu humi poka

オアラ シイサム 全く無い。  
oar [s]isam

エポソカネ なるほど  
eposokane

ウ ウエンペ パシテ 悪者を走らせる  
u wenpe paste

トウレンペ パシテ 憲神を走らせる  
turenpe paste

アキ プ ネ クス ということを私はするので  
a=ki p ne kusu

ウイ オイケシネ  
uy oykesne  
しまいには

アエコンラムコンナ  
a=ekonramkonna-  
私のこころは

ウ カリ カネ  
u kari kane  
くらくらして

ウ カリ カネ  
u kari kane  
くらくらして

タン インネ ウタラ  
tan inne utar  
多くの人びとを

アトウイパ カトウ  
a=tuypa katu  
私が切った様子は

ウ ユプケ コロカ  
u yupke korka  
激しかったが

イネイ ロク ペ クシ  
ine[y] rok pe kus  
なんともまあ

ウ ペ ヌヌムケ  
u pe nunumke  
水があふれる

シコパヤラ  
sikopayar  
ようであった。

キラ ウタリ  
kira utari  
逃げる人びとは

ウ インネ コロカ  
u inne korka  
たくさんいるが

ウタラ ポロセレ utar porosere	人々の大部分は
イコヤイリキ i=koyayriki-	私に向かい
ウ プンパ カネ u punpa kane	持ち上げながら
イセンラム セコロ isenram sekor	いつものこと
アナッキ コロカ anakki korka	ではあるが
インカラム シリ inkar=an siri	見わたした様子は
ウ インネ ウタラ u inne utar	多くの人びと
ウタラ アラケヘ utar arkehe	人びとの半分は
ホラク ワ アラパ horak wa arpa	崩れ落ち行き
チサマソネ cisamasone	倒れ伏せる
コヨヤモクテ koyoyamokte	それをいぶかしく
エプ アキ クス ep a=ki kusu	思い

インカラニ シリ  
inkar=an siri

エネ オカ ヒ  
ene oka hi

ウ ランペスンクル  
u Ranpesunkur

ウ ランペスンマツ  
u Ranpesunmat

ウ コロ マツネボ<sup>o</sup>  
u kor matnepo

エレン ネ キ ワ  
eren ne ki wa

イカスイ シリ  
i=kasuy siri

ウ ネイ ロコカ  
u ne[y] rokoka

エアシラナ  
easirana

ウタラ アラケヘ  
utar arkehe

チサマソネ  
cisamasone

チトウイマトウリ  
cituyumaturi

見わたした様子は

このようであった。

ランペスンクルと

ランペスンマツ

その娘は

3人で

私を助ける様子は

このようであった

本当に

人びとの半分は

倒れ伏せ

遠くへ伸び

チハンケトウリ 近くへ伸び  
cihanketuri

イキイアン アイネ そうして  
iki=[y]an ayne

タネイ ネ クス なるほど今は  
tane[y] ne kusu

アコン ロルンペ 我が戦いは  
a=kor\_ rorunpe

トウマシヌ プ パテク 丈夫な者ばかり  
tumasnu p patek

ウ ニシテ プ パテク 剛のものばかり  
u niste p patek

アトウイパ カトウ 切る様子に  
a=tuypa katu

アコラムシンネ 安心して  
a=koramusinne

エプ アキ コロカ いたが  
ep a=ki korka

ウセ ウタリ 普通の人びと  
use utari

ウ ネ プ ネ クス であるから  
u ne p ne kusu

アエアツタムネレ 一刀のもとに斬ったのだ。  
a=eattamnere

エアシラナ

それこそ

easirana

アリクナスイエ プ

高く振る太刀は

a=riknasuye p

ラヨチ クンネ

虹のように

rayoci kunne

アラナスイエ プ

低く振る太刀は

a=ranasuye p

ウ テレケ ヌイ ネ

跳ぶ火のように

u terke nuy ne

アヤイコカラカラ

自分でそのように

a=yaykokarkar

ウ キ ペ ネ クシ

やったので

u ki pe ne kus

タネ アナクネ

今は

tane anakne

タン インネ ウタラ

多かった人びとは

tan inne utar

モヨノ ウタラ

少數の人びと (になり)

moyono utar

アヤイトウラレ

私は身を投げ出し

a=yayturare

エアシラナ

本当に

easirana

トアンペ……

toanpe...

トアン モイモイケ プ  
toan moymoyke p

あの動いている物を

クヌカラ カネ<sup>[8]</sup>  
ku=nukar kane

私は見ながら

エネ トウシマク キ ワ  
ene tusmak ki wa

このように先を競っては

トウミ コロ シリ  
tumi kor siri

戦を行う様子には

ケオクヌレ クシ  
k=eokunure kus

驚かされるので

クヌカン ランケ  
ku=nukar\_ ranke

何度も見て

オロワノ  
orowano

それから

タパン ロルンペ  
tapan rorunpe

この戦いは

ウ ヨプケ カシバ  
u yupke kaspa

激しすぎて

ウヌイア…… ウヌヤ……  
unuia... unuya...

激しすぎて

ウ ネイ タ パクノ  
u ney ta pakno

いつまでも

イトウレン ピト  
i=turen pito

私の憑き神は

マカン ネ キ コロ  
makan ne ki kor

ある時には

タン オンネ ウタラ  
tan onne utar

この年とった人びと

ウタラ ウ クルカシ  
utar [u] kurkasi

人びとの上に

コフメランケ  
kohumeranke

音を立てて下り

コフメランケ  
kohumeranke

音を立てて下り

トウマム シリコンナ  
tumam sirkonna

胴体が

ノユニタラ  
noyunitara

ワナワナと動く。

コラムラムリキ  
koramramriki-

鱗を高く

ウ ロシキ キ コロ  
u rosiki ki kor

立てながら

ラムラム ウトウル  
ramram utur

鱗の間に

ホブニ レラ  
hopuni rera

立ち上がる風

イケムカ マウ ネ [i]kemka maw ne	血に染まった風となって
イクルカシキ i=kurkasiki	私の上に
チオランケカラ ciorankekar	降り注ぐ。
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には
ウ ウエン ヌイタプコブ u wen nuytapkop	激しい火の魂が
チホブニレ cihopunire	立つ。
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そして
タネイ アナクネ tane[y] anakne	今は
タン インネ コタン tan inne kotan	この大きな村
トウ ワイ ソシ クンネ tu wan_ sos kunne	二重の層のように
レ ワイ ソシ クンネ re wan_ sos kunne	三重の層のように
アラ ソシカム ar soskamu	幾重にも重なっていた

タン インネ コタン  
tan inne kotan

この大きな村は

ウトイ ニチチャ  
uhuy nicica

燃える杭が

チヘタラパレ  
cihetarpare

たくさん立っている (=すべて燃えた)

ウ パクノ ネ コロ  
u pakno ne kor

ほどになり

タネ アナクネ  
tane anakne

今は

エアシラナ  
easirana

本当に

モヨ ウタラボ  
moyo utarpo

少ない人びとの

キラ ヌミヒ  
kira numihi

逃げる列が

イカ ウン カネ  
ika un kane

溢れるように

ウ タメトク ヌミ  
u tametok numi

刀の前の列は

イコヤイサナ  
i=koyaysana-

私のほうへ前に

ウ サプテ キ ワ  
u sapte ki wa

進み出て

ハハハハ……

**HAHAHA...**

**【注】**

- [1] 発音はラッチアラと聞こえるが ratcitara の意味か。
- [2] nispa kanmaw / utarpa kanmaw の後には i=emaknakurrapa 「私を奥にたじろがせる」という表現が来ることが多い (『ユーカラ集 I』P418 など)。ここも同じ意味の表現か。
- [3] si-「自分」「taspa 「～を交わす (tasa の複数形)」 re 「～させる」。したがって単数形は sitasare となるが、『クトゥネシリカ』に「tu ota piripiri / asitasare 数多の砂の渦巻を / あとに残しながら」(3204～3205 行目) とあるのを参考に訳した。
- [4] 「hayok kithumi / kitunhitara 鎧のきしむ音が / きつきつ鳴り」(『アイヌの叙事詩』P525) を参考にした。
- [5] ここでは息子がひとりいることになっているが、この後の展開ではどうやら息子はふたりいることになっている。妹の話は出てこないので、この前の行の tu turesnu wa 「ふたりの妹がいて」というのは言い間違えで、tu po kor wa 「ふたりの息子がいて」と言うつもりだったのかもしれない。
- [6] 『久保寺辞典稿』に「muk e-charse 胸で水を切つてすいすとと泳ぐ. (mutke-charse)」(P161) とあるのを参考にした。
- [7] 「nep eiyokamkir ka / somoki kamuy hene 何も知りも / しない神でも」(『ユーカラ集 I』P389-390) を参考に訳した。
- [8] ここから数行は ku=で語っている。ということは物語の中の話ではなく、語り手の見ている光景を語っていると思われる。笑いながら語っていることでもそれがうかがえるが、猫でも喧嘩している様子を見て言っているのか?

## 12-4 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」途中切れ

火なしに育った、水なしに育った（途中切れ）

語り：平賀さだも

イキアン アイネイ  
iki=an aynely そうしたあげく

アコン ロルンペイ  
a=kor\_ rorunpe[y] 私の戦争で

モヨ ウタラポイ  
moyo utarpo[y] (多くの仲間が殺されて) 少ない仲間に

ネ ヒ オロ タ  
ne hi oro ta なったところで

エアシラナ  
easirana それこそ

リクンペスンクル  
Rikunpesunkur リクンペスンクルの

ウ ポ ウタリ  
u po utari 息子たちに

イトムマ カリ (?)  
i=tom \_wa kari(?) 私の体から (?)

アタムクルポキ  
a=tamkurpoki- 私が太刀を

オサウォサウ コロ osawosaw kor	抜き放つと
イタッカラ ハウェイ itakkar hawe[y]	(息子たちが) 話したことは
エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	こうだった。
「アオカ アナクネ “aoka anakne	「私たちは
ヘル トゥナネ heru tun a=ne	たった二人 (なの) で
イエランポキウェン マ i=erampokiwen w_a	私たちを哀れに思って (ください)
アウェノナハ a=wenonaha	私たちの悪い父
ウ コロ ウエン ケウトウム u kor wen kewtum	の悪い心が
ウ アナクス u an a kusu	あったせいで
インネ アウタリ inne a=utari	多くの仲間が
チコウェンテカラ cikowentekar	いためつけられ
アコロ コタヌ a=kor kotanu	私たちの村は

チコウェンテカラ  
荒らされた  
cikowentekar

アイイエカラカラ ヤッカ  
けれども  
a=i=ekarkar yakka

トウナネ ワ ポカ  
私たち二人だけでも  
tun a=ne wa poka

イシクヌレ ワ  
生かして  
i=siknure wa

イコロパレイ ャン」  
ください」  
i=korpare[y] yan”

セコロカイ ペイ  
と  
sekor okay pe[y]

エヤヨチャランケイ<sup>[1]</sup>  
弁舌を  
eyayocaranke[y]-

ウ コッパ コロカ  
振るったけれども  
u kotpa korka

トウルシ キンラ ネイ  
狂うばかりの怒りが  
turus kinra ne[y]

ア…… イコホプニ  
私には起きて  
a... i=kohopuni

「ウェイ サンペ コロ パ プ  
「悪い心を持った奴  
“wen\_ sampe kor pa p

イトウイパ プ ウイペ  
私を斬ろうとした奴の子供  
i=tuypa p uype

- イロンヌ プ ウイペ  
i=ronnu p uype 私を殺そうとした奴の子供が
- ヘル トウプ ネ ヤッカ  
heru tup ne yakka たった二人だけであっても
- ヤイ…… イネフイ モシリ  
yay... inehuy mosir どこの国で
- チエイニスッカラ  
ce[y]nisukkar 私を頼みに
- アイエカラカラ クニ  
a=i=ekarkar kuni するべく
- コハウコロ ハウェ (?)  
kohawkor hawe(?) 口をきいて
- オカ ヤ?」 セコロ  
oka ya?" sekor いるのか?』と
- ヤイヌアン ヒケ  
yaynu=an hike 思って
- トウプ ネ……  
tup ne... トウプ ネ……
- トウン ネ オッカイボ  
tun ne okkaypo 二人の若者を
- アエウコライエ  
a=eukoraye 一緒にして
- アエアツタムネレ  
a=eattamnere ただ一太刀で斬り

ムトッネレ（？） mutotnere(?)	一刀で斬ると（？） （死体が）散乱したのは
アウサチャラパ a=usacarpa	いつものとおりである。
イセムラムセコロ isemramsekor	なんとまあ
イネイロクペクス ine[y]rokpeku	怒った神 <sup>[2]</sup> の
イルシカ ピト iruska pito	魂（すなわち）
イノトウ オロケ inotu orke	二つの装束した神
トウ シユク カムイ tu siyuk kamuy	三つの装束した神は
レ シユク カムイ re siyuk kamuy	東には
ウ シチュプネ ヒ <sup>[3]</sup> u sicupne hi	音をたてられず
ウ フムニウケシテ u humniwkest	西に
ウ シチュッポク ネ ヒ u sicuppok ne hi	音を立てて行った。
コフムパイエレ kohumpayere	

ウ パクノ ネイ コロ	それから
u pakno ne[y] kor	
エアシラナ	それこそ
easirana	
アチャシトウシテッカ	私がじっと立ち尽くして
a=castustekka	
ヤイヌアン フミ	考えたことは
yaynu=an humi	
ロルンペ ネ クス	戦だから
rorunpe ne kusu	
トゥムンチ ネ クス	戦いだから
tumunci ne kusu	
アトウイパ コロカ	私は斬ってきたが
a=tuypa korka	
アエヤヤシスムコ	後悔する感じが、
a=eyayasis h_um ko	
イヌヌカシキ	気の毒にも
inunukaski	
エネイ ポ ヘ タブ	あれほどまでにも
ene[y] po he tap	
ウ ヤイキラレ	一目散に逃げる
u yaykirare	
シリ オカ ロク ペイ	様子であったものを
siri oka rok pe[y]	

アトウイパ カトウ  
a=tuypa katu

ヤヤシシ ケウトウム  
yayasis kewtum

アヤイコロパレ  
a=yaykorpare

アナッキコロカ  
anakkikorka

アチャシトウシテッカ  
a=castustekka

ヘル クワンノ  
heru kuwanno

ランケペシウンクル  
Rankepes'unkur

ウムレク ウタラ  
umurek utar

シネ マッネボ<sup>9</sup>  
sine matnepo

エレンネ キ ワ  
erenne ki wa

ウ シクヌ コトム  
u siknu kotom

アネサンニヨ  
an=esanniyo

ウ パクノ ネ コロ  
u pakno ne kor それから

アトウイ ソ クルカ  
atuy so kurka 海の上を

アネホプニ  
an=ehopuni 飛んで

アトウイ トモトウイエ  
atuy tomotuye 海を横切って

ウ アラパアン フミ  
u arpa=an humi 行く音は

アイキサラストウ<sup>[4]</sup>  
a=ekisarsutu- 耳元で

ウ マウクルル  
u mawkururu 風がうなる。

イネフナクン  
inehunak un (やがて) どこかへ

アラパヤン フミ  
arpa=[y]an humi 着いたの

ウ ネ ナンコラ  
u ne nankor \_ya だろうか。

ウ キ ロク アワ  
u ki rok awa そうすると

アトウイ ソ カタ  
atuy so ka ta 海の上に

ポン イタオマチビ  
pon itaomacip[i]

小さい板つき舟

ウ ネイ ワ ネ ャ  
u ne[y] wa ne ya

であるのかが

チシブスレイ  
cisipusure[y]

浮いていて

ウ ポン メノコ  
u pon menoko

若い女が

チボ シリ コンナ  
cipō sir konna

舟に乗る様子は

コメウナタラ  
komewnatarā

立派である。

イタッカラ ハウェイ  
itakkar hawe[y]

(その女が) 話すことは

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

こうだった。

「コニンカラ クス  
“koninkar kusu

「さてさて

ウ ポイヤウンペ  
u Poyyaunpe

ポイヤウンペよ、

イタカン チキ  
itak=an ciki

私が話すから

ウ ピリカ ヌ ャン。  
u pirka nu yan.

よく聞いてください。

エパコロ…… 私の……  
ep a=kor...

## 【注】

- [1] eyayocarankekotpa は e- 「～について」 yayocarankekote 「一人で一生懸命談判する」 (『沙流方言辞典』) の複数形。
- [2] 「怒った神」とは主人公に殺された2人(の魂)のこと。以下の「装束した神」も同様。
- [3] u sicupne hi のように聞こえるが sicupkane hi 「東のほう」の意味か。yukar では死んだのちに東に飛ぶ魂は生き返る頃ができるが、西に飛ぶ魂は生き返ることができないという。
- [4] a=ekisarsutu はエの発音が弱化して「アイキサラストウ」と発音されている。

### 13-1 ユカラ11号、12号と続いていること説明

解説：萱野茂

萱野：えーと、じゅう一……この、11号の、テープの53分から始まった yukar  
〔英雄叙事詩〕が12号終わって今13号へ入ります。

## 13-2 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

イトウレン ピト  
i=turen pito 私に憑いている神

イトウレン カムイ  
i=turen kamuy 私の憑神が

エアシラナ  
easirana それこそ

アシリキンネ  
asirkinne 新たに

イネフイ モシリ  
inehuy mosir どこの国か

イネフイ コタン  
inehuy kotan どこの村かに

イヨウルラ クス  
i[y]=o[w]rura kusu 私を運ぶために

アトウイ トモトウイエ  
atuy tomotuye 海を横切って

タパン カムイマウ  
tapan kamuymaw 神風の

ウ ユプケ ヒケ 激しいもの  
u yupke hike

タン マウェトコ その風の先に  
tan maw etoko

アニイエコシネ 私が軽々と  
an=i[y]=ekosne-

ウ スイパ カネ ゆすぶられながら  
u suypa kane

アラパアン フム コ 行く音が  
arpa=an hum ko

コクルラッキ 切れ切れに聞こえる。  
kokururatki

インカラソ ヒケイ 見ると  
inkar=an hike[y]

ウ ヤイラム おそらく  
u yayramu

ランケペスンマツ<sup>[1]</sup> ランケペスンマツに  
Rankepesunmat

イトウラ コトム 連れられたように  
i=tura kotom

アネイサンニヨ 思った。  
an=e[y]sanniyo

パイエアン アイネ 行くうちに  
paye=an ayne

インカラニ シリ  
inkar=an siri

ネウン ネ シリ  
neun ne siri

アトウイ ソ カ タ  
atuy so ka ta

ア リッタ オマ プ  
[a] rir\_ta oma p

ウ ネイ ワ ネイ ヤ  
u ne[y] wa ne[y] ya

チシプスレイ  
cisipusure[y]

メノコ アイヌ  
menoko aynu

チボ シリ コンナ  
cipa sir konna

コラママッキ  
koramamatki

ウ クルカシケイ  
u kurkasike[y]

イタコ ハウェイ  
itako hawe[y]

エネ オカ ヒ  
ene oka hi

見ると

どうしたことか

海の上に

潮の中にいたの

だか

急にあらわれた

人間の女が

舟に乗って

まっすぐ進み

ながら

言ったことは

こうだった。

「コニンカラ クス  
“koninkar kusu

ウ ポイヤウンペ  
u Poyyaunpe

イタカン チキ  
itak=an ciki

ウ ピリカ ヌ ャン。  
u pirka nu yan.

ア…… エパコロ ユビ<sup>°</sup>  
a... ep a=kor yupi

アトウイ コロ カムイ  
atuy kor kamuy

ウ レコロ カトウ  
u rekor katu

エネ オカ ヒ  
ene oka hi

アトウイカンラリ<sup>[2]</sup>  
Atuykanrari

ウ リリカンラリ  
u Rirkannerari

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

ウ ネ ルウェ ネ。  
u ne ruwe ne.

「さてさて

ポイヤウンペよ、

私が話すから

よくお聞きなさい。

私の兄（である）

海の神の

その名は

こうなのです。

アトウイカンラリ

リリカンラリ（という）

神なる人

なのです。

リクンペスンクル  
Rikunpesunkur

ウ ノミ カムイ  
u nomi kamuy

ウ ネ ワ シラン  
u ne wa siran

ウ キ ア コロカ  
u ki a korka

エコン ロルンペ  
e=kor\_ rorunpe

エコロ ウエンブリ  
e=kor wenpuri

リクンペシ コタン  
Rikunpes kotan

エロンヌ ワ オケレイ  
e=ronnu wa okere[y]

エフイカ ワ オケレイ<sup>[3]</sup>  
e=huyka wa okere[y]

ウ ネイワアンペ  
u ne[y]waanpe

エパコン ロ……  
ep a=kor\_ ro...

エパコロ ユビ<sup>°</sup>  
ep a=kor yupi

ウタロロケイヘ  
utarorke[y]he

ヤユタラケムヌ  
yayutarkemnu

ウキワクス  
u ki wa kusu

『ウケケヘイタク  
‘u keke he[y]tak

ウパクラメトク  
upak rametok

タパンテワノ  
tapan te wano

ウラメトク  
u rametok

ウワンテクニプ  
uwante kuni p

ネナンコンナン』  
ne nankor\_na[n]'

セコロカイペ  
sekor okay pe

イエウテッカラ  
i=eutekkar

ウエカンシリ  
u ek=an siri

たちは

自分の仲間たちを可哀想に

思ったので

『さあ、いざいざ

(自分に) 匹敵する勇者 (ポイヤウンペ) よ、

今から

度胸を

比べよう

ではないか』<sup>[4]</sup>

ということを

言うために使者として

私は来たの

ネ ヒ タパン ナ」  
ne hi tapan na”

ですよ」

セコロカイ ペ  
sekor okay pe

ということを

ウ タ イエ ヒケ  
u ta ye hike

言い立てるが

ウ ウェン キンラ ネ  
u wen kinra ne

ひどい怒りが

イコホプニ  
i=kohopuni

私には起きて

「アトウイカンラリ  
“Atuykanrari

「アトウイカンラリ

ウ リリカンラリ  
u Rirkanrari

リリカンラリ

カムイカンラリ<sup>[5]</sup>  
Kamuykanrari

カムイカンラリは

シパセ カムイ  
sipase kamuy

重い神

カムイ ラメイトク  
kamuy rame[y]tok

立派な勇者

ウ ネイ ワ オラ  
u ne[y] wa ora

であって、そして

アイヌ アネ ワ  
aynu a=ne wa

私は人間で（あるのに）

チシコメイウェ  
cisikome[y]we

イエカラカラ ハウェイ  
i=ekarkar hawe[y]

オカ ヤ？」 セコロ  
oka ya?” sekor

ヤイヌアン ヒケ  
yaynu=an hike

トウルシ キンラ ネ  
turus kinra ne

イコホブニ  
i=kohopuni

タパンペ クス  
tapanpe kusu

ネア メノコ  
nea menoko

ウ ユプケ タムクル  
u yupke tamkur

アコテレケレ コロ  
a=koterkere kor

オアラリサム  
oararisam

エアシラナ  
easirana

挑発を

されたということ

なのか？」と

私は思うと

狂うほどの怒りが

起こった。

そこで

その女に

激しい太刀を

振り飛ばすと

(女の影も形も) まったくなくなった。

それこそ

ウ シリキ シリ u sirkı siri	その有り様が
アトウイ ソ クルカ atuy so kurka	海の上が
コヤイカラ シリ koyaykar siri	変わる様子は
エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	こうだ。
タパン ルヤンペ tapan ruyanpe	嵐が
チリキブニ cirikipuni	巻き起こり
アトウイ ルヤンペイ atuy ruyanpe[y]	海の嵐で
ウ リリ シクマ u rir sikuma	波の峰や
ルウェ シクマ ruwe sikuma	太い (?) 峰、
サ…… サ ウイ シクマ sa... sa un_ sikuma	手前の峰や
マクイ シクマ mak un_ sikuma	奥の峰が
チシブシパレ cisipuspare	浮かび上がる

ウ セムコラチ  
u semkoraci かのごとく、

ウ ポクナ アトウイ  
u pokna atuy 下の海は

ヘ チカンナレ  
[he] cikannare 上になり

ウ カンナ アトウイ  
u kanna atuy 上の海は

ア ポクナレ コトム  
[a] poknare kotom 下になるかのようだ。

ウ リン ルヤンペ  
u rir\_ ruyanpe 波の嵐に

コヤイカラ シリ  
koyaykar siri 変わる様子

オカ ワ ネイ クシ  
oka wa ne[y] kus であるので

エフイネ パクノ  
ehuyne pakno どれほど

ウ ユプケ タムクル  
u yupke tamkur 激しい太刀を

アエヤイコトウイマ  
a=eyaykotuyma- 遠くまで

シカイエ カネ  
sikaye kane 閃かせ

アナッキコロカ ても  
anakkikorka

アトウイ ネ クス 海だから  
atuy ne kusu

アトウイパ ポカ 斬ることも  
a=tuypa poka

オアレアイカブ まったくできない。  
oar eaykap

ワッカ ネ クス 水だから  
wakka ne kusu

アトウイパ ポカ 斬ることも  
a=tuypa poka

オアレカイカブ まったくできない。  
oar ekaykap

イヤイライパレ (?) 私に寄り添って (?)  
i=yayraypare(?)

イセムラムセコロ 例のとおり  
isemramsekor

イトウレン カムイ 私の憑神 (すなわち)  
i=turen kamuy

イルシカ カシパ プ 怒りすぎているものが  
iruska kaspa p

アトウイ ソ クルカ 海の上で  
atuy so kurka

タパン カムイマウ  
tapan kamuymaw 神風を

チラナランケ  
ciranaranke 吹き下ろし

ウ リリ シクマ  
u rir sikuma 波の峰に

カムイマウ アニ  
kamuymaw ani 神風を

クペウ ア……  
kupeu a...

ウ トモシマ コロ  
u tom osma kor ぶつけると

カムイ ヌプリ  
kamuy nupuri 神の山

ルプネ ヌプリ  
rupne nupuri 大きな山が

チシブシパレ  
cisipuspare 急にあらわれた

ウ セムコラチ  
u semkoraci かのようで

アトウイ ソ カ タ  
atuy so ka ta 海の上に

ルプネ ヌプリ  
rupne nupuri 大きな山が

ウエシカイエ 輝く  
uesikaye

ウ セムコラチ かのよう  
u semkoraci

ウ ネ ワ ネ コロ であって  
u ne wa ne kor

エフィネ パクノ どれほど  
ehuyne pakno

アラムコパシティ プ 私の刀で  
a=ramkopaste[y] p

エアシラナ それこそ  
easirana

アエテンポクコンナ 私の手元が  
a=etempokkonna-

シカイエ コロカ 輝いても  
sikaye korka

エイオカ クニ プ そこにあるべきものは  
e[y]oka kuni p

ウ ネ プ カ イ サム 何もない。  
u nep ka isam

ウカットウイマノ しばらくして  
ukkatuymano

インカラニ シリ 見ると  
inkar=an siri

カネ コソンテ  
kane kosonte 黄金の小袖に

トウ リリ シクマ  
tu rir sikuma 二つの波の峰

トウ ワン シクマ  
tu wan sikuma 二十の峰が

アエヌイパカラ ペ  
a=enuypakar pe 刺繡されたもの（という）

カネ コソンテ  
kane kosonte 黄金の小袖を

ウ ヤイネナイネ  
u yaynenayne (上から下まで) そろいで

エシピネ クル  
esipine kur 身にまとった人間が

ウ カンチ パク ペ  
u kanci pak pe 梔ほどのもの（=太刀）を

エアシラナ  
easirana それこそ

イコパクサマ  
i=kopaksama 私のほうへ

エスイパ キ コロ  
esuypa ki kor 振りながら

タパンペ レコロ  
tapanpe rekoro これこそ世にいう

イメル タク ネ  
imeru tak ne

イクルカシケ  
i=kurkasike

チオランケカラ  
ciorankekar

ウ リリ シクマ  
u rir sikuma

ウエシノイエ  
uesinoye

ウエイホプンパ  
ue[y]hopunpa

アトウイパ ポカ  
a=tuypa poka

オアレアイカブ  
oar eaykap

ウェン マ ネ クス  
wen w\_a ne kusu

カムイ アワンキ  
kamuy awanki

アサナサンケ  
a=sanasanke

ウ フシコトイ ワ  
u huskotoy wa

ウ ネワアンペ  
u newaanpe

アエウコトウイマ  
a=eukotuyma-

シアリキキ  
siarikiki

アナッキコロカ  
anakkikorka

アトウイパ カトウ  
a=tuypa katu

アネランペウテイク  
an=erampewte[i]k

アコイキ カトウ  
a=koyki katu

アネランペウテイク  
an=erampewte[i]k

ウ ネ ラポキ  
u ne rapoki

イタオマチブ  
itaomacip

ウ オ メノコ  
u o menoko

ウ ミナ ハウ コ  
u mina haw ko

それを

一生懸命

斬ろうとした

けれども

斬れた様子は

なく、

捕まえた様子も

ない。

そうしている間に

板つきの舟に

乗った女が

笑う声は

コトウスサッキ kotususatki	(笑いすぎて) 震えて
コテセサッキ kotesesatki	苦しむほどで
「ウ ポイヤウンペ “u Poyyaunpe	「ポイヤウンペよ、
エコン ラメトク e=kor_ rametok	お前の勇名は
カムイ カスノ kamuy kasuno	神以上に
カムイ オロ パクノ kamuy or pakno	神のところまで
エアスルアシ e=asuruas	噂が立つの
エキ ロク アワ e=ki rok awa	だったが
エパコロ ユビ <sup>o</sup> ep a=kor yupi	私の兄の
カムイカンラリ Kamuykanrari	カムイカンラリ
ウ リリカンラリ u Rirkanrari	リリカンラリ
アトウイカンラリ Atuykanrari	アトウイカンラリという

カムイ ラメトク kamuy rametok	神なる勇者と（お前とは）
ウパク ラメトク upak rametok	同等の勇者で
エチネ ア ヒネ eci=ne a hine	あって、
イナン クル シノ inan kur sino	どっちが、本当に
ホシキ アトイバ hoski a=tuypa	先に斬られる
ウ キ クシタプネ u ki kus tapne	ことに
ウシリキ ナンコロ u sirkı nankor	なるだろう。
カムイカンラリ Kamuykanrari	カムイカンラリ
エパコロ ユビ <sup>°</sup> ep a=kor yupi	兄さんは
ルイノ シモイエ ruyno simoye	激しく働く。
オロワウイ スイ orowaun_ suy	そうしたら
ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペ

ウ ピリカ…… カムイ ラメトク	神なる勇者よ
u pirka... kamuy rametok	
シカスレ ～[6] (?)	(誰かに) 助けてもらって (?)
sikasure pe(?)	
ルイノ モイモイケ	お前は激しく働く
ruyno moymoyke	
エエアイカプ シリ	ことができない
e=eaykap siri	
ネ ヒ ヘ タパン?」	だろうね?」
ne hi he tapan?"	
セコロカイ ペイ	ということを
sekor okay pe[y]	
ウエコホビ (?)	私から離れながら (?)
uekohopi(?)	
イコオロスッケ	私を挑発した
i=koorsutke	
アナッキコロカ	けれど
anakkikorka	
アトウイカンラリ	アトウイカンラリという
Atuykanrari	
カムイ ラメトク	神なる勇者は
kamuy rametok	
アトウイパ ポカ	私がただ斬るだけ (もできない)
a=tuypa poka	

- ウ ペ ネ クス 者なので  
u pe ne kusu
- アトウイエ クスン 私が（アトウイカンラリを）斬り倒すためには  
a=tuye kusun
- アトウイパ クニ プ ネ (ただ) 斬るべきでは  
a=tuypa kuni p ne
- ソモ ネ ナンコロ ないだろう。  
somo ne nankor
- ウェン マ ネ クス (ただ斬るだけでは) 駄目なので  
wen w\_a ne kusu
- カネ アワニキ 黄金の扇を  
kane awanki
- アサナサンケ 私が取り出して  
a=sanasanke
- ウ ウェン ヌイ ノカ 激しい炎の面を  
u wen nuy noka
- アシリパル コロ 向けて仰ぐと  
a=sirparu kor
- アトウイ ソ カ タ 海の上に  
atuy so ka ta
- ウ ウェン ヌイ パナ 激しい火の粉が  
u wen nuy pana
- ウエホブニ 舞い飛ぶ  
uehopuni

アナッキコロカ けれども  
anakkikorka

ウ ヌイ ネ クスン 炎だから  
u nuy ne kusun

ワッカ ネ クス 水だから  
wakka ne kusu

ウフィ ウシケヘ 燃えたところが  
uhuy uskehe

ウシ ワ パイエ ナ 消えて行ってしまう。  
us wa paye na

アエコッ ポカイキ 殺すことも  
a=ekot pokayki

ウ アエアイカプ (?) [7] できない。  
u a=eaykap(?)

タヌシコトイ ワ 長いこと  
tan h\_uskotoy wa

エアシラナ それこそ  
easirana

アタム カ コンナ 私の刀も  
a=tam ka konna

シカイエ コロカ 閃かせるけれど  
sikaye korka

タメオク クニ プ 刀が当たりそうには  
tameok kuni p

オアラ ソモ ネ  
oar somo ne

ウェン マ ネ クス  
wen w\_a ne kusu

カムイ アワンキ  
kamuy awanki

ヌプル アワンキ  
nupur awanki

ウ ルバ……  
u rupa...

ルプシ コンルフ  
rupus konruhu

イロンネ コンル  
ironne konru

チエヌイエイカラ  
cienuye[y]kar

アエカラカラ ウシケイ  
a=ekarkar uske[y]

チコイタッカラ  
cikoitakkar

アエカラカラ ハウエ  
a=ekarkar hawe

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

まったくない。

埒があかないで

神なる扇で

巫力の強い扇の

凍った氷や

厚い氷が

描かれた

ところに向かって

私が話す

ことは

このようだ。

「タパン ハヨクペ “tapan hayokpe	「この武具を
ウ ネプ ピトホ u nep pitoho	どんな神が
イエカシヌカラ i=ekasinukar	私に授けてくれたの
ネ ワ ネ ヤッカ ne wa ne yakka	であっても
タパン ロルンペ tapan rorunpe	この戦いは
ワッカ ネ クス wakka ne kusu	水なので
アウフィカ ヤッカ a=uhuyka yakka	私は燃やしても
アヤニウケシティ a=yayniwkestel[y]	(燃やすことが) できず、
アトウイパ ポカ a=tuypa poka	斬ることさえも
アニウケシ キ ナ。 a=niwkes ki na.	できないのですよ。
ネウン ポカ ネイ ワ neun poka ne[y] wa	どうにかして
アトウイカンラリ Atuykanrari	アトウイカンラリ

カムイカンラリ  
Kamuykanrari

シリコラリ ワ  
sirkorari wa

イコロパレ ヤン」  
i=korpare yan”

イタカン キ コロ  
itak=an ki kor

トウ コンル ノカ  
tu konru noka

ウ ウエン メ ニシ ノカ  
u wen me nis noka

アエシリパル コロ  
a=esirparu kor

アトウイ ネ ロキ  
atuy ne rok h\_i

トウ ウエン シクマ  
tu wen sikuma

チシブシパレ  
cisipuspare

ウ キ ウシケ カ  
u ki uske ka

アシリコララバ  
a=sirkorarpa

ルプシ ワ パイエ  
rupus wa paye

イロンネ コンル  
ironne konru

チシトウルパレ  
cisisitupare

ウ コンル カ タ  
u konru ka ta

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

ウカットウイマノ  
ukattuymano

「ウサイネ カ タブ  
“usayne ka tap

ウ ポイヤウンペイ  
u Poyyaunpe[y]

エカッコロ シリ  
e=katkor siri

アオヤネネイ ナ。  
a=oyanene[y] na.

ウ ネイ ワノ スイ  
u ney wano suy

ウ ネブ ピトホ  
u nep pitoh

チエカシヌカラ  
ciekasinukar お前が（扇を）授けて

エエカラカラ ペ  
e=ekarkar pe もらった

ウ ネ ロク クス  
u ne rok kusu ために、

エフィネ パクノ  
ehuyne pakno いくら

カムイカンラリ  
Kamuykanrari カムイカンラリ

ウ リリカンラリ  
u Rirkanrari リリカンラリという

アネ ア コロカ  
a=ne a korka 私であっても

タネイ アナクネ  
tane[y] anakne 今は

アトウイ ルプシ ヤクン  
atuy rupus yakun 海が凍ったら

シプス ポカ  
sipusu poka 私は浮かび上がることさえ

アヤイニウケシテ  
a=yayniwkest できなく

キ ワ ネ ヤクン  
ki wa ne yakun なって

エアシラナ easirana	それこそ
カムイ オロ ワノ kamuy or wano	神のところから (授かった)
エタムラポキ e=tamrapoki	お前の刀を
アオシマ ヤクン a=osma yakun	私が受けたら
シエミナヤラ sieminayar	私は笑われる
アイイエカラカラ コロカ a=i=ekarkar korka	けれども
アシヌマ アナク asinuma anak	私は
ウ ネイ タ パクノ u ney ta pakno	いつまでも
エコロ アワンキ e=kor awanki	お前の扇で
ルプサン クニ rupus=an kuni	凍りなど
ソモ タパン ナ。 somo tapan na.	しないのだよ。
タパン ウヌカラ tapan unukar	(だから) こうして顔を合わせているのは

シノトウヌカラ 戯れに会っている  
sinot unukar

ネ ルウエ タパン。 のだよ。  
ne ruwe tapan.

ウ エイタサ あまりにも  
u eytasa

タンパ…… イマカケ タ この後は  
tanpa... imakake ta

アコン ロルンペ 我々の戦争の  
a=kor\_ rorunpe

クシネ ナムネ ために  
kusne namne

エコロ コタヌ お前の村に  
e=kor kotanu

エコオアン (戦いが) 寄せてくる  
e=kooan

ウ キ クニヒ ように (したいと)  
u ki kunihi

エラム クス 思っているために  
e=ramu kusu

エカッコロ シリ お前はそのように振る舞って  
e=katkor siri

エキ ヘ タパン?」 いるのか?」  
e=ki he tapan?"

セコロカイ ペ  
sekor okay pe

ウ タ イ エ コロカ  
u ta ye korka

イセムラムセイコロ  
isemramse[y]kor

アコロ アワンキ  
a=kor awanki

タン……  
tan...

(電話がなったため一時中断)

(萱野：はい、ピリカ)  
(萱野：はい、pirka)

タパン ウヌカラ  
tapan unukar

シノトウヌカラ  
sinot unukar

シノトウコイキ  
sinot ukoyki

ネ ヒ タパン ナ。  
ne hi tapan na.

タンペ イマカケ タ  
tanpe imakake ta

ということを

言い立てたが

例のごとく

私の扇を

こうして顔を合わせているのは

遊びの会見

遊びの戦い

なのだよ。

この後で

ウヌカラ ナ (本当の戦いをするために) 会うよ。  
unukar na

ウ ソネ ウサ 本当に  
u sone usa

エコタノロケ お前の村のところに  
e=kotan orke

ウ オマ クニ (戦争が) 来ると  
u oma kuni

エラム クス お前が思っているために  
e=ramu kusu

エカッコロ シリ お前が振る舞っている様子は  
e=katkor siri

アオヤネネ ナ」 気に食わないね」  
a=oyanene na”

セコロカイ ぺ ということを  
sekor okay pe

ウカットウイマノ 遠くの方から  
ukattuymano

ウ コンル カ タ 氷の上で  
u konru ka ta

カネ コソンテイ 黄金の小袖の  
kane kosonte[y]

カムイカンラリ カムイカンラリが  
Kamuykanrari

イタク クッチャマ 話す声は  
itak kutcama

ウエイトウヌイセ 滔々としている  
ue[y]tunuyse

アナッキコロカ けれども  
anakkikorka

アロカムキンノ わざと  
arokamkinno

アキ プ ネ クス 私はしたことは  
a=ki p ne kusu

ウェン メ ニシ ノカ ひどく寒い雲の模様  
wen me nis noka

ウ コンル ノカ 氷の模様を向けて  
u konru noka

アエシリパラパル 扇ぎ扇ぎ  
a=esirparparu

ウ キ プ ネ クス したので  
u ki p ne kusu

アトウイ クルカ ネ (?) 海の上が  
atuy kurka ne(?)

ルpus シ ワ パイエ 凍つていって  
rupus wa paye

ウ キ ロク アイネイ そうしたあげく  
u ki rok ayne[y]

タネ ネ クスン  
tane ne kusun

リリ…… エ…… トウ リリ シクマ 二つの波の峰が  
rir... e... tu rir sikuma

チホブンパレイ  
cihopunpare[y]

オアラ ソモ キ<sup>[8]</sup>  
oar somo ki

ウ パクノ ネコロ  
u pakno nekor

アタムラメチウ<sup>[9]</sup>  
a=tamrameciw

アコロ ウコイキ  
a=kor ukoyki

アイラムア…… アコンラム コンナ 思いが  
aeram'a... a=ekonramu konna

エサッカオシマ  
esakkaosma

ウ カンナ ルイノ  
u kanna ruyno

イネフイ モシリ  
inehuy mosir

イネフイ コタン  
inehuy kotan

アイヨルラ フミ a=i[y]=orura humi	運ばれるの
ウ ネイ ナンコラ u ne[y] nankor y_a	だろうか。
インネ…… inne...	
ウ ネプ ピトホ u nep pitoho	どんな神が
イトウレン クス i=turen kusu	私に憑いているために (なのか)
イトウレン カムイ i=turen kamuy	私の憑き神の
カムイマウェヘ kamuymawehe	神風の、
エアシラナ easirana	それこそ
ユプケ カムイマウ yupke kamuymaw	激しい神風の
ユプケ ヒケヘ yupke hikehe	激しいほうの
カムイマウ エトク kamuymaw etok	神風の先に
アイエコシネクル a=i=ekosnekur-	軽々と

ホブンパ カネ 持ち上げられて  
hopunpa kane

イネフナクン どこかへ  
inehunak un

アラパヤン フミ 私が行く感じは  
arpa=[y]an humi

アエキサラストウ 耳元で  
a=ekisarsutu-

コマウクルル 風が巻き上がる。  
komawkururu

ウ キ ロク アイネ そうしたあげく  
u ki rok ayne

インカラソルウェ (到着した場所を) 見ると  
inkar=an ruwe

タネイボ ソンノ 今こそ本当に  
tane[y]po sonno

アエラミシカリ わからない  
a=eramiskari

イキ コロカイキ けれど  
iki korkayki

アイウタ……  
ayuta..

アトウイヤ コタン<sup>[10]</sup> アトウイヤ村で  
Atuyya kotan

アアラコトムカ あるらしい。  
a=arkotomka

エアシラナ それこそ  
easirana

アシリキンネ 新たに  
asirkinne

タニンネ コタン にぎわった村で  
tan inne kotan

アイエ ロク クニ (世に) 言われるよう  
a=ye rok kuni

アトウイヤ セコロ アトウイヤと  
Atuuya sekor

アレイコ ウシケ 名づけられたところ  
a=re[y]ko uske

アアラコトムカ であるらしい。  
a=arkotomka

アヌカリケ (そこを) 見て  
a=nukar h\_ike

イタカン ハウェ 私が言ったことは  
itak=an hawe

エネ オカ ヒ こうだ。  
ene oka hi

「イトウレン ピト 「私に憑いてる神よ、  
“i=turen pito

チコフンモレ  
cikohummore 音を沈めて

イコロパレ ヤン。  
i=korpore yan. ください。

ウ ニシパ ロキ  
u nispa rok h\_i 首領たちがいるところを

アヌカン ルスイ  
a=nukar\_rusuy 私は見たい（ので）、

エヌネ キ ナ」  
enune ki na” そうしてください」

イタカン アワ  
itak=an awa （と）私が言うと

ウ アイヌ クスン  
u aynu kusu (神なのに)人間であるからこそ

ウイタクヌ  
uitaknu 言うことを聞いてくれる（ほど言うことを聞いて）

イトウレン カムイ  
i=turen kamuy 私の憑き神

カムイ オマレ  
kamuy omare その神が入った

ウ ニシ カンニシ  
u nis kannis 雲が（？）

オパイエ カネ  
opaye kane 行ってしまうと

カソカケヘ	そのすぐ後には
kasokakehe	
コチャッコサンパ	さっと晴れた。
kocakkosanpa	
イセムラムセイコロ	例のごとく
isemramse[y]kor	
オマウサク レイラ	音なしの風
omawsak re[y]ra	
オニッサクレラ	雲なしの風を
onissakrera	
アシトウラレ	私は伴って
a=siturare	
アトウイヤ コタン	アトウイヤ村に
Atuuya kotan	
パイエアン（？）ルウェ ネ。	行った。
paye=an(?) ruwe ne.	
イネロクペクス	なんとまあ
inerokpekusu	
ウタリ インネ プ	仲間が多い者
utari inne p	
チエソネイレ	と思しく
ciesone[y]re	
タニンネ コタン	人数が多い村の
tan inne kotan	

コタン ケセヘ  
kotan kesehe 村の下端は

チルルコサンケ  
cirurkosanke 海に差し出て

コタン パケヘ  
kotan pakehe 村の上端は

チニタイコクル  
cinitaykokur- 林のほうに

ウ ポイパ カネ  
u poypa kane 混ざっている（ほど村が大きい）

ウ シラン ヒケ  
u siran hike 様子だが

ウ オホラク ポン プ（？）  
u ohorak pon pu(?) 倒れた小さい倉が（？）

ウ コタン ノシキケ  
u kotan nosikike 村の中央には

モシリ パク チャシ  
mosir pak casi 島ほどの（大きさの）山城

カムイ カッ チャシ  
kamuy kar\_ casi 神造りの山城が

チシレアヌ  
cisireanu 建っている

ウ シラン チキ  
u siran ciki 様子だから

コパッケ サマ その方を  
kopakke sama

アオイラムネイレ 目指して  
a=oiramne[y]re

アラパヤン ヒネ 行って  
arpa=[y]an hine

プヤロロッキ 窓にかかっているすだれの  
puyarorotki

セプカ……  
sepka...

ウ チンキ カシ 据の上を  
u cinki kasi

アコッカエイラリ 膝で押さえつけ  
a=kokkae[y]rari

ウ ペンラム カタ 胸の上を  
u penram ka ta

アモネラリ 手で押さえつけ  
a=monerari

セプカ ウトゥルン 網目の間から  
sepka utur un

アシックシレ 眺め  
a=sikkusre

ウ チャシ ウプソロ 山城の中を  
u casi upsor

アシックシパレ  
a=sikkuspare

タパニクス  
tapan h\_ikusu

インネイ イクツ  
inne[y] ikuso

イクソ パケ  
ikuso pake

イクソ ケセ  
ikuso kese

ホマリタラ  
homaritara

タパンペ レイコロ  
tapanpe re[y]kor

ウタラパ パテク  
utarpa patek

ウ ニシテプ パテク  
u nistep patek

オカ ルウェ ネ  
oka ruwe ne

シントコ オシマク  
sintoko osmak

ウ チュプカウンクル<sup>[11]</sup>  
u Cupkaunkur

覗いた。

そうしたら

多くの酒の席の

酒席の上座の端や

酒席の下座の端が

ぼんやりして見える（ほど大きい）

これこそ世に言う

勇者ばかり

強者ばかりが

いるのだ。

行器の後ろには

チュプカウンクルを

オランラニ ワ oranrani wa	座らせて
オカ ルウェ ネ。 oka ruwe ne.	いるのだ。
ウ ニシマクウンクル <sup>[12]</sup> u Nismak'unkur	ニシマクウンクル
ウ ニシポクンクル <sup>[13]</sup> u Nispokunkur	ニシポクンクル
オタヤウンクル <sup>[14]</sup> Otayaunkur	オタヤウンクル (という)
イセムラムセコロ isemramsekor	例のごとくの
ウ ニシテプ パテク u nistep patek	強者ばかり、
リクンナイウンクル <sup>[15]</sup> Rikunnay'unkur	リクンナイウンクル
リクントウンクル <sup>[16]</sup> Rikuntounkur	リクントウンクル
リクンペスンクル Rikunpesunkur	リクンペスンクル (という)
ウ ニシテプ パテク u nistep patek	強者ばかり
ウタラパ パテク utarpa patek	勇者ばかり

## 【注】

- [1] ランケペスンマツ Rankepesunmat は「ランケペシの女」の意味の登場人物名。
- [2] 「アトウイカンラリ・リリカンラリ」でひとつの固有名詞（神の名）。atuy-kan-rari / rir-kan-rari は「海の上を押さえつける／波の上を押さえつける」の意味か。
- [3] 音声は ehuyka と聞こえるが、e=uhuyka 「お前が～を燃やす」か。
- [4] 64～66 行目の直訳は「度胸を比べるべきものが私たちであるだろうよ」。
- [5] カムイカンラリ Kamuykanrari は、アトウイカンラリ・リリカンラリと同一の人物を指す名称。
- [6] 『久保寺辞典稿』(P242) に sikasure < sikasuyre 「助けて貰ふ、手伝はせる、手伝つてもらふ」とある。
- [7] この付近で聞き手数人が「憎たらしいね」などと話しており、聞き取りがやや難。
- [8] 海全体が凍ってしまったために、アトウイカンラリ・カムイカンラリは、自分で言っていたとおり、海の上に出てくることができなくなってしまったのである。
- [9] タムラメチウ tamrameciw :『神譜・聖伝の研究』に「tam ramechiu 刀を鞘に納めて」(P283) とある。
- [10] アトウイヤ Atuyya は村の名前。
- [11] チュプカウンクル Cupkaunkur は「チュプカの人」という意味の登場人物名。チュプカ cupka は地名で「東」という意味。
- [12] ニシマクウンクル (ニシマクンクル) Nismakunkur は「ニシマクの人」という意味の登場人物名。ニシマクは地名で「空の奥」という意味。
- [13] ニシポクウンクル (ニシポクンクル) Nispokunkur は「ニシポクの人」という意味の登場人物名。ニシポクは地名で「空の下」という意味。
- [14] オタヤウンクル Otyaunkur は「オタヤの人」という意味の登場人物名。オタヤ otaya は地名で「砂の浜辺」の意味か。
- [15] リクンナイウンクル Rikunnay' unkur は「リクンナイの人」という意味の登場人物名。リクンナイ rikunnay は地名で「上の沢」という意味。
- [16] リクトンウンクル Rikuntounkur は「リクトンの人」という意味の登場人物名。リクトン rikunto は地名で「上の湖」という意味。

## 13-4 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

ウタラパ パテク  
utarpa patek

ウ ニシテプ パテク  
u nistep patek

アルキリカサモロ  
arukirkasamor-

ウチウ カネイ  
uciw kane[y]

ウ シラン チキ  
u siran ciki

「ウ ネプ イモシマ  
“u nep imosma

アイエ ハウェイ カ  
a=ye hawe[y] ka

オアリサム  
oarisam

ヤウン モシリ タ  
yaun mosir\_ ta

ウ ポイヤウンペ  
u Poyyaunpe ポイヤウンペ (という)

ウェナイヌ サニ  
wen aynu sani 悪人の子孫が

シカムイネイレ  
sikamuyne[y]re 高慢になり

シピトネイレ  
sipitone[y]re 傲慢になっている

ウ キ ハウェ タブ  
u ki hawe tap のだ (と)

アコイヌ ヤクン  
a=koinu yakun 聞いて、

シネ オッカヨ  
sine okkayo (ポイヤウンペは) 一人の男

ウ ネ ワ アン ペ  
u ne wa an pe であるが

トウ ピシカン コタン  
tu piskan kotan 二つの周りの村に

オトウミヤンケ  
otumiyanke 戰争をもたらした (という)。

ソンネ ヘタブ ネ  
sonne hetap ne 本当であろうか。

リクンナイ モシリ  
Rikunnay mosir リクンナイ国

リクンソ モシリ <sup>[1]</sup>	リクンソ国
Rikunso mosir	
ウ リクンペシ コタン u Rikunpes kotan	リクンペシ村という
ウタラ オマ ヒ utar oma hi	仲間がいたところは
ウタラ トウラノ utar turano	仲間ともども
コタン ネ マヌ プ kotan ne manu p	村というものが
タネイ アナクネ tane[y] anakne	今は
ウフイ ニチチャ uhuy nicica	焼けた棒杭が
チヘイタラパレ cihe[y]tarpare	たくさん立っている（だけで焼き尽くされた）。
オロワウイ スイ orowaun_ suy	それからまた <sup>[2]</sup>
オロワウイ スイ orowaun_ suy	それからまた
オロワウイ スイ orowaun_ suy	それからまた
エアシラナ easirana	それこそ

カムイ クシナムネ 神だからこそ  
kamuy kusnamne

アトウイカンラリ アトウイカンラリ  
Atuykanrari

カムイカンラリ カムイカンラリ  
Kamuykanrari

ウ コロ ラメイトク の勇猛さに  
u kor rame[y]tok

エペットウラシ プ 匹敵する者が  
epetturasi p

ネイ タ オカ ワ どこにいたのか  
ney ta oka wa

ネイ タ オカ ワ どこにいたのか  
ney ta oka wa

イヤイノマレ 驚くべきことに  
iyaynomare

アトウイ ソ クルカ 海の上に  
atuy so kurka

ウ ポイヤウンペ ポイヤウンペ  
u Poyyaunpe

ウ コロ ロレンペ の戦争が  
u kor rorunpe

オエク カトウフ (?) やってきた様子で (?)  
oek katuhu(?)

アトウイカンラリ  
Atuykanrari

カムイカンラリ  
Kamuykanrari

ウ リリカンラリ  
u Rirkanrari

カムイ ウタラバ  
kamuy utarpa

ウタラ (?) ウコイキ  
utar(?) ukoyki

ウ キ ア コロカ  
u ki a korka

ヘマンタ オッタ (?)  
hemanta otta(?)

アトウイカンラリ  
Atuykanrari

カムイカンラリ  
Kamuykanrari

エアシラナ  
easirana

ウ ポイヤウンペ  
u Poyyaunpe

ウ タム ラボキ  
u tam rapoki

アトウイカンラリ

カムイカンラリ

リリカンラリ (という)

神なる勇士

たちが戦いを

したけれど

どうしたことか

アトウイカンラリ

カムイカンラリが

それこそ

ポイヤウンペの

刀の下に

ウ オシマ クス  
u osma kusu  
なっ（て斬られてしまつ）たので

エオッ コタヌ  
eot kotanu  
(ポイヤウンペは) 訪れるべき村を

アコトゥライヌ セコロ  
a=koturaynu sekor  
見失つてしまつたと

ウ ハワシ キ ナ。  
u hawas ki na.  
いう話だよ。

エオフヨロネ<sup>[3]</sup>  
eohuyorone  
どうしただろうか

タパン アトウイイヤ<sup>[4]</sup>  
tapan Atuyya  
このアトウイイヤ

アトウイイヤ コタン  
Atuyya kotan  
アトウイイヤ村（という）

アコロ コタヌ  
a=kor kotanu  
我らの村の

トウカリケ ワ  
tukarike wa  
手前で

ホシピ ヘ キ  
hosipi he ki  
(ポイヤウンペは) 帰ったのか。

ウ エク ヤッカイキ  
u ek yakkayki  
(ポイヤウンペが) 来ても

ウタラパ パテク  
utarpa patek  
勇者ばかり

ウ…… ウ ニシテプ パテク  
u... u nistep patek

アネイ ロキネ  
a=ne[y] rok h\_ine

シネ オッカヨ  
sine okkayo

シネ ウタラバ  
sine utarpa

シネ……  
sine...

エフイネ パクノ  
ehuyne pakno

シアスラシテ プ ネ  
siasuraste p ne

イキ ヤッカイキ  
iki yakkayki

シルンノ マシキン  
sirunno maskin

ウ タム ラポキ  
u tam rapoki

アオシマ クニ プ  
a=osma kuni p

アネ ロケ キ?」  
a=ne rok h\_e ki?"

セコロカイ ペン  
sekoro okay pe[n]

ということを

ウキレオッケ  
ukireotke

足をつつきあい

ウモネオッケ  
umoneotke

手をつつきあい（ながら）

アイヨルシペ パテク  
a=ioruspe patek

私の話ばかり（して）

モシマ パナクネ  
mosma p anakne

他のことについて

エウェネウサラ ハウェ  
ewenewsar hawe

語り合うことは

シネプ カ イサム  
sinep ka isam

ひとつもない。

ウ キ ロカイネ  
u ki rok ayne

そうしたあげく

ウ キ ロク アイネ  
u ki rok ayne

そうしたあげく

イセムラムセコロ  
isemramsekor

例のごとく

アトウイヤウンクル<sup>[5]</sup>  
Atuuyaunkur

アトウイヤウンクルが

アネ イタク キ……  
ane itak ki...

エネ イタク キ ene itak ki	こう言った。
「アトウイヤウンマッ[6] “Atuuyaunmat	「アトウイヤウンマッ（という）
アコッ トウレシ a=kor_ turesi	私の妹は
ウ テエタ ワノ u teeta wano	昔から
ウ ポンラム ワノ u ponram wano	幼いころから
ウ チトウスレ u citusure	巫術をして
キニントウスレ ヒネ kinintusure hine	つまらぬ巫術をして（いますが）
ヤイコカヌ yaykokanu	考えた末に
エネ イタキ ナ。 ene itak h_i na.	こう言うのですよ。
『タパン トノト 'tapan tonoto	『この酒
アコッ トノト a=kor_ tonoto	我々の酒の
トノト テクサム tonoto teksam	酒のそばでは

イラナッカ イサムノ  
iranakka isamno

ヌペッテク パクノ  
nupettek pakno

シラン ネ キ ヤ?  
siran ne ki ya?

ネウン ネ フミ  
neun ne humi

ウ ネ ナンコラ?  
u ne nankor y\_a?

ウ カムイ クル  
u kamuy kur

コヤイカラ フミ  
koyaykar humi

コヨヤモクテ  
koyoyamokte

エパキ キ ナ』  
ep a=ki ki na'

トウス ワ イコロパレ ャン。  
tusu wa i=korpore yan.

アパ ケセヘ  
apa kesehe

クワン オロ ワ  
kuwan or wa

ウ ヤイコカヌ u yaykokanu	よく考えて
キ ワ イコレ」 ki wa i=kore”	(巫術で) 見通しなさい」
ウ ハワサワ u hawas awa	と (アトウイヤウンクルが) 言うと
アトウイヤウンマツ Atuyyaunmat	アトウイヤウンマツは
ウ トウキ コロポク u tuki korpok	杯のもとに
エホラリ ワ ehorari wa	鎮座して
ウ リクイルケ u rikuyruke	手を高く上げ
ウ ラウイルケ u rauyruke	手を低く上げ
ク ワ オケレ ku wa okere	(酒を) 飲み干した。
ウ パクノ ネ コロ u pakno ne kor	そうすると
イセムラムセコロ isemramsekor	例のごとく
トウスノ クニ プ tusuno kuni p	巫術が強いもの

チエイソネイレ  
cie[y]sone[y]re であるらしく

トウス チャンノイエヘ ペ  
tusu cannoyeha pe 巫術の額つきを

エシルトウム タ  
esirutum ta 頭かぶりの中に

コヌイナ カネイ  
konuyna kane[y] 隠して

ムッケ トウレンペ  
mukke turenpe 姿を隠した憑き神は

カパブ サイ クンネ  
kapap say kunne コウモリの群のように

エピシカン コンナ  
episkan konna 周りに

コクルン カネイ  
kokurun kane[y] 影がさして

サラ トウレンペ[n]  
sara turenpe[n] 姿が顯わな憑き神は

ノチウ キヤイ ネ  
nociw kiyay ne 星の光のように

エキムイ カシケ  
ekimuy kaske 頭頂の上で

コテウニンパイエ  
kotewninpaye またたいている。

タパイ シノッチャ  
tapan\_ sinotca

エウタリアネ……  
eutariane...

エカムイノイエレ ヒネ  
ekamuynoyere hine

エラウンクチ  
eraunkuci-

カムイノイエレ  
kamuynoyere

ウ キ ロク アイネ  
u ki rok ayne

マカナン ネ コロ  
makanan ne kor

ウ チシシ ネ アラパ  
u cisis ne arpa

マカン ネ キ コロ  
makan ne ki kor

イルシカ ネ ヤ カ  
iruska ne ya ka

ウ キ ロク アイネ  
u ki rok ayne

トウス オルシペ  
tusu oruspe

即興歌を

美しくふるわせて

喉奥から

美しくふるわせて

歌ったあげく

ある時には

泣き出して

ある時には

怒ったり

したあげく

巫術の話を

ウ タ イ エ ハウエ  
u ta ye hawe 言いたてることは

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi こうだった。

「コニンカラ クス  
“koninkar kusu 「さてさて

アユプタリ  
a=yuputari お兄さまがた、

イタカン チキ  
itak=an ciki 私が話しますから

ウォンネレ ャン。  
uonnere yan. よく聞いてください。

ヌ ワ イコレ ャン。  
nu wa i=kore yan. 聞いてください。

ネウン ネ ルウェ  
neun ne ruwe どうしたの

ウ ネ ナンコラ  
u ne nankor \_ya でしょうか。

タパナトウイ ソ  
tapan atuy so 海面の

アトウイ ソ カ タ  
atuy so ka ta 海の上での

カムイ ロルンペ  
kamuy rorunpe 神の戦いは

ウ ユプケ アアン 激しかった  
u yupke aan

アナッキコロカ けれど  
anakkikorka

シパセ カムイ 本当に重い神は  
sipase kamuy

ネウン ネ ルウェ どうしたのか  
neun ne ruwe

アシリコラリ 地面に叩きつけられ  
a=sirkorari

オアラリサム まったくいなくなってしまいました。  
oararisam

カムイカンラリ カムイカンラリは  
Kamuykanrari

ア オアラリサム まったくいなくなってしまいました。  
a oararisam

アトウイ ソ カ ワノ 海の上に  
atuy so ka wano

カネ ケソラブ 黄金の斑紋鳥（クジャク）  
kane kesorap

カムイ ケソラブ 神の斑紋鳥（クジャク）が  
kamuy kesorap

ウ シニシ コトロ 天から  
u sinis kotor

ウ ヤイクルレ 姿を見せて  
u yaykurure

タパン アトウイヤ このアトウイヤ  
tapan Atuyya

アトウイヤ コタン アトウイヤ村を  
Atuyya kotan

ウ ヌカン ル コ 見る目つきは  
u nukar\_ru ko

コチャイナタラ 銳い  
kocaynatara

マカ…… キ ャ カ アラム (?) のかと思います。 (?)  
maka... ki ya ka a=ramu(?)

アトウイ ルツ トム クルカ 海の潮の中を  
atuy rur\_tom kurka

アシックシパレ 私が見通した  
a=sikkuspare

ウ キ ワ ネ コロ ところ、  
u ki wa ne kor

ウ レブン カムイ 沖の神の  
u repun kamuy

ウムレク カムイ 夫婦の神の  
umurek kamuy

ウ アシペ コンナ 背びれは  
u aspe konna

コペチャペチャ kopecapeca	パチャパチャと動いています。
エアシラナ easirana	それこそ
エアシラナ easirana	それこそ
ウ アイ シリ コロ (?) u ay sir kor(?)	矢の
エシコパヤラ esikopayar	よう
ウ アラキ シリ コ u arki sir ko	来る様子は
ウ ラママッキ u ramamatki	まっすぐである
キ ヤク アラム ki yak a=ramu	と思います。
コトウスユブ kotusuyupu	力一杯の巫術を
エパキ アイネ ep a=ki ayne	かけて
インカラニ ルウェ inkar=an ruwe	みますと
ソモ スイ クスン somo suy kusun	まさか

インカラニ クニ 見るとは  
inkar=an kuni

アラム アワ 思わなかつたのに  
a=ramu awa

ウ タンテボ タ たつた今ここに  
u tantepo ta

ヤウンクル ウララ 本島人の靄が  
yaunkur urar

エアシエナ……  
easienna...

エアシラナ それこそ  
easirana

オシッチウタラ 下りている  
ositciwtara

ウ アン ルウェ ネ。 のですよ。  
u an ruwe ne.

アユプタリ お兄さまがたが  
a=yuputari

エフイネ パクノ どれほど  
ehuyne pakno

ウキレオッケ 足をつつきあい  
ukireotke

ウテケオッケ 手をつつきあいを  
utekeotke

エチイキ ヤッカ  
eci=iki yakka

ルイノ モイモイケ  
ruyno moymoyke

ルイノ シチャリ  
ruyno sicari

エチキ ソモ キ ヤクン  
eci=ki somo ki yakun

タパナトウイヤ  
tapan Atuyya

エアシラナ  
easirana

シアフンチュッポク  
siahuncuppok

アコトゥライヌ  
a=koturaynu

ウ セムコラチ  
u semkoraci

インカラニ キ ナ。  
inkar=an ki na.

エアシラナ  
easirana

キマテカン ナ」  
kimatek=an na”

セコロカイ べ  
sekor okay pe

ウ チシ トウラノ  
u cis turano

ス…… トウス オルシペ  
su... tusu oruspe

ウカエビタ  
ukaepita

パクノ ネイ コロ  
pakno ne[y] kor

「タネイ アナクネ  
“tane[y] anakne

ウ アナン カトウ  
u an=an katu

アエラマナ ハウエ  
a=eraman a hawe

ネ ワ ネ チキ  
ne wa ne ciki

ウ ネイ タ パクノ  
u ney ta pakno

ウタラパ コヤイヌイナ  
utarpa koyaynuyna

エキ ワ ヘ キ？」  
e=ki wa he ki?"

ヤイヌアン クス yaynu=an kusu	(と) 私は思ったので
ハラキソ サム harkiso sam	(一度、家から離れるために) 左側を
アウレクシパレ a=urekuspare	通って
ニサプ タ パクノ (?) nisap ta pakno(?)	突然に (?)
ウ ニシテ トヨロ u niste toy or	固い土のほうを
ウ ヘキル u hekiru	振り向いて
アン カ アオサン フミ =an ka a=osan humi	私が出て行く音が
タン ポロ チャシ tan poro casi	この大きな山城の
アマン カ タ aman ka ta	梁の上で
キトウニタラ kitunitara	キッキッと音がして、
ウ アマン カ タ u aman ka ta	梁の上で
ウ テレケ フム コ u terke hum ko	跳ねる音が

コキクナタラ カンカンと鳴る。  
kokiknatara

ニシパ オピッタ 首領たちが  
nispa opitta

クス フマシ ペ そのために音がするのを  
kusu humas pe

コヨヤモクテ 不審に思っている（様子が）  
koyoyamokte

トウキタララ 高まっている  
tukitarara

オカ コトムノ ように  
oka kotomno

アネサンニヨ 私は思った。  
an=esanniyo

アロカムキンノ わざと  
arokamkinno

アキ プ ネ クス 私がしたことは  
a=ki p ne kusu

チマカ アパ 開き戸を  
cimaka apa

ウ カ トウカリ 糸のすぐ手元から  
u ka tukari

アコエトウイエ 引きちぎり  
a=koetuye

アシリオカクル  
a=siruokakur

エシタイキ ワ  
esitayki wa

ハラキソ サム マ  
harkiso sam w\_a

アウレクシパレ  
a=urekuspare

ウ ウッシウ ウタラ  
u ussiw utar

インネ ウタリ  
inne utari

ウタツ トウムフ  
utar\_tumuhu

アウレクシパレ  
a=urekuspare

タパンペ レコロ  
tapanpe rekor

アノオテレケ  
a=nooterke

ケウ ライ チェプ エトゥルセ  
kew ray cep eturse

エカンナユカラ  
ekannayukar

自分の後ろへ

投げ捨てて、

左座を

通った。

召し使いたちや

大勢の人間たちの

人々の中を

通って

これこそ世に言う

私が強く踏みつけた

死体は死んだ魚が転がり落ちる

かのようで

- タメノテレケ 刀を強く振りとばすと  
tamenoterke
- ア…… ウ チエプ テシテシケ 魚がバタバタする  
a... u cep testeske
- エカンナユカラ かのようで  
ekannayukar
- アペ エトク ネ イ 火の前 (=上座) の  
ape etok ne h\_i
- ア…… ウ タン リクナ ワ ずっと高いところに  
a... u tan rikna wa
- アチョアシロツケ コロ 私がドシンと腰を下ろして  
a=coasirotke kor
- イタカン ハウェ 話したことは  
itak=an hawe
- エネイ オカ ヒ こうだ。  
ene[y] oka hi
- 「ウコイキ クニ クル 力 「戦うべき相手でも  
“ukoyki kuni kur ka
- ウエコッ ネ (?) [?] クル 力 殺し合う相手でも  
uekot ne(?) kur ka
- ウイエ…… ウエペク ネ ナ。 お互いに食べるものですよ。  
uie... uepe[k] ne na.
- イイクレ ワ 私に呑ませて  
i=ikure wa

イコロパレ ャン」  
i=korpore yan”

ください」

イタカン アワ  
itak=an awa

(と) 私が話すと

エアシラナ  
easirana

それこそ

シポロ トウキ  
siporo tuki

大きい杯を

アトウイヤウンマツ  
Atuyyaunmat

アトウイヤウンマツが

チコヌムケカラ  
cikonumkekar

私に選んで

イエカラカラ ワ  
i=ekarkar wa

くれて

イコイオマレ ナ。  
i=koiomare na.

私に酌をしたのだよ。

アエホンケシ コンナ  
a=ehonkes konna

(そこで) 私は腹の底で

コユシタラ<sup>[8]</sup>  
koyusitara

腹を立てながら

アク コン ヌカラ (?)  
a=ku kor\_nukar(?)

呑んでみて (?)

アクコ…… アク オケレ  
akuko... a=ku okere

呑み終えた。

ウ パクノ ネ コロ  
u pakno ne kor

タン ポロ トウキ  
tan poro tuki

アパサムシペ  
apasamuspe

アコニスイエ  
a=konisuye

ウ トウプ ネ レプ ネ  
u tup ne rep ne

ウ コネネチ  
u koneneci

チウサチャリ  
ciusacari

アマッコサンパ  
a=matkosanpa

アラパアン ヒネ  
arpa=an hine

サケ サンケ ペ  
sake sanke pe

アトウイヤウンクル  
Atuyyaunkur

ポニウネ ヒケ  
poniwne hike

そして

その大きな杯を

戸柱に

私は投げ捨てると

(杯は) 二つに三つになって (=バラバラに)

粉々になって

散乱した。

私はパッと立ち上がって

行って

酒宴の主人である

アトウイヤウンクルの

年下のほうに

アウレルトウ 私は歩み寄った。  
a=ureerutu

オカケヘ ワ その後で  
okanehe wa

ウ サイシントコ ワ 前に出した行器の  
u saysintoko wa

アサム オロケヘ 底に  
asam orkehe

アテックシパレ 私は手を伸ばして  
a=tekkuspare

エシソウン マ 右座から  
esisoun w\_a

エハラキソウン マ 左座から  
eharkisoun w\_a

アエオンカミ コロ 祈りながら  
a=eonkami kor

オトウ パピロロ 二言、口の中で  
otu papiror

アコトウリカラ 祈りの言葉を述べて  
a=koturikar

エネ オカ ヒ こう言った。  
ene oka hi

「イキニ…… コニンカラ クス 「さてさて  
“ikini... koninkar kusu

トノト カムイ 酒の神よ、  
tonoto kamuy

アシヌマ タブ 私は  
asinuma tap

ポイヤウンペ セコロ ポイヤウンペと  
Poyyaunpe sekor

アイエ ア クニ プ 言われるもので  
a=ye a kuni p

アネ タブ キ ナ。 ありますよ。  
a=ne tap ki na.

ウタラ カ サク ペ 仲間がないもの  
utar ka sak pe

アパ カ サク ペ 親戚がないもので  
apa ka sak pe

アネ タブ キ ナ。 あるのですよ。  
a=ne tap ki na.

トノト カムイ 酒の神よ、  
tonoto kamuy

チテクトゥムコレ 私に腕力を  
citektumkore

チモントゥムコレ 力を  
cimontumkore

イイエカラカラ ワ つけて  
i=ekarkar wa

イコロパレ ャン」  
i=korpore yan”

ください」

セコロ オカイ ペ  
sekor okay pe

ということを

オトウ パビロロ  
otu papiror

二言、口の中で

アコトウリカラ コロ  
a=koturikar kor

祈り言葉を述べて

アク ロカイネ  
a=ku rok ayne

(酒を) 飲んだあげく

ウ サイシントコ  
u saysintoko

前に出した行器を

アク ワ オケレ  
a=ku wa okere

飲み干して

ウ チュプカウンクル  
u Cupkaunkur

チュプカウンクルの

キタイ ノシキケ  
kitay noskike

頭のてっぺんに

アイコウニシ……  
aykownis...

頭のてっぺんに

アエコニスイエ  
a=ekonisuye

(飲み終えた杯を) 投げつけ

ウ クルカシケ  
u kurkasike

ながら

アイタコマレ 話したのは  
a=itakomare

「トノト プリ 「酒の振る舞いを  
“tonoto puri

アエコカラカラ シリ 私もすることに  
a=ekokarkar siri

ネ ヒ タパン ナ」 しましよう」  
ne hi tapan na."

イタカン カネ (と) 言って  
itak=an kane

アエコニスイエ (杯を) 投げつけ  
a=ekonisuye

ウ クルカシケ ながら  
u kurkasike

アコタメタイエ 刀を振った。  
a=kotametaye

ウ ホシキノボ 真っ先に  
u hoskinopo

アトウイヤウンクル アトウイヤウンクルの  
Atuyyaunkur

ポニウネ ヒケ 年下のほうに  
poniwne hike

ウ ユプケ タムクル 激しい太刀を  
u yupke tamkur

アコテレケレ a=koterkere	振り飛ばした。
アキ ワ トゥナシ ペ a=ki wa tunas pe	素早くしたのに
アタメエトコ a=tameetoko	(アトウイヤウンクルは) 私の刀の先から
エホブニカラ ehopunikar	飛びのいた。
タボロワノ tap orowano	それから
タパンニクス tapan h_ikusu	そのために
チパトウパトウ cipatupatu	大騒ぎになり
エアシラナ easirana	それこそ
ウタラパ パテク utarpa patek	勇者ばかり
ウ ニシテプ パテク u nistep patek	強者ばかりを
アロカムキンノ arokamkinno	わざと
アヌムケ ワ a=numke wa	選んで

ウ ユプケ タムクル 私は激しい太刀を  
u yupke tamkur

アコテレケレ 振り飛ばした。 (だが)  
a=koterkere

イネイロクペクス なんとまあ  
ine[y]rokpekusu

キラ エニタン 逃げ足が速い。  
kira enitan

ル アシケ (?) 私の前に (?)  
ru a=sike(?)

アルオカケ (?) 私の後に (?)  
a=ruokake (?)

アタムクシパレ 私は太刀を振るう  
a=tamkuspare

アナッキコロカ けれども (斬れずに)  
anakkikorka

エアシラナ それはそれは  
easirana

アコンラムコンナ 私の心は  
a=konramkonna

オヤウナタラ 苛立ってきて  
oyaunatara

「ウタラ カ サク ペ 「仲間もいない者  
“utar ka sak pe

アパ カ サク ペ  
apa ka sak pe 親戚もいない者が

アネイ ア ヒネ  
a=ne[y] a hine 私であって

ウ ネプ ワ アン ペ  
u nep wa an pe それが

エモトコロ ワ  
emotokor wa 素性であるのに

トウレイヌ…… トウ トイ レプンペ 多くのひどい沖の奴  
tureynu... tu toy repunpe

ウタロロケヘ  
utarorkehe たちが

チエウラムテクク  
ceuramtekuk ぐるになって

イエカラカラ ハウェ  
i=ekarkar hawe 私に敵対しているという話で

トウ ピシカン コタン  
tu piskan kotan 二つの周りの村

レ ピシカン コタン  
re piskan kotan 三つの周りの村に

チエイオマレ  
cie[y]omare (敵が) 及んで

オカ ヤッカイキ  
oka yakkayki いるのなら

インネ ピトホ 多くの神か  
inne pitoho

ウ ネプ カムイエ 何の神が  
u nep kamuye

イトウレン ヤ カ 私に憑いているのか (わかりませんが)  
i=turen ya ka

チテクトウムコレ 私に腕力をつけ  
citektumkore

チモントウムコレ 力をつけて  
cimontumkore

イコパレ ヤン。 ください。  
i=kopare yan.

ヘル シネン アネ ただ一人のもので私はある  
heru sinen a=ne

キ ルウェ タパン」 のですよ」  
ki ruwe tapan”

イタカン カネ (と) 言うと  
itak=an kane

エアシラナ それこそ  
easirana

アタムカ コンナ 私の刀の上が  
a=tamka konna

シカイエ カネ 輝いて  
sikaye kane

ヘル タムクリ  
heru tamkuri

シカイエ カネ  
sikaye kane

タン ポロ チャシ  
tan poro casi

ウ チャシ ウプソロ  
u casi upsor

チパトウパトウ  
cipatupatu

エアシラナ  
easirana

アロカムキンノ  
arokamkinno

アキ プ ネ クス  
a=ki p ne kusu

ルプネ アペケシ  
rupne apekes

ノカン アペケシ  
nokan apekes

アウレエチャリ  
a=ureecari

アウレエプンバ  
a=ureepunpa

ただ刀影が

輝いて

この大きな山城

山城の中は

大騒ぎになった。

それこそ

わざと

私がしたことは

大きな燃えさし

小さな燃えさしを

足でまき散らし

足で蹴り上げ

ウ キ プ ネ クス  
u ki p ne kusu したことなので、

ウ アムソ カ タ  
u amso ka ta 床の上に

ウ カパラ ヌイボ  
u kapar nuypo 薄い炎が

チテレケレ クル  
citerkere kur 跳んだ人

ウ ウシカ クニ  
u uska kuni 消そうとして

ウ ヌイ エトコ  
u nuy etoko 火の前に

エウセウシ クル  
euseus kur 赴いた人を

アヌイコタタ  
a=nuykotata 私は火とともに叩き

アヌイコトウイパ  
a=nuykotuypa 火とともに斬った。

エアシラナ  
easirana それこそ

ウ ネノ アン ペ  
u neno an pe そのようなことで

アエヤイモンポク  
a=eyaymonpok- 私は手を

コトウシマク カネ 忙しく動かすと  
kotusmak kane

イセムラムセコロ 例のごとく  
isemramsekor

イレ…… ネプ ピトホ 何の神かが  
ire... nep pitoho

イトウレン クス 私に憑いているので  
i=turen kusu

イトウレン カムイ 私の憑神の  
i=turen kamuy

カムイマウェヘ 神風が  
kamuymawehe

チラナランケ 吹き下ろす  
ciranaranke

ネヒ コラチ かのように  
ne hi koraci

アバ オロ ペカ 戸から  
apa or peka

プヤラ クシ 窓を通って  
puyar kus

エアシラナ それこそ  
easirana

ウ ユプケ スプネ 激しく渦巻いた  
u yupke supne

タパン カムイマウ  
tapan kamuymaw 神風が

チアウナライエ  
ciawnaraye 中へ入る

ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci かのようで

ウ ソネ キナ  
u sone kina 床の敷き物が

カヤテク クンネ  
kayatek kunne 帆のように (風をはらみ)

ウエホブンパ  
uehopunpa 舞い上がる

ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci かのようで

キナ カンラル  
kina kanraru 敷き物の端は

ウ ヌイコテレケ  
u nuykoterke 火とともに跳ぶ

ネ ワ ネ クス  
ne wa ne kusu ので

タネ ネ クス  
tane ne kusu 今は

プヤラ オプシ ペ  
puyar opus pe 窓に穴をあける者

アパ オプシ ペ <sup>°</sup>	戸に穴をあける者を
apa opus pe	
アパ…… アカネトウイパ	私は片っ端から斬り
apa... a=kanetuypa	
アカネチャリ	片っ端から散らした。
a=kanecari	
ウ キ ロカイネ	そうしたあげく
u ki rok ayne	
タネ ネ クス	今となっては
tane ne kusu	
タン ポロ チャシ	この大きな山城の
tan poro casi	
チセソ パケ	屋根の上端
ciseso pake	
チセソ ケセ	屋根の下端も
ciseso kese	
ウ ヌイコテレケ	火とともに飛び
u nuykoterke	
ウ ヌイコタプカラ	火とともに舞う。
u nuykotapkar	
イセムラムセコロ	例のごとく
isemramsekor	
タパン カムイマウ	神風は
tapan kamuymaw	

ウ ユプケ カシパ  
u yupke kaspa

ウ キ プ ネ クス  
u ki p ne kusu

タン ポロ チャシ  
tan poro casi

ウ フイ フム コンナ  
uhuy hum konna

コトウリミムセ  
koturimimse

ウ チャシ カムイ  
u casi kamuy

ウ ラブ ペコロ (?)  
u rap pekor(?)

アエウソイナクル (?)  
a=eusoynakur-(?)

ウ パシテ カネ  
u paste kane

チャシ オッ タ カ  
casi or\_ta ka

アトウイパ ルイ ペ  
a=tuypa ruy pe

アロンヌ ルイ ペ  
a=ronnu ruy pe

アラム コロカ  
a=ramu korka

ウ ネ プ ネ アワ  
u ne p ne awa

ウ ペヌヌムケ  
u penunumke

エシコパヤラ  
esikopayar

タニンネ コタン  
tan inne kotan

イネロクペクス  
inerokpekusu

ウ インネ ルウェ  
u inne ruwe

アイヌ イ……  
aynu i...

ウタリ インネ プ  
utari inne p

アパハ インネ プ  
apaha inne p

アトウイヤウンクル  
Atuyyaunkur

ウ ネイ ワ クス  
u ne[y] wa kusu

思ったが

それでも

洪水がみなぎる

かのように

この人数の多い村は

なんとまあ

人数が多いことか。

仲間が多い者

親戚が多い者が

アトウイヤウンクルで

あるので

エアシラナ

それこそ

easirana

キキリ サイ パシテ

虫の群を走らせる

kikir say paste

エカンナユカラ

かのようである。

ekannayukar

ウ トウイマ エク アイ

(アトウイヤの村人が放って) 遠くから来る矢は

u tuyma ek ay

カヤアン…… カサ キプカ タ

笠の上に

kayaan... kasa kipka ta

コヌスパシ ネ

大粒の雪のように

konus upas ne

イエモイレ コロ

私のほうにゆっくりと (飛んできて)

i=emoyre kor

ウ ハンケ カネ

近く (から放たれ) て

u hanke kane

ウ ハンケ カ……

u hanke ka...

ウ ハンケ ア……

u hanke a...

ウ ハンケ エカイ

近くから飛んで来る矢は

u hanke ek ay

ウ ヌムシ カウカウ ネ

大粒のあられのように

u numus kawkaw ne

カサ ケプ カシ kasa kep kasi	笠の縁の上へ
オラン フム コンナ oran hum konna	落ちる音が
コトクナタラ kotoknatara	トントンと鳴り続く。
エムシ コン ヌミ emus kor_numi	刀を持つ列
ウ オプ コン ヌミ u op kor_numi	槍を持つ列
ウ アイ コン ヌミ u ay kor_numi	矢を持つ列が
コシンナ カネ kosinna kane	それぞれ別々に
イネイロクペクス ine[y]rokpekusu	なんとまあ
ウタリ インネ utari inne	仲間が多い
コヤイカン ルウェ koyaykar_ruwe	様子であることか
アニコラヤブ an=ikorayap	感に打たれる。
アナッキコロカ anakkikorka	けれども

アロカムキンノ わざと  
arokamkinno

アキ プ ネ クス 私がしたことは  
a=ki p ne kusu

カムイマウ パシテ 神風を走らせて  
kamuymaw paste

タパンペ レコロ これこそ世にいう  
tapanpe rekor

ウレンペパシテ……  
urenpepast...

トウレンペ パシテ 憲き神を走らせた  
turenpe paste

アキ プ ネ クス ものだから  
a=ki p ne kusu

エパカ…… アコッ トウムンチ 我々の戦い  
epaka... a=kor\_tumunci

アコン ロルンペ 我々の戦争  
a=kor\_rorunpe

ロルンペ クルカ 戰争の上に  
rorunpe kurka

エアシラナ それこそ  
easirana

タパン カムイマウ 神風の  
tapan kamuymaw

オラン フム コンナ  
oran hum konna

吹き下りる音が

コトウリミムセ  
koturimimse

鳴り響く。

ウ カントイ カラペ  
u kantoy karpe

地表に当たる風が

コフムマッキ  
kohumumatki

響き渡り

ウ シニシ カラペ  
u sinis karpe

天に当たる風は

コトウリミムセ  
koturimimse

鳴り轟き

ウ ニタイ カラペ  
u nitay karpe

林に当たる風は

コセペパッキ  
kosepepatki

鳴りはためく。

ウ シリコロカムイ  
u sirkorkamuy

大木で

ウ カイ ルスイ ペ  
u kay rusuy pe

折れそうなものは

ウ スプトム オロケ  
u suptom orke

根元から

チコエケッケ  
cikoekekke

折れ碎け

タパンペ レコロ  
tapanpe rekor

これこそ世にいう

ウ フシコ アナク  
u husko anak

以前（行った戦い）は

チテンネプネレ  
citennepnere

赤ん坊のように（たやすかったと思うほど）

アコッ トウムンチ  
a=kor\_ tumunci

我々の戦いは

ウ ユプケ カシパ  
u yupke kaspa

激しすぎる。

ウ ニシテプ パテク  
u nistep patek

強者ばかりが

アトウイヤウンクル  
Atuuyaunkur

アトウイヤウンクル

ウ ニシマクウンクル  
u Nismak'unkur

ニシマクンクル

クンネペトウンクル<sup>[9]</sup>  
Kunnepetunkur

クンネペトウンクル

ウ ニシポクウンクル  
u Nispok'unkur

ニシポクンクル

ウタラ セレマク ネ  
utar sermak ne

たちの守りに

コヤイカラ カネ  
koyaykar kane

なって

(むせたことにより一時中断)

(フチ：そっち、あるか?)

ある。

したら、さっき言ったみたいに……

(録音が一時中断)

……家、イケマあってケサンペシトウリ してあった (?)

…家、ikema あって k=esampesituri してあった (?)

……家にイケマがあつて、気分が楽になった (?)

(録音が一時中断)

タブ オロワノ それから

tap orowano

エアシラナ それこそ

easirana

ウ フシコ アナ プ 昔あったこと

u husko an a p

フシコ ロルンペ (すなわち) 以前の戦い

husko rorunpe

フシコ トウムンチ 昔の戦争は

husko tumunci

チテンネプレレ<sup>[10]</sup> 赤ん坊のように (たやすかったと思うほど)

citenneprere

イキアン アイネ (今は激しい戦いを) するうちに

iki=an ayne

インカラニ シリ  
inkar=an siri

ネウン ネ シリ  
neun ne siri

タニンネ ウタラ  
tan inne utar

ウタラ アラケヘ  
utar arkehe

チラピラビ  
cirapirapi

コヨヤモクテ  
koyoyamokte

エパキ クス  
ep a=ki kusu

インカラニ シリ  
inkar=an siri

ヌペ…… ランケペスンマッ  
nupe... Rankepesunmat

オロヤチキ  
oroyaciki

イヨシ エク アアン  
i=os ek aan

イカスイ シリ  
i=kasuy siri

ウ ネイ ロコカ  
u ne[y] rokoka

であった。

アナッキコロカ  
anakkikorka

けれども

エアシラナ  
easirana

それこそ

アセムコッタヌ  
a=semkottanu

私は知らぬふりをして

タニンネ ウタラ  
tan inne utar

多くの人々を

アトウイパ ルイ ペ  
a=tuypa ruy pe

私は斬りまくったもの

アロンヌ ルイ ペ  
a=ronnu ruy pe

殺しまくったもの

ウ ネ コロカイキ  
u ne korkayki

だけれど

ウ ネイ タ アン ペ  
u ney ta an pe

どこの者が

ウ エパ クニ プ  
u epa kuni p

到着したの

ウ ネ ナンコラ  
u ne nankor y\_a

だろうか。

イセムラムセコロ (?)  
isemramsekor(?)

例のごとく (?)

オアラウェン ヒ ワ  
oarwen hi wa  
非常にひどいことから（？）

アコロ ウエン キンラ  
a=kor wen kinra  
激しい怒りが

イコホプニ  
i=kohopuni  
湧き上がり

カムイ アワンキ  
kamuy awanki  
私は神の扇を

アサナサンケ  
a=sanasanke  
取り出して

エアシラナ  
easirana  
それこそ

シノイエ ヌイ ノカ  
sinoye nuy noka  
絡まった炎の模様

ホプニ ヌイ ノカ  
hopuni nuy noka  
燃え上がる炎の模様

テレケ ヌイ ノカ  
terke nuy noka  
跳ね上がる炎の模様を

アエシリパル コロ  
a=esirparu kor  
向けて扇ぐと

エネ シリキ ヒ  
ene sirkki hi  
このような様子になった。

タニンネ コタン  
tan inne kotan  
この大きな村が

ウ ヌイコテレケ 炎に舞い  
u nuykoterke

コタン ケセヘ 村の下端も  
kotan kesehe

コタン パケヘ 村の上端も  
kotan pakehe

ウ ヌイコテレケ 炎に舞う。  
u nuykoterke

ウ エムコクス そのために  
u emkokusu

ラメトク クニ 勇者は  
rametok kuni

エアネ ヌム ネ (人数が少ない) 細い列になり  
eane num ne

イコヤイサナ 私の前へ  
i=koyaysana-

ウ サプテ カネ 出てくる  
u sapte kane

アナッキコロカ けれども  
anakkikorka

ウ ポテカンパ プ 子供と手をつなぐものは  
u potekanpa p

ウ シンナ カネ それぞれ別々に  
u sinna kane

ウ マッテカンパ プ  
u mattekanpa p

ウ シンナ トイネ  
u sinna toyne

キラ ヌミキリ  
kira numikir

アルキラレ  
arukirare

タパンニンネ コタン  
tapan inne kotan

ウ ヌイコテレケ  
u nuykoterke

タパン カムイマウ  
tapan kamuymaw

ウ ユプケ ヒケ  
u yupke hike

チラナランケ  
ciranananke

アコン ロルンペ  
a=kor\_ rorunpe

ロルンペ クルカ  
rorunpe kurka

チパトウパトウ  
cipatupatu

ウェン トイラ wen toyra	(強風で) ひどい土ぼこり
ウェン ムニラ wen munira	ひどい草ぼこりが
ウエシノイエ uesinoye	渦巻いて
コプクプク kopukpuku	めちゃくちやにする。
シノイエ ヌイ ノカ sinoye nuy noka	絡まった炎の模様を
アエシリパレ…… a=esirpare...	
アエシリパル コロ a=esirparu kor	向けて扇ぐと
エボソ カネ eposo kane	言うまでもなく
チセ ネ オカイ ペ cise ne okay pe	家が
ウウェシノイパ uesinoyipa	渦巻いて
ウフイパ シリヒ uhuypa sirihi	燃える様子は
ウエイホプンパ ue[y]hopunpa	燃え飛んで

ウエシノイパ  
uesinoypa  
(炎が) 涡巻いている。

ウ エムコクス  
u emkokusu  
そのために

エアシラナ  
easirana  
それこそ

アイヌ ロルンペ  
aynu rorunpe  
人間の戦争では

オアラ ソモ ネ  
oar somo ne  
まったくない (かのようだ) 。

カムイ ロルンペ  
kamuy rorunpe  
神の戦い (のように)

アヌカラ ヤク  
a=nukar a yak  
見ていたらなら

アニコネンパ  
an=ikonenpa  
(こうだと) 思えるほど

エアシラナ  
easirana  
それこそ

アコロ ロルンペ  
a=kor rorunpe  
我々の戦争は

ウ ユプケ カシパ  
u yupke kaspa  
激しすぎる

アナッキコロカ  
anakkikorka  
けれど

イカッチウ ケウトウム  
ikatciw kewtum 忌々しく思う気持ちを

アヤイコロパレ  
a=yaykorpare 私は抱いた。

ウ ニシポクウンクル  
u Nispok'unkur ニシポクンクル

クンネペツウンクル  
Kunnepet'unkur クンネペトウンクル

ウ ニシマクウンクル  
u Nismak'unkur ニシマクンクル

カニペトウンクル<sup>[11]</sup>  
Kanipetunkur カニペトウンクル（という）

ウ ニシテ プ パテク  
u niste p patek 強者ばかり

オカ ア ルウェ  
oka a ruwe いるのだ。

アコンラムコンナ  
a=konramkonna 私の心は

トウルシタラ  
turustara 朦朧として

マカン ネ キ コロ  
makan ne ki kor どうかすると

アエコンラムコンナ  
a=ekonramkonna 私の心は

コカリ カネ  
kokari kane こんがらがって

ウ ネウン シノ  
u neun sino いったい私はどういう

カッコロアン ヤ カ  
katkor=an ya ka 姿であるのか

マカン ネ キ コロ  
makan ne ki kor どうかすると

アネイランペウテク  
an=e[y]rampewtek わからなくなる。

コヤイシカルン  
koyaysikarun (やがて) 意識を取り戻した

アキ ロク アイネ  
a=ki rok ayne ところ

インカラニ ルウェ  
inkar=an ruwe 見ると

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi こうだった。

アトウイヤウンクル  
Atuyyaunkur アトウイヤウンクルの

サパ ヌム タクブ  
sapa num takup 頭だけを

アアンパ カネ  
a=anpa kane 私は手に持ち

ウ ニシポクウンクル u Nispok'unkur	ニシポクンクルの
サパ ヌムタクア sapa num takup	頭だけを (片手に持ち)
ウトウレンテッコロ uturentekkor	(2つの頭を) 両手で持っていた。
アエシリキク フム コ a=esirkik hum ko	私が (それらの頭を) ぶつける音が
コヤクナタラ koyaknatara	グシャッと響き
コリムナタラ korimnatara	ドシンと鳴る。
コヤイシカルン koyaysikarun	私は意識を
エパキ キ コロ ep a=ki ki kor	取り戻すと
ウ ホントモ タ u hontomo ta	たちまち
ロルンペ ユブ rorunpe yupu	戦いを引き締め
トウレンペ ユブ turenpe yupu	憑き神を引き締め
アキ ワ ネ コロ a=ki wa ne kor	そうすると

アコルン……

akorun...

アケウトウムコンナ  
a=kewtumkonna

私の気持ちは

コカリ カネ  
kokari kane

こんがらがって

トウルシタラ  
turustara

朦朧として

アコンラムコンナ  
a=konramkonna

私の心は

コカリ カネ  
kokari kane

こんがらがって

ウ キンネ……  
u kinne...

ウ ネウン シノ  
u neun sino

いったい私はどう

イキアン ヤ カ  
iki=an ya ka

していたのかも

アエラミシカリ  
a=eramiskari

わからぬいで

ウ キ ロク アイネ  
u ki rok ayne

いるうちに

インカラニ キ コロ  
inkar=an ki kor

見ると

ウ ニシポクウンクル  
u Nispok'unkur

アトウイ……  
Atuy...

ウ ニシポクウンクル  
u Nispok'unkur

マカナク タ ネ? [12]  
makanak ta ne?

アトウ…… ウ ニシポクンクル  
atu... u Nispokunkur

フナク ネ タ ウン クル  
hunak ne ta un kur

ウ ニシテプ パテク  
u nistep patek

サパ ヌム タクプ  
sapa num takup

ウトウレンテッコロ  
uturentekkor

アアンパ カネ  
a=anpa kane

アエシリキク フム コ  
a=esirkik hum ko

コヤクナタラ  
koyaknatara

ニシポクンクル

ニシポクンクル

どうしたって？（？）

ニシポクンクルと

どこかの人（である）

強者の

頭だけを

（その2つの頭を）両手で

私は持つて

私が激しく叩きつけた音が

グシャッと響き

コリムナタラ  
korimnatarā

オトウスイコンナ  
otu suy konna

オレスイコンナ  
ore suy konna

ウネノアンペ  
u neno an pe

アエコンラムコンナ  
a=ekonramkonna

トウウトウルサマ  
tu utur sama

コムッコタネ(?)<sup>[13]</sup>  
komutkot kane(?)

ウキロクアイネ  
u ki rok ayne

タネアナケネ  
tane anakne

エアシラナ  
easirana

タニンネウタラ  
tan inne utar

アロンヌカトウ  
a=ronnu katu

ドシンと鳴る。

二度

三度

そうしていたが(?)

私の心は

間を置いて

息もできないようになり(?)

そうしたあげく

今は

それこそ

多くの人々を

私が殺した様子は

ウ ルイ ワ ネ コロ	激しくて
u ruy wa ne kor	
モヨ ウタラポ	(殺しそびれた) 少数の人々を
moyo utarpo	
アマカルトウ	追いやると
a=makarutu	
タポロワノ	それからは
tap orowano	
エアシラナ	それこそ
easirana	
ランマ カネ	いつものように
ramma kane	
ウ オプ コン ヌミ	槍を持った (人たちの) 列の
u op kor_numi	
トウ ワン オプ サキリ	二十の槍が
tu wan op sakir	
イコリコシマ	私に向かって伸び上ると
i=korikosma	
アロカムキンノ	わざと
arokamkinno	
ウキ…… アキ プ ネ クス	私がしたことは
uki... a=ki p ne kusu	
ウ オプコ…… ウ オプ モンポキ	槍の下に
u opko... u op monpoki	

アコヘンクル a=kohenkur-	私は身をかがめて
エシタイキ コロ esitayki kor	地面に伏すと
イエンカシ タ i=enkasi ta	私の上を（槍が素通りして同士討ちになるので）
ウ オプ コロ アパ u op kor apa	槍を持った仲間が
ウアシサウ コ uasis h_aw ko	ののしりあう声が
コカリ カネ kokari kane	聞こえてくる。
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には
トゥワン オプ サ…… tuwan op sa...	二十の槍

## 【注】

- [1] リクンソモシリ Rikunso mosir は地名で「リクンソ国」の意味。
- [2] 聞き手同士で何事か話しているため、この行の後、少し間が空く。また次行以下では、聞き手の会話の終了を待っている間の時間つなぎとして、同じ内容の行をくり返しているらしい。
- [3] エオフヨロネ eohuyorone :『バチェラー辞典』(P346) に「Ohuiyoro-ne, オフイヨロネ, 如何デセウカ. (中略) How will it be ?」とあることを参考に訳した。
- [4] アトウイヤ Atuyya は地名で「海の浜」という意味か。
- [5] アトウイヤウンクルAtuuyaunkur は「アトウイヤの人」という意味の登場人物名。
- [6] アトウイヤウンマツ Atuuyaunmat は「アトウイヤの女」という意味の登場人物名。
- [7] ウエコッ ネ uekot ne : ウエ クニ クル カ ue kuni kur ka 「一緒に食べるべき者も」

のようにも聞こえるが、前の行と対になることから、本テキストのようにした。

- [8] コユシタラ koyusitara は『久保寺辞典稿』(p145) に「くちやくちや鳴らして物を食ふ」とあるが、ここには合わない。『バチェラー辞典』(P581) に「ユサ, 立腹シテ立去ル. v. i. To turn away in anger」とあることから、ko-yus(a)-itara と考えてみた。
- [9] クンネペトウンクルKunnepetunkur は「クンネペッの人」という意味の登場人物名。クンネペッ kunnepet は地名で「黒い川」という意味。
- [10] チテンネプレレ citennreprere のように聞こえるが、citenneprere か。
- [11] カニペトウンクルKanipetunkur は「カニペッの人」という意味の登場人物名。カニペッ kanipet は地名で「金の川」という意味。
- [12] この行は物語の一部ではなく、聞き手との会話か。韻文にはなっていない。
- [13] 音はコムッコタネと聞こえるが、「mutkot kane 息も出ない様に?」(『久保寺辞典稿』P162) を参考に komutkot kane とした。

## 13-5 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」（謡い途中でテープ切れ終了）

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

アロカムキンノ わざと  
arokamkinno

アキ プ ネ クス 私がしたので  
a=ki p ne kusu

エアシラナ それこそ  
easirana

マカナン ネ コロ ある時には  
makanan ne kor

オハオカ ワ 味方同士で  
ohaoka wa

ウオプコララパ 互いに槍を受けて  
uopkorarpa-

ウアシシ ハウポ ののしりあう声が  
uasis hawpo

コカリ カネ 聞えて  
kokari kane

ウ ネイ タ パクノ u ney ta pakno	いつまでも
イトウレン ピト i=turen pito	私についている神の
カムイ マウェヘ kamuy mawehe	神風が
アコン ロルンペ a=kor_ rorunpe	我々の戦い
ロルンペ クルカ rorunpe kurka	戦いの上に
チオランケカラ ciorankekar	吹き下る。
タパン カムイマウ tapan kamuymaw	神風の
ウ ユプケ ヒケ u yupke hike	激しいものが
チオランケカラ ciorankekar	吹き下る。
ウ キ ロカイネ u ki rok ayne	そうするうちに
タネイ ネ クス tane[y] ne kusu	今となつては
モヨ ウタラボ moyo utarpo	数少ない人々が

アホロカルトウ  
a=horkarutu

ウ パクノ ネ コロ  
u pakno ne kor

リクンペシ……  
Rikunpes...

ランケペスンマツ  
Rankepesunmat

エネ イタキ  
ene itak h\_i

ウ チシ リミムセ  
u cis rimimse

リミムセ トワイカ  
rimimse tuyka

イヨテレケレ  
ioterkere

エネ イタキ  
ene itak h\_i

「コニンカラ クス  
“koninkar kusu

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

タパナトウイヤ  
tapan Atuyya

後ろへ押し戻されていく。

そうして

ランペスンマツが

言うことには

泣き叫び

叫びながら

理屈を言って抗議して

言うのはこうだ。

「さてさて

神なる人よ、

このアトウイヤ

アトウイイヤ コタン  
Atuyya kotan

ウ アイヌ トゥミ  
u aynu tumi

パテク ネ ヤクン  
patek ne yakun

タネ アナクネ  
tane anakne

モヨ ウタラボ  
moyo utarpo

アルッパ クス (?)  
a=rutpa kusu(?)

アヤイホシパレ  
a=yaypospare

アナッキコロカ  
anakkikorka

ウ ネノ ウタラバ  
u neno utarpa

ウ ケムヌ クス  
u kemnu kusu

ウ ニシポクンクル  
u Nispokunkur

ウ ニシポク コタン  
u Nispok kotan

アトウイイヤ村では  
人間の戦争  
ばかりがあって

今は

数少ない仲間が

押しやられるので (?)

私は通り抜けた

けれど

同じ境遇の勇者を

哀れに思うために

ニシポクンクルの

ニシポク村の

コタン チュッポキ  
kotan cuppoki

トウムンチ カムイ  
tumunci kamuy

エワク ルウェ ネ。  
ewak ruwe ne.

イケムヌ クス  
ikemnu kusu

トウムンチ カムイ  
tumunci kamuy

クルセニッネヒ<sup>[1]</sup>  
Kursenitnehi

イコチョラウキ  
i=kocorawki

ウ アラキ ノイネ  
u arki noyne

イラムアン ナ。  
iramu=an na.

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

ルイノ シモイエ  
ruyno simoye

ルイノ モイモイケ  
ruyno moymoyke

村の西に

戦いの神が

住んでいます。

(その神は) 哀れに思ったので

戦いの神 (である)

クルセニッネヒが

私たちに向かって攻撃しに

来るよう

思われるのです。

神なる人よ、

激しい奮闘

激しい働きを

アキ ヤク エアシリ a=ki yak easir	私たちがしたら初めて
ウェン カムイ トウミ wen kamuy tumi	悪神の戦争を
ウ ソネ カ ウン u sone ka un	本当に
アヤイポソレ a=yayposore	通り抜けられる
ウ キ ア クニ プ u ki a kuni p	ということ
ネ ヒ ヘ ネ ヤ ne hi he ne ya	でしょうか。
コトウスユブ kotusuyupu	巫術を強めることを
アロロキシネノ arorkisneno	こっそりと
アキ コロ アナン a=ki kor an=an	私はしているのです。
アシヌマ アナクネ asinuma anakne	私は
イトウイパ プ ウイペ i=tuypa p uype	斬られたものの子孫
イロンヌ プ ウイペ i=ronnu p uype	殺されたものの子孫で

アネイ ワ ネイ コロ  
a=ne[y] wa ne[y] kor

ラナン…… ア……  
ran=an... a...

ラヤン マ ネ ヤッカ  
ray=an w\_a ne yakka

コタネウェン ペ  
kotanewen pe

モシレウェン ペ  
mosirewen pe

ソモ タパン ナ。  
somo tapan na.

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

カムイ ラメトク  
kamuy rametok

エライ ワ ネ ヤク  
e=ray wa ne yak

エコラ モシリ  
e=kor a mosir

ラマツ サク クニ プ  
ramat sak kuni p

ネ ヒ タパン ナ。  
ne hi tapan na.

ありますから

私が死んでも

村に差し障りがある者

国に差し障りがある者では

ないですよ。

(けれど) 神なる人

立派な勇者よ、

あなたが死んだら

あなたの国の

魂がなくなるの

ですよ。

ウ ピリカノボ<sup>°</sup>  
u pirkano

エヤイカシカムイ  
e=yaykaskamuy

コオロスッケ コロ  
koorsutke kor

トウミ サンペ 力 (?)  
tumi sampe ka(?)

トウミ ケウトウム 力  
tumi kewtum ka

コヤイユプユブ<sup>°</sup>  
koyayyupyupu

エキ ナンコン ナ。  
e=ki nankor\_ na.

ウ ピリカノボ<sup>°</sup>  
u pirkano

ネノ イタカン 力  
neno itak=an ka

エオリパク カシバ<sup>°</sup>  
e=oripak kaspa

アナッキコロカ  
anakkikorka

トウスノ クニ  
tusuno kuni

よくよく

あなた自身の守り神を

励まして

戦いの心も (?)

戦いの精神も

発奮して

くださいな。

よくよく

私がこう言うのも

おそれおおいことです

けれども

巫術をよく

アネ プ ネ クス 私はするので  
a=ne p ne kusu

トウ マウ セレマカ 二つの風の背後を (?)  
tu maw sermaka

アマウトウサラ……  
a=mawtusar...

アトウスクシパレ 巫術にかけた  
a=tusukuspare

ウ キ ペ ネ クス ので  
u ki pe ne kusu

アヌカラ ペ アナク (それで千里眼で) 見たものを  
a=nukar pe anak

アイエ ハウェ ネ 言いましたが  
a=ye hawe ne

トウムアン ケウトウム 憤慨する気持ちを  
tumuan kewtum

イココロ クニ 私に対して持つては  
i=kokor kuni

ソモ ネ ナンコロ」 いけません」  
somo ne nankor”

イタッカラ カネ (と) 言いながら  
itakkar kane

ウ チシ リミムセ 泣き叫び  
u cis rimimse

リミムセ トウイカ rimimse tuyka	叫びながら
イヨテレケレ ioterkere	理屈を言って抗議する
ウ キ コロカイキ u ki korkayki	けれど
アエ…… エアシラナ ae... easirana	それこそ
ウ サウレ ピト u sawre pito	弱い神が
イトウレン ヘ キ i=turen he ki	私についているのかと
ヤイヌアン カネ yaynu=an kane	思うと
アヤイケウトゥムカ a=yaykewtumka-	私自身の心が
エアシラナ easirana	それこそ
アヤイモントゥムカ a=yaymontumka-	私自身の力が
ウコユプユブ ukoyupuyupu	引き締まる。
ウ ネプ ピトホ u nep pitoho	何の神が

- イコチョラウキ 私に向かって攻撃に  
i=kocorawki
- ウキアプクシナム くるとしても  
u ki a p kusnam
- シルンノ マシキン まさか  
sirunno maskin
- トウムンチ カムイ 戰いの神は  
tumunci kamuy
- カムイ ラメトク 神なる勇者  
kamuy rametok
- ウタラ モンポキ たちの下に  
utar monpoki
- アオシマ クニ プ 入る（ほど弱い）者  
a=osma kuni p
- ソモ ネ ナンコロ ではないだろう。  
somo ne nankor
- イル…… イトウレン カムイ 私の憑き神よ、  
iru... i=turen kamuy
- ウピリカノボ よくよく  
u pirkano
- チエブンキネレ 私を守って  
ciepunkinere
- イエカラカラ ャン。 ください。  
i=ekarkar yan.

オロワウイ スイ orowaun_suy	それから
リクン カント タ rikun kanto ta	高天に
アエオイナカムイ <sup>[2]</sup> Aeohnakamuy	アエオイナカムイ（という）
カムイ アユビ kamuy a=yupi	神なる兄が
ウ アン ルウェ ネ。 u an ruwe ne.	いるのだ。
トゥムアン トゥミ tumuan tumi	(彼は) 憤慨する戦いのほうを
コホサリ カ kohosari ka	向いても
カシ チオパシ kasi ciopas	私を助けに
イイエカラカラ カ i=ekarkar ka	駆けつけも
ソモ キ ヤ カ somo ki ya ka	しないのか。
タパンペ オッ タ tapanpe or_ta	そこで
トゥムンチ カムイ tumunci kamuy	戦いの神

ウタロロケヘ  
utarorkehe たちが

イコチョラウキ  
i=kocorawki 私を攻めて

イキ キ ワ ネ ヤクン  
iki ki wa ne yakun きたら

シルンノ マシキン  
sirunno maskin まさか

アエオイナカムイ  
Aeohnakamuy アエオイナカムイ（という）

カムイ アユビ<sup>°</sup>  
kamuy a=yupi 神なる兄も

イイエモシマ ペ  
i=emosma pe 私を捨て置くことは

ソモ ネ ナンコロ  
somo ne nankor ないだろう。

ウェン メノコ  
wen menoko 悪い女が

イタク ネ ャッカ  
itak ne yakka 話したことは

チオラムサッカ  
cioramsakka 私を見下して

イイエカラカラ セコロ  
i=ekarkar sekor いると

ヤイヌアン コロカ                    思ったけれど  
 yaynu=an korka

タパン テ パクノ                    つい今まで  
 tapan te pakno

オトウ スイ アン タ                    二度も  
 otu suy an ta

オレ スイ アン タ                    三度も  
 ore suy an ta

イテクサモロ……                    私のそば……  
 i=teksamor...

### 【注】

[1] クルセニッネヒ Kursenitnehi は怪鳥の名前。他の英雄叙事詩ではクルイセ kuruyse などという名称でも出てくる。

[2] アエオイナカムイ Aeohnakamuy は人間に文化を教える人文神の名称。

## 14-2 カムイユカラ

「オキクルミ ヘペレ (ノオ)」

オキクルミと小熊

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=ノオ  
now o o<sup>[1]</sup>

V ウ オキクルミ  
V u Okikurmi

V アイヌ アオナハ  
V aynu a=onaha

V オトウ サナシケ  
V otu sanaske

V ウウェノイエ コロ  
V uenoye kor

V ウ クルカシケ  
V u kurkaske

V イタク オマレ  
V itak omare

エネ オカ ヒ  
ene oka hi

V アコロ ヘペレ ポ  
V a=kor heper po

V ピリカノ アラパ	無事に行くことを
V pirkano arpa	
V エキ ナンコン ナ	してください。
V e=ki nankor_ na	
エネ アン クニ ene an kuni	このようにするべきだ
V へカチ エネ クシ V hekaci e=ne kus	あなたはまだ子供なので
V ラムイサム ペ エネ クシ V ramuysam pe e=ne kus	何もわからないものなので
V イナウ エコロ ャッカ V inaw e=kor yakka	イナウをお前が持つても
V エムセコロ ャッカ V emus e=kor yakka	刀を持っても
V エエシノツ ワ V e=esinot wa	それで遊んで、
エエニキッキク e=enikikkik	木をバンバン叩いて
V エエニタウキ V e=enitawki	木に切りつけ
V エウエンテ クス V e=wente kusu	だめにするので
V ヘル クワンノ V heru kuwanno	ただ、ひたすらに、

チトウイエ クワ<sup>[2]</sup>  
cituye kuwa

伐った枝を

V エシテコロサム  
V e=sitekorsam

手に

V ウ ウンテ カネ  
V u unte kane

持つて

V ホサリ ペントク  
V hosari pentok

振り返りも

V ヘキル ペントク  
V hekiru pentok

振り向きも

エエウンケシケ  
e=eunkeske

しないで

V タアナコロ ペッ  
V taan a=kor pet

この私たちの川を

シリムカ  
Sisirmuka

沙流川を

V タアナコロ ペッ  
V taan a=kor pet

この私たちの沢

V ウ ペッ トゥラシ  
V u pet turasi

づたいに

V エアラパ アイネ  
V e=arpa ayne

行ったら

V トウ ペッ ネ アン マ  
V tu pet ne an w\_a

二つに分かれていて

V コイカ ワ クシ ペッ	東の方を通る川
V koyka wa kus pet	
V ウ レヘ タシ	名前こそ
V u rehe tasi	
V チュペリキン ペッ	日の上る川
V cuperikin pet	
V カムイ リキン ペッ	神の上る川
V kamuy rikin pet	
V ウ ネ ルウェ ネ	というのだ
V u ne ruwe ne	
V チュッポク ワ クシ ペッ	西の方を通る川
V cuppok wa kus pet	
レヘ タシ	名前は
rehe tasi	
V チュボラカン ペッ <sup>[3]</sup>	日の沈む川
V cup orakan pet	
カムイ ラカン ペッ	神が沈む川
kamuy rakan pet	
V ウ ネ ルウェ ネ	そういう川なのだ
V u ne ruwe ne	
V ペッ ウトウル ウシ ペ	川の間にあるもの
V pet utur us pe	
カムイ ヌブリ	神の山だ
kamuy nupuri	

V ウ チエカント オロ	天に向かって
V u cekanto or	
ウ ソイパ カネ	そびえている
u soypa kane	
V カムイ ヌブリ	神の山
V kamuy nupuri	
V ランケ ウェンクツ	下の方の崖
V u ranke wenkut	
ノイワン ウェンクツ	六つの崖
noiwan wenkut	
V ウ リク…… リクン ウェンクツ	上方の崖
V u riku... rikun wenkut	
ノイワン ウェンクツ	六つの崖に
noiwan wenkut	
チエオカリ	とり囲まれた
cieokari	
V カムイ ヌブリ	神の山
V kamuy nupuri	
V アン ルウェ ネ ワ	あって
V an ruwe ne wa	
V チュプカシケ エコロ アイヌ	その東にあなたの父で
V cupkaske e=kor aynu	
エコロ カムイ カムイ エオナハ	あなたの父である神
e=kor kamuy kamuy e=onaha	

V ウ レヘ タシ	その名前は
V u rehe tas	
シララ メキヨ <sup>[4]</sup>	岩のメキヨ
Sirar mekiyo	
V カムイ メキヨ	神のメキヨ
V Kamuy mekiyo	
ウ ネ ルウェ ネ	というのです
u ne ruwe ne	
V カムイ エウヌフ エコツ トツト	あなたの神の母、あなたの母親
V kamuy e=unuhu e=kor_ totto	
レヘ タシ	その名前は
rehe tasi	
エチュ…… チュペシカンマツ <sup>[5]</sup>	太陽の巡る女
e cu... Cupesikanmat	
V カムイシカンマツ	神の巡る女
V Kamuysikanmat	
ウ ネ ルウェ ネ	と言うのです
u ne ruwe ne	
V ウ ネ ワ アンペ	そうであることが
V u ne wa an pe	
エエペヌプル クス	親似ですぐれているので
e=epenupur kusu	
V エアラケヘ ワ	あなたの片方から
V e=arkehe wa	

V ワッカ チャラセ<sup>[6]</sup>  
V wakka carse

V エアラケ ワ  
V e=arke wa

チュプ ノカ オマ<sup>[7]</sup>  
cup noka oma

V キ ルウェ ネ クス  
V ki ruwe ne kusu

V カムイ エオナハ  
V kamuy e=onaha

オロ タ エアラパ  
oro ta e=arpa

ネア ヌプリ チュプカシケ  
nea nupuri cupkasike

シ アフンポル<sup>[8]</sup>  
si ahunporu

V アン ルウェ ネ クス  
V an ruwe nekusu

ウ ポル カリ  
u poru kari

V エアフン キ ワ  
V e=ahun ki wa

V カムイ エオナハ オロ タ  
V kamuy e=onaha oro ta

エアラパ ヤクン

e=arpa yakun

行ったら

エシソウン マ

esisoun w\_a

右座の方に

V エハラキソウン

V eharkisoun

左座の方に

エアパアッカリ

e=apaakkari

戸口の前を行ったり来たり

V キ ワ ネ ヤクン

V ki wa ne yakun

そうするなら

アエエアパマカ ワ

a=e=eaxamaka wa

戸があけられて

エアフン ヤクン

e=ahun yakun

あなたが入ったら

V ウ ホシキノボ

V u hoskinopo

まっ先に

エコロ マラット

e=kor maratto

あなたが供物を持って

V ホシキノ アラパ

V hoskino arpa

先に行って

アエエケウトウムウェン (?) [9]

a=e=ekewtumwen(?)

お前は気持ち悪がられて

カムイ オピッタ

kamuy opitta

神様みんなが

V ウエカリ ワ	集まって
V uekari wa	
ピリカ マラット pirka maratto	立派な宴会が
V ウ アン コロ シラン V u an kor siran	開かれているでしょう。
V キ ワ ネ ヤクン V ki wa ne yakun	そうしたら
イテキ エア ノ iteki e=a no	座らないで
V ウ ソンコ アッパ V u sonko atpa	伝言の始まりを
エピタ カネ e=pita kane	解いて
V ウ ソンコ サラケシ V u sonko sarkes	伝言の最後を
エアッテ カネ e=atte kane	掛けて
V エソンコイエ ヤクン V e=sonkoye yakun	伝言を伝えるなら
V アエコプンテク キ ナ V a=ekopuntek ki na	喜ばれるでしょう」
V セコロカイ ペ V sekor okay pe	ということを

オキクルミ

Okikurmi

V アイヌ アオナハ

V aynu a=onaha

オキクルミ

人間の父が

V (ここから散文)

V

オトウサナシケ ウエノイエ

otusanaske uenoye

礼拝して

コロ イエ ルウェ ネ ヒクス

kor ye ruwe ne hikusu

言っているので

エネ アイエ イ ネクス

ene a=ye h\_i nekusu

そう言わされたので

ネノ ペッ トゥラシ

neno pet turasi

その通りに川づたいに

チトウイエ クワ

cituye kuwa

切られた杖を

シテコロサムウンテ カネ

sitekorsam'unte kane

手に持つて

アラパアン アイネ ソンノ ポカ

arpa=an ayne sonno poka

私が行ったら、本当に

アコロ ペッポ アラパ アイネ

a=kor petpo arpa ayne

私達の沢に行くと

トウ ペッ ネ アン マ

tu pet ne an w\_a

沢が二つに分かれていて

カムイ ヌプリ アン ルウェ ネ  
kamuy nupuri an ruwe ne

神の山があったのです

チュプカシケヘ  
cupkaskehe

その東に

アコロ カムイ アオナ  
a=kor kamuy a=onaha

神である父は

コアパアシンケ<sup>[10]</sup>  
koapaasinke

戸を開けている (と)

アイイエ プ ネクス  
a=i=ye p nekusu

言われたものなので

アラパアナクス ソンノ ポカ  
arpa=an akusu sonno poka

私が行くと、本当に

シアフンポル アン ルウェ ネ  
siahunporu an ruwe ne

大きな洞窟があったのです

アコルカリ  
a=korukari

その道を通って

アフナナクス  
ahun=an akusu

入ったところ

ソンノ ポカ イエトコ ウン  
sonno poka i=etoko un

本当に私の前方に

ピリカ マラット アン ハウェ  
pirka maratto an hawe

立派な宴を開いている声を

アヌ コロ アフナニネ  
a=nū kor ahun=an h\_ine

聞きながら私は入って

オロワノ エシソウン マ orowano esisoun w_a	それから右座の方へ
エハラキソウン アパアッカリアナ (ブ) 左座の方へ戸口の前をうろうろすると eharkisoun apaakkari=an a (p)	
アイエアパマカ a=i=eapamaka	戸が開けられて
アフナン エネ アイエ ネ プ ahun=an ene a=ye ne p	入って、言われたとおり
ソモ アアン ノ somo a=an no	座りもせずに
ソンコ アッパ アピタ カネ sonko atpa a=pita kane	伝言の始まりを解き
ソンコ サラケシ アッテ カネ sonko sarkes a=atte kane	伝言の終わりを掛けながら報告して
ソンコイエアナクス sonkoye=an akusu	伝言を伝えると
オロヤチキ イコンヌアン <sup>[11]</sup> マ oroyaciki ikonnu=an w_a	思うに私は化け物であって
イコンヌ ペウレブ <sup>[12]</sup> アネ アアン マ ikonnu pewrep a=ne aan w_a	化け物の若熊だったので
カムイ アオナハ kamuy a=onaha	神である私の父が
シアペパスイ エリケカッタ siapepasuy erikekatta	太い火箸をさっと振り上げ

カムイ アウヌフ  
kamuy a=unuhu

シアペケシ エリケカッタ  
siapekes erikekatta

アイキク<sup>[13]</sup> コレアシロロ タ  
a=i=kik kor easir oro ta

インカラナクス  
inkar=an akusu

ケナシ ウナラペ イケシケ ワ  
kenas unarpe i=keske wa

イコンヌアン ネ  
ikonnu=an ne

アアン ルウェ ネ ナ  
aan ruwe ne na

タネ オカ ペウレプ  
tane oka pewrep

アイヌ オルン  
aynu or un

アエエカシヌカラ チキ  
a=e=ekasnukar ciki

イテキ イコンヌ ヤン<sup>[14]</sup>  
iteki ikonnu yan

セコロ カムイ ハウェアン  
sekor kamuy hawean

神である私の母が  
薪の燃えさしをさっと振り上げ

殴られてはじめて、そこで

見ると

湿地の化け物婆が私を呪って

私は化け物になって

いたのですよ。

今いる若熊たちよ

人間に

授けられても

決して人を呪わないようにしなさい。

と、熊が言いました

セコン ネ ヤカイエ  
sekor\_ne yak a=ye という話よ。

パクノ よ～  
pakno よ～ おしまい。

### 【注】

- [1] 本編の類話が、『神話集成』カムイユカラ編IIに、「イコンヌ ペウレプ」として、同じ鍋沢ネプキさんの語りで収録されている。ただし、本編とは別の録音であり、ところどころ詩句が違っている。また、金田一京助(1924)『アイヌの神典』に「化熊を誑して送った話」として、訳のみで掲載されている。語り手は鍋沢コポアヌで、大正8年12月14日の筆録とされている。また鍋沢元蔵も同じ話を伝承しており（中川・遠藤 2015『国立民族学博物館所蔵鍋沢元蔵ノートの研究』）、鍋沢一族に語り伝えられる話であった可能性もある。『アイヌの神典』でのサケへは「ノーウウ。ノーウウ」となっており、サケへからも同一の話であることが感じられる。ただし、細かい部分は各話で色々と異なる。
- [2] cituye kuwa e=sitekorsam u unte kane : 後でわかるが、この熊は「化け物」にされてしまった熊である。そのために、通常のイオマンテで持たされるようなイナウも与えられず、刀も持たされず、ただ木を切っただけの杖を持たされたということである。
- [3] cup orakan pet : 金田一『アイヌの神典』では、チュペシカンペッ・カムイシカンペツとなっていて、訳はつけられていない。『久保寺辞典稿』では「chup-esikan pet, kamui esikan pet 日廻り川, 神廻り河」とある。一方 rakan という語は「小魚が産卵するために一か所に集まる」（『萱野辞典』）ことを表し、cep orakan pet であれば「魚が群れる川」と訳せる。しかし、ここでははつきりと cup orakan と発音している。esikan というのも語義不明な言葉なので、おそらく pet「川」の名前だということで、cup esikan を cep orakan と混同して、cup orakan という名前になってしまったのだろう。したがって「魚が群れる川」と考えていた可能性もあるが、ここでは cuperikinpet「日の上る川」と対になっているのだから、「日の沈む川」と訳しておくことにする。なお、『神話集成』では、これを cep orakan pet と聞いて「魚が群れる川」と訳しているが、録音を聴く限りでは cup orakan pet と発音している。
- [4] Sirar mekiyo Kamuy mekiyo : mekiyo は意味不明。
- [5] Cupesikanmat : 前述の川の名前と違って、ここでは『アイヌの神典』と同じく、cup esikan mat kamuy esikan mat となっている。川ではないので、rakan という動詞は誘導されなかつたのだろう。ここでは『アイヌの神典』にしたがって「太陽の巡る女」と訳しておくが、erikin と対になっていたはずであるから「太陽の沈む女」と訳すべきかも

しない。

- [6] e=arkehe wa wakka carse : これは Sirar mekiyo 「岩のメキヨ」を父親に持つということで、岩としての性質を身にまとっているということである。
- [7] e=arke wa cup noka oma : これは Cupesikanmat 「太陽の巡る女」を母親に持つということで、太陽の性質を身にまとっているということである。
- [8] ahunporu : この言葉は「あの世への入り口」を指すことが多いが、この奥にいるのは熊の親である。ということは、これは熊の巣穴ということになるので、「洞窟」と訳することにする。
- [9] a=i=ekewtumwen(?) : 笑いながら言っていて、はっきり聞き取れない。こう言っているかどうかも不確実だが、笑うような内容のことを言っているのだとすれば、本当はオキクルミが言ってはいけないはずの、「お前は化け物だ」ということを、ここでちょっと面白がって挟んでみたということも、考えられる。
- [10] koapaasinke : ko-「～に向かって」 apa 「戸口」 asinke 「～を出す」。熊の巣穴のことなので、「戸口を外に出す」という言い方をしている。
- [11] ikonnu は「呪いをかける」という意味なので、ikonnu=an をそのまま訳せば「私は呪いをかける」となるのだが、それでは、次ページの kenas unarpe i=keske wa 「湿地の化け物婆が私を呪って」とつながらない。したがって、ここでは ikonnu を「呪いをかけられて化け物となった」という意味で解釈している。『神話集成』では、同じ表現を「その呪いにかかった私は」と訳し、その次のオラ ネ ora ne 「そして」という文に対して「アイヌに悪さをしたゆえに」という訳をつけている。これはやはり ikonnu=an を 2 行にわたって解釈していると見るべきところである。ちなみに『アイヌの聖典』では、実の父親が Sirara mekiyo Kamuy mekiyo、実の母親が Cupesikanmat Kamuysikanmat であるという出自によって、化け物とされていることになっている。
- [12] ikonnu pewrep :『アイヌの神典』の「お化熊」の原文もおそらくこれだと思われる。ここでは呪われて化け物となったという解釈をしている。
- [13] a=i=kik : 他の伝承では、出自のせいで化け物になったことになっているので、それを解き明かしたオキクルミに感嘆するという展開になる。したがって、本編のように仔熊を叩くというような展開にはならない。
- [14] iteki ikonnu yan : 話の展開からは、むしろ「呪われないようにしなさい」なのだが、ikonnu 自体は「呪う」という意味なので、こう訳した。『アイヌの神典』などの類話を見る限り、この仔熊は誰かを呪っているわけではなく、ただの熊とは違う出自を持つものとして、恐るべき存在ということだったと思われるが、この話では kenas unarpeなどを登場させたために、ikonnu の意味することが不明になっている部分がある。

### 14-3 カムイユカラ 「オキクルミ ヘペレ (ノオ)」 解説

語り手：鍋澤ねふき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えっと、あのー、私は一匹の小熊でありました。オキクルミカムイの所で養われておった。

鍋澤：XXX humi hawas XXX

萱野：えー、ある日のこと、私の育ての親であるオキクルミカムイが言うことにはもうお前も一人前の、一人前の熊になったので神への国へお帰り願うと、けれども子供、まあ一人前というよりも、まだ、もう神の国へ帰してもいいぐらいの大きさになったけれども、まだ子供であるが故にイナウとかそうしたものを持たずわけにいかないと、だからほかの物を持たしてやるから神の国へお帰りなさいと、この川をずっと上って、koyka wa kus pet [東側を通る川] というのは上って行って、その、東側だな？ koyka wa...

鍋澤：んだんだ

萱野：東側の方を流れている川を上っていくと一つの poru [洞窟] っちゅうのは、ま、洞窟があると、そこへ行くと、んー神様がたくさんお前を待つておるから、そこへいきなさいと言われたので神の国へ、まあ帰って行ったと、言われるままに帰って行って、言われた道そのままにその川を上っていくと、たくさんの神様が集まって何か、まあ飲んでるか、相談しておる。そこへいったと、そして家へもう急に入らずに 2~3 回戸を通り越してから入るようにと言われたので、それを戸を、入口を通り越し、通り越しながら、まあ入った。そしたら、そうして自分の言われたことを父神、母神に言うと、んー、父親が apekes [火の燃え尻] 取ったんだったか？

鍋澤：apepasuy [火箸]

萱野：apepasuy?

鍋澤：うんうん。

萱野：父親が火箸を取りあげて私を殴り、母親は……

鍋澤：apekes。火の……

萱野：火の燃え尻を取って私を殴りつけた。

よくよく見たら、よくよく自分自身の身体を見たら、私は普通の熊ではなくって、アイヌを呪おうとして変なその、まあ普通でない身体つき、すべての格好が変な熊であったと。

それでオキクルミカムイに、そういうふうに言われて神の国へ帰ってきたのであったことが良く分かったという、その小熊の話ですね。  
kamuyyukar〔神謡〕でした。

## 14-4 カムイユカラ

「アイヌモシリ チクニレ カムイ モシリ チクニレ(エーイ  
ノオ一)」

人間界の木の名前と神の国の木の名前

語り：鍋澤ねふき

サケヘ V=エイノ一オ  
einoo

V コタン コロ サボオ 村を持つ姉  
V kotan kor sapo

モシリ コロ サボオ 国土を持つ姉が  
mosir kor sapo

イレスパ キ ワ 私を育てて  
i=respa ki wa

V ランマ カネイ いつもいつも  
V ranma kane

カッコロ カネイ ちゃんと育ててくれて  
katkor kane

オカアン ヒケイ 暮していて  
oka=an hike

V コタン コロ サボオ 村を持つ姉  
V kotan kor sapo

モシリ コロ サポオ  
mosir kor sapo

国土を持つ姉は

ピリカ スケイ  
pirka suke

おいしい料理を

エヤイケスプカ  
eyaykesupka

作るために

エワキタラア  
ewakitara

あちこち動き回って

カパラペ イタンキ  
kaparpe itanki

上等なお椀や

カパラペ オッチケ  
kaparpe otcike

上等なお膳を

ウコエロシキ  
ukoeroski

そろえて

イコイブニイ  
i=koypuni

私に食べさせて

アシヌマ アナク  
asinuma anak

私は

カネ アムセツイ  
kane amset

立派な寝床で

チトウイエ アムセツイ  
cituye amset

切ってある寝床で

アムセツ カタ  
amset ka ta

寝床の上で

トミカヌイエイ tomika-nuye	刀の鞘に彫刻したり
イコロカヌイエイ ikorka-nuye	宝物に彫刻したり
ネプキ ネ アキイ nepki ne a=ki	仕事にして
キ コン ネシン ki kor_nesi	すっかりそうして
オカアン アワ oka=an awa	暮していたが
V ヘムトマニ ワノ V hemtomani wano	このごろ
シリキ シリイ sirki siri	おこったことは
エネ オカ ヒイ ene oka hi	このようなことである。
リクイスイ カリイ rikuysuy kari	煙出し穴から
チヌイエ カンピイ cinuye kampi	文字の書かれた紙が
チラナランケイ cirananaranke	降りてきた
コタン コロ サポオ kotan kor sapo	村を持つ姉

モシリ コロ サポオ  
mosir kor sapo

テムニコロホオ  
temnikoroho

チオランケカラ  
ciorankekar

V コタン コロ サポオ  
V kotan kor sapo

モシリ コロ サポオ  
mosir kor sapo

ヌカラ ヌカラ  
nukar a nukar a

ネア カンピイ  
nea kanpi

ヌカラ ヌカラ  
nukar a nukar a

イタサ パクノ  
itasa pakno

カンピ<sup>。</sup> リキンカ  
kampi rikinka

ノイネ カネン  
noyne kane

イラムアン ナン  
iramu=an na

V イラムピシキレイ 心の中で数えた  
 V irampiskire

アキ ヒケ そうしたら  
 a=ki hike

トウノイワイ スイ 何回も何回も  
 tunoiwan\_ suy

ネ コトムノオ そうしているように  
 ne kotomno

アエサンニヨウ 思って  
 a=esanniyo

V キ ワ ネ アクス いたところ  
 V ki wa ne akusu

コタン コロ サポオ 村を持つ姉  
 kotan kor sapo

モシリ コロ サポオ 国土を持つ姉が  
 mosir kor sapo

イコパクサマン 私のほうを  
 i=kopaksama

ノンカン ランケ 何度もうかがい  
 nonkar\_ ranke

イタク ルスイ ペ 言いたいことあるもの  
 itak rusuy pe

ソネ クス だから  
 sone kusu

トウ イタク カイノン  
tu itak kaynon

二つの言葉のつばを

イコルキ  
ikoruki

(口に出せずに) 飲み込んだ

キ ロク アイネ  
ki rok ayne

あげく

イタク ハウエ  
itak hawe

言った

エネ オカ ヒイ  
ene oka hi

ことには

V アレス カムイ  
V a=resu kamuy

「私が育てた神

アレス ピトウ  
a=resu pito

私が育てた人よ

イタカン チキ  
itak=an ciki

私が言う言葉を

エイヌ カトウウ  
e=inu katu

よく聞いて

エネ オカ ヒイ  
ene oka hi

ください

V ニソシッチュウ イ  
V nisositciw h\_i

雲が大地に突き刺さるところの

イマカケ タア  
imakake ta

その向こうに

ポロ ニッネ カムイ  
poro nitne kamuy

アン ルウェ ネウ  
an ruwe ne

ネア ニッネ カムイ  
nea nitne kamuy

V アイヌ コタン  
V aynu kotan

シサム コタン  
sisam kotan

コタン クルカシイ  
kotan kurkasi

オテク ラチチイ  
otek racici

オケマ ラチチイ  
okema racici

ケムラマシティ  
kemramaste

アン ルウェ ネウ  
an ruwe ne

ネア ニッネ カムイ  
nea nitne kamuy

コイキ クニ クルウ  
koyki kuni kur

大きな悪い神が

暮していて

その悪い神が

アイヌの村や

和人の村を

村の上に

その手をだらりと下げる

その足もだらりと下げる

飢饉を起こそうと

している

その悪い神を

退治しようとする人を

モシリ エピッタ

国中で

mosir epitta

アフナラ ヤッカ

探しても

a=hunara yakka

ポロ ニッネ カムイ

大きな悪い神と

poro nitne kamuy

エトゥナンカラ クル

立ち向かえる人は

etunankar kur

シネン カ イサム

誰もいない

sinen ka isam

V エアニ パテク

あなただけしか

V eani patek

アエオトウワシ

頼れるものはいない

a=e=otuwasi

セコラン ペ クスウ

そのようなことなので

sekor an pe kusu

カンビ ラン シリ

紙が降りてきたようだ

kanpi ran siri

ネ ワ ネ ヤッカ

ではあったが

ne wa ne yakka

ナ エポン キ ワ

まだあなたは小さくて

na e=pon ki wa

アエアプテ クスウ

危ないと思うので

a=e=apte kusu

アエエイカタイタク  
a=e=eykataitak

代わりにしゃべって断り続けた

ネ カンビヒ  
ne kanpihi

その紙を

アリキン カ ヤッカウ  
a=rikin ka yakka

上げても

タネ アナクネ  
tane anakne

今はもう

トウノイワイ スイ  
tunoowan\_ suy

何回も何回も

カンビ ラン ヤクン  
kanpi ran yakun

紙が降りてきて

アエイタク エアイカプ パクノ  
a=eytak eaykap pakno

返事ができないほど

パクノ オカア コロカ  
pakno oka korka

それほど（手紙が来た）のだが

ポンッカヨ アナク  
pon okkayo anak

若い男は

フオ イキ ペイ  
huo iki pe

フオと気合を掛けて

ネ ルウェ ネ ナン  
ne ruwe ne na

するものですよ

エアラパ エアシリ  
e=arapa easir

あなたであってこそ

エキ ハウエ ネ ナウ  
e=ki hawe ne na

できるという話ですよ」

セコロ オカイ ペイ  
sekoro okay pe

ということを

コタン コロ サポオ  
kotan kor sapo

村を持つ姉

モシリ コロ サポオ  
mosir kor sapo

国土を持つ姉は

イエ ルウエ ネ  
ye ruwe ne

言った

V エアラパ シリ  
V e=arpa siri

「あなたが行く時は

エネ アン クニイ  
ene an kuni

このようにしなさい

V エキムネ レホツ  
V ekimne rehot

山~~へ~~の方へ 6 0

エピシネ レホツ  
episne rehot

浜~~へ~~の方へ 6 0

イナウ エアシイ  
inaw e=asi

イナウを立て

ネ ウトゥルフ  
ne uturuuhu

その間を

イタッコホリピイ  
itakkohoripi

言葉とともに

エキ カネ ワ 舞をして  
e=ki kane wa

エヤイエイノンノイタク ワ エアラパ 祈りの言葉を言って、行く  
e=yayeynonnoytak wa e=arpa

シリ エネアン クニ 時はこうするのですよ  
siri ene an kuni

アイヌ オッ タウ アイヌの所では  
aynu or\_ ta

スス セコロ ヤナギと  
susu sekor

アイエ チクニイ 言われている木が  
a=ye cikuni

カムイ オッ タ 神の国で  
kamuy or\_ ta

アレコ カトゥウ 呼ばれている様子は  
a=reko katu

カミ レタラ クルウ 肉の白い男  
kami retar kur

カミ レタラ マツ 肉の白い女  
kami retar mat

ネ ルウェ ネウ と、言うのである  
ne ruwe ne

アイヌ オッ タ アイヌのところで  
aynu or\_ ta

ケネ セコロ  
kene sekor  
ハンノキと

アイエ チクニイ  
a=ye cikuni  
言われている木が

カムイ オッタ  
kamuy or\_ta  
神の国で

アレコ カトウウ  
a=reko katu  
呼ばれている様子は

カミ フレ クル  
kami hure kur  
肉の赤い男

カミ フレ マツ  
kami hure mat  
肉の赤い女

ネ ルウェ ネ  
ne ruwe ne  
と、言うのである

アイヌ オッタ  
aynu or\_ta  
アイヌの所で

プンカウ セコロ  
punkaw sekor  
ハシドイと

アイエ チクニイ  
a=ye cikuni  
呼ばれている木が

カムイ オッタ  
kamuy or\_ta  
神の国で

アレコ カトウウ  
a=reko katu  
呼ばれている様子は

コパカクセ クル kopakakse kur	そこで火がはねてバチバチなる男
コパカクセ マツ kopakakse mat	そこで火がはねてバチバチなる女
ネ ルウェ ネ ne ruwe ne	と、言うのである
アイヌ オッ タウ aynu or_ ta	アイヌの所で
チクペニ セコロウ cikupeni sekor	エンジュと、
アイエ チクニイ a=ye cikuni	呼ばれている木が
カムイ オッ タ kamuy or_ ta	神の国で
アレコ カトゥウ a=reko katu	呼ばれている様子は
エーコアイアネ……[1] ekoayane...	
フラ トゥナシ クル hura tunas kur	臭いの早い男
ネ ルウェ ネ ne ruwe ne	と、言うのである
アイヌ オッ タ aynu or_ ta	アイヌの所で

アユシニ セコロウ  
ayusini sekor

タラノキと

アイエ チクニイ  
a=ye cikuni

呼ばれている木が

カムイ オッ タウ  
kamuy or\_ta

神の国で

アレコ カトウウ  
a=reko katu

呼ばれている様子は

コアイランケ クル  
koayranke kur

そこへ矢の降りてくる男

コアイランケ マツ  
koayranke mat

そこへ矢の降りてくる女

ネ ルウェ ネ  
ne ruwe ne

と、言うのである

アイヌ オッ タウ  
aynu or\_ta

アイヌの所で

ソコニ セコロウ  
sokoni sekor

ニワトコと

アイエ チクニイ  
a=ye cikuni

呼ばれている木が

カムイ オッ タウ  
kamuy or\_ta

神の国で

アレコ カトウウ  
a=reko katu

呼ばれている様子は

オシパラニ osiparani	尻に糞が広がっている木
ネ ルウェ ネ ne ruwe ne	と、言うのである
イワン チクニイ iwan cikuni	6 種類の木を
イナウ ネ エカラ inaw ne e=kar	イナウに作り
エピシネ レホツ episne rehot	浜辺の方へ 6 0
エキムネ レホツ ekimne rehot	海の方へ 6 0
イナウ エアシイ inaw e=asi	イナウを立て
ネ ウトゥルフ ne uturuuhu	その間に
イタッコホリピイ itakkohoripi	言葉とともに
エキ カネ ワウ e=ki kane wa	舞を舞いながら
エアラパ クニイ e=arpa kuni	行く
ネ ルウェ ネ ナウ ne ruwe ne na	のだ』

セコロカイ ペ  
sekor okay pe

コタン コロ サポオ  
kotan kor sapo

モシリ コロ サポオ  
mosir kor sapo

イエ ルウェ ネ ネノ  
ye ruwe ne neno

エピシネ レホツ  
episne rehot

エキムネ レホツ  
ekimne rehot

イナウ アアシイ  
inaw a=asi

ネ ウトゥルフ  
ne uturuuhu

イタッコホリピイ  
itakkohoripi

アキ ルウェ ネウ  
a=ki ruwe ne

コタン コロ サポオ  
kotan kor sapo

モシリ コロ サポオ  
mosir kor sapo

イヨシマケヘイ  
i=osmakehe 私の背後で

エホリピ° カネイ  
ehoripi kane 舞をした

V パクノ ネ コロ  
V pakno ne kor すると

V コタン コロ サポオ  
V kotan kor sapo 村を持つ姉

モシリ コロ サポオ  
mosir kor sapo 国土を持つ姉が

スツ ケトウシイ  
sut ketusi 祖母から伝わる鞄を

サナサンケイ  
sanasanke 出して

ケトウシ アサム  
ketusi asam 鞄の底に

テックシパレエ  
tekkuspare 手を入れて

カムイ ハヨクペイ  
kamuy hayokpe 神の鎧を

サナサンケエ  
sanasanke 中から出して

アシクルカサム  
a=sikurkasam 私の身体の上に

エオピラサ

広げた (着せかけた)

eopirasa

V ウオッカネクツ

金鎖のベルトを

V uokkanekut

エアラサイネノ

一重に

earsayneno

アヤイコサイエイ

自分の身体に締めて

a=yaykosaye

カムイランケタム

神から授かった刀を

kamuy-ranke-tam

アクッポケチウ

腰にさして

a=kutpokeciw

V カパラペ カサア

薄手の笠<sup>[2]</sup>

V kaparpe kasa

カサ ラントウペ<sup>ペ</sup>

(鎧の兜の) 笠のあご紐を

kasa rantupep

アヤイコユブ

私は締めた

a=yaykoyupu

V キナ トウイエ ホシ

草切る脚綽

V kina tuye hos

ニペシ ポンパキイ

シナの脛当てを

nipes ponpaki

アヤイボクシリイ

足に

a=yaypoksir

カラカラ カネ	つけて
karkar kane	
パクノ ネ コロ	それから
pakno ne kor	
コタン コロ サポオ	村を持つ姉
kotan kor sapo	
モシリ コロ サポオ	国土を持つ姉が
mosir kor sapo	
シロカネ チヨリイ	銀の草履を
sirokane cori	
サナサンケ	出して
sanasanke	
「タパン チヨリ	「この草履を
“tapan cori	
エウシワ ネ ヤクン	履いたら
e=us wa ne yakun	
タン アトウイ ソ カ	この海原も
tan atuy so ka	
ニシテ ソ ネ	固い原のように
niste so ne	
エカラ カネ ワ	して
e=kar kane wa	
ニソシッチュウ イ	雲が大地に突き刺さる
nisositciw h_i	

イマカケ ウン  
imakake un  
その向こうに

エアラパ キ ワ  
e=arpa ki wa  
あなたが行って

ポロ ニッネ カムイ  
poro nitne kamuy  
大きい悪い神を

エコイキ ヤッカウ  
e=koyki yakka  
やっつけても

パテク ソモ ネ  
patek somo ne  
それだけでなく

V ポクナモシリンノ  
V poknamosir unno  
死者の国まで

ティネ モシリ  
teyne mosir  
湿地の国で

ヤチネ モシリ ウンノ  
yacine mosir unno  
湿った泥の国まで

エアラパ ヤッカウ  
e=arpa yakka  
あなたが行っても

タン…… シロカネ チヨリイ  
tan... sirokane cori  
銀の草履を

エウシ ワ ネ ヤクン  
e=usi wa ne yakun  
履いていたら

コタン クンラリイ  
kotan kunrari  
村の隅の蔭

モシリ クンラリイ  
mosir kunrari

国土の隅の蔭

(ここから散文語りになる)

ネプ エシトマ カ  
nep e=sitoma ka

何も恐れる

ソモ キ ナ  
somo ki na

こともなく

エアラパ ナ セコロ  
e=arpa na sekor

あなたは行くのだよ。と、

アニ パクノ クヌ よ  
an hi pakno ku=nu YO

そこまでしか聞いてないのよ

いたましい もったいない

(萱野茂：あ～そうね)

ほんとによ～

### 【注】

[1] この行は言いよどみ。

[2] カサはサケ（酒）と同じようにアイヌ語になっていると考えた方がよい。

## 14-5 カムイユカラ 「アイヌモシリ チクニレ カムイ モシリ チクニレ (エーイノオ一)」解説

語り手：鍋澤ねふ<sup>き</sup>  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：これはアイヌの所でいう木の名前は、kamuy [神] は何というのかと、  
ゆうようなことが入っているわけだな。今の場合な。

鍋澤：んだんだ。

萱野：うん。だから、

フチ：神様のつけた……

鍋澤：inaw ne a=kar\_ cikuni [イナウを作る木が] こんだけあるんだと。

萱野：うんうん、なるほどな。

鍋澤：iwan cikuni [六つの木、たくさんの木]

萱野：うん。だから、この場合はその今まで聞いたことのない、そういうその  
アイヌとそれから神様の木の呼び方の差が出てるわけだな。

鍋澤：うんうん、んだんだ。あれも Poyyaunpe ne hawe たか [ポイヤウンペ  
の話だか] oro wa suy kotan kor sapo mosir kor sapo hunta kamuy ne  
hawe たか [そこからまた村を領有する姉、国土を領有する姉、何の神様  
の話だか]、まあ……、Poyyaunpe こうでもどうすれっちゅうんだ (?)  
[ポイヤウンペがこうでもどうしろと言うんだ]。

## 14-6 カムイユカラ

「オキクルミ シリカプ（トウスナパヌ）」

オキクルミとかじきまぐろ

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=トウスナパヌ  
tusunapanu

V オキクルミ<sup>[1]</sup> オキクルミと  
V Okikurmi

V サマユンクル<sup>[2]</sup> サマユンクルが  
V Samayunkur

V ウトウラ ヒネ 一緒に  
V utura hine

V レパ クス アラキ 沖にカジキマグロ漁のために来て  
V repa kusu arki

V エトコホ タ その先で  
V etokoho ta

V カンペ クルカ (私は) 波の上に  
V kanpe kurka

V チヨシブス 浮かび上がった  
V c=osipusu

V アラキ ヒネ (ふたりが) 来て  
V arki hine

V ホシキノボ  
V hoskinopo

V サマユンクル  
V Samayunkur

V イシリコオッケ  
V i=sirkootke

V キ プ ネ コロカ  
V ki p ne korka

V アヌ フミ カ  
V a=nu humi ka

V オアリサム ノ  
V oar isam no

V トウ アトウイ ペンルル  
V tu atuy penrur

V チエキラ  
V c=ekira

V トウシ サラケシ タ  
V tus sarkes ta

V コムケ コムケ  
V komke komke

V キ プ ネ コロカ  
V ki p ne korka

V チヌ イ カ イサム ノ  
V ci=nu h\_i ka isam no

トウ アトイ ペンルル 二つの海の縁を  
 tu atuy penrur

V チエキラ 引き連れて逃げ回った  
 V c=ekira

V キ ロク アイネ あげく  
 V ki rok ayne

V タネ アナクネ 今は  
 V tane anakne

V サマユンクル サマユンクルが  
 V Samayunkur

V シンキ イポロ 疲れた顔つきで  
 V sinki ipor

V エイポットウムマ その顔つきからして  
 V eypottumma

V シンナ カネ 以前と違っていて  
 V sinna kane

V キ ロク アイネ さんざん疲れたあげく  
 V ki rok ayne

V チポ…… チプ ウプソッ タ 舟の懷に  
 V cipo... cip upsor\_ ta

V ヤイラメコモ 倒れた。  
 V yayramekomono

オロワノ それから  
 orowano

V オキクルミ 今度はオキクルミが  
 V Okikurmi

V イシリコオッケ 再び、私を錆で突いて  
 V i=sirkootke

V キ プ ネ コロカ そうしたけれど  
 V ki p ne korka

アヌ フミ カ イサムノ スイ 私は再び知らんぷりをして  
 a=nu humi ka isamno suy

トウ アトウイ ペンルル 二つの海の縁を  
 tu atuy penrur

V チエキラ 連れて逃げ回って  
 V c=ekira

V ネイ タ パクノ どこまでも  
 V ney ta pakno

V オキクルミ オキクルミが  
 V Okikurmi

V ペウレ フムセ 若い 掛け声を  
 V pewre humse

V エヤイオフムセ 自分に掛け声をかけて  
 V eyay'ohumse

V ウシヒタラ 掛けながら  
 V usihitara

V トウシ サラケシ タ 綱尻に  
 V tus sarkes ta

V コムケ コムケ 身体を曲げ曲げして  
 V komke komke

V キ プ ネ コロカ そうしたものだけれど  
 V ki p ne korka

V トウ アトウイ ペンルル 二つの海の縁を  
 V tu atuy penrur

V チエキラ 私は逃げ回って  
 V c=ekira

V キ ロク アイネ あげく  
 V ki rok ayne

V オキクルミ カ タネ オキクルミも今はもう  
 V Okikurumi ka tane

シンキ イポロ 疲れた顔つきで  
 sinki ipor

V エイポットウム マ その顔つきからして  
 V eypottom w\_a

V シンナ カネ すっかり変わっていて  
 V sinna kane

V テク トウイポキ 手の下側と  
 V tek tuykasi

V テク トウイカシ 手の上側に  
 V tek tuykasi

V トウ ケム ポッピセ 二つの（たくさん）の 血豆が  
 V tu kem poppise

V エラチッケ ぶら下がり  
 V eracitke

V キワネコロ そうしながら  
 V ki wa ne kor

V エネイタキ 言う事には  
 V ene itak h\_i

V タンウェンシリカブ 「この悪いカジキマグロめ  
 V tan wen sirkap

V シルンウェイシリカブ 本当に悪いカジキマグロめ  
 V sirun-wen\_sirkap

V エヤイオッシウェン 気が進まずに  
 V eyayossiwen

シンネ ヤクン いるのなら  
 sinne yakun

トウサトウイエクスネナ 私は綱を切るのですよ  
 tus a=tuye kusu ne na

V タンテワノ これから  
 V tan te wano

V エアラパアイネ お前が行ったら  
 V e=arpa ayne

V キテアナクネ 錯先は  
 V kite anakne

V ポネネクス 骨でできているので  
 V pone ne kusu

V キテ ノッ アナク  
V kite not anak

V カネ ネ クス  
V kane ne kusu

V エオッシケ ウン  
V e=ossike un

V ポネ ケウレ フム  
V pone kewre hum

V カネ キッキクム  
V kane kikkik h\_um

V ウオプク カネ  
V uopuk kane

V オパナクネ  
V op anakne

V シウリ ネ クス  
V siwri ne kusu

V エアラケヘ ワ  
V e=arkehe wa

V シウリ タイ ヘトウク  
V siwri tay hetuku

トウシ アナクネ  
tus anakne

V ハイ ネ クス  
V hay ne kusu

V エアラケヘ ワ お前の体の片側から  
 V e=arkehe wa

V ハイ サレトウク イラクサの原が生い茂り  
 V hay sar h\_etuku

V エアラパ ポカ お前がやっと行くことも  
 V e=arpa poka

V コヤイクシ アイネ できなくて  
 V koyaykus ayne

V エエカリ お前に向かって  
 V e=ekari

V エウン セセク レラ 熱い風が  
 V eun sesek rera

V ポプケ レラ 暖かい風が  
 V popke rera

V エク ワ ネ ヤクン 吹いて来たら  
 V ek wa ne yakun

V エエサンペヘ お前の肝は  
 V e=esanpehe

V サッナタラ からからになり  
 V satnatara

V エアラパ ポカ 進むことも  
 V e=arpa poka

V ニウケシ アイネ できないでいるうち  
 V niwkes ayne

V シシリムカ[3] 沙流川の  
V Sisirmuka

V サノプトゥフ 河口近くに  
V sanoputuhu

V エオヤン ヤクン 岸に上がったら  
V e=oyan yakun

V ウサ ウエイ セタ いろいろ悪い犬や  
V usa wen\_seta

V ウサ チロンヌプ いろいろな狐や  
V usa cironnup

V ウサ ウエン チカブ いろいろな鳥が  
V usa wen cikap

V ウエンノ ウエンノ ぞんざいに、  
V wenno wenno

V エトクパトクバ お前を突っついで突っついで  
V e=tokpatokpa

V エリシバリシバ お前をむしってむしって  
V e=risparispa

V エカ ウノクイマ お前にウンコやら  
V e=ka un okuyma

V エカ ウノソマ おしっこやらをかけられて  
V e=ka un osoma

V ネ ワ アンペ それで  
V ne wa anpe

V

V

(ここから散文語りになる)

エエヤイカムイネレ ナ 立派な神になるであろうよ  
e=eyaykamuynere na

ホクレ アラパ セコロ ハウェアン コロ さっさと行け」と言いながら  
hokure arpa sekor hawean kor

オキクルミ と、オキクルミが言って  
Okikurmi

トウシ トウイエ ヒケ 綱を切ったけれど、  
tus tuye hike

(ここから韻文語りに戻る)

アイヌ イタク (たかが) 人間の言葉  
aynu itak

V ネ ワ オカイペ であるものを (と)  
V ne wa okay pe

V ヤイヌアン クス 思ったので  
V yaynu=an kusu

V ラウケミナ 含み笑いをして  
V rawkemina

V アウウェスイエ 面白がって  
V a=uesuye

V アラパアン アワ ずう一つと行ったところ  
V arpa=an awa

V ソンノ ポカ  
V sonno poka

V アラパアン アイネ  
V arpa=an ayne

V アオッシケ ウン  
V a=oossike un

V ポネ ケウレ フム  
V pone kewre hum

V カネ キッキク フム ウウォプク カネ  
V kane kikkik hum uopuk kane

アアラケヘ ワ  
a=arkehe wa

V ハイ サレトウク  
V hay sar h\_etuku

V アアラケヘ ワ  
V a=arkehe

V シウリ タイ ヘトウク  
V siwri tay hetuku

V アラパ ポカ  
V arpa poka

V アエアイカブ アイネ  
V a=eaykap ayne

V  
V

(ここから散文語りになる)

ソンノ ポカ シシリムカ  
sonno oka Sisirmuka

サノプトウ タ ヤナン  
sanoputu ta yan=an

ル ネ アクス  
ru ne akusu

ウサ ウエン チカブ  
usa wen cikap

ウサ チロンヌブ  
usa cironnup

ウサ ウエイ セタ  
usa wen\_seta

アラキ ワ  
arki wa

ウェンノ ウェンノ  
wenno wенно

イリシパリシバ  
i=risparispa

イトクパトクバ  
i=tokpatokpa

アイネ イカ ウノソマ  
ayne i=ka un osoma

本当に、沙流川の

河口に上陸した

すると

いろいろ悪い鳥や

いろいろな狐や

いろいろ悪い犬が

来て

ぞんざいに

私をむしってむしって

私を突っついて突っついて

あげく、私にウンコをかけ

イカ ウノクイマ オシッコをかけ  
i=ka un okuyma

トイコムニンアン オアシ シンネ ナ すっかり腐ってしまう様子です。  
toykomunin=an oasi sinne na

タネ オカ シリカブ だから今いるカジキマグロよ  
tane oka sirkap

イテキ ヤイエオッシウェン ャン 根性が悪くてはいけませんよ<sup>[4]</sup>  
iteki yayeossiwen yan

セコロ と、  
sekor

シリカブ ハウェアナウ カジキマグロが言ったのを  
sirkap hawean h\_aw

フンナ ヌ ハウェ 誰が聞いたんだろうね  
hunna nu hawe

### 【注】

[1] オキクルミ Okikurmi は「伝説の主人公。 Samayunkur サマユンクル と対で語られることが多い」(『沙流方言辞典』P462)。

[2] サマユンクル Samayunkur は「伝説の主人公。 Okikurmi オキクルミ と対になって、たいてい悪い役回りで登場する」(『沙流方言辞典』P602)

[3] シシリムカ Sisirmuka は沙流川のこと。主に韻文の物語中で使われる言い方。

[4] 「根性を悪くする」とは、具体的には、人間に捕られるのを嫌がるということ。

## 14-7 ウエペケレ

「オタサムンクル」

オタサムの人

語り：鍋澤ねふき

タ…… オタサム シコロ アイエ ウシケ タ オカアン ルウェ ネ シコロ  
 ta... Otasam sekor a=ye uske ta oka=an ruwe ne sekor  
 オタサムというところに私たち暮らしているのだと

アユピヒ ハウェアン コロ  
 a=yupihi hawean kor  
 私の兄が言いながら

アユピヒ トゥラノ オカアン ヘカチ アネ  
 a=yupihi turano oka=an hekaci a=ne  
 私は兄と一緒に暮らしている子供で

マク ネ ワ ネ ルウェ ネ ア シネ チセ ネノ オカアン ペ ネ ヒケ  
 mak ne wa ne ruwe ne y\_a sine cise neno oka=an pe ne hike  
 どのような訳であるのか、一軒だけで暮らしていく

クンネイワ アン コロ…… パタパラセ アエプ アン マ アエ  
 kunneywa an kor... pataparse aep an w\_a a=e  
 朝になると、湯気の立った食事があつて、それを食べ

オヌマン アン コロ スイ  
 onuman an kor suy  
 日が暮れるとまた

セセク アペ…… アエプ アン マ アエ コロ オカアン  
 sesek ape... aep an w\_a a=e kor oka=an  
 熱い食べ物があつて、それを食べながら暮らしていた

アユピ トウラノ キ プ ネ アイケ…… アクシ  
 a=yupi turano ki p ne ayke... akus  
 兄とともにそうして暮らしていたところ

アユピヒ タネ ポロ ヘカチ ネ ワ オカアン ペ ネ ア プ  
 a=yupihi tane poro hekaci ne wa oka=an pe ne a p  
 兄は今や大きな少年になって暮らしていたのであったが

エネ ハウェアニ  
 ene hawean h\_i  
 兄はこのように言った

「ウェン カス ミシムアン クス トオ イアラモイサム タ コタン……  
 “wen kasu mismu=an kusu too iarmoysam ta kotan...  
 「あまりにも寂しいので、ずっとあちらの対岸に

コタン アン クス エウン シネウパアン ロ」  
 kotan an kusu eun sinewpa=an ro”  
 村があるのでそこへ遊びに行こう」

セコロ ハウェアン コロ イトウラ ヒネ パイエアン ルウェ ネ アクス  
 sekor hawean kor i=tura hine paye=an ruwe ne akusu  
 と言いながら私を連れて出かけて行くと

ソンノカ イ…… イアラモイサム タ インネ コタン アニネ オロ タ……  
 sonnoka i... iarmoysam ta inne kotan an h\_ine oro ta...  
 本当に、対岸に大きな村があつてそこに

オロ タ パイエアニネ  
 oro ta paye=an h\_ine  
 そこに出かけて行って

コタン ノシキ タ モシリ パク チセ アン イケ タ  
 kotan noski ta mosir pak cise an h\_ike ta  
 村の真ん中に島ほどもある大きな家があつて

ソイ タ ミムタラ カ タ ロカニネ オカアン アクス  
 soy ta mimtar ka ta rok=an h\_ine oka=an akusu  
 その外の庭の所に座っていると

ピリカ ポン メノコ ソイネ ヒネ イヌカラ アクス オラウン  
 pirkka pon menoko soyne hine i=nukar akusu oraun  
 美しい若い娘が出てきて、私たちを見るとそれから

チセ オルイ イエ ハウェ アシ アクス オラ  
 cise or un\_ ye hawe as akusu ora  
 家に向かって声をかけると

オンネクル イタク ハウ エネ ハウェアシ  
 onnekur itak haw ene haweas  
 老人の声がこう聞こえた

「ネイ ワ アラキ ヘカッタラ  
 “ney wa arki hekattar  
 「どこから来た子供たちが

オカ ハウェ ネ…… ハウェ ネ ヤッカ  
 oka hawe ne...hawe ne yakka  
 いるというのであろうとも

エアフpte イケ マク？」  
 e=ahupte h\_ike mak?"  
 入れてやつたらどうだ？」

セコロ ハウェアン  
 sekor hawean  
 と言った

オラ ソイネ ヒネ イアフンテ クス イエ ヒネ  
 ora soyne hine i=ahunte kusu ye hine  
 それから若い娘が出てきて私たちに入るように言って

オラ アフパン アクス  
ora ahup=an akusu

それから私たちが入ってみると

チャチャ カムイ アン、ルプネマッ カムイ アン  
caca kamuy an, rupnemat kamuy an

老爺がおり、老嫗がおり

オラ ポン メノコ シネ プ アン  
ora pon menoko sine p an

それから若い娘が 1 人いた

イネ オラ ネア チャチャ カムイ アユピ エランカラプ ヒネ  
h\_ine ora nea caca kamuy a=yupi erankarap hine

それからその老爺が兄に会釈をして

オラ コウェペケンヌ  
ora kowepenkennu

それから訪ねた

「フナク ワ アラキ ヘカッタラ エチネ ルウェ アン？」

“hunak wa arki hekattar eci=ne ruwe an?”

「おまえたちはどこから来た子供たちなのだ？」

セコロ ハウエアン ア クス  
sekor hawean a kusu

と言うので

「オタサム タ オカアン ア コロカ

“Otasam ta oka=an a korka

「オタサム村に暮らしているのですが

ミシムアン マ エネ アラキアニネ」

mismu=an w\_a ene arki=an h\_i ne”

退屈していたのでやってきたのです」

セコロ ハウェアン アクス

sekor hawean akusu

と言ったところ

カンナ ルイノ イコシピシビ<sup>°</sup>

kanna ruyno i=kosipisipi

またこちらを振り向いて

「オタサム タ カムイ レシパ ヘカッタラ

“Otasam ta kamuy respa hekattar

「オタサム村に神が育てた子供たち

カムイ ヘカッタラ オカ ヤク アイエ ロク ペ アラキ ハウェ ネ」

kamuy hekattar oka yak a=ye rok pe arki hawe ne”

神のような子供たちがいると言う者がやってきたのだな】

セコロ ハウェアン コロ イルイルイバ<sup>°</sup>

sekor hawean kor i=ruyruypa

と言いながら私たちを撫で

オラ ウトウル ペカ

ora utur peka

それから下座を通って

ネア ルプネマツ カムイ エク ワ スイ イルイルイバ<sup>°</sup> ア ヒネ

nea rupnemat kamuy ek wa suy i=ruyruypa a hine

その老嫗が来てまた私たちを撫でて

オカアン ルウェ ネ ア プ

oka=an ruwe ne a p

そうしていると

「トウ ポ アコロ ルウェ ネ ア プ

“tu po a=kor ruwe ne a p

「私たちには子供が 2 人いるのだけれど

エキムネ パ ウイサム マ タネ  
 ekimne pa wa isam w\_a tane  
 山に行っていてもう

(録音者〔萱野〕発言)

タネボ…… タネ イワク パ ナンコロ」  
 tanepo... tane iwak pa nankor”  
 もう帰ってくるでしょう」

セコロ ハウェアン  
 sekor hawean  
 と言った

オカアン アクス オロタ ソンノカ イワク ウタラ サヌミ アシネ  
 oka=an akusu oro ta sonnoka iwak utar san h\_umi as h\_ine  
 そうしていると、そこに本当に帰ってくる人々が下がってくる音がして

エ…… ロルン プヤラ カリ  
 e... rorun puyar kari  
 神窓から

ネア ポン メノコ イコカマフプテ。イエ アアニネ  
 nea pon menoko i=kokamahupte. ye aan h\_ine  
 その若い娘がこちらに向かって肉を入れ、事情を話したようで

ネロク オッカイボ ウタラ ソイ タ シピタッパ ワ  
 nerok okkaypo utar soy ta sипitappa wa  
 その若者たちは外で上着を脱ぎ

アフピネ オラウン エネ ハウォカ イ  
 ahup h\_ine oraun ene hawoka h\_i  
 入ってきてそれからこのように言った

オリパクノ アフピネ エネ ハウォカ イ  
 oripakno ahup h\_ine ene hawoka h\_i  
 かしこまりながら入ってきてこう言った

「フナク ワ パヨカ ヘカッタラ オカ ルウェ アン マ  
 “hunak wa payoka hekattar oka ruwe an w\_a  
 「どこからやってきた子供たちなのか、

アオナハ ウエペケンヌ ア ルウェ？」  
 a=onaha uepekennu a ruwe?”  
 お父さん聞きましたか？」

セコロ ハウェアン アクス  
 sekor hawean akusu  
 と言うと

「ウエペケンヌアン マ タシ  
 “uepekennu=an w\_a tasi  
 「聞いたところ

オタサム タ カムイ ヘカッタラ  
 Otasam ta kamuy hekattar  
 オタサム村に神の子供たち

カムイ レシパ ヘカッタラ オカ ヤク アイエ ロク ペ アラキ ルウェ ネ」  
 kamuy respa hekattar oka yak a=ye rok pe arki ruwe ne”  
 神が育てた子供たちがいると言われていた者がやって来たのだ」

セコロ ハウェアン アクス スイ カンナ ネロク オッカイポ ウタラ カ  
 sekor hawean akusu suy kanna nerok okkaypo utar ka  
 といったところ、またその若者たちも

イ…… イエランカラプ パ…… イルイルイパ パ コロ  
 i... i=erankarap pa... i=ruyruypa pa kor  
 私たちに挨拶をしたり撫でたりしていて

オラウン フイペ オロ エムシ クシパレ ワ アイコブンパ ワ アエ  
 oraun huype or emus kuspare wa a=i=kopunpa wa a=e  
 それから肝臓を刺身にして私たちにくれたので食べてみた

イネアプ ケラアン マ フマサ カ アエラミシカリノ アエ ルウェ ネ イネ  
 ineap keraan w\_a humas y\_a ka a=eramiskarino a=e ruwe ne h\_ine  
 それまで食べた事もない美味に舌鼓を打ったのだった

オラノ イオマプ ロク イオマプ ロク コロ オカアナイネ  
 orano i=omap rok i=omap rok kor oka=an ayne  
 それから私たちはたいへんに可愛がられているうちに

エネ…… ネア チャチャ カムイ エネ ハウェアン……  
 ene... nea caca kamuy ene hawean...  
 その老爺がこう言った…

ネロク オッカイポ ウタリ  
 nerok okkaypo utari  
 その若者たち

オッカイポ ウタラ ホシキ エネ ハウェオカ イ  
 okkaypo utar hoski ene haweka h\_i  
 若者たちがまずこう言った

「アコロ ヘカッタラ フンタ シノ マク イキアン マ  
 “a=kor hekattar hnta sino mak iki=an w\_a  
 「うちの子供たちはいったい何こそ本当に何をして

フンタ アエレパ マク イキアン マ  
 hnta a=erepa mak iki=an w\_a  
 何を食べさせどのようにすれば

エラムリテン マ パイエ クニ プ  
 eramuriten w\_a paye kuni p  
 心を和ませて帰るものでしよう

アコロ ヘカッタン ネ ルウェ アン？」  
 a=kor hekattar\_ne ruwe an?"  
 うちの子供たちは」

セコロ ハウオカ

sekor hawoka

と言った

ハウエアナクス ネア チャチャ カムイ エネ ハウェアニ

hawean akusu nea caca kamuy ene hawean h\_i

言ったところその老爺はこう言った

「ニサッタ ネ アン ヤクン キム タ エチエキムネ ワ

“nisatta ne an yakun kim ta eci=ekimne wa

「明日になったなら、山に行って

エチウコ…… エチウコユコケウェ ヘネ キ ワ ヤク タシ

eci=uko... eci=ukoyukokewe hene ki wa yak tasi

シカの追い込み獵でもしたならばこそ

アコロ ヘカッタラ エキロロアン マ パイエ ネク」

a=kor hekattar ekiroroan w\_a paye nek”

うちの子供たちは喜んで帰るだろう」

セコロ ハウェアン アクス

sekor hawean akusu

と言ったので

「オハイネ オハイネ ネノ タシ イキアン ヤクネ

“ohayne ohayne neno tasi iki=an yakne

「なるほどなるほど、きっとそのようにしたならば

アコロ ヘカッタラ エラマシバ

a=kor hekattar eramaspa

子供たちは楽しみ、

エエキロロアン マ パイエ ヒ タシ ネ ネク！」

eekiroroan w\_a paye hi tasi ne nek!”

喜んで行くに違いない！」

セコロ ハウェオカ ヒネ オラノ レウシ オカアン  
 sekor haweoka hine orano rewsu oka=an  
 と言つて、それから私たちはその晩を過ごした

イシムネ ヒケン…… イニスク パワ  
 isimne hike n... inisuk pa wa  
 翌日になり、人を頼んで

コタヌ ウン オッカイポ ウタラ ニスク パヒネ インネアン  
 kotanu un okkaypo utar nisuk pa hine inne=an  
 その村の若者たちに頼んで大勢連れ立つて

インネ パヒネ エキムネ パヒネ  
 inne pa hine ekimne pa hine  
 大勢で山狩りへ行って

アトウラ ヒネ エキムネアン アクス ソンノカ  
 a=tura hine ekimne=an akusu sonnoka  
 私たちもついて行き山狩りへ行くと、本当に

イネアプ イウォロ カ ピリカ ワ シラナ カ アエラミシカリ プ  
 ineap iwor ka pirka wa siran y\_a ka a=eramiskari p  
 狩場の何と素晴らしいことか見たこともないほどで

オラノ ウコユコケウパ ワ インネ ユク トパ アラキ ワ  
 orano ukoyukokewpa wa inne yuk topa arki wa  
 それからシカの追い込み猟をして、大勢のシカの群れが来て

オラノ アン…… チョッチャ ロク チョッチャ ロキネ ロンヌ パヒネ  
 orano an... cotca rok cotca rok h\_ine ronnu pa hine  
 それを射つて射つて仕留めて

オラウンン…… イケ アユピ トウラノ アンア プ  
 oraun n... h\_ike a=yupi turano an a p  
 それから、私は兄と一緒にいたのだが

トオプ トウイマノ ロカニネ  
toop tuymano rok=an h\_ine  
ずっと離れて座っていて

イウォロインカララン ルウェ ネ アクス  
iworoinkar=an wa oka=an ruwe ne akusu  
狩場に目をやっていると

イネロク ユク リ パ ルウェ ネ アクス  
inerok yuk ri pa ruwe ne akusu  
それらのシカを解体したところ

オ…… コント ウコエマカロシキ ペコロ イキ パ ワ  
o... konto ukoemakaroski pekor iki pa wa  
今度は立ちすくんだような様子で

ウトムカヤイルケ (?) ペコロ イキ パ アイネ  
utomkayayruke(?) pekor iki pa ayne  
互いに折り重なるようにして（走ってきて）

イサム タ アラキ ヒネ エネ ハウェオカ イ  
i=sam ta arki hine ene haweoka h\_i  
私たちの側に来てこう言った

「マカナク ネ ルウェ?  
“makanak ne ruwe?  
「どうしたことだ?

ポヘネ ポロ アペコロ アン アプカ アリ アクス オッシケ ワ  
pohene poro apekor an apka a=ri akusu ossike wa  
一際大きそうな雄ジカを解体したら腹の中から

ン…… イワン ポン ルプネ アイヌ イワン ペ ソイエンパ ルウェ ネ ワ  
n... iwan pon rupne aynu iwan pe soyenpa ruwe ne wa  
6人の小男が、6人が出てきたのだ

マク ネ クス エネ シリキ イ アン？」

mak ne kusu ene siriki h\_i an?”

いったいなぜこんなことがあるのだ？」

セコロ ハウォカ アクス アユピヒ エネ ハウェアニ……

sekoro hawoka akusu a=yupihi ene hawean h\_i...

と言うと私の兄は

ソモ ネプ イエ ノ アン アイネ エネ ハウェアニ

somo nep ye no an ayne ene hawean h\_i

何も言わずにいてやがてこう言った

「ハウエ ネ チキ ヘタク……

“hawe ne ciki hetak...

「ならば、さあ

エピシネ レホツ エキムネ レホツ イナウ エチアシ ワ

episne rehot ekimne rehot inaw eci=asi wa

浜へ向かって 60 本、山へ向かって 60 本木幣をあなたたちは立てて

オラウン エチイタクホリビ° コロ エチハウオカ ハウエ エネ アニ

oraun eci=itakkohoripi kor eci=hawoka hawe ene an h\_i.

それから呪いの踏み舞をしながら唱える事はこうです

『トオブ ニソシッチウ イ イマカケ ウン

‘toop nisositciw h\_i imakake un

『ずっと、地の果ての向こう側へ

エチパイエ クニ プ ネ ルウェ ネ ナ』

eci=paye kuni p ne ruwe ne na'

お前たちは行くのだ』

セコロ エチハウオカ コロ エチウホリビレ ヤク ピリカ」

sekoro eci=hawoka kor eci=uhoripire yak pirka”

と貴方たちは唱えながら、呪いの踏み舞をして下さい」

セコロ アユピ ハウェアン アクス  
 sekor a=yupi hawean akusu  
 と兄が言うと

オラノ ネノ インネ パ プ ネ クス  
 orano neno inne pa p ne kusu  
 それからそのように大勢いたので

イナウ トウイパ パ ワ エキムネ レホッ エピシネ レホッ  
 inaw tuypa pa wa ekimne rehot episne rehot  
 木幣を切って、山手へ 60 本、浜手へ 60 本

イナウ ロシキ パ ヒネ  
 inaw rosiki pa hine  
 木幣を立てて

オラ ウトゥル…… ネ ウホリピレパ ルウェ ネ アクス  
 ora uturu... ne uhoripirepa ruwe ne akusu  
 それからその間で、呪いの踏み舞をしたところ

ネア ネ…… ポン ルプネ アイヌ  
 nea ne... pon rupne aynu  
 その、小男たちは

ウェン トイラ ウエン ムニラ シオコッパ ヒネ  
 wen toyra wen munira siokotpa hine  
 ひどい土埃、ごみの煙を後に残して

トオ ヘレパシ レラコホプニ イネ パイエ ワ イサム  
 too herepasi rerakohopuni h\_ine paye wa isam  
 遥か沖合へ風を巻いて飛び去って行ってしまった

「タネ ピリカ シリ ネ」  
 “tane pirka siri ne”  
 「もう大丈夫」

セコロ アユピヒ ハウェアン  
 sekor a=yupihi hawean  
 と兄は言った

ヒネ オラウン イワカン パ ヒネ  
 hine oraun iwak=an pa hine  
 それから私たちは帰って

ネロク ユク…… ピリカ イケ セ パ ワイワク パ アイネ  
 nerok yuk... pirka h\_ike se pa wa iwak pa ayne  
 そのシカの良いものを背負って帰ってからとうとう

ネア オンネ クル エウン イエ パ ルウェ ネ アクス  
 nea onne kur eun ye pa ruwe ne akusu  
 その老爺に話したところ

「アコロ ヘカッタラ アラキ イ イサム ア ヤクン エアラキンネ アン……  
 “a=kor hekattar arki h\_i isam a yakun earkinne an...  
 「この子供たちが来てくれなかつたら大変に

アコタヌ オロケ ウウォマ クニ プ ソモ ネ アン ハウェ ネ。  
 a=kotanu orke uoma kuni p somo ne an hawe ne.  
 私たちの村は皆そろってはいられなかったのだ。

フナク タ エパク アコロ ヘカッタラ アラキ クス  
 hunek ta epak a=kor hekattar arki kusu  
 ちょうどいいところにこの子供たちが来てくれたので

エネ ネ ハウェ アニ アン」  
 ene ne hawe an h\_i an”  
 こうなつたのだ」

セコロ ハウェアン コロ オロワノ スイ  
 sekor hawean kor orowano suy  
 と言いながら、それからまた

イナウ ロシキ パ ヒ カムイノミ パ ヒ イ…… ルウェ ネ ヒネ  
 inaw rosaki pa hi kamuynomi pa hi i... ruwe ne hine  
 木幣を立てて、神々に祈って

オラウン…… スイ トリ トリ オカアニネ オラウン  
 oraun... suy tori tori oka=an h\_ine oraun  
 それから、またそこに逗留して過ごしていてそれから

ネア アウニ ウン ホシッパアン クスネ ウシケ タ  
 nea a=uni un hosippa=an kusune uske ta  
 私たちの家へ帰ろうとする時に

「フンタ シノ アコロ ヘカッタラ  
 "hnta sino a=kor hekattar  
 「いったい何をうちの子供たちへの

アエコヤヤッタサ…… チキ ピリカ プ ネ ルウェ アン？」  
 a=e=koyayattasa... ciki pirka p ne ruwe an?"  
 御礼にしたら良いかな？」

セコロ ハウェアン ア クス アユピヒ エネ ハウェアニ  
 sekor hawean a kusu a=yupihi ene hawean h\_i  
 というので、兄はこう言った

「ネプ カ ア…… アコン ルスイ カ ソモ キ コロ  
 "nep ka a... a=kor\_rusuy ka somo ki kor  
 「何も、私たちは欲しくはないけれど

パテク アコン ルスイ ペ アイヌ ネ ルウェ ネ ナ  
 patek a=kor\_rusuy pe aynu ne ruwe ne na  
 ただ欲しいのは仲間なのです

フンタ ン…… アイヌ イコウサライエ ワ イコレ」  
 hunta n... aynu i=kousaraye wa i=kore"  
 どうぞ、人を分けて下さい」

セコロ ネア アユピヒ ネア チャチャ カムイ エウン ハウェアン ア プ  
 sekor nea a=yupihi nea caca kamuy eun hawean a p  
 と兄はその老爺に言ったのだが

「ピリカ ハウェ ネ ネ」  
 “pirka hawe ne ne”  
 「良いとも！」

セコロ ハウェアン コロ オラウン、インネ ウタリ イトゥラ ヒネ  
 sekor hawean kor oraun, inne utari i=tura hine  
 と言いながら、それから、大勢の人が私たちに付いて

ネア アウニ ソイケ タ パイエアニネ ル…… ネア  
 nea a=uni soyke ta paye=an h\_ine ru... nea  
 あの私たちの家の外まで行って、あの

ソイネ ワ イアフンテ クス イエ ア ポン メノコ カ イトゥラ  
 soyne wa i=ahunte kusu ye a pon menoko ka i=tura  
 外に出てきて私たちを家に入るよう言つた若い娘も付いて来て

オラウン ピリカ オッカイポ ウムレク スイ イトゥラ  
 oraun pirka okkaypo umurek suy i=tura  
 それから良い若夫婦もまた私たちについてきて

オラ エモシマ インネ ウタリ イトゥラ ヒネ オラノ  
 ora emosma inne utari i=tura hine orano  
 それからそのほかにも大勢が付いて来てそれから

ナニ チセカラ パ エウモンカタオルン イネ  
 nani cisekar pa ewmonkataorun h\_ine  
 すぐに家づくりに協力しあって

ネア ウムレク ウタラ オロ タ アアヌ  
 nea umurek utar oro ta a=anu  
 その夫婦たちはそこに住まわせた

オラ ネア ネア ポン メノコ ネ ヒケ…… アユピヒ アコレ ヒネ オカアン  
 ora nea nea pon menoko ne hike... a=yupihi a=kore hine oka=an  
 それからその、その若い娘は、兄にめとらせて暮らした

オラノ オヤチキ アユピヒ ポンラム ワノ  
 orano oyaciki a=yupihi ponram wano  
 それから、やはり兄は物心つくころから

ポニ ワノ ウエインカラ ペ ネ アアン ヒネ  
 pon h\_i wano ueinkar pe ne aan hine  
 幼いころから巫力が強かったので

エネ シ…… エネ ネ クニ ヌカラ ワ イシレニ ネ アアニネ  
 ene si... ene ne kuni nukar wa i=siren h\_i ne aan h\_ine  
 こうなることを見抜いて、私を誘ったのだった

「クシケライ ネ イアラモイサマ ウン ウタラ シクヌ フミ ネ アアン」  
 “kuskeray ne iarmoysama un utar siknu humi ne aan”  
 「そのおかげで、あの対岸の人々も生きのびたのだったのだ」

セコロ ハウォカ コロ オラノ  
 sekor hawoka kor orano  
 と言いながら、それから

イネアブ エヤイライケ パ ワ ハワアサ カ アエラミシカリ ノ  
 ineap eyairayke pa wa hawas y\_a ka a=eramiskari no  
 どれほど感謝し称えるのか分からぬほどであった

オラウン オラウン コント スイ  
 oraun oraun konto suy  
 それから、それから今度また

スイ ウムレク ウタラ スイ アラキ ヒネ イソイケ タ オカ  
 suy umurek utar suy arki hine i=soyke ta oka  
 また夫婦の者がまたやってきてうちの外に暮らした

ト…… レ チセ ネ オカアン

to... re cise ne oka=an

3軒の村になって暮らした

オラノ レ チセ ネ オカアン ペ ネ ア コロカ

orano re cise ne oka=an pe ne a korka

それから3軒の家になって暮らしていたのだが

ネ アユピヒ ウエインカラ ペ ネ クス

ne a=yupihi ueinkar pe ne kusu

兄は巫力が強いものだから

ネイ タ アン アエラナク ペ ネ ヤッカ ヌカラ コロ イエ ワ

ney ta an a=eranak pe ne yakka nukar kor ye wa

どこで困ったことがあっても見通してそれを語り

ソレクス トウ アタイシリ レ アタイシリ アコレ

sorekusu tu atay siri re atay siri a=kore

それこそ2度3度と礼をされ

コロ インカラナクス

kor inkar=an akusu

(そう) しながら見ると

チウェンテコタン オッタ オカアン ルウェ ネ アアン ヒネ

ciwentekotan or\_ta oka=an ruwe ne aan hine

荒れ果てた村に暮らしていたのだったのに

オラノ アエプコカラパ プ アラキ コロ

orano aepkokarpa p arki kor

それから食べ物を求めて来る者が来れば

チセ カラ ワ オカ アイネ モヨノ アン コタン アネ ワ オラノ

cise kar wa oka ayne moyono an kotan a=ne wa orano

家を立てて暮らしているうち、小さな村だったが、それから

アユビヒ アナク シヌプルクン ネ ワ  
 a=yupih anak sinupurkur\_ ne wa  
 兄は本当の巫者で

エ…… トオプ トウイマ エウ…… トウイマ コタン ハンケ コタン マ  
 e... toop tuyma eu... tuyma kotan hanke kotan w\_a  
 ずっと遠くの、遠くの村や近くの村から

イニン (?) ピシ クニ プ アラキ コロ  
 inin(?) pis kuni p arki kor  
 いろいろ尋ねる者がやって来ると

オラノ トウ アタイシリ レ アタイシリ アコレ ワ  
 orano tu atay siri re atay siri a=kore wa  
 それから2度3度と礼を渡され

ソレクス シノ ニシパ アネ ワ アスラシアン コロ オカアニネ  
 sorekusu sino nispa a=ne wa asurasi=an kor oka=an h\_ine  
 それこそ本当の長者となって噂がたちながら暮らしていく

ア…… アシヌマ カ ピリカ ポンメノコ アイコレ プ ネ クス  
 a... asinuma ka pirka pon menoko a=i=kore p ne kusu  
 私も良い娘をもらったので

ア…… ソレクス ネプ アエ ルスイ カ  
 a... sorekusu nep a=e rusuy ka  
 それこそ何を食べたいとも

ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ノ オカアン クス  
 nep a=kor\_rusuy ka somo ki no oka=an kusu  
 何を欲しいとも思わず暮らしているので

エネ アユビヒ オヤチキ ウエインカラ ペ ネ アアン マ エネ アン  
 ene a=yupih oyaciki ueinkar pe ne aan w\_a ene an  
 このように兄が巫力が強かったのでこのような

アシトマ プ カ アヌカラ ルウェ ネ ア コロカ  
a=sitoma p ka a=nukar ruwe ne a korka  
恐ろしいことも見たけれども

ニシパ ネ アン マ オカアン ルウェ ネ セコロ  
nispa ne an w\_a oka=an ruwe ne sekor  
私たちは長者になって暮らしているのだ、と

シネ オッカイポ ハウェアン セコロ アン ウエペケレ  
sine okkaypo hawean sekor an uepeker  
1人の若者が語ったという昔話

(萱野：ああ)

クヌ プ ネ  
ku=nu p ne  
を私は聞きました

(萱野：はい)

フフッ (笑)。

## 14-8 ウエペケレ

「トノト カムイ イコシネウェ／トウキ オルン オクイマ  
メノコ」

酒の女神が私を訪ねてきた話

語り：鍋澤ねふき

イシカラ プトゥ タ たか アン クル アネ ヒネ アナニケ  
Iskar putu ta TAKA an kur a=ne hine an=an h\_ike  
イシカリの河口だかに私は暮らしている者であるのだが、

エネ ハワシ。  
ene hawas h\_i.  
このような噂があった。

「フナク ワ カムイ ネ クス コラチ アン メノコ  
“hunak wa kamuy ne kusu koraci an menoko  
「何処からかカムイのような女性が

ポイ シケポ キ カネ ワ エク オラウン  
pon\_ sikepo ki kane wa ek oraun  
小さな荷を背負ってきて、それから

『シネ アンチカラ イレウシレ ワ イコレ ャン。』  
'sine ancikar i=rewsire wa i=kore yan.'  
『一晩私を泊めて下さい』

セコロ ハウェアン マ アレウシレ コロ オラウン エネ ハウェアニ。  
sekor hawean w\_a a=rewsire kor oraun ene hawean h\_i.  
といい、泊めてもらっていると、それからこのように言うのだった。

『トウキ イコレ ャン。』

‘tuki i=kore yan.’

『盃をください』

セコロ ハウェアン マ トウキ アコレ コロ シルイ タ コロ ワ アラパ ワ  
 sekor hawean w\_a tuki a=kore kor siruy ta kor wa arpa wa  
 と言って、盃をもらうと、奥の方に持つて行き、

エウン オクイマ ワ オラ

eun okuyma wa ora

そこへおしつこをして、それから

『ク ワ イコレ ャン。』

‘ku wa i=kore yan.’

『飲んでください』

セコロ ハウェアン マ アシトマ ワ ソモ アク コロ  
 sekor hawean w\_a a=sitoma wa somo a=ku kor  
 と言い、恐ろしいので飲まずにいると

ソモ ク…… ク クル コント コ…… コアシンペ ウク コロ エク。」  
 somo ku... ku kur konto ko... koasinpe uk kor ek.”

飲まない人から償いの品を持って行く」

セコロ ハワシケ エネ ヤイヌアニ。

sekor hawas h\_ike ene yaynu=an h\_i.

という話なので、私はこのように思った。

「アイヌ ソモ ネ ハウエ ネ ナンコロ。

“aynu somo ne hawe ne nankor.

「人間ではないということなのだろう。

カムイ ネ クス コラチ アン ペ ネ ヤクン、

kamuy ne kusu koraci an pe ne yakun,

見るからにカムイのようであるなら、

カムイ タシ ネ ハウェ ネ ナンコロ ペ  
kamuy tas ne hawe ne nankor pe  
カムイなのだろうに、

マクネ ハウェ アン？」  
makne hawe an?"  
いったいどういうことなのだ？」

セコロ ヤイスアン コロ アナクス  
sekor yaynu=an kor an=an akusu  
と思っていると

シネ アン タ アマチヒ ヌプキ クタ クス ソイエネ アクス  
sine an ta a=macihi nupki kuta kusu soyene akusu  
ある時、妻が濁り水を捨てに外に出ると

「ソイ タ カムイ ネ クス コラチ アン メノコ アン。」  
“soy ta kamuy ne kusu koraci an menoko an.”  
「外に見るからにカムイである女性がいます」

セコロ ハウェアン。オラウン  
sekor hawean. oraun  
と話した。それから

「ホクレ アフンテ イケ ウン」  
“hokure ahunte h\_ike un.”  
「さあ、入れたらどうか」

セコロ ハウェアナクス  
sekor hawean=an akusu  
と私がいようと

オラノ ソイエネ ヒネ アフンテ ルウェ ネ アクス  
orano soyene hine ahunte ruwe ne akusu  
それから妻は外に出て、(その人を)中に入れると

ソンノ カ カムイ ネ クス コラチ アン メノコ  
 sonno ka kamuy ne kusu koraci an menoko  
 本当に見るからにカムイであるかのような女性が

ポン シケポ キ カネ アン ペ ネ ヒネ  
 pon sikepo ki kane an pe ne hine  
 小さな荷を背負つていて

アフニネ うーん  
 ahun h\_ine うーん  
 入ってきて

「シネ アンチカラ ソモ アイレウシレ」  
 “sine ancikar somo a=i=rewsire”  
 「一晩泊めてもらえないでしょうか」

セコロ。  
 sekor.  
 と。

「レウシ ヤク ピリカ ハウェ ネ。」  
 “rewsi yak pirka hawe ne.”  
 「泊まりなさい」

セコロ イタカナクス オラウン  
 sekor itak=an akusu oraun  
 と私が話すと、それから

イネアプ エ…… エラムリテン ワ シリキ ヤ カ アエラミシカリ ヒネ オラ  
 ineap e... eramuriten wa sirki ya ka a=eramiskari hine ora  
 見たことがないくらい、とてもうれしそうな

うーん アン ルウェ ネ アクス エネ ハウェアニ。  
 うーん an ruwe ne akusu ene hawean h\_i.  
 様子で、言ったのはこのようなことだった。

「アコン ニシパ トウキ サンケ ワ イコレ。」  
“a=kor\_nispa tuki sanke wa i=kore.”  
「ニシパ、盃を出してください」

セコロ ハウェアナクシ  
sekor hawean akus  
と言うので

トウキ アフライエ イネ アフラ…… アウ……  
tuki a=huraye h\_ine ahura... au...  
盃を洗って、

アマチ アフライエレ ヒネ サンケ ヒネ コレ アクシ、  
a=maci a=hurayere hine sanke hine kore akus,  
妻に私は洗わせて、妻が盃を出してあげたのだが、

エネ ネ ヤカイエ アイ ネノ ソウスッタ コロ ワ アラパ イネ  
ene ne yak a=ye a h\_i neno sowsut ta kor wa arpa h\_ine  
噂でそう言われていたように隅に持つて行き、

エウン オクイマ フミ アサクス オラウン  
eun okuyma humi as akusu oraun  
そこにおしつこをする音がすると、それから

「ク ワ イコレ ャン。」  
“ku wa i=kore yan.”  
「飲んでください」

セコロ ハウェアニクス アヌカラ アクス サケ ネシリ イキ。  
sekor hawean h\_i kusu a=nukar akusu sake ne siri iki.  
と言うので、見てみると、酒のようだった。

うん。アフララッカラ クシ サケ ネ フミ アシ クス  
うん。 a=hurarakkar kus sake ne humi as kusu  
匂いをかぐと酒のようだったので

アク ルウェ ネ アクス

a=ku ruwe ne akusu

私が飲んだところ、

イネアプ エ…… エエラムリテン ワシリキ ヤカ アエラムシカリ。

ineap e... eeramuriten wa sirki ya ka a=eramuskari.

女はとても機嫌が良くなった。

イネアプ エラムシンネ ワシリキ ヤカ アエラムシカリ アクシ

ineap eramusinne wa sirki ya ka a=eramuskari akus

女はとてもほっとした様子になると、

オラウン エネ ハウェアニ。

oraun ene hawean h\_i.

このように話した。

「エカン オルシペ アコン ニシパ エアシパ カ ソモ キ ワアン ナンコロ。

“ek=an oruspe a=kor\_nispa e=aspa ka somo ki wa an nankor.

「私が来る話、ニシパが耳にしていないわけではないでしょう。

タブ…… カトウ エネ アニ。

tap... katu ene an h\_i.

このようなことなのです。

タブ イアラモイサム タ インネ コタン アニネ

tap i=armoysam ta inne kotan an h\_ine

この山向こうに人の多い村が

ルウェ ネ アクス

ruwe ne akusu

あるのですが、

ネ コタン オルン ウタラ

ne kotan or un utar

その村の人々、

トウマシヌ カネ オカ イエパ カネ オカイ ペ オピッタ  
tumasnu kane oka iepa kane okay pe opitta  
丈夫で能力のある者はみな

ウイマム クス レプン。  
uymam kusu repun.  
交易に沖に出たのです。

ウイマムレプンカ クス レブン パ ワ イサム ルウェ ネ アクス  
uymamrepunka kusu repun pa wa isam ruwe ne akusu  
海を越えて交易に行くために、沖に出てしまうと、

オカケ タ ネア コタン パオ…… パオヤニネ  
okane ta nea kotan pao... paoyan h\_ine  
その後、その村に伝染病が伝わってきて、

ネア コタン アアルシテッカ ルウェ ネ ヒネ  
nea kotan a=arustekka ruwe ne hine  
その村は全滅てしまい、

ウシケ タ ネロク ウイマム ウタラ ヤブ。  
usike ta nerok uymam utar yap.  
そこに、その交易を行った人々が上陸しました。

チプシクテノ カネ ウサ ウイマム トノト ウイマム タラ  
cipsikteno kane usa uymam tonoto uymam tara  
舟いっぱいに交易で得た酒や俵や

ネプ ネ ヤッカ アミプ ネ アッカ アエプ ネ アッカ  
nep ne yakka amip ne y\_akka aep ne y\_akka  
何でも、着物でも食べ物でも、

チプシクテノ クシパ イネ  
cipsikteno kuspa h\_ine  
舟いっぱいに積み込んで

ヤプ ルウェ ネ ア コロカ ネア コタン スプヤ サク。  
 yap ruwe ne a korka nea kotan supuya sak.  
 上陸したのですが、その村は煙もありませんでした。

アルシテッカ プ ネ クス  
 a=arustekka p ne kusu  
 全滅したので、

スプヤ サク ルウェ ネ ヒネ オラ ア…… ア コロカ  
 supuya sak ruwe ne hine ora a... a korka  
 煙もなかったのですが、

ネロク ウイマム マ ヤプ ウタラ カ オピッタ  
 nerok uymam w\_a yap utar ka opitta  
 その交易に行って上陸した人々もみな

ヤイラメコロンパ ヒネ イサム ルウェ ネ ヒネ  
 yayramekorompa hine isam ruwe ne hine  
 意識不明になって、亡くなってしまい

ネア コタン エアラキンネ スプヤ サク ルウェ ネ。  
 nea kotan earkinne supuya sak ruwe ne.  
 その村は本当に煙もなくなってしまったのです。

コロカ オラ ネア チプ アナク シクテノ カネ  
 korka ora nea cip anak sikteno kane  
 ですが、その舟いっぱいに

イオ ワ ャン マ アン ペ ネ ヒ…… ヒケ ン……  
 io wa yan w\_a an pe ne hi...hike n...  
 荷を積んで上陸して

トノト、サケ アナクネ メノコ ネ ワ…… ペ ネ ワ アン  
 tonoto, sake anakne menoko ne wa... pe ne wa an  
 酒というのは女性であって、

ネア チプ オロ オ プ

nea cip or o p

その舟に乗っていたものが、

トイコムニン ャッカ…… ヒ ア…… アヌヌケ ワ クス

toykomunin yakka... hi a... a=nunuke wa kusu

腐ってしまうのも惜しいので、

ネア トノト カムイ アネ ワ

nea tonoto kamuy a=ne wa

そのお酒のカムイが私で、

エネ アラケヘ タ ヤイエイコラムヌカラ カ アン

ene arkehe ta yayeykoramunukar ka =an

半分は自分について人を試し、

アラケヘ タ ヤイエイパカシヌアン クス エネ

arkehe ta yayepakasnu=an kusu ene

半分は自分を人に教えるために、このように

オマナナナッカ ケウトゥムウェン ウタラ パテク オカ ハウェ ネ。

omanan=an y\_akka kewtumuwen utar patek oka hawe ne.

歩き回っていたのですが、精神の悪いものばかりいたということなのです。

アイウシトマレ ワ エネ オマナナン ヒ

a=i=usitomare wa ene omanan=an hi

私は人々に怖がられて、このように歩き回っていたことを

アコン ニシパ ヌ タシ キ コロ アナ…… ネ クス

a=kor\_ nispa nu tas ki kor an a... ne kusu

ニシパは聞いたので

シノ アコロ ニシパ シノ ケウトゥム ピリカ クル エネ ルウェ ネ クス

sino a=kor nispa sino kewtumu pirka kur e=ne ruwe ne kusu

ニシパ、あなたは本当に精神の良い人なので

タブ ニサッタ ネ アン チキ エウタリヒ エニスク ワ  
 tap nisatta ne an ciki e=utarihi e=nisuk wa  
 明日になつたら、あなたの仲間にあなたは頼んで

ネ アラモイサム タ エ…… ウン コタン オッ タ エチパイエ ヤクン  
 ne armoysam ta e... un kotan or\_ ta eci=paye yakun  
 その山向こうの村にあなた達が行つたら

インネ コタン ネ アッカ スプヤ サク ワ アン ワ アン。  
 inne kotan ne y\_akka supuya sak wa an wa an.  
 大きい村であるけれど、煙もない状態です。

チプシクテノ カネ イオ ワ ャン マ アン ルウェ ネ クス  
 cipsikteno kane io wa yan w\_a an ruwe ne kusu  
 舟いっぱいに積んで上陸しているので、

ネ ウシケ タ チポロペチヤプテ ワ オラウン  
 ne usike ta cip or o p eci=yapte wa oraun  
 そこに舟の中のものをあなた達は上げて、それから

コタン ノシキ タ アン チセ オッ タ  
 kotan noski ta an cise or\_ ta  
 村の真中にある家に、

エチアペアリ ワ エチスケ ワ エチイチャラパ。  
 eci=apeari wa eci=suke wa eci=icarpa.  
 あなた達は火を焚いて、料理して供養をしなさい。

ヤイラメコモ パ プ オピッタ  
 yayramekomo pa p opitta  
 苦しんだ者たち、みなが

シンリッ オルン ハル コロ ワ パイエ クニ プ  
 sinrit or un haru kor wa paye kuni p  
 先祖のところへ持つて行く食料を

エチチャラパシリ ネナ。セコロ エチハウエオカ コロ  
eci=carpa siri ne na. sekor eci=haweoka kor  
撒くのするとそのようにあなた達は言いながら

サケネ アッカ エチチャラパアエプ ネアッカ エチチャラパヤクン  
sake ne y\_akka eci=carpa aep ne y\_akka eci=carpa yakun  
酒でも撒き、食べ物でも撒いたなら、

オラウンタンチプオロプオピッタ  
oraun tan cip or o p opitta  
それから、この舟のものを全部

エ……エ……エ……エチコタンウンエチルラヤッカ  
e... e... e... eci=kotan un eci=rura yakka  
あなた達の村へ運んでも

ネウカアニエチシトマカエチエマウコウェンカソモキヤクオラウン  
new ka ani eci=sitoma ka eci=emawkowen ka somo ki yak oraun  
何にあなた達は恐れることも、運が悪くなることもなく、それから

ネアコタンエチヌイエオッケワエチホッパヤクアナクネ  
nea kotan eci=nuyeotke wa eci=hoppa yak anakne  
その村に火をつけておいたならば

アプンノウヤイエ……ヤイエラメコンパパナクオピッタ  
apunno uyaye... yayeramekompa p anak opitta  
無事に、苦しんだ者たちはみな

シンリッオルンハルコロワパイエヤクンオラウンうーん  
sinrit or un harukor wa paye yakun oraun うーん  
先祖のところへ食料を持って行ったなら

ネプカエチエカエチクカキコロオロタ  
nep ka eci=e ka eci=ku ka ki kor oro ta  
何かあなた達は食べでも、飲みでもしたら、そこで

ピリカ ハル エチチャラパ オラウン  
 pirka haru eci=carpa oraun  
 いい食料を撒き、それから、

『ネ アラモイサムン ウタラ、エチオカヌラッパ シンネ ナ。』  
 ‘ne armoysam un utar, eci=okanurappa sinne na.’  
 『その山向かいの人々よ、あなたたちを供養するのだよ』

セコロ エチハウ…… エチイチャラパ ヤク アナクネ  
 sekor eci=haw... eci=icarpa yak anakne  
 とあなた達が供養したなら、

サスイシリ パクノ ネプ レラハ ネプ タシコリ スルルケ ャッカ  
 sasuysir pakno nep reraha nep taskori sururke yakka  
 いつまでも、病や寒気が流行しても

エチオカ アナク エチシトマ カ ソモ キ ノ エチオカイ ペ ネ ナ。」  
 ecioka anak eci=sitoma ka somo ki no eci=okay pe ne na.”  
 あなた達は恐れることなくいるのですよ。」

セコロ ネア メノコ ハウェアン。  
 sekor nea menoko hawean.  
 とその女性は話した。

オンカミアン ルウェ ネ ヒネ  
 onkami=an ruwe ne hine  
 私は挙礼して、

オラ ネア アマチヒ ピリカノ エホッケ イ カリネ ホッケレ。  
 ora nea a=macihi pirkano ehotke h\_i kar h\_ine hotkere.  
 それから私の妻はきれいに寝る場所を作って女性を寝させた。

ネア カムイ ネ クス コラチ アン メノコ ルウェ ネ ヒネ  
 nea kamuy ne kusu koraci an menoko ruwe ne hine  
 その見るからにカムイである女性なのだが

オラ イシムネ インカラニ アクス

ora isimne inkar=an akusu

翌日見ると

ネア メネコ アリサム。オラ

nea meneko arisam. ora

その女性はすっかりいなくなっていた。それから

「サケ オ オンタロ ネア エホッケイ タ アン ルウェ ネ。」

“sake o ontaro nea ehotkey ta an ruwe ne.”

「酒樽がその寝床にあったのです。」

セコロ アマチ ハウェアン。

sekor a=maci hawean.

と妻は言った。

オラノ ホプニアン ヒネ ウ…… イオクヌレアン。

orano hopuni=an hine u... iokunure=an.

それから私は起きて、びっくりした。

オンカミアン コロ オラ

onkami=an kor ora

拝礼すると

アコタヌ ウン ウタラ アタク ヒネ

a=kotanu un utar a=tak hine

私の村の人を招いて、

ネア サケ カ<sup>[1]</sup> アエカムイノミ ネ ャ キ ヒネ

nea sake ka a=ekamuynomi ne ya ki hine

例の酒でカムイノミもして

オラウン ネア アラモイサムン コタン オルン パイェアナクス

oraun nea armoysam un kotan or un paye=an akusu

それから、その山向こうへ、村へ私達は行くと

ソンノ ポカ インネ コタン ネ アン コロカ オピッタ スプヤ サク オラウン  
 sonno poka inne kotan ne an korka opitta supuya sak oraun  
 本当に人の多い村としてあったのだが、全く煙がなく、それから、

ア ポロ チプ シクテノ カネ  
 a poro cip sikteno kane  
 大きな舟いっぱいに

サケ ネ チキ アマム タラ ネ チキ  
 sake ne ciki amam tara ne ciki  
 酒でも米俵でも

アミプ ネ チキ タンパク ネ チキ ネプ ネ アッカ  
 amip ne ciki tanpaku ne ciki nep ne y\_akka  
 着物でも煙草でもなんでも

チプ シクテノ オマ ワ ヒ……  
 cip sikteno oma wa hi...  
 舟いっぱいに入れて、

アヤエオッケ ヒネ アン ルウェ ネ ヒ クス オラウン ネレ……  
 a=yaetke hine an ruwe ne hi kusu oraun nere...  
 (舟を) 岸に乗り上げさせてある。そこで

ア…… アヤpte。ネロク ペ キ ヒネ  
 a... a=yapte. nerok pe ki hine  
 それを私たちちは陸に上げた。

オラ ネ コタン ノシキ タ アン チセ オッ タ アペアリアニネ  
 ora ne kotan noski ta an cise or\_ta apeari=an h\_ine  
 それからその村の真中にある家に火を焚いて

オロ タ アペアリアニネ オロ タ イチャラパアン。  
 oro ta apeari=an h\_ine oro ta icarpa=an.  
 そこに火を焚いてそこで供養をした。

「ネ ヤイラメコモ ワ オカイ ペ オピッタ  
“ne yayramekomo wa okay pe opitta  
「苦しんだ者たちよ、みなが

シンリッ オルン ハル コロ クニ プ アチャラパ シリ ネ ナ。」  
sinirt or un haru kor kuni p a=carpa siri ne na.”  
先祖のところへ持っていく食料を私達は撒きますよ」

セコロ ハウェオカアン コロ イチャラパアン。  
sekor haweoka=an kor icarpa=an.  
と話しながら供養をした。

イクアン ネ ャ イチャラパアン ネ ャ キ ヒネ オラウン エネ アイエ ヒネ  
iku=an ne ya icarpa=an ne ya ki hine oraun ene a=ye hine  
お酒を飲んだり、供養をして、それから、このように言われて

カムイ ハウェアン マ アヌ ヒネ クス  
kamuy hawean w\_a a=nu hine kusu  
カムイが話したのを聞いていたので、

オラ ネア コタン アヌイエオッケ ルウェ ネ ヒネ  
ora nea kotan a=nuyeotke ruwe ne hine  
それからその村に火をつけて

オラウン ネロク チプ オロ プ アナク  
oraun nerok cip or o p anak o  
それから、その舟に入っていたものは、

オピッタ アウニ ウン アコタン ウン アルラ。  
pitta a=uni un a=kotan un a=rura.  
みな私の家へ、私の村へ運んだ。

ネア アコタヌ タ カ オラウン イチャラパアン ネ ャ イクアン ネ ャ キ。  
nea a=kotanu ta ka oraun icarpa=an ne ya iku=an ne ya ki.  
私の村でも、それから供養をしたりお酒を飲んだりした。

オンカミアン ロク アン ロク ヤイエイノンノイタカン コロ キ ルウェ ネ。  
 onkami=an rok =an rok yayeynonnoytak=an kor ki ruwe ne.  
 ずっと拝礼して、祈っていた。

アキ オラウン ソンノ カ ネウ カ ウエンタラプ エネ アン カ ソモ キ  
 a=ki oraun sonno ka new ka wentarap h\_ene an ka somo ki  
 そして、それから本当に何も夢を見ることもなく、

オラノ ネウン ネン オリパク アン ヤク アイエ ャッカ  
 orano neun nen oripak an yak a=ye yakka  
 どんな伝染病が流行ったと言つても

アコタヌ パテク イワンケノ オカアン クス  
 a=kotanu patek iwankeno oka=an kusu  
 私の村だけは健やかに暮らしていたので

タブネ カネ エネ オヤチキ トノト カムイ アナク メノコ ネ ロコカ ワ  
 tapne kane ene oyaciki tonoto kamuy anak menoko ne rokoka wa  
 このように、今わかったのだが、酒のカムイは、女であって

エネ ヤイエアスラニ クス エク ワ  
 ene yayeasurani kusu ek wa  
 このように知らせるために来て

オラ アプンノ オカアン ルウェ ネ  
 ora apunno oka=an ruwe ne  
 そしてこうして私たちはおだやかに暮らしているのだ。

セコロ シネ ニシパ ハウェアン セ (コロ)  
 sekor sine nispa hawean se(kor)  
 とあるニシパが話したと。

### 【注】

[1] sakekar と聞こえる sake ka と解釈した。

## 14-9 ウエペケレ「トノト カムイ イコシネウェ／トウキ オルン オクイマ メノコ」解説

語り手：鍋澤ねふき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えー、私は一人のある村の、ある男でございました。噂に聞けば近くへ訪ねてくる女の人がおりまして、隣村、あるいはそのまだ隣の方へ、えー、来てその女の人の言うのには、んー、まあ小さな荷物を背負って、こう村を訪ねて、そして今晚泊めてくださいと、泊めると tuki [杯] を一つ貸してくださいと言うので、その tuki [杯] を貸してあげますと、その tuki というのはアイヌのお祈りに使う杯ですね。大型の杯ですがお椀の大きいやつ、その杯を貸してあげると、こう、sowsut [部屋の隅] というふうな表現をしておりますが、こうちょっと隅っこの方へ行って、あそこにオシッコをジャーっとオシッコをした音がする。

そして、それを持ってきて、これを飲んでくださいとそこの家主に言うと、「や、飲めません」と言うと、なんちゅうかそこで罰金を取るというのかな、そんなようなことであるものを取ってはまだ次々と歩いているのを聞いておったと。

鍋澤：（誰かが動いて物音をたてたので） iteki e=hawaste. [声を立てないで]

萱野：ある日のこと、まだ私の所へもやって来た。そして外で、こう、んー、声がするので家内が出てみると、噂に聞いたあの女らしい人が見えておりますという。そんなこと言わずに、まあ入れなさい。

入ってきて、見ると非常に、その上品な人で、小ちゃな荷物を一つ背負っておる。まあ、今晚泊めてくださいと言うので、ま、泊めた。

そしたら、まー、泊まることになったら、噂に聞いた通りに杯を一つ貸してくださいと言うので、杯を一つ貸してあげると、こう影の方へ行って、話に聞いたように、まあ、あー、ジャーっとそのオシッコをしたような音して持ってきた。a=kor nispa これ飲んでくださいと、家主さんよ、これ飲んでくださいというふうに言って、よくそれを取って臭いを嗅んでみたり、見たりすると、ま、お酒であったと、普通の日本酒であ

ったと、それで、まーそれを一気に、ま、飲み干した。

そうすると、その女の人の言うのには本当にありがとうございましたと、影へ持つて行って、あれしたけど、実際それはオシッコではなくでお酒なんですよ、私はいわゆる酒の神様だと、んー、私たちの住んでおる armoysam [山向こう] の村の人たちが uymam と言ってよそへ、まー交易に行ったわけですね。

鍋澤：うん。

萱野：そして、その、んー帰ってきたらその村は pakooyan [疱瘡が上陸する] といって、いわゆるその病気が流行して全滅しておった。

そこへ、まー、その交易を行った人たちも上がつたら、その人たちもすぐに、ま、そこでの病気のもんで、えー感染して死んでしまったと。それで、その交易に行って帰ってきた、んー船にはいっぱいお酒から食べ物があつても、それを誰も来て食べてくれる人も、使ってくれる人もいないので、私は酒の神様であるけども、人間に身を変えて、こうやつて村々を訪ねてきて、来たんですけど、ところが誰も、その、まーオシッコだと思うので、それを飲んでくれなかつたのに、あなただけは非常に良い精神の人なのでそれを飲んでくれましたと。

だから、あの、すぐに明日にでも行って、んー、その酒やなんかを持って、ま、死んだ人たちにも供養をし、そしてあんたたちはそれを持ってきて食べたりなんだりしてもなんも差し障りありませんからと言って、ま、その晩、その女の人は寝た。

夜が明けてみると、なるほど、寝た、あの寝した場所には、その人間であった人はいないで、酒樽が一つゴロンと転がつておった。それを、ま、皆で村の人たちを集めて飲ましたりしてから、その話のあった、んー、 pakooyan した村、いわゆる病気のあった村へ行って、えー、その船からたくさんの酒を下して、そして死んだ人達の供養もし、それを持ってきて、私たちの村へ持つてきて、それを飲んだり、使つたりしましたが、まあ、神様である、その酒の神様の女が言ったと同じ、言ったように何も差し障りなく、その後もどんな病気が流行っても私たちの村だけは、その病氣にも罹らず、こうして皆で仲良く暮らしておりますと。で、酒というものは女神であるということをそこで私は知りました。と、一人の男が語りました。

ま、これなんかも、まあ uepeker [散文説話] としても、まあ内地に交易を行つたとか、そうしたこと、あるいは病気の流行り具合とかそん

なようなことがあり、その酒そのものにも魂があるというふうに考えて  
おる。そのアイヌの生活、精神文化と言いましょうか、そうした一端の  
伺える物語ですね。これは uepeker〔散文説話〕といって、えー、物語  
.....

## 14-10 テープ内容再紹介

解説：萱野茂

萱野：えー、このテープはテープ番号 14 号で、えー昭和 44 年 2 月 18 日に、えー鍋澤、んー、ねぶきさんに、えーやってもらった uepeker [散文説話] その他です。次、テープ番号 15 号へ移ります。録音者、萱野茂です。

## 15-1 テープ内容紹介

解説：萱野茂

萱野：えーと、テープの番号が 15 号です。

鍋澤ヤオさん<sup>[1]</sup>に kamuyukar [神謡] をやっていただきます。お願  
いします。

### 【注】

[1] 鍋澤ねぶきさんの戸籍上の名前は「ヤオコ」という。

## 15-2 カムイユカラ

「シペチャリ ミントウチ (ヘムノエ)」

静内川の河童神

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=ヘムノイエ  
V=hemnoye

V モコロ クル ヘ アン 寝ている者か  
V mokor kur he an

V モナク クル ヘ アン 起きている者か  
V monak kur he an

V カムイ オルシペ 神の話を  
V kamuy oruspe

V アイエ ワ ネ ヤク 語ったなら  
V a=ye wa ne yak

V アイヌ オッ タ 人間の所で  
V aynu or\_ ta

V チャヌプネ アン クス 教訓となるから  
V canupne an kusu

V アイエ ハウェ ネ 私が言うのだ。  
V a=ye hawe ne

V エネ オカ ヒ こういうことだ。  
V ene oka hi

V トカプチ セコロ  
V Tokapci sekor  
  
十勝川と

V アイエ ペトッタ  
V a=ye pet or\_ta  
  
呼ばれる川に

V シノ ニシバ  
V sino nispa  
  
まことの旦那の

V レヘ タシ  
V rehe tasi  
  
名前は

V シリサマイヌ  
V sirsamaynu  
  
シリサマイヌ

V ネルウェ ネ  
V ne ruwe ne  
  
であるのだ。

V シリサマイヌ  
V sirsamaynu  
  
シリサマイヌは

V シネ マッネボ  
V sine matnepo  
  
一人の娘を

V コラブ  
V kor a p  
  
持っていたのだが

ネア シネ マッネボ  
nea sine matnepo  
  
その一人娘が

V アイヌ オッタ  
V aynu or\_ta  
  
人間のところに

V イナン カ サッカ  
V inan ka sakka  
  
比ぶ者のない美貌

V アリテク サッカ 比ぶ者のない手練  
V ar itek sakka

V ピリカ メノコ 美しい女性が  
V pirka menoko

V アン ルウェ ネ いるのだ。  
V an ruwe ne

V キ アクス そうしたところ  
V ki akusu

V ミントウチ カムイ 河童が  
V mintuci kamuy

V カムイ オッタ 神のところで  
V kamuy or\_ta

V ヤイコトムカ プ ふさわしい人（結婚相手）を  
V yaykotomka p

V フナラ ヤッカ 探しても  
V hunara yakka

V オアラリサム 全くいない  
V oarar isam

V アイヌ オッタ 人間のところで  
V aynu or\_ta

V ネア シリサマイヌ そのシリサマイヌ  
V nea sirsamaynu

V コロ マッネボ の娘を  
V kor matnepo

V ヤイコトムカ 見始めた。  
 V yaykotomka

V タンペ クス このために  
 V tanpe kusu

V アイヌ ネ ヤイカラ ヒネ 人間に化けて  
 V aynu ne yaykar hine

V シリサマイヌ シリサマイヌ  
 V sirsamaynu

V オロ タ のところに  
 V oro ta

イヨルンクン ネ アンシリ 住み着いた様は  
 iyorunkur\_ne an siri

V エネ オカ イ このようであった。  
 V ene oka h\_i

V レプン チコイキプ 沖の獲物  
 V repun cikoykip

V ヤウン チコイキプ 陸の獲物  
 V yaun cikoykip

V エアウナルラ を獲ってきて  
 V eawnarura

V シリサマイヌ シリサマイヌを  
 V sirsamaynu

V エピリカクル 大切に大切に  
 V epirkakur

V レシパ カネ  
V respa kane

V ネア シリサマイヌ  
V nea sirsamaynu

エラマス クス  
eramasu kusu

V ネア ミントウチカムイ  
V nea mintucikamuy

V ココウネ コロ ワ  
V kokowne kor wa

V オカ ルウェ ネ  
V oka ruwe ne

V キ ワ ネ コロカ  
V ki wa ne korka

V オアラ アナクネ  
V oar anakne

V アラケウトウム  
V arkewtum

V アエアナサプクル  
V a=eanasapkurur

V ネ ルウェ ネ  
V ne ruwe ne

V タンペ クス  
V tanpe kusu

養って

そのシリサマイヌが

好もしく思って

その河童

を婿にして

いるのだ。

そうしたのだけれど、

全くもって

心の半分は

危なげな者

であるのだ。

そのため

V シリサマイヌ  
V sirsamaynu  
シリサマイヌが

V ソパケ ウン カムイ オロ ワ  
V sopake un kamuy oro wa  
家の守護神に

V アウェンタラプテ  
V a=wentarapte  
夢を見せられ

キ ヒネ ネア  
ki hine nea  
て、その

シリサマイヌ  
sirsamaynu  
シリサマイヌ

V コロ ココウエ  
V kor kokowe  
の婿を

V エニウチンネ ルウェ ネ  
V eniwinne ruwe ne  
追い出したのだ。

V エニウチンネ ヒネ  
V eniwinne hine  
追い出されて

V ソイネ キ コロ  
V soyne ki kor  
(河童は) 外に出ると

V エネ イタキ  
V ene itak h\_i  
このように言ったこと

V 「イケスイアナクン オラノ  
V “ikesuy=an y\_akun orano  
「私が出て行ったならそれから

タン トウペツ  
tan tupet  
この二つの川

テエタ レヘ アナク 昔の名は  
teeta rehe anak

ポロカリペッ 大きい回る川  
porokaripet

V ネア コロカ であるけれど、  
V nea korka

V イケスイアナクン オラノ 私が出て行ったなら  
V ikesuy=an y\_akun orano

アレコ カトウ それからの名は  
a=reko katu

V トカプチ セコロ 十勝川と  
V Tokapci sekor

V アレコ ルウェ ネ 呼ばれるのだ。  
V a=reko ruwe ne

V エエパキタ その次に  
V eepakita

ネア…… トカプチ チタ ハル その十勝川の畑の作物  
nea ...Tokapci cita haru

V チコイキプ ハル 狩の獲物の  
V cikoykip haru

V ハル ラマチ 食糧の魂を  
V haru ramaci

V ネア ミントウチカムイ その河童が  
V nea mintucikamuy

V コロ ワ イケスイ 持って、怒って出て行った  
 V kor wa ikesuy

V ルウェ ネ ヤクン なら  
 V ruwe ne yakun

V オロワノ それから  
 V orowano

エタカスレ 特に  
 etakasure

V タン トカブチ この十勝川に  
 V tan Tokapci

V ケムラモマ 飢饉の神が入る  
 V kemram oma

V キ ナンコン ナ」 だろうよ。」  
 V ki nankor\_na”

V オロワウン それからまた  
 V orowaun

ネア セコロ イタク コロ ソイネ ルウェ ネ イネ  
 nea sekor itak kor soyne ruwe ne h\_ine  
 その と話しながら外に出て、

オラノ コタン ピシ ノ ネア ミントウチカムイ  
 orano kotan pis no nea mintucikamuy  
 それから村ごとにその河童の神が

ヤイエヤントエトウン ネ ヤッカ  
 yayeyantoetun ne yakka  
 自分の泊まる宿を借りようとしても

V アラ ケウトゥム	心の半分は
V ar kewtum	
V アエアナサプクル	手に負えない人
V a=eanasapkur	
V ネ ワ ネンカ エハム カ ソモ キ	であって、誰も泊めようとしない
V ne wa nenka eham ka somo ki	
V キ ワ エカイネ	で来たあげく
V ki wa ek ayne	
V タン シピチャラ	この静内川を
V tan Sipicar	
V アラパ アイネ	進んでいくと
V arpa ayne	
V ナイ ネ アラパ ワ	沢になって行く
V nay ne arpa wa	
V アラパ アイネ	さかのぼっていくうちに
V arpa ayne	
V コツ ネ アラパ ワ	谷となって行く。
V kot ne arpa wa	
V コテ トコホ	谷の先
V kot etokoho	
V エコタンコロ ペ	に住んでいる者の
V ekotankor pe	
V レヘ タシ	名こそ
V rehe tasi	

V トイコンチコロ 土の帽子かぶり  
 V Toykoncikor

V ムンコンチコロ 草の帽子かぶり  
 V Munkoncikor

V ネ ルウェ ネ ワ であるのであって  
 V ne ruwe ne wa

V オハ ウエン カムイ 凶悪の神を  
 V oha wen kamuy

V ウエハム マ 引き止めて  
 V ueham w\_a

V タン シピチャラ この静内川が  
 V tan Sipicar

(次の文は散文になる)

シピチャレムコ コヤントネ ワ 静内川の上流に寄寓して  
 Sipicar emko koyantone wa

(再び韻文に戻る)

ミントウチカムイ 河童の神が  
 mintucikamuy

V キ ルウェ ネ するのであった。  
 V ki ruwe ne

V ヤクン すると、  
 V yakun

(次から散文)

ウサ ハル ラマッコロ ワ  
usa haru ramatkor wa  
いろいろな食物の魂を持って

イケスイ ペ ネ クス  
ikesuy pe ne kusu  
出てきたものであるので、

(韻文に戻る)

V タン シピチャラ この静内川が  
V tan Sipicar

V エタカスレ 他より余計に  
V etakasure

V アエポピリカ 食糧が豊かになる  
V aep opirka

V キ ルウェ ネ のだ。  
V ki ruwe ne

V キ ワ ネヤッカ そうだけれども、  
V ki wa neyakka

V ミントウチカムイ 河童の神が  
V mintucikamuy

V ヤク ウク シリ 役目を果たす様子は  
V yaku uk siri

V エネ アン クニ このようになる  
V ene an kuni

V

(次から散文)

パピシ コラチ

papis koraci

毎年のように

サラッカムイ アン ナンコン ナ。

sarakkamuy an nankor\_na.

水死体があるだろうよ。

(韻文に戻る)

アイヌ オッ タ

aynu or\_ta

アイヌのところで

V アヌ ワ ネ ヤク

V a=nu wa ne yak

聞いたのなら

V ヤイトウパレアン ナ

V yaytupare=an na

気を付けるのだよ。

V チャヌプネアン ナ

V canupne=an na

教訓とせよ。

V エヌ ヘタブ キ

V e=nu hetap ki

お前が聞いたか

V モコロ クル ヘ アン

V mokor kur he an

寝ている者か

V モナックル ヘ アン

V monakkur he an

起きてる者か

ヘムノイ…… シコロ

hemnoy... sekor

と

V ウララ…… ウライ カ タ 梁の上で少し  
 V urar... uray ka ta

ポンノ ホッケ ワ 少し横になって、  
 ponno hotke wa

ポンノ モコロ クル 少し眠っていた者が  
 ponno mokor kur

コロ ウエンタラブ ネ 見た夢なのだ。  
 kor wentarap ne

シコロ アン という  
 sekor an

カムイユカラ クヌ プ ネ アワ  
 kamuyukar ku=nu p ne awa  
 神謡を聞いたもんだ。

サタモ  
 satamo  
 さたも

(フチ：おれ、おらも、おれ聞いたの違うよ)

マク イエ ハウエ アン?  
 mak ye hawe an?  
 なんて言ったの？

うん、あーそうかそうかうん

(フチ：タアン アコロ ペッ ペシ サン ハウエ ネ アペコロ イエ した)  
 (フチ：taan a=kor pet pes san hawe ne apekor ye SITA)  
 (フチ：この私の川に沿って下の方へ行ったように言った)

あーそうか

シピチャッ タ ネ ヤカイエ ヒ ネノ ほんとうに シピチャッ タ  
Sipicar\_ta ne yak a=ye hi neno HONTOUNI Sipicar\_ta  
静内川っていうところはこのように本当に静内川に

(フチ：オラノ しげのばば イエ エアシカイ ワ それ)  
(フチ：orano SIGENOBABA ye easkay wa SORE)  
(フチ：おらの一 シゲのババがそれ言うのが上手で)

ソレクス エタカスレ アン ペ  
sorekusu etakasure an pe  
それこそ他より余計にあるものが

(フチ：何回も XXX)

サラッカムイ ネ ヤク アイエ プ  
sarakkamuy ne yak a=ye p  
水死体であるということを

(フチ：ハシナウコロカムイ ネ クニ アラム  
(フチ：hasinawkorkamuy ne kuni a=ramu  
(フチ：狩猟神だと私が思った

ハシナウ エテテ カネ ワ パッカイ メノコ  
hasinaw etete kane wa pakkay menoko  
枝つきの木幣を杖にして、子をおぶり

ホックホック コロ  
hotkuhotku kor  
かがみながら

エネ ハウェアニ ウエンタラブ  
ene hawean h\_i wentarap  
このように言ったことを夢に

アコロ セコロ ハウェアン コロ)  
a=kor sekor hawean kor)  
見たといいながら)

うんと

(フチ：イエしたってゆうことゆって聞いたのに)

(フチ：ye したってゆうことゆって聞いたのに)

(フチ：言ったっていうこと聞いたのに)

ヘンパラ ワノ

hempara wano

いつから

クヌ プ ネ アニ アン やっぱり

ku=nu p ne an h\_i an YAPPARI

私が聞いたものであったか、やっぱり

コント まー そういう ウパシクマ

konto MA SOUYUU upaskuma

それから、まーそうゆう昔話

だから シサム ウタラ カ ヌ ヘネ キ ワ

DAKARA sisam utar ka nu hene ki wa

だから、和人たちも聞きでもして

ちーっとその シピチャツ トウラシ

ちーっとその Sipicar\_turasi

ずーっとその、静内川沿いに

何里おきだか地蔵さん祀って

シラン ペ ネ ヒ ネ ヒ ワノ

siran pe ne hi ne hi wano

いる様子であって、その時から

その サラッカムイ なくなた。

その sarakkamuy なくなた

その水死者がでなくなった。

(フチ : ネ サッシビチャラ シコロ

(フチ : ne sat Sipicar sekor

(フチ : その乾いた静内川と

アイエ ヒ アン。とつか シピチャン の奥の方には)

a=ye hi an. TOKKA Sipicar\_ の奥の方には)

言うところがある。どつか静内川の奥の方には)

うん

(フチ : シネ アウェヘ

(フチ : sine awehe

(フチ : ひとつの支流

オクッサク ワ サツ ワクス

okutsak wa sat wakusu

出口がなくて、干上がっているので

オサツ たか なんたけ)

osat たか なんたけ)

川尻が乾いた、たかなんたけ)

サッシビチャツ

satsipicar\_

乾いた静内川

(フチ : サツ シピチャラ シコライエ。オロ タ

(フチ : sat Sipicar sekor a=ye. oro ta

(フチ : 乾いた静内川という。そこで

ウェンカムイ アン ヒ ネ ワクス

wenkamuy an hi ne wakusu

悪い神がいるところだから

オサツ ヒ ネ セコロ

osat hi ne sekor

その川尻が乾いているのだと

フチ ウタラ ハウェオカ ハウェ クヌ したもの。  
 huci utar haweoka hawe ku=nu SITAMONO  
 おばあさん達が言ったのを聞いたもの。

ヌマン イエ ハウェ シンナイノ アン。 したからXXX) <sup>[1]</sup>  
 numan ye hawe sinnayno an. したからXXX)  
 昨日言ったことは違っていた。 したからXXX)

ふーん

(フチ : エイエしたらきっと エイエ ヒケ ほんとだな一つと思っておられた)  
 (フチ : e=ye したらきっと e=ye hike ほんとだな一つと思っておられた)  
 (フチ : お前がそうやって言ったらきっと言うことは ほんとだな一つと思っておられた)

カニ カ アコロ ウナラペポウタリ  
 kani ka a=kor unarpepoutari  
 私も私のおばさんたち

アコロ フチ ウタラ イエ ワ クヌ  
 a=kor huci utar ye wa ku=nu  
 おばあさん達が言って、私が聞いた。

ヒネノ クイエ ハウェ よ。 (重なって聞こえない)  
 hi neno ku=ye hawe YO.  
 聞いた通りに言ったんだよ。

(フチ : シンネ クイエ ハウェ  
 (フチ : sinne ku=ye hawe.  
 (フチ : そのように私も言ったのよ。

イエ ワ クヌ ランケ いっちでも キ  
 ye wa ku=nu ranke ITTIDEMO ki  
 言うのをいつでも聞いていた。

カレ ウナラペ だの シゲばばだの  
 Kare unarpe DANO SIGE BABA DANO  
 カレおばさんだのシゲ婆だの

ウコウエカラパ コロ ウコキパ ハウェ クヌ プ ネ)  
ukouekarpa kor ukokipa hawe ku=nu p ne.)  
が互いに集まつたら語りあつていたのを聞いたもんだ)

【注】

[1] 声が重なって聞き取りづらい。

## 15・3 カムイユカラ「シペチャリ ミントウチ (ヘムノエ)」解説

語り手：鍋澤ねふき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えーと、あのー、今鍋澤さんから採録したこの kamuyyukar [神謡] なんですけれども、前に、前に昨日か、一昨日かな。あのー平賀さだもさんからこれとやや同じようなのを録音してあります。

が、筋書きはやはり、こう年齢の差でしょうか、同じようすけどまとまりというか、そういう感じが、あのー、今の鍋澤さんの方が非常に良くまとまった kamuyyukar。

どうして静内川に、その水死人が多いか sarakkamuy というのは水死人のことを言うんですけども、静内には河童の神様がおるんだと、十勝川には住んでおった河童が静内川に来たと、そのときに、その十勝川の、そのいわゆる魚の種を持ってきたので、し、し……十勝川はあまり魚上らないし、静内川は魚上るんだと。そんなようなことをおばあさんは言っておりました。

これは kamuyyukar [神謡] でしたね。

鍋澤：うん、うん。

## 15-4 カムイユカラ

「ピリピリノイエクル ピリピリノイエマッ (パウチョーチ  
ョパフムフムフム) チロンヌプ アイヌ コチャランケ」  
キツネのチャランケ

語り：鍋澤ねふき

サケヘ V=パウチョ チョパ フムフム  
V=pawco copa humhum

タパン シコッ タ この千歳川で  
tapan Sikot ta

V ウ ネプ アイヌフ いったいどのアイヌが  
V u nep aynuhu

シコエクテ ワ 来させて  
sikoekte wa

ウ アタ クニ プ たくさんいるはずのものが  
u at a kuni p

V ウ チェプ ネ ヒネ サケであって (サケだというので)  
V u cep ne hine

シネ チェプ アエ ヒ 一匹のサケを私が食べたことを  
sine cep a=e hi

アイコパク クス 私が罰せられて  
a=i=kopak kusu

V アイヌ ウェニタク	アイヌの悪い言葉
V aynu wen itak	呪いの（黒雲のような）言葉を
ウ クンヌイタク u kunnuitak	
アイコスイエ ヤ a=i=kosuye ya	浴びせられるのか
V イシカラ プトウ タ	石狩川の河口に
V Iskar putu ta	
イシカラ コロ カムイ Iskar kor kamuy	石狩川の神
チワシ コロ カムイ ciwas kor kamuy	河口を司る神が
ウ レヘ タシ u rehe tasi	名こそ
V ピリピノイエクル	ピリピリノイエクル <sup>[1]</sup>
V pirpinnoyekur	
ピリピノイエマツ pirpinnoyemats	ピリピリノイエマツ
ネ ルウェ ネ ワ ne ruwe ne wa	であるのであって
シコエクテ ワ sikoekte wa	来させて
エカ チエプ ek a cep	来たサケ
エク ア クニ プ チエプ ネ ワ	来たはずのものはサケであって

ek a kuni p cep ne wa

ソロンパン カ タ 算盤の上で

soronpan ka ta

ウ カンビ° カ タ 紙の上で

u kampi ka ta

ウビシ レホチ 合わせて 60

upis rehoci

V アウビシパレ ワ 挪えられて

V a=upispare wa

タパン シコツ タ この千歳川に

tapan Sikot ta

アフナ クニ プ 入ったようなものが

ahun a kuni p

ウ アタ クニ プ たくさんいるべきものが

u at a kuni p

ウ チエプ ネ ヒケ サケであって

u cep ne hike

ウ ネプ アイヌフ なんのアイヌが

u nep aynuhu

シコツ エクテ ワ 千歳川に来させて

Sikot ekte wa

ウ アタ クニ プ たくさんいるはずのものが

u at a kuni p

ウ チエプ ネ ヒネ サケであって (サケだというので)

u cep ne hine

V シネ チエプ アエ ヒ  
V sine cep a=e hi

一匹のサケを私が食べたことで

アイコパク クス  
a=i=kopak kusu

罰を受けさせられて

V アイヌ ウェン イタク  
V aynu wen itak

アイヌの悪い言葉

ウクンヌ イタク  
ukunnu itak

呪いの（黒雲のような）言葉

V

(ここから散文)

アイコスイエ ヤ シコロ  
a=i=kosuye ya sekor

を私が浴びせられるのかと

チロンヌプ カムイ ハウェアン コロ  
cironnup kamuy hawean kor  
キツネの神が言いながら

ペッ パルッ タ チャランケ コロ アン ヤク  
pet parur\_ta caranke kor an yak  
川の縁で談判しながらいたという

ウェンタラプ カムイユカン ネ コロカ  
wentarap kamuyyukar\_ne korka  
夢の神話であるけれど

カムイ イルシカ ハウェ ネ クニ アラム ワ  
kamuy iruska hawe ne kuni a=ramu wa  
神が怒ったという話だと思われて

アイヌ ウタラ ウコラムコロ ワ

aynu utar ukoramkor wa

アイヌ達が互いに相談して

カムイ コヤシンケアン ルウェ ネ

kamuy koyasinke=an ruwe ne

神に謝罪をしたのだ。

シコロ アン カムイユカラ

sekor an kamuyyukar

という神謡を

クヌ だけよ。

ku=nu DAKEYO.

私が聞いた。それだけよ。

### 【注】

[1] ピリピリノイエクル pirpirnoyekur は川の神の名。pirpir「渦巻き」noye「～をねじる」kur「人」という意味か。発音は、ピリピンノイエクル pirpinnoyekur となっている。

[2] ピリピリノイエマツ pirpirnoyematsu は川の女神の名。pirpir「渦巻き」noye「～をねじる」mat「女」という意味か。発音は、ピリピンノイエマツ pirpinnoyematsu となっている。

15-5 カムイユカラ 「ピリピリノイエクル ピリピリノイエマ  
 ッ (パウチョーチョパフムフムフム) チロンヌプ アイヌ コ  
 チャランケ」解説

語り手：鍋澤ねぶき  
 聞き手・解説：萱野茂

萱野：えーと、なんたけ、その Iskar putu [石狩川の河口] のなんちゅう神様？

鍋澤：pirpir\_noyekur pirpir\_noyemal [ピリピンノイエクル ピリピンノイエマッ] あっこ道撒くべ、それ a=ye hine yak a=ye wa [それを言うそうだ]。

萱野：pirpir... [ピリピリ……]

鍋澤：...noyekur pirpir\_noyemal [……ノイエクル ピリピンノイエマッ] だ。

萱野：その pirpirnoyekur pirpirnoyemal [ピリピリイエクル ピリピリノイエマッ] という神様が魚を持ってきておったのが、

鍋澤：うんうん、それ。

萱野：魚だのに、その、1匹の魚を食ったからとて、アイヌに悪口を言われて、私はこうやって川の縁に座ってアイヌさ caranke、談判つけてるんだと一人の神様が言いましたというあれだな。  
 それはキツネの神様ですね、cironnupkamuy。

鍋澤：そうだそうだ、えーcironnupkamuy [キツネの神]。

## 15-6 カムイユカラ

「アワキナベンザイ (アエパウ)」

青草の弁財船

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=アイ パウ  
 V=ay paw

ネイ タ アン コタン V どこにある村  
 ney ta an kotan V

ネイ タ アン モシリ V どこにある国  
 ney ta an mosir V

ウ レヘ タシ V 名こそ  
 u rehe tas V

アイヌ サク モシリ V 人間のいない国  
 aynu sak mosir V

チカプ サク モシリ V 鳥のいない国  
 cikap sak mosir V

ウ ネ ワ クス V であるので、  
 u ne wa kusu V

アイコエニウチンネ V そこへ追われ て  
 a=i=koeniwcinne V

ヤイヌアン ヒケ V それを思うと  
 yaynu=an hike V

イルシカ パウセ V iruska pawse V	怒りの鳴き声の
アコサロトウイマ V a=kosarotuyma V	尾を長く
アヌヒタラ V anuhitara V	伸ばして
アワキナ ペンチャイ V awakina pencay V	青草の弁財船
アヤイモムポックル V a=yaymomopokkur V	私は自分の手を
ウ トウシマク カネ V u tusmak kane V	忙しく動かして
アワキナ ペンチャイ V awakina pencay V	青草の弁財船を
アカン ルウェ ネ V a=kar_ruwe ne V	私が作ったのだ。
ウ チバラケ ワ V u cip arke wa V	船の片側に
アワキナ シサム V awakina sisam V	青草の和人
ウピシ レホチ V upis rehoci V	全て 60 人
アカン ルウェ ネ V a=kar_ruwe ne V	私が作ったのだ。

ウ チバラケ ワ V 船の片側に  
u cip arke wa V

アワキナ アイヌ V 青草のアイヌ  
awakina aynu V

ウピシ レホチ V 全て 60 人  
upis rehoci V

アカン ルウェ ネ V 私が作ったのだ  
a=kar\_ ruwe ne V

シサム アナクネ V 和人は  
sisam anakne V

シサム ハヤシ V 和人の囃子の  
sisam hayasi V

エアロクッケシ V 互いの拍子を  
earokutkes V

ペカ カネ V 繙ぎながら  
peka kane V

アイヌ アナクネ V アイヌは  
aynu anakne V

アイヌ ハヤシ V アイヌの囃子の  
aynu hayasi V

エアロクッケシ V 互いの拍子を  
earokutkes V

ペカ カネ V 繙ぎながら  
peka kane V

アシヌマ アナク V asinuma anak V	私は
チプ シケ カ タ V cip sike ka ta V	船荷の上で
イルシカ パウセ V iruska pawse V	怒りの鳴き声を
アコサロトウイマ V a=kosarotuyma V	尾を長く
アヌヒタラ V anuhitara V	伸ばして
アワキナ ペンチャイ V awakina pencay V	青草の弁財船が
ウ カンペ クルカ V u kanpe kurka V	水面の上
エチャラセ ワ V ecarse wa V	を駆けて
アトウイ トモトウイエ V atuy tomotuye V	海を横切って
パイエアン アワ V paye=an awa V	行ったところ
ウ ホシキノポ V u hoskinopo V	真っ先に
ウ パシクル アチャ V u paskur aca V	カラスのおじさん

パシクル オッカヨ V  
paskur okkayo V

カラスの男が

イケサンパ ワ V  
i=kesanpa wa V

追いかけてきて

「チロンヌプ カムイ V  
“cironnup kamuy V

「キツネの神よ

マケイキシリ アン? V  
mak e=iki siri an? V

何をするのですか

アコロ ア モシリ V  
a=kor a mosir V

私たちの土地

アコロ コタヌ V  
a=kor kotanu V

私たちの郷を

エホッパ チキ V  
e=hoppa ciki V

貴方が離れたら

ウ ネウン ネ ワ V  
u neun ne wa V

どうやって

ラマッコロ クス V  
ramatkor kusu V

(土地が (?) ) 魂を持てるというので

エイキ ヤ セコロ V  
e=iki ya sekor V

あなたはそんなことをするのか、と

アイヌ アナクネ V  
aynu anakne V

アイヌは

アタナン クス V  
atanan kusu V

至らないので

パカネ イタク V pakane itak V	馬鹿である言葉を
イエ ハウエ ネ ナ V ye hawe ne na V	言うのだぞ。
チロンヌプ カムイ V cironnup kamuy V	キツネの神は
ヤイラムトモイタク」 V yayramtomoytak” V	思い留まりなさい」
ハウエアン コロ hawean kor	(と) 言いながら
イケサンパ ャッカ V i=kesanpa yakka V	追いかけても
ソモ アヌ ノ V somo a=nu no V	私は聞かないで
アラパアン オラノ V arpa=an orano V	行った。それから
カムイ オピッタ V kamuy opitta V	神々が
イケサンパ キ ワ V i=kesanpa ki wa V	追いかけて
トウ ピリカ クニ プ V tu pirka kuni p V	数々の良いことを
イエパカシヌ V i=epakasnu V	私に教える

キ ワ ネ ャッカ V けれども  
ki wa ne yakka V

ソモ アヌ ノ V 私は聞かないで  
somo a=nū no V

ウ ネイ タ パクノ V いつまでも  
u ney ta pakno V

イルシカ パウセ V 怒りの鳴き声を (上げ)  
iruska pawse V

アコサロトウイマ コロ 尾を長く伸ばしながら  
a=kosarotuyma kor

アトウイ トモトウイエ V 海を横切り  
atuy tomotuye V

パイエアン アイネ V 行くうちに  
paye=an ayne V

ウ アイヌラックル V アイヌラックルが  
u Aynurakkur V

イケサンパ ワ V 追いかけてきて  
i=kesanpa wa V

「チロンヌプ カムイ V 「キツネの神よ  
“cironnup kamuy V

ネウン エイキ シリ V 何をして  
neun e=iki siri V

オカ ヤ? セコロ V いるのですか、と  
oka ya? sekor V

アコロ コタンボ V a=kor kotanpo V	私の村
アコロ モシリボ V a=kor mosirpo V	私の土地から
エホッパ チキ V e=hoppa ciki V	貴方が離れたなら
ウ ネウン ネ ワ V u neun ne wa V	どのようにして
ラマタコロ ヤ」 V ramat a=kor ya” V	私たちは魂を持つのか」
ハウエアン コロ hawean kor	(と) 言いながら
イケサンパ ャッカ i=kesanpa yakka	追いかけても
ソモ アヌ ノ somo a=nu no	私は聞かないで
イルシカ パウセ アキ コロ iruska pawse a=ki kor	私は怒って鳴きながら
アラパアナ プ センネ ウン arpa=an a p senne un	なお行くと、よもや
ウ アイスラックル V u Aynurakkur V	アイスラックルが
エネ イタキ V ene itak h_i V	このように言った。

「ウェン チロンヌプ カムイ V  
“wen cironnup kamuy V  
「悪いキツネの神よ、

ウン エイキ チキ V  
un e=iki ciki V  
お前がそうするなら

イキア クナク V  
ikia kunak V  
決して

ネイタ カ エアラパ ワ  
neyta ka e=arpa wa  
どこかへお前が行って

エヤイウェンヌカッ チキ  
e=yaywennukar\_ciki  
苦しんだなら

アコロ コタンボ° V  
a=kor kotanpo V  
私の村

エオイラムネレ V  
e=oyramnere V  
について心にとめることになる

キ ナ」 シコロ イイエ コロ  
ki na” sekor i=ye kor  
ぞ」と言いながら

イルシカ コロ  
iruska kor  
怒りながら

ホシピ° ワ イサム  
hosipi wa isam  
帰ってしまった。

オラノ  
orano  
それから

ウ ネイ タ パクノ V  
u ney ta pakno V  
いつまでも

アワキナ ペンチャイ V awakina pencay V	青草の弁財船が
ウ カンペ クルカ V u kanpe kurka V	水面の上
エチャラセ ワ V ecarase wa V	を滑って
パイエアン アイネ V paye=an ayne V	いったあげく
タネ アナクネ V tane anakne V	今は
アワキナ ペンチャイ V awakina pencay V	青草の弁財船
キナ ネ クス V kina ne kusu V	草であるので、
スムムケ キ ワ V sumumke ki wa V	しおれてしまって
アラトウイソ カ V aratuyso ka V	遠い沖の上で
コアラサッcep ネ V koarsatcep ne V	干し魚の背を割るように
アワキナ シサム V awakina sisam V	青草の和人
アワキナ アイヌ カ V awakina aynu ka V	青草のアイヌも

キナ ネ クス V 草であるので  
kina ne kusu V

ウ ムン ネ クス V 雜草であるので、  
u mun ne kusu V

スムムケ キ ワ V 枯れていって  
sumumke ki wa V

アラトウイソ カ V 遠い沖の上で  
aratuysu ka V

コアラサッчエプ ネ V 干し魚の背を割るように  
koarsatcep ne V

オカケヘ タ V そのあとに  
okanehe ta V

アレクチ パテク V 私の首だけ  
a=rekuci patek V

トウク カネ ワ V 突き出て  
tuk kane wa V

ヤイウェンヌカラ パウセ V 苦しい鳴き声を  
yaywennukar pawse V

アエカ……  
aeaka...

アイエ カネ コロ V 私が言いながら  
a=ye kane kor V

ウ ソンノ ポカ V 思ったとおり  
u sonno poka V

ウ アイヌラックル V u Aynurakkur V	アイヌラックルが
ウ イエ プ コラチ V u ye p koraci V	言ったように
アコロ コタンポ <sup>9</sup> V a=kor kotanpo V	私の村
アコロ モシリポ <sup>9</sup> V a=kor mosirpo V	私の土地
エウンノ アナン マ eunno an=an w_a	に向かって
ヤイウェンヌカラ パウセ V yaywennukar pawse V	苦しみの鳴き声を
アキ カネ コロ V a=ki kane kor V	あげながら
エッセエッセアン コロ V etseetse=an kor V	息が詰まりそうになりながら
イキアン アワ V iki=an awa V	いたところ
アレクシコンナ V ar ekuskonna V	とつぜんに
イネ ヘマンタ V ine hemanta V	何者かが
イラウコタブ <sup>9</sup> V i=rawkotapu V	私を抱え込み

イイエキラ フミ V  
i=ekira humi V  
連れて逃げた。

アエキサラストゥ V  
a=ekisarsutu V  
私の耳の根元が

ウ マウクルル V  
u mawkurur V  
風でピューピューと鳴った。

ウ キ ロク アイネ V  
u ki rok ayne V  
そうしているうちに

イネ フナク タ V  
ine hunak ta V  
どこかで

(ここから散文)

アイオスラテキネ インカラナクス  
a=i=osuratek h\_ine inkar=an akusu  
パッと投げ出されて私が見ると

シシリムカ アコン ルウェサン  
Sisirmuka a=kor\_ruwesan  
沙流川は私の浜辺

ルウェサン カ タ アイオスライネ アン。インカラアナクス  
ruwesan ka ta a=i=osura h\_ine an. inkar=an akusu  
浜辺の上に私は投げ出されていた。見たよ。

オウフイニカパトウシ カリ テク ヤクン  
ouhuynikapattus kari tek yakun  
裾の燃えた樹皮衣がさっと翻った。ならば

アイヌラックル イエキラ シリ ネ クニ アラム。クス ケライボ<sup>°</sup>  
Aynurakkur i=ekira siri ne kuni a=ramu. kusu keraypo  
アイヌラックルが私を連れてきたのだろうと思った。そのおかげで

アコロ コタン タ アナン ルウェ ネ

a=kor kotan ta an=an ruwe ne

私の村に暮らしてるので

シコッ チロンヌプ カムイ ハウエアン。シコロ

sekor\_cironnup kamuy hawean. sekor

とキツネの神が語った。とさ。

## 15-7 カムイユカラ「アワキナベンザイ（アエパウ）」解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：私は一匹のキツネでありましたと。アワキナと、どんな草よアワキナつて。

鍋澤：した、awakina ってば、ま、青草。キツネはなんでも騙すことやるべ。するもんだから、hu... hu... hukina ani pencay kar hawe [生草で弁財船を作ること] だべし。ってゆうような意味でないのか。

萱野：うーん、青草で船を作つて、それに、えーシャモもアイヌも大勢の乗組員を乗せて海へ繰り出した。

鍋澤：それも作つて。

萱野：それも全部その草で作つて海へ乗り出したと。そうしたら一羽のカラスが飛んできて「どこ行くの？ キツネさん。そんなことしてよそへ行くんではないよ」と。「やっぱりアイヌの国土はいいから行くんではない」と言われても、それを聞かずにどんどん漕ぎ出していったと。  
その次来た神様なんだ？ paskur [カラス] の後から来た。

鍋澤：ちよ、kamuy opitta [神様みんな] てば、ま、mosir or\_ta oka kamuy [国土にいる神様] みんなから kese a=anpa [追いかけられ] しても。

萱野：あー、なるほど、なるほど、いろいろな神様が次から次と来て、戻りなさいと言つても戻らない。

鍋澤：ただ、paskur okkayo [カラスの男] と Aynurakkur [アイヌラックル]だけは k=eramuan korka [わかるけれど] との神様は kamuy opitta [神様みんな] っていうから。

萱野：あ一なるほどね。いろいろな神様が戻つ……うーん、アイヌの国土へ戻りなさい、戻りなさいと言っても、私は戻らずにどんどん沖へ漕ぎ出して行った。そうすると私たちの乗つ……私の乗つておるその船は青草で作つてあるので、それが間もなくこう、sumumke という、それは、あの一、こう……し、しなびちやつて、

鍋澤：し、しなびて、しなびて。

萱野：しなびてしまつて、舟が沈んだ。そうしたら、もうアップ、アップ、アップアップもう水に今にも溺れそうになつたのに、なつてもう今はもうこれまでかと思っておるところへ誰かが来てさつと救い上げてくれた。そのまま、まあ気が付かないで、まあ気を失つてしまつて、ポンとどこかへ下ろされたので、良く見ると私の昔住んでおつた、a=kor ruesan [私の浜辺] といったな？

鍋澤：うん、うん。

萱野：自分の住んでおつた場所へ持つてこられた。良く見る、良く見るとでない、そうやってポンっと下されて、気を付けて見ると ou... ouhuynikapattus [燃える樹皮衣] だな。んー、裾の方がさつ、すすのほう……裾の方にさつと炎の見えた、んー厚司を着た人が助けてくれたんだと。それは Okikurmikamuy であったでしょう。

それから私はまだアイヌの国土で生活しておる一匹のキツネでありますという kamuyyukar [神譜] だな。

鍋澤：うん、うん。

(録音中断)

鍋澤：(pas)kur kamuy [カラスの神] とていうものは、この aynumosir\_ta isam eaykap. ok... oka yak easir pirkap ne [この国土にいなくなることはできない。いるからこそ良いのだ] ってゆう upaskuma [言い伝え] あるんだ。

萱野：cironnup [キツネ] と paskur [カラス] は aynumosir [人間の国土] にいた方がいいもんだって。並んでな。

## 15-8 カムイユカラ

「サロルン ニッネプ（サンタイキヤンキリヤン）」

茅原の化けもの

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=サンタイキリヤンキリヤン

V=santaykiriyan

V ペン ヌタブ タ 川上の野原に  
 V pen nutap ta

パン ヌタブ タ 川下の野原に  
 pan nutap ta

トウ チエブ カ 二匹の魚も  
 tu cep ka

レ チエブ カ 三匹の魚も  
 re cep ka

チチウ ワ チロンヌ 私が突いて殺した。  
 ci=ciw wa ci=ronnu

チエワ チョケレ 私が食べ終え  
 c=e wa c=okere

V アイヌ ヘネ アイヌでも  
 V aynu hene

カムイ ヘネ 神でも  
 kamuy hene

ヤイパロイキ クス  
yayparoyki kusu

アラキ コッ  
arki kor\_

チチウ ワ チロンヌ  
ci=ciw wa ci=ronnu

チエ ワ チョケレ  
c=e wa c=okere

V オカアサワ  
V oka=as awa

V シネアント タ  
V sineanto ta

V イネ ヘマンタ  
V ine hemanta

イシサウコンナ  
isisawkonna

ヤクナタラ  
yaknatara

V アラキ ハウエ  
V arki hawe

エネ オカ イ  
ene oka h\_i

V 「サロルン ニッネヒ  
V "sarorun nitnehi

自分の口を養うために

やって来ると

私が突いて殺した。

私が食べ終えた

私がいたところ

ある日に

何者かが

悪口を言う声が

近づいて

来たのは

このようなこと

「茅原の化けもの

エイキ ヒケ  
e=iki hike

ポオイ シクヌ ポ<sup>9</sup>  
poon\_ siknu po

エキ ナンコン ナ<sup>[1]</sup>  
e=ki nankor\_ na”

V ハワシケ  
V hawas h\_ike

インカラサクス  
inkar=as akusu

V トヤラサルシ<sup>[2]</sup>  
V Toyarasarus

ウェナラサルシ  
Wenarasarus

ネ ロコカ  
ne rokoka

V エネ アラキ ヒネ  
V ene arki hine

オアッチニ  
oatcini

オマクシ  
omakusi

オアッチニ  
oatcini

お前は

少しばかり生きる

だろうよ。」

と言って

見てみると

ひどいアラサルシ

悪いアラサルシ

だった。

このように来て

片足は

後ろに

片足は

オサウシ osawsi	前の方に
アイシヌ…… アシヌマ カ ネノ aysinu… asinuma ka neno	私も同様に
アオアッチニ a=oatcini	私の片足は
アオマクシ a=omakusi	後ろの方に
アオアッチニ a=oatcini	私の片足は
アオサウシ a=osawsi	前の方に
V ウコテレケアノロワノ V ukoterke=an orowano	取つ組み合いをして、それから
トウトイ シンリツ tu toy sinrit	ふたつの根っこを
アウコメウバ <sup>[3]</sup> a=ukomewpa	互いに掘り起こした。
キロカイネ ki rok ayne	そうしているうちに
V インカラシ ルウェ エネ アン V inkar=an ruwe ene an	私が見たのはこうだ。
トヤラサルシ Toyarsarus	ひどいアラサルシ

ウェナラサルシ  
Wenarsarus 悪いアラサルシ

カネ サンペアツ  
kane sanpeat 金属の心臓

イワイ サンペアツ  
iwan\_ sanpeat 六つの心臓

ヤヤイ サンペアツ  
yayan\_ sanpeat ただの心臓

イワイ サンペアツ  
iwan\_ sanpeat 六つの心臓を

コソ ロコカ  
kor\_ rokoka 持つのだった。

アシヌマ カ  
asinuma ka 自分も

カネ サンペアツ  
kane sanpeat 金属の心臓

イワイ サンペアツ  
iwan\_ sanpeat 六つの心臓

ヤヤイ サンペアツ  
yayan\_ sanpeat ただの心臓

イワイ サンペアツ  
iwan\_ sanpeat 六つの心臓を

アコソ ロコカ  
a=kor\_ rokoka 持つのだった。

V アウコトウイパ 私が互いに切った  
 V a=ukotuypa

アウコウェンテ 私が互いに荒らした  
 a=ukowente

V キロカイネ そうしているうちに  
 V ki rok ayne

(ここから散文)

ウエコッアン ルウェ ネ セコロ  
 ueket=an ruwe ne sekor  
 互いに死んでしまったと

サロルン ニッネヒ ハウェアン  
 sarorun nitne hi hawean  
 茅原の化け物が言った。

シコン ネ アカイエ  
 sekor\_ ne yak a=ye.  
 というのだ。

(萱野：あーなるほどな)

アラサルシっていうのは クマのきかないもののこつでないのか。  
 arsarus っていうのは クマのきかないもののこつでないのか。  
 アラサルシっていうのは クマの乱暴なやつのことではないのか。

(萱野：うん)

と、思うな

(萱野：うん)

クマは尾っぽないべ

(萱野：うんうんない)

サルシチラマンテプっていうものは  
sarusciramantep っていうものは  
尾のある獲物（クマ）っていうものは

(萱野：うん)

おっかないものだと

(萱野：あ～そうかい)

うん

トヤラサルシ ウェナラサルシってば  
Toyarasarus Wenarsarus ってば  
ひどいアラサルシ、悪いアラサルシってば

(萱野：あ～なるほどね)

### 【注】

- [1] poon siknupo e=ki nankor na 「お前は少しばかり生きるだろうよ」というのは、反語的な表現で、「お前が生き延びることはないぞ」という意味。
- [2] arsarus というのは、一種のクマの化け物。
- [3] sinrit mewpa というのは大木などの根を掘り起こすことだが、そのようにして相手を持ち上げて投げ飛ばしたということか。

## 15-9 カムイユカラ 「サロルン ニッネプ（サンタイキヤンキリヤン）」解説

語り手：鍋澤ねふき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えーと、私は一羽の鶴でありました。えー、魚を捕って食べておったり、食べたりしておる。そこへ人間が来ると人間をもとつて食う。そういう悪さをしておった一羽の鶴でした。

ある日のこと、ずっと向こうの方から物音、声がするので見ると、arsarus という、その獰猛な熊がやってきて、この悪い鶴め、お前を叩き殺してやるというわけで襲いかかってきた。

そうしたら、あー、鶴である私、一方の足は陸（おか）の方へ一方の足は水へ浸かるぐらいにしてかまえた。向こうから来る、その arsarus という化け熊もそれと同じようなかまえをして、えー、まあ、取つ組みあつた。

そうすると、arsarus も普通の心臓の、at というのは心臓の糸、が六本、鉄で出来た心臓の緒が六本というふうに、もうすごく心臓も丈夫。けれども、その鶴もそのように、arsarus もそのような kane えー、sampe an... at [鉄の心臓の糸] 六本というふうに、鉄で出来た心臓の糸が六本、普通のが六本というふうに持っているので、双方四つに組んで大格闘をしてどっちも死んだと、一羽の鶴が自分で語りましたという。そういう意味だな？ kamuyyukar [神譜]。

鍋澤：ん、んだ、んだ、んだ。（笑）

## 15-10 カムイユカラ

「フリ ニッネプ チャクチャクカムイ (フムフムトリヤテ)」

怪鳥フリとミソサザイの神

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=フムフム トリヤテ  
V=humhum toriyate

チコロ スンク 私のエゾマツの  
ci=kor sunku

ランケ テケ 下の方の枝  
ranke teke

V チャムコサイエ を私の爪でつかみ  
V c=amkosaye

リクン テケヘ 上の枝を  
rikun tekehe

V チチョロコパシテ 下に引っ張って(?)  
V ci=corkopaste

イトクパ イペ つつき食い  
itokpa ipe

イリシバ イペ むしり食い  
irisipa ipe

V チコン……  
V ci=kor...

キ コン ネシ  
ki kor\_ nesi

オカアナワ  
oka=an awa

V シネアンタ  
V sineanta

ノト ヌカラ  
noto nukar

V キ アクス  
V ki akusu

ピリカ ノト  
pirka noto

チシレアヌ  
cisireanu

V ピシタ サパシ  
V pista sap=as

キ アクス  
ki akusu

V シ エタシペ  
V si etaspe

モコロ ワ オカ  
mokor wa oka

シ エタシペ  
si etaspe

ながら

私がいたところ

ある日に

風を見た

ところ

良い風

がある。

私は浜へ下る

と

大きいトドが

眠っていた

大きいトド

チャムコサイエ  
c=amkosaye

キ アクス  
ki akusu

シ エタシヘ<sup>°</sup>  
si etaspe

アリキキ コロ  
arikiki kor

V エホシトム パクノ  
V ehostom pakno

アイラウェカッタ  
a=i=rawekatta

V アリキキアン コロ  
V arikiki=an kor

シ エタシヘ<sup>°</sup>  
si etaspe

カンペ クルカ  
kanpe kurka

V チョプスカラ  
V c=opusukar

キ ロカイネ  
ki rok ayne

シ エタシヘ<sup>°</sup>  
si etaspe

チョアンライケ  
殺した。  
c=oanrayke

V シ エタシペ  
V si etaspe  
大きいトドを

チャムコサイエ  
爪でつかみ  
c=amkosaye

V チコロ スンク  
V ci=kor sunku  
私のエゾマツの

ランケ テケ  
ranke teke  
下の枝を

V チャムコサイエ  
爪でつかみ  
V c=amkosaye

リクン テケヘ  
rikun tekehe  
上の枝を

V チチョロコパシテ  
V ci=corkopaste  
下に引っ張っては

イトクパ イペ  
itokpa ipe  
つつき食い

イリシパ イペ  
irispa ipe  
むしり食い

チコオアンノチ  
ci=kooannoci  
ひと口ずつ

カンナ カンナ  
kanna kanna  
繰り返し (食べて)

V オカアサワ  
V oka=as awa

イネ ヘマンタ  
ine hemanta

アラキ ハウエ  
arki hawe

V エネ オカ ヒ  
V ene oka hi

タン ウエン フリ  
tan wen huri

シルン ウエン フリ  
sirun wen huri

V ネプネレ  
V nep un=ere

ネプナンテ  
nep un=ante

V エイキ ヒケ  
V e=iki hike

ポオイ シクヌボ  
poon\_ siknupo

V エキ キ ナ  
V e=ki ki na

ハワシケ  
hawas h\_ike

V インカラサクス 見ると  
V inkar=as akusu

チャクチャク オッカヨ ミソサザイの男  
cakcak okkayo

ネ ロコカ であったのだ。  
ne rokoka

(フチ：待てよ)

イトクパ イペ イリシパ イペ アキ コロ むしり食い、つつき食いを私がしつつ  
itokpa ipe irispa ipe a=ki kor

あの時も カムイ オピッタ アラキ ワ あの時も神が皆来て  
ANOTOKIMO kamuy opitta arki wa

タン ウエン フリ この悪いフリ  
tan wen huri

シルン ウエン フリ とてもひどいフリ  
sirun wen huri

V ネプネレ 私に何か食わせろ  
V nep un=ere

ネプナンテ 何かよこせ  
nep un=ante

V ハワシ コロ と言うと  
V hawas kor

チャムコサイエ 私は爪でひつつかみ  
c=amkosaye

チョアンライケ  
殺した  
c=oanrayke

V キ ロカイネ  
V ki rok ayne  
したあげく

イヨシノ エク ペ  
iosno ek pe  
あとから来た者が

スイ ネノ ハウェアニネ  
suy neno hawean h\_ine  
またこのように言って

インカラサクス  
inkar=as akusu  
見ると

チャクチャク オッカヨ  
cakcak okkayo  
ミソサザイの男

ネ ロコカ  
ne rokoka  
であったのだ。

V イララ ケウトゥム  
V irara kewtum  
悪さをする気持ち

チコロ クフ  
ci=kor kuhu

チコロ チ……  
ci=kor ci...

チヤイコロパレ  
ci=yaykorpare  
がわいた。

V チャクチャク オッカヨ  
V cakcak okkayo  
ミソサザイの男

(ここから散文)

チャムコサイエ クス ネ コロ

c=amkosaye kusu ne kor

を爪でつかまえようとすると

チコンコヌトゥル アコンコヌトゥル

ci=konkon utur a=konkon utur

私の羽毛、私の綿毛

クシ クシ カネ オロワノ

kus kus kane orowano

を通り抜けて、それから

チャクチャク オッカヨ チハイタカラ ペ

cakcak okkayo ci=haytakar pe

ミソサザイ男を私はとり逃がして

ヤイクルカ タ ヤイトウマム カ

yaykurka ta yaytumam ka

自分で、自分の体も

アアメオケレ アイネ

a=ameokere ayne

爪でひつかき終えたあげく

アヘルモトチ アン ワ

a=herumotoci an wa

骨だけになって

トウライ ウエンライアン

turay wenray=an

ひどい死に方、悪い死に方をした。

## 15-11 カムイユカラ「フリ ニッネプ チャクチャクカムイ（フムフムトリヤテ）」解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えーと、あの一今のは、この *huri* [フリ] という大きい鳥のはなしなんですけれども、んー、アイヌでの、その空想上の鳥だと思われます。

鍋澤：うん。

萱野：えー、私は一匹の、一羽の *huri* がありました。ある日のこと海辺へ行くと、大きな *etaspe* と言ったら？ これは、

鍋澤：TONTO sekor si... sisam ye p [和人がトドと言うもの]。

萱野：トド、あーそうかい。大きなトドがいたので、そのトドを、トドを、んー、爪で抑えて引き上げようとした。

そうすると、そのトドが力を入れると自分、その *huri* が、んーと、真ん中まで、海の中へ引きずられ、引きずりこまれそうなる。また、ある時には自分が力を入れると、そのトドが胴、真ん中を、水面に引き上げる事ができる。そういう格闘をした後に、どうやら、その、んーそのトドを殺して、そして自分の巣を、巣を持ってきた。そして、そこで悠々として食っていた。

そうすると、そこへ他のいろいろな神様がやってきて一口食べさせて、少しごちそうして、そう言っても一口も食べさせずに、そう言ってくる神様をひと爪でこうかっちゃいて〔引っ搔いて〕殺しちゃう、そうやりながら食べておったある時にまた来たのは *cakcak okkaypo* [ミソサザイの男] といって、あの、よくこれ、あのーアイヌではその鳥を大切にしますね、あの茶色の

鍋澤：んー、んだんだ。

萱野：小さい鳥で、

鍋澤：pon pon cikap [小さい、小さい鳥]

萱野：そして、よくあの川の水面なんかちやつちや、ちやつちやといって飛ぶんですけども、よく、この cakcak [ミソサザイ] のことなんか更科源藏先生なんかよく書いてるんですけども、えー、アイヌに熊のいる場所教えたりという、私の父もよく言っておったもんですけれども ipirma kamuy [こっそり教える神] といって、よく、その危険を知らせてくれるということで大切にするらしいんですが、その cakcak という鳥が来た。

そうしたら、こんな小さな、ま、スズメよりちょっと小さいぐらい、村スズメよりちょっと小さい。

鍋澤：んだ、そうだ、そうだ。

萱野：そのスズメよりも小さい鳥なので、そのまま見て見ないふりしておった。そばへ來るのでカッとかつちやく [引っ搔く] と、その爪の間から逃げたり、konkon uturu kus というのは羽の間？

鍋澤：うん、そうそう。毛の、

萱野：毛の間だな？

鍋澤：うん。

萱野：毛の間から飛び去ってしまうという風にするので殺すことができない。何回もやってるうちに自分自身の爪で自分の体をかっちやいで [引っ搔いて]、死んでしまったと。一羽の huri が自分で、えー言いました。これの sakehe は、えー、今言ったように、なんだ sake...

鍋澤：humhumtoriyate (笑)

萱野：humhumtoriyate ですね。それが sakehe で、あれしたわけですね。

鍋澤：(笑い声)

## 15-12 カムイユカラ

「ハンチキキ」

スズメの酒盛り

語り：鍋澤ねふ<sup>♪</sup>き

サケヘ V 1 =ハンチキキ

V1=hancikiki

V 2 =ソクソキ ヤ

V2=soksoki ya

V 3 =ハンチピヤク

V3= hancipiyak

V 1 シネ アマムプシ

ひとつの穀物の穂を

V1 sine amampus

V 1 チタタタタ

刻んだ。

V1 ci=tata tata

V 1 サケヘ チカラ

それで酒を作った

V1 sakehe ci=kar

V 1 イワイ シントコ

六つの行器を

V1 iwan\_ sintoko

V 1 ロッ チョライエ

上座の方に寄せる

V1 ror\_ c=oraye

V 1 イワイ シントコ

六つの行器

V1 iwan\_ sintoko

V 1 ウトウツ チョライエ 下座に寄せる  
 V1 utur\_c=oraye

V 1 カムイ オピッタ 私は神々を  
 V1 kamuy opitta

V 1 チェアフンケ 招待した。  
 V1 c=eahunke

V 1 センネ シサク トノト めずらしい酒  
 V1 senne sisak tonoto

V 1 アウコマクテッカ と一緒に互いに宴会を開いた  
 V1 a=ukomaktekka

V 1 キ アクス ところ  
 V1 ki akusu

V 1 エヤミ オッカヨ カケスの男が  
 V1 eyami okkayo

V 1 タプカラ タプカラ 踏み舞をし、  
 V1 tapkar tapkar

V 1 ソイ ワ サン マ 外に  
 V1 soy wa sam w\_a

オシライエ 行った  
 osiraye

V 1 キ アクス ところ  
 V1 ki akusu

V 1 シネ ニセウ ヌム エクパ ヒネ ひとつのドングリを咥えてきて  
 V1 sine nisew num ekupa hine

V 1 シントコ オレカッタ 行器にの中に入れた  
 V1 sintoko or ekatta

ウェン ミナ ハウ チェオシマレ 大笑いの声がまき起こった  
 wen mina haw c=eosmare

V 1 タブ シリキ ヒ その様子を  
 V1 tap sirkı hi

パシクル オッカヨ ヌカラ ヒネ カラスの男が見て  
 paskur okkayo nukar hine

タブカッ タブカラ 踏み舞をした。  
 tapkar\_ tapkar

ソイ ワ サン マ 外に出て  
 soy wa san w\_a

オシライエ ワ 行った  
 osiraye wa

V 1 キ アクス ところ  
 V1 ki akusu

V 1 シネ シ タクタク ひとつの糞の塊  
 V1 sine si taktak

エクパ ワ コロ ワ アフン マ 噛えて持って来でいて  
 ekupa wa kor wa ahun w\_a

シントコ オレカッタ 行器の中に入れた  
 sintoko or ekatta

ウェイ サカヨ ひどい騒ぎに  
 wen\_ sakayo

チェオシマレ 突入した。  
c=eosmare

V 1 パシクル オッカヨ カラスの男は  
V1 paskur okkayo

アラコキクキク<sup>[1]</sup> 羽とともに殴られ  
a=rakokikkik

アライケ ノイネ 殺されたらしい  
a=rayke noyne

シリキ イクス 様子なので、  
sirki h\_ikusu

アスラニアン クス 緊急事態を知らせるために  
asurani=an kusu

あの

エゾクソキ オッカヨ アカゲラの男  
esoksoki okkayo

オロ タ アラパアン アクス のところに私は行ったところ、  
oro ta arpa=an akusu

V 2 エサケ コロ ワ お前が酒を造って  
V2 e=sake kor wa

V 2 イタカ ヤクン 私を招いたなら  
V2 i=tak a yakun

V 2 サカヨ アン ヤッカ 騒ぎになんでも  
V2 sakayo an yakka

V 2 アタンネタミ 私の長い刀を  
V2 a=tannetami

(ここから散文)

アトウリトウリ 伸ばし  
a=turituri

アタクネタミ 私の短い刀を  
a=taknetami

アエテテテテ 私は杖のようにしてつき  
a=etetetete

イカオパサナクン かけつけて  
ikaopas=an y\_akun

サカヨラッチ コロカ 争い事もないけれど  
sakayoratci korka

イタク ソモ キ ワ 招きもしないので  
i=tak somo ki wa

ソ…… ソ…… ソモ イカオパサン ナ シコロ (?) 駆けつけるものか、 と  
so... so... somo ikaopas=an na sekor

オラウン チピヤク オッカヨ それからオオジシギの男に  
oraun cipiyak okkayo

オロ タ スイ そこでまた  
oro ta suy

アスラニアン アクス スイ 危急を知らせたところ、 また  
asurani=an akusu suy

(ここから韻文)

V 3 エサケ コロ ワ お前が酒を持って

V3 e=sake kor wa

V 3 イタカ ヤクン 私を招いたなら

V3 i=tak a yakun

V 3

V3

(ここから散文)

サカヨ アナッカ 騒ぎがあっても

sakayo an y\_akka

アタンネタミ 私の長い刀を

a=tannetami

アトウリトウリ 伸ばした。

a=turituri

アタクネタミ 短い刀は

a=taknetami

アエテテテテ 杖のようにしてついた。

a=etetetete

イカオパシ アナク 駆けつけては

ikaopas=an y\_ak

サカヨラッチ コロカ 争い事も静まったけれど、

sakayoratci korka

イタク カ ソモ キ ワ 誘いもしないので

itak ka somo ki wa

ソモ イカオパシアン 駆けつけないよ  
somo ikaopas=an

シコロ ハウェアン。 と言った。  
sekor hawean.

エカナクス イエトコ タ 家に来ると私の前に  
ek=an akusu i=etoko ta

パシクル オッカヨ カラスの男  
paskur okkayo

アライケ ワ は殺されて  
a=rayke wa

うつふつふつふ

アラコキッキク ワ 羽とともに何度も叩き、  
a=rakokikkik wa

アライケ ワ イサム シコロ 殺されて死んだと  
a=rayke wa isam sekor

うん、これはきっと

アマメチカッポ スズメが  
amamecikappo

エネ ハウェアン ハウェ だべ  
ene hawean hawe DABE  
こう言った話だべ。

(萱野：うん)

うつふつふつふ

アエミナノ 可笑しい  
a=eminano

【注】

[1] a=rakokikkik と言っているが、a=rapkokikkik 「羽ぐるみ叩く」 という意味と考えて訳した。後にももう一度同じ表現が出てくる。

## 15-13 カムイユカラ

「イウォロ コロ カムイ (ペットゥーぺットゥ)」

狩場の神

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=ペッル ペッル  
V=petru petru

V マタパ サク クル 妹のないものが  
V matapa sak kur

V チネ プ ネ クス 私なので  
V ci=ne p ne kusu

V ペラッネ キナ 編まないガマ  
V peratne kina

チピラピラ を私は広げ  
ci=pirapira

V カシ タ ロカシ 上に座った  
V kasi ta rok=as

V ウ キ アクス…… ヒネ そうして  
V u ki akus... hine

ランマ カネ いつもいつも  
ramma kane

カッコロ カネ かわりなく  
katkor kane

V ウ オカアサワ	私は暮らしていたところ
V u oka=as awa	
V シネアン ト タ	ある日に
V sinean to ta	
V プヤロンネヒ	窓のところに
V puyar onnehi	
クルンクルン	影がさす
kurunkurun	
V インカラサクス	私は見てみると
V inkar=as akusu	
V エヌンノヤ	エヌンノヤ <sup>[1]</sup>
V enunnoya	
セコロ アイエ チカッポ <sup>°</sup>	と言われる小鳥
sekor a=ye cikappo	
V プヤラ シク…… 違うわ	
V puyar sik... 違うわ	
V プヤラ オンネヒ	窓のところに
V puyar onnehi	
クルンクルン	影が
kurunkurun	
V インカラシ アクス	私は見てみると
V inkar=as akusu	
V えー ポロ トウキ	大きい杯の
V eー poro tuki	

カンパスイカン  
kanpasuykan

上の捧酒籠が

モムナタラ  
momnatara

ただようほどに酒が満ち

V キケウシパスイ  
V kikeuspasuy

削りかけの付いた捧酒籠が

V ウ トウキ カ タ  
V u tuki ka ta

杯の上で

テレケテレケ  
terketerke

跳ねながら

V ウ ソンコ アッパ  
V u sonko atpa

伝言のはじめ

ピタ カネ  
pita kane

を解くように

ソンコ サラケシ  
sonko sarkes

伝言の末尾を

アッテ カネ  
atte kane

をかけるように

V ソンコ イエ ハウェ  
V sonko ye hawe

伝言を言う様子は

エネ オカ ヒ  
ene oka hi

このようなこと

V インカラ クス  
V inkar kusu

見てみなさい

V イウオロ コロ カムイ	狩場を司る神よ、
V iwor kor kamuy	
V オキクルミ	オキクルミ (という)
V Okikurmi	
アイヌ ニシパ aynu nispa	アイヌの偉い方が
V イウテク ハウェ	私を使者にしたことは
V i=utek hawé	
エネ オカ ヒ ene oka hi	このようなこと
V ウ アイヌ コタン	アイヌの村が
V u aynu kotan	
ケムシ キ ワ kemus ki wa	飢饉になって
V エネネ ヒ カ	どうすることも
V enene hi ka	
イサム マ isam w_a	できなくて
ケシト アン コロ kesto an kor	毎日毎日
ムイ オマ プ ランケ muy oma p ranke	箕に入っているものを下し、
アエイカオピウキ ャッカ a=eykaopiwki yakka	人々を助けても

タネ アナクネ  
tane anakne

V エネネ ヒ 力  
V enene hi ka

イサム ルウェ ネ  
isam ruwe ne

V イウォツ コロ カムイ  
V iwor\_kor kamuy

チエプ アッテ ワ  
cep atte wa

イコロパレ ャン  
i=korpare yan

V ユク アッテ ワ  
V yuk atte wa

イコロパレ ャン  
i=korpare yan

V ケライ ネ ヤクネ  
V keray ne yakne

アイヌ ウタラ  
aynu utar

シクヌ ヤクン  
siknu yakun

V イナウ アニ  
V inaw ani

サケ アニ	酒で
sake ani	
V ヤヤッタサ クニ プ	お礼をするべきもの
V yayattasa kuni p	
アイエ クシ ネ ナ	と私が言いますよ。
a=ye kus ne na	
V イウオロ コロ カムイ	狩場を司る神よ
V iwor kor kamuy	
V ウ チェパッテ ワ	サケを増やして
V u cep atte wa	
ユカッテ ワ	シカを増やして
yuk atte wa	
イコロパレ ャン	下さい
i=korpare yan	
V セコロ オカイ へ	ということを
V sekor okay pe	
V キケウシパスイ	削りかけの付いた捧酒籠が
V kikeuspasuy	
ソンコ アッパ	伝言のはじめ
sonko atpa	
ピタ カネ	を解くように
pita kane	
ソンコ サラケシ	伝言の終わり
sonko sarkes	

アッテ カネ  
atte kane  
をかけるように

V ソンコ イエ  
V sonko ye  
伝言を

ハウエアニ クス  
hawean h\_i kusu  
言う様子なので

ネア トウキ  
nea tuki  
その杯

アウイナ ヒネ  
a=uyna hine  
を私がとって

V イワイ シントコ  
V iwan\_ sintoko  
六つの行器を

V ロロ アオライエ  
V ror a=oraye  
上座の方に寄せ

イワイ シントコ オロ  
iwan\_ sintoko or  
六つの行器のところを

ウトゥラオライエ  
utur a=oraye  
下座の方に寄せ

オロ アオタ ワ  
oro a=ota wa  
そのところから汲み入れた。

オラウン カムイ オピッタ  
oraun kamuy opitta  
それから神々

V チェアフンケ  
V c=eahunke  
を招待し、

V シサク トノト 盛大な宴会  
 V sisak tonoto

V アウコマクテッカ を開催した  
 V a=ukomaktekka

V ネ クルカ タ その席で  
 V ne kurka ta

アイエ アクス 言ったところ  
 a=ye akusu

V んー チェプ コロ カムイ サケを司る神が  
 V n— cep kor kamuy

エネ イタキ このように言った  
 ene itak h\_i

V ウ アイヌ オッ タ アイヌのところで  
 V u aynu or\_ta

V チェプ アロンヌ コロ 魚が殺されると  
 V cep a=ronnu kor

イサパキクニ カ サク ノ<sup>[2]</sup> なづち棒も持たずにで  
 isapakikni ka sak no

チシ コロ アラキ 泣きながら帰ってくる。  
 cis kor arki

V イルシカアン クス 私は怒ったために  
 V iruska=an kusu

チエプ アアッテ カ ソモ キ サケを下さない  
 cep a=atte ka somo ki

シコロ ハウェアシ オラ  
sekor haweas ora

ユク コロ カムイ オロ タ  
yuk kor kamuy oro ta

アイエ アクス  
a=ye akusu

V ウ アイヌ オッ タ  
V u aynu or\_ ta

ユカロンヌ コロ  
yuk a=ronnu kor

イナウ カ サクノ  
inaw ka sakno

アラキ キ ワ  
arki ki wa

V チシ コロ アラキ  
V cis kor arki

V イルシカアン クス  
V iruska=an kusu

(ここから散文)

ユク アアッテ カ ソモ キ  
yuk a=atte ka somo ki

シコロ ハウェアシ コロカ  
sekor haweas korka

チエプ コロ カムイ  
チエプ コロ カムイ

cep kor kamuy

プウェヘ タ  
puwehe ta

アラパアナクス  
arpa=an akusu

サラニブ オロ  
saranip or

チエプ ポネ オ ワ  
cep pone o wa

アニ クス  
an h\_i kusu

アシコン ネ  
askor\_ne

アウキネ  
a=uk h\_ine

ペチウォロ カ タ  
peciwor ka ta

アチャッチャリ アクス  
a=catcari akusu

オロワノ  
orowano

ポクナ チエプ ルブ  
pokna cep rup

(ここから韻文)

スマ シル 石でこすり  
suma siru

カンナ チエプ ルプ 上の魚群は  
kanna cep rup

スクシ チレ 日の光で焼ける  
sukus cire

V セムコラチ ように  
V semkoraci

チエプ アッ ルウェ ネ 魚が増えたのだ。  
cep at ruwe ne

V ユク コロ カムイ シカを司る神の  
V yuk kor kamuy

プウェ タ アラパアナクス 倉に行ったところ  
puwe ta arpa=an akusu

ユク ポネ オ シカの骨が入った  
yuk pone o

サラニピ アン ヒ クス 袋があったので、  
saranip an hi kusu

V ポネ アウキネ スイ 骨を取って  
V pone a=uk h\_ine suy

イウォロ ソ クルカ 狩場の上に  
iwor so kurka

アチャッチャリ ナ まき散らした。  
a=catcari na

V キ アクス そうしたところ  
V ki akusu

V アプカ トパ 雄ジカの群れは  
V apka topa

シンナ カネ 別々に  
sinna kane

モマンペ トパ メスジカの群れは  
momampe topa

シンナ カネ 別々に  
sinna kane

V オロワ ユク アッ ヒネ それからシカが増えて  
V orowa yuk at hine

オロワノ アイヌ ウタラ それからアイヌ達は  
orowano aynu utar

ユク コイキ ワ エク シカを獲って来た。  
yuk koyki wa ek

チエプ コイキ ワ エ ワ 魚を獲って食べて  
cep koyki wa e wa

シクヌ ルウェ ネ 生きのびることができた。  
siknu ruwe ne

V スイ オキクルミ またオキクルミ  
V suy Okikurmi

アイヌ ニシパ アイヌの偉い方が  
aynu nispa

V スイ ポロ トウキ V suy poro tuki	また大きい杯の
カンパスイカン kanpasuykan	上の捧酒籠が
モムナタラ momnatara	流れるほど (酒がふちまでいっぱいになって)
V エク ルウェ ネ V ek ruwe ne	きたのだ。
V アウイナ ヒネ スイ V a=uyna hine suy	受け取って
シントコ オロ アオタ sintoko or a=ota	行器に空けた。
V カムイ オビッタ V kamuy opitta	神々みんなを
チエアフンケ e=eahunke	招き入れた
V シサク トノト V sisak tonoto	盛大な宴会
アウコマクテッカ a=ukomaktekka	を開いた。
(ここから散文)	
キ アクス オロタ ki akusu orota	ところ
エアシリ カムイ ウタラ easir kamuy utar	本当に神々が

オハイネ オハイネ  
ohayne ohayne  
なるほどなるほど

ネノ ネ ワ タシ  
neno ne wa tas  
このようであるからこそ

アイヌ アイノミ ワ  
aynu a=i=nomi wa  
人間に祀られて

アエヤイカムイネレ  
a=eyaykamuyner  
自ら神になる

ネク シコロ ハウェオカ  
nek sekor haweoka  
のだと言った。

アイヌ ウタラ カ  
aynu utar ka  
アイヌ達も

シクヌ ワ オロワノ  
siknu wa orowano  
生きのびて、それからは

アイノミ コロ  
a=i=nomi kor  
私も祀られて

オカアン ルウェ ネ  
oka=an ruwe ne  
暮らしているのだ

シコロ イウォロ コロ カムイ  
sekor iwor kor kamuy  
と狩場を司る神が

ハウエアン シコロ  
hawean sekor  
言ったという。

あはははは

【注】

- [1] エヌンノヤは『久保寺辞典稿』によると「四十雀」(P63)。
- [2] isapakikni はサケの頭を叩いて息を止めるための棒だが、一種のイナウであり、それで頭を叩かれたサケはそれを土産として神の国に帰ると考えられている。

## 15-14 カムイユカラ 「イウォロ コロ カムイ (ペットゥ一ペ ットゥ)」 解説

語り手：鍋澤ねふき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えー、今のはこれ kamuyukar [神謡] だな。

鍋澤：うん、kamuyukar。

萱野：えーと、シカやさ……シカとか魚とかがいないときに天の神様の神様の袋からシカの骨を散らかしたり、魚の骨を散らかしたら、それが生きて走り、生きて泳ぎ、それによってアイヌたちが生活をすることができたと。

それからアイヌのところからたくさんのがんーイナウとかお酒とかがきて私たちは神様として祀られるようになったと、そういうことなんですね。

鍋澤：うん、そうだ。

萱野：kamuyukar [神謡]。

鍋澤：kamuyukar [神謡]。

## 15-15 ウエペケレ

「ポン ウエン シサム ウエペケレ」

若い貧乏な和人のお話

語り：鍋澤ねふき

パッコ アン。トウン ネ シラン ヒケ

pakko an. tun ne siran hike

老婆がいた。二人でおり、

ポ コロ ワ オカイ ペ ネ……

po kor wa okay pe ne...

息子がいて。

ウン…… トウンネ ワ オカイ ペ ネ ヒケ

un... tunne wa okay pe ne hike

二人でいたのだが、

キ ヒネ ウエンクン ネ。エネ イキ パイ カイサム ペ ネ ヒケ

ki hine wenkur\_ne. ene iki pa h\_i ka isam pe ne hike

貧乏人であった。どうすることもできず、

ネ ポン ウエイ シサム ニナ コロ オラ

ne pon wen\_sisam nina kor ora

その若い貧乏人の和人は薪を集め、それから

ム…… ムツ タサ コロ ネ ムル オイポソレ<sup>[1]</sup> パ ワ

mu... mur\_tasa kor ne mur oyposore pa wa

糠と交換すると、その糠をざるで漉して、

ヌクキヒ カ アン コロ

nukukihi ka an kor

くだけた米があると

メシ カラ パ ワ  
mesi kar pa wa  
ご飯を作り、

カムイ オッ タ ヤンケ ランケ コロ オカイ ペ ネ ヒケ  
kamuy or\_ta yanke ranke kor okay pe ne hike  
いつも神に供えていたのだが、

ネア ポン ウエイ シサム パッコ エネ ハウェアニ。  
nea pon wen\_sisam pakko ene hawean h\_i.  
その若い貧乏人の和人の老婆はこのようにいった。

「ウェンカス エネ ウエン クル アネ クス  
“wenkasu ene wen kur a=ne kusu  
「あまりにも、このように私達は貧乏人なので

ネウ カ ア (?) トオ トウイマ ヒ タ  
new ka a(?) too tuyima hi ta  
どこかずっと遠いところに

カムイ たか アン ウシケ アン ペ ネ アカイエ クシ エウン エアラパ ワ  
kamuy TAKA an uske an pe ne y\_ak a=ye kus eun e=arpa wa  
カムイだかがいる場所であると言われている場所があるので、そこへお前は行って

エン…… ネウン ポカ ネ ワ…… ニシパ エネ クニ エネ  
en... neun poka ne wa... nispa e=ne kuni e=ne  
なんとかして長者にお前は成りなさい。

ナニ エネ ウエンクル アネ クニ ネ  
nani ene wenkur a=ne kuni ne  
すぐ、このように私達が貧乏人である原因を

エヌ ワ エエ ヤク…… エエク ヤク。」  
e=nu wa e=e yak... e=ek yak.”  
お前は聞いて来たら」

セコロ ネア ウエイ シサム パッコ ハウェアン ヒネ  
 sekor nea wen\_sisam pakko hawean hine  
 とその貧乏人の和人の老婆が話し、

「うん。オハイネ。オハイネ。」  
 “UN. ohayne. ohayne.”  
 「うん。なるほど。なるほど」

セコロ ネア ポン…… ポン ウエイ シサム ラ (?) イヌ ヒネ オラウン  
 sekor nea pon... pon wen\_sisam ra(?) inu hine oraun  
 とその若い貧乏人の和人が聞いて、それから

ポオン イチエン コロパ プ ネア ポイ シサム ウプソロ オマレ。  
 poon icen korpa p nea pon\_sisam upsor omare.  
 ほんのわずかの持っていたお金を、その若い和人は懐へ入れた。

ネア ウエン…… ウエン ルプネマツ  
 nea wen... wen rupnemat  
 その貧乏人のおばあさんは、

マク クイエ チキ ピリカ<sup>[2]</sup>  
 mak ku=ye ciki pirka?  
 どう言つたらいいんだ？

キ ヒネ オラウン アラパ ルウェ ネ。  
 ki hine oraun arpa ruwe ne.  
 それから行ったのだった。

コロ ネア ウヌフ エネ ハウェアニ。  
 kor nea unuhu ene hawean h\_i.  
 すると、その母はこのように言った。

「ネイ タ カ パイエアナッカ  
 “ney ta ka paye=an y\_akka  
 「どこに行っても

ウェン クッ チセ オッ タ アナクネ ソモ レウシアン ペ ネ ナ。

wen kur\_cise or\_ta anakne somo rews=an pe ne na.

貧乏人の家には泊らないようにしなさい。

ネウン エオテクサク ヤッカ ニシパ チセ ネ ノイネ ラム プ オロ タ

neun e=oteksak yakka nispa cise ne noyne ramu p oro ta

どのようにお前は貧しくても、長者の家であるらしいと思うところに

エレウシ コロ エオマナン ペ ネ ナ。」

e=rewei kor e=oamanan pe ne na."

泊まって行くのだよ」

セコロ ネア ウヌフ イエ コロ オラウン

sekor nea unuhu ye kor oraun

とその母親が言うと、それから

アラパ ルウェ ネ ヒネ オラノ アラパ ア アラパ ア アイネ

arpa ruwe ne hine orano arpa a arpa a ayne

ずっと行って

フナク タ ソンノ カ ニシパ チセ ネ ノイネ アン ペ オロ タ

hunak ta sonno ka nispa cise ne noyne an pe oro ta

どこかに、本当に長者の家であるらしいもののところに

ヤイエヤントエトウン アクス

yayeyantoetun akusu

宿を借りたところ、

アヤ…… アレウシレ ヒネ レウシ ヒネ

aya... a=rewsire hine rews= hine

泊めてもらって、泊まって、

「フナク ウン アラパ アン（？） ポイ シサム エネ ルウェ アン？」

“ hunak un arpa an(?) pon\_sisam e=ne ruwe an?”

「あなたはどこへ行く若い和人の方ですか？」

セコロ アコウウェペケンヌ アクス  
 sekor a=kouwepekennu akusu  
 と尋ねられると

「タプネ カネ ウエンクル アネ ワ エネ イキアニ カ イサム ア プ  
 “tapne kane wenkur a=ne wa ene iki=an h\_i ka isam a p  
 「このように私は貧乏人で、どうすることもできず、

アウヌフ トオプ トウイマ イ タ  
 a=unu hu toop tuyma h\_i ta  
 私の母は、ずっと遠いところに、

カムイ イタク アヌ ウシケ アン ペ ネ アカイエ エネ エウン エアラバ ワ  
 kamuy itak a=n uuske an pe ne y\_ak a=ye ene eun e=arpa wa  
 カムイの言葉を聞けるという場所に行って

ヤイエイニンピシ ワ イヌ セコロ イイエ ワ エカン ペ ネ。」  
 yay einin pis wa inu sekor i=ye wa ek=an pe ne.  
 どうしてか見てもらってみなさいと私に言い、やって来たのです」

セコロ ハウェアン アクス  
 sekor hawean akusu  
 と話すと

「タネ エネ ハワシ ハウェ ネ チキ タ アン……  
 “tane ene hawas hawe ne ciki ta an...  
 「今このような話であるなら、

マ…… マチヤ ウン トノ アネ ヒネ アナン ルウェ ネ アクス  
 ma... maciya un tono a=ne hine an=an ruwe ne akusu  
 私は町にいる和人で、

シネ マッネポ パテク アコロ ア プ  
 sine matnepo patek a=kor a p  
 一人娘がいるのだか

シイエイエ ヒネ ネウン どの くすり アクレ ヤッカ  
 siyeye hine neun DONO KUSURI a=kure yakka  
 病気で、どうしてもどの薬を飲ませても

ウェン ワ タネ ライ クニ ネノ アン ルウェ ネ クス  
 wen wa tane ray kuni neno an ruwe ne kusu  
 悪くなる一方で、もう死んでしまいそうなので、

シイエイエ モト エヌ ワ エエク ワ イコレ ソモ キ ルウェ アン?」  
 siyeye moto e=nu wa e=ek wa i=kore somo ki ruwe an?"  
 病気の原因をあなたは聞いてきてはくれませんか?」

セコロ ハワシ。  
 sekor hawas.  
 と話した。

イコパン カ エアイカプ ペ ネ クス  
 ikopan ka eaykap pe ne kusu  
 断ることもできないので、

「アヌ ワ エカン クス ネ。」  
 "a=nu wa ek=an kusu ne."  
 「聞いてきますよ」

セコロ ハウェアン ヒネ オラ スイ オロ タ……  
 sekor hawean hine ora suy oro ta...  
 と話して、それから

オロ タ レウシ ヒネ オラ ピリカ レウシ キ ヒネ オラ  
 oro ta rewsa hine ora pirka rewsa ki hine ora  
 そこに泊まって、心地よく宿泊し、それから

アラパ ルウェ ネ アイネ スイ シリコクンネ ウシケ タ スイ  
 arpa ruwe ne ayne suy sirkokunne uske ta suy  
 行くと、また夜が更けたところに、また

ニシパ チセ ネ ノイネ アン ウシケヘ タ  
 nispa cise ne noyne an uskehe ta  
 長者の家であるようなところに

リ…… ヤイエヤントエトウン アクス  
 ri... yayeyantoe tun akusu  
 宿を借りると

アレウシレ ヒネ レウシ ヒネ スイ  
 a=rewsire hine rews i hine suy  
 泊めてもらい、また

「フナク ウン アラパ ポイ シサム エネ ルウェ アン」  
 “hunak un arpa pon\_ sisam e=ne ruwe an?”  
 「あなたはどこに行く若い和人の方ですか？」

セコロ アコウウェペケンヌ アクス  
 sekor a=kouepekennu akusu  
 と尋ねられると

タブネ カネ スイ  
 tapne kane suy  
 このようにまた

「ヤイエイニンピシアン。ウェン クル アネ ワ  
 “yayeininpis=an. wen kur a=ne wa  
 「原因を見てもらうのです。貧乏人なので

ネン ポカ イキアン チキ ソモ ニシパ アネ ヤ  
 nen poka iki=an ciki somo nispa a=ne ya  
 なんとかして長者になれないだろうか

セコロ ヤイヌアン マ  
 sekor yaynu=an w\_a  
 と思って

ヤイエイニンピシアン クス エカン ペ アネ。」  
 yayeininpis=an kusu ek=an pe a=ne.”  
 どうして貧乏人なのか見てもらうためにきたのです」

セコロ ハウェアナクス  
 sekor hawean akusu  
 と話すと

「ハウエ ネ チキ タブ ネウン ネ ルウェ ネ ヤ カ  
 “hawe ne ciki tap neun ne ruwe ne ya ka  
 「そういう話なら、このように、どうしてあのようになってしまったのだが、

ソイ タ まち の き アエトイタ ワ ピリカ ワ アナ プ  
 soy ta MACI NO KI a=etoyta wa pirka wa an a p  
 外に松の木を植えてきれいだったのに、

エクスコンナ チニネ ヒネ ルウェ ネ クス  
 ekusukonna cinine hine ruwe ne kusu  
 突然枯れてしまったので、

ネ モトホ エヌ ワ エエク ワ イコレ。」  
 ne motoho e=nu wa e=ek wa i=kore.”  
 その原因を聞いてきてください」

セコロ アイエ ヒネ  
 sekor a=ye hine  
 と言われて

スイ ネ ワ アン ペ カ エエセ ヒネ  
 suy ne wa an pe ka eese hine  
 また、そのことも承諾し、

オラ アラパ ルウェ ネ アクス ポロ ペッ アン ヒネ  
 ora arpa ruwe ne akusu poro pet an hine  
 また行くと、大きな川があり、

うーん ルイカ アン イネ ネ ルイカ カシ クサクス  
UN ruyka an h\_ine ne ruyka kasi kus akusu  
橋があつて、その橋の上を通ると、

ルイカ カ タ ソレクス  
ruyka ka ta sorekusu  
橋の上にそれこそ

カムイ ネ クス コラチ アン チュプ コラチ アン トノ アシ ヒネ アン ヒネ  
kamuy ne kusu koraci an cup koraci an tono as hine an hine  
まさにカムイらしい太陽のような殿さまが立つていて

サマ タ アラパ アクス  
sama ta arpa akusu  
その傍に行くと

「フナク ウン アラパ  
“hunak un arpa  
「どこへ行く

ポン ウエイ シサム エネ シリ アン？」  
pon wen\_ sisam e=ne siri an?”  
若い貧乏和人なのか？」

セコロ ハウェアン ヒネ  
sekor hawean hine  
と話して

「タプネ カネ ヤイエイニンピシアン クス エカン ペ アネ。  
“tapne kane yayeininpis=an kusu ek=an pe a=ne.  
「このように、自分のことを見つめらうために来たのです。

ウェン クル アネ ワ  
wen kur a=ne wa  
私は貧乏人なので

エネ ネ イ カ イサム マ ヤイエイニンピシアン クス エカン ペ アネ。」  
 ene ne h\_i ka isam w\_a yayeininpis=an kusu ek=an pe a=ne.  
 どうすることも出来ず、どうしてか見てもらうためにきたのです」

セコロ ハウェアナクス  
 sekor hawean akusu  
 と話すと、

「ハウエ ネ チキ フンタク (?)  
 "hawe ne ciki hntak(?)  
 「そういう話なら、さあ

アシヌマ アナクネ ネプ カ にんけネネ アネ ルウェ カ ソモ ネ。  
 asinuma anakne nep ka NINKEN h\_ene a=ne ruwe ka somo ne.  
 私は人間ではない

カトウ エネ アニ。  
 katu ene an h\_i.  
 というのはこのようなことなのです。

チャタイ カムイ アネ ワ  
 catay kamuy a=ne wa  
 大蛇の神で

うみ に せんねん かわ に せんねん やま に せんねん アナン ワ  
 UMI NI SENNEN KAWA NI SENEN YAMA NI SENNEN an=an wa  
 海に千年、川に千年、山に千年いて

タネ やく すんて てん さ のぼる クニ プ アネ ワ アナン ペ オラ  
 tane YAKU SUNTE TEN SA NOBORU kuni p a=ne wa an=an pe ora  
 もう役目を終えて天に昇るものであるのだが、

ネウン イキアナッカ てん さ のぼれなくて  
 neun iki=an y\_akka TEN SA NOBORENAKUTE  
 どうしても天に昇れなくて

エネ アナニネ クス ネ モトホ ヌ ワイコレ。」  
 ene an=an h\_ine kusu ne motoho nu wa i=kore.”  
 このようにいるので、この原因を聞いてきてください。」

セコロ イエ オラ  
 sekor ye ora  
 と、言って

「トオ タン ルイカ エトモトウイエ ワ アラパ トオ  
 “ too tan ruyka etomotuye wa arpa too  
 「この橋をずっと渡って行って、

テ ワ アヌカラ マチヤ オッ タ エウェペンヌ ヤクン  
 te wa a=nukar maciya or\_ta e=uwepennu yakun  
 ここから見える町で尋ねたら

ネ カムイ イタク アヌ ウシケ エエラムアン ペ ネ ナ。」  
 ne kamuy itak a=nu uske e=eramuan pe ne na.”  
 そのカムイの言葉が聞ける場所がわかるよ」

セコロ イエ ヒネ アラパ ルウェ ネ ヒネ  
 sekor ye hine arpa ruwe ne hine  
 とその人は言い、若い和人は行き、

ソノノ カ ウエペケンヌ アクス ネ ウシケヘ アエパカシヌ ヒネ  
 sonno ka uepekennu akusu ne uskehe a=epakasnu hine  
 尋ねたところ、場所を教えられ、

オロ タ アフニネ オンカミ コロ ヘポキ コロ アフニネ  
 oro ta ahun h\_ine onkami kor hepoki kor ahun h\_ine  
 そこに入り、拝みながら頭を下げて入り、

「マク イキ ポイ シサム エネ シリ アン？」  
 “mak iki pon\_sisam e=ne siri an?”  
 「若い和人はどうしたんだ？」

セコロ アコウェペケンヌ  
sekor a=kowepkekennu  
と尋ねられた。

「ウ…… タプネ カネ ヤイエイニンピシアン クシ エカン。」  
“u... tapne kane yayeininpis=an kus ek=an.”  
「このように自分のことをみてもらいに来たのです」

セコロ ハウェアン ルウェ ネ コロカ オラウン  
sekor hawean ruwe ne korka oraun  
と話したのだが、それから

アエタノンタロ ア プ  
a=etanontaro a p  
頼まれたのものを

イヨシノ ヌ カ エアイカプ ペ ネ クス  
iosno nu ka eaykap pe ne kusu  
後から聞くこともできないので

ホシキ ノ ネア ポン クルマツ シイエイエ モトホ ヌ ルウェ ネ アクス  
hoski no nea pon kurmat siyeye motoho nu ruwe ne akusu  
先に例の和人の娘の病気の原因を聞いたところ、

エネ ハワシ。  
ene hawas h\_i.  
このような話だった。

「エ…… なし の き チセ ソイ タ エトイタ プ シノ ウエイ サンペ コロ  
“e... NASI NO KI cise soy ta etoyta p sino wen\_ sampe kor  
「家の外に植えた梨の木が本当に悪い心を持っている。

カシ カムイ エウェン チクニ ネ アニネ  
kasi kamuy ewen cikuni ne aan h\_ine  
その憑神によって悪くなっている木だったのだが、

シンリチヒ アラパ ヒネ ネア ポン クルマツ エホッケイ チヨロポッケ タ  
sinricihi arpa hine nea pon kurmat ehotkey corpokke ta  
その根元が伸びていき、その和人の娘の寝ている場所の下に

まるくなつて ネア なし の き シンリチヒ アン。  
MARUKUNATTE nea NASI NO KI sinricihi an.  
丸くなつて、その梨の木の根元がある。

ポン クルマツ ライケ クナク ラム コロ アン ルウェ ネ クス  
pon kurmat rayke kunak ramu kor an ruwe ne kusu  
(その木は)娘を殺そうと思っているので

ネア なし の き アトウイエ ワ  
nea NASI NO KI a=tuye wa  
その梨の木を切り、

シンリチヒ カ アプス ワ ネウン アネ シンリチ ネ アッカ アプス ワ  
sinricihi ka a=pusu wa neun ane sinrici ne y\_akka a=pusu wa  
根元も掘り起し、どんな細い根も掘り起し、

アウフィカ オラ どの くすり ポン クルマツ アクレ ヤッカ アナクネ  
a=uhuyka ora DONO KUSURI pon kurmat a=kure yakka anakne  
燃やすと、どの薬を和人の娘に飲ませても

シクヌ ルウェ ネ。」  
siknu ruwe ne.”  
生き返るのだ」

セコロ アン ペ ヌ イネ  
sekor an pe nu h\_ine  
ということを聞き、

オラウン ネア まち の き チニネ ウシケ ピシ アクス  
oraun nea MACI NO KI cinine uske pisi akusu  
それから、例の松の木が枯れたことを尋ねると

「むかし ネ シノ ニシパ トノ アン コロカ オラ ポサク ヒネ  
 “MUKASI ne sino nispa tono an korka ora posak hine  
 「昔、本当のニシパがいたのだが、子がなくて

エ…… かね タメタロ アイネ かめ シクテ ノ カネ アン。  
 e... KANE tametaro ayne KAME sikte no kane an.  
 お金を貯め続け、甕いっぱいになっていた。

カムイ ノカ オ コンパン  
 kamuy noka o konpan  
 カムイの像が入った小判を

タメタロ ルウェ ネ コロカ  
 tametaro ruwe ne korka  
 貯めたのだが

ネ コホッパ プ カ イサム ノ……  
 nen kohoppa p ka isam no...  
 誰も残すものは

イサム ルウェ ネ ヒネ オラウン  
 isam ruwe ne hine oraun  
 いなかつたのだが、

イケタロ ヒネ ホッパ ルウェ ネ ア プ、  
 iketaro hine hoppa ruwe ne a p,  
 埋めて残しておいたのだが、

ネ ウシケ カシタ アエトイタ チクニ ネ ヒネ  
 ne uske kasi ta a=etoya cikuni ne hine  
 その場所の上に植えられた木であって

かねのせいで  
 KANE NOSEITE  
 お金のせいで

ネ チクニ チニネ ヒネ ルウェ ネ クス  
 ne cikuni cinine hine ruwe ne kusu  
 その木は枯れてしまったので

ネア かめ アプス ヤクン アン ナンコロ クス  
 nea KAME a=pusu yakun an nankor kusu  
 その甕は掘り出したら

ネア カムイ ノカ オ コンパン ポロ セレケヘ ポン ウエイ シサム アコレ。  
 nea kamuy noka o konpan poro serkehe pon wen\_ sisam a=kore.  
 そのカムイの像の入った小判の大部分を若い貧乏人がもらいなさい。

ソモ キ ヤク アナク ばち アン ルウェ ネ。」  
 somo ki yak anak BACI an ruwe ne.”  
 そうしなかったら罰があるのだ」

セコロ アン カンピ カ コ…… オロ アコレ ヒネ  
 sekor an kampi ka ko... oro a=kore hine  
 という（書いてある）紙ももらって

オロワウン ネア ルイカ カ タ アン  
 orowaun nea ruyka ka ta an  
 それから、その橋の上にいた

チュプ コラチ アン トノ の こと ヌ ワクス  
 cup koraci an tono NO KOTO nu wakusu  
 太陽のような殿さまのことを見たので

「あたま の なか に きん の たま アン マ クス  
 “ATAMA NO NAKA NI KIN NO TAMA an w\_a kusu  
 「頭の中に金の玉があって、それで

てん さ のぼれない ね クス  
 TEN SA NOBORENAI NE kusu  
 天に昇れないで

その きん の たま アウク ヤクン  
 SONO KIN NO TAMA a=uk yakun  
 その金の玉をとったら

てん さ のぼれる ルウェ ネ。」  
 TEN SA NOBORERU ruwe ne.”  
 天に昇れるのだ」

セコロ スイ カムイ イタク アン ヒネ オラ  
 sekor suy kamuy itak an hine ora  
 ヤイエイヌ クス ネ アクス  
 というカムイの話であって、それから

ヤイイエイヌ クス ネ アクス  
 yayeinu kusu ne akusu  
 自分について聞くつもりであったのだが、

レ イタク パテク アヌ プ ネ  
 re itak patek a=nū p ne  
 三つの話まで聞くことができるということだった。

ネ ヤイカタ の こ と は コント ュ…… ヌ カ エアイカプ コロカ オラウン  
 ne yaykata NO KOTO HA konto yu... nu ka eaykap korka oraun  
 自分のことについては結局聞くことが出来なかつたのだが、それから

ホシビ ヒネ ネア ルイカ カ タ アン トノ オロ タ  
 hosipi hine nea ruyka ka ta an tono oro ta  
 戻つて、その橋の上にいる殿のところで

「タプネ カネ ハワシ ルウェ ネ。」  
 “ tapne kane hawas ruwe ne.”  
 「こういう話でした」

セコロ ハウエアナクス  
 sekor hawean akusu  
 と話すと

「ハウエ ネ チキ フンタク エムシ カ コロ ペ エネ クス  
 "hawe ne ciki hntak emus ka kor pe e=ne kusu  
 「そういう話なら、さあ、あなたは太刀を持っているので

フンタク イテキ エイシトマ ノ  
 hntak iteki e=isitoma no  
 決して恐れずに

イテキ イシトマ ノ アサパ エタウキ ヤクン  
 iteki isitoma no a=sapa e=tawki yakun  
 恐がらず、私の頭をあなたが切ったら、

オロ ワ きん の たま トゥルセ ナンコロ クス  
 oro wa KIN NO TAMA turse nankor kusu  
 そこから金の玉が落ちるだろうから

ネ きん の たま カ エウク ワ  
 ne KIN NO TAMA ka e=uk wa  
 その金の玉をあなたは受け取って

エエヤム マ マンプリ ネ エコロ ヤク ピリカ ハウエ ネ ナ。」  
 e=eyam w\_a manpuri ne e=kor yak pirka hawe ne na."  
 大事にしてお守りとしてあなたが持っているといい」

セコロ ハウェアン  
 sekor hawean  
 と話し、

オラノ イシトマ コロカ ネ エムシ アニ ネア トノ サパ タウキ アクス  
 orano isitoma korka ne emus ani nea tono sapa tawki akusu  
 それから恐ろしかったが、その太刀で殿さまの頭を切ると

ソノ カ オロ ワ きん の たま トゥルセ ヒネ  
 sonno ka oro wa KIN NO TAMA turse hine  
 本当にそこから金の玉が落ちて、

ネア プ ネア ポイ ウエイ シサム ウク ヒネ ウプソロ オマレ ルウェ ネ  
 nea p nea pon\_ wen\_ sisam uk hine upsor omare ruwe ne  
 それをその若い貧乏和人は受け取って、懐に入れたのだ。

コロ オラ ソンノ カ  
 kor ora sonno ka  
 それから、本当に

ネア カムイ てん さ じいーっと ノポッタロ ルウェ ネ。  
 nea kamuy TEN SA ZIITTO nopottaro ruwe ne.  
 そのカムイは天にずっと昇って行ったのだ。

ヒネ オラウン スイ エク ヒネ ネア まち の き チニネ ウシケヘ  
 hine oraun suy ek hine nea MACI NO KI cinine uskehe  
 それから、またその松の木の枯れているところの

モトホ イエ アクス  
 motoho ye akusu  
 原因を言うと、

タン…… ネア まち の き アエトイタ ウシケ アオウリ アクス  
 tan... nea MACI NO KI a=etoyta uske a=ouri akusu  
 その松の木が植えられているところを掘ると

ソンノ カ かめ シクテ ノ カネ  
 sonno ka KAME siktē no kane  
 本当に甕いっぱいに

カムイ ノカ オ コンパン アン ルウェ ネ ヒネ  
 kamuy noka o konpan an ruwe ne hine  
 カムイの像の入った小判があったので、

オラウン ポロ セレケヘ ポイ ウエイ シサム アコレ ヒネ  
 oraun poro serkehe pon\_ wen\_ sisam a=kore hine  
 そして、その大部分を若い貧乏和人がもらって

オラ スイ ネア ポン クルマツ

ora suy nea pon kurmat

それから、また、和人の娘の

シイエイエ ウシケ モトホ ヌ ヒ イエ ルウェ ネ アクス

siyeye uske motoho nu hi ye ruwe ne akusu

病気の原因について聞いたことを言うと、

ナニ アシンカラ ウタラ ウエカラパ ワ

nani asinkar utar uekarpa wa

すぐに足軽達が集まって、

オラ ネア なし の き アトイエ ヒネ

ora nea NASI NO KI a=tuye hine

その梨の木が切られて

オラノ シンリチ アオウリ ヒネ

orano sinrichi a=ouri hine

それから根元が掘り出されて、

ソンノ カ トオ ポン クルマツ ホッケ ウシケ チヨロポッケ タ

sonno ka too pon kurmat hotke uske corpokke ta

本当にずっと、その和人の娘の寝ている場所の下に

まるくなつて アン ルウェ ネ アアン ヒネ

MARUKUNATTE an ruwe ne aan hine

丸くなっていたので、

ネ ワ アン ペ アプシパ アトイパ ヒネ アウフィカ

ne wa an pe a=puspa a=tuypa hine a=uhuyka

それを掘り出して切って、焼いた。

オラウン ネア ポン クルマツ どの くすりピリカ くすり アクレ ヤク

oraun nea pon kurmat DONO KUSURI pirka KUSURI a=kure yak

それから、その和人の娘はどの薬、いい薬を飲ませても

オロワノ ヘセ シリ ピリカ アイネ  
 orowano hese siri pirka ayne  
 それからは呼吸が良くなって

ナニ ホプニ ワ モノ ア カ キ。  
 nani hopuni wa mono a ka ki.  
 すぐに起きて座れるようになった。

オラノ トノ ウタラ エヤイコプンテク ルウェ ネ ヒネ オラウン  
 orano tono utar eyaykopuntek ruwe ne hine oraun  
 そこで、殿達は喜んで

タネ ポイ ウエイ シサム アラパ クス ネ セコロ ハワシ ルウェ ネ ア プ  
 tane pon\_wen\_sisam arpa kusu ne sekor hawas ruwe ne a p  
 もう、若い貧乏人の和人は行くつもりだということだったのだが、

ポン クルマツ  
 pon kurmat  
 その若い和人の女性は、

「エネ ハウェアン ヒ ネ ヤッカ イイエ コロ  
 “ene hawean hi ne yakka i=ye kor  
 「このようなことであったのですが、(原因を)言われると

アン クシケライ シクヌアン ペ  
 an kuskeray siknu=an pe  
 そのおかげで私は生き返ったので

ネウン ポン ウエン シサム ネ ヤッカ  
 neun pon wen sisam ne yakka  
 どんな若い貧乏人の和人であっても

ネ ヤク エアシリ アコロ オアシリ ハウェ ネ。」  
 ne yak easir a=kor oasir hawe ne.”  
 その人と結婚するのです」

セコロ ポン クルマツ ハウェアン ルウェ ネ セコロ ネ コロ  
 sekor pon kurmat hawean ruwe ne sekor ne kor  
 と和人の娘が言うのだということで

オロワノ コント ネア ポン ウエイ シサム  
 orowano konto nea pon wen\_sisam  
 それから、今度その若い貧乏和人は

ふろ オロ アオマレ ワ アフライエ。  
 HURO or a=omare wa a=huraye.  
 風呂に入れられて洗われた。

ふふふ。  
 HUHUU  
 フフ。

サランペ アミプ アムル…… アミレ アクス  
 saranpe amip amur... a=mire akusu  
 上等な着物を着せられると、

ソレクス チュプ コラチ アン ポン トノ ネ ヒネ オラウン  
 sorekusu cup koraci an pon tono ne hine oraun  
 それこそ、太陽のような若い殿さまになり、それから、

「アン クシケライ シクヌ プ アコロ むすめ ネ クス ピリカ ハウェ ネ。」  
 “an kuskeray siknu p a=kor MUSUME ne kusu pirka hawe ne.”  
 「彼がいたおかげで、生き返ったのが、私の娘なので、いい話だ。」

ネ セコロ ネア マチャ ウン トノ カ ハウェアン コロ オラノ  
 ne sekor nea maciya un tono ka hawean kor orano  
 とその町の殿も言うと、それから

コント イワン レレコ イワイ アン ヒネ オラウン  
 konto iwan rerko iway an hine oraun  
 今度六日間祝いがあり、

コント ネア ポン…… ポン ウエイ シサム ウヌフ カ  
 konto nea pon... pon wen\_ sisam unuhu ka  
 その若い貧乏和人がお母さんのことも

エシンパイ ペ ネ クス  
 esinpay pe ne kusu  
 心配なので

アラパ ルスイ ルウェ ネ アクス オラ かね かご アオ…… アオレ パ ワ  
 arpa rusuy ruwe ne akusu ora KANE KAGO a=o... a=ore pa wa  
 行きたがったところ、金の籠に乗せられて

パイエ ルウェ ネ アクス  
 paye ruwe ne akusu  
 行くと、

ネア ポン…… ウン…… シサム パッコ カ ヘムイムイエ ワ アン。  
 nea pon... un... sisam pakko ka hemuymuye wa an.  
 和人の老婆は布団をかぶって寝ていた。

「フンタネ エネ ハウェアナニネ オラ エネ  
 “hntane ene hawean=an h\_ine ora ene  
 「どういうわけだかあんなことを言ってしまって、それからは、このように

アポ エク ルウェ カ イサム マ  
 a=po ek ruwe ka isam w\_a  
 息子が戻ってくる様子もないで

ライアン クナク アラム コロ アナン ア ワ。」  
 ray=an kunak a=ramu kor an=an a wa.”  
 死ぬつもりでいたのだ」

セコロ ハウェアン コロ エク イネ  
 sekor hawean kor ek h\_ine  
 と話すと、若者が来て

タプネ カネ ネ ルウェ ネ ヤク イエ アクス  
 tapne kane ne ruwe ne yak ye akusu  
 このようなことであったのだということを話したら

ネア ウエイ シサム パッコ カ ソレクス エヤイコプンテク コロ  
 nea wen\_ sisam pakko ka sorekusu eyaykopuntek kor  
 貧乏人の老婆も本当に喜ぶと、

コント ネワアンペ ピリカ アミブ  
 konto newaanpe pirka amip  
 今度、その男は母親にいい着物、

サランペ アミブ アムレ…… アミレ アクス  
 saranpe amip amure... a=mire akusu  
 上等の着物を着せると

ピリカ おばさん ネ ヒネ  
 pirka OBASAN ne hine  
 きれいなおばさんになって、

オロ タ スイ イワン レレコ イワイ アン ヒネ オラウン  
 oro ta suy iwan rerkko iway an hine oraun  
 そこでも六日の祝いがあり、

ポイ シサム オッカヨ (?) シ (?) パクノ シネノ (?) ラム (?)  
 pon\_ sisam okkayo(?) si(?) pakno sineno(?) ramu(?)  
 若い和人は

ポン トノ ウムレク ホク ヒネ ウヌフ コホッパ  
 pon tono umurek hok hine unuhu kohoppa  
 それから若い和人の夫婦をやとって、母親のために置いていった。

ひとり むすめ ネ ワ アン ペ ネ クス  
 HITORI MUSUME ne wa an pe ne kusu  
 一人娘なので

ウニ オヤッケ タ アン カ エアイカプ ペ ネ クス オラウン  
 uni oyakke ta an ka eaykap pe ne kusu oraun  
 家を別の所に建てることも出来ないので

ネア ポン クルマツ トゥル…… トゥラノ スイ かね かご アオレ ワ  
 nea pon kurmat tur... turano suy KANE KAGO a=ore wa  
 その和人の娘と一緒にすぐに金のカゴに乗せられて

ネ ポン クルマツ ウニ ウン パイエ ワ オロワノ  
 ne pon kurmat uni un paye wa orowano  
 その娘の家に行って

ソレクス モシツ トウイカ タ イサム ニシパ  
 sorekusus mosir\_tuyka ta isam nispa  
 それこそ、世間にいないほどの長者

アスル アシ ペ ネ ワ オカ ルウェ ネ クス  
 asur as pe ne wa oka ruwe ne kusu  
 噂になるものになったので

コラチ モ (?) ウンニシトワ (?) ネウン (?)  
 koraci MO(?) unnisitowa(?) neun(?)  
 そのように

はちめ ウエン クン ネ ャッカ  
 HACIME wen kur\_ne yakka  
 初め貧乏人だったが、

エネ ニシパ ネ イ ネ クス アイエ セコロ アン  
 ene nispa ne h\_i ne kusu a=ye sekor an  
 このようなニシパになったということなので話したという

ははは  
 HAHAHA  
 ははは。

ポン ポン ウエペケレ

pon pon uepeker

小さな小さなお話。

ははは

HAHAHA

ははは。

【注】

[1] 次のように解釈した。o-i-poso-re ～の尻 - もの - ～を通り抜ける - ～させる、～(の尻)にものを通り抜けさせる

[2] これは物語内の表現ではなくて、話者自身の言葉。

## 15-16 ウエペケレ 「ポン ウェン シサム ウエペケレ」 解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えー、私は一人の sisam [和人] の wenkur [貧しい人]、pon wen sisam [若い貧乏和人] がありました。

えっと、母と一緒に暮らして、薪を取ってはそれを売りに行って、その代わりに米の糠をもらうと、その米を通すとその中からいくらか、その米粒が出る。それを特別に炊いて神様にあげるというような、生活をしておる sisam の若い者がありました。

あるときに母の言うのには、「お前があまりにも、こう、その貧乏なのは何か理由があるかもしれないから、ずっと遠いところにそうしたことを見いて、教えてくれる神様がおるということだからそこへ行ってきなさい」と言われたので、まあ出かけることにした。

で、まあ少しの、そのお金を懐にして出かけた。お母さんの言うのには「よそへ行って泊まるのにもあまり貧乏人の家に泊まつてはいけませんよ」と。「できるだけ、その裕福そうな家へ泊まりなさい」と言われたので、そのように思いながら、まあ出かけ、第一日目の晩に泊まった家で「坊やさんどこへ行くの」と言われたので、「こういうわけであまりにも貧乏なので、それを聞きに行くんですよ」と言ったら、えー、「そんならこの村の、んーお姫様が病気で困っているからその理由を聞いてくださいね」と言われた。「はい」と言って、まあ行ったと。

その次に行ったのは、ん一二晩目に泊まったところでは、あのー、「どうしたのか、んーこの家の前に生えていた松の木が枯れて、えー、その理由がわからないからそれも聞いてきてくださいね」と言われた。

それから三晩目泊まって出かけたら、一つの橋があって、その橋の上に女いたわけかな？

鍋澤：男。

萱野：あ、男だな。キレイな男の人が居って、「どこ行くの」と言ったから、「こういうわけで、えー、その貧乏した理由を聞きに行くんだよ」って言つ

たら、「あーそうですか、まあ実は、これは私は人間に見えるんだけれども、本体は蛇なんだ」と、海に千年、山に千年、川に千年かい?

鍋澤：うん。

萱野：「三千年暮らしてもう天国へ行けるはずなのに、それが行けない。その理由を聞いてきてくださいね」と言われた。

それで、えー、あそこへ見える町のものが、その、「そういうことを教えてくれるところだから」と言われたので、出かけて行って、すぐに、まあ聞き始まった。一人で三つしか聞けないので頼まれた順々に最初にその、んーお姫さんの病気の理由を聞いたら、それは家の前で植えてある梨の木の根っこが、あー来て、そのお姫さんの寝ている下で丸まさって、それが理由だと、それを掘り起こすと治りますと言われ、二つ目の松の木の方のは、そこの前に住んでおった人がたくさんお金を貯めて大きな瓶(かめ)に入れて埋めたと、そして死ぬ前にそこへ松の木を植えた、それで松の木枯れたんだから掘り起こしてみなさいと言われた。

三番目のは、その蛇、まあ蛇がした……下界での生活終えて帰るはずなのに、まあ、その頭の中で銀の玉が入っていると、それを取らないとダメですよと教えられたので、戻りながらそれを一つずつ言って、その病気の元も解決し、それから松の木の根の埋めてあったお金も半分もらい、そのいわゆる *catay* [蛇体] と蛇のあれも頭を切って、その玉を出してそれをお守りとしてもらい、まー、その梨の木の方の御嬢さんはお嫁にもらって、えー、家へ帰ってきたという *sisam uepeker* [和人の昔話] のあれですけど、非常にその、昔のその、なんか生活の一端が、いわゆるアイヌとシャモ [和人]との生活の違ひっていうか、そんなような筋書きなんか伺うことのできる *uepeker* [昔話] です。

これは *sisam uepeker* [和人の昔話]。pon wen sisam uepeker [若い貧乏和人の昔話] というふうに、えー、ついております。

鍋澤：あーこんなふうに言われ……*pon uepeker* [短い散文説話] だけども、ほんとに。

## 16-1 テープ内容紹介

語り手：鍋澤ねぷき

萱野：はい。この tukanakana ちゅう、あの、ん一 sakehe [折り返し]、kamuy...

鍋澤：tukanakana だべか。tukanakana、tu... なんたけ？

萱野：蛍のあれ。

鍋澤：あ一、そかそかそか。蛍の kamuyyukar [神謡] か。

萱野：うんうん。

鍋澤：あれは、あの一、

萱野：ん一と、今日は何日だ。

鍋澤：tukanakana...

萱野：昭和 44 年 2 月 19 日です。鍋澤ねぷきさんにやってもらっています。

## 16-2 カムイユカラ

「ニンニンケッポ<sup>°</sup> ホクフ ヌムケ (トウカナカナー)」

螢の夫さがし<sup>[1]</sup>

語り：鍋澤ねふき

サケヘ:V=トウカナカナ  
V=tukanakana

V チムツカネ 私のそのままの体  
V ci=mutkane

アトウイ クルカ 海の上を  
atuy kurka

エマクラコッ ぴかぴか光りながら  
emakrakot

V

(萱野茂：もう少し声を大きくして)

アトウイ トモトウイエ 海を横切り  
atuy tomotuye

V チヤイコトムカ プ 私とお似合いの者を  
V ci=yaykotomka p

チフナラ クス 私は探すために  
ci=hunara kusu

V パイエアサワ 私は行くと  
V paye=as awa

V ピリカ オッカイボ 美しい青年に  
 V pirka okkaypo

チヌカラ コロカ 私は会ったけれど  
 ci=nukar korka

ウトンナ シコ やぶにらみ  
 utonna siko

V チエコパンカラ 私は嫌ったので  
 V ci=ekopankar

V オロワノ スイ それから 再び  
 V orowano suy

チムッカネ 私のそのままの体  
 ci=mutkane

アトウイ クルカ 海の上を  
 atuy kurka

エマクラコツ ぴかぴか光りながら  
 emakrakot

V パイエアサイネ スイ 私は行き しばらくしてまた  
 V paye=as ayne suy

シネ オッカイボ 一人の青年に  
 sine okkaypo

チヌカラ コロカ 私は会ったけれど  
 ci=nukar korka

V コンカネ シコ 黄金色の目を  
 V konkane siko

V チエコパンカラ 私は嫌ったので  
 V ci=ekopankar

V オロワワイ スイ それからまた  
 V orowaun\_ suy

V パイエアサイネ 私は行き しばらくして  
 V paye=as ayne

V ピリカ オッカイボ 美しい青年に  
 V pirka okkaypo

チヌカラ コロカ 私は会ったけれど  
 ci=nukar korka

シネ レク トウ コロ 一本のひげがあった  
 sine rek tu kor

V チエコパンカラ 私は嫌ったので  
 V ci=ekopankar

V オロワノ スイ それから 再び  
 V orowano suy

チムツカネ 私のそのままの体  
 ci=mutkane

アトウイ クルカ 海の上を  
 atuy kurka

エマクラコッ ぴかぴか光りながら  
 emakrakot

V パイエアサイネ 私は行き しばらくして  
 V paye=as ayne

V ピリカ オッカイボ 美しい青年  
 V pirka okkaypo

チヌカン ルウェ 私は会った  
 ci=nukar\_ruwe

エネ オカ ヒ その姿は  
 ene oka hi

V シキヒ カ ポロ 目も大きく  
 V sikihi ka poro

V エトウフ カ タンネ 鼻も長い  
 V etuhu ka tanne

V キ ワ ネ コロカ けれども  
 V ki wa ne korka

チヤイコトムカ 私にお似合いの  
 ci=yaykotomka

V

(ここから散文)

シリカプ ネ ルウェ ネ カジキマグロであるよ  
 sirkap ne ruwe ne

セコロ と  
 sekor

ニンニンケッポ ハウエアン ホタルが言った  
 ninninkeppo hawean

セコン ネ ハウエ ウン という話ですよ  
 sekor\_ne hawe un

【注】

[1] 聞き起こし・和訳においては、類話である『神話集成』3巻 36~41ページを参考とした。

## 16・3 カムイユカラ「ニンニンケッポ ホクフ ヌムケ（トウカ ナカナー）」解説

語り手：鍋澤ねふき

萱野：これは kamuyyukar [神謡] ですね。

鍋澤：んだ、ほんとの kamuyyukar [神謡]。

萱野：うん、うん、私は一匹の蛍でありました。私自身のお嬢さんを探しに海の上をゆっくりと飛んでいきました。

えー、最初に会ったキレイな男の人は、んー utonnasiko ちゅ一名の、斜めに、いわゆる……、普通、今言おうっていうと、

鍋澤：あのー、しかめ [すがめ] っちゅんだな。あの、 samanpe [カレイ] だよ。

萱野：あー、なるほど。 utonnasiko とゆうのはアイヌ語で「斜視」。ん、いや、アイヌ語で utonna というのは日本語でいうと「斜視」ですね。斜めに目がいっている斜視ですね。斜視の男なので、それは、んー、いやだ。

その次行ったのは konkunesiko というのはこれは、

鍋澤：サメ。

萱野：サメ？

鍋澤：うん。

萱野：んー、目の色が黄金色していて、それが嫌でやめていった。それからもう少し行くと、 sine rek ru kor [sine rek tu kor の言い間違い]。

鍋澤：それタラ。

萱野：鱈？

鍋澤：うん、erekus。（笑い）

萱野：ん、はん、はん。あーなるほどね。

鍋澤：鱈、鱈。

萱野：それから少し行くと鱈が来た。それは sine rek ru kor [sine rek tu kor の  
言い間違い] といってあごの髭あるみたい見える。

鍋澤：うん。一本あるんだ。

萱野：うん、あーなるほどね。あごの方で一本髭あって、それは……も嫌で、  
もう少し向こうへ行くと、sikihi poro etuhu tanne。え一目が大きくて、  
鼻は長いと、

鍋澤：うん、うん。

萱野：だけども、それが好きになったので私は、んー、あの、その sirkap [カ  
ジキマグロ]、これ sirkap だな？

鍋澤：うん、んだ、んだ。

萱野：sirkap の、そのお嫁になったと、一匹の蛍が語りました。というあれで  
すね。

鍋澤：(笑い)

萱野：それでこの蛍、ん一蛍を貝殻に入れて、砂にうずめて〔埋めて〕引っ張  
る。引っ張りながら e=hoku kiroro sanke sanke と言うと、いわゆるそ  
の夫の力を出せ、出せと言って、引っ張っても、それはちょっと引き抜  
くことができないと。で ninninkeppo [蛍] というその蛍の夫は sirkap  
[カジキマグロ] なので、そういうふうに力もあるもんだという、その  
話もあるんだそうです。

鍋澤：(笑い)

萱野：これは、あの、kamuyukar [神謡] です。

## 16-4 カムイユカラ

「カンナカムイ カッコクカムイ (ノウワオオオ)」

龍神とカッコウ

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ : V=ノオオアアウウ  
 V=nooaauu

V アンテ ホク 私の旦那様  
 V a=ante hoku

V アソカラ ホク 私の本当の夫  
 V a=sokar hoku

V トウラノ カイキ 夫と一緒に  
 V turano kayki

V オカアニケ 暮らしているが  
 V oka=an h\_ike

V レプン チコイキブ 沖の獲物を  
 V repun cikoykip

V ヤウン チコイキブ 陸の獲物を  
 V yaun cikoykip

V エアウナルヲ 取って来て  
 V eawnarura

V イエピリカクル 私を立派に  
 V i=epirkakur

V ウ レシパ カネ

養ってくれて

V u respa kane

V オカアン アワ

暮らしていたが

V oka=an awa

V サク チカプ ラン アクス オロワノ

夏の鳥が下りてくる（季節になる）と

V sak cikap ran akusu orowano

V カッコク カムイ

カッコウ神が

V kakkok kamuy

V チセ ペンノキ

家の東の軒へ

V cise pennoki

V チセ パンノキ

家の西の軒へ

V cise pannoki

V エウシ エウシ コロ

とまりとまりして

V eus eus kor

V ウ レカ レカ

鳴き続けた

V u rek a rek a

V ネ ヒ エピッタ

その間中

V ne hi epitta

V アンテ ホク

私の旦那様

V a=ante hoku

V アソカラ ホク

私の本当の夫は

V a=sokar hoku

V ピリカ チエ クニ プ

おいしい料理も

V pirka c=e kuni p

V ウエン チエ クニ プ まずい料理も  
 V wen c=e kuni p

V トウカリケ ノテチウ ワ ソモ イペ ノ その前でうつむいて食事をせず  
 V tukarike noteciw wa somo ipe no

V オソロ ウン クニ お尻がどこにあるのか  
 V osoro un kuni

V サパ ウン クニ 頭がどこにあるのか  
 V sapa un kuni

V アエランペウテク ノ 分からない（ような恰好）で  
 V a=erampewtek no

V

(次のところだけ節無し)

ホッケ ワ パテク オカ アイネ 寝てばかりいて、  
 hotke wa patek oka ayne

タネ アナクネ そして今は  
 tane anakne

V ヘル キリ カトウ ただ骨ばかりが  
 V heru kir katu

V オウカウイル 重なっている  
 V owkauyru

V キ ワ ネ コロ そうしているうちに  
 V ki wa ne kor

V アンテ ホク 私の旦那様  
 V a=ante hoku

V アソカラ ホク V a=sokar hoku	私の夫は
V ホプンパ ヒネ V hopunpa hine	起き上がって
V エネ イタキ V ene itak h_i	こう言った。
V アンテ マチ V a=ante maci	「私の妻
V アソカラ マチ V a=sokar maci	私の本当の妻よ、
V イタカン チキ V itak=an ciki	私の話すことを
V エピリカヌ ナ V e=pirkanu na	良く聞いておくれ。
V エネ オカ ヒ V ene oka hi	こういうことなのだ。
V ウ ソンノ タシ V u sonno tasi	本当のところ
V ウ ネプ アイヌフ V u nep aynuhu	私は人間で
V アネ ワ エコン ルウェ カ V a=ne wa e=kor_ ruwe ka	あって、お前を妻にしていたのでは
V ソモ タパン ナ V somo tapan na	ないのだ。

V リクン カント タ 上天にいる  
 V rikun kanto ta

V ウ カンナカムイ 龍神は  
 V u kannakamuy

V トウ イリワク ネ ワ ふたりの兄弟で  
 V tu irwak ne wa

V ポニウネ ヒケ その年下の方が  
 V poniwne hike

V アネ ルウェ ネ 私なのだ。  
 V a=ne ruwe ne

V カムイ オッ タ アヤイコトムカ プ 神の国で私に似合いの者を  
 V kamuy or\_ ta a=yaykotomka p

V アフナラ ャッカ 探したが  
 V a=hunara yakka

V オアラリサム ひとりもいない  
 V oararisam

V アイヌ メノコ 人間の女性で  
 V aynu menoko

V エネ ャッカイキ お前はあるが  
 V e=ne yakkayki

V シレトク オッ タ 器量から  
 V siretok or\_ ta

V ケウトゥム オッ タ 精神から  
 V kewtum or\_ ta

V テケトク オッ タ	手の先 (針仕事) から
V teketok or_ta	
V チヤイコトムカ プ	私自身にお似合いの者で
V ci=yaykotomka p	
V エネ ワ クス	お前はあるので
V e=ne wa kusu	
V アイヌ ネ ヤイカラニ マ	私は人間に化けて
V aynu ne yaykar=an w_a	
ラナン マ アエコン ルウェ ネ ran=an w_a a=e=kor_ruwe ne	地上に下りてお前を妻にした。
V キ アワ タブ	そうすると
V ki awa tap	
V カムイ オピッタ	神々全員が
V kamuy opitta	
V イエアパブ	私を責めたてた
V i=eapapu	
V ナニ ネノ アナナクン	このまま私が暮らすなら、
V nani neno an=an y_akun	
オナ トウラノ ona turano	父と一緒に
V ウヌ トウラノ	母と一緒に
V unu turano	
V イリワク トウラノ	兄弟と一緒に
V irwak turano	

V アッティネモシリ

湿った地下の国に

V atteynemosir

V チコオテレケ

お前たちを踏み落として

V cikooterke

V アエチエカラカン ナ セコロ アン ペ

やるぞと

V a=eci=ekarkar\_ na sekor an pe

ウ カッコク カムイ

カッコウ神の

u kakkok kamuy

V パワシヌ ヒケ

雄弁な者

V pawasnu hike

V ウ レクノ ヒケ

鳴き上手な者が

V u rekno hike

V チノサラマ

選ばれて

V cinosarama

V アエカラカラ ワ ソンコ イエ ハウェ

知らせを告げる声

V a=ekarkar wa sonko ye hawe

V ネ ヒ タパン ナ

だったのだ

V ne hi tapan na

V キ ワ ネ クス

なので

V ki wa ne kusu

V タネ アナクネ

今は

V tane anakne

V カムイ オルン アラパアン ナ

私は神のところへ行くのだ。

V kamuy or un arpa=an na

イテキ エチシ  
iteki e=cis

決して泣かないで

V エアウ ワ ネ ヤクン  
V e=an\_ wa ne yakun

暮らしていれば

V ピリカ オッカイボ  
V pirka okkaypo

美しい青年が

V エク ワ ネ ヤクン  
V ek wa ne yakun

やってくる。そうしたら

V

(ここから散文)

アナン シリ ネノ  
an=an siri neon

私のいた時と同じように

レプン チコイキプ ヤウン チコイキプ  
repun cikoykip yaun cikoykip

沖の獲物と陸の獲物を

エアウナルラ  
eawnarura

取って来て、

アレンカイネ ネ クス キ ワ  
a=renkayne ne kusu ki wa

私の力によってそのようにして

エエシリキラプ ソモ キ ノ  
e=esirkirap somo ki no

お前は何不自由なく

エイペ コロ エアイ ャッカ  
e=ipe kor e=an\_ yakka

食べて暮らしているが

アエコハイタ クス  
a=e=kohayta kusu

私とお前が釣り合わなかったために<sup>[1]</sup>

イキアン ペ ネ クス  
iki=an pe ne kusu

したことなので

(以下、韻文に戻る)

オトウ ポ<sup>。</sup> レ ポ<sup>。</sup>  
otu po re po

二人、三人

V エチウコサブテ ヤクン  
V eci=ukosapte yakun

お前たちが子供を作ったら

(以下、散文)

オラウン アエウク クス ネ ナ  
oraun a=e=uk kusu ne na

それから私はお前を迎えに行くぞ。

アプンノ アン セコロ  
apunno an sekor

達者で暮らせよ」と

ネア アアンテ ホク アソカラ ホク  
nea a=ante hoku a=sokar hoku

私の旦那様、私の夫は

ハウエアン コロ ゾ オロ ペカ  
hawean kor so or peka

言いながら座に沿って（家の中を）

タブ カツ タブカラ ペコロ イキ アイネ  
tapkar\_ tapkar pekor iki ayne

踏舞を踊るかのようにして、そのうち

リクイ スイ カ ヤイペカレ  
rikun\_ suy ka yaypekare

天窓を通って

アラパ フム コケウロトッケ  
arpa hum kokewrototke

音を立てて飛んで行った。

オロワノ イテキ エチシ セコロ  
orowano iteki e=cis sekor

それから決して泣くなと

- アイイエ プ ネ ア コロカ 言われていたが  
a=i=ye p ne a korka
- オラノ オトウ チシ ウェンペ アヤイコテ コロ 私は激しく泣きながら  
orano otu cis wenpe a=yaykote kor
- アナン ルウェ ネ アクス 私は暮らしていた。すると  
an=an ruwe ne akusu
- ソンノ カ ピリカ オッカイポ エキネ 本当に美しい青年がやってきて  
sonno ka pirka okkaypo ek h\_ine
- オラノ ワッカ タ ペコロ ニナ ペコロ 水汲みやら薪(まき)取りなどをして、  
orano wakka ta pekor nina pekor
- イキ アイネ ナニ アンテ アクス いるうちに、夫にすると  
iki ayne nani a=ante akusu
- ソンノ ポカ レブン チコイキプ 本当に沖の獲物、  
sonno poka repun cikoykip
- ヤウン チコイキプ エアウナルラ ワ 陸の獲物を取ってきて、  
yaun cikoykip eawnarura wa
- ネプ アエシリキラプ ソモ キ ノ 何も困ることなく  
nep a=esirkirap somo ki no
- アエ コロ アナン コロカ 食べることをしていたが  
a=e kor an=an korka
- マカン マカン ヤイヌアン コロ 時折考えに沈むと  
makan makan yaynu=an kor
- カムイ アホク アエヤイコシラム(スイ)パ コロ 神の夫のことが思いめぐらされ  
kamuy a=hoku a=eyaykosiram(suy)pa kor

オラノ オトウ チシ ウェン ペ アヤイコテ コロ 激しく泣きながら  
orano otu cis wen pe a=yaykote kor

オカアン アイネ  
oka=an ayne

ピリカ ポンペ アヤイコサンケ オロワノ  
pirka ponpe a=yaykosanke orowano

エアシリ ソモ チサン ノ アナン アイネ  
easir somo cis=an no an=an ayne

タネ ピリカ ポンペ  
tane pirka ponpe

ヘンパキウ カ アコロ ルウェ ネ アワ  
hempakiw ka a=kor ruwe ne awa

ネウン ネ ウミ ネ ワ  
neun ne h\_umi ne wa

ヘム タスミ ヘム シイエイエ アキ ヤクン  
hem tasumi hem siyeye a=ki yakun

カムイ アホク イウク クス ネ フミ  
kamuy a=hoku i=uk kusu ne humi

ソモ ヘ アナ セコロ  
somo he an y\_a sekor

シネ メノコ ハウェアン セコロ ネ。  
sine menoko hawean sekor ne.

したって。メノコ ったって  
したって。menoko ったって

昔だからカムイ ネ ハウエ だべし  
昔だから kamuy ne hawe だべし

昔のことなので神様だということでしょう。

(萱野茂：ああ、そうですか。)

【注】

- [1] 人間は人間同士、神は神同士で夫婦になるものなので、人間と神とでは夫婦としてふさわしくなかったということ。

## 16-5 カムイユカラ 「カンナカムイ カッコクカムイ (ノウワオオオ)」解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えっと、これは kamuyyukar [神謡] ですね。

kannakamuy というのは……、私は、あー、竜、竜神を、竜の神様を夫としておったものであります。それは、ま一途中からそれなのわかったものだったんですけども、私はキレイな男を夫として何不自由なく生活をして何年か過ごしました。

ある時から夫は炉辺に寝たつきりで全然、その動こうともしない。そうすると一羽のカッコウ鳥が私たちの住んでおる家の西の屋根、東の屋根からもう、本当にもう毎日毎日鳴いてばかりいる。アイヌ……アイヌ風に言うと kakkok rek haw [カッコウが鳴く声] というの、鳴くということではなくて、ま一歌うというふうにも言うんですけども、この場合はもう非常にそのカッコウ鳥の声が激しくするので、もう夜も眠れないぐらいに、その音、その声を聞いてやかましく思っておった。

ある日のこと、夫が座って言うのには、「私は今まで素性を明かしませんでしたが、あー kannakamuy といって竜神の二人兄弟の弟の方が私でございましたと。それで、えー神様の国で私の好きな女を探しても全然見つからないので、あんたばかりが、アイヌの女ではあるけれども精神も良いので、お嫁にしたいと思って訪ねて来て、ここで一緒に暮らしておったんです、と。けれども、天の神様からぜひ帰ってこいということで、お使いに来たのがカッコウ鳥であったと、それでもうこのまま帰らずにおったら私は神であるのに、その一、私の父神も母神もともに、その神の座から引き降ろされそうになっていると。だから私は帰りますと。その後でキレイな男の人が来て、今度は普通の人間の男が来て、あんたの夫になるでしょうと。そして子供が何人か生めたら、ま、神の国へ、私の元へ来てもらいますよ」と、そう言いながら私の夫は着替えをして、炉辺を tapkar、tapkar というのは上座へ下座へというふうにちょっと動く所作をしたら、それが、rikunsuy peka yaypekare [天窓へ

向かって行く】というふうにでていましたが、空窓のところへ行って、大きな音をたてて天国へ帰ってしまったと。

それから何年かしておる内にキレイな男の人が来て、まだ一緒になつて、子供何人か持つて、まだ年寄というほどでない私が、これは病気をしてもう間もなく死ぬでしょうと。こういうことは神の夫の所へ持つていかれるというか、行くことになるんでしょう、と。一人の女が、その一、一人の女が、ん一語りました。

これは kamuyukar [神謡] でしたね。

鍋澤：んだ。

## 16-6 ルパイエユカラ

「アトウイソカタ クッタラ モシリ」<sup>[1]</sup>

海の上のイタドリの国

語り：鍋澤ねふき

モコレ ネ ヤ タカレ ネ ヤ アエラムシッネ アイネ  
 mokor h\_e ne ya takar h\_e ne ya a=eramsitne ayne  
 眠っていたのか、夢を見ていたのか、朦朧としているうちに

アコヤイシカルン インカラナクス  
 a=koyaysikarun inkar=an akusu  
 私は正気にもどって見わたすと

アトウイ ソ カ タ クッタラ モム シラシコパヤラ ルウェ エネ オカ イ  
 atuy so ka ta kuttar mom sir a=sikopayar ruwe ene oka h\_i  
 私は海の上にイタドリが流れているかのように、こうなっていた。

アオッシケオプ ポロ ヤ シンタプ (?) ネ アシサムオマレ ワ  
 a=ossikeop poro ya sintap(?) ne a=sisam'omare wa  
 私のはらわたが大きい網を広げたかのように (?) 私のそばに広がって

クッタラ モム シリ アシコパヤラ コロ ホッケ (?) ルッチワヌミ<sup>[2]</sup>  
 kuttar mom sir a=sikopayar kor hotke(?) rutciw=an h\_umi  
 私はイタドリが流れているかのように寝て (?) 、潮がしみるのが

アサンペケセ チシコツ カネ コロ  
 a=sampekese ciskot kane kor  
 私の心臓の端が泣きたいほど苦しくて

クッタラ モム シラシコパヤラ アイネ イン…… ヤイヌアニケ  
 kuttar mom sir a=sikopayar ayne in... yaynu=an h\_ike  
 イタドリが流れているかのようでいるうちに、私が思ったことは

テエタ カネ ポンラモッ タ アトウイヤウンクル イコイキ ロキ  
 teeta kane ponram or\_ta Atuyyaunkur i=koyki rok h\_i  
 昔、幼いときに、アトウイヤウンクルが私に攻撃してきたことが

イラムシッタ チカリレ<sup>[3]</sup> イルシカ ケウトゥム アヤイコロパレ  
 i=ramsitta cikarire iruska kewtum a=yaykorpare  
 私の心に思い浮かぶと、怒りの気持ちを私は抱いた。

クンネ コロカ ヤイモイモイェアン ヌクリ ワ  
 kunne korka yaymoymoye=an nukuri wa  
 暗くなつたが、自分の身体を動かすのも大儀で

クッタラ モム シラシコパヤラ コロ アナナワ  
 kuttar mom sir a=sikopayar kor an=an awa  
 イタドリが流れているかのようになつてゐる

イネフイ コタン イネフイ モシリ プシコサンパ  
 inehuy kotan inehuy mosir puskosanpa  
 どの村でか、どの国でか爆発するような音がして

カムイ エク フム トウリミムセ ケウロトッケ キ ロク アイネ  
 kamuy ek hum turimimse kewrototke ki rok ayne  
 神がやって来る音が鳴り響き、鳴り轟いたあげく

イサム タ ニ…… ニ カイ パク ペ ホラウォチウェ  
 i=sam ta ni... ni kay pak pe horaociwe  
 私のそばに木が折れるような音が落ちてきて

インカラソ ルウェ エネ オカ ヒ  
 inkas=an ruwe ene oka hi  
 私が見るとこうだった。

エ…… コンル ハヨクペ エトウマム コンナ テシナタラ  
 e... konru hayokpe etumam konna tesnatara  
 氷の鎧を身体にきちんと着て

ハヨクペ タプカ ワ ラッキ コンル

hayokpe tapka wa ratki konru

鎧の肩のところから垂れ落ちる氷は

ハヨクペ ノシキ チコエトウイエ

hayokpe noski cikoetuye

鎧の中ほどまで同じ長さに垂れ下がり

ハヨク…… ハヨクペ ノシキ ワ ラッキ コンル

hayok... hayokpe noski wa ratki konru

鎧の中ほどから垂れ落ちる氷は

ハヨクペ チンキ チコエトウイエ コンル ハヨクペ

hayokpe cinki cikoetuye konru hayokpe

鎧の裾まで同じ長さに垂れ落ちる氷の鎧を

エトウマム コンナ テシナタラ イサム タ ホラウォチウェ ヒネ

etumam konna tesnatara i=sam ta horaociwe hine

身体にきちんと着て、私のそばにさっと下りて来て

オラノ タント トリ チャシトウシテッカ

orano tanto tori castustekka

そして一晩中立ちつくして

イ…… イシケライケ ワ オカ ロク アイネ

i... i=sikerayke wa oka rok ayne

私を睨んでいたあげく

シエトゥウイナ シパルイナ コロ エネ イタキ

sietuuyna siparuyna kor ene itak h\_i

自分の鼻を押さえ、自分の口を押さえながら、こう言った。

「ソンノ ヘタブ ポロ クレネ カムイ オルンノ

“sonno hetap poro kur ene kamuy or unno

「本当に大きい人だからこそ、ああして神のところで

チエウラムテクク<sup>[4]</sup> アエカラカラ ハウェ ネ クナク タプ アラム アワ  
 cewramtekuk a=ekarkar hawe ne kunak tap a=ramu awa  
 槍玉にあげられる（ほど強い人物である）のだと、そう思っていたのに

オアラ ヘカチ オアラ テンネプ ネ ロクオカイ ペ  
 oar hekaci oar tennep ne rok'okay pe  
 完全に少年、まったく赤ん坊であったものが

エネボ<sup>5</sup> エアシリ アカン ルウェ エネ アニ アン イラム ワ オケレ（？）」  
 enepo easir a=kar\_ruwe ene an h\_i an iramu wa okere(?)”  
 これほどまでに噂されたとは驚かされてしまった」（？）

セコロ オカイ ペ イエ コロ イラウコタブ ヒネ<sup>[5]</sup>  
 sekor okay pe ye kor i=rawkotapu hine  
 ということを言いながら私を抱きかかえて

オラノ イエキラ ヒネ フナクン パイエアヌミ  
 orano i=ekira hine hunak un paye=an h\_umi  
 それから私をさらうと、どこかへ私たちが（飛んで）行く音が

アエキサラストゥマウクルル キ ロカイネ  
 a=ekisarsutumawkururu ki rok ayne  
 私の耳元で風がビュービュー鳴ったあげく

アトウイ シンパイ アニネ カリ アフン  
 atuy simpuy an h\_ine kari ahun  
 海に井戸があって、そこから入って

ネ…… ウン…… ネ アトウイ セ…… シンパイ セコロ イタカナッカ  
 ne... un... ne atuy se... simpuy sekor itak=an y\_akka  
 その海の井戸と言つても

ウ…… エアシリ カムイ エワク シリ セプ チセ オンナイ  
 u... easir kamuy ewak siri sep cise onnay  
 それこそ神が住む様子で、広い家の中の

ネノ シラヌシケ カムイ エワク シリ  
 neno siran uske kamuy ewak sir  
 ような様子であるところで、神が住む様子（であるところに）

タ…… イ…… アフパニネ アクス ス……  
 ta... i... ahup=an h\_ine akusu su...  
 私たちが入ると

カムイ トウレシポ<sup>9</sup> カムイ ネ クス カムイ イポロ アンノイエカラ  
 kamuy turespo kamuy ne kusu kamuy iporo annoyekar  
 神の妹が、神であるからこそ神々しい容貌の

カムイ トウレシ アナ クス ネア トウレシ テン…… テムニコロ  
 kamuy tures an a kusu nea tures ten... temnikor  
 神の妹がいたので、その妹の腕の中に

イコエヤプキリ コロ ア…… イタカウェネ アニ  
 i=koeyapkir kor a... itak h\_aw ene an h\_i  
 私を放り投げて（私を捕まえてきたやつが）言ったことはこうだった。

「アコッ トウレシ タアンペ エシクヌレ ニウケサクン  
 “a=kor\_ turesi taanpe e=siknure niwkes y\_akun  
 「わが妹よ、こいつをお前が生き返らせられなければ

アムツ エムシ ノタク カシケ コヤイタライエ エキ プ ネ ナ。  
 a=mut emus notak kasike koyaytaraye e=ki p ne na.  
 私が佩いている刀の刃の上に横たえて（斬って）やるからな。

タアンペ シクヌレ」  
 taanpe siknure”  
 こいつを生き返らせろ」

セコロ オカイ ペ イエ コロ  
 sekor okay pe ye kor  
 ということを言いながら

ネア カムイ トウレシ コッ テン…… テムニコロ イコエヤプキリ キ アクス  
 nea kamuy turesi kor\_ten... temnikor i=koeyapkirki akusu  
 その神なる妹の腕の中に私を放り投げると

ネア カムイ トウレシポ ウサ イタク ウサ イム ウルオカエテレケレ (?)<sup>[6]</sup>  
 nea kamuy turespo usa itak usa imu uruokaeterkere(?)  
 その神の妹はいろいろな話、いろいろなイムをし、跳ねまわりながら (?)

「ウサイネ カ タブ アユプトノケ イキ ナ  
 “usayne ka tap a=yup-tonoke iki na  
 「いったいぜんたい我がお兄さま、なんだっていうんです。

フンタ エネ オカ イネ……  
 hnta ene oka h\_ine...  
 何を

フンタ エネ アカン ルウェ オカイ？ (?) ネン アシクヌレイ ネ ヒネ  
 hnta ene a=kar\_ruwe okay? (?) nen a=siknure h\_i ne hine  
 何を私がするのですか？ 誰を私が生き返らせるということで

ウサイ ネ カ タブ アユプトノケ イキ ナ」  
 usay ne ka tap a=yup-tonoke iki na.”  
 いったいなにを我がお兄さまはしているんだか」

セコロ オカイ ペ イエ コロ  
 sekor okay pe ye kor  
 ということを（妹が）言うが

オラ ネアブ スイ チソイエカッタ ヒネ  
 ora neap suy cisoyekatta hine  
 それから例の者（＝兄のほうの神）は、また家から飛び出して

アラパ フム コケウロトッケ トウリミムセ  
 arpa hum kokewrototke turimimse  
 行く音が鳴り轟き、鳴り響く。

オラノ オカケヘ タ ネア カムイ トウレシポ リ チニヌイペ イエアヌ  
 orano okakehe ta nea kamuy turespo ri cininuype i=eanu  
 それから、その後で例の神の妹は高枕に私を置いて

オロワノ アオッシケオプ アオッシケ オララパ  
 orowano a=ossikeop a=ossike orarpa  
 それから私のはらわたを押さえつけて

オラノ トウ…… トウ ヌプル フッセ レ ヌプル フッセ イエシタイキ  
 orano tu... tu nupur husse re nupur husse i=esitayki  
 それから二つの巫力の強い息、三つの巫力の強い息を私に吹きかけて

パンセイボ アッテ ワ  
 pan useypo atte wa  
 薄いおかゆを（火に）かけて

アピリヒ カラカラ アパロオッテ コロ  
 a=pirihi karkar a=parootte kor  
 私の傷をきれいにして（おかゆを）私に食べさせると

オロワノ カネ アワンキ アニ イペ…… イバル コロ  
 orowano kane awanki ani ipe... i=paru kor  
 それから金の扇でもって私を扇ぐと

アエサンペケセ アエサンペパケ コシトウリリ コロ  
 a=esampekese a=esampepake kosituriri kor  
 私の心臓の下端も、私の心臓の上端ものびのびして

イ…… イピシカニケ ワ テレケ カネ イキ コロ  
 i... i=piskanike wa terke kane iki kor  
 （妹は）私のまわりを跳びまわって（立ち働き）

オロワノ パヌセイボ アッテ アパロオッテ イネ アピリ カラカラ アイネ  
 orowano pan useypo atte a=parootte h\_ine a=piri karkar ayne  
 それから、薄いおかゆを（火に）かけ、私に食べさせて、私の傷をきれいにすると

アフシコピリ チマ クタッパ  
 a=husko-piri cima kutatpa  
 私の古い傷はかさぶたが落ちて傷が癒え

アアシリピリ チ…… チマ カン パ…… パクノ イカラ アイネ  
 a=asir-piri ci... cima kan pa... pakno i=kar ayne  
 私の新しい傷はかさぶたの上まできれいになったあげく

タネ アナクネ ヘテメロシキアン マ アアン カ キ  
 tane anakne hetemeroski=an w\_a a=an ka ki  
 今は私はむっくり起きあがって座りもして

オロワノ ピリカ スケ エヤイケスプカエワク カネ ワ  
 orowano pirka suke eyaykesupkaewak kane wa  
 それから（神の妹は） 素晴らしい料理をつくるためにあちこち忙しくかけずり回って

イイベレ ネ ャ パヌセイボ アパロオッテ ネ ャ キ アイネ  
 i=ipere ne ya pan useypo a=parootte ne ya ki ayne  
 私に食べさせたり、薄いおかゆを私の口の中に入れたりしているうちに

タネ アナクネ シクヌ トウサ アウレンカレ<sup>[7]</sup> コロ  
 tane anakne siknu tusa a=urenkare kor  
 今は生き返り、傷も癒えて全快すると

オロタ スイ ネア イエキラ ア プ  
 orota suy nea i=ekira a p  
 そこで、また例の私をさらった者<sup>[8]</sup>が

イネフイ コタン マ エク フム コンナ ケ…… ケウロトッケ  
 inehuy kotan w\_a ek hum konna ke... kewrototke  
 どこの村からか来る音が鳴り轟き

トウリミムセ ワ アフン マ ソネ ネ ア プ  
 turimimse wa ahun w\_a sone ne a p  
 鳴り響いていて、入って（来たのは）まさしくそのひとであったが

「エシクヌレ ャ？」  
 “e=siknure ya?”  
 「お前は生き返らせたのか？」

セコロ オカイ ペ イエ コロ  
 sekor okay pe ye kor  
 ということを言うと

スイ チソイエカッタ ワ イサム ランケ コロ オカアナイネ  
 suy cisoyekatta wa isam ranke kor oka=an ayne  
 また何度も家を飛び出てしまい、私たちが暮らしているうちに

タネ アナクネ シクヌ トウサ ウレンカレ コロ  
 tane anakne siknu tusa urenkare kor  
 今は生き返り、傷も癒え、すっかり治ると

ヒケ ケ…… エネ イタカニ  
 hike ke... ene itak=an h\_i  
 そこで私はこう言ったのだ。

「カムイ トウレシポ、  
 “kamuy turespo  
 「神の妹よ、

フンタ シノ エコロ ユピ エヌブル ペ ネ ルウェ アン?  
 hnta sino e=kor yupi enupur pe ne ruwe an?  
 あなたの兄の靈力が本当に強いのは何によるのですか？

ポンノ イヌカレ ワ イコレ  
 ponno i=nukare wa i=kore  
 (その靈力の源を) 少し私に見せてください。

アヌカッ タクプ ネ ナ。ポンノ イヌカレ」  
 a=nukar\_ takup ne na. ponno i=nukare”  
 見るだけですよ。少し私に見せてください」

セコロ オカイ ペ アイエ コロ オラノ ハクマ ハクマ  
 sekor okay pe a=ye kor orano hakma hakma  
 ということを私が言うと、それから（妹は）耳に口を寄せて低い声で（？）

「ソモ オカイ…… ソモ アン クニ プ エイエ ハウェ ネ ナ。  
 “somo okay... somo an kuni p e=ye hawe ne na.  
 「そんなことは言わないでください。〔9〕

フンタ メノコ アナクネ  
 hnta menoko anakne  
 何も女というものは

オッカヨ コロ ペ ウク カ ソモ キ プ ネ ルウェ ネ アワ  
 okkayo kor pe uk ka somo ki p ne ruwe ne awa  
 男性が持っているものを、（勝手に）取り出すことはしないものだから

エネ ハウェアニ アン ソモ アン クニ プ エイエ ハウェ ネ ナ。  
 ene hawean h\_i an somo an kuni p e=ye hawe ne na.  
 あなたが言ったことは言うべきことではないですよ。

ヤウンクン ニシパ イテキ ネノ ハウェアン マ イコレ」  
 yaunkur\_nispa iteki neno hawean w\_a i=kore”  
 ヤウンクルの旦那さま、決してそのように言わないでください」

セコロ ハウェアン ャッカ  
 sekor hawean yakka  
 と言ったけれども

トウマッケサム アコトウイエ オロワノ イキアンシリ エネ アニ  
 tumakkesam a=kotuye orowano iki=an siri ene an h\_i  
 何度だめだと言われても言うことをきかずにそうして（自分の意志を通して）いたとき

タン シノッチャ アエラウンクチ カムイノイエ カネ…… カネ  
 tan sinotca a=eraunkuci kamuynoye kane... kane  
 私はこの歌を喉の奥を美しく振るわせながら

キン タプカラ<sup>[10]</sup>

kin tapkar

美しい踏舞をした。

アエヤイタプクルカオシキル コロ

a=eyaytapkurkaosikiru kor

私が自分の肩を張って身を転じると

オロワノ ネア カムイ トウレシポ<sup>9</sup> ミナ カネ ワ

orowano nea kamuy turespo mina kane wa

そうすると、例の神の妹は笑って

イテクサマ エウン エウン

i=teksama eun eun

私のそばへそばへ（来る）

オラノ ネ タン シノッチャ アエラウンクチカムイノイエ コロ

orano ne tan sinotca a=eraunkucikamuynoye kor

そこで、私があの歌を喉の奥から美しく響かせながら

「ホクレ クナク ポンノ エコロ ユピ<sup>9</sup> エヌ…… エヌブル ペ

“hokure kunak ponno e=kor yupi enu... enupur pe

「さあ、早く、ちょっとだけ、あなたの兄さんの強い巫力のもとを

ポンノ イヌカレ。アヌカッ タクプ ネ クシ ネ ナ」

ponno i=nukare. a=nukar\_ takup ne kus ne na”

少し私に見せてください。私は見るだけにしますから」

イタカナイネ コンル スウォプ アン ペ

itak=an ayne konru suwop an pe

（と）私が言うと、氷の箱があるので、

ポンノ プタ エマ…… (?) マカ テカクス アコラコラク<sup>[11]</sup>

ponno puta ema... (?) maka tek akusu a=kor akorak

少し蓋をさっと開けて、私が持ったかと思うと(?)、

スイ 「オヨヨ」 トウラ ヘトポ ホロカ イカ エホシビ ャッカ  
 suy "oyoyo" tura hetopo horka ika ehosipi yakka  
 またすぐに「ああ嫌だ」と言う声とともに、(妹は) また他のもの上に戻そうとするが (?)

トウ…… トウマッケサマ アコトウイエ アイネ  
 tu... tumakkesama a=kotuye ayne  
 何度だめだと言われても、私が言うことをきかずにいると

ネア スウォプ プタハ メス  
 nea suwop putaha mesu  
 (神の妹は) 例の箱の蓋をはずして、

オロ ワ レタラ カタク クンネ カタク サンケ ヒネ  
 oro wa retar katak kunne katak sanke hine  
 そこから白い糸玉と黒い糸玉を取り出して

「『タ…… レ…… ネプ カ アエキマテク ワ キラアン コロ  
 "ta... re... nep ka a=ekimatek wa kira=an kor  
 「『何かに驚いて逃げるときには

レタラ カタク シエトクン アオスラ  
 retar katak sietok un a=osura  
 白い糸玉を自分の前へ投げ

クンネ カタク シオカ ウン アオスラ コロ  
 kunne katak sioka un a=osura kor  
 黒い糸玉を自分の後ろへ投げると

ネプ カ イケサンパ ャッカ イオカケ タ クンネ ウララ ホラウォチウェ  
 nep ka i=kesanpa yakka i=okake ta kunne urar horaociwe  
 何かが追いかけてきても後ろに黒い靄が降りてきて

イエトコ タ ペケレ ウララ ホラウォチウェ ワ キラアン ペ ネ』  
 i=etoko ta peker urar horaociwe wa kira=an pe ne'  
 私の前に澄んだ靄が下りてきて逃げられるのだ』

セコッ タシ アユプトノケ ハウェアナウェ アヌ」  
 sekor\_tasi a=yup-tonoke hawean h\_awe a=nu”  
 と、私の兄さまが言ったのを私は聞きました」

アナケ…… ハウェアニケ  
 anake... hawean h\_ike  
 と（神の妹が）言ったところ

ヤイレンカネ アテクサイカレ ヒネ オロワノ アキ オロワノ  
 yayrenkane a=teksaykare hine orowano a=ki orowano  
 喜んで私はさっと手に取り、それから、そうすると、それから

「イトウレン カムイ イトウレン ピト  
 “i=turen kamuy i=turen pito  
 「私の憑き神、私の憑き神よ、

アコロ コタン イヨルラ ワ イコロパレ ャン」  
 a=kor kotan i=orura wa i=korpale yan”  
 私の村へ私を運んでください」

イタカナクス オラノ アイヌ クシナム イタク ヌ ワ フマサ カ  
 itak=an akusu orano aynu kusnam itak nu wa humas y\_a ka  
 （と）話すと、人間でもそんなに言葉を聞くだろうか（と思うほど言うことが通じ）

オフムサク レラ オニシサク レラ レ……  
 ohumsak rera onissak rera re...  
 音なしの風、雲なしの風の

マウェトコ アイエコシネスイエ カネ イキアナイネ  
 maw etoko a=i=ekosnesuye kane iki=an ayne  
 風の前に軽く揺すぶらされていたあげく

アトウイ ノシキ パク エカン コロ ネアプ イケサンパ  
 atuy noski pak ek=an kor neap i=kesanpa  
 海の真ん中まで来ると、例の者<sup>[12]</sup>が私を追いかけて

(萱野：うん)

ね？

エク フム コンナ ケウロトッケ トウリミムセ ヒネ イヨシコニ ルウェ  
 ek hum konna kewrototke turimimse hine i=osikoni ruwe  
 来る音が鳴り轟き、鳴り響いて私に追いついたことは

スイ ネノ アニネ コロ イタカウェ エネ アニ  
 suy neno an h\_ine kor itak h\_awe ene an h\_i  
 またこのようであって、（そこで彼が）言ったことばはこうだった。

「アシヌマ アナクネ ピカタ カムイ<sup>[13]</sup> アネ ルウェ ネ。  
 “asinuma anakne Pikata kamuy a=ne ruwe ne.  
 「私はピカタ神であるのだ。

(萱野：ふうん)

ピカタ カムイ アネ ワ アナン ワ  
 Pikata kamuy a=ne wa an=an wa  
 私はピカタ神であって

エネ アン エネ イキ エアシリキ プ アネ ヒネ ワ  
 ene an ene iki easirki p a=ne hine wa  
 こうこうこのようにしなければならないので、

ル…… モシリコ…… モシリ ソ クルカ  
 ru... mosirk... mosir so kurka  
 国土の上に

アエスルルケ ワ イキアン ルウェ ネ ヤッカ  
 a=esururuke wa iki=an ruwe ne yakka  
 広がっているのだが（？）

ネン ポカ エシクヌ ヤクン  
 nen pokka e=siknu yakun  
 なんとかお前が生き返ったら

アコッ トウレシ アエコレ ワ ヤクン  
 a=kor\_ turesi a=e=kore wa yakun  
 私の妹をお前に（妻として）与えて、そうしたら

アプ…… アケッピロロケ エトウサ イタサ パクノ  
 ap... a=keppirorke e=tusa itasa pakno  
 私のおかげでお前の傷が癒え、

エケッピロロケ アエトウサ クス  
 e=keppirorke a=e=tusa kusu  
 おまえのおかげで私の傷が癒される（ように助け合える）から

クナク アラム ア コロカ ナ ソモ アイエ ノ アナナワ  
 kunak a=ramu a korka na somo a=ye no an=an awa  
 と私は思ったものの、まだ言わないでいたが

ソンノ ヘタプ アイヌ ヘタプ エネ シリ アン？」  
 sonno hetap aynu hetap e=ne siri an?"  
 本当にお前は人間なのか？」

イタク コロ アユプケタムクル イコテレケレ ノイネ カネ  
 itak kor a=yupke-tamkur i=koterkere noyne kane  
 （とピカタ神が）言うと、私は強い太刀影を投げかけるようにしたと

イラムアン ウシケ タ エイコモイレ イケ シコロ ヤイヌアン クス  
 iramu=an uske ta e=ikomoyre h\_ike sekor yaynu=an kusu  
 思ったところで、後れを取ってはと私は思ったので

アピリカクルフイマンパ アクス  
 a=pirkakurhuymampa akusu  
 私が（ピカタ神を）よくよく注意して見ると

ハヨクペ ヌマツ ホ…… ホマリタラ  
 hayokpe numat ho... homaritara  
 鎧の紐がぼんやり（輝き）

ハ…… ハヨクペ コッ…… コッパロ タ ウルキ ルウェ アヌカリ クス  
 ha... hayokpe kot... kotparo ta uruki ruwe a=nukar h\_i kusu  
 鎧の襟元で留まっているのを私は見つけたので

ア…… アコロ…… アラムコパシテプ アノンノイタク コロ  
 a... a=kor... a=ramkopastep a=nonnoytak kor  
 私の刀に祈って

ネア ハヨクペ ヌマツ ウルキ ウシケ ア…… アシリコオッケ アクス  
 nea hayokpe numat uruki uske a... a=sirkootke akusu  
 その鎧の紐の結び目を激しく突くと

コンル ネ クス ウマケ ワ ホラオチウェ  
 konru ne kusu umake wa horaociwe  
 氷なので壊れて崩れ落ちた。

オカケ タ イマカケ タ  
 okake ta imakake ta  
 その後で、その後で

ポナイヌ ポン クル エネ アレカ イ オアリサム ペ  
 pon aynu pon kur ene a=reka h\_i oarisam pe  
 若い人間で、このような非の打ちどころがまったくないものが

エアラ カラパク…… エアラカパラペ ヤイコノイエ  
 ear karpak... earkaparpe yaykonoye  
 ただ一枚の薄衣を巻きつけて

テク チキリボ エチャララセ  
 tek cikirpo ecararse  
 手を足にして（鎧の中から）這い出てきて

オトウシウェ…… コレイ…… オトウ シウェンパシロタッパ  
 otusiwe... korey... otu siwenpasrotatpa  
 何度もひどくののしって

「ソンノ ヘタプ ウママ カムイ ウママ ピト イコモイモイエ プ  
 “sonno hetap umama kamuy umama pito i=komoymoye p  
 「本当に凡庸ではない神、非常に勇猛な神が私をどうこうしようとしても（？）

アコロ ハヨクペ ネ アワ クス ヘタプ エイキ ナ  
 a=kor hayokpe ne a wa kusu hetap e=iki na  
 私の鎧だったから（壊されないはずなのに）、お前は何をしたのか（？）

イネ クシナムネ  
 ine kusnamne  
 いったいなんのために

カムイ オロ パクノ チェウラムテクク アエカラカラ ヒケ  
 kamuy or pakno cewramtekuk a=ekarkar hike  
 神のところまで槍玉にあげられる（ほど立派な）人に

イケムヌ ケウトゥム アヤイコレ ワ  
 ikemnu kewtum a=yaykore wa  
 懐みの気持ちを私は抱いて

ネウン ポカ アエシクヌレ ルウェ ネ アワ エネ エイキ イ アン？」  
 neun poka a=e=siknure ruwe ne awa ene e=iki h\_i an?”  
 なんとかお前を生き返らせたのだが、そういうことをするのか？」

セコロ オカイ ペ イエ コロ  
 sekor okay pe ye kor  
 ということを（ピカタ神が）言いながら

オロワノ ロ…… イ…… イウク ノイネ イキ ウシケ タ アコテレケ ヒネ  
 orowano ro... i... i=uk noyne iki uske ta a=koterke hine  
 それから私をつかまえようとしたところで私はとびかかって

アシレカッタ ヒネ イッケウェ アカイエ  
 a=sirekatta hine ikkewe a=kaye  
 地面に引き倒して（ピカタ神の）腰骨を折った

(萱野：うん)

ポ ヘネ オトウ シウェンパシラトッ…… パタ<sup>[14]</sup> エネ イキ シリ ネ ヤクン  
 po hene otu siwenpasratot... pata ene iki siri ne yakun  
 (ピカタ神は) なおいっそう何度も悪態をついて、そうしたら

「ピッ…… アシヌマ アナクネ ピカタ カムイ アネ ワ  
 “Pit... asinuma anakne Pikata kamuy a=ne wa  
 「私はピカタ神であって

イライケ ャッカ イロンヌ ャッカ  
 i=rayke yakka i=ronnu yakka  
 私を殺しても、何度も私を殺しても

ヤイカッチピ アエアシカイ ルウェ ネ コロカ  
 yaykatcipi a=easkay ruwe ne korka  
 生き返るけれど

アイッケウェ エカイエ シリ ネ ヤクン  
 a=ikkewe e=kaye siri ne yakun  
 私の腰骨を折ったら

タ…… ネ…… アシヌマ アナク ピカタ カムイ アネ クス  
 ta... ne... asinuma anak Pikata kamuy a=ne kusu  
 私はピカタ（という風の）神なので

アユプケマウェ タプ テ タ (?) アトウイ ノシキ タ  
 a=yupke-mawe tap te ta(?) atuy noski ta  
 私の強い風で、今ここで、海の真ん中で

アイッケウェ イカ…… エカイエ シリ ネ ヤクン  
 a=ikkewe ika... e=kaye siri ne yakun  
 私の腰骨をお前が折ったら

アトウイ ノシキ パクノ アユプケマウェへ エク ナンコロ  
 atuy noski pakno a=yupke-mawehe ek nankor  
 海の真ん中まで私の強い風が来るだろう

オロワウン カル…… カンマウェヘ カンラルフ  
 orowaun kar... kanmawehe kanraruhu  
 それから、風の薄いところが

エコロ モシリ ウ…… モシルン ヤン ナンコロ クス  
 e=kor mosir u... mosir un yan nankor kusu  
 お前の国へ上陸するだろうから

タプ イカラ シリ アン ャッカ ナニ ラヤン ソモ キ プ ネ ナ」  
 tap i=kar siri an yakka nani ray=an somo ki p ne na."  
 そうされて（腰を折られて）も、私はすぐには死なないぞ」

セコロ オカイ ペ イエ コロ  
 sekor okay pe ye kor  
 ということを（ピカタ神が）言いながら

オトウ シウェンパシロタッパ アウェ アヌ テク コロ  
 otu siwenpasrotatpa h\_awe a=nu tek kor  
 何度もひどい悪態を私はちょっと聞くと

オロワノ スイ ヤナニネ アコロ シヌタプカ ウン ヤナン  
 orowano suy yan=an h\_ine a=kor Sinutapka un yan=an  
 それからまた私は陸に向かって、我々のシヌタプカへ上陸した

セコロ アリ パクノ クヌ よ  
 sekor ari pakno ku=nu YO  
 と、ここまで私は聞いたのよ

(萱野：ああ、そうかい)

だから

(萱野：うん)

そのポイヤウンペ ピカタ カムイ イッケウェ カイエ ワ  
 その Poyyaunpe Pikata kamuy ikkewe kaye wa  
 そのポイヤウンペがピカタ神の腰骨を折って

(萱野：うん)

「ほんとにレラ ソンノ マウェヘ エコロ モシルン ヤン ヤクン  
 “HONTONI rera sonno mawehe e=kor mosir un yan yakun  
 本当に風、本当に風がお前の国へ上陸したら

エ…… エコタヌ ウウォマプ<sup>[15]</sup> ソモ ネ ャッカ  
 e... e=kotanu uomap somo ne yakka  
 お前の村が助かることがなくても

タア アトウイ ノシキ タ イッケウェ エカイエ シン ネ アクン  
 taa atuy noski ta ikkewe e=kaye sir\_ne y\_akun  
 この海の真ん中で腰骨をお前が折ったら

ソンノ アマウェヘ アトウイ ノシキ パクノ エク  
 sonno a=mawehe atuy noski pakno ek  
 本当に私の風が海の真ん中まで吹いてくる。

オラ カンマウェヘ カンラルフ エコタヌフ ヤン ウシ  
 ora kanmawehe kanraruhu e=kotanuhu yan usi  
 それから風の薄いところがお前の村に上陸するところで、

タブ イカン ナ」 セコロ ハウェアン  
 tap i=kar\_na” sekor hawean  
 私をこのようにした（腰骨を折った）のだよ」と言った。

セコロ アン ユカラ、それもいたわしい。  
 sekor an yukar、それもいたわしい。  
 というユカラ、それも（最後まで聞いていないので）惜しい。

オシレパ パクノ でも クヌ せばいいったってよ。  
 osirepa pakno DEMO ku=nu せばいいったってよ。  
 到着するまででも聞いておけば良かったのにさ。

(萱野：うん)

ふふ。

【注】

- [1] 本文中には kuttar mosir 「オオイタドリの国」という語句は出てこないが、萱野茂氏によるオリジナルのタイトルを尊重して、そのまま記した。本文中に見られる語からはアトウイソ カ タ クッタラ モム シリ atuy so ka kuttar mom sir 「海の上を流れるイタドリ」の意味かと考えられる。
- [2] rutciw=an<rur 「潮、海水」 ciw 「刺す、しみる」。意味上の主語は rur であり、rur 「潮」が=an 「私を」 ciw 「刺す」と解釈する。
- [3] 『久保寺辞典稿』に i-ramshit ta chikarire 「我が心の表に廻り来る 思浮ぶ.」とある。
- [4] 『バチェラー辞典』に eramtekuk 「襲フ, 追求スル. To attack. To pursue.」 (P 142) とある。
- [5] 『久保寺辞典稿』に raukotapu 「坐つている者の下の方から抱き取る. すぐひ取る様に抱へる」とある。
- [6] u 「互い」 ru 「跡」 oka 「～の後」 e- 「〈場所〉 に」 terke 「跳ねる」 -re 「～させる」 か。
- [7] ウレンカレ urenkare は「皆そろえる(一つも欠けないように一そろえのものを皆集める)」(『沙流方言辞典』P781)。ここではひとつの傷もなくなる状態のことと解釈した。
- [8] 「私をさらったもの」とは、兄のほうの神のこと。
- [9] 直訳は「あるべきではないことをお前が言うのだよ」か。
- [10] 『久保寺辞典稿』には tomikin tapkar aki kor kanekin tapkar の項に「<kin? 美?」とあることを参考に訳した。
- [11] ここは、妹が見せようかやめようかと逡巡している場面のはずなので、箱の中のものを手にしたのは妹のほうだと思われるが、a=kor 「私が持つ」と言っているように聞こえる。
- [12] 「例の者」は、兄のほうの神のこと。
- [13] ピカタ pikata は風の名称。そのため、ピカタ神は風の神。
- [14] 「パシラトッ…… パタ」はパシロタ pasrota の言い間違い。
- [15] 『ユーカラ集IX』に eekotanu uomap ne na 「お前の村が助かるようだ」(P62) とある。

## 16-7 ルパイエユカラについて解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：いまのは、これ rupayeyukar [散文語りの英雄叙事詩] ですね？

鍋澤：んだ。

萱野：うんと昔は、あの一、こういうのは menokoyukar [メノコユカラ、女の英雄叙事詩] という言い方で、rep [拍子打ち] するのは男だけだったもんな。

鍋澤：んだ、そうだ。

萱野：この頃も女人の人も rep [拍子打ち] するということは、あの、男の人で十分に yukar [英雄叙事詩] をする人がいないから、

鍋澤：そーんだ。

萱野：あの、こういうふうなことになってきたわけで、実際は

鍋澤：今から、

萱野：今こういうふうな、おばあさんが言ったようなのが昔の menokoyukar、女の……、が語る yukar [英雄叙事詩]」で、

鍋澤：うん、んんん、んだ、rupaye [散文語り]。

萱野：それから rep [拍子打ち] するのは男が語る yukar [英雄叙事詩] であつたわけですね。

鍋澤：うん、うん、うん

萱野：今のもこれ Ponyaunpe [ポイヤウンペ：英雄叙事詩の主人公] がちょっと戦したことなんですけれども、こういう yukar [英雄叙事詩] というのは、こう和訳するのは中々長いですから、

鍋澤：んだ。

萱野：まだこれは後にして、また次へ進みます。

## 16-8 ルハイエユカラ

「ウェンクル フチ イレス」

貧乏人のお婆さんに育てられた

語り：鍋澤ねふき

ウェンクルチ イレシパ ワ ランマ カネ カッコロ カネ オカアニケ  
 wenkur h\_uci i=respa wa ramma kane katkor kane oka=an h\_ike  
 貧乏人のお婆さんが私を育てて、いつもいつも私たち暮らしていたが

ウェンクルチ アクシノツ ポン ク アクシノツ ポン アイ  
 wenkur h\_uci aksinot pon ku aksinot pon ay  
 貧乏人のおばあさんは弓遊び用の小さな弓、弓遊び用の小さな矢を

カラ ワ イコレ コロ  
 kar wa i=kore kor  
 作って私にくれると

ヤ…… エロンネ ワ ウトウン ネ ワ  
 ya... eronne wa utur\_ne wa  
 上座から、下座から

ヤイウナコタチアン カネ ヤイウナコシリアン カネ コロ  
 yay'unakotaci=an kane yay'unakosiru=an kane kor  
 私は自分に灰をくっつけて、自分に灰をこすりつけて

エロンネ シキルアン コロ  
 eronne sikiru=an kor  
 上座のほうを向いては

アパ…… プラ…… プヤラ サムシペ<sup>[1]</sup> アトクビシキレ<sup>[2]</sup> アイケサンパ  
 apa... pura... puyar samuspe a=tokpiskire a=ikesanpa  
 窓のそばの柱に（矢を）射とばして追いかけて

アヤヨミナウシ カネ

a=yayominausi kane

一人で笑って

エウトウンネ シキルアン コロ アパ サムシペ アトクピシキレ

eutunne sikiru=an kor apa samuspe a=tokpiskire

下座のほうを向いては戸のそばの柱に射とばして

アイケサンパ アヤヨミナウシ カネ コロ

a=ikesanpa a=yayominausi kane kor

追いかけで一人で笑うと

オロワノ ウェンクルチ イハンケアシテ イトウイマアシテ

orowano wenkur h\_uci i=hankeaste i=tuymaaste

それから貧乏人のお婆さんを私の近くに立たせ、私の遠くに立たせると

「ケライ ネ プ タ ウン エペヌブルベ<sup>[3]</sup> エネ プ ネ クス

“keray ne p ta un epenupurpe e=ne p ne kusu

「さすがにお前は後継者であるものだから

アクノ シリ オカ ャ？」

akno sir oka ya?”

弓が上手だね？」

セコロ オカイ ペ イエ コロ

sekor okay pe ye kor

と（お婆さんは）言うと

イレシパ ウェンクルチ エキムネ コロ セタ スイ ポカ<sup>[4]</sup> セシケ セシケ

i=respa wenkur h\_uci ekimne kor seta suy poka seske seske

私を育てた貧乏人のお婆さんは山に行くと、犬の穴ばかりも塞いで塞いで

「イキア クナク<sup>[5]</sup> エソイネ ナ。

“ikia kunak esoyne na.

「決して外に出るなよ。

ソイエンパアン コロ アコロ ポン ムン チセ キムケサマ  
 soyenpa=an kor a=kor pon mun cise kimkesama  
 外に出ると私たちの小さな草の家の山側に

イッカ トリ イッカ チカブ エアルタシパ ワイシトマアン ペネナ。  
 ikka tori ikka cikap earutaspa wa isitoma=an pe ne na.  
 泥棒の猛禽、泥棒の鳥が群がっていて怖ろしいのだよ。

イキア クナク エソイネ ナ」  
 ikia kunak esoyne na.”  
 決して外に出るなよ」

セコロ オカイ ペイエ コロ エキムネ コロ  
 sekor okay pe ye kor ekimne kor  
 ということを（お婆さんが）言うと、山に行って、

オラ オヌマナン コロ  
 ora onuman an kor  
 そして夕方になると

トイトイ ウシ カム トイトイ ウシ チエプ セ ワイワク コロ  
 toytoy us kam toytoy us cep se wa iwak kor  
 （お婆さんが）土のついた肉、土のついた魚を背負って帰ってくると

オロワノ テムスッナ ワ フライエ ア フライエ ア ワ  
 orowano temsutna wa huraye a huraye a wa  
 それから袖を肩までまくりあげて、洗いに洗って

ピリカ ウシケ スウェ ワイエレ コロ オシイオマパ イオマパ コロ イネ  
 pirka uske suwe wa i=ere kor os i=omap a i=omap a kor h\_ine  
 よいところを煮炊きして私に食べさせた後、私を可愛がりに可愛がりながら

スイ ランマ カネ カッコロ カネ オカアン アイネ  
 suy ramma kane katkor kane oka=an ayne  
 またもや、いつも変わりなく暮らしているうちに

スイ シネアンタ ネ ポンノ ポロアン カネ コロ スイ エキムネ コロ  
 suy sineanta ne ponno poro=an kane kor suy ekimne kor  
 またある日になって、少し私が大きくなると、また（お婆さんが）山に行くと

「イキア クナク エソイネ プ ネ ナ」  
 “ikia kunak esoyne p ne na”  
 「決して外に出るなよ」

セコロ オカイ ペ イエ コロ エキムネ ワ イサム  
 sekor okay pe ye kor ekimne wa isam  
 ということを言うと山に行ってしまった。

オカケ タ インカラナクス  
 okake ta inkar=an akusu  
 その後で私が見ていると

シネ セタ スイ セシケ オイラ ルウェ ネ アニネ (?) クス  
 sine seta suy seske oyra ruwe ne an h\_ine(?) kusu  
 ひとつの穴を塞ぎ忘れていたので

ネア アクシノッ ポン ク アクシノッ ポナイ  
 nea aksinot pon ku aksinot pon ay  
 例の弓遊びの小弓と弓遊びの小矢を

ホシキ ネア セタ スイ カリ ソヤオマレ ヒネ  
 hoski nea seta suy kari soy a=omare hine  
 先に例の穴から外に出して

オロワ ウン オシ レイエレイエアニネ ソイネアン ル (?)  
 orowa un os reyereye=an h\_ine soyne=an ru(?)  
 それからその後から這って這って私が外に出たことは (?)

タネポ タプネ アコロ ポン ムン チセ ソイケサマ アヤヤムキレ ル  
 tanepo tapne a=kor pon mun cise soykesama a=yayamkire ru  
 今初めてこうして私たちの小さい草の家の外側を私は初めて見たことには (?)

イネロクペクス ウェンクルチ アリキキ ワ シラナ カ アエラミシカリ  
 inerokpekusu wenkur h\_uci arikiki wa siran \_ya ka a=eramiskari  
 なんとまあ貧乏人のお婆さんが一生懸命にしていた様子なのかわからないほどで、

チクニ ヘネ ポロ イキリ アン ルウェ ネ。  
 cikuni hene poro ikir an ruwe ne.  
 薪も大きな山になって並んでいた。

オロワ ウン エキムネ ワ  
 orowa un ekimne wa  
 それから（お婆さんが）山に行って

ウェンクルチ エキムネ トイル アラパル コ マクナタラ  
 wenkur h\_uci ekimne toyru arpa ru ko maknatara  
 貧乏人のお婆さんが山に入る道が伸びゆく様子は広々としている。

エコホビ エピシネ ワ チタ キロル アン（？）ル コンナ マクナタラ  
 ekohopi episne wa cita kiroru an(?) ru konna maknatara  
 それと分岐して浜の方から耕された道がある様子は広々としている。

テ…… ネア アクシノッ ポン ク アクシノッ ポナイ アコロ カネ ワ  
 te... nea aksinot pon ku aksinot pon ay a=kor kane wa  
 例の弓遊びの小弓、弓遊びの小矢を私は持つて

ネア エピシネ ワ サン キロル カリ ラナン ルウェ  
 nea episne wa san kiroru kari ran=an ruwe  
 例の浜の方へ下りる道を通って私が下りると

トンカ ルウェ クンナタラ イヨクペ ルウェ マクナタラ  
 tonka ruwe kunnatara iyokpe ruwe maknatara  
 鍬で耕した跡は黒々と、鎌で刈った跡は広々としている。

キロル カリ ラナン ルウェ ネ アクス  
 kiroru kari ran=an ruwe ne akusu  
 その道を通って私が下りると

タネポ タプネ アトイ セコロ アイエ プ アヌカンルウェ  
tanepo tapne atuy sekor a=ye p a=nukar\_ruwe  
今初めてこうして海と言われるものを私は見たのだ。

ピリカ ノト チシレアヌ  
pirka noto cisireanu  
綺麗な凧で、

ノト コツ トリ ノ…… ノト コツ チカブ サカンレク ハウエ  
noto kor\_tori no... noto kor\_cikapakanrek hawe  
凧の鳥、凧の鳥が鳴き交わす声は

チリポ ハウ ネ ウエトウヌイセ アンラマス アウエスイエ コロ  
cirpo haw ne uetunuyse anramasu auesuye kor  
小鳥たちの声として美しく響き、面白く気に入って

エコイカン マ エコイポクン マ ル…… ルル サム ペカ  
ekoikan w\_a ekoypokun w\_a ru... rur sam peka  
東から、西から波打ち際に（寄せる）

ルプネ ルンニ ノカン ルン…… ルンニ アトクピシキレ アイケサンパ  
rupne runni nokan run... runni a=tokpiskire a=ikesanpa  
大きな寄り木、小さい寄り木に私は（矢を）射飛ばしては追いかけて

アエヤヨミナウシ カネ コロ  
a=eyayominausi kane kor  
ひとりで大笑いしながら

エコイポクン マ エ…… エコイカン マ  
ekoypokun w\_a e... ekoikan w\_a  
西へ、東へ

テレケアン カネ パサン カネ コロ アナナイネ  
terke=an kane pas=an kane kor an=an ayne  
跳んだり走ったりしているうちに

アコンラム コンナ ユプコサンパ ヒネ  
 a=konram konna yupkosanpa hine  
 私の心は急に緊張して

ネア…… タナトウイ ルツ トゥム アパウェチウ アパウェチウ ヒネ  
 nea... tan atuy rur\_tum a=paweciw a=paweciw hine  
 海の潮の中に頭から突っ込み、頭から突っ込んで

オロワノ パイエ ノ チエプ ルプ チエプ ルプ アッパ  
 orowano paye no cep rup cep rup atpa  
 それから、行く魚の群、魚の群の先頭を

アエホユプ ワ アラパアン シリ エネ オカ ヒ  
 a=ehoyupu wa arpa=an siri ene oka hi  
 私が走って行く様子はこのようだ。

ルプネ ワタラ ノカウ ワタラ アテケプシバ  
 rupne watara nokan\_watara a=tekepuspa  
 大きな石、小さな石を私は手で掘り上げ

シオカ ウン ヤプキン ニ ネ アエシスイエ コロ  
 sioka un yapkir\_ni ne a=esisuye kor  
 自分の後ろへ投げ木のように私が振り投げると

パイエ ノ チエプ ルプ アキク ノ ヒケ ライ ワ カンペ クルカ オシプシバ  
 paye no cep rup a=kik no hike ray wa kanpe kurka osipuspa  
 行く魚の群で叩かれたものは死んで水面の上に浮き上がり

アキキケ ウエンペ テシテシケ ワ パイエ  
 a=kik h\_ike wenpe testeske wa paye  
 叩かれても、死に損ねたものは、はたはた跳ねている。

ネワアンペ アヤヨミナウシ カネ コロ アラパアナイネ  
 newaanpe a=yayominausi kane kor arpa=an ayne  
 それを私はひとりで笑いながら行くうちに

タネ アナク レプンクル アトウイ ヤウンクル アトウイ ウエウシ  
 tane anak repunkur atuy yaunkur atuy ueus h\_i  
 今は海の彼方に住む人の海と、この陸に住む人の海とが隣りあっているところだと

アラメパカリ ウシケ タ アラパアン クス エカン ペ  
 a=ramepakari uske ta arpa=an kusu ek=an pe  
 想像していたところに私は行った。そのつもりで来たのだが

アエラ…… アエラム…… アエコンラム コンナ エサッカオシマ  
 aera... a=eramu... a=ekonram konna esakkaosma  
 急に気が変わった。

ネオロ…… スイ オロ タ クッタラ モム シリ  
 neoro... suy oro ta kuttar mom siri  
 またそこでオオイタドリが流れる様子の

アシコパヤラ コロ アナン ア (?)  
 a=sikopayar kor an=an a(?)  
 ふりをして私はいた。

ラポッケ タ カムイ チワシ エク ルウェ エネ オカ ヒ  
 rapokke ta kamuy ciwas ek ruwe ene oka hi  
 そのうちに神なる急流が来る様子はこのようである。

ホシキ エク ペ アシペ タンネ<sup>[6]</sup> カムイ ラメトク  
 hoski ek pe aspe tanne kamuy rametok  
 先に来るものは背びれの長い神なる勇者が

ラッチ ヘトゥク ラッチ ヘロリ エヤイタプクルカオシキル  
 ratci hetuku ratci herori eyaytapkurkaosikiru  
 ゆっくり顔を出し、ゆっくり潜り、肩を張って身を転じる。

オシ エク ペ アシペ…… アシペ レウケ カムイ ラメトク エク ルウェ ネ。  
 os ek pe aspe... aspe rewke kamuy rametok ek ruwe ne.  
 その後に来るものは背びれが曲がった神なる勇者が来たのだ。

オシ エク ペ アシペ プヨ カムイ ラメトク エク ルウェ ネ。  
 os ek pe aspe puyo kamuy rametok ek ruwe ne.  
 その後に来たものは背びれに穴があいた神なる勇者が来たのだ。

オシ エク ペ ポネ チコロ クル<sup>[7]</sup>  
 os ek pe pone cikor kur  
 その後に来るものはサメが

ヘトウク シリ コ マムコサンパ へ…… ヘロリ シリ コ マムコサンパ  
 hetuku sir ko mamkosanpa he... herori sir ko mamkosanpa  
 顔を出す様子はポンと浮き上がり、潜る様子はポンと沈み（しながら）

アラキ ハウェ…… ルウェ エネ オカ イ  
 arki hawe... ruwe ene oka h\_i  
 来る様子はこのようだ

ネア アシペ タンネ カムイ ラメトク アシペ ストウ チウカルミ  
 nea aspe tanne kamuy rametok aspe sutu ciwkar h\_umi  
 例の背びれが長い神なる勇者の背びれの根元に波があたる音が

トウ イタク サシ ネ レ イタク サシ ネ アン フミ エネ オカ イ  
 tu itak sas ne re itak sas ne an humi ene oka h\_i  
 二つの言葉がざあざあする、三つの言葉がざあざあするような音がこのように聞こえる。

「カムイ オピッタ オリパク ャン。  
 "kamuy opitta oripak yan.  
 「神々すべてよ、落ちついてください。」

アイヌ オポイサム アン ルウェ ネ ナ。  
 aynu opoysam an ruwe ne na.  
 人間の子がいるのですよ。

カムイ オピッタ オリパク ャン」  
 kamuy opitta oripak yan”  
 神々すべてよ、落ちついてください」

セコロ ネ ペコロ アシペ タンネ カムイ ラメトク  
 sekor ne pekor aspe tanne kamuy rametok  
 というかのようで、背びれの長い神なる勇者の

アシペ ストウ チウカルミ アヌ ルウェ ネ アクス  
 aspe sutu ciwkar h\_umi a=nu ruwe ne akusu  
 背びれの根元に波があたる音が聞こえると

ネ アシペ レウケ アシペ プヨ カムイ ラメトク  
 ne aspe rewke aspe puyo kamuy rametok  
 例の背びれが曲がった者と、背びれに穴の空いた神なる勇者は

オピッタ ラッチ ヘトウク ラッチ ヘロリ エヤイタプクルカオシキル  
 opitta ratci hetuku ratci herori eyaytapkurkaosikiru  
 皆、ゆっくり顔を出し、ゆっくり潜り、肩を張って身を転じた

ネ ラポク タ ポネ チコロ クル イヨシノ エク ペ  
 ne rapok ta pone cikor kur iosno ek pe  
 そのときにサメ（である）、その後から来るものが

ヘ…… ヘロリ シリ コ マムコサンパ ヘトウク シリ コ マムコサンパ  
 he... herori sir ko mamkosanpa hetuku sir ko mamkosanpa  
 潜る様子はポンと浮き上がり、顔を出す様子はポンと浮き上がりして

イア…… アシペ ストウ チウカルミ エネ ネ ペコロ アヌ フミ タシ (?)  
 ia... aspe sutu ciwkar h\_umi ene ne pekor a=nu humi tas (?)  
 背びれの根元に波があたる音はこのようであるかのようで、私が聞いた音は

「ヘマンタ ネ クス アイヌ ネ ワ オカイ ペ アエオリパカウェ オカ ヤ？」  
 “hemanta ne kusu aynu ne wa okay pe a=eoripak h\_awe oka ya?”  
 「どうして人間であるものに我々が遠慮するというのか？」

セコン ネ ペコロ アヌ コロ アラキ ルウェ ネ ヒネ  
 sekor\_ne pekor a=nu kor arki ruwe ne hine  
 というかのないように私は聞いていると、（勇者たちが） 来るので

ネア アシペ タンネ カムイ ラメトク アシペ ストゥ チウカルミ  
 nea aspe tanne kamuy rametok aspe sutu ciwkar h\_umi  
 例の背びれが長い神なる勇者の背びれの根元に波があたる音が

トウ イタク サシ ネ アヌ フミ エネ オカ イ  
 tu itak sas ne a=nu humi ene oka h\_i  
 二つの言葉がざあざあするような音が私にはこのように聞こえた。

「インカラ クス カムイ……アイヌ オポイサム  
 “inkar kusu kamuy... aynu opoysam  
 「さてさて、人間の子よ、

タネボ タプネ アエパシクマ ワ エヌ カトウ エネ オカ イ  
 tanepo tapne a=e=paskuma wa e=nu katu ene oka h\_i  
 今初めてこうして私はいわれ話をするからお前は聞くのだよ。

テエタ カネ タアン シヌタプカ タ  
 teeta kane taan Sinutapka ta  
 昔、このシヌタプカに

エオナ アラケ カムイ ネ アラケ アイヌ ネ  
 e=ona arke kamuy ne arke aynu ne  
 お前の父親（である）半分は神であり、半分は人間である

カムイ ラメトク アン ルウェ ネ アワ  
 kamuy rametok an ruwe ne awa  
 神なる勇者がいたのだが、

ウイマム クス エコッ トット  
 uymam kusu e=kor\_totto  
 交易するためにお前の母さんは、

タネボ ヤラペサモマプ エネ ヒネ エカイ カネ ワ  
 tanepo yarpesamoma p e=ne hine e=kay kane wa  
 その時まさにお前はおしめにくるまれた赤ちゃんだったから、お前をおぶって

ユ…… ウイマム クス レプン パ ルウェ ネ ヒネ アクス  
 yu... uymam kusu repun pa ruwe ne hine akusu  
 (お前の両親は) 交易するために沖に出たところ

ヤン…… ヤンケ レブンクル レブケ クスシケ タ  
 yan... yanke repunkur repke kus uske ta  
 陸に近い方のレブンクルの沖を通るところで

イナウ アニ サケ アニ アヤナクルスイパ ャッカ  
 inaw ani sake ani a=yanakursuypa yakka  
 イナウでもって、酒でもって招かれたが<sup>[8]</sup>

メノコ アイヌ ヤン コパンニネ  
 menoko aynu yan kopan h\_ine  
 女の人は陸にあがるのを嫌がって

ヤプ ソモ キ ルウェ ネ ヒネ パイエ ヒネ  
 yap somo ki ruwe ne hine paye hine  
 陸にあがらずに行きすぎて

トウイマ レブンクル レブケ クスシケ タ  
 tuyma repunkur repke kus uske ta  
 遠くのレブンクルの沖を通るところで

スイ イナウ アニ サケ アニ アヤナクルスイパ ウシケ タ  
 suy inaw ani sake ani a=yanakursuypa uske ta  
 またイナウでもって、酒でもって招かれたところで

オッカヨ アイヌ カムイ ネ アン クル  
 okkayo aynu kamuy ne an kur  
 男の人（である）、神なる人は

シラムニウケサ ヒネ ヤプ ルウェ ネ フム…… クス  
 siramniwkes a hine yap ruwe ne hum... kusu  
 反対することもできかねたので陸に上がったために

オロワノ スルク サケ アクエコイキ  
 orowano surku sake a=kuekoyki  
 それから毒の酒を無理矢理に呑まされて

ネ サケ イタクテ スルク イタクテ プ  
 ne sake itakte surku itakte p  
 その酒によってしゃべらされ、毒によってしゃべらされたものが

カムイ ネ アン クル キ プ ネ クス  
 kamuy ne an kur ki p ne kusu  
 神である人（=お前の父）だから

トウイマ レブンクル レブンクル コタン  
 tuyma repunkur repunkur kotan  
 遠くのレブンクルの村を

コタニッケウェ ウタツ トウラノ ホキタッキ  
 kotan ikkewe utar\_turano hokitakki  
 村をまるごと村人もろともに買うと言い、

イタサ パクノ チプ カシ カムイ アコホキタッキ  
 itasa pakno cip kas kamuy a=kohokitakki  
 返礼に船を買うと言われた。

ネワアンペ ウパオレ ネ アン アイネ  
 newaanpe upaore ne an ayne  
 それを口論しているうちに

オトウミ オシマ ヒネ ウェン トウミ ラン コホブニ ウシケ タ  
 otumi osma hine wen tumi ran kohopuni uske ta  
 戦いに突入して、激しい戦が起こったところで

ウタラ サク クニ プ アパ サク クニ プ  
 utar sak kuni p apa sak kuni p  
 仲間がいないもの、親戚がいないものが

カムイ ネ アン クル ネ プ ネ クス

kamuy ne an kur ne p ne kusu

神なる人（＝お前の父）であったので

トウミ ホントマ アオマレ ルウェ ネ

tumi hontom a=omare ruwe ne

戦いの途中で（お前の父は）殺されて<sup>[9]</sup>しまった。

ウシケ タ エコッ トット ヤイウェンヌカラ クス

uske ta e=kor\_ totto yaywennukar kusu

そこでお前の母さんはどうしようもなく困ったので

カムイ ネ アン クル ミ コソンテ コソシパ ヒネ

kamuy ne an kur mi kosonte kosospa hine

神なる人（＝お前の父）が着ていた小袖を剥ぎ取って

エ…… イワタラプ エネ イネ エコカリ イネ

e... iwatarap e=ne h\_ine e=kokari h\_ine

お前が赤ん坊であったから（剥ぎ取った小袖で）お前を包んで

ヤンケ モシリ エコエヤプキリ クルカシケ イタク オマレ エネ オカ ヒ

yanke mosir e=koeyapkir kurkasike itak omare ene oka hi

ヤウンクルの国<sup>[10]</sup>に向かってお前を投げながら言葉を入れて、こう言った。

「カムイ ネ アン クル ノミ ヒケ

“kamuy ne an kur nomi hike

「神なる人が祈って

インネ ハウェ アヌ プ カムイ ネ ロク ナ

inne hawe a=nu p kamuy ne rok na

言葉を聞かされたのは、大勢の神であったのですから、

インキ ピト インキ カムイ イキヤッカ タアン ポンペ ペカ ワ イコレ ヤン。

inki pito inki kamuy ikiyakka taan ponpe peka wa i=kore yan.

どの尊、どの神でも、この赤ん坊を受け止めてくださいませ。

ケライネ ヤクネ イナウ サンテク ネ シ…… シトウリ ヤクネ  
 kerayne yakne inaw santek ne si... situri yakne  
 そのおかげでイナウ（を引き継ぐ男系）の子孫の系統が伸びて続いていたら、

ネノ カムイ オピッタ アノミ プ ネ ナ」  
 neno kamuy opitta a=nomi p ne na”  
 これからもすべての神様がまつられることでしょうから」

セコロ オカイ ペ メノコ アイヌ イエ コロ エエヤプキン ルウェ ネ アクス  
 sekor okay pe menoko aynu ye kor e=eyapkirk\_ruwe ne akusu  
 ということを女の人が言ってお前を遠くに投げると

カムイ オピッタ シッカムク  
 kamuy opitta sikkamuk  
 神々すべては目を閉じて

「フンタ エネ オカ ヤラペ コティネ プ  
 “hnta ene oka yarpe koteyne p  
 「どこにこんな赤ん坊で濡れたり

フンナ イカウノソマ イカウノクイマ コロ アレス ハウェ」  
 hunna i=ka un osoma i=ka un okuyma kor a=resu hawe”  
 誰が自分の上に大便を垂らされ、自分の上に小便を垂らされたりしつつ育てたいものか」

セコロ カムイ オピッタ ハウェオカ コロ シッカムク ルウェ ネ  
 sekor kamuy opitta haweoka kor sikkamuk ruwe ne  
 と、神々すべてが言いながら目をつぶった。

ウシケ タ ウェンクルチ テムニコロ エオシマ ヒネ  
 uske ta wenkur h\_uci temnikor e=osma hine  
 （そうした）ところに、貧乏人の婆さんの腕の中にお前が入って

オロワノ エレス ルウェ  
 orowano e=resu ruwe  
 それからお前を育てたの

エラム…… エ…… エレス ポカ エヤイコラムペテッネ ルウェ ネ ャッカ  
 eram... e... e=resu poka eyaykorampetetne ruwe ne yakka  
 お前を育てるにも子育てに苦労したのであったから

タネ パクノ ポカ エアン ヤクン  
 tane pakno poka e=an yakun  
 今までお前がいても

シンリトルシペ エヌ ヤクン ヤイシンリックムヌ エキ アキ ルスイ クス  
 sinrit oruspe e=nu yakun yaysinritkemnu e=ki h\_i a=ki rusuy kusu  
 起源の話をお前が聞いたら、お前には自分の先祖を哀れに思ってほしいので

タプ タプ エカタカラ ワ<sup>[11]</sup> エエク ルウェ ネ ナ」  
 tap tap e=kat a=kar wa e=ek ruwe ne na”  
 これこのとおり巫術を使ってお前が来るようにしたのだよ」

セコロ ネ ペコロ  
 sekor ne pekor  
 というかのよう

アシペ タンネ カムイ ラメトク アシペ ストゥ チウカルミ  
 aspe tanne kamuy rametok aspe sutu ciwkar h\_umi  
 背びれの長い神なる勇者の背びれの根元に波があたる音が

トウ イタク サシ ネ アヌ ルウェ  
 tu itak sas ne a=nu ruwe  
 二つの言葉がざあざあとなっているのを聞いて

ネ ウシケ タ ヤイヌアン ルウェ エネ アニ  
 ne uske ta yaynu=an ruwe ene an h\_i  
 そこで私が思ったのはこうだ。

「オロヤチキ ウヌ ネ マヌ プ オナ ネ マヌ プ  
 “oroyaciki unu ne manu p ona ne manu p  
 「そうか、なるほど。母親というものと父親というものを

エコン ロコカ ハウェオカ ヤ？」  
 e=kor\_ rokoka haweoka ya?”  
 お前は持っていたという話なのか」

セコロ ヤイヌアン クス  
 sekor yaynu=an kusu  
 と思ったので

オロワノ アトウイ ソ カ タ ホケレケレ ホタウェタウェ アキ コロ  
 orowano atuy so ka ta hokerekere hotawetawe a=ki kor  
 それから海の上で足をばたばたさせ、踏み踏みすると

タン パラパラク アエサナニンパ ネ ヒ コラチ<sup>[12]</sup>  
 tan paraparak a=esaninanipa ne hi koraci  
 大声で泣きわめき、身もだえして声を長く引いて泣くと、それとともに、

ラポッケ タ ネロク カムイ ラメトク ウタラナク パイエ ワイサム  
 rapokke ta nerok kamuy rametok utar anak paye wa isam  
 そうしているうちに例の神なる勇者たちは行ってしまった。

オカケヘ タ ポクナ アトウイ チカンナレ  
 okakehe ta pokna atuy cikannare  
 その後で下方の海は上になり

カンナ アトウイ チポクナレ キ プ ネ クス  
 kanna atuy cipoknare ki p ne kusu  
 上方の海は下になったものだから

ネア ポネ チコロ クル  
 nea poneci kor kur  
 例のサメが

チニンコポイポイエ プ…… チニンコクルポイエポイエ<sup>[13]</sup> シリ  
 cininkopoyepo ye p... cininkokurpoyepo ye siri  
 波にかき回されている（？）様子を

アヌカラ コロ

a=nukar kor

私は見ると

オロワノ スイ アトウイ ルッ トウム アパウェオッケ ヤナン ルウェ ネ

orowano suy atuy rur\_tum a=paweotke yan=an ruwe ne

それからまた海の潮の中に私は頭から飛び込み陸に上がるのだ

セコロ アニ パクノ

sekor an h\_i pakno

と、ここまで。

フナコロホ

hunakorho

これだけかい（と思われるだろうね）。

ふふふ。ほんとにフナコロホ

ふふふ。ほんとに hunakoroho

ふふふ。本当に、これだけかい（と思われるだろうね）。

(萱野：うん)

いつ……

### 【注】

[1] samuspe：直訳は「そばについているもの」。

[2] tokpiskire：『久保寺辞典稿』にある tokpiste 「射とばす」と同義の語か。

[3] エペヌプルペ epenupurpe は『アイヌの叙事詩』に「epenupurpe / nepne kusu 後継者 / であるゆえに」(P140) とあるのを参考に訳した。

[4] 犬の穴を塞ぐというのは「子供を家から外へ出られないようにする時の常套句」(『千歳方言辞典』: P229)。

[5] ikia kunak :『久保寺辞典稿』に ikia kunak を「決して…するな」とある。

[6] 『知里動物篇』では aspetannep 「ネズミザメ」とある。

[7] 『久保寺辞典稿』には pone cikor kur で「鮫」とある。

[8] 『ユーカラ集IX』に「inau ani / sake ani / ayanasuipa 御幣をもつて / 酒をもつ

て / 招かれた」(P343) とあるのを参考に訳した。

[9] 『音声資料 11』1701 行・1734 行を参考に訳した。

[10] 音はヤンケ モシリ yanke mosir 「陸にあげる大地」と聞こえるが ヤウンクルモシリ yaunkur mosir の意味か。

[11] 「エカッアカラワ 法術をつかつて」(釧路アイヌ文化懇話会(編)、1998『アイヌ・モシリ——幻のアイヌ語誌復刊』: P474) とあるのを参考にした。

[12] ne hi koraci 「それとともに」の後に、pokna atuy cikannare 「下方の海は上になり」とつながるはずだったと思われる。

[13] 「ninko kara karase 波にころがされるようになりました」(北海道教育庁社会教育部(編)、1986『アイヌ民俗文化財口承文芸シリーズ 久保寺逸彦ノート 1』北海道教育委員会: P57) とあるのを参考に訳した。

## 16-9 ルパイエユカラ「ウェンクル フチ イレス」物語中登場

### 人物の解説

語り手：鍋澤ねふき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：来た kamuy は aspetanne kamuy rametok [背びれの長い鰐神 神の勇者]、aspetanne kamuy rametok [背びれの長い鰐神 神の勇者] と ponecikorkur [サメ] と、

鍋澤：ponecikorkur が悪いのよ。aspetanne kamuy rametok hoski ek wa [背びれの長い鰐神 神の勇者が先に来て] その、

萱野：いいわけだ？

鍋澤：ゆったわけ。

今度、os ek pe askere a... asperewke kamuy rametok [あとから来た者が背びれの曲がっている鰐神 神の勇者]

萱野：ああ、そう。

鍋澤：os ek pe aspepuyo kamuy rametok [そのあとから来た者が背びれに穴のある鰐神の勇者]。3人はいい、良い kamuy [神]。その poneci korkur [サメ] っていうものは、その“hemanta ne kusu aynu ne wa okaype a=eoripak hawe” sekor okay pe i=ye a p [「なんだって人間である者に遠慮なぞするのだ」と言ったけれど] konto [今度] cininko kur poypoye siri a=nukar kor yan=an sekor [波にかき回される様子を見ながら、私は岸に上がった] と]。

萱野：aspetanne kamuy rametok、aske... asperewke kamuy rametok とそれから、

鍋澤：aspepuyo

萱野：as...あ、aspepuyo？

鍋澤：うん、kamuy rametok。repunkamuy ne aan [神の勇者。沖の神だったのだ]

うん、ほんとに pirka yukar ne nankor korka [良い詩曲だろうけど]  
(笑い)

萱野：aspetanne kamuy rametok、asperewke kamuy rametok、aspepuyo kamuy rametok。

鍋澤：ん、んだ、んだ。

萱野：んー、ponecikorkur、[サメ]

鍋澤：anakne[は]、その”hemanta ne kusu aynu ne wa okay pe a=eoripak itak a p newanpe[「何のために人間である者に遠慮するのだ」と言った者は、その] その、hokerekere hotawetawe a=ki p ne kusu [私が足をばたつかせ地団駄ふんだので] pokna atuy cikannare, kanna atuy cipoknare kusu [下方の海が上になり、上方の海が下になったので] nea poneckorkur cininkokurpoypoye siri a=nukar kor yan=an “ sekor ne h\_i pakno un. [そのサメが波にかきまわされる様子を見ながら、岸に上がった」という所までよ]。

萱野：これも rupayeyukar [散文のユカラ] だな。

鍋澤：えー、rupaye [散文]。そりや、okkayo ye hawe [男が言うの] は sinotca koki p ne a korka ku=ye hawe un. [節をつけて言うものだけど、私が語ったのよ]

萱野：あー、なるほどね。wenkur hucliresu [貧乏のおばあちゃんの子育て] ちゅうやつだな。

鍋澤：うーん、wenkurhuci [貧乏のおばあちゃん]。(笑い)

## 16-10 ウエペケレ

「アアチャハ イレス」

私の叔父に育てられた

語り：鍋澤ねふき

アアチャ アン アアチャ イレシパ ワ オカアニケ

a=aca an a=aca i=respa wa oka=an h\_ike

私の叔父が居て私を育てて暮らしていましたが、

シノッチャ キ コロ スケ シノッチャ キ コロ ワッカタ イイペレ フミ ネ  
sinotca ki kor suke sinotca ki kor wakkata i=ipere humi ne

歌を歌いながら料理したり、水を汲んだりして、私に食事をさせていたのだと思いながら

クナク アラム コロ オカアナイネ タネ ポンノ ポロアニ ワノ  
kunak a=ramu kor oka=an ayne tane ponno poro=an h\_i wano  
暮らしていたのですが、今、ちょっと大きくなってからイヌアン クス チシ コロ スケ チシ コロ ワッカタ ヒネ アアン コロカ  
inu=an kusu cis kor suke cis kor wakkata hine aan korka  
聞くと、(叔父は) 泣きながらご飯を作って、泣きながら水汲みをしていたのだったのですが、

「マク エイキ シリ アン？」

“mak e=iki siri an?”

私は「どうしたのか？」

セコロ ネ イタカン カ ソモ キ ノ

sekor ne itak=an ka somo ki no

と言うこともせずに、料理して私に食べさせて、

スケ ワ イエレ オラ イネアプ イエヤム マ シリキ ヤ カ アエラミシカリ。

suke wa i=ere ora ineap i=eyam w\_a sirki ya ka a=eramiskari.

そして、びっくりするほど私を可愛がってくれました。

ネプ カラ ヤッカ イトゥラ ワッカタ ヤッカ イトゥラ ニナ ヤッカ  
 nep kar yakka i=tura wakkata yakka i=tura nina yakka  
 何をするにも、一緒に水を汲んだり、一緒に薪採りをしたり、

イトゥラ ワ アン コロ アpunノ イレシパ ワ オカアン ペ ネ ヒケ  
 i=tura wa an kor apunno i=respa wa oka=an pe ne hike  
 一緒に居て、大切に私を育てて暮らしていたものでしたが、

アイネ エネ チシ コラチ キ チシ コロ スケ チシ コロ ワッカタ ヒネ アン  
 ayne ene cis koraci ki cis kor suke cis kor wakkata hine an  
 あげくあのように泣くようにして、泣きながら料理して、泣きながら水を汲んでいました。

オラノ キム ペカ イトゥラ ワ  
 orano kim peka i=tura wa  
 それから、山に私を連れて行って、

「アコロ ヤラペ セコロ オカイ ペ オッカヨ モンライケ ネ ナ」  
 “a=kor yarpe sekor okay pe okkayo monrayke ne na”  
 「坊や、これこれこういうことが男の仕事だよ」

セコロ アン ペ イイエ コロ クワリ カ キ ワ イヌカレ  
 sekor an pe i=ye kor kuari ka ki wa i=nukare  
 ということを私に言いながら、仕掛け弓を掛けて見せてくれ

ネプ ネ ヤッカ カラ コロ イエパカシヌ イヌカレ アエイコイサンパ ワ  
 nep ne yakka kar kor i=epakasnu i=nukare a=eykoysampa wa  
 何でも作っては私に教えて見せて、私はそれを真似して

クワリアン コロ オロ ウン イセポ カ オシマ チロンヌプ カ オシマ コロ  
 kuari=an kor oro un isepo ka osma cironnup ka osma kor  
 仕掛け弓を掛けると、そこにウサギもかかり、狐もかかりました。すると、

オラノ イエオマプカラ イコルイルイパ コロ オカアン ルウェ ネ アイネ  
 orano i=eomapkar i=koruyruypa kor oka=an ruwe ne ayne  
 そのことで私をかわいがって、なでながら暮らしていました。

タンタネ ポロアナイネ タネ ポロ オッカヨ アネ プ ネ クス  
 tantane poro=an ayne tane poro okkayo a=ne p ne kusu  
 そのうち、だんだん大きくなって、今は大人の男になったので

オラノ ヤイカタ イラマンテアン マ イネアプ アエモニピリカ ワ  
 orano yaykata iramante=an w\_a ineap a=emonipirka wa  
 それで、自分で獵をして、それはもう私はどれほど獵運がよいか

シリキ ヤ カ アエラミシカリ プ ネ クス オラノ アアチャハ アナクネ  
 sirki ya ka a=eramiskari p ne kusu orano a=acaha anakne  
 分からないほど（獵運がある）ので、それで叔父は

イエトコ オイキ ワ アブンノ オカアニケ  
 i=etoko oyki wa apunno oka=an h\_ike  
 私の帰りを待って何事もなく暮らしていました

トウ オッカイポ アコタヌン ウタラ シノ ウトクイエコラン マ  
 tu okkaypo a=kotanu un sino utokuyekor=an w\_a  
 村にいる人たちの中で、ふたりの男と本当に互いに親しく付き合うようになり、

ネパカラッカ イラマンテアナッカ  
 nep a=kar y\_akka iramante=an y\_akka  
 何をするのでも獵であっても、

ネパカラ ヤッカ レナネ ウトウラアン ウエネウサラン コロ キ プ  
 nep a=kar yakka ren a=ne utura=an uenewsar=an kor ki p  
 何を作っても、三人で一緒に語り合って楽しんでいました。

トウ オッカイポ オカイ ペ ネ ヘム キ プ ネ アイネ イヌアン クス  
 tu okkaypo okay pe ne hem ki p ne ayne inu=an kusu  
 二人の男がいまして、長い間暮らしているうちに、聞くところによると

トオプ アコロ…… アコロ ペテムコ タ ウエイ シケサラ ペ オカ ワ  
 toop a=kor... a=kor pet emko ta wen\_sikesar pe oka wa  
 遠くの私たちの沢の奥に、ひどい乱暴者たちがいて、

ソレクス コリウオロッタ スマウコロ ペ カ コウイナ ワ  
 sorekusu kor iwor or\_ta sumawkor pe ka kouyna wa  
 それこそ、狩場で熊を殺したものからも奪って、

オラ ヘカチ ノックリ ヘカチ サバ エエロシキ ワ  
 ora hekaci notkiri hekaci sapa eeroski wa  
 そして、少年の頸や少年の頭にしたてて<sup>[1]</sup>

ウッシウェコロ コロ オカイ ペ ネ セコロ イヌアン。  
 ussiwekor kor okay pe ne sekor inu=an.  
 下人についているものたちなのだと言う話を聞きました。

イヌ アナク アキ コロ オカアン コロ エネ  
 inu anak a=ki kor oka=an kor ene  
 聞きながら暮らしていると、

アチャ エネ ハワシ…… ハウェアニ  
 aca ene hawas h\_i ... hawean h\_i  
 叔父がこのように言いました。

「アコロ…… アカラクフ タブ ハワシ ウシケ イキアクナク コパクン  
 “a=kor... a=karkuhu tap hawas uske ikiakunak kopak un  
 「甥っ子よ。こんな話のあるところは、決してその方に

エオマナン ナ」  
 e=omanan na “  
 行くなよ」

セコロ イイエ ランケ コロ オカアン ペ ネ コロカ  
 sekor i=ye ranke kor oka=an pe ne korka  
 と、私に言っていたものでした。けれど、

ネイ タ カ エウン パイエアン コロ アナクネ  
 ney ta ka eun paye=an kor anakne  
 いつかそこへ私が行ったら

トウカリケ クチャ ウン カネ アン コタン ネ セコロ カ  
 tukarike kuca un kane an kotan ne sekor ka  
 その手前に狩小屋がある村であると

イヌアン ペ ネ ヒケ ネイ タ カ  
 inu=an pe ne hike ney ta ka  
 聞いていたものでした。すると、いつか

「レウシエキムネアン」  
 “rewsi-ekimne=an”  
 「泊りがけで山に行きます。」

セコロ ハウェアナン コロ アラパアン マ  
 sekor hawean=an kor arpa=an w\_a  
 と言いながら、私は行って、

ネ エネ オカイ ペ ネ ヒ アヌカラ ルスイ セコロ ヤイヌアン コロ  
 ne ene okay pe ne hi a=nukar rusuy sekor yaynu=an kor  
 どういうことになっているのかを見たいと、私は思って

アナン ペ ネ アイ クス シネ アン タ ネロク アコロ オッカイポ ウタラ  
 an=an pe ne a h\_i kusu sine an ta nerok a=kor okkaypo utar  
 居たので、ある時、例の友人の若者たちと

アシレン ヒネ パイエアン。ネ トウカリケ クチャ ウン セコロ  
 a=siren hine paye=an. ne tukarike kuca un sekor  
 一緒に、私はでかけることにした。その手前に狩小屋があると、

イヌアン ペ ネ ヒケ ネ スケアン マ アエ クニ ポイス カ ヌイナ ノ アセ  
 inu=an pe ne hike ne suke=an w\_a a=e kuni poysu ka nuyna no a=se  
 私は聞いていたもので料理して食べるよう 小鍋も隠して背負い、

アエプ カ ヌイナ ノ アセ ヒネ オラノ アチャ エウン  
 aep ka nuyna no a=se hine orano aca eun  
 食べ物もこっそりと背負って、それから、叔父の所に

「レウシエキムネアン ナ。イテキ イエポタラ」  
 "rewsi-ekimne=an na. iteki i=epotara"  
 「泊りがけで山に行きますので、心配しないでください」

セコロ イタカン コロ オラ  
 sekor itak=an kor ora  
 と言うと、それから

ネア オッカイポ ウタツ トウラノ パイエアン ルウェ ネ。  
 nea okkaypo utar\_turano paye=an ruwe ne.  
 例の若者たちと一緒に

パイエアナ アナイネ ソンノ カ フナク タ パイエアン コロ  
 paye=an a =an a h\_iné sonno ka hunak ta paye=an kor  
 でかけました。行ったあぐく、やはり本当にどこやらに、やってくると、

「タネ チュプラ クン (?) テ ワノ パイエアナクン  
 "tane cup ra kun(?) te wano paye=an y\_akun  
 「もう日が低くなるので (?)、これから行くと、

シリコクンネ ノ ネ コタン オッタ シレパアン ペ ネ ナンコロ」  
 sirkokunne no ne kotan or\_ta sirepa=an pe ne nankor"  
 すっかり暗くなってからその村に到着することでしょう。」

セコロ アコロ オッカイポ ウタラ ハウォカ コロカ  
 sekor a=kor okkaypo utar hawoka korka  
 と、若者たちが言うのですが

「エイタサ アエラミシカリ ウシケ ウンシリコクンネ ノ  
 "eytasa a=eramiskari uske un sirkokunne no  
 「私は全く知らないところに、すっかり暗くなつてから

シレパ カ アエトランネ クス ナ チュプ アシ コロカ カシコッ アカラ  
 sirepa ka a=etoranne kusu na cup as korka kaskot a=kar  
 着くのも嫌なので、まだ日は上っているけど、仮小屋を作つて、

オロ タ レウシアン クニ カシコッ アカラ ラポッケ タ  
 oro ta rewsia=an kuni kaskot a=kar rapokke ta  
 そこで泊まれるように私が仮小屋を作っている間に

アコロ オッカイポ ウタラ タプ ニナ パ ヤク  
 a=kor okkaypo utar tap nina pa yak  
 あなたたちはそこで、薪を採りに行ってくれれば、

アシヌマ カシコッ アカラ クス ネ」  
 asinuma kaskot a=kar kusu ne”  
 私は、獵小屋を作りましょう」

セコロ イタカン コロ オラ カシコッカラん。  
 sekor itak=an kor ora kaskotkar=an.  
 と、私は言いながら仮小屋を作りました。

アコロ オッカイポ ウタラ アナクネ ニナ パ クス  
 a=kor okkaypo utar anakne nina pa kusu  
 若者たちは薪を採りに山に行って

ニタイ チヨロポク オパシオパシ パ ラポッケ タ  
 nitay corpok opas'opas pa rapokke ta  
 林の下をどんどん走って行っている間に、

カシコッ アカラ コロ アナナクス  
 kaskot a=kar kor an=an akusu  
 私は仮小屋を作っていたところ、

オキムネ パシクル シネプ サンイネ ニ カ タ レウ。  
 okimne paskur sinep san h\_ine ni ka ta rew.  
 山からカラスが一羽降りてきて、木に止まりました。

オピシネ ワ スイ パシクル シネプ エキネ ニ カ タ レウ ヒネ  
 opisne wa suy paskur sinep ek h\_ine ni ka ta rew hine  
 浜の方からまたカラスが一羽来て、木の上に止まって、

オラ ネア オピシネ エキケ エネ ハワニ  
ora nea opisne ek h\_ike ene hawan h\_i  
浜の方から来た方がこのように言いました。

「オキムネ サン マ ネプ カ アエラナク ペ イサム ャ？」  
“okimne san w\_a nep ka a=eranak pe isam ya?”  
「山から下りてきて何も心配ごとはないですか」

セコロ ハウェアナクス  
sekor hawean akusu  
と、言うと、

「ネプ カ アエラナク ペ カ イサム ルウェ ネ」  
“nep ka a=eranak pe ka isam ruwe ne”  
「何も心配事はないです」

セコン ネ オキムネ サン パシクル ハウェアン アクス  
sekor\_ne okimne san paskur hawean akusu  
と、山から下りてきたカラスが言うと、

ネア オキムネ サン イケ  
nea okimne san h\_ike  
山から下りてきた方が、

「エアニ ウン オピシネ エク ワ ネプ カ アエラナク ペ イサム ャ？」  
“eani un opisne ek wa nep ka a=eranak pe isam ya?”  
「あなたのほうは、浜から来て何も心配事はないですか」

セコロ ハワナクス  
sekor hawan akusu  
と、言うと、

「ネプ カ アエラナク ペ カ イサム コロカ  
“nep ka a=eranak pe ka isam korka  
「何も心配事もないけれど、

アエラナク ペ アッカリ タシ アエヤイサンペポカシケ  
a=eranak peakkari tasi a=eyaysampepokas h\_ike  
心配事以上に、私が心を痛めているのは、

タアン オッカイポ シンリッ オルシペ ヌ カ ソモ キ ノ オマナン ワ  
taan okkaypo sinrit oruspe nu ka somo ki no omanan wa  
この男は先祖の事に関することを、聞きもしないで歩き回っていることこそ、

タシ シノ アエヤイサンペポカシケ ネ ネク」  
tasi sino a=eyaysanpepokas h\_ike ne nek"  
私は本当に心配していることなのです。」

セコロ ハウェアン コロ オラ スイ ウコホビ ホプンパ ヒネ イサム ヒケ  
sekor hawean kor ora suy ukohopi hopunpa hine isam hike  
このように言うと、また別れて飛び去つてしましましたが、

「マク ネ ヒネ ハワシ?  
“mak ne hine hawas?  
「どうしてそんなことを言うのだろう。

マク イキ ワ アン ペ アネ アアニネ エネ ハワシ アン?」  
mak iki wa an pe a=ne aan h\_ine ene hawas h\_i an?"  
私はどういう素性のものであんなことを言うのだろう」

セコロ ヤイヌアン ウエン ヤイコウエペケレ アキ。  
sekor yaynu=an wen yaykouepeker a=ki.  
と、思って悪く思つていろいろ考えて、

オラ カシコタナク アカリネ オラ オロ タ アコロ オッカイポ ウタラ  
ora kaskot anak a=kar h\_ine ora oro ta a=kor okkaypo utar  
それから仮小屋は作つて、そこに若者たちが

イワク パ ネ ア コロカ  
iwak pa ne a korka  
帰つてきたのだけれど、

「タプネ イヌアン」

“tapne inu=an”

「このように聞きました。」

セコロ ネ イタカン カ ソモ キ ノ オラウン スケアニネ アエ イネ  
 sekor ne itak=an ka somo ki no oraun suke=an h\_ine a=e h\_ine  
 とは私は言わないで、そして料理をして、食べて、

オラ レウシ オカアン オラウン イタカナウェ エネ アニ  
 ora rewsa oka=an oraun itak=an h\_awe ene an h\_i  
 ひと晩泊ってから、このように話した。

「ネウン ネ ウミ ネ ア ウクラン ネ ウェンタラパヌミ ウエン クス  
 “neun ne h\_umi ne y\_a ukuran ne wentarap=an h\_umi wen kusu  
 「どういうことなのか、ゆうべの夢見が悪いので

ホシッパアン 口」

hosippa=an ro”

帰りましょう」

セコロ イタカン コロ オラ ホシッパアニネ ホシッパアニネ  
 sekor itak=an kor ora hosippa=an h\_ine hosippa=an h\_ine  
 と言いながら、どんどん帰りました。叔父さんのところに

アアチャ オロ タ サパニネ オラウン アアチャ アコウエペケンヌ  
 a=aca oro ta sap=an h\_ine oraun a=aca a=kouepenkennu  
 下りて、それから叔父に事情を尋ねました。

「マカナク ネ ワ エネ…… マク ネ ワ オカイ ペ アネ ルウェ アン？」  
 “makanak ne wa ene... mak ne wa okay pe a=ne ruwe an?”  
 「どのような素性のもので、私はあるのですか？」

セコロ ハワナン アクス

sekor hawan=an akusu

と、言うと、

オラノ チシ コロ アン アイネ イタカウェ エネ アニ  
 orano cis kor an ayne itak h\_awe ene an h\_i  
 それから、泣いていたが、やがて言う事には

「ウヌ ヘネ オナ ヘネ サク ペ エネ ア ルウェ カ ソモ ネ  
 “unu hene ona hene sak pe e=ne a ruwe ka somo ne  
 「お前は父や母のない者ではないのだ。

カトウ エネ アニ。  
 katu ene an h\_i.  
 そのいきさつはこういうことなのだ。

アシヌマ カ ネ エネ イキ ワ アネ カ チャ (?) アネ イ カ  
 asinuma ka ne ene iki wa a=ne ka ca(?) a=ne h\_i ka  
 私もどういう素性のものか

アエランペウテク ノ  
 a=erampewtek no  
 わからないが、

ウヌ カ サク オナ カ サク ヘカチ アネ ヒネ タン コタン タ  
 unu ka sak ona ka sak hekaci a=ne hine tan kotan ta  
 母もなく父もない少年であり、この村で

ネン カ ニナ カ ネ……  
 nen ka nina ka ne...  
 誰か薪採りとか、

ネン カ ネプ カ カラ コロ アカスイ ペコロ イキアン  
 nen ka nep ka kar kor a=kasuy pekor iki=an  
 誰かが何かするときには手伝ったり、

ワッカタアン コロ ペコロ イキアン  
 wakkata=an kor pekor iki=an  
 水をくむようなこともして、

イエランポキウェン ウタラ イイペレ ネ ャ  
 i=erampokiwen utar i=ipere ne ya  
 私を憐れんだ人たちは私に食べさせるとか、

イレウシレ ネ ャ キ コロ アナニケ エオナハ エウヌフ パク  
 i=rewsire ne ya ki kor an=an h\_ike e=onaha e=unuhu pak  
 泊めるとかしていたのだが、お前の亡き父母は本当に

ケウトゥム ピリカ ウタラ オアリサム ペ ネ オロ ペカ シノ イキアン ワ  
 kewtum pirka utar oar isam pe ne oro peka sino iki=an wa  
 良い心持の人たちで、私はその家によく行って、

ワッカタアン ネ ャ ニシケアン ネ ャ キ コロ  
 wakkata=an ne ya nisike=an ne ya ki kor  
 水汲みをしたり薪を背負ったりしてそして、

オラノ イエオマプカラ パ コロ オカアン ペ ネ アイネ  
 orano i=eomapkar pa kor oka=an pe ne ayne  
 それで可愛がられていたものだった。

イヌアン クス エネ タ アコロ ペテムコ ウイル ペネ  
 inu=an kusu ene ta a=kor pet emko uyrus p ene  
 そのうちに私は聞いたところ、のように、私達の沢の方に住んでいる者が、

ウェニレンカコロパ ウェン シケサラパ プ ネ ワ  
 wenirenkakorpa wen sikesarpa p ne wa  
 どのように悪辣な者たち、ひどく強欲な者たちで、

コロ イウォロツ タ スマウコロ パ プ カ コウイナ ワ  
 kor iwor or\_ ta sumawkor pa p ka kouyna wa  
 その狩場で熊を捕る人たちからものを奪って、

ヘカチ ノッキリ ヘカチ サパ エエロシキ ワ ウッシウェコロ  
 ekaci notkir hekaci sapa eeroski wa ussiwekor  
 少年のあご、少年の頭にしたてて、下僕にし、

オロワウン サケ カラパ ワ オラ イヤシケウク ワ  
 orowaun sake karpa wa ora iyaskeuk wa  
 それからさらに酒を造っては、人々を招待して、

ソモ イクタシパ プ カ コアシンペウク チキ コアシンペウク  
 somo ikutaspa p ka koasinpeuk ciki koasinpeuk  
 酒を飲まない人からも、償いの品を取る者は償いを取り、

ロンヌ チキ ロンヌ キッキク チキ キッキク コロ オカイ ペ オカイ ペ ネ  
 ronnu ciki ronnu kikkik ciki kikkik kor okay pe okay pe ne  
 殺す者は殺し、殴る者は殴っている

アカイエ アクス ラポッケ タ エウヌフ ポロ ホンコロ カネ ヒネ  
 y\_ak a=ye akusu rapokke ta e=unuuhu poro honkor kane hine  
 という話なのだが、その間にお前の母親が妊娠していて

オカアン ルウェ ネ ア プ スイ  
 oka=an ruwe ne a p suy  
 いたのだったが、また、

『エオナハ エウヌフ アシケ アウク』  
 'e=onaha e=unuuhu aske a=uk'  
 『お前の両親を招待しよう』

セコロ ハワシネ クス エオナハ エネ ハワニ  
 sekor hawas h\_i ne kusu e=onaha ene hawan h\_i  
 と話なので、お前の父がこのように言った。

『タ アコロ カッケマツ ホニヒ ポロ ワ タネ ヌワプ クニ ネノ アン マ  
 'ta a=kor katkemat honihi poro wa tane nuwap kuni neno an w\_a  
 『このように私の妻のおなかが大きくなって今、お産をすることになっていて、

イ…… エアッヂエ ウン パイエ カ アエアイカブ  
 i... eatce un paye ka a=eaykap  
 よそに行くこともできず、

イクタサ カ アエアイカプ ルウェ ネ』  
 ikutasa ka a=eaykap ruwe ne.'  
 酒宴に招かれて行くこともできないのです』

セコロ ヤイエカタイタク アクス  
 sekor yayekataitak akusu  
 と、断ったところ、

『アウェ ネ チキ カンナ アン サケカラ オッ タ  
 'h\_awe ne ciki kanna an sakekar or\_ta  
 『それなら、また酒つくりをしたときに、

ソモ エチアラキ ヤカナクネ』  
 somo eci=arki yak anakne'  
 お前たちが来なかつたら（承知しないぞ）』

セコロ アン ペ イエ パ ヒネ オラ  
 sekor an pe ye pa hine ora  
 と、言って、それから

『ヤクン ネ カンナ イタク ウシケ タ アナク パイエアン クシ ネ』  
 'yakun ne kanna i=tak uske ta anak paye=an kus ne'  
 『それなら、また招待されたら行きましょう』

セコラン ペ エオナハ エエセ ヒネ シラン ルウェ ネ ア ポラ  
 sekor an pe e=onaha eese hine siran ruwe ne a p ora  
 と言つてお前の父が承諾した様子でいたが、すると

エネ エウヌフ エエヌワパクス  
 ene e=unuuhu e=enuwap akusu  
 このようにお前の母がお前を産むと、

エネ オッカヨ ヘカチ エネ ワ エアン ルウェ ネ ヒネ オカアナ プ、  
 ene okkayo hekaci e=ne wa e=an ruwe ne hine oka=an a p,  
 このように男の子であるお前が生まれ、暮らしていると、

オロ タ ソンノ カ スイ イアシケウク パ クス サプ パ ルウェ ネ ヒケ、  
 oro ta sonno ka suy i=askeuk pa kusu sap pa ruwe ne hike,  
 そこに本当にまた私たちを招待しに（川上から）下りてきたのだが、

エネ イエ イ カ イサム ペ ネ クス  
 ene ye h\_i ka isam pe ne kusu  
 どうにも言いのがれきないので、

イクタサ クニ エエセ ルウェ ネ ヒネ オラウン タイ……  
 ikutasa kuni eese ruwe ne hine oraun tay...  
 酒宴に招かれていくように承諾の返事をして、

『ネン ネ ヤッカ まえ (?) ネノ イタキ タ  
 ‘nen ne yakka MAE(?) neno i=tak h\_i ta  
 『誰であれ、前に（？）同じように招待された時に、

ソモ パイエアナ プ スイ ソモ パイエアナ プ ポ ヘネ ハウェ ネ』  
 somo paye=an a p suy somo paye=an a p po hene hawe ne‘  
 私達は行かなかったのにまた行かなかったら、なおいっそう（まずいことになる）話だ』

セコロ ハウォカ コロ パイエ クナク イエ パ ルウェ ネ ヒネ オラ アクス  
 sekor hawoka kor paye kunak ye pa ruwe ne hine ora akusu  
 と言ひながら、行くと言つたのでした。そしたら、

『アコロ ヘカチ ヘム イトウラ イトウラ』  
 ‘a=kor hekaci hem i=tura i=tura‘  
 『息子も一緒に來い。一緒に來い』

セコロ ハウォカ ヒネ  
 sekor hawoka hine  
 と言つて、

アトウラ ヒネ エウン (?) レン アネ パイエアニネ ネア ネ トウカリケ  
 a=tura hine eun(?) ren a=ne paye=an h\_ine nea ne tukarike  
 そこへ（？）三人で連れだって行つたのです。その（村の）手前に

クチャ アン ペ ネ クス レウシアン リトウッタ キ コロ パイエアニネ  
 kuca an pe ne kusu rewsia=an ritur\_ta ki kor paye=an h\_ine  
 狩小屋があるので途中で（その狩小屋に）泊まって、

ネ コタン オッタ…… ネ コタン ネ アカイエ ウシケ タ  
 ne kotan or\_ta ...ne kotan ne y\_ak a=ye uske ta  
 その村だといわれるところに

パイエアン アクス  
 paye=an akusu  
 行ったところ

インネ コタン ネ イネ オラ コタン ノシキ タ レ チセ レ ルプネ チセ  
 inne kotan ne h\_ine ora kotan noski ta re cise re rupne cise  
 大きな村で、村の真ん中に三軒の家、三軒の大きな家が

ウソイ タ オハイ ペ レ…… レ イリワク ネ プ エネ シケサラ パ ヒ ネ  
 usoy ta ohay pe re...re irwak ne p ene sikesar pa hi ne  
 並んで立っており、三人の兄弟がいて強欲なものだ

セコロ ハワシ ネ プ ソンノ ポカ チセ ゾイ タ  
 sekor hawas h\_i ne p sonno poka cise soy ta  
 と言う話だったが、本当に家の外で

ネ ヘカチ ノッキリ ヘカチ サパ エエロシキ プ ニ ペレパ ヒケ ニ ペレパ  
 ne hekaci notkir hekaci sapa eeroski p ni perpa hike ni perpa  
 例の少年の顎と頭にされた者たちが、木を割る者は木を割り、

ニシケ ヒケ ニシケ ワッカタ ヒケ ワッカタ コロ シラン ウシケ タ  
 nisike hike nisike wakkata hike wakkata kor siran uske ta  
 薪を背負う者は薪を背負い、水を汲む者は水を汲んでいるところに

パイエアン アクス ナニ エオナハ エウヌフ アアフブテ ヒネ イクアン。  
 paye=an akusu nani e=onaha e=unuhu a=ahupte hine iku=an.  
 行ったところ、まもなくお前の両親が家に招き入れられ、酒宴になった。

イク パルウェ ネ ア プ エオナハ シントコ オシマク アオランラリ イネ  
 iku pa ruwe ne a p, e=onaha sintoko osmak a=oranrari h\_ine  
 酒宴になったのだが、行器の後ろ<sup>[2]</sup>に座らされて、

イクアン ルウェ ネ アクス オラノ タネ イク ノシキ チョマンテ コロ  
 iku=an ruwe ne akusu orano taneiku noski comante kor  
 私達は酒を飲んだ。するとそれから、今や酒宴もたけなわに達した頃、

オラノ エオナハ カシ タ ハウタサ ハウェ エウヌフ ヌテク ノ  
 orano e=onaha kasi ta hawtasa hawe e=unuhu nutek no  
 お前の父に向かって交わされる言葉を、お前の母は小耳にはさんで、

『エアシリ アシパ プ ネ ヤカイエ ロク ペ、ネプ ピリカビ アン クス  
 'easir aspa p ne yak a=ye rok pe, nep pirkapi an kusu  
 『本当に聞こえないふりをしていたが、何か良いことがあるような

ハワシ ハウェ カ ソモ ネ ナ。  
 hawas hawe ka somo ne na.  
 話ではない。

エタク アコロ ヘカチ アコロ ポ アコロ シオン カイ ワ  
 h\_etak a=kor hekaci a=kor po a=kor sion kay wa  
 さあ、私の息子、赤ん坊をおんぶして、

ホクレ ホシキ キラ ワ サン  
 hokure hoski kira wa san  
 さあ早く逃げて山をおりなさい。

ハ…… イテキ レウシ エサン イテキ リトゥッ タ エオシレオク ノ  
 ha... iteki rews e=san iteki ritur\_ta e=osireok no  
 泊まらずに山を下りて、途中で留まらないで、

エネ アラキアニ エエラマン ペ ネ ナ エサン ペ ネ ナ。  
 ene arki=an h\_i e=eraman pe ne na e=san pe ne na.  
 どうやってここに来たか、お前はわかっているのだから、山をおりるのだよ。

ネン ポカ シクヌアナクン エオシ サパン ペ ネ ナ』  
 nen poka siknu=an y\_akun e=os sap=an pe ne na‘  
 何とかして私たちが生き延びたら、お前の後を追って下りるからな』

セコロ エウヌフ ハウェアン コロ イパッカイレ イネ サナン イネ サナニネ  
 sekor e=unu hu hawean kor i=pakkayre h\_ine san=an h\_ine san=an h\_ine  
 とお前の母は言いながら、私に背負わせて、私は山を下って下って、

タネ シリペケレ コロ アウニ タ シレパアン ルウェ ネ ア コロカ  
 tane sirpeker kor a=uni ta sirepa=an ruwe ne a korka  
 そして、もはや辺りも明るくなったときに、家に着きましたが、

ネプ イオシ サプル カ イサム ネ オロワノ アエパナクネ スム (?)  
 nep i=os sap ru ka isam ne orowano aep anakne sum(?)  
 誰も私の後から下りてくる様子はありませんでした。それから、食べ物は、

エオナハ エウヌフ アリキキ パ プ ネ クス  
 e=onaha e=unu hu arikiki pa p ne kusu  
 お前の両親は働きものだったから、

アエプ アナクネ サッカム ネ ャ  
 aep anakne satkam ne ya  
 食べ物は干し肉とか、干し魚とか

サッチエプ ネ ャ ポロンノ オカイ ペ ネ クス サッチエプ アスパ ワ  
 satcep ne ya poronno okay pe ne kusu satcep a=supa wa  
 たくさんあるものなので、干し魚を煮てお前の口に入れて、

エエパラ アオ クイ…… イクイクイアン マ アエレ コロ アレ……  
 e=epar a=o kuy... ikuykuy=an w\_a a=ere kor are...  
 私がよく噛んで、食べさせて、

アエレス ルウェ ネ アイネ タブ パクノ ポカ エアン ルウェ ネ コロカ  
 a=e=resu ruwe ne ayne tap pakno poka e=an ruwe ne korka  
 お前を育ててきて、これまで成長したのだが、

ナ エポロ コロカ エネ ネ カトウ アイエ クナク アラム ア ワ エネ  
 na e=poro korka ene ne katu a=ye kunak a=ramu a wa ene  
 もう、お前は大きくなつたが、このようなわけを私が言おうと思っていたところ、

エアラパ オラウン チカプ イエ プ エヌ ハウェ カ ソモ ネ ナンコロ。  
 e=arpa oraun cikap ye p e=nu hawe ka somo ne nankor.  
 お前がでかけて、それから、鳥が言うことをお前が聞いたということではあるまい。

アイシリカムイ エピリマ ハウェ ネ ナンコロ ルウェ ネ」  
 aysirkamuy epirma hawe ne nankor ruwe ne”  
 (父母の) 幽靈がそういうて教えてくれたのだろう」

セコロ アアチャ ハウェアン オラノ チサン パ コロ  
 sekor a=aca hawean orano cis=an pa kor  
 と、叔父さんが言って、そして、私たちは泣きながら、

「オヤチキ ウヌ ネ マヌ プ  
 “oyaciki unu ne manu p  
 「今分った所では私にも母という者、

オナ ネ マヌ プ アコロ ペ ネ アアン ハウェ エネ アニ アン」  
 ona ne manu p a=kor pe ne aan hawe ene an h\_i an.”  
 父という者があったのだなあ」

セコロ ヤイヌアン オラノ チサン パ コロ オカアン オラ こんと  
 sekor yaynu=an orano cis=an pa kor oka=an ora KONTO  
 と思って、それから泣きながら、いて、そして、今度は

オハヨッコトゥルパアン ネア オッカイボ ウタラ カ アニスク ヒネ  
 ohayokkoturpa=an nea okkaypo utar ka a=nisuk h\_ine  
 鎧に手を伸ばした。若者たちにもお願ひして、

オハヨッコトゥルパアニネ パイエアン。  
 ohayokkoturpa=an h\_ine paye=an.  
 鎧に手を伸ばして私は出発した。

アアチャハ カ オプ エテテ エムシ シトムシ。

a=acaha ka op etete emus sitomusi.

叔父さんも槍を突き立て、刀を下げた。

アシヌマ カ ネノ アナン ネ アコロ オッカイポ ウタラ カ

asinuma ka neno an=an ne a=kor okkaypo utar ka

私もそのようにして居たのです。若者たちにも

「ホクレ エネ イキアニ ネノ エチイキ プ ネ ナ」

“hokure ene iki=an hi neno eci=iki p ne na”

「さあ、あなたたちも私のするようにしてください」

セコロ ハワナン コロ

sekor hawan=an kor

と、言って

アシエキマテッカ パ コロ アトウラ イネ パイエアン ネ ヒネ

a=siekimatekka pa kor a=tura h\_ine paye=an ne hine

せきたてで一緒に行って、

リトル レウシアン カネ ヒネ エネ ネ ヤク アイエ コタン オッタ

ritur rewsia=an kane hine ene ne yak a=ye kotan or\_ta

途中で泊まって例の噂の村に、

ネ アアチャ アナクネ ネ コタン エラムアン ペ ネクス

ne a=aca anakne ne kotan eramuan pe nekusu

叔父さんはその村を知っているものなので、

ネ ヤク イエ ウシケ タ パイエアン ルウェ ネ アクス ソンノ ポカ

ne yak ye uske ta paye=an ruwe ne akusu sonno poka

そう言われているところに行ったところ、本当に

ネン ヘカチ ノッキリ ヘカチ サパ エウシ ペ チセ ソイ タ オロ ウタシパ

nen hekaci notkir hekaci sapa eus pe cise soy ta oro utaspa

その少年の頸とあたまになっている者が、家の外に行きかって、

ニ ペレパ プ ニ ペレパ ニ アフプテ プ ニ アフプテ コロ オカ コロカ  
 ni perpa p ni perpa ni ahupte p ni ahupte kor oka korka  
 薪割をする者は薪を割って、薪を家に入れる者は薪を入れていたが、

「ネン エエクテ ワ ウン エエク ハワシ」  
 “nen e=ekte wa un e=ek hawas”  
 「誰がお前を来させようとして、来たというのか<sup>[3]</sup>」

セコロ ヤイスアン クス オプニッ アニ ネ ノシキケ タ アン チセ オッ タ  
 sekor yaynu=an kusu opnit ani ne noskike ta an cise or\_ta  
 と思ったので槍の柄で、その（村の）中央にある家で、

オプニタニ アパ アマクテクテク アウォシマアン アクス ヘマンタ チャチャ  
 opnit ani apa a=maktektek awosma=an akusu hemanta caca  
 槍の柄で入り口をパッと開け、入っていたところ、何やらおやじが、

タネ ポロ スクプ ペ チャチャ オシソウン ア ワ オロワノ  
 tane poro sukup pe caca osisoun a wa orowano  
 今や初老にもなっているおやじが右座に座って、それから

ヤイ…… ヤイキキキキ ヘタブ  
 yay... yaykikikiki hetap  
 自分の身体を搔いたり

レッキサラ キキキキ ヘタブ キ コロ アン ペ  
 rekkisara kikikiki hetap ki kor an pe  
 もみあげを搔いたりしていたので、

オプニッ アニ ミビ アソコオッケ、ホプニ エアイカプ クニ ネ アナン マ  
 opnit ani mibi a=sokootke, hopuni eaykap kuni ne an=an w\_a  
 槍の柄で着物を床に押さえつけて起きることもできないようにして、

オロワノ アシイエキマテッカ  
 orowano a=siyekimatekka  
 それから、私は脅しをかけた。

「テエタ カネ アオナハ アウヌフ エロンヌ ヒ エオイラ ヘキヤ  
 “teeta kane a=onaha a=unuhu e=ronnu hi e=oyra he ki ya  
 「昔むかし両親をお前が殺したことを忘れたか。

ああ アイシリカムイ イイヌレ ワ タプ タプ  
 AA aysirkamuy i=inure wa tap tap  
 (両親の) 幽霊が私に聞かせて、これ、この通り

エカン ルウェ アン ナ ネプ アイヌフ イエ プ アヌ ワ  
 ek=an ruwe an na nep aynuhu ye p a=nu wa  
 私は来たのだから、何か人間の言ったことを私は聞いて

エカン ルウェ ソモ ネ ナ」  
 ek=an ruwe somo ne na”  
 きたのではないのだ」

セコロ イタカン コロ オラノ サパ ウシ ペ  
 sekor itak=an kor orano sapa us pe  
 と言って、それから、髪の毛を、

アテッコノイエ オラノ テクシケウカウヌウヌ ハウ…… アハウエヘ  
 a=tekkonoye orano teksikewkaunuunu haw... a=hawehe  
 手でねじりあげると手で体をかばった。私の声を

ハウカオパシ ペ アパオッキ ムケムケ アフブ シリ エネ アニ  
 hawkaopas pe apaotki mukemuke ahup siri ene an h\_i  
 聞いて駆けつけて来たものが入り口の簾を押し合いへし合いして入る様子は、

コケウトウムコン ロコカ アン ペ アルキラレ  
 kokewtumkor\_ rokoka an pe arukirare  
 一味の者たちは一目散に逃げてしまった。

イエランポキウェン ロコカ アン ペ パラパラク コロ イムライパパ  
 i=erampokiwen rokoka an pe paraparak kor i=muraypapa  
 私を憐れんでいた者は、泣きわめきながら、私を抱きさすった。

オロワノ ネ ハウカオパシ ペ ネ イヤクネ ロコカ アン ペ カ  
 orowano ne hawkaopas pe ne iakne rokoka an pe ka  
 そしてその声で大急ぎで来たもの、その弟の方だとわかった者も、

チャウォクタ プ カ オピッタ  
 cawokuta p ka opitta  
 家の中に飛び込んできた者もみんな、

サパ ウシ ペ アテッコヌイエ アエシリキッキク  
 sapa us pe a=tekkonuye a=esirkikkik  
 髪の毛を手に巻きつけて、たたきつけた。

「ネプ プリヒ ネプ カッチャマ ネ ワクス フンタ ウェン プリ コロ……  
 “nep purihi nep katcama ne wakusu hnta wen puri kor...  
 「どんな行い、どんな様子だというので、何の悪いふるまいを

コロ ヘ キ プ アオナ アウヌ ネ イネ ネ アシケ エチウク オラ  
 kor he ki p a=ona a=unu ne h\_ine ne aske eci=uk ora  
 するものが私の両親であるというので、呼び寄せて

エチロンヌ ヒ ネ ヤ? アオマピリカ プ ライ ネ ヤクン  
 eci=ronnu hi ne ya? a=omapirka p ray ne yakun  
 殺したのか? 死んだとすれば、

アエチロンヌ クス ネ ナ」  
 a=eci=ronnu kusu ne na”  
 私がお前たちを殺すからな」

セコロ イタカン コロ オロワノ イテクシケウカウヌ  
 sekor itak=an kor orowano iteksikewkaunu  
 と、言うと、体をかばって、

「オハイネ タシ ウェナナウェ ネ ナ。  
 “ohayne tasi wen=an h\_awe ne na.  
 「なるほど、私が悪うございました。

イキアクナク イシロン…… イシロン…… ロンヌ ナ」  
 ikiakunak i=siron... i=siron... ronnu na”  
 どうか殺さないでください」

セコロ ハウェオカ ヤク オラウン ケイキリチ アトウイパ。  
 sekor haweoka yak oraun keykirici a=tuypa.  
 と、言った。そこで私はアキレス腱を切って、

「ニサブ アエチロンヌ ャッカ ワ タシ  
 “nisap a=eci=ronnu yakka wa tasi  
 「すぐに殺されたほうがましだ

セコロ エチヤイエラムシッネ クニ ネ アエチカラシリ ネ ナ」  
 sekor eci=yayeramusitne kuni ne a=eci=kar siri ne na”  
 とお前たちが苦しむように、お前たちにしてやるからな」

セコロ イタカン コロ ケイキリチ アトウイパ テムリチ アトウイパ  
 sekor itak=an kor keykirici a=tuypa temrici a=tuypa  
 と、言いながら、アキレス腱を切って、腕の筋を切って、

オロワノ ウコヘレセ コロ ウコシヌシヌ  
 orowano ukohererse kor ukosinusinu  
 それから、お互に咳き込んで、這いまわった。

オラノ ネ コケウトゥムコン ロコカ アン ペ アナク アルキラレ パ  
 orano ne kokewtumkor\_ rokoka an pe anak arukirare pa  
 そして、例の一昧であった者たちは一目散に逃げて、

ケシ アンパ ワ アキッキク チキ アキッキク  
 kes a=anpa wa a=kikkik ciki a=kikkik  
 私は追いかけて殴りつける者は殴り、

ケイキリチ アトウイパ チキ アトウイパ  
 keykirici a=tuypa ciki a=tuypa  
 アキレス腱を切る者は切って、

「ネノ アン ペ スイ チアスルアシ

“neno an pe tuy ciasur’as

「同じようなことで再び噂がたって、

ハウエ アヌ ヤク アナクネ エカン マ スクプ クル アネ ャッカ

hawe a=nu yak anakne ek=an w\_a sukup kur a=ne yakka

その話を聞いたならば、(ここにふたたび) 来て、私はもう大人になったが

アイシリカムイ イカスイ ワ タプタプ イキアン ナ エカン マ

aysirkamuy i=kasuy wa taptap iki=an na ek=an w\_a

幽霊に手伝ってもらってこれこのとおりにしたのだよ。

アエチロンヌ クス ネ ナ」

a=eci=ronnu kusu ne na”

また来てお前たちを殺すからな」

セコロ アン ペ アイエ コロ テムリチヒ アトウイパ

sekor an pe a=ye kor temricihi a=tuypa

と、言いながら手の筋を切って、

ケイキリチ アトウイパ オラウン ネプ カ ネ オカイ ペ アパウェテンケ

keykirici a=tuypa oraun nep ka ne okay pe a=pawetenke

アキレス腱を切った。それから、何でもそこに居る者たち（下僕にされていた人たち）に命じて

「ネプ カ エチコロ ペ オカ チキ エソyun アコロ ワ エチウニ ウン

“nep ka eci=kor pe oka ciki esoyun a=kor wa eci=uni un

「何かお前たちが持っているものがあったら、外へ持つて（出て）お前たちの家に

パイエ ヤン パイエ ヤン」

paye yan paye yan”

行きなさい、行きなさい。」

セコロ イタカン コロ

sekor itak=an kor

と、私が言うと、

「タアン ペ アコロ ペ ネ タアン ペ アエラミシカリ」  
 “taan pe a=kor pe ne taan pe a=eramiskari”  
 「これは私が持っていたもので、これには覚えがない」

セコロ ハウェオカ コロ ソヨクタ パ オカケ タ  
 sekor haweoka kor soyokuta pa okake ta  
 と、言いながら家の中から出した後、

インカラソクス シアスラシテ パ プ ネ クス コトムノ ウニヒ アナク  
 inkar=an kusu siasuraste pa p ne kusu kotomno unihi anak  
 私が見ると、うわさが立つくらいなので、それにふさわしく家は

イヨルエク（？） カ コロカ ネプ カ アウク カ ソモ キ ノ オラウン  
 iyoruek(?) ka korka nep ka a=uk ka somo ki no oraun  
 XXXXけれど、私は何も取らないで、それから、

ウコヘレレセ ハウェ アヌ コロ オラ サパン オラノ アウニ タ サパン マ  
 ukohererse hawe a=nu kor ora sap=an orano a=uni ta sap=an w\_a  
 お互いに咳き込む声を聴きながら山から下って家に来て、

オラノ スイ チサン パ コロ  
 orano suy cis=an pa kor  
 それから、再び泣きながら、

「オヤチキ ウヌ ネ マヌ プ  
 “oyaciki unu ne manu p  
 「なるほど、私には母というもの

オナ ネ マヌ プ アコロ ペ ネ アアン マ エネ アロンヌ ヒ オカ」  
 ona ne manu p a=kor pe ne aan w\_a ene a=ronnu hi oka.”  
 父というものがいて（そのおかげで）、このように殺した（仇をうった）のだなあ」

セコロ ヤイヌアン コッ チシアナ アナ コロ オカアン オライ……  
 sekor yaynu=an kor\_cis=an a =an a kor oka=an ora i...  
 と、思って泣きに泣いていた、後で

イシオカウン イヌアン クス ウコレイエレイエ ウコヘレレセ コロ  
 isiokaun inu=an kusu ukoreyereye ukohererse kor  
 聞くところによると、這いすり回って、咳き込んでいたものたちは

エネ イキ パイ カ イサム コロ オカ セコロ アン ペ アヌ コロ オカアン  
 ene iki pa h\_i ka isam kor oka sekor an pe a=nu kor oka=an.  
 どうしようもないままでいるということを聞いていた。

タン アアチャハ セコロ イタカナッカ ナ ペウレ クル ネ クス  
 tan a=acaha sekor itak=an y\_akka na pewre kur ne kusu  
 おじさんと言っても、まだ若者なのだから、

ピリカ ポンメノコ エトウニネ イコレ オラ ネ アアチャ カ  
 pirkka ponmenoko etun h\_ine i=kore ora ne a=aca ka  
 私に美しい若い女を嫁にもらってくれた（ので）それならその叔父さんも

「ネプ カ シエブンキネレ プ コロ イケ マク」  
 “nep kasiepukinere p kor h\_ike mak”  
 「何か自分に守らせるもの（妻）を持ってはどうですか？」

セコロ イタカナッカ  
 sekor itak=an y\_akka  
 と言っても、

「フンタ アカラクフ サマ オウペカレ アカラク オロ タ アナニケ  
 “hnta a=karkuhu sama owpekkare a=karku oro ta an=an hike  
 「何を、甥のために骨を折って、甥のところで暮らしてきたのに、

フンタ ネ マッ アコロ ハウェ？」  
 hnta ne mat a=kor hawe?”  
 何を妻など持つという話か」

セコロ ハウェアン コロ オラ マッ サクノ  
 sekor hawean kor ora mat sakno  
 と言ってそして、妻もなく、

カシ アオイキ ナ イイエ パ プ ネ クス イラマンテアン コロ オラノ  
 kasi a=oyki na i=ye pa p ne kusu iramante=an kor orano  
 世話をするぞというものなので、私が狩をすると

イエトコイキ ネ ヤ キ コロ オラノ アオカ アナク ネプ アエ ルスイ カ  
 i=etokoyki ne ya ki kor orano aoka anak nep a=e rusuy ka  
 私のために食事の支度などをしてくれて、そして、私たちは、何も食べたいとも、

ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ノ  
 nep a=kor\_rusuy ka somo ki no  
 何も欲しいとも思わないで、

ネア アコロ ポンメノコ ポシレシクテ カ キ ワ アブンノ オカ ルウェ ネ  
 nea a=kor ponmenoko posiresikte ka ki wa apunno oka ruwe ne  
 例の若い女は子供をたくさん産んで、なに不自由なく暮らしていました。

オラ ネ オカイ ペ アナクネ ウコヘレセ ロカイネ  
 ora ne okay pe anakne ukohererse rok ayne  
 そして、例の者たちは、お互いに咳き込んでいたあげく、

ライ ヒケ ライ レイエレイエ コロ オカイ ペ オカ ヤカイエ イ  
 ray hike ray reyereye kor okay pe oka yak a=ye h\_i  
 死ぬものは死に、這いずっていたものは生き残ったということを、

アヌ コロ オカアン ルウェ ネ クス エネ オカ ウエン プリ コロパ プ  
 a=nu kor oka=an ruwe ne kusu ene oka wen puri korpa p  
 私は聞いていたので、このような悪いふるまいをするものを

アパカシヌ ルウェ ネ コロカ アシヌマ アナクネ アブンノ タネ  
 a=pakasnu ruwe ne korka asinuma anakne apunno tane  
 私が戒めたのですが、私は無事に今は

ポロ スクプ カ アン ネプ アエラナク カ ソモ キ ノ キルウェ ネ ナ  
 poro sukup ka =an nep a=eranak ka somo ki no ki ruwe ne na  
 大きく成長して、何も困っていることもないのですよ」

セコロ シネ オッカイポ ハウェアン セコロ アン  
sekor sine okkaypo hawean sekor an  
と一人の若者が言いましたとさ。

【注】

- [1] 少年のような頭や顎にするというのは、髪の毛や髭をそり落としてしまうということ。
- [2] 行器（シントコ）の後ろとは最上席にあたる。
- [3] 直訳は「誰がお前に来させたので来たというのか」。ここでは反語の意味で、他の誰でもない自分が来ようと思ったのではないか、と自分を奮い立たせている。

## 16-11 ウエペケレ「アアチャハ イレス」解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：これは、うーん、a=acaha i=resu [おじに私は育てられた]

鍋澤：ん、ん、ん

萱野：私のおじさんが私を育て、子供の時は唄いながら育てておったのを……、  
だと思って聞いておったのが大きくなつて聞いたら、それは泣きながら  
私を育てておつたのであつたと。

鍋澤：ん、うん、そうだと。

萱野：そして自分自身の生き立ちを、ここで、aysirkamuy ちゅ一のはどういう  
こというの？

鍋澤：「仏さん」。

萱野：あーなるほどね。

鍋澤：うん、うん、仏さん。

萱野：aysirkamuy i=nure [幽靈が聞かせてくれる] というのはカラスがもの言  
ったのを聞こえた……、聞いたように思ったけれども、実際はカラスじ  
やなくて、

鍋澤：うんだ、仏さん

萱野：仏さんがカラスになって喋ったんでしょうと。そういうことなわけです  
ね。そのカラスらしいカラスが喋って教えてあげもつたけれども、自分  
の生き立ちを教えられ、そしてその育ててくれたおじさんから教えられ

て、ま、かたき討ちをした。という筋書きの uepeker [散文説話] ですね。

鍋澤：うん、うん、うん。

萱野：それから、さつき rupne watara っていう言葉言った、これどういうこと。

鍋澤：rupne watara nokan\_watara [大きな石、小さな石] っていうのは「石」。

萱野：あー、なるほど。

鍋澤：石、石。

萱野：うん、うん、うん。watara、石。temsutna wa suke wa i=ipere [腕の付け根から（手を洗って）料理をして私に食べさせた] .

鍋澤：ちゃんと手洗って

萱野：あーなるほどね。

はい、どうもありがとうございます。

---

アイヌ語の保存・継承に必要なアーカイブ化に関する調査研究事業

第2年次（北海道沙流郡平取町）

調査研究報告書

2 / 3

発行日 2015年3月25日

発行者 国立大学法人千葉大学

〒263-0022 千葉県千葉市 稲毛区弥生町1-33

電話 043-251-1111

---